取扱説明書

FOMA® SA700iS

'06.4

mode

ドコモ　W-CDMA 方式

このたびは、「FOMA SA700iS」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、裏面の総合お問い合わせ先までお問い合わせください。
FOMA SA700iSは、あなたの有能なパートナーです。大切にお取扱いのうえ、末永くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で FOMA 端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社、日本ジオトラスト株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.

取扱説明書（本書）のご使用にあたって

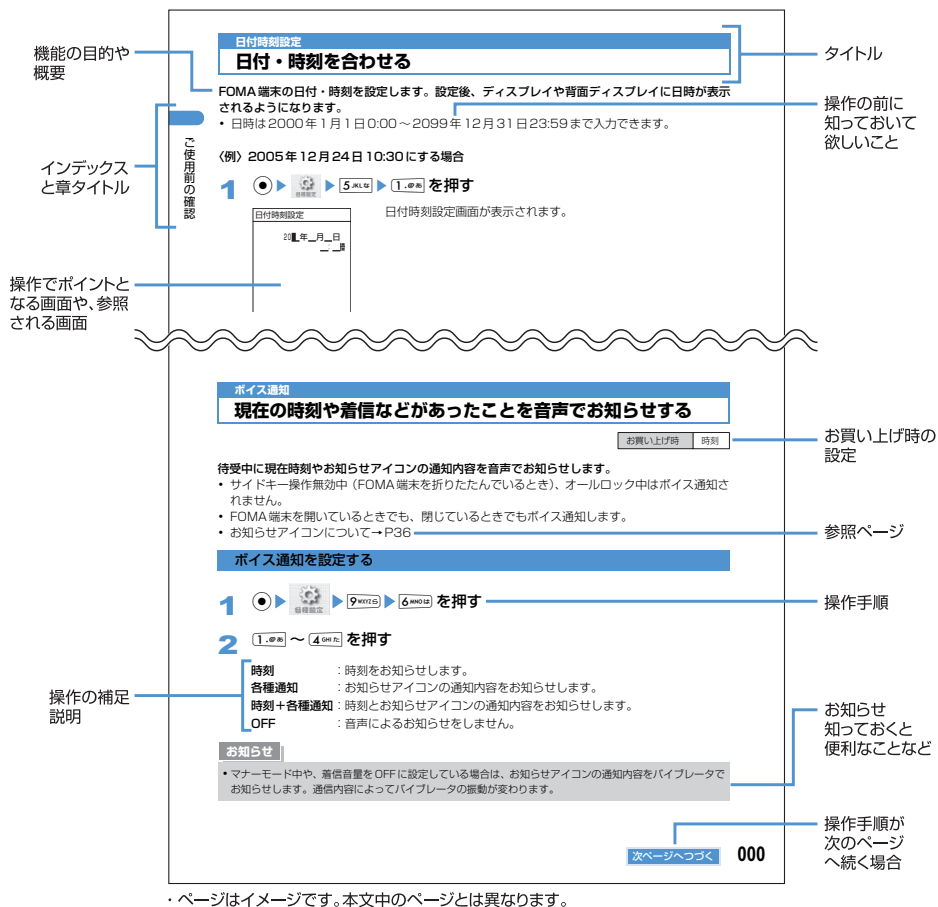
- **目次から引く**→P2
  目次から知りたい項目や機能の該当ページを把握できます。
- **索引から引く**→P540
  索引から知りたい項目や機能の該当ページを把握できます。
- **かんたん検索から引く**→P538
  知りたい機能から操作方法を調べたいときにご活用ください。
- **インデックスから引く**
  表紙のインデックスや扉（各章の最初のページ）の目次から知りたい項目や機能の該当ページを把握できます。
- **特徴から引く**→P4
  FOMA SA700iSの特徴を記載しておりますので、ご利用ください。
- **クイックマニュアルを利用する**→P556
  よく使う機能の操作手順を巻末に記載しています。本書から切り離してお使いください。

- この「FOMA SA700iS取扱説明書」の本文中においては、「FOMA SA700iS」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中ではminiSDメモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードについて→P361

- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた

以下の内容は、本取扱説明書の記載内容･方法の例です。

・ページはイメージです。本文中のページとは異なります。

ディスプレイ表示内容について

- 本書では、お買い上げのときの設定をもとに説明しています。設定の変更によって、FOMA端末の表示内容が本書の記載と異なる場合があります。
- 本書に掲載されている画面およびイラストはイメージですので、製品の画面とは異なる場合があります。

クイックマニュアルについて

- クイックマニュアルでは、基本的な操作方法を説明しています。→P556

操作手順について

- 本書での操作手順の記載については、P35で詳しく説明しています。

目次

＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→ P361

FOMA SA700iSの特徴

FOMAは、第三世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の1つとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

iモードだからスゴイ！

iモードは、iモード端末のディスプレイを利用して、iモードメニューサイト（番組）やiモード対応ホームページから便利な情報をご利用いただけるほか、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。

iモード→P177

iモードメニューのメニューリストから、IP（情報サービス提供者）が提供する天気、ニュースなどのオンラインサービスを利用したり、iモード対応のさまざまなホームページを見ることができます。

iショット→P226

カメラ付きiモード端末で撮った画像をメールでそのまま送れます。

iモードメール→P222

iモード端末どうしやインターネットのメールアドレスを持っている人と最大5000文字のe-mailのやりとりができます。

iモーション→P303

iモーション対応のサイトから、映像や音声、音楽のデータをiモード端末に取り込んで楽しむことができます。

iモーションメール→P226

iモード端末に取り込んだiモーションをメールで送れます。

SA700iSの主な特徴

テレビ電話→P75

離れている相手と顔を見ながら会話することができます。相手の声をスピーカから聞こえるようにしたり、アウトカメラに切り替えて周囲の風景を相手に見せることもできます。

キャラ電→P352

テレビ電話中に、自分の映像の代わりに内蔵キャラクタやダウンロードしたキャラクタを表示させることができます。キー操作によりキャラクタに表情や動きを付けられます。

デコメール→P232

メール本文の文字の色、大きさや背景色を変えたり、デコメールピクチャや内蔵カメラで撮影した写真を本文中に挿入できるなど、表現力豊かなメールを作成し、送信できます。またテンプレートに対応しているので、送られてきたデコメールやサイトからダウンロードしたデコメールの様式を利用し、簡単にデコメールを作成できます。

iアプリ、iアプリDX→P283

様々なiアプリをサイトから取り込んで活用したり、それらを待受画面に設定したりできます。さらにiアプリDXでは、電話帳やメールなどiモード端末内の情報と連動することで、よりiアプリの楽しみ方が広がります。

豊富なネットワークサービス

- 留守番電話サービス（有料）※1→P433
- 転送でんわサービス※1→P436
- キャッチホン（有料）※1→P435
- SMS（ショートメッセージ）※2→P275
- デュアルネットワークサービス（有料）※1→P439

※1 お申し込みが必要です。　※2 お申し込みは不要です。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

あんしん設定

暗証番号を設定してプライバシーを保護したり、第三者に勝手に見られたり通信されないようにオールロックやセルフモードなどの設定ができます。

その他の多彩な機能

GPS機能→P307

GPS衛星から発信される電波を利用して、FOMA端末の位置情報を取得します。取得した位置情報から以下のようなサービスが利用できます。

•今いる場所の地図や周辺情報を見る、探す

取得した位置情報を位置サイト（GPS機能に対応したiモードサイト）に送信して地図や周辺情報を簡単に探せます。

•メールで自分の場所やお気に入りの場所を送る

位置情報をメール本文に貼り付けることができます。また、受け取ったiモード利用者が地図などで場所を確認できます。
お店などの位置情報を電話帳などに埋め込み、お店の場所を地図などにて確認できます。
撮影した静止画に、撮影場所などの位置情報を埋め込み、のちほど地図などにて確認できます。

•GPS機能対応のiアプリを使う（GPSソフト）

位置情報を利用した便利なiアプリを使えます。

•ナビゲーションを使う

取得した位置情報を利用して目的地までのナビゲーションを行えます。

充実のカメラ機能→P145

FOMA端末には有効画素数約103万画素（最大記録画素数約100万画素）のCCDカメラが搭載されており、最大1Mサイズの静止画が撮影できます。フレームや特殊効果をつけて撮影したり、連続撮影が行えます。
また、FOMA端末は最大QCIFサイズの動画が撮影できます。

文字リーダー→P173／バーコードリーダー→P168

FOMA端末に内蔵のカメラを使って電話番号やメールアドレスなどを読み取って、電話帳登録やiモードメール作成などができます。また、読み取った英単語を翻訳することができます。バーコード（JANコード、QRコード）を読み取ることもできます。

音声読み上げ機能→P429

電話帳やテキストメモ、メールの音声読み上げができます。読み上げるときのスピードや音量、声質を設定できます。

マルチタスク→P396

電話中にメールの送受信を行ったり、スケジュールを確認するなど、同時に複数の機能を利用したり、複数のアプリケーションを利用することができます。

ボイスレコーダー→P384

FOMA端末を使って、会議中などに音声を録音できます。（最大120分（miniSDメモリーカード保存時）まで）また、録音前に、録音した場所を静止画撮影して音声データに付加できます。

メロディ→P358

FOMA端末には最大64和音のPCM音源によるメロディが内蔵されており、電話やメールの着信音に設定できます。また、サイトからPCM音源の臨場感のあるメロディを取り込んで利用することができます。

赤外線通信→P378／赤外線リモコン→P383

赤外線通信機能が搭載されたFOMA端末や携帯電話などとの間で電話帳やメール、画像、メロディなどの送受信ができます。また、FOMA端末をテレビのリモコンとして使うことができます。

Flash™対応→P182

iモードサイトで使用されているFlashの動画やアニメーションをFOMA端末で楽しむことができます。また、Flashのアニメーションなどをダウンロードして、待受画面に設定できます。

miniSDメモリーカード対応→P361

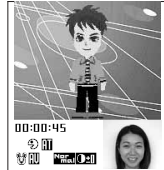
miniSDメモリーカード規格に対応しているため、外部機器に保存している画像やメロディ、音楽データなどをFOMA端末で利用できます。
miniSDメモリーカードに保存した動画や音楽データはFOMA端末で再生できます。（一部条件下では再生できない場合があります）
また、FOMA端末内の画像や電話帳、メールなどをminiSDメモリーカードを使って外部機器に保存することができます。

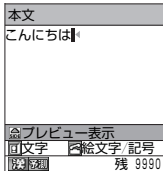
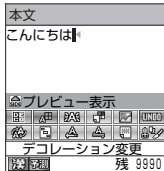
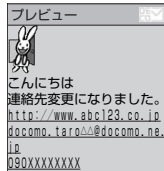
FOMA SA700iSを使いこなす！

FOMA SA700iSの多彩な機能を画面表示によって紹介します。

●キャラ電→P80

テレビ電話では、送信画像を簡単に切り替えることができます。キャラ電機能を使うと、自画像の代わりにキャラクタがさまざまなアクション・表情で応対します。

相手と自分の画像を表示 → 自分の代わりにキャラクタを表示 → 相手と自分の画面を切替え → キャラクタを動かして感情表現

●デコメール→P232、238

文字の色や背景色などを変えたり、デコメールピクチャや内蔵カメラで撮った写真を入れたカラフルで楽しいメールを簡単に送信できます。

本文を入力 → パレットを表示 → プレビューを表示 → デコメールを送信

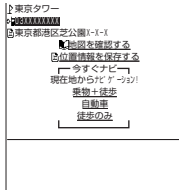
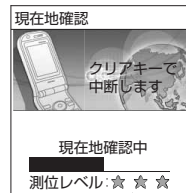
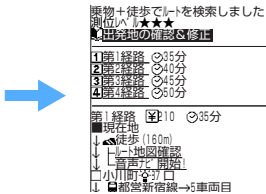
●文字リーダー→P173

FOMA端末のカメラを使って、電話番号やメールアドレスなどを読み取ることができます。読み取ったデータを電話帳に登録したり、メールを送ったり、さまざまな活用が可能です。

文字リーダー起動 → コード読み取り → 文字入力時に利用

GPS機能：ナビゲーション→P310

取得した位置情報を利用して、目的地までのルート探索などを簡単に行うことができます。

ナビゲーションTOP画面から

目的地を確認し移動方法を選択する

測位が始まります

ルート検索結果が表示されます

ルートが表示されます

- Navigation engine by NAVITIME JAPAN
- 地図：昭文社

•ナビゲーションの画面はイメージです。

Gガイド番組表リモコン→P291

FOMA端末にあらかじめ登録されているiアプリ「Gガイド番組表リモコン」を使うと、いつでも知りたい時間の番組情報が取得できます。また、FOMA端末の赤外線通信機能を利用して、テレビのリモコン操作ができます。

番組表でGコード® を見ることができます。

サーバに接続して番組の詳細情報を取得できます。

•画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じたチャンネルが表示されます。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
⚠危険	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

絵表示	内容
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の６項目に分けて説明しています。

危険

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

電池パック SA01
卓上ホルダ SA01
FOMA ACアダプタ 01
FOMA DCアダプタ 01
FOMA海外兼用ACアダプタ 01

※その他互換性のある商品については、ドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

水濡れ禁止

濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると、発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。
また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。
また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

警告

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

禁止

ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある所では、使用しないでください。
プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因となります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、ただちに次の作業を行ってください。
1. 電源プラグをコンセントやソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

⚠注意

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

指示

充電、または動画撮影や再生、テレビ電話、iモード、iアプリの繰り返しや長時間連続使用などの場合においてFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じるおそれがあります。
FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

FOMA端末の取扱いについて

⚠警告

禁止

自動車などを運転中に使用しないでください。
2004年11月1日から、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となっております。
ハンズフリーキットをご利用の場合でもクルマを安全な場所に停車してからご利用ください。運転中は、ドライブモードまたは留守番電話サービスをご利用ください。

指示

ハンズフリーに設定して通話する場合は、必ずFOMA端末を耳から離してください。
難聴になる可能性があります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える可能性があります。

⚠警告

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。
また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。
FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。
エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてフラッシュ／ライトを点灯しないでください。
目がくらんで運転ができなくなり、事故の原因となります。

⚠注意

禁止

FOMA端末内のFOMAカード挿入口やminiSDメモリーカードスロットには、水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、感電、故障の原因となります。

禁止

内蔵のカメラのレンズに太陽光などの強い光が進入する状態で長時間放置しないでください。
レンズの集光作用により、火災が発生する原因となります。

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

FOMA 端末の取扱いについて（つづき）

⚠注意

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。
液晶が目や口に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。
失明や皮膚に傷害をおこす原因となります。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
下記の箇所に金属を使用しています。

材　質	使用箇所
クロムメッキ	アウトカメラ外周部、フラッシュ／ライト、カーソルキー外周部、クリアキー
アルミ合金（アルマイト処理）	センターキー

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。
安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故や破損の原因となることがあります。

フラッシュ／ライトをカメラ撮影以外の用途に使用しないでください。
カメラが終了するとフラッシュ／ライトは消灯します。急に暗くなり、事故の原因となります。

電池パックの取扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

⚠危険

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パック内部の液体が目のなかに入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

電池パックの取扱いについて（つづき）

危険

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取付けするときに、うまく取付けできない場合は、無理に取付けしないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取付けしてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

警告

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害をおこす原因となります。

注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

オプション品（ACアダプタ、DCアダプタ、卓上ホルダ、車内ホルダ）の取扱いについて

⚠警告

禁止
DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災の原因となります

濡れ手禁止
濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

禁止
コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。
また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

指示
指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、FOMA 海外兼用 ACアダプタ 01 を使用してください。
ACアダプタ：
AC100V（国内の家庭用交流 100Vコンセントのみに接続すること）
FOMA 海外兼用 AC アダプタ：
AC100～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：
DC12V･24V（マイナスアース車専用）

禁止
雷が鳴り出したら、FOMA 端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

指示
DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

禁止
ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では、使用しないでください。
感電の原因となります。

電源プラグを抜く
万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットからプラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

指示
ACアダプタをコンセントに差し込む時は、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

禁止
アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

指示
プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

指示
車内ホルダは確実に取付けてください。
急ブレーキなどで機器が外れると、事故や故障の原因となります。

オプション品（ACアダプタ、DCアダプタ、卓上ホルダ、車内ホルダ）の取扱いについて（つづき）

⚠警告

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

禁止

電源プラグがコンセントから抜けない場合、無理に抜かないでください。
破損し、感電や故障の原因となります。

禁止

充電中は、卓上ホルダおよびACアダプタを安定した場所に置いてください。また、卓上ホルダおよびACアダプタを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

禁止

コンセントや配線器具の定格を超えた使用はしないでください。
タコ足配線などで定格を超えると、発熱、火災の原因となります。

⚠注意

電源プラグを抜く

お手入れの際は、コンセントやシガーライタソケットから抜いて、行ってください。
感電の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードの上に重いものをのせたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

FOMAカードの取扱いについて

⚠注意

指示

FOMAカード（IC部分）を取外す際にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

医用電気機器近くでの取扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

取扱い上の注意について

共通のお願い

- 水をかけないでください。
  - FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。
    調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証の対象外となり修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証の対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
  - FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれたりすることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。
  - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
  - 急激な湿度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。
  - 多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。
- 電池パックやアダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA端末についてのお願い

- 使用中、充電中、FOMA 端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 極端な高温、低温は避けてください。
  - 温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を折り畳まないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- ディスプレイやキーのある面にシールなどを貼らないでください。
  - FOMA端末を折りたたんだときにキーが押されるなどして誤動作したり、FOMA端末が損傷する恐れがあります。

- ストラップに手を通してお持ちください。
  - 落下し、故障の原因となることがあります。
- 通常はイヤホンマイク端子キャップ、外部接続端子キャップ、miniSDメモリーカードスロットのカバーをはめた状態でご使用ください。
  - ほこり、水などが入り故障の原因となることがあります。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
  - 傷つくことがあります。
- カメラを直射日光に向けて放置しないでください。
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
  - 十分に充電しても使用状態によっても異なりますが、使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、温度が5℃～35℃の範囲で行ってください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの金属部分（端子）が汚れると、端末との接触が悪くなり電源が切れたりすることがあります。汚れたら乾いた布や綿棒などで拭いてからご使用ください。
- 不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
  - 不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り付け絶縁してからドコモショップなど窓口へお持ちいただくか、電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。
- 直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。
  - 長時間使用しないときは、使い切った状態でFOMA端末またはアダプタ（充電器含む）から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

- 次のような場所では、充電しないでください。
  - 周囲の温度が5℃未満、または35℃よりも高くなる場所
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  - 車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  - 故障の原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

FOMAカードについてのお願い

- FOMAカードの取外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
- ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。
- 使用中、FOMA カードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- 他の IC カードリーダダライタなどに FOMA カードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- 極端な高温・低温は避けてください。
- ICを傷付けたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  - データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- FOMAカードにシールなどを貼らないでください。

miniSDメモリーカードについてのお願い

- miniSDメモリーカード使用中は、miniSDメモリーカードを抜いたり、電源を切ったり、電池パックを取外したり、強い衝撃を与えないでください。
  - データが壊れる恐れがあります。
- miniSDメモリーカードにシールなどを貼らないでください。

カメラについて

- お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

本書に記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「mova」「iモーション」「iモード」「iアプリ」「iメロディ」「iアニメ」「mopera U」「mopera」「WORLD CALL」「WORLD WING」「ドライブモード」「iモーションメール」「マルチアクセス」「iアプリDX」「iショット」「iエリア」「ショートメール」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「iアプリサーチ」「Vライブ」「ビジュアルネット」「デコメール」「着モーション」「キャラ電」「クイックキャスト」「eビリング」「メッセージF」「トクだねニュース便」「My DoCoMo」「マルチナンバー」および「FOMA」ロゴ、「i-mode」ロゴ、「i-αppli」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。(Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® operating systemです。)
- JavaおよびJavaに関連するすべての商標は、米国およびその他の国において米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Multitask／マルチタスク」は日本電気株式会社の商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- NetFrontは日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
- JV-Liteは日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
- Macromedia、Flash、Macromedia FlashはMacromedia, Inc.の米国内外における商標または登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- miniSD™およびminiSDロゴはSDアソシエーションの商標です。
(miniSD™メモリーカードをminiSDメモリーカードと表記しています。)
- AdobeおよびReaderは米国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標または登録商標です。
- 『Gガイドモバイル』およびそのロゴ、『Gガイド』およびそのロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.またはその関係会社の日本国内における登録商標です。
- QuickTimeは、米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本取扱説明書に記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating system の略です。
  - Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
  - Windows Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
  - Windows 98は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
  - Windows 98SEは、Microsoft® Windows® 98 SECOND EDITION operating system の略です。
  - Windows NT Serverは、Mircosoft® Windows NT® Server Network operating system Version 4.0の略です。
  - Windows XP、2000、Me、98 のように併記する場合があります。
  - Windows 98 とWindows 98SE をまとめてWindows 98 と表記しています。

その他

- 本製品はMacromedia, Inc. のMacromedia® Flash™ テクノロジーを搭載しています。

- 本製品はインターネット機能として、株式会社ACCESS のNetFront を搭載しています。

- 本製品はJava Virtual Machine 技術として、株式会社ACCESS のJV-Lite2 を搭載しています。

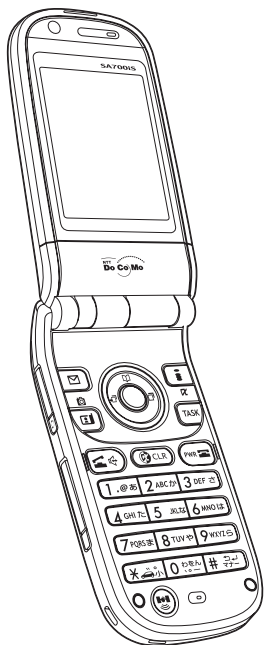
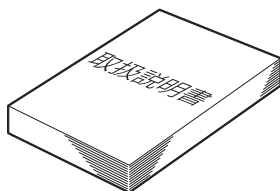
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- 日本語変換は、オムロン ソフトウェア（株）のAdvanced Wnn v2を使用しています。

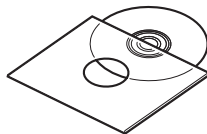
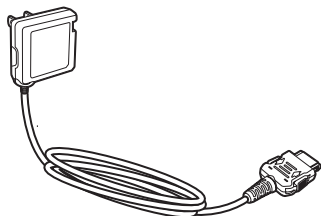
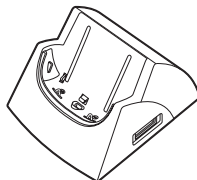
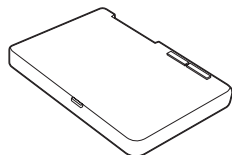
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;

4,901,307	5,600,754	5,267,261	5,506,865	5,710,784
5,504,773	5,416,797	5,568,483	5,228,054	5,778,338
5,109,390	5,490,165	5,414,796	5,544,196	
5,535,239	5,101,501	5,659,569	5,337,338	
5,267,262	5,511,073	5,056,109	5,657,420	

本体付属品および主なオプション品について

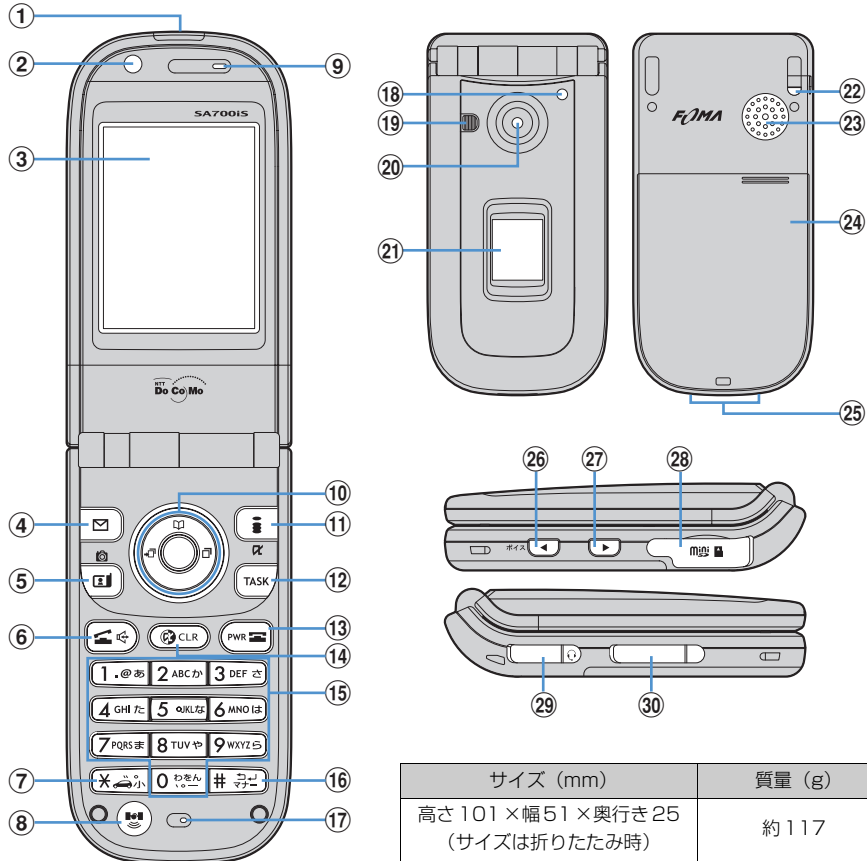
＜本体付属品＞

FOMA SA700iS
（リアカバー SA01、保証書含む）

取扱説明書

※ P556にクイックマニュアルを記載しております。

FOMA SA700iS 用CD-ROM

＜主なオプション品＞

その他オプション品について→P520

ご使用前の確認

各部の名称と機能

FOMA端末の各部の名称と機能は次のとおりです。

サイズ（mm）	質量（g）
高さ101×幅51×奥行き25 （サイズは折りたたみ時）	約117

① **赤外線ポート**
赤外線通信でデータを送受信するときに使います。

② **インカメラ**
自画像を撮影したり、テレビ電話で自画像を送信します。

③ **ディスプレイ→P26**

④ **メール／左フレキシブルキー（）**
メールメニューを表示します。
1秒以上押すと、メール作成画面を表示します。

⑤ **テレビ電話開始（）／カメラキー（）**
テレビ電話を発信します。
1秒以上押すと、静止画撮影画面を表示します。

⑥ **音声電話開始／ハンズフリーキー（）**
音声電話を発信します。
スピーカーから音声が出ます。（ハンズフリー機能）

⑦ **＊／ドライブモードキー（）**
「＊」、小文字、濁点などを入力します。
1秒以上押すと、ドライブモードになります。

⑧ **GPSキー（）**
GPSメニューを表示します。
1秒以上押すと、現在地確認を行います。
- FOMA端末ではGPSボタンと表示されますが、本書ではGPSキーと表記しています。

⑨ **受話口**
相手の声がここから聞こえます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

⑩ **カーソルキー（）**
センターキー（●）
操作の実行、メニュー項目を決定します。
1秒以上押すと、サイドキー操作有効／無効を設定します。
電話帳／上カーソルキー（）
電話帳検索画面を表示します。
音量を調節します。上の項目を選択します。
1秒以上押すと、電話帳新規登録ができます。
下カーソルキー（）
音量を調節します。下の項目を選択します。
着信履歴／左カーソルキー（）
着信履歴を表示します。画面を切り替えます。左の項目を選択します。1秒以上押すと、受信アドレス履歴を表示します。
リダイヤル／右カーソルキー（）
リダイヤルを表示します。画面を切り替えます。右の項目を選択します。1秒以上押すと、送信アドレス履歴を表示します。

⑪ **iモード／右フレキシブルキー（i）／iアプリキー（）**
iモードメニューを表示します。
1秒以上押すと、iアプリフォルダ一覧を表示します。

⑫ **タスクメニューキー（TASK）**
タスクメニューを表示します。

⑬ **電源／応答保留／終了キー（PWR）**
2秒以上押すと、電源を入れます／切ります。
通話を終了します。
着信中に押すと、応答を保留します。
メニュー表示などを終了します。

⑭ **クリアキー（CLR）**
入力した文字を消去したり、前画面に戻ります。

⑮ **ダイヤルキー（1～0）**
電話番号を入力します。
文字や数字を入力します。

⑯ **＃／マナーモード／改行キー（#）**
「＃」を入力します。
1秒以上押すと、マナーモードになります。
文字入力画面で押すと、改行します。

⑰ **送話口／マイク**
自分の声をここから伝えます。
録画や録音中はマイクになります。
- ここをふさがないでください。通話中にお客様の声が相手に聞こえにくくなったり、正常に録音されない場合があります。

⑱ **着信／充電／撮影ランプ**
着信時、撮影時や充電中などに点灯（点滅）します。

⑲ **フラッシュ／ライト**
撮影時に光量を補います。

⑳ **アウトカメラ**
静止画や動画を撮影したり、テレビ電話中に風景などの映像を相手に送信できます。

㉑ **背面ディスプレイ****→P29**

㉒ **ストラップ取付口**

㉓ **スピーカー**
ここから着信音が聞こえます。
ハンズフリー機能実行時は、ここから相手の声が聞こえます。

㉔ **リアカバー**

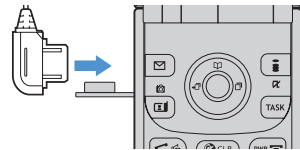
㉕ **充電端子**
卓上ホルダで充電するときに使います。

㉖ **サイドキー（▼（ボイス））****→P26**

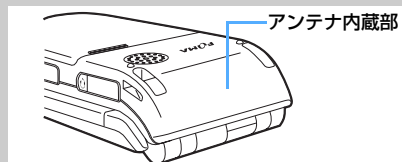
㉗ **サイドキー（▲）****→P26**
▲を1秒以上押すと、「＋」を入力します。

㉘ **miniSDメモリーカードスロット****→P361**
miniSDメモリーカードを入れます。

㉙ **イヤホンマイク端子**
平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を差し込んで使用します。
- イヤホンジャック変換アダプタ（別売）を使用すると、従来のイヤホンマイクを使用できます。

平型スイッチ付イヤホンマイクの接続方法

㉚ **外部接続端子**
ACアダプタなどを接続して充電します。
FOMA USB接続ケーブル（別売）を接続してパソコンと接続します。

お知らせ

- 操作手順などは、キーイラストをもとに説明しています。
- リアカバーの内部については「FOMAカードの取付けかた／取外しかた」や「電池パックの取付けかた／取外しかた」をご覧ください。→P36、38
- FOMA端末のアンテナは本体に内蔵されています。通話中やiモードご利用時などは、アンテナ内蔵部を手でおおわないでください。

サイドキーでできる主な操作

FOMA端末のサイドキー（▲、▼）を押してできる主な操作は次のとおりです。

状　態	操　作	操作の結果
FOMA端末を開いているとき		
待受画面	▲を1秒以上押す	国際電話発信時などに「+」入力
待受画面	▼を押す	時刻や不在着信、メール受信などの音声通知
電話帳、メール、テキストメモ選択時	▼を1秒以上押す	内容の音声読み上げ
各種一覧画面、詳細画面※1	▲、▼を押す	画面のスクロール
着信音・通知音鳴動時※2	▲、▼を押す	着信音、通知音、バイブレータの停止
アラーム鳴動時※2	▲、▼を押す	アラームの停止
テレビ電話、静止画／動画撮影時	▲、▼を押す	明るさの調整
FOMA端末を折りたたんでいるとき		
ー	▲を押す	背面ディスプレイの表示切り替え
ー	▼を押す	時刻や不在着信、メール受信などの音声通知

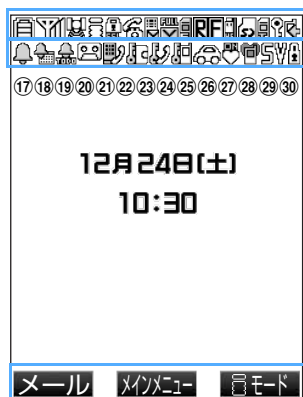
※1 画面によっては操作できない場合があります。
※2 折りたたんでいるときも同様の動作となります。

ディスプレイの見かた

ディスプレイには現在のモードを示したり、電池容量などFOMA端末の状態を表すさまざまなマーク（アイコン）が表示されます。

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚

12月24日(土)
10:30

メール　メインメニュー　モード

アイコン表示部
FOMA端末の状態・モードが待受画面に表示されます。

ソフトキー表示部
左右フレキシブルキーで、実行できる操作が表示されます。

お知らせ

- 同じ表示位置の機能（状態など）が複数起動している場合でも、優先順位が高いもの1つしか表示されません。
- Flash画像やiモーションの再生中は、アイコン表示部の2行目（⑰～㉚）は表示されません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

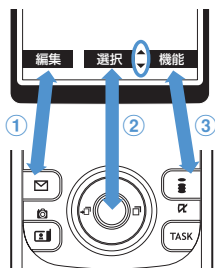
■ ディスプレイアイコン一覧

	アイコン	内　容
①		電池残量表示→P43
		充電中
		充電が正常に行われていない
②		電波受信レベル→P44
		サービスエリア外または電波の届かないところ
		セルフモード中→P136
③		現在地確認中／位置提供中／現在地通知中→P307
		定期現在地通知設定中→P325
		位置提供設定中→P319
		定期現在地通知設定中かつ位置提供設定中
④		iモード接続中→P185
	／	パケット通信中（待機中）／（送受信中）→P444
		パケット通信中（発信）
⑤		SSLページ表示中・SSLからダウンロードしたソフトウェア起動中→P187
⑥		音声電話通話中→P49
		テレビ電話通話中（64K）→P75
		64Kデータ通信中→P444
		赤外線通信中→P378
⑦		iモードセンターにメールあり（満杯はメールアイコンがオレンジ）→P244
		iモードセンターにメッセージRあり（満杯はRマークがオレンジ）→P211
		iモードセンターにメッセージFあり（満杯はFマークがオレンジ）→P211
⑧		受信BOX満杯→P254
		受信BOXに未読iモードメールあり→P254
		受信BOXに未読iモードメール／SMSあり→P254、→P277
		受信BOXに未読SMSあり→P277
⑨		FOMAカード（SMS）満杯→P280
⑩		未読メッセージRあり（満杯はオレンジ）→P211
⑪		未読メッセージFあり（満杯はオレンジ）→P211

	アイコン	内　容
⑫		USBハンズフリー動作中→P59
		USB接続状態表示（プリントモード）（USB未接続時はグレー）→P388
		USB接続状態表示（データ通信モード）→P446
		USB接続状態表示（miniSDモード）（USB未接続時はグレー）→P370
⑬		miniSDメモリーカード装着中（参照・アクセス時はオレンジ）→P361
		miniSDメモリーカード装着時の認識不可
	（オレンジ）	miniSDメモリーカード参照時の認識不可
⑭		ターミナルリンク（FOMAカード以外挿入時）
⑮		シークレットモード中（シークレットデータ編集中はオレンジ）→P138
⑯		不在着信あり→P70
⑰		アラーム設定中→P398
⑱		スケジュールアラーム設定中→P406
⑲		ToDoアラーム設定中→P411
⑳	／	伝言メモ設定中（数字は件数・満杯はオレンジ）→P71
㉑	／	センター留守電あり（数字は2件以上の件数）→P433
㉒		PIMロック中→P136
㉓		ダイヤル発信制限中→P137
㉔		オールロック中→P135
㉕		ドライブモード中→P69
㉖	／	マナーモード（時間経過OFF／期間設定）中→P115
㉗	（赤）	マナーモード（サイレントバイブ）中→P114
	／（緑）	マナーモード（おやすみ）中／マナーモード（オリジナルマナー）中→P115
㉘		音声着信音量OFF設定中→P111
㉙		音声着信バイブレータ設定中→P111
㉚		サイドキー操作無効中→P138

ソフトキーについて

待受画面や操作中にディスプレイ下部に表示されるソフトキーで操作や設定を行います。
ソフトキーの内容を実行するためには、左フレキシブルキー（✉）、右フレキシブルキー（i）とセンターキー（●）を使用します。

• ソフトキーの内容は操作状況により異なります。

■ ソフトキー①の内容を実行するとき

✉を押す

本書ではこの場合、「✉［編集］」と記載しています。［ ］内（［編集］など）がソフトキーの内容です。

■ ソフトキー②の内容を実行するとき

●を押す

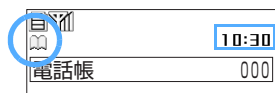
ソフトキー右側の「▲」や「▼」などは選択中の項目の上下に選択できる項目があることを示しています。カーソルキー（✣）を押して選択してから、●を押します。

■ ソフトキー③の内容を実行するとき

iを押す

本書ではこの場合、「i［機能］」と記載しています。［ ］内（［機能］など）がソフトキーの内容です。

タスクアイコンについて

使用中や動作中の機能がアイコン表示されます。（タスクアイコン）
複数の機能を実行している場合、複数のアイコンが表示されます。→P396

たとえば、電話帳を表示している場合、電話帳を示すタスクアイコンが表示されます。

現在の時刻が表示されます。

■ タスクアイコン一覧

アイコン	内　容	アイコン	内　容
	ダイヤル入力中		送受信アドレス履歴、着信履歴・リダイヤル表示中
	音声通話 発信／着信／通話中		静止画撮影起動中
	64Kテレビ電話 発信／着信／通話中		動画撮影起動中
	スケジュールアラーム		バーコードリーダー起動中
	ToDoアラーム		文字リーダー起動中
	アラーム		簡易電卓起動中
	メール・メッセージ閲覧中、メール設定中		和英辞書起動中
	メール／SMS新規作成中		英和辞書起動中
	iモード問合せ中、iモードメール送受信中、メッセージR/F送受信中		カタカナ英語辞書起動中
	SMS問合せ中、SMS送受信中		英単語クイズ起動中
	iモード中		カメラde辞書起動中

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

アイコン	内　容	アイコン	内　容
	Bookmark表示中		ボイスレコーダー起動中
	iアプリ実行中		miniSDメモリーカード内容表示中
	GPS機能起動中		伝言メモ再生起動中
	自局情報表示中		待受中音声メモ録音起動中
	データBOX表示中		通話中音声メモ再生起動中
	「マイピクチャ」フォルダ表示中		テキストメモ起動中
	「iモーション」フォルダ表示中		ダイヤルメモ起動中
	「メロディ」フォルダ表示中		待受中音声メモ再生起動中
	「キャラ電」フォルダ表示中		赤外線通信実行（待機）中
	「オリジナルデータ」フォルダ表示中		プリントモード
	電話帳表示中		ソフトウェア更新（待機）中
	カレンダー表示中		各種設定中

お知らせ

• FOMA端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんのでご了承ください。

背面ディスプレイの見かた

背面ディスプレイには電波状態や電池レベルのほか、時計やFOMA端末の状態が表示されます。また、通話中やメール着信などをアニメーションでお知らせします。

1 FOMA端末を折りたたんでいるときに、[▲]を押す

• 押すたびに次のように表示が変わります。状態表示で[▲]を押すと消灯状態になります。

FOMA端末の状態表示について

背面ディスプレイに表示されるアイコンとアニメーションは次のとおりです。

■ 背面ディスプレイアイコン一覧

アイコン	内　容	アイコン	内　容
	電池状態（0～3の4段階）→P43		miniSDメモリーカード装着中→P361
	電波状態→P44		認識できないminiSDメモリーカード装着中
	iモード接続中→P185		ドライブモード中→P69
圏外	圏外		マナーモード（期間設定）中→P115
	未読iモードメール／SMSあり→P254、277		マナーモード（時間経過OFF）中→P115
			マナーモード（サイレントバイブ）中→P115
R	未読メッセージRあり→P211		マナーモード（おやすみ）中→P115
F	未読メッセージFあり→P211		マナーモード（オリジナルマナー）中→P115
	SSL通信中→P187		音声着信音量OFF設定中→P111
	シークレット設定中→P138		音声着信バイブレータ設定中→P111
	不在着信あり→P70		アラーム設定中→P398
	伝言メモ設定中（数字は件数）→P71		スケジュールアラーム設定中→P406
	留守番電話あり（数字は件数）→P433		ToDoアラーム設定中→P411
	PIMロック中→P136		定期現在地通知設定中→P325
	ダイヤル発信制限中→P137		位置提供設定中→P319

■ お知らせアニメーション一覧

アニメーション	内　容	アニメーション	内　容	アニメーション	内　容
	音声発信		音声着信		音声通話
	テレビ電話発信		テレビ電話着信		テレビ電話通話
	アラーム		メール		メロディ

お知らせ

- FOMA端末を開くと、背面ディスプレイの表示は消えます。
- サイドキー操作を無効に設定していると、▲または▼を押すと「サイドキー操作無効」と表示され、画面の切り替えができなくなります。（日時、電池レベル、電波状態は表示されます）
- 電話番号が電話帳に登録されているときは、着信時に名前が表示されます。（シークレット属性を設定している場合、シークレットモード中以外表示されなくなります）
- 約10秒間操作しなければ、画面が消灯します。
- 充電中は、▯が点滅します。充電が正常に行われていないときは、▯は点灯せず、充電ランプのみ点滅します。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

メニューの選択方法

メニューから項目を選択して設定・実行します。メニュー画面ではダイヤルキーで選択する方法と、カーソルキーで選択して、● を押す方法があります。

- メニュー項目でグレー表示になっている項目は選択できません。
- 選択・設定を途中でやめるときは、PWR を押すと待受画面に戻ります。
- 前の画面に戻るときは、CLR を押します。

メニューから機能を選択する

待受画面で ● を押すと、メインメニューが表示されます。任意のアイコンを選択すると、その項目のメニュー／フォルダ一覧が表示されます。一覧から任意の項目を選び、設定します。

- 待受画面で ✉、i、GPS を押すと、それぞれのメニューが表示されます。項目の設定方法はメインメニューと同じです。
  - ✉：メールメニューを表示します。
  - i：iモードメニューを表示します。
  - GPS：GPS メニューを表示します。
- メニューの説明を表示させるように設定することができます。→P126

〈例〉着信音量を変更する

1 待受画面で ● を押す

メインメニューが表示され、12 個の項目がアイコン表示されます。

- ✣（カーソルキーの上下左右）を押してアイコンを選択します。
- 選択されている項目は、アイコンの形状が変わります。

例：データ BOX

非選択

選択

2 ✣ を押して を選択し、● を押す

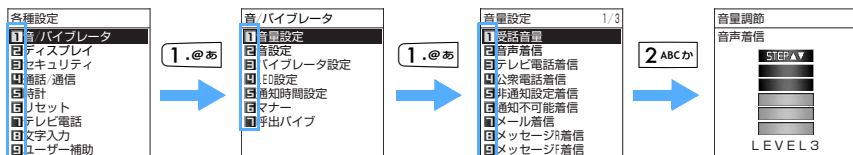
各種設定
1音/バイブレータ
2ディスプレイ
3セキュリティ
4通話/通信
5時計
6リセット
7テレビ電話
8文字入力
9ユーザー補助

各種設定画面が表示されます。

次ページへつづく

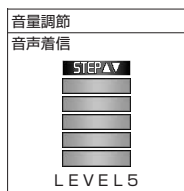
3 1.@あ「音/バイブレータ」を押して1.@あ「音量設定」を押し、2ABCか「音声着信」を押す

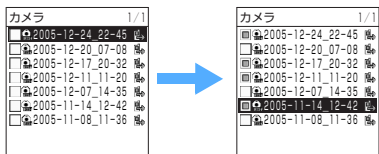
音量調節画面が表示されます。

- 項目の頭についている□で囲まれた番号はダイヤルキーの番号を表します。

■ カーソルキーで選択するとき

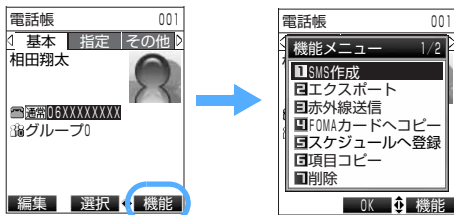
（カーソルキーの上下）を押して項目を選択し、● を押す

- 選択されている項目は反転表示します。

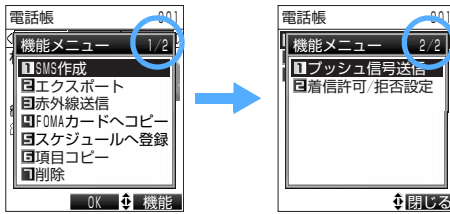
4 を押して音量を調節し、● を押す

複数を選択する

選択削除など、複数を選択する場合は、ファイルなどを選択して ● を押すと、□が▣に変わります。すべてのファイルを同じように選択したあと、実行します。

機能メニューから機能を選択する

メニュー画面を表示していたり、機能を実行しているときに、ソフトキーに「機能」が表示されることがあります。i（右フレキシブルキー）を押して操作します。

1 画面にソフトキー「機能」が表示されているときに、i を押す

機能メニューが表示されます。

■ 機能メニューなどのページが複数あるとき

◎を押し、次のページを表示する、または◎を押し、前のページを表示する

前後のページが表示されます。◎を押して項目を選択します。
ページが複数ある場合、画面右上に「現在表示中のページ/ページ総数」が表示されます。

2 ダイヤルキーを押すか、◎を押して選択して◉を押す

お知らせ

- ⓘを押して、次のページを表示することもできます。最後のページで押すと、機能メニューを閉じます。

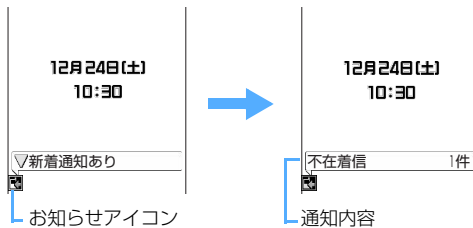
お知らせアイコンから情報を表示する<お知らせアイコン>

不在着信があったり、メールを受信したりしたとき、待受画面にお知らせアイコンと通知内容が表示され、すばやく通知内容の情報を表示できます。

〈例〉不在着信があるとき

1 「新着通知あり」が表示されているときに◎を押す

通知内容が表示されます。

- お知らせアイコンだけが表示されているときは、◎を押すと通知内容が表示されます。

■ お知らせアイコンが複数あるとき

通知内容を表示した状態で◎を押すと、通知内容を切り替えられます。

2 ◉を押す

不在着信履歴一覧が表示されます。

次ページへつづく

■ お知らせアイコン一覧

• 通知内容の件数は1件の場合です。

アイコン	通知内容	選択・実行後の画面表示
	不在着信　　1件	不在着信履歴が表示されます。発着信履歴表示が「OFF」の場合はメッセージが表示されます。
	留守番電話　あり	留守番メッセージ再生確認画面が表示されます。
	伝言メモ　　1件	伝言メモ一覧画面が表示されます。
	メール　　1件	最新のｉモードメール／SMSが保存されているフォルダが表示されます。
	メッセージR　　1件	メッセージR一覧画面が表示されます。
	メッセージF　　1件	メッセージF一覧画面が表示されます。
	ｉアプリ自動起動失敗	ｉアプリ自動起動が失敗したというメッセージが表示されます。
	スケジュールアラーム　1件	スケジュールが表示されます。（2件以上のときは一覧が表示されます）
	ToDoアラーム　　1件	ToDoが表示されます。（2件以上のときは一覧が表示されます）
	アラーム　　1件	未確認アラーム一覧が表示されます。
	ソフトウェア更新完了	ソフトウェア更新が完了したというメッセージが表示されます。
	ソフトウェア更新　説明あり	ソフトウェア更新ができなかった理由などが表示されます。
	通知失敗／不応答　1件	位置履歴が表示されます。

折りたたんでいるときに情報を表示する

お知らせアイコンの通知内容を背面ディスプレイで表示できます。

• マナーモード中は音声は出ません。

〈例〉メールを受信しているとき

1 FOMA端末を折りたたんでいるときに、（ボイス）を押す

メール受信件数が表示されます。

• 複数のお知らせアイコンがあるときは、を押すたびに表示します。

お知らせ

• 電話を受けたり、アラームを停止させたりしたときは、お知らせアイコンは表示されません。
• お知らせアイコンを選択・実行すると、表示は消えます。
• お知らせアイコンの内容を音声で確認することができます。→P429
• 通知内容を表示中は、◉を押してもメインメニューは表示されません。◎を押して表示内容を消し、◉を押してください。

操作手順の記載について

この取扱説明書では、操作の手順を次のように記載しています。

〈例 1〉

1   ▶ 1.@あ を押す

〈例 1〉の操作は次のようになります。

まず、待受画面で ●（センターキー実行）を押す
次に、✥ を押し、各種設定 を選択して ● を押す
最後に、1.@あ（メニューの1番目の選択）を押す

〈例 2〉

2 i［機能］▶ 「ファイルソート」を押す

〈例 2〉の操作は次のようになります。

まず、i（右ソフトキー実行）を押す

- 左右フレキシブルキーを押す場合、ソフトキーの内容を［　］内に表示しています。

次に、◎ を押して次のページを表示する
最後に、3 DEF さ（「3 ファイルソート」の選択）を押す

お知らせ

- センターキーの内容は省略し、「●」のみ記載しています。
- 設定後、PWR を押してメニューを閉じる手順は省略しています。
- 設定内容によっては、設定したとき確認メッセージが表示される場合があります。約5秒後に確認メッセージは消えますが、● を押して消すこともできます。（手順では省略しています）

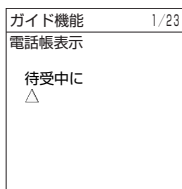
ガイド機能

キー操作を忘れてしまったとき

- 詳しい操作方法については本書の各操作項目をご確認ください。

1 ● ▶ ▶   を押す

ガイド機能画面が表示されます。

次ページへつづく

2 ⊕を押して、ガイドを表示する

押すごとに、項目が切り替わります。

- 終了するときは◉を押します。

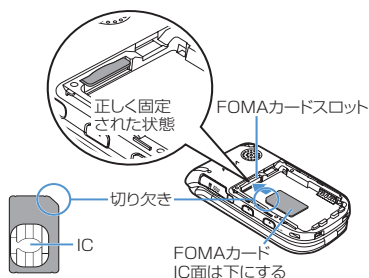
FOMAカードを使う

FOMAカードにはお客様の電話番号などの情報が記録されています。

FOMAカードの取付けかた／取外しかた

- FOMAカードの取付け／取外しは電源を切ってから、電池パックを取外し、FOMA端末を折りたたんだ状態で行います。→P38

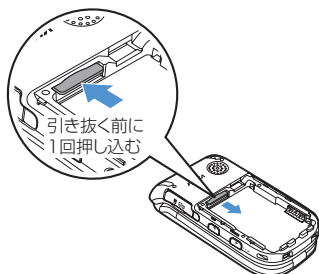
取付けかた

1 FOMAカードを図のような向きにして、FOMAカードスロットの奥までゆっくり押し込む

- 正しく取付けられると、図のような位置でFOMAカードが固定されます。

取外しかた

1 FOMAカードスロットに取付けられているFOMAカードを指で軽く押し込む

2 FOMAカードを矢印の方向へ水平に引き抜く

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

お知らせ

- 外したFOMAカードはなくさないようにお気をつけください。
- FOMAカードを無理に取付けようとしたり、引き抜こうとするとFOMA端末（FOMAカードスロット）、FOMAカードが壊れることがありますので、ご注意ください。

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号があります。

PIN1コード：プライバシー保護のためFOMA端末の電源を入れるたびに入力するように設定できます。

PIN2コード：サイトやインターネットで個人認証を行うときに入力します。

- ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、4～8桁の任意の数字に変更できます。
- PINコードがロックされた場合は、PINロック解除コードを入力します。→P133

FOMAカード動作制限機能について

FOMAカード動作制限機能は、お客様のデータやファイルを保護するためのものです。
FOMAカードを取付けているときに、サイトやインターネットホームページからデータやファイルをダウンロードすると、それらにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。

- 別のFOMAカードを取付けたり、FOMAカードを抜き取った状態ではFOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルの表示・再生はできません。
- FOMAカード動作制限の対象となるデータは次のとおりです。
  - 画像
  - メロディ
  - iアプリ
  - 辞書データ
  - iモーション
  - 画面メモ
  - キャラ電
  - 祝日データ
  - デコメール本文中に挿入された画像
  - iモードメール添付のファイル
  - アニメーション（Flash画像）
  - デコメールテンプレート
  - メッセージR/F添付のファイル
  - フレーム・スタンプ
  - メニューアイコン

お知らせ

- 赤外線通信やminiSDメモリーカード、データリンクソフトを利用して取得したデータやファイル、FOMA端末内蔵のカメラで撮影した画像やファイル制限のない編集された画像は、FOMAカード動作制限機能の対象とはなりません。
- FOMA端末内蔵の画像やiモーション、iアプリ、キャラ電、メロディなどは動作制限機能の対象にはなりませんが、一度削除してダウンロードした場合は動作制限機能の対象となります。
- FOMAカード動作制限機能の対象になっているデータを待受画面や発着信画面、着信音などに設定している場合、別のFOMAカードを取付けたり、FOMAカードを抜いた状態で起動すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

FOMAカードの機能差分について

FOMAカードには緑色と青色の2種類があり、それぞれのカードは次のように機能が異なります。

項　目	FOMAカード（緑色）	FOMAカード（青色）
FOMAカード電話帳に登録可能な電話番号の桁数	最大26桁	最大20桁
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用可	利用不可
WORLD WINGサービスの利用	利用可	利用不可
サービスダイヤル	利用可	利用不可

次ページへつづく

WORLD WINGについて

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色）をサービス対応のFOMA端末や海外用携帯電話（W-CDMAまたはGSM方式）に差し替えることにより、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

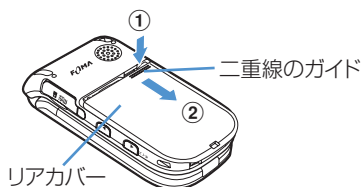
WORLD WINGはお申込み手続きなしでご利用いただけます。

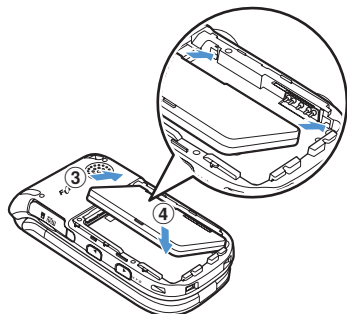
※2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをご契約いただいていないお客さまは、WORLD WINGをご利用される場合、別途お申込み手続きが必要となります。
※一部ご利用になれない料金プランがあります。

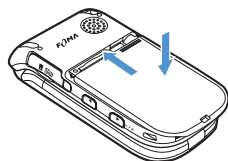
電池パックの取付けかた／取外しかた

- 電池パックの交換や取付け／取外しは、電源を切ってから行ってください。

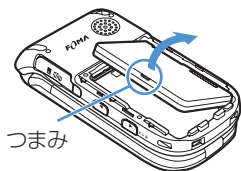
取付けかた

1 リアカバーについている二重線のガイドに指を押しあてて、スライドさせて外す

①の方向に押しあてて、②の方向にスライドさせて外します。

2 電池パックの印字面を上にして取付ける

電池パックとFOMA端末の金属端子部があうように③の方向に押し付け、④の方向にはめ込みます。

3 リアカバーを付ける

リアカバーのつめとFOMA端末の溝があう位置に約3mmすき間をあけてFOMA端末にのせ、音がするまでスライドさせます。

取外しかた

1 リアカバーを外し、電池パックを外す

電池パックのつまみを押し上げ、矢印の方向に持ち上げて取外します。
- リアカバーの外しかたは取付けかたと同じです。

お知らせ
- 電池パックを無理に取付けようとするとFOMA端末の端子が壊れることがあります。
- 電池パックの取付けや取外しは、FOMA端末を折りたたんだ状態で行ってください。

携帯電話を充電する

- お買い上げ時は、電池パックは満充電されていません。必ず専用のACまたはDCアダプタで充電してからお使いください。

充電時のご注意

電池パックの上手な使いかた

FOMA端末専用の電池パックをご使用ください。
- 電池パックの詳しい取扱いについては、電池パックの取扱説明書をご覧ください。
- 夏期、閉めきった車内に放置するなど極端に高温や低温環境では、電池の容量が低下し、使用できる時間が短くなります。また電池の寿命も短くなります。できるだけ常温でご使用ください。
- 電池パックには寿命があります。充電しても、短い時間しか使用できないなど、電池パック本来の機能が回復しない場合は寿命と考えられます。指定の新しい電池パックをご購入ください。
- 電池パックの寿命は約1年です。ただし、使用頻度により寿命は短くなります。

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

充電について

- 電源を入れたままで長時間（数日間）の充電はおやめください。
  FOMA端末の電源を入れたまま、長時間充電すると、充電完了後にFOMA端末の電池パックから電源が供給されるようになります。電池パックが消費されるため、短い時間しか使用できずにアラームが鳴る場合があります。このような場合は、もう一度正しい方法で充電を行ってください。再充電のときは、一度FOMA端末をACアダプタ（卓上ホルダ）やDCアダプタから外して、接続し直してください。
- 長時間使用しなかったときは、充電してください。
- 充電中にFOMA端末の電源を入れておくと、電話を受けたり、メールを受信できます。ただし、充電時間は長くなります。
- 電池パック単体での充電はできません。かならずFOMA端末に取付けてから充電してください。

充電時間・使用時間（満充電時）について

■ 充電にかかる時間

• FOMA端末の電源を切って、電池パックを空の状態から充電したときの時間です。

FOMA AC アダプタ 01	FOMA DC アダプタ 01
約120分	約120分

■ 使用可能時間（満充電時）

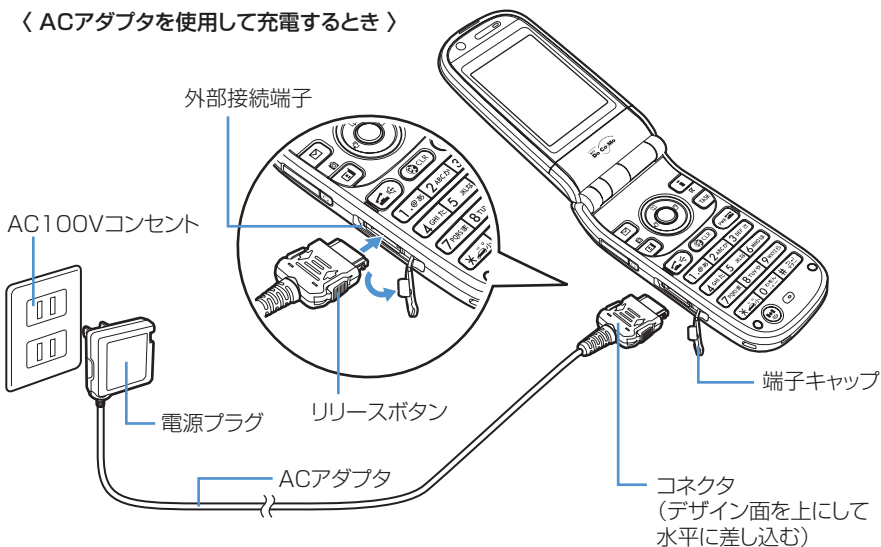
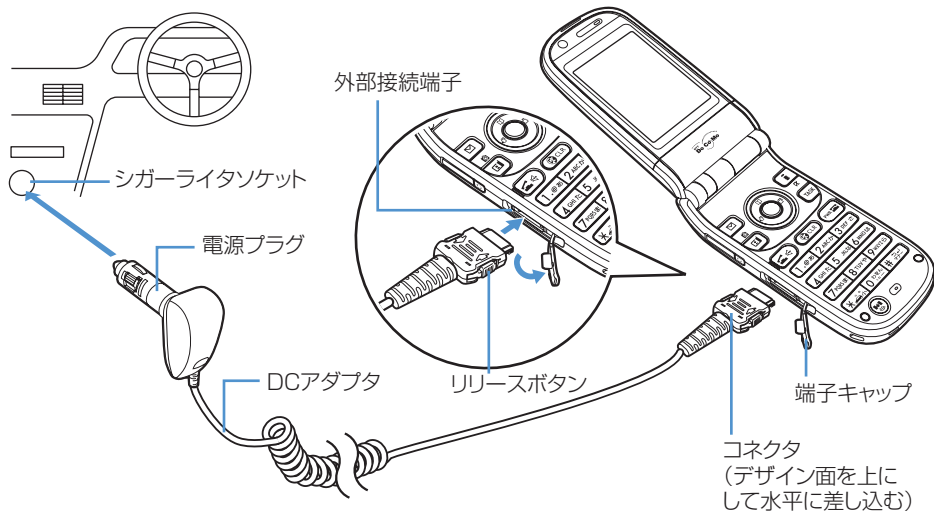
• 使用環境によって使用時間は変わります。

連続待受時間（静止時）	連続待受時間（移動時）	連続通話時間（音声電話通話時）	連続通話時間（テレビ電話通話時）
約330時間	約250時間	約140分	約90分

• 連続通話時間は、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用する場合の目安です。
• 連続待受時間はFOMA端末を折りたたんで電波を正常に受信できる状態で移動した場合の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い場合など）などにより、通話（通信）・待受時間は約半分程度になる場合があります。iモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。
• iモードメールの作成、iアプリの起動やデータ通信、カメラの使用やマルチアクセスの実行などを行った場合、通話（通信）・待受時間は短くなります。

ACアダプタ／DCアダプタを使って充電する

別売りのACアダプタ、DCアダプタ、卓上ホルダを使用して充電します。
• 必ずFOMA ACアダプタ01（別売）またはFOMA DCアダプタ01（別売）の取扱説明書をご覧ください。
• FOMA端末に電池パックを入れておいてください。

〈 ACアダプタを使用して充電するとき 〉

〈 DCアダプタを使用して充電するとき 〉

1 FOMA端末の外部接続端子のキャップを開ける

2 ACアダプタまたはDCアダプタのコネクタの矢印マークを上にして、FOMA端末の外部接続端子に差し込む

• カチッと音がするまで水平に差し込みます。

3 ACアダプタの場合は、電源プラグを起こし、コンセントに差し込む DCアダプタの場合は、DCアダプタのプラグを車のシガーライタソケットに差し込む

充電開始の確認音が鳴り、充電ランプが点灯して充電が始まります。

4 充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く DCアダプタの場合、プラグをシガーライタソケットから抜く

5 FOMA端末からコネクタを取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜く

• 無理に引っ張ろうとすると故障の原因になります。

6 FOMA端末の外部接続端子のキャップを閉じる

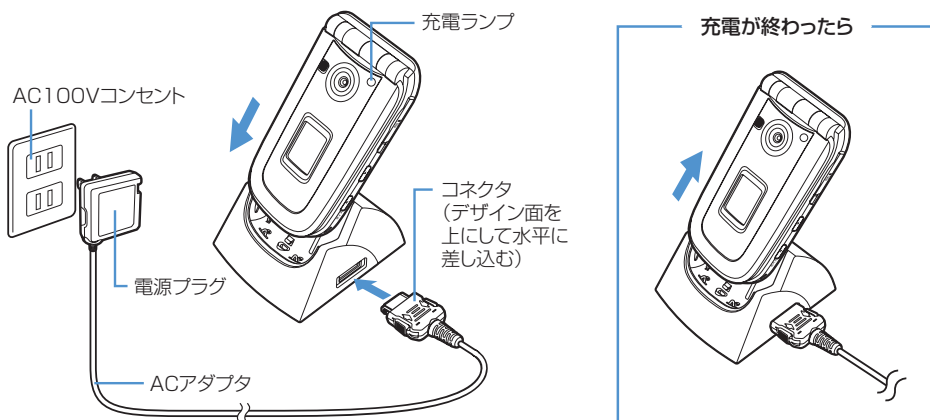
次ページへつづく

お知らせ

- 充電中は充電ランプが赤く点灯します。充電が完了すると、消灯します。
- 充電が始まってすぐに充電ランプが点灯しない場合があります。充電が始まってしばらくしても点灯しない場合は、FOMA端末を一度ACアダプタ（卓上ホルダ）またはDCアダプタから取外し、接続し直してから充電してください。
- 充電中はFOMA端末や電池パックやACアダプタ、DCアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- マナーモード中やドライブモード中、通話中、iモード接続中、電源が入っていないときなどは充電開始／完了時の確認音は鳴りません。
- ACアダプタはAC100Vコンセントに接続してください。
- DC アダプタはエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリーを消耗させてしまう場合があります。
- コネクタを抜き差しするときは、無理な力がかからないようにしてください。
- DCアダプタのヒューズ（2A）は消耗品ですので、交換に際しては、お近くのカー用品店などでお買い求めください。
- DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。
- 電池パックを外したままの状態や電池残量が空の状態でも、FOMA 端末に保存・登録されているデータは、約1ヶ月は保持されています。それ以上経過すると消失する可能性があります。また、FOMA端末の故障、修理やその他の取扱いによっても消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

卓上ホルダを使って充電する

卓上ホルダ（別売）を使用して充電します。

- 必ず卓上ホルダ SA01（別売）の取扱説明書をご覧ください。

1 ACアダプタのコネクタを卓上ホルダの端子に差し込む

2 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

3 FOMA端末を卓上ホルダに図のように置く

充電開始の確認音が鳴り、充電ランプが点灯して充電が始まります。

- カチッと音がするまで差し込んでください。

4 充電が終わったら、FOMA端末を矢印の方向に抜いて、卓上ホルダから外す

お知らせ

- FOMA端末を卓上ホルダにしっかり取付けてください。
- ACアダプタはAC100Vコンセントに接続してください。
- FOMA端末を卓上ホルダへ取付けるときにストラップなどを挟まないようにしてください。
- 卓上ホルダだけでは充電することはできません。
- 充電中はFOMA端末や電池パックやACアダプタ､卓上ホルダが温かくなることがありますが､異常ではありません。
- マナーモード中やドライブモード中、通話中、iモード接続中、電源が入っていないときなどは充電開始／完了時の確認音は鳴りません。
- 卓上ホルダは平らな面に置いて使用してください。また、卓上ホルダへの取付けや取外しを行うときは、FOMA端末を折りたたんでください。
- 長時間使用しないときはACアダプタをコンセントから抜いてください。

電池残量

電池残量の確認のしかた

ディスプレイに電池残量を示すアイコンが表示されます。

- 電池残量表示は、あくまでも目安としてご利用ください。

■ ディスプレイの場合

(電池レベル3)：十分残っています。
(電池レベル2)：少なくなっています。
(電池レベル1)：ほとんど残っていません。
(電池レベル0)：電池がありません。

■ 背面ディスプレイの場合

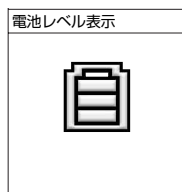
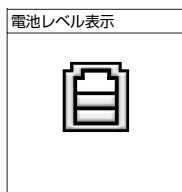
FOMA端末を折りたたんでいる場合に、▲または▼を押すと表示されます。

(電池レベル3)：十分残っています。
(電池レベル2)：少なくなっています。
(電池レベル1)：ほとんど残っていません。
(電池レベル0)：電池がありません。

電池残量を音と表示で確認する

- 充電中は確認音は鳴りません。

1 ▶   ▶ ▶   **を押す**

電池レベルが表示され、確認音が鳴ります。

電池レベル3

電池レベル2

電池レベル1

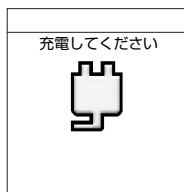
「トゥル トゥル トゥル」(電池レベル3)：十分残っています。
「トゥル トゥル」(電池レベル2)　　：少なくなっています。

次ページへつづく

「トゥル」(電池レベル１)　　　　　　：ほとんど残っていません。

お知らせ

• マナーモード中、ボタン確認音が「OFF」のときは電池残量の確認音は鳴りません。

電池が切れたら

電池が切れそうになると、ディスプレイにメッセージが表示され、アラーム音が鳴ります。

• 表示後、約１分後に電源が切れます。
• アラーム音をすぐに止めたいときはいずれかのキーを押します。

お知らせ

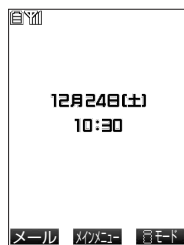
• 通話中に電池が切れそうになると、ディスプレイにメッセージが表示され、約20秒後に通話が切断されます。
• データをダウンロード中に電池が切れそうになると、アラーム音が鳴り、ダウンロードが中断される場合があります。
• マナーモード中、ドライブモード中はアラーム音は鳴りません。
• アラーム音が鳴って、電池が切れた場合、編集中のデータ内容（電話帳、スケジュール、ToDo、テキストメモ、自局情報、現在地通知先）は一時的に保存されます。

電源ON／OFF

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 PWR を２秒以上押す

12月24日(土)
10:30
メール　メインメニュー　モード

待受画面

アニメーションが表示され、待受画面が表示されます。

■「圏外」表示が出ているとき

サービスエリア外や電波の弱いところにいます。電波の強いところに移動してください。

• 受信レベルのアイコンが画面に表示されます。目安にしてください。

(強い) → → (弱い) → 圏外

電源を切る

1 待受画面で PWR を２秒以上押す

お知らせ

- が表示されていても、通信が切れる場合があります。
- 移動しながら通話すると電波の強さが安定しません。デジタルの特性上、急に通話が切れることがあります。できるだけが表示されている状態で使用することをおすすめします。
- PIN1コード入力設定が「ON」の場合、PIN 1コード入力画面が表示されます。PIN1コードを入力すると、待受画面が表示されます。
- お買い上げ時は日時が設定されていません。日付時刻設定を行ってください。
- FOMAカードが取付けられていないときは、FOMAカードの挿入が必要な旨のメッセージが表示されます。電源を切り、FOMAカードを正しく取付けてから電源を入れなおしてください。

初期値設定

初期設定を行う

初めて電源を入れたときに、日付時刻設定、端末暗証番号変更、ボタン確認音などの設定を行います。

- 設定をリセットしても、初期値設定は表示されません。

1 日付時刻設定画面が表示されたら、年月日、時刻を入力して ● を押す

端末暗証番号変更画面が表示されます。お買い上げ時は「0000」となります。

- 設定方法は「日付時刻設定」と同じです。→P46

2 1「はい」を押し、端末暗証番号を設定する

- ボタン確認音画面が表示されます。
- 操作方法について→P131
- 変更しないときは 2「いいえ」を押します。

3 1 〜 3 を押す

初期値設定画面が表示されます。

- 鳴らさないときは 4「OFF」を押します。

4 1「次回起動」または 2「起動しない」を押す

- 電源を入れるたびに初期設定を行うときは 1「次回起動」を押します。

お知らせ

- ダイヤル発信制限中、オールロック中は初期値設定できません。
- 設定中に着信などがあり、途中で設定が終了した場合でも、設定が終了していた機能については有効になります。

日付時刻設定

日付・時刻を合わせる

FOMA端末の日付・時刻を設定します。設定後、ディスプレイや背面ディスプレイに日時が表示されるようになります。

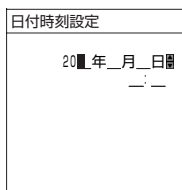
- 日時は2000年1月1日0:00～2099年12月31日23:59まで入力できます。

〈例〉2005年12月24日10:30にする場合

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 5 JKLな ▶ 1 .@あ を押す

日付時刻設定

20▁年＿月＿日
＿:＿

日付時刻設定画面が表示されます。

2 西暦の下2桁から順番に入力し、● を押す

日付・時刻が設定されます。

- ここでは、「0512241030」とダイヤルキーを押します。
- 月、日が1～9のときは、前に0を入力します。（例：9月の場合、「09」と入力します）
- ◎を押して、反転表示させ、ダイヤルキーを押すか、◎を押して設定することもできます。

お知らせ

- 日付・時刻を設定しないと次の機能は利用できません。
  - SSL通信（認証）※　- iアプリ自動起動　- iアプリDX起動　- iアプリからのブラウザ起動
  - 静止画／動画撮影　- ボイスレコーダー録音　- 定期現在地通知設定　など

  ※サイトによっては利用できる場合もあります。
- 日付・時刻を設定すると、次の機能で日時が表示されます。
  - リダイヤル　- 着信履歴　- 伝言メモ　- 通話中／待受中音声メモ
  - 受信／送信アドレス履歴　など
- 設定した日時は、電池パックを交換する場合や電池パックが切れたときにも保持されます。ただし、長期間電池パックが切れた状態にしておくと、設定した日時はリセットされます。その場合は、再度設定してください。

GPS時刻設定

GPSを利用して時刻を合わせる

お買い上げ時	OFF

GPSを利用して、FOMA端末の時計を正確にあわせることができます。

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 5 JKLな ▶ 2 ABCか を押す

2 1 .@あ「ON」を押す

測位を開始し、時刻が補正されます。

- 設定しないときは 2 ABCか 「OFF」を押します。

お知らせ

- FOMA端末に「圏外」、「」と表示されている場合、GPS時刻設定はできません。
- GPS時刻設定を「ON」にしておくと、現在地確認など測位するごとに自動的に時刻を補正します。
- GPS時刻設定を「ON」にしたときに行われるGPS測位については、測位中のアイコンは表示されません。
- GPS時刻設定時の測位は位置履歴に保存されません。

発信者番号通知

相手に自分の電話番号を通知する

電話をかけたときに、相手の電話機のディスプレイにFOMA端末の電話番号（発信者番号）を表示させることができます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。

1

2 **1「通知する」を押す**

- 通知しないときは2「通知しない」を押します。

3 **ネットワーク暗証番号を入力し、●を押す**

発信者番号が通知される設定になります。

■ 設定内容を確認するとき

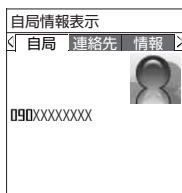
● ▶ NWサービス ▶ 5 ▶ 1 を押す

お知らせ

- FOMA端末に「圏外」と表示されている場合は発信者番号通知の設定はできません。
- 電話をかけたときに、番号通知お願いガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。→P54
- 発信者番号は相手の電話機が発信者番号表示対応の場合に通知されます。

自局情報表示
自分の電話番号を確認する

FOMA端末の電話番号（自局電話番号）を確認します。

1 ● ▶ 0 を押す

FOMA端末の自局電話番号が表示されます。
- お買い上げ時は自局電話番号のみ表示されます。

お知らせ

- ● ▶ 自局情報表示 を押しても確認できます。
- 自局電話番号以外の個人情報を登録することもできます。→P416

■ iモードのメールアドレスを確認するとき

① i ▶ iMenu を押す
② 8 「オプション設定」を押す
③ 1 「メール設定」を押す
④「アドレス確認」を選択し、● を押す

電話のかけかた／受けかた

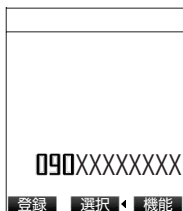
電話のかけかた

電話の受けかた

電話に出られないとき／出られなかったとき

電話をかける

ここでは、音声電話のかけかたと、音声電話とテレビ電話での共通の操作を説明します。

1 待受画面で市外局番から電話番号を入力する

- 同一市内への通話でも、必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号は3～80桁まで入力できます。
- 電話番号を訂正するには、CLRを押します。
- 最初から電話番号を入力し直したいときは、CLRを1秒以上押すか、PWRを押して待受画面に戻してから行ってください。

一般電話にかける：市外局番－市内局番－電話番号
携帯電話にかける：090－XXXX－XXXX、080－XXXX－XXXX
PHSにかける　：070 － XXXX － XXXX

2 発信キーを押す

「プップップッ」という発信音がして電話がかかります。
- 「プープー」という話中音が聞こえるときは、相手が話し中です。PWRを押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。
- ●▶1「音声発信」を押しても電話がかかります。
- 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いするガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。→P47、54
- 相手の携帯電話やPHSの電源が入っていないとき、または相手が電波の届かない場所にいるときには、ガイダンスで接続できないことをお知らせします。

3 通話が終わったらPWRを押す

お知らせ

- 手順2→手順1の順に操作しても電話をかけられます。発信キーを押して電話番号を入力したあと、約5秒経過すると自動的に音声電話がかかります。
- クローズ動作を「切断」にしているときは、通話中に FOMA 端末を折りたたむと電話を切ることができます。→P61
- 他の機能を実行中に電話をかけることができない場合があります。→P518
- ダイヤル発信制限中は、ダイヤルキーを押して電話をかけることはできません。
- 音声通話中に発信キーを1秒以上押すと、相手の声がスピーカーから聞こえる状態で通話できます。
- 発信・通話中は、内蔵アンテナ部分を覆わないようにしてご利用ください。→P25
- 通話中に別の画面などが表示された場合は、CLRを押すと通話中画面に戻ります。

電話番号を入力したあとにできる機能

待受画面で電話番号を入力したあと、いろいろな機能を使って発信したり、電話帳に登録したりできます。

1 待受画面で市外局番から電話番号を入力する

2 機能を選択する

- 次の操作は、通話中に電話番号を入力しても行えます。

■ 自分の電話番号を相手に通知するかどうかを設定するとき

① i［機能］▶ 1「発信者番号通知設定」を押す

② 1「番号非通知」または 2「番号通知」を押す

- 設定した内容を解除するときは 3「設定削除」を押します。

■ 国際電話番号などを付加して電話をかけるとき

① i［機能］▶ 2「番号付加」を押す

② 1 ～ 3 を押す

プレフィックス：プレフィックス一覧から番号を選択し、● を押します。
国際アクセス番号：国際電話設定で登録した番号を付加します。
マルチナンバー：マルチナンバーについて→P441

■ 電話帳に登録している電話番号を引用するとき

通話中に数字入力後も行えます。（引用後は不要な数字を削除してください）

① i［機能］▶ 3「電話帳引用」を押す

② 電話帳を選択し、● を押す

- 電話帳の検索方法について→P98

③ 電話番号を選択し、● を押す

■ リダイヤルや着信履歴などの電話番号を引用するとき

通話中に数字入力後も行えます。（引用後は不要な数字を削除してください）

① i［機能］▶ 4「履歴引用」を押す

② 1 ～ 4 を押す

③ 電話番号を選択し、● を押す

④ ● を押す

■ 電話番号を電話帳に新規登録するとき

✉［登録］▶ 1「電話帳新規登録」を押す

- 以降の操作：→P89「FOMA端末電話帳に登録する」手順2～6、→P94「FOMAカード電話帳に登録する」手順2～4

■ 電話番号を電話帳に追加登録するとき

① ✉［登録］▶ 2「電話帳追加登録」を押す

② 電話帳を選択し、● を押す

- 以降の操作：→P101「電話帳を修正する」手順3～5

音声電話の通話中に保留にする<通話中保留>

音声電話の通話を保留にします。

1 通話中に ● を押す

通話が保留になり、相手に保留音が流れます。
- 保留を解除するには、再度 ● または [終話] を押します。

お知らせ

- 保留中も電話をかけた側に通話料金がかかります。
- クローズ動作を「保留」にしているときは、通話中にFOMA端末を折りたたむと保留にできます。
- 保留中に流れるメロディは変更できます。→P68

リダイヤル

前にかけた相手にかけ直す

前にかけた電話をリダイヤルとして記録しておき、そこから電話をかけ直します。
- リダイヤルは30件まで記録されます。（30件を超えると古いものから削除されます）
- 同じ電話番号にかけた場合、最新の1件のみが記録されます。

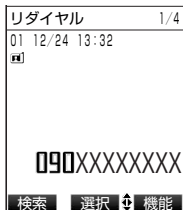
1 ◎ を押す

リダイヤル一覧画面

リダイヤル一覧画面が表示されます。
- 相手の電話番号、日付、発信時間が表示されます。
- 相手の電話番号が電話帳に登録されている電話番号と一致したときは、名前が表示されます。

■ 電話帳に登録されている画像を表示しないときは

[i]［機能］▶ [6] 「フォト表示OFF」を押す
- 表示するときは [6] 「フォト表示ON」を押します。

2 かけ直す相手を選択し、● を押す

リダイヤル詳細画面

リダイヤル詳細画面が表示されます。

■ 電話帳に登録されている画像を背景として表示しないときは

[i]［機能］▶ [6] 「シースルー表示OFF」を押す
- 表示するときは [6] 「シースルー表示ON」を押します。

■ リダイヤルに表示されるアイコンについて

アイコン	内　容	アイコン	内　容
(icon)	音声電話発信	(icon)	国際電話発信
(icon)	テレビ電話発信		

3 (発信キー) を押す

- (テレビ電話キー) を押すとテレビ電話をかけられます。
- (●) を押すといろいろな機能を利用できます。→P205

リダイヤルからｉモードメールを送る

- 電話番号が電話帳に登録されていて、その電話帳にメールアドレスが登録されていると、メールアドレスが宛先になります。登録されていないときは、電話番号が宛先になります。

① (右キー) を押す
② メールを送る相手を選択し、(i)［機能］を押す
③ (1)「メール作成」を押す
以降の操作：→P230「ｉモードメールを作成して送信する」手順４～６

お知らせ

- リダイヤル詳細画面からメールを作成するには、(i)［機能］▶(1)「メール作成」を押します。
- 電源を切っても、リダイヤルは削除されません。
- リダイヤル一覧表示画面で (左キー) を押すと、着信履歴一覧を表示できます。
- PIMロックやダイヤル発信制限を設定すると、それまでのリダイヤルはすべて削除されます。設定後にリダイヤルが１件目から記録されます。
- 相手の電話番号が複数の電話帳に登録されているときは次の順位で優先されます。
  ① 通常使用の電話番号として登録している電話帳
  ② フリガナの50音順
  ③ メモリダイヤル番号の小さい順
- リダイヤルがシークレットに設定されている電話帳のデータのときは、電話番号のみ表示され、名前は表示されません。
- 発着信履歴表示が「OFF」のときは、リダイヤルは表示されません。

リダイヤルを削除する

1 (右キー) を押す

2 リダイヤル一覧画面でリダイヤルを選択し、(i)［機能］▶ (2)「削除」を押す

3 (1)「１件削除」を押す

■ 選択削除するとき

① (2)「選択削除」を押す
② リダイヤルを選択し、(●) を押す
- 解除するときは (●) を押します。
- (メールキー)［詳細］を押すと、リダイヤルの詳細を表示できます。一覧に戻るには (メールキー)［一覧］を押します。

③ (i)［実行］を押す

電話のかけかた／受けかた

次ページへつづく

■ 全件削除するとき

① 3 「全件削除」を押す

② 端末暗証番号を入力し、● を押す

4 1 「はい」を押す

- 削除しないときは 2 「いいえ」を押します。

お知らせ

- リダイヤル詳細画面で削除するには i ［機能］ ▶ 2 「削除」を押します。

1回の通話ごとに電話番号を通知するかしないかを設定する

電話をかけたときに、相手の電話のディスプレイに自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。

「186」／「184」を付けてダイヤルする

電話番号を通知する場合は相手の電話番号の前に「186」、通知しない場合は「184」をつけます。

■ 発信者番号を通知するとき

1 8 6 ＋**相手の電話番号**＋発信キー（テレビ電話の場合は テレビ電話キー）

■ 発信者番号を通知しないとき

1 8 4 ＋**相手の電話番号**＋発信キー（テレビ電話の場合は テレビ電話キー）

お知らせ

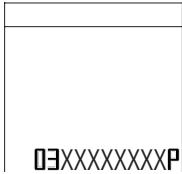
- 発信者番号の通知設定は次の方法でも行えます。
  - 電話をかけるごとに機能メニューから発信者番号通知設定を行う→P51
  - NWサービスメニューの発信者番号通知設定で一括して行う→P47
  - 電話帳の番号に設定しておく→P89
- 相手の電話機がデジタル携帯電話など、発信者番号表示が可能なときに表示されます。
- 国際電話では「186」を付けても、経由する電話会社などにより発信者番号表示ができない場合があります。
- 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いするガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。
- 相手の電話番号に「186」／「184」を付けて発信した場合、「186」／「184」がリダイヤルに記録されます。

ポーズダイヤル

プッシュ信号を手早く送り出す

プッシュ信号を送って、ポケットベル※へのメッセージ送信や自宅の留守電の操作、チケット予約などに利用します。

- ポーズ（P）を入力した位置で電話番号を区切って、プッシュ信号（DTMF）を送出できます。

1 待受画面で電話番号を入力し、ポーズ（P）を入れたいところで［#］を１秒以上押す

「P」が入力されます。
- ポーズは先頭に入力したり、連続入力したりできません。

2 続きの番号を入力し、［発信］を押す

- 「P」を含めて80桁まで入力可能です。

3 番号がつながったあと、［●］を押す

「P」以降の番号がプッシュ信号で送信されます。

お知らせ

- 受信側の機器によっては、プッシュ信号を受信できない場合があります。

WORLD CALL／プレフィックス設定

国際電話を利用する

「WORLD CALL」はドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。

- FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時に合わせて「WORLD CALL」もご契約いただいています。（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）
- 申込手数料、月額使用料は無料です。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。
- 通話先は世界約220の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通信料金と合わせてご請求します。
- **国際電話ダイヤル手順の変更について**
  携帯電話などの移動体通信は、電話会社選択サービス「マイライン」のサービス対象外であるため、「WORLD CALL」についても「マイライン」をご利用いただけませんが、「マイライン」の導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（下記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。
- 詳しくは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
  - ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

電話番号をダイヤルして国際電話をかける

1 待受画面で009130-010-国番号-市外局番-電話番号を入力する

- 市外局番が「0」で始まる場合には「0」を除いてダイヤルしてください。（ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります）

2 ［発信］を押す

- 通話が終わったら［PWR］を押します。

※2001年1月から、ドコモのポケットベルは「クイックキャスト」に名称が変わりました。

次ページへつづく

- 海外の特定 3G 携帯端末をご利用のお客様に対し、上記ダイヤル方法の後に [カメラキー] を押すと、「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
  - 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモのホームページをご覧ください。
  - 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA 端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合がございます。

簡単に国際電話をかける＜自動付加設定＞

お買い上げ時	ON

自動付加設定を「ON」にすると、「+」を入力したときに国際電話用の「009130010」に変換して国際電話をかけることができます。

- 日本国内で「+」の後に日本の国番号「81」を先頭に付けて発信したときは、自動付加設定が「ON」でも「009130010」に変換されません。

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 4 ▶ ◎ ▶ 3 ▶ 1 **を押す**

2 1 **「ON」を押す**

- 設定しないときは 2 「OFF」を押します。

自動付加設定を利用して国際電話をかける

1 待受画面で [▲] を 1 秒以上押す

「+」が入力されます。

2 国番号-市外局番-電話番号を入力する

3 [発信キー] **を押す**

発信する番号の確認画面が表示されます。

4 1 **「発信（自動付加あり）」を押す**

- 自動付加しないときは 2 「発信（自動付加なし）」、発信しないときは 3 「中止」を押します。

WORLD CALL 以外の番号を設定する＜国際電話設定＞

お買い上げ時	名称：WORLD CALL　番号：009130010

- お買い上げ時は、国際電話用の「009130010」が登録されています。
- 国際電話設定として登録できるのは 1 件のみです。

1

2 [1] 「WORLD CALL」を押す

国際電話設定詳細画面が表示されます。

■ 設定した番号をお買い上げ時の設定に戻すとき

① [✉] ［リセット］を押す

② [1] 「はい」を押す

・中止するときは [2] 「いいえ」を押します。

3 [1] 「名称」を押し、名称を入力して ● を押す

・全角10文字（半角21文字）まで入力できます。

4 [2] 「番号」を押し、番号を入力して ● を押す

・10桁まで入力できます。

5 [i] ［登録］を押す

プレフィックスを設定する

国際電話以外にもプレフィックスを登録して、電話をかけるときに利用できます。

・5件まで登録できます。

1 ● ▶ 各種設定 ▶ [4] ▶ [6] を押す

2 ［未登録］選択し、● を押す

・すでに登録されているプレフィックスを選択し、● を押すと、プレフィックスを編集できます。

・[i] ［詳細］を押すと、登録内容を確認できます。

3 登録名を入力して ● を押す

・全角9文字（半角18文字）まで入力できます。

4 番号（プレフィックス）を入力して ● を押す

・10桁まで入力できます。

5 [i] ［登録］を押す

■ プレフィックス設定を削除するとき

① プレフィックス一覧画面で削除するプレフィックスを選択し、[✉] ［削除］を押す

② [1] 「1件削除」を押す

・[2] 「全件削除」を押したときは端末暗証番号を入力し、● を押します。

③ [1] 「はい」を押す

・削除しないときは [2] 「いいえ」を押します。

■ プレフィックスを利用して電話をかけるとき

① 待受画面で電話番号を入力し、[i] ［機能］▶ [2] ▶ [1] 「プレフィックス」を押す

② プレフィックスを選択し、● を押す

・プレフィックスが番号の先頭に付加されます。[発信]（テレビ電話の場合は [テレビ電話]）を押すと電話がかけられます。

サブアドレス設定

サブアドレスを指定して電話をかける

お買い上げ時	ON

「＊」を区切りとし、それ以降の番号をサブアドレスとする設定です。
サブアドレスを使うと特定の電話機や通信機器に指定着信するようにできます。

- ISDN 回線で特定の通信機器に指定着信するときや、映像配信サービス「V ライブ」でコンテンツを選択するときなどに利用できます。

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 4 ▶ 7 を押す

2 1「ON」を押す

- 設定しないときは 2「OFF」を押します。

サブアドレスを指定して電話をかける

1 待受画面で電話番号を市外局番から入力する

2 ＊を押して「＊」を入力し、サブアドレスを入力する

3 発信キーを押す

- テレビ電話のときはテレビ電話キーを押します。

お知らせ

- サブアドレス設定を「ON」に設定していても、電話番号の先頭に「＊」を入力した場合やプレフィックスで付加した番号内に「＊」がある場合は、サブアドレスとして認識しません。また、ポーズを入力した後に「＊」を入力した場合も同様です。

再接続機能

途切れた通話を自動的に接続するときのアラーム音を設定する

お買い上げ時	アラーム高音

電波状態が悪くなって途切れた音声・テレビ電話を、電波状態がよくなると再接続します。そのときに鳴るアラーム音を設定します。

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 4 ▶ 3 ▶ 2 を押す

2 1「アラーム高音」または 2「アラーム低音」を押す

- 設定しないときは 3「アラーム OFF」を押します。

お知らせ

- 利用状態や電波状態により、再接続が可能な時間は異なります。目安は最長 10 秒間です。（その間も通話料がかかります）
- 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。
- 利用状態や電波状態により、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

ノイズキャンセラ

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

お買い上げ時	ON

通話中に周囲の騒音を抑えて、自分の声を相手にはっきり聞こえるようにします。

1 ▶ ▶ ▶ ▶ 3DEF さ を押す

2 1.@あ「ON」を押す

- 設定しないときは 2ABCか「OFF」を押します。

車載ハンズフリー

ハンズフリー対応機器を利用する

FOMA端末を車載ハンズフリーキット01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。

- ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキット01（別売）をご利用時には、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル01（別売）が必要です。

お知らせ

- ハンズフリー対応機器から操作する場合は、FOMA端末を待受画面にした状態で行ってください。
- ハンズフリー対応機器から操作する場合は、USBモード設定を「通信モード」にしてください。→P446
- 着信時の画面表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合は、FOMA端末でマナーモード中や着信音量を「OFF」に設定中でもハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- ドライブモード中の着信動作は、ドライブモードの設定に従います。
- 伝言メモ設定中の着信動作は、伝言メモの設定に従います。
- FOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合は、通話中にFOMA端末を折りたたんだときの動作はクローズ動作の設定に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合は、クローズ動作の設定にかかわらずFOMA端末を折りたたんでも通話状態は変わりません。

電話を受ける

ここでは、音声電話の受けかたと、音声電話とテレビ電話での共通の操作を説明します。

1 電話がかかってきたら ● または （通話キー） を押す

着信中
三洋花子
090XXXXXXXX

着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。

- エニーキーアンサーを「ON」にしておくと、他のキーを押して電話を受けることができます。→P61

2 通話が終わったら PWR（終話キー） を押す

次ページへつづく

お知らせ

- 音声通話中に［ハンズフリー］を1秒以上押すと、ハンズフリー機能を利用した通話に切り替えることができます。
- FOMA端末を折りたたんでも電話を切ることができます。折りたたんでも電話が切れないようにするには、クローズ動作を「保留」にします。→P61
- 着信中の相手からの発信状況やFOMA端末の設定によって次のような情報がディスプレイに表示されます。
  - 相手の電話番号が電話帳に登録されていないときは、相手の電話番号が表示されます。
  - 相手の電話番号が電話帳に登録されているときは、相手の電話番号、名前、静止画／動画（電話帳登録されている場合）が表示されます。
  - 相手の電話番号が通知されなかったときは、発信者番号非通知理由が表示されます。→P141
  - シークレット設定されている場合は、シークレットモード中以外では電話帳に登録されていても、名前は表示されません。→P138
- ドライブモード中は着信動作は行いません。（着信履歴として記録されます）

着信中の操作について

着信中に［i］［機能］を押して、次の操作を行うことができます。

着信拒否　：電話を切ります。
転送でんわ：かかってきた電話を登録している転送先に転送します。→P436
留守番電話：かかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターへ転送します。→P433
伝言メモ　：かかってきた電話の用件をFOMA端末に録音します。

お話し中に「ププ‥ププ‥」という音（通話中着信音）が聞こえたとき

次のサービスをご契約いただくと、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、転送や別の電話への応答が行われます。

- 通話中着信設定を「開始」に設定し、着信動作選択を「通常着信」に設定しないと通話中着信音は聞こえません。→P441

留守番電話サービス※：留守番電話サービスセンターへ転送します。→P433
キャッチホン：通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応対します。→P435
転送でんわサービス※：転送登録先へ転送します。→P436

※通話中着信音が聞こえているときに、［i］［機能］を押して動作を開始することもできます。

FOMA端末を折りたたんでいるとき

電話がかかってきたときは、着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。背面ディスプレイに「着信中」と表示されます。

- 電話番号や電話帳に登録している名前などが表示されます。（背面通知表示が「ON」のとき）
- 電話番号が通知されない場合は、発信者番号非通知理由が表示されます。

お知らせ

- 電話帳に登録されていない相手からの着信を拒否できます。呼出が開始されるまで設定した時間を無音状態にすることもできます。→P141、142
- 電話帳に登録されている相手に対して着信拒否を設定しておくことにより、その相手からの着信を拒否できます。→P140

エニーキーアンサー

ダイヤルキーなどを押して電話に出られるようにする

お買い上げ時	ON

音声電話がかかってきたときに（電話キー）、（●）以外にダイヤルキー（0わをん〜9WXYZら）、カーソルキー（十字キー）、（CLR）、（メール）、（＊）、（＃）、（iモード）を押して電話に出られるように設定します。

1   4GHIた ▶ 1.@あ を押す

2 1.@あ「ON」を押す

- 設定しないときは 2ABCか「OFF」を押します。

お知らせ

- エニーキーアンサーは音声電話にのみ有効です。ただし、通話中の音声着信時は無効です。
- エニーキーアンサーは着信があった約３秒後から動作が有効となります。

オープン通話

FOMA端末を開いて通話を開始する

お買い上げ時	OFF

折りたたんでいるFOMA端末を開いて、電話を受けるように設定します。

- テレビ電話をオープン通話で受けると、代替画像での応答となります。

1   4GHIた ▶ 2ABCか ▶ 1.@あ を押す

2 1.@あ「ON」を押す

- 設定しないときは 2ABCか「OFF」を押します。

クローズ動作

FOMA端末を折りたたんで通話を終了／保留する

お買い上げ時	音声／テレビ電話：切断

FOMA端末を折りたたんで、音声電話／テレビ電話の通話を終了／保留するように設定します。

- 64Kデータ通信中、パケット通信中は、本機能は動作しません。

1   4GHIた ▶ 2ABCか ▶ 2ABCか を押す

2 1.@あ「音声通話」または 2ABCか「テレビ電話」を押す

3 折りたたんだときの動作を選択し、（●）を押す

切断　：FOMA端末を折りたたむと電話が切れます。
保留　：FOMA端末を折りたたむと保留中になります。（開くと、通話状態に戻ります）
代替画像：通話中保留になり、自画像のかわりに代替画像が送信されます。（テレビ電話のみ）

次ページへつづく

お知らせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続して通話中にFOMA端末を折りたたんだ場合、クローズ動作の設定に関わらず通話は継続します。

着信履歴

着信履歴を利用する

電話をかけてきた相手の電話番号などの情報は着信履歴として記録されます。

- 着信履歴は30件まで記録されます。（30件を超えると古いものから削除されます）

1 を押す

着信履歴一覧画面

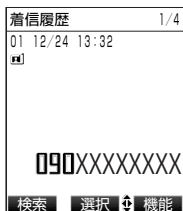
着信履歴一覧画面が表示されます。

- 相手の電話番号、日付、着信時間が表示されます。
- 相手の電話番号が電話帳に登録されている電話番号と一致したときは、名前が表示されます。
- 電話番号が表示されないときは、非通知理由が表示されます。→P141

■ 電話帳に登録されている画像を表示しないときは

［機能］▶ 6 「フォト表示OFF」を押す

- 表示するときは 6 「フォト表示ON」を押します。

2 確認する着信履歴を選択し、● を押す

着信履歴詳細画面

着信履歴詳細画面が表示されます。
不在着信を選択したときは、画面に呼出時間が表示されます。

■ 電話帳に登録されている画像を背景として表示しないときは

［機能］▶ 6 「シースルー表示OFF」を押す

- 表示するときは 6 「シースルー表示ON」を押します。

■ 着信履歴に表示されるアイコンについて

アイコン	内　容	アイコン	内　容
	音声電話着信		テレビ電話不在着信（確認済）
	音声電話不在着信		64Kデータ通信着信
	音声電話不在着信（確認済）		64Kデータ通信不在着信
	国際電話着信		64Kデータ通信不在着信（確認済）
	テレビ電話着信		伝言メモあり
	テレビ電話不在着信		

3 を押す

- を押すとテレビ電話をかけられます。
- ● を押すといろいろな機能を利用できます。→P205

着信履歴からｉモードメールを送る

- 電話番号が電話帳に登録されていて、その電話帳にメールアドレスが登録されていると、メールアドレスが宛先になります。登録されていないときは、電話番号が宛先になります。

① を押す
② メールを送る相手を選択し、［機能］を押す
③ 1「メール作成」を押す
以降の操作：→P230「ｉモードメールを作成して送信する」手順４～６

着信履歴の種類について

着信履歴の中で、不在着信履歴や無音着信履歴を表示させることができます。
また着信拒否設定を行っている電話は、拒否履歴として着信履歴とは別に30件まで記録されます。
表示方法は次のとおりです。

① ▶［機能］を押す
② 表示方法を選択し、を押す

不在着信履歴表示：出られなかった電話の着信履歴のみを表示します。
無音着信履歴表示：呼出動作開始時間で設定した時間内の着信履歴を表示します。
拒否履歴表示：着信拒否設定をしている相手からの着信履歴を表示します。（端末暗証番号を入力してを押すと表示されます）

お知らせ

- 着信履歴詳細画面からメールを作成するには、［機能］▶1「メール作成」を押します。
- 電源を切っても、着信履歴は削除されません。
- 発着信履歴表示が「OFF」の場合、着信履歴は表示されません。
- 相手がダイヤルインを利用している場合、ダイヤルイン番号以外の番号が表示されることがあります。
- PIMロックやダイヤル発信制限を設定すると、それまでの着信履歴はすべて削除されます。設定後に着信履歴が１件目から記録されます。
- 相手の電話番号が複数の電話帳に登録されているときは次の順位で優先されます。
  ① 通常使用の電話番号として登録している電話帳
  ② フリガナの50音順
  ③ メモリダイヤル番号の小さい順
- 着信履歴がシークレットに設定されている電話帳のときは、電話番号のみ表示され、名前は表示されません。

着信履歴を削除する<着信履歴削除>

1 を押す

2 着信履歴一覧画面で着信履歴を選択し、［機能］▶2「削除」を押す

3 1「1件削除」を押す

■ 選択削除するとき

① 2「選択削除」を押す
② 着信履歴を選択し、を押す
- 解除するときはを押します。
- ［詳細］を押すと、着信履歴の詳細を表示できます。

③ ［実行］を押す

次ページへつづく

■ 全件削除するとき

① 3DEFさ「全件削除」を押す

② 端末暗証番号を入力し、● を押す

4 1.@あ「はい」を押す

- 中止するときは 2ABCか「いいえ」を押します。

お知らせ

- 着信履歴詳細画面で i［機能］▶ 2ABCか「削除」を押しても削除できます。
- 着信履歴を全件削除しても、拒否履歴は削除されません。

受話音量

通話中に相手の声の音量を調節する

お買い上げ時	LEVEL3

音声電話やテレビ電話の通話中に、相手の声の大きさをLEVEL1（最小）〜LEVEL5（最大）の5段階で調節します。

1 通話中に ◎ を押す

受話音量調節画面が表示されます。

音声電話通話中

テレビ電話通話中

2 音量を大きくするには ◎、小さくするには ◎ を押す

- 押し続けると、音量を連続的に調節します。

お知らせ

- 通話中に変更された音量は、通話終了後も保持されます。
- 受話音量は電源を切っても保持されます。

待受中に調節する

1 を押す

受話音量調節画面が表示されます。

2 音量を大きくするには ◎、小さくするには ◎ を押す

- 押し続けると、音量を連続的に調節します。

3 ● を押す

ナイショ

小声で会話できるようにする

小さな声で話しても、相手には通常の音量で聞こえるようにします。

1 通話中に［i］［機能］を押す

2 ［2ABCか］「ナイショ」を押す

通話中画面に「ナイショ」と表示されます。

■ ナイショを解除するとき

［✉］［解除］を押す

お知らせ

- マナーモード中、ハンズフリー対応機器と接続時の通話中は、ナイショは設定できません。

ゲキタイ

迷惑電話をゲキタイする

いたずら電話の場合などに相手の声をそのまま送り返します。

- こちらの声は相手に聞こえません。

1 通話中に［i］［機能］を押す

2 ［3DEFさ］「ゲキタイ」を押す

通話中画面に「ゲキタイ」と表示されます。

■ ゲキタイを解除するとき

［✉］［解除］を押す

お知らせ

- ゲキタイが使えるのはかかってきた電話に対してのみです。（電話をかけたときは使えません）

ダイヤルメモ

ダイヤルメモを利用する

通話中に電話番号などをメモしておきます。ダイヤルメモはいつでも閲覧したり、ダイヤルメモから電話をかけることができます。

- ダイヤルメモは5件まで登録できます。（5件を超えると古いものから削除されます）
- ダイヤルメモは1件につき26桁まで登録できます。
- ダイヤルメモは電源を切っても削除されません。

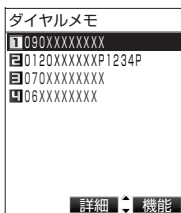
ダイヤルメモを登録する

1 通話中にメモしておきたい番号をダイヤルキーで入力する

- 間違えたときは［CLR］を押します。

2 ［✉］［登録］▶［3DEFさ］「ダイヤルメモ登録」を押す

ダイヤルメモを利用する

1 ● ▶ ▶ 7PQRSま を押す

ダイヤルメモ一覧画面

■ 電話をするとき

ダイヤルメモを選択し、 を押す

- テレビ電話のときは を押します。

■ ダイヤルメモを削除するとき

① ダイヤルメモを選択し、 i［機能］ ▶ 1 「削除」を押す

② 1 「1件削除」を押す

- 2 「全件削除」を押したときは端末暗証番号を入力し、● を押します。

③ 1 「はい」を押す

- 中止するときは 2 「いいえ」を押します。

■ 通話中にプッシュ信号を送信するとき

- 通話中にダイヤルメモを表示する→P396

ダイヤルメモを選択し、 i［機能］ ▶ 2 「プッシュ信号送信」を押す

2 ダイヤルメモを選択して、● を押す

ダイヤルメモ詳細画面が表示されます。

お知らせ

- ダイヤルメモ詳細画面から削除するには i［機能］ ▶ 1 「削除」を押します。
- ダイヤルメモ詳細画面からプッシュ信号を送信するには i［機能］ ▶ 2 「プッシュ信号送信」を押します。
- ダイヤルメモ詳細画面で ● を押すと、選択メニューから音声電話やテレビ電話、電話帳登録などが行えます。→P205

応答保留

すぐに電話に出られないときに保留にする

着信中に、すぐに電話に出られない場合に保留にします。

- 応答保留中、かけてきた相手には通話料金がかかります。

1 着信中に PWR を押す

音声電話応答保留中

テレビ電話応答保留中

「ピー、ピー、ピー」と音が鳴り、応答保留になります。

相手に応答保留のガイダンスが流れます。

テレビ電話がかかってきたときは、自分と相手にはテレビ電話応答保留画像が送信されます。

2 電話に出られる状態になったら を押す

- テレビ電話のときは を押します。自画像で応答します。
- テレビ電話応答保留中に を押すと、代替画像で応答します。

お知らせ

- 応答保留のガイダンスは編集できます。
- マナーモード中や着信音量が「OFF」のときは、応答保留時の「ピー、ピー、ピー」という音は鳴りません。オリジナルマナーモードで着信音量が「OFF」以外に設定されている場合は、「ピー、ピー、ピー」という音が鳴ります。
- エニーキーアンサーを「ON」にしているときは、（通話キー）以外でも音声電話の応答保留を解除できます。→P61
- 応答保留中に（電源キー）を押すか、相手が電話を切ると、通話は切れます。
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスをご契約されている場合は、着信中に（iキー）［機能］を押して、留守番電話サービスセンターに接続したり、転送先に転送できます。ただし、留守番電話サービスはテレビ電話に対応していません。

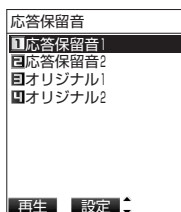
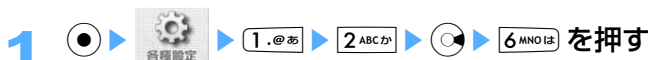
応答保留音

応答保留音を設定する

お買い上げ時	応答保留音１

音声電話やテレビ電話の応答保留中に、相手に流す応答保留音を設定します。また、お好きなメッセージを録音して応答保留音として設定できます。

- 応答保留音は12秒まで録音できます。

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 1 ▶ 2 ▶ （方向キー） ▶ 6 **を押す**

応答保留音一覧画面

2 1 ～ 4 **を押す**

応答保留音１：「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」（FOMA端末に内蔵の応答保留音）

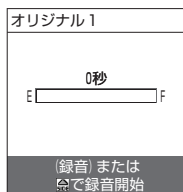
応答保留音２：「ただいま電話に出ることができません。申し訳ありませんがまもなく出ますので、よろしければそのままお待ちください。」（FOMA端末に内蔵の応答保留音）

オリジナル１、２：録音した応答保留音

- （メールキー）［再生］を押すと、応答保留音を確認できます。再生中に●を押すと、設定できます。
- 「オリジナル１」、「オリジナル２」にはお好きなメッセージを録音できます。録音前は設定できません。

応答保留音を録音する

1 **応答保留音一覧画面で「オリジナル 1」または「オリジナル 2」を選択する**

2 **[i]［機能］▶ [1]「録音」を押す**

3 **[●] を押す**

録音を開始します。送話口に向かってお話しください。

4 **[●] を押す**

録音を停止します。録音可能時間を超えると自動的に録音は停止します。
応答保留音を録音すると、応答保留音一覧画面に が表示されます。

- [✉]［再生］を押すと録音した応答保留音を確認できます。

■ 録音した内容を削除するとき

- 設定している「オリジナル 1」、「オリジナル 2」を削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

①「オリジナル 1」または「オリジナル 2」を選択し、[i]［機能］▶ [2]「削除」を押す
② [1]「はい」を押す

- 削除しないときは [2]「いいえ」を押します。

通話中保留音

通話中保留音を設定する

お買い上げ時	通話中保留音 1

音声電話やテレビ電話の通話保留時に流す通話中保留音を設定します。

1 [●] ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ [7] **を押す**

2 **[1] ～ [4] を押す**

通話中保留音 1　:「グリーンスリーヴス」(FOMA 端末に内蔵の通話中保留音)
通話中保留音 2　:「愛の挨拶」(FOMA 端末に内蔵の通話中保留音)
オリジナル 1、2:録音した通話中保留音

- [✉]［再生］を押すと通話中保留音を確認できます。
- 「オリジナル 1」、「オリジナル 2」にはお好きなメッセージを録音できます。録音前は設定できません。録音／削除方法は応答保留音と同じです。→P68

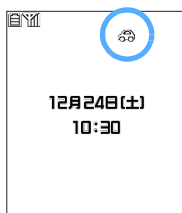
ドライブモード

運転中に電話を受けないようにする

ドライブモードは、運転中の安全性を重視した自動応答サービスです。ドライブモードに設定すると、運転中のために電話に出られないことを伝えるガイダンスが相手に流れ、通話を終了します。

• 「圏外」が表示されていても、ドライブモードの設定ができます。

ドライブモードを設定する

1 待受画面で、[*] を1秒以上押す

ドライブモードが設定され、待受画面に [車] が表示されます。

• ドライブモード中に電話がかかってきても、着信動作はしません。「不在着信」として着信履歴に記録されます。

• 電話をかけてきた相手にはドライブモードのガイダンスが流れ、通話を終了します。

■ ドライブモードを解除するとき

待受画面で、[*] を1秒以上押す

ドライブモード中の各ネットワークサービスの関係について

ドライブモード中には各ネットワークサービスは次のように動作します。

サービス名	音声電話着信時	テレビ電話着信時
留守番電話サービス	ドライブモードのガイダンスを相手に流し、留守番電話サービスに接続します。※1	相手の端末に接続できなかった旨のメッセージを表示させて接続しません。
キャッチホン	ドライブモードのガイダンスを相手に流し、通話を終了します。	音声通話中の場合は、ドライブモード中であるメッセージを表示させて、接続しません。テレビ電話通話中の場合は、通話中であるメッセージを表示させて、接続しません。
転送でんわサービス	ドライブモードのガイダンスを相手に流し、転送でんわサービスに接続します。※1	ガイダンスは流さず、すぐに転送先に接続します。※2
迷惑電話ストップサービス	迷惑電話の着信拒否登録がされている相手から電話があった場合はドライブモードのガイダンスは流さず、着信拒否ガイダンスを流し、通話を終了します。	相手の端末に接続できなかった旨のメッセージを表示させて、接続しません。
番号通知お願いサービス	番号非通知の相手には、番号通知お願いガイダンスを流し、通話を終了します。番号を通知している相手には、ドライブモードのガイダンスを流し、通話を終了します。	相手の端末に接続できなかった旨のメッセージを表示させて、接続しません。番号を通知している相手には、ドライブモード中であるメッセージを表示させて、接続しません。

※1 サービスに接続するまでの呼出時間が0秒の場合、ドライブモードのガイダンスは流しません。
※2 3G-324M（第3世代移動通信で使用されるオーディオビジュアル通信）に対応したテレビ電話にのみ転送します。

次ページへつづく

お知らせ

- マナーモードも設定しているときは、ドライブモードの設定が優先されます。
- ドライブモード中は、音声電話・テレビ電話の着信音、メール（メッセージR/Fを含む）の着信音、各種アラーム・確認音は鳴りません。また、背面ディスプレイや着信ランプも点灯しません。
- ドライブモード中でも電話をかけることができます。
- FOMA端末の電源が切れているときや「圏外」が表示されているときは、相手に圏外時のガイダンスが流れ、ドライブモードのガイダンスは流れません。
- データ通信中にはドライブモードに設定できません。

不在着信

不在着信を確認する

- 不在着信履歴は着信履歴の中から不在着信のみを表示します。

待受画面で確認する

不在着信があると、待受画面に と「新着通知あり」が表示され、 を押すと不在件数が表示されます。
不在件数が表示されているときに を押すと、不在着信が表示されます。

- お知らせアイコンだけ表示されている場合は、 を押して確認してください。

不在着信履歴を表示する

1 を押す

リダイヤル一覧画面または着信履歴一覧画面が表示されます。

2 ［機能］▶ 3 「不在着信履歴表示」を押す

不在着信履歴一覧が表示されます。

- 不在着信履歴での操作は着信履歴での操作と同じです。→P62

折りたたんだ状態で確認する

- 折りたたんだ状態で確認するときは、サイドキー操作を有効に設定しておいてください。

1 FOMA端末を折りたたんだ状態で、（ボイス）を押す

背面ディスプレイに件数が表示されます。

- ボイス通知設定を「各種通知」または「時刻＋各種通知」にしておくと、音声で不在着信を確認できます。

お知らせ

- リダイヤル詳細画面、着信履歴詳細画面から不在着信履歴を表示するには、［機能］▶ 3 「不在着信履歴表示」を押します。
- FOMA端末を開いた状態でも待受画面で音声で不在着信を確認できます。

伝言メモ

電話に出られないときに用件を録音／録画する

電話に出られないときに応答メッセージを再生し、相手の用件を録音します。テレビ電話の場合は映像も録画します。

- 伝言メモは４件まで、１件につき約20秒まで録音できます。

伝言メモと留守番電話サービス

伝言メモと留守番電話サービスの違いは次のとおりです。

項　目	伝言メモ	留守番電話サービス
録音件数・時間	最大４件、最大約20秒	最大20件、最長３分まで
伝言の保存期間	制限なし	最大72時間
伝言の保存場所	FOMA端末	留守番電話サービスセンター
録音可能な場所・状況	電話を受ける側が圏内にいて、かつ電源がはいっているときに録音可能	電話を受ける側が圏内／圏外いずれの場所にいても、また電源を切っていても録音可能

伝言メモを設定する<伝言メモ設定>

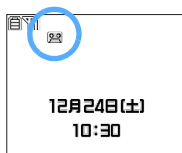
お買い上げ時	OFF

1 ● ▶ メモメニュー ▶ 1 を押す

伝言メモ設定画面が表示されます。

2 1 「ON」を押す

- 解除するときは、2「OFF」を押します。

3 i［確定］を押す

伝言メモが設定され、待受画面に □ が表示されます。

- 応答時間を設定する→P72
- 応答メッセージを設定する→P73

お知らせ

- FOMA 端末の故障・修理・電話機の変更やその他の取扱いによって、録音内容が消失する場合があります。万一、録音内容が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。伝言メモの内容は、手帳などにも記録しておくことをおすすめします。
- マナーモード中でFOMA端末を折りたたんでいるときは応答メッセージ、相手の声は聞こえません。
- 伝言メモが４件録音されている場合は、伝言メモを設定できません。応答時間や応答メッセージも設定できません。

伝言メモを設定したときは

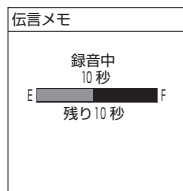
伝言メモ設定中に電話がかかってきた場合、以下のようになります。

1 電話がかかってくる

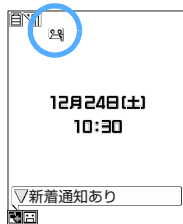
設定した応答時間経過後、相手に応答メッセージが流れます。

次ページへつづく

2 相手のメッセージが録音される

「録音中（録画中）」と表示されて録音が開始されます。
- 録音中は FOMA 端末の受話口から相手の声が聞こえます。録音時間にかかわらず、録音がはじまると録音件数１件として数えられます。
- テレビ電話のときは録画されます。

音声電話の場合

テレビ電話の場合

3 記録が終了すると、電話が切れる

待受画面に ![icon] （数字は未読の伝言メモの件数）と、お知らせアイコンが表示されます。
- 伝言メモが４件記録されると、アイコンがオレンジになります。

お知らせ

- お知らせアイコンを選択して ● を押すと、伝言メモ一覧画面を表示できます。
- 応答メッセージ中、伝言メモ録音・録画中に電話を受けることができます。［音声］を押すと通常の音声電話通話またはテレビ電話通話（相手には代替画像を送信）になり、［テレビ電話］を押すと自画像を送信してのテレビ電話通話になります。このとき、伝言録音中の場合は電話を受けるまでの録音・録画内容は記録されません。
- 伝言メモが４件録音されている場合は、伝言メモ機能は動作せず、着信音が鳴り続けます。留守番電話サービス・転送でんわサービスを設定している場合は、各サービスに接続します。
- ドライブモード中は伝言メモは動作しません。
- 伝言メモ録音・録画中に他の人から電話がかかってきた場合は、着信を拒否して録音を継続します。拒否された電話も着信履歴に記録されます。

応答メッセージが始まるまでの時間を設定する<応答時間>

お買い上げ時	８秒

着信があってから伝言メモが起動するまでの時間を設定します。

1

● ▶ メモメニュー ▶ 1 ▶ 1 ▶ 1 を押す

2 応答時間を入力して、● を押す

０～120秒までの応答時間が設定できます。

3 ［i］［確定］を押す

お知らせ

- 留守番電話サービス・転送でんわサービスを同時に設定している場合、伝言メモの利用を優先するときは応答時間を各サービスより短く設定してください。
- 呼出動作開始時間の時間が伝言メモの応答時間より長いと、設定した呼出動作開始時間中に伝言メモが起動します。

応答メッセージを設定する<応答メッセージ>

お買い上げ時	標準

応答メッセージを設定します。自分の声を応答メッセージとして録音することもできます。

- 応答メッセージは2件、12秒まで録音できます。

1 ● ▶ メモメニュー ▶ 1 ▶ 1 ▶ 2 **を押す**

2 1 ～ 4 **を押す**

標準：「ただいま電話にでることができません。ピーという発信音の後に、20秒以内でお名前、連絡先などをお話ください。」（FOMA端末に内蔵の応答メッセージ）

ドライブ：「ただいま運転中のため電話に出ることができません。後ほどおかけ直しください。」（FOMA端末に内蔵の応答メッセージ）

オリジナル1、2：録音した応答メッセージ

- ✉［再生］を押すと応答メッセージを確認できます。
- 「オリジナル1」、「オリジナル2」にはお好きなメッセージを録音できます。録音前は設定できません。録音／削除方法は応答保留音と同じです。→P68

3 i **［確定］を押す**

応答メッセージ画像を設定する（テレビ電話伝言メモのときのみ）

テレビ電話の伝言メモ応答メッセージ再生中や録画中に表示する画像を設定します。

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 7 ▶ 6 ▶ 2 **を押す**

2 1 **「マイピクチャ」を押す**

- 設定しないときは 2「OFF」を押します。

3 **静止画を選択し、● を押す**

お知らせ

- テレビ電話伝言メモ画像を設定しないときは初期画像（「伝言メモ（テレビ電話）」）を表示します。

伝言メモ・通話中音声メモを再生／削除する

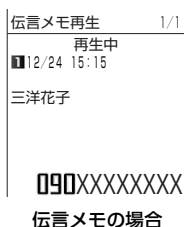
録音された伝言メモや通話中音声メモを再生／削除します。

伝言メモ・通話中音声メモを再生する

1 ●▶ メモメニュー を押す

2 2ABCか「伝言メモ再生」または 5JKLな「通話中音声メモ再生」を押す

3 メモを選択し、● を押す

伝言メモの場合

メモが再生されます。
- 再生中に ◎ を押すと、音量調節ができます。
- ● を押すと、停止します。

伝言メモ・通話中音声メモを削除する

1 ●▶ メモメニュー を押す

2 2ABCか「伝言メモ再生」または 5JKLな「通話中音声メモ再生」を押す

3 メモを選択し、i［機能］▶◎▶ 1.@あ「削除」を押す

4 1.@あ「1 件削除」を押す

- 2ABCか「全件削除」を押したときは端末暗証番号を入力し、● を押します。

5 1.@あ「はい」を押す

- 中止するときは 2ABCか「いいえ」を押します。

お知らせ

- 伝言メモ、通話中音声メモを再生中に削除するには、i［機能］▶◎▶ 1.@あ「削除」を押します。
- 伝言メモを選択し、i［機能］を押して音声・テレビ電話をかけたり、電話帳に電話番号を登録できます。
- 通話終了後すぐには再生できません。待受画面に戻るまでお待ちください。
- テレビ電話伝言メモはスピーカーから再生されます。

テレビ電話のかけかた／受けかた

テレビ電話について

**ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしでテレビ電話を利用できます。
自画像以外に静止画や代替画像、キャラ電などを送受信できます。**

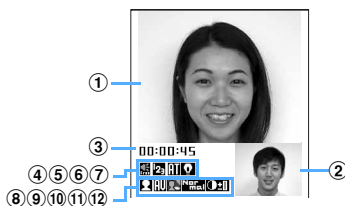
ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

- テレビ電話の通信速度には、次の2種類があります。
  - 64K：通信速度64kbpsで通信をします。
  - 32K：通信速度32kbpsで通信をします。※3

※1 3GPP（3rd Generation Partnership Project）
第三世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体。

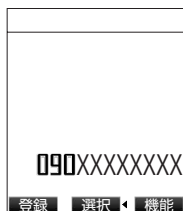
※2 3G-324M
第三世代携帯テレビ電話の国際規格。

※3 SA700iSでは、32Kテレビ電話は利用できません。

テレビ電話画面の見かた

① 親画面	相手のカメラ映像を表示（お買い上げ時）	⑦ ライト	ライト点灯、使用不可
② 子画面	自分のカメラ映像を表示（お買い上げ時）	⑧ 送信画像種別	自画像、キャラ電、代替画像（キャラ電以外）、通話保留中、応答保留中、伝言メモ録音中、通話中音声メモ録音中、ファイル再生中
③ 通話時間	通話時間を表示	⑨ 音声／映像	映像＋音声、映像のみ、音声のみ
④ ハンズフリー	ハンズフリー中	⑩ 特殊効果	セピア、モノクロ、レッドなど4色、エンボス、ネガ
⑤DTMF送信	DTMF送信	⑪ 送信画質	標準、動き優先、画質優先
⑤ キャラ電アクション	全体アクション、パーツアクション	⑫ 明るさ	～～の範囲で明るさを調整
⑥ ホワイトバランス	自動、晴天、曇天、電球、蛍光灯（昼白色）、蛍光灯（昼光色）		

テレビ電話をかける

・ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して、国際テレビ電話を利用できます。

1 待受画面で市外局番から電話番号を入力する

・同一市内への通話でも、必ず市外局番から入力してください。
・電話番号は3〜80桁まで入力できます。
・電話番号を訂正するには、CLRを押します。
・最初から電話番号を入力し直したいときは、CLRを1秒以上押すか、PWRを押して待受画面に戻してから行ってください。

一般電話にかける	：市外局番－市内局番－電話番号
携帯電話にかける	：090－XXXX－XXXX、080－XXXX－XXXX
PHSにかける	：070 － XXXX － XXXX

■ テレビ電話をかけるときの画像を選択するとき

①i［機能］▶5「テレビ電話画像選択」を押す
②1「自画像」または2「キャラ電」を押す

2 テレビ電話キーを押す

「プップップッ」という発信音がして電話がかかります。

・相手が話し中のときは、「プープー」という話中音が聞こえ、「お話中です」と表示されます。PWRを押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。
・●▶2「64Kテレビ電話発信」を押しても電話がかかります。
・画面に「テレビ電話接続中」と表示された時点から課金されます。

3 テレビ電話接続後、ハンズフリーキーを押してハンズフリーにして通話する

画面には、相手の映像が表示され、ハンズフリーアイコンが表示されます。

・ハンズフリーにしない場合は、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続してください。
・相手の設定により、代替画像などが表示される場合があります。

■ 代替画像とカメラ映像を切り替えるとき

テレビ電話キーを押す

■ インカメラとアウトカメラを切り替えるとき

メールキー［カメラ切替］を押す

■ データBOXの画像を表示するとき

・画像サイズがQCIF以下の画像を表示できます。

①テレビ電話通話中にi［機能］▶6「ファイル再生」を押す
②データを選択し、●を押す

4 通話が終わったらPWRを押す

テレビ電話がかからなかった場合のメッセージについて

電話がかからなかった理由がメッセージとして表示されます。
メッセージは相手の電話機種別や契約しているネットワークサービスによって異なります。

メッセージ	説　明
番号をご確認の上おかけ直しください	使用されていない電話番号にかけています。
お話中です	相手が話し中か64Kデータ通信中かパケット通信中です。
電波の届かない所にいるか電源が切れています	相手が圏外にいるか、電源が入っていません。
ドライブモード中です	相手がドライブモード中です。
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号非通知で接続した場合に表示されます。 （Vライブやビジュアルネット等への発信時）
接続できませんでした	上記以外の場合に表示されます。

テレビ電話通話中に保留にする<通話中保留>

1 テレビ電話通話中に、●を押す

テレビ電話が保留になります。

■ 保留を解除するとき

[自画像キー]を押す
自画像での通話を再開します。

●を押す
保留前に送信していた画像での通話を再開します。

[代替画像キー]を押す
保留が解除されて代替画像が送信されます。

お知らせ

- 代替画像やキャラ電を利用した場合にも、通信料金は音声通話料ではなくデジタル通信料になります
- 緊急通報番号（110番、119番、118番）へテレビ電話をかけることはできません。ただし、音声自動再発信設定を「ON」に設定しているときは、音声電話として電話をかけ直します。→P86
- テレビ電話非対応端末にかけた場合や、相手がテレビ電話対応端末でも圏外にいる場合や電源を切っている場合は接続できません。テレビ電話非対応端末にかけた場合で、音声自動再発信設定を「ON」に設定しているときは、テレビ電話接続前に相手から切断され、音声電話として電話をかけ直します。ただし、ISDN 同期64kbpsやPIAFSのアクセスポイント、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2005年9月現在）、間違い電話をしたときは、このような動作にならない場合があります。通話料金が発生する場合もありますのでご注意ください。
- SA700iSは64Kのテレビ電話で発着信ができます。32Kには対応しておりません。PHSなど、ネットワーク環境により32Kでしか接続できない場合、テレビ電話をかけることはできません。音声自動再発信設定が「ON」の場合は、自動的に音声電話に切り替えて再発信されます。
- テレビ電話中、音声または映像の通信が切れて A（音声のみ）または V（映像のみ）が表示されても、通話が継続される場合があります。
- テレビ電話通話中に電波状況が悪くなると、映像がモザイク表示になる場合があります。
- テレビ電話通話中は、音声電話やテレビ電話をかけることができません。また、iモード接続、iモードメール、メッセージR/Fの送受信もできません。ただし、SMSはテレビ電話通話中でも受信できます。
- マナーモード中でも、ハンズフリー機能は使用できます。
- ハンズフリー機能はFOMA端末を耳から離してご使用ください。急に音量が大きくなり、耳に損傷などを与える恐れがあります。FOMA端末から20～40cmの間でご使用ください。

テレビ電話を受ける

- カメラ映像の代わりに代替画像を表示させて、テレビ電話を受けることもできます。

1 テレビ電話がかかってきたら、[TV]を押す

テレビ電話着信中

三洋花子

090XXXXXXXX

画面に「テレビ電話着信中」と表示され、電話番号（または非通知理由）などが表示されます。

■ 代替画像でテレビ電話を受けるとき

●または[ハンズフリー]を押す

相手に自画像の代わりに代替画像が送信されます。

2 [ハンズフリー]を押し、ハンズフリーにして通話する

画面には、相手の映像が表示されます。

- ハンズフリーにしない場合は、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続してください。

■ 代替画像とカメラ映像を切り替えるとき

[TV]を押す

■ インカメラとアウトカメラを切り替えるとき

[メール]［カメラ切替］を押す

3 通話が終わったら[PWR]を押す

着信中の操作について

テレビ電話着信中、[i]［機能］を押して次の操作ができます。

着信拒否　：電話を受けず、そのまま電話が切れます。拒否履歴に記録されます。

転送でんわ：登録している転送先に電話を転送します。→P436

伝言メモ　：相手の映像／音声を記録します。

お知らせ

- テレビ電話着信中にすぐ電話に出られないときに[PWR]を押すと、応答保留になります。
- 留守番電話サービスを開始に設定していても、テレビ電話は留守番電話サービスセンターに接続されず、呼出時間経過後に着信が切れます。
- テレビ電話がかかってきたときは、転送でんわサービスを開始に設定していても、転送先を3G-324Mに準拠した64Kテレビ電話対応機に設定していない場合は接続されません。転送先の電話機をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。
- 迷惑電話ストップサービスで拒否登録した電話番号からテレビ電話がかかってきた場合、相手には着信拒否ガイダンスが流れずに切断されます。
- 32Kのテレビ電話から着信があった場合、FOMA端末は着信音やバイブなど着信動作を行いません。また着信履歴にも記録されません。
- 画像サイズがSub-QCIF設定されている端末とテレビ電話をするときは、相手の画像が正しく表示されません。

キャラ電を利用する

テレビ電話通話中に、カメラ映像の変わりにキャラクタを送信します。キャラクタはダイヤルキーで動かしたり、キャラクタによっては、送話口からの音声に反応して口を動かしたりすることができます。

- キャラ電の種類：→P352

お買い上げ時に登録されているキャラ電

- キャラ電はダウンロードすることもできます。→P204

ブンブン（Dimo）

ナオキ

ハルカ

代替画像を設定する<代替画像切替>

お買い上げ時	ブンブン（Dimo）

- 通話開始時から選択したキャラ電でテレビ電話をかけるときは、発信時自画像送信設定を「OFF」にしておきます。→P86
- 画像サイズがQCIF以下の画像を設定できます。

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 7 ▶ 6 ▶ 1 を押す

2 1「マイピクチャ」または 2「キャラ電」を押す

- 設定しないときは 3「OFF」を押します。

3 画像またはキャラ電を選択し、● を押す

- ✉［再生］を押すと、画像またはキャラ電を確認できます。

4 待受画面で市外局番から電話番号を入力し、📹 を押す

5 テレビ電話接続後、📹 を押す

代替画像が送信されます。

キャラ電のとき

キャラ電を切り替える

1 キャラ電送信中に、[i]［機能］▶[4 GHI た]「キャラ電設定」を押す

2 [1 .@あ]「キャラ電切替」を押す

3 キャラ電を選択し、[●]を押す

キャラ電アクションの種類を切り替える

1 キャラ電送信中に、[◎]を押す

全体アクションとパーツアクションが切り替わります。
- キャラ電送信中に、[i]［機能］▶[4 GHI た]「キャラ電設定」▶[3 DEF さ]「アクション切替」を押しても切り替えられます。

キャラ電を操作する

1 キャラ電送信中にダイヤルキーを押す

■ アクションを確認するとき

①キャラ電送信中に、[i]［機能］▶[4 GHI た]「キャラ電設定」を押す
②[2 ABC か]「アクション一覧」を押す

お知らせ

- プッシュ信号（DTMF）送信しているときは、キャラ電の操作はできなくなります。
- 代替画像に設定しているキャラ電や静止画を削除すると、お買い上げ時に戻ります。（ブンブン（Dimo）が削除されている場合は「カメラオフ（テレビ電話）」に設定されます。）

相手側に送信する映像について設定する

テレビ電話通話中に、相手に送信する映像について設定します。
- 相手の画像を親画面に表示する設定の場合、子画面で画像を確認できます。

送信する映像の画質を設定する

お買い上げ時	標準

相手に送信する映像の画質を設定します。

1 テレビ電話通話中に、[i]［機能］▶[◎]▶[2 ABC か]「送信画質設定」を押す

送信画質設定画面が表示されます。

2 [1 .@あ]～[3 DEF さ]を押す

標準　：画像、動きとも標準の画像となります。
動き優先：動きはなめらかですが、画質は少し粗い画像となります。
画質優先：高画質ですが少し動きが不安定な画像となります。

映像に特殊効果をかけて送信する

お買い上げ時	効果なし

相手に送信する映像に特殊効果をかけます。相手に特殊効果がかかった映像が映ります。

1 テレビ電話通話中に、i［機能］▶7▶1「特殊効果」を押す

2 特殊効果を選択し、●を押す

効果なし：特殊効果のかかっていない通常の映像になります。
セピア　：古い写真のような、茶色がかった映像になります。
モノクロ：白黒の映像になります。
レッド　：赤みがかった映像になります。
グリーン：緑がかった映像になります。
ブルー　：青みがかった映像になります。
パープル：紫がかった映像になります。
エンボス：凹凸のある映像になります。
ネガ　　：カメラのネガフィルムのような映像になります。

お知らせ

- 特殊効果がかけられるのはカメラ映像のみです。代替画像やキャラ電にはかけられません。

ホワイトバランスを調整する

お買い上げ時	自動

相手に送信する映像のホワイトバランスを調整します。周囲の環境に応じて設定を変更できます。

1 テレビ電話通話中に、i［機能］▶7▶2「ホワイトバランス」を押す

2 1～6を押す

自動　　　　　：ホワイトバランスが自動で調整されます。
晴天　　　　　：晴天下での映像に適するように設定します。
曇天　　　　　：曇天下での映像に適するように設定します。
電球　　　　　：電球の下での映像に適するように設定します。
蛍光灯（昼白色）：昼白色の蛍光灯の下での映像に適するように設定します。
蛍光灯（昼光色）：昼光色の蛍光灯の下での映像に適するように設定します。

お知らせ

- ホワイトバランスを調整できるのはカメラ映像のみです。代替画像やキャラ電を表示中は調整できません。

明るさを調整する

お買い上げ時	明るさ：±０　ライト：OFF

相手に送信する映像の明るさを調整します。

- －５～±０～５まで１１段階の設定ができます。

1　テレビ電話通話中に、▲または▼を押す

の数値が変わります。

- ▲を押すごとに画像が明るくなります。
- ▼を押すごとに暗くなります。

お知らせ

- 明るさを調整できるのはカメラ映像のみです。代替画像やキャラ電を表示中は調整できません。

ライトをつける

アウトカメラ使用時に、ライトをつけると明るい映像を送信できます。

1　テレビ電話通話中に、i ［機能］▶ 7 ▶ 3「ライト」を押す

2　1「ON」を押す

- 消灯するときは 2「OFF」を押します。

表示倍率を切り替える<ズーム>

お買い上げ時	等倍

相手に送信する映像の表示倍率を切り替えます。

1　テレビ電話通話中に、◀または▶を押す

が表示され、倍率が切り替わります。

▶を押すごとに画像が大きくなります。

◀を押すと小さくなります。（縮小表示はされません）

お知らせ

- インカメラ、アウトカメラを切り替えると、ズームはもとに戻ります。
- ズーム機能が働くのはカメラ映像のみです。代替画像やキャラ電を表示中は調整できません。

プッシュ信号（DTMF）を送出する

テレビ電話通話中にプッシュ信号（DTMF）を送出します。

1 テレビ電話通話中にダイヤルキーを押す

番号が表示され、送出されます。
- キャラ電利用時は [i]［機能］▶ ◎ ▶ [4 GHI た]「DTMF 送信」を押したあと、ダイヤルキーを押します。

伝言メモ応答中や保留中に送信する画像を変更する<テレビ電話画像選択>

お買い上げ時	テレビ電話伝言メモ画像：伝言メモ（テレビ電話） 応答保留画像：応答保留（テレビ電話） 通話中保留画像：通話中保留（テレビ電話）

テレビ電話伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像を変更できます。
- テレビ電話伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像表示中は、FOMA 端末にも表示されます。
- 画像サイズがQCIF以下の画像を設定できます。

1 ◉ ▶ 各種設定 ▶ [7 PQRS ま] ▶ [6 MNO は] を押す

2 [2 ABC か] 〜 [4 GHI た] を押す

3 [1 .@ あ]「マイピクチャ」を押す

- 設定しないときは [2 ABC か]「OFF」を押します。

4 静止画を選択し、◉ を押す

テレビ電話中の画面表示について設定する

テレビ電話中に表示する画面を設定します。

受信する映像の画質を設定する

お買い上げ時	標準

受信する映像の画質を設定します。

1 テレビ電話通話中に、[i]［機能］▶ ◎ ▶ [3 DEF さ]「受信画質設定」を押す

2 [1 .@ あ] 〜 [3 DEF さ] を押す

標準　：画像、動きとも標準の画像となります。
動き優先：動きはなめらかですが、画質は少し粗い画像となります。
画質優先：高画質ですが少し動きが不安定な画像となります。

テレビ電話のかけかた／受けかた

親画面・子画面の映像を設定する

お買い上げ時	親画面：相手画像　子画面：自画像　表示画面：両方

親画面・子画面の映像の表示について設定します。

親画面と子画面の映像を切り替える

1 **テレビ電話通話中に、i［機能］▶ 3「画面表示位置切替」を押す**

親画面にFOMA端末の映像が表示され、子画面に相手の映像が表示されます。
- 手順1を行うごとに、親画面と子画面の映像が切り替わります。

親画面と子画面の表示を設定する

1 **テレビ電話通話中に、i［機能］▶ 1「テレビ電話画面設定」を押す**

2 **1 〜 3 を押す**

両方　：親画面と子画面の両方に映像が表示されます。
相手画像：相手の映像のみ表示されます。
自画像　：自分の映像のみ表示されます。

親画面の表示サイズを変更する

お買い上げ時	拡大表示

親画面の表示サイズを変更します。映像が粗い場合は、等倍表示にすることをおすすめします。

1 **テレビ電話通話中に、i［機能］▶ 2「等倍表示」を押す**

親画面の表示サイズが等倍表示になります。
- 手順1を行うごとに、親画面の表示サイズが拡大表示と等倍表示で切り替わります。

ディスプレイの照明を設定する

お買い上げ時	ON

テレビ電話通話中のディスプレイ照明の常時点灯ON／OFFを設定します。

1 **テレビ電話通話中に、i［機能］▶ ○ ▶ 1「照明設定」を押す**

2 **1「ON」を押す**

- 設定しないときは 2「OFF」を押します。「OFF」に設定すると、照明設定の設定に従います。

テレビ電話の設定を変更する

お買い上げ時	発信時自画像送信設定：ON　音声自動再発信設定：OFF テレビ電話画面設定：両方　画面サイズ設定：拡大表示　送信画質設定：標準

テレビ電話がつながらなかったときやテレビ電話通話中の画像について設定します。

- 相手へのアクセスをより確実なものとするために「音声自動再発信設定」という設定項目があります。音声自動再発信設定とは、テレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末のときや、デュアルネットワークサービスでmova サービスを利用中の場合などでテレビ電話を受けられないときなどに、自動的に音声電話に切り替えて再発信する機能です。

1 ◉ ▶

▶ 7 を押す

2 項目を選択し、◉ を押す

発信時自画像送信設定：テレビ電話をかけるときの送信画像を設定します。
- 1「ON」または 2「OFF」を押します。「OFF」を押したときは代替画像を設定します。以降の操作：→P80「代替画像を設定する」手順2～3

音声自動再発信設定：音声電話で自動的にかけ直すときに設定します。
- 1「ON」または 2「OFF」を押します。

テレビ電話画面設定：テレビ電話通話中の画面表示を変更します。
- 1 ～ 3 を押します。

画面サイズ設定：親画面の表示サイズを変更します。
- 1「拡大表示」または 2「等倍表示」を押します。

送信画質設定：送信する映像の画質を設定します。
- 1 ～ 3 を押します。

テレビ電話画像選択：相手に送信する画像を変更します。→P80、84

お知らせ

- 音声自動再発信設定を「ON」にしていても、相手やネットワークの状況によって再発信できない場合があります。
- 音声自動再発信設定を「ON」に設定中に音声で再発信した場合は音声通話の料金になります。
- SA700iS は 32K のテレビ電話には対応しておりません。PHS など、ネットワーク環境により 32K のテレビ電話でしか接続できない場合、音声自動再発信設定が「ON」のときは、自動的に音声電話に切り替えます。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA端末 では、FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳が使用できます。

- FOMAカード電話帳は、FOMAカードを差し替えて他のFOMA端末でも使用できます。

FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳の違い

アイコン	登録項目	FOMA端末電話帳	FOMAカード電話帳
基　本			
No	登録件数（メモリダイヤル番号）	500件まで登録できます。 （メモリダイヤル番号は000～499）	50件まで登録できます。
名	名前	全角16文字（半角32文字）まで入力できます。	全角10文字（半角21文字※1）まで入力できます。
カナ	フリガナ	半角32文字まで入力できます。	全角カナ12文字（半角英数・記号25文字※2）まで入力できます。
	電話番号	1つの電話帳で3つの番号まで登録できます。 26桁まで入力できます。 電話番号の種類を8種類のアイコンから選択できます。	1つの電話帳に登録できるのは1つの番号だけです。26桁※3まで入力できます。
	メールアドレス	1つの電話帳で3つまで登録できます。 半角英数・記号50文字まで入力できます。 メールアドレスの種類を5種類のアイコンから選択できます。	1つの電話帳に登録できるのは1つだけです。 半角英数・記号50文字まで入力できます。
	グループ	20グループの中から選択します。 グループ名は全角10文字（半角21文字）まで入力できます。	10グループの中から選択します。グループ名は全角10文字(半角21文字※1)まで入力できます。
	画像	「データBOX」のJPEG／GIF／3GPファイル（映像のみのiモーション）が表示できます。※4	設定できません。
	位置情報	経度、緯度、測地系、測位レベル、測位日時が登録できます。	設定できません。
	キャラ電選択	「データBOX」のキャラ電が選択できます。	設定できません。
	シークレット属性	「ON」にすると、電話帳がシークレットモード中のみ表示されるようになります。	設定できません。
	シークレットコード	シークレットコードを設定している相手にメールを送るときに、シークレットコードを付加して送信できます。	設定できません。
指定			
	個別音声着信	着信音･バイブレータ･着信ランプが設定できます。	設定できません。
	個別テレビ電話着信	着信音･バイブレータ･着信ランプが設定できます。	設定できません。
	個別メール着信	着信音・バイブレータ・着信ランプ・通知時間が設定できます。	設定できません。
	個別伝言メッセージ	メッセージの設定ができます。	設定できません。

アイコン	登録項目	FOMA端末電話帳	FOMAカード電話帳
その他			
URL	ホームページ	半角英数・記号256文字まで入力できます。	設定できません。
	フリーメモ	全角100文字(半角200文字)まで入力できます。	設定できません。
	血液型	血液型が選択できます。	設定できません。
	誕生日	半角数字で入力できます。(西暦)	設定できません。
	星座	星座が入力できます。誕生日の入力で自動的に表示されます。	設定できません。
	郵便番号	半角数字7桁で入力できます。	設定できません。
	住所	全角50文字(半角100文字)まで入力できます。	設定できません。
趣	趣味	全角10文字(半角20文字)まで入力できます。	設定できません。

※1 全角と半角が混在している場合や、半角カナが含まれている場合は、10文字までしか入力できません。
※2 全角と半角が混在している場合は、12文字までしか入力できません。
※3 FOMAカードによっては半角数字20桁までしか登録できない場合があります。
※4 画像のサイズなどによっては表示できない場合があります。

名前の表示について

音声電話着信の例

電話帳に登録した名前や電話番号、画像は、テレビ電話・音声電話の着信があったときに画面に表示されます。また、リダイヤルや着信履歴などにも表示されます。
- 相手が番号非通知にしている場合は、着信があっても登録した情報は表示されません。
- FOMAカード電話帳に登録した名前などは、FOMAカード読み込み中、または電源を入れた直後は表示されない場合があります。

お知らせ
- メールアドレスや電話番号を電話帳に登録した場合、iモードメールやSMSを送受信したときに受信アドレス履歴や送信アドレス履歴に表示されます。

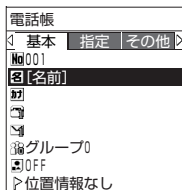
電話帳登録
FOMA端末電話帳に登録する

電話番号やメールアドレスなどの基本情報の登録、着信音や伝言メッセージなどの指定、住所や誕生日などその他情報の登録ができます。ここでは基本情報、着信音などの指定、その他情報の順で登録する手順を説明します。
- 500件まで登録できます。電話帳1件につき電話番号3つ、メールアドレス3つまで登録できます。

1 を1秒以上押す

電話帳

次ページへつづく

2 1 「本体」を押す

電話帳登録画面

電話帳登録画面が表示されます。

- 2 「FOMAカード(UIM)」を押すと、FOMAカードに電話帳を登録できます。→P94

3 基本情報を設定する

■ 名前を設定するとき

① 名 を選択し、● を押す

② 名前を入力し、● を押す

- 全角16文字(半角32文字)まで入力できます。
- 漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号、絵文字、顔文字が入力できます。
- 名前は必ず入力してください。入力しないと電話帳に登録できません。
- 名前を入力すると、カナにフリガナが自動的に表示されます。
- 名前を英数字にしたときは、フリガナは名前と同じになります。また、絵文字や一部の記号を使用したときはフリガナは表示されません。

■ フリガナを設定するとき

自動的に入力されたフリガナを修正できます。

① カナ を選択し、● を押す

② フリガナを入力し、● を押す

- フリガナは半角32文字まで入力できます。

■ 電話番号を設定するとき

① を選択し、● を押す

② 電話番号を入力し、● を押す

- 電話番号は「*」、「#」、「+」、「P」を含めて、26桁まで入力できます。

③ 番号種別を選択し、● を押す

- 電話番号を1つ入力すると、画面に が表示されます。電話番号は3つまで入力できます。
- 電話番号を2つ以上設定したときは、通常使用する電話番号を選択します。

■ メールアドレスを設定するとき

① を選択し、● を押す

② メールアドレスを入力し、● を押す

- 半角英数字や記号を50文字まで入力できます。

③ アドレス種別を選択し、● を押す

- メールアドレスを1つ入力すると、画面に が表示されます。メールアドレスは3つまで入力できます。
- メールアドレスを2つ以上設定したときは、通常使用するメールアドレスを選択します。

■ グループを設定するとき

設定しないときは「グループ0」となります。

① を選択し、● を押す

② グループを選択し、● を押す

- グループ番号は0～19まで選択できます。

■ 画像を設定するとき

1件登録できます。

① を選択し、● を押す

② 1 ～ 5 を押す

マイピクチャ：データBOXのマイピクチャフォルダからデータを選択し、● を押します。

iモーション：データBOXのiモーションフォルダからデータを選択し、● を押します。

フォト撮影：静止画撮影が起動します。静止画を撮影し、● を押します。

ムービー撮影：動画撮影が起動します。動画を撮影し、● を押します。

OFF：画像を登録しません。

- プレビュー画面が表示されたときは、位置やサイズなどを設定できる場合は設定し、● を押します。

■ 位置情報を埋め込むとき

を選択し、● を押す

- 以降の操作：→P329「位置情報を埋め込む」手順4

■ キャラ電を設定するとき

テレビ電話通話時に、代替画像としてキャラクタを表示するように設定できます。

① を選択し、● を押す

② 1「キャラ電」を押す

- キャラ電を設定しないときは 2「OFF」を押します。

③ キャラ電を選択し、● を押す

- ✉［再生］を押すとキャラ電を確認できます。

■ シークレット属性を設定するとき

シークレットモード中のみ設定できます。

① を選択し、● を押す

② 1「ON」を押す

- 設定しないときは 2「OFF」を押します。

■ メモリダイヤル番号を設定するとき

① を選択し、● を押す

② メモリダイヤル番号を入力し、● を押す

- で番号を入力することもできます。

4 ▶ 個別の着信音などを設定する

■ 個別音声着信を設定するとき

① を選択し、● を押す

② 1「ON」を押す

- 設定しないときは 2「OFF」を押します。

③ を選択し、● を押す

④ 着信音を選択し、● を押す

- データBOXのメロディ・iモーションフォルダから選択できます。
- ✉［再生］を押すと、確認できます。

⑤ を選択し、● を押す

⑥ 1 ～ 6 を押す

- バイブレータを設定しないときは 7「OFF」を押し、手順⑧へ進みます。

⑦ 1 ～ 3 を押す

- ✉［確認］▶ ● を押すと、振動を確認できます。

次ページへつづく

⑧ を選択し、● を押す
⑨ 1 ～ 4 を押す
• 着信ランプを設定しないときは 5「OFF」を押し、手順⑪へ進みます。
⑩ 1 ～ 7 を押す
• 着信ランプの色について→P126
⑪ i［確定］を押す

■ 個別テレビ電話着信を設定するとき
① を選択し、● を押す
② 1「ON」を押す
• 設定しないときは 2「OFF」を押します。
③ 項目を設定する
• 操作方法は「個別音声着信を設定するとき」と同じです。
④ i［確定］を押す

■ 個別メール着信を設定するとき
① を選択し、● を押す
② 1「ON」を押す
• 設定しないときは 2「OFF」を押します。
③ 項目を設定する
• 操作方法は「個別音声着信を設定するとき」と同じです。
④ を選択し、● を押す
⑤ 通知時間を入力し、● を押す
• 1～30秒まで入力できます。
⑥ i［確定］を押す

■ 個別伝言メッセージを設定するとき
① を選択し、● を押す
② 1「ON」を押す
• 設定しないときは 2「OFF」を押します。
③ 応答メッセージを選択し、● を押す
• ［再生］を押すと応答メッセージを確認できます。
• お好きなメッセージを録音して設定することもできます。→P73

5 ▶ その他の情報を設定する

■ ホームページなどのURLを設定するとき
① を選択し、● を押す
② URLを入力し、● を押す
• 半角英数字、半角記号を256文字まで入力できます。

■ フリーメモを設定するとき
① を選択し、● を押す
② メモを入力し、● を押す
• 全角100文字（半角200文字）まで入力できます。

■ 血液型を設定するとき
① を選択し、● を押す
② 1 ～ 5 を押す

■ 誕生日を設定するとき
① を選択し、● を押す
② 生年月日を西暦で入力し、● を押す
• 誕生日を入力すると、自動的に星座も入力されます。

＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→P361

■ 星座を設定するとき

自動的に入力された星座を変更できます。

① ☆を選択し、● を押す

② 星座を選択し、● を押す

■ 郵便番号を設定するとき

① 〒を選択し、● を押す

② 郵便番号を入力し、● を押す

■ 住所を設定するとき

① 🏠を選択し、● を押す

② 住所を入力し、● を押す

- 全角50文字（半角100文字）まで入力できます。

■ 趣味を設定するとき

① 趣を選択し、● を押す

② 趣味を入力し、● を押す

- 全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

6 i［登録］を押す

お知らせ

- 電話帳検索画面から新規登録するには i［機能］▶「新規登録」を選択し、●▶ 1「本体」を押します。
- iモード端末のメールアドレスを登録するときは、メールアドレスの@以降のドメイン名（「@docomo.ne.jp」）は省略できます。（それ以外のメールアドレスを登録するときは、@以降のドメイン名まで入力してください。）ただし、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録すると、設定によっては受信メールに名前は表示されません。
- 電話帳に設定していた画像やキャラ電を削除した場合、各設定内容はお買い上げ時の状態に戻ります。
- ドコモショップなど窓口にて機種変更時など新機種へコピーする際は、仕様によってはFOMA端末に登録したデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 電話帳に登録した画像データのサイズやデータ量などによっては、表示に時間がかかる場合があります。
- 184や186を付けて登録した電話番号は、SMSの宛先として使用できません。また、メールアドレスを「184や186+FOMA端末の電話番号@docomo.ne.jp」とすると、iモードメールの宛先として使用できません。
- 電話帳に登録した内容は、別にメモを取ったり、miniSD メモリーカードを利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用してパソコンに保管することもできます。→P361、520
- シークレットモード中にシークレット属性が設定されている相手から着信やメールがあったときは、電話帳に設定されている着信動作を行います。シークレットモード中でないときは音設定、バイブレータ設定などの各種設定で設定されている動作を行います。
- FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。また、電話帳の内容は電池パックを外した状態および空の状態でも約1ヶ月は保持されますが、それ以上経過すると内容が消失してしまう場合があります。万一、電話帳などに登録してある内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

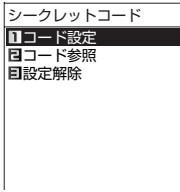
メールアドレスにシークレットコードを設定する

相手がメールアドレスにシークレットコードを登録しているときは、シークレットコードを電話帳に設定しておくと、電話帳からiモードメールを作成するときに自動的にシークレットコードが付加されます。

- メールアドレスが設定されていないときはシークレットコードの設定はできません。
- シークレットコードに「0000」は設定できません。

次ページへつづく

1 電話帳登録画面で✉を選択し、◉を押す

2 暗証番号を入力し、◉を押す

シークレットコード画面が表示されます。

3 1「コード設定」を押し、メールアドレスを選択して◉を押す

- シークレットコードを確認するときは2「コード参照」を押します。
- シークレットコードの設定を解除するときは3「設定解除」を押します。

4 半角数字４桁のコードを入力し、◉を押す

5 1「はい」を押す

- 設定しないときは2「いいえ」を押します。

6 i［登録］を押す

お知らせ

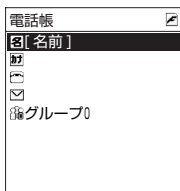
- 電話帳のメールアドレスに直接シークレットコードをつけて登録せず、シークレットコード設定でコードを入力してください。

FOMAカード電話帳登録

FOMAカード電話帳に登録する

- 50件まで登録できます。

1 ◉を１秒以上押す

2 2「FOMAカード（UIM)」を押す

FOMAカード電話帳登録画面

電話帳登録画面が表示されます。

3 項目を設定する

■ 名前を設定するとき

① 名 を選択し、● を押す

② 名前を入力し、● を押す

- 全角10文字（半角21文字）まで入力できます。（全角と半角が混在している場合や、半角カナが含まれている場合は、10文字までしか入力できません）
- 漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号、絵文字、顔文字が入力できます。
- 名前は必ず入力してください。入力しないと電話帳に登録できません。
- 名前を入力すると、ｶﾅ にフリガナが自動的に表示されます。
- 名前を英数字にしたときは、フリガナは名前と同じになります。また、絵文字や一部の記号を使用したときはフリガナは表示されません。

■ フリガナを設定するとき

自動的に入力されたフリガナを修正できます。

① ｶﾅ を選択し、● を押す

② フリガナを入力し、● を押す

- フリガナは全角カナ12文字（半角英数・記号25文字）まで入力できます。（全角と半角が混在している場合は、12文字までしか入力できません）

■ 電話番号を設定するとき

① 電話 を選択し、● を押す

② 電話番号を入力し、● を押す

- 電話番号は「※」、「#」、「+」、「P」を含めて、26桁まで入力できます。

■ メールアドレスを設定するとき

① ✉ を選択し、● を押す

② メールアドレスを入力し、● を押す

- 半角英数字、半角記号を50文字まで入力できます。

■ グループを設定するとき

設定しないときは「グループ0」となります。

① グループ を選択し、● を押す

② グループを選択し、● を押す

- グループ番号は0～9まで選択できます。

4 i ［登録］を押す

お知らせ

- 電話帳検索画面から新規登録するには i ［機能］ ▶ 「新規登録」を選択し、● ▶ 2 「FOMAカード（UIM）」を押します。
- FOMAカードによっては電話番号が20桁までしか入力できない場合があります。

リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録する

1 ◐ を押す

リダイヤル一覧画面または着信履歴一覧画面が表示されます。

■ アドレス履歴から登録するとき

◐ ▶ ✉ ［アドレス履歴］を押す

次ページへつづく

2 登録する電話番号やメールアドレスを選択し、◉を押す

3 ◉▶「電話帳新規登録」を選択し、◉を押す

■ すでに登録されている電話帳に追加登録するとき

①◉▶「電話帳追加登録」を選択し、◉を押す

②電話帳を選択し、◉を押す

- 以降の操作：→P101「電話帳を修正する」手順3～5

4 1「本体」または 2「FOMA カード（UIM）」を押す

- 以降の操作：→P89「FOMA 端末電話帳に登録する」手順3～6、→P94「FOMA カード電話帳に登録する」手順3～4

グループ編集

グループを編集する

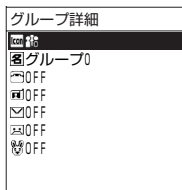
電話帳のグループ名やアイコンを変更したり、FOMA 端末電話帳のグループごとに着信音や伝言メッセージ、キャラ電を設定できます。

1 ◉を押す

- グループ検索画面が表示された場合は、◉を押します。

2 i［機能］▶「グループ編集」を選択し、◉を押す

- FOMA カード電話帳のグループを編集する場合は、i［FOMA カード］を押します。（画面の右上に が表示されます）
FOMA カード電話帳で編集できるのはグループ名だけです。

3 グループを選択し、◉を押す

グループ詳細画面が表示されます。

4 項目を設定する

■ グループアイコンを設定するとき

① を選択し、◉を押す

②グループアイコンを選択し、◉を押す

■ グループ名を設定するとき

① を選択し、◉を押す

②グループ名を入力し、◉を押す

- 全角 10 文字（半角 21 文字）まで入力できます。（FOMA カード電話帳のグループ名は、全角と半角が混在している場合や、半角カナが含まれている場合は、10 文字までしか入力できません）

■ グループ音声着信を設定するとき

① を選択し、● を押す

② 1 「ON」を押す

- 設定しないときは 2 「OFF」を押します。

③ 着信音を設定する

- 操作方法について→P91「個別音声着信を設定するとき」手順③～④

④ を選択し、● を押す

⑤ 1 「指定あり」▶ で音量を調節し、● を押す

- 指定しないときは 2 「指定なし」を押します。

⑥ を選択し、● を押す

⑦ 画像を選択し、● を押す

- データBOXのマイピクチャ・iモーションフォルダから選択できます。
- プレビュー画面が表示されたときは、位置やサイズを設定できる場合は設定し、● を押します。

⑧ バイブレータを設定する

- 操作方法について→P91「個別音声着信を設定するとき」手順⑤～⑦

⑨ 着信ランプを設定する

- 操作方法について→P91「個別音声着信を設定するとき」手順⑧～⑩

⑩ i［確定］を押す

■ グループテレビ電話着信を設定するとき

① を選択し、● を押す

② 1 「ON」を押す

- 設定しないときは 2 「OFF」を押します。

③ 項目を設定する

- 操作方法は「グループ音声着信を設定するとき」と同じです。

④ i［確定］を押す

■ グループメール着信を設定するとき

① を選択し、● を押す

② 1 「ON」を押す

- 設定しないときは 2 「OFF」を押します。

③ 項目を設定する

- 操作方法は「グループ音声着信を設定するとき」と同じです。

④ を選択し、● を押す

⑤ 通知時間を入力し、● を押す

- 1～30秒まで入力できます。

⑥ i［確定］を押す

■ グループ伝言メッセージを設定するとき

① を選択し、● を押す

② 1 「ON」を押す

- 以降の操作：→P92「個別伝言メッセージを設定するとき」手順③
- 設定しないときは 2 「OFF」を押します。

■ キャラ電を設定するとき

を選択し、● を押す

- 以降の操作：→P91「キャラ電を設定するとき」手順②～③

5 i［保存］を押す

お知らせ

- バイブレータや着信ランプの設定で、「メロディ連動」を選択すると、着信音の設定に連動した動きになります。
- 音量を「指定なし」にすると各種設定の音量設定に従います。
- 個別の着信設定とグループの着信設定が異なる場合、個別の着信設定が優先されます。

電話帳から電話をかける

電話帳を検索して電話をかけます。

- 次の方法で検索できます。

電話帳検索（アカサタナ順）：五十音順（ア行、カ行、･･･英、数、ナシ）で区分けされて表示される一覧から検索します。
名前検索：名前から検索します。
フリガナ検索：フリガナから検索します。
メモリダイヤル番号検索：メモリダイヤル番号から検索します。
グループ検索：グループ名から検索します。
電話番号検索：電話番号から検索します。
メールアドレス検索：メールアドレスから検索します。
番号種別検索：番号種別アイコンで区分けされて表示される一覧から検索します。
時短検索：ダイヤルキーで簡単に検索します。

1 を押す

電話帳検索画面（電話帳検索のとき）

前回検索した方法で電話帳検索画面が表示されます。

■ URLを利用するとき

［機能］▶ 7「URL」を押す

- 以降の操作：→P409「URLを利用するとき」手順②

■ 通話中にプッシュ信号を送信するとき

- 通話中に電話帳を表示する→P396

① ［機能］▶ ▶ ▶ 2「プッシュ信号送信」を押す
② 電話番号を選択し、 を押す

2 検索方法を選択し、電話帳を検索する

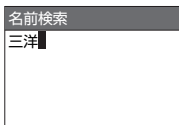
検索方法の選択は以下のいずれかの方法で行います。（電話帳検索画面によって操作方法が変わります。）

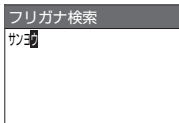
［検索］▶ 検索方法を選択し、 を押す
［機能］▶「検索切替」を選択し、 を押す ▶ 検索方法を選択し、 を押す

- FOMAカード電話帳に登録されている電話帳には が表示されます。

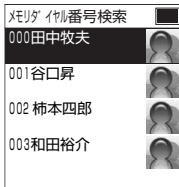
■ 電話帳検索のとき

を押し、ア～ワ、英、数、ナシ行を選択する

- ダイヤルキーを押して電話帳を表示させることもできます。（「ア」行：1、「カ」行：2･･･「ワ」行：0、「英」：＊、「数」：#）

■ 名前検索のとき

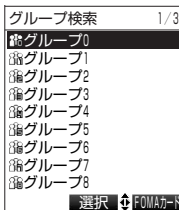
名前を入力し、●を押す

■ フリガナ検索のとき

フリガナを入力し、●を押す

- フリガナの最初の文字から 1 文字以上入力して検索すると、該当する電話帳がすべて表示されます。（すべての文字を入力する必要はありません）

■ メモリダイヤル番号検索のとき

- FOMA カード電話帳は検索できません。

メモリダイヤル番号を３桁で入力する（例：003 など）

- 画面右上にメモリダイヤル番号が表示され、該当の電話帳が選択されます。

■ グループ検索のとき

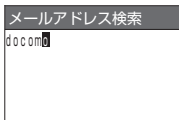
- i［FOMA カード］を押すと FOMA カード電話帳と FOMA 端末電話帳を切り替えられます。

グループを選択し、●を押す

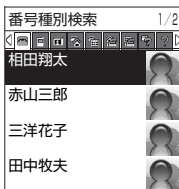
- ◀▶を押して前後のグループを表示させることもできます。

■ 電話番号検索のとき

電話番号を入力し、●を押す

- 電話番号の一部を入力しても検索できます。

■ メールアドレス検索のとき

メールアドレスを入力し、●を押す

- メールアドレスの一部を入力しても検索できます。

■ 番号種別検索のとき

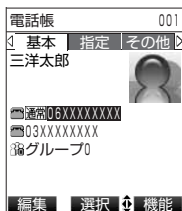
- FOMA カード電話帳は「その他」の種別に分類されます。

◀▶を押し、番号種別を選択する

- ダイヤルキーを押して表示する番号種別を切り替えることもできます。

電話帳

次ページへつづく

3 電話帳を選択し、◉を押す

電話帳詳細画面

電話帳詳細画面が表示されます。

4 電話番号を選択し、[発信]を押す

- テレビ電話をかけるときは[テレビ電話]を押します。

■ メールを作成するとき

①メールアドレスを選択して◉を押す

②[1]「メール作成」を押す

- 以降の操作：→P230「iモードメールを作成して送信する」手順4～6

■ SMSを作成するとき

①[i]［機能］▶[1]「SMS作成」を押す

②電話番号を選択し、◉を押す

- 以降の操作：→P275「SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する」手順4～5

■ 誕生日をスケジュールに登録するとき

①[i]［機能］▶[5]「スケジュールへ登録」を押す

②[1]「はい」を押す

- 登録しないときは[2]「いいえ」を押します。

■ 電話帳の内容をコピーするとき

①[i]［機能］▶[6]「項目コピー」を押す

②項目を選択し、◉を押す

時短検索

ダイヤルキーで素早く検索できます。検索結果の表示は頻度順とカナ順に切り替えられます。

- 電話の回数などはFOMA端末に記録されており、これにより使用頻度を検索しています。

1 待受画面でダイヤルキーを1秒以上押す

次のダイヤルキーを押すと、その中で使用頻度の高い順に電話帳を表示します。

[1]：ア行、1
[2]：カ行、A～C、2
[3]：サ行、D～F、3
[4]：タ行、G～I、4
[5]：ナ行、J～L、5
[6]：ハ行、M～O、6
[7]：マ行、P～S、7
[8]：ヤ行、T～V、8
[9]：ラ行、W～Z、9
[0]：ワ行、ン、0

■ 表示を切り替えるとき

[✉]［切替］を押す

■ 電話の使用回数の記録を消去するとき

①[i]［機能］▶◎▶◎▶[2]「頻度リセット」を押す

②端末暗証番号を入力し、◉を押す

③[1]「はい」を押す

- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

お知らせ

- シークレット属性が「ON」の電話帳が表示されるのは、シークレットモード中のみです。

電話帳に設定されている画像を表示する＜フォト表示ON／OFF＞

お買い上げ時	フォト表示ON

電話帳に画像を登録している場合に、検索結果画面で画像を表示するかどうかを設定します。

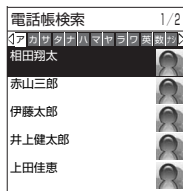
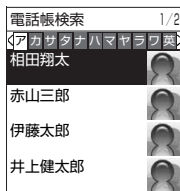
1 検索結果画面で、[i]［機能］▶◎▶[7]「フォト表示ON」を押す

- 画像を表示しないときは[7]「フォト表示OFF」を押します。

検索結果画面の文字サイズを変更する＜文字サイズ設定＞

お買い上げ時	標準

1 検索結果画面で、[i]［機能］▶◎▶[6]「文字サイズ設定」を押す

2 [1]～[3]を押す

小さめ：16ドット

標準：20ドット

大きめ：24ドット

電話帳編集

電話帳を修正する

1 検索結果画面で電話帳を選択し、◉を押す

2 [✉]［編集］を押す

3 各項目を修正する

- それぞれの項目の設定について→P89、94

4 [i]［登録］を押す

次ページへつづく

5 1 「はい」を押す

- 上書きしないときは 2 「いいえ」を押し、新しいメモリダイヤル番号を入力して ● を押します。FOMAカード電話帳を修正したときは、メモリダイヤル番号の入力は行いません。

お知らせ

- シークレット属性が「ON」の電話帳は、シークレットモード中のみ修正できます。
- PIMロック、ダイヤル発信制限されている場合、修正はできません。
- 電話番号やメールアドレスが複数登録されている電話帳の1件目を削除すると、残りのどちらを「通常使用」にするかを選択する画面が表示されます。残りが1件の場合は自動的に通常使用になります。

電話帳をコピーする

FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳の間で電話帳をコピーできます。

FOMA端末電話帳をFOMAカード電話帳にコピーする

以下の項目がコピーされます。

名前：全角10文字（半角21文字）までコピーされます。これを超えた部分はコピーされません。また、全角と半角が混在している場合や、半角カナが含まれている場合は、10文字までしかコピーされません。

フリガナ：半角25文字までコピーします。これを超えた部分はコピーされません。また、半角カナが含まれている場合は、12文字までしかコピーされません。

電話番号：1件目に登録されている電話番号のみコピーされます。アイコンは☎に変更されます。

メールアドレス：1件目に登録されているメールアドレスのみコピーされます。アイコンは✉に変更されます。

グループ：グループ名が同じグループがFOMAカードにある場合は、そのグループにコピーされます。ない場合は、グループ0にコピーされます。

1 コピーする電話帳を検索する

2 i［機能］▶ ◎ ▶ 3 「FOMAカードへコピー」を押す

3 1 「1件コピー」を押す

- コピーできない項目があるときは、コピーするかどうかのメッセージが表示されます。

■ 選択コピーするとき

① 2 「選択コピー」を押す

② コピーする電話帳を選択し、● を押す

- 解除するときは ● を押します。

③ i［実行］を押す

■ 全件コピーするとき

3 「全件コピー」を押す

4 1 「はい」を押す

- 中止するときは 2 「いいえ」を押します。

お知らせ

- 電話帳詳細画面からFOMAカード電話帳へコピーするには i［機能］▶ 4「FOMAカードへコピー」を押します。
- 名前・フリガナ・電話番号・メールアドレス・グループ以外の項目（画像・個別音声着信などの設定・誕生日など）はコピーできません。

FOMAカード電話帳をFOMA端末電話帳にコピーする

以下の項目がコピーされます。

名前：コピーされます。
フリガナ：全角カナは半角に変更され、コピーされます。
電話番号：電話番号の1件目にコピーされます。
メールアドレス：メールアドレスの1件目にコピーされます。
グループ：グループ名が同じグループがFOMAカードにある場合は、そのグループにコピーされます。ない場合は、グループ0にコピーされます。

1 コピーする電話帳を検索する

- FOMAカード電話帳には が表示されます。
- グループ検索を利用するとFOMAカード電話帳のみ表示させることができます。→P99

2 i［機能］▶ ◎ ▶ 3「本体へコピー」を押す

3 1「1件コピー」を押す

■ 選択コピーするとき

① 2「選択コピー」を押す
② コピーする電話帳を選択し、● を押す
- 解除するときは ● を押します。

③ i［実行］を押す

■ 全件コピーするとき

3「全件コピー」を押す

4 1「はい」を押す

- 中止するときは 2「いいえ」を押します。

お知らせ

- 電話帳詳細画面からFOMA端末電話帳へコピーするには i［機能］▶ 4「本体へコピー」を押します。

電話帳削除

電話帳を削除する

1 削除する電話帳を検索する

2 i［機能］▶ ◎ ▶ 4「削除」を押す

3 1「1件削除」を押す

■ 選択削除するとき

① 2「選択削除」を押す
② 削除する電話帳を選択し、●を押す
・解除するときは●を押します。
③ i［実行］を押す

■ 全件削除するとき

① 3「全件削除」を押す
② 端末暗証番号を入力し、●を押す
・FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳がどちらも含まれているときは、項目を選択し、●を押します。

電話帳

4 1「はい」を押す

・削除しないときは2「いいえ」を押します。

お知らせ

・電話帳詳細画面から削除するにはi［機能］▶7「削除」を押します。
・選択削除・全件削除は検索結果画面からしかできません。
・削除する電話帳の中にシークレット属性を設定している電話帳があるときは、削除を確認するメッセージが表示されます。

電話帳の内容を読み上げる

1 検索結果画面で電話帳を選択し、▾（ボイス）を1秒以上押す

設定されているフリガナを読み上げます。

お知らせ

・電話帳詳細画面で▾（ボイス）を1秒以上押しても読み上げます。

シークレット設定

知られたくない電話帳を守る

電話帳にシークレット属性を設定すると、シークレットモード中以外では検索、表示できなくなり、プライバシーを守れます。

・シークレットモード中のみシークレット属性の設定、解除ができます。
・FOMAカード電話帳にはシークレット属性を設定できません。

1 シークレットモードを設定する

・設定方法について→P138

2 電話帳を選択し、●▶✉［編集］を押す

3 を選択し、を押す

4 1「ON」を押す

シークレット属性が設定されます。
• 解除するときは 2「OFF」を押します。

5 i［登録］を押す

6 1［はい］を押す

• 新規登録するときは 2「いいえ」を押し、メモリダイヤル番号を入力してを押します。

お知らせ

• シークレット設定した電話帳で個別の着信動作の設定、グループ別の設定をしていても、シークレットモード中以外のときは個別の動作にはなりません。

メモリ登録件数

電話帳の登録状況を確認する

FOMA 端末電話帳や FOMA カード電話帳の登録件数やシークレット設定件数を表示します。
• シークレット設定件数はシークレットモード中のみ表示されます

1 電話帳検索画面で、i［機能］▶▶▶1「メモリ登録件数」を押す

FOMA 端末（本体）電話帳と FOMA カード電話帳（UIM）の登録情報が表示されます。

電話帳

ツータッチダイヤル

少ないキー操作で電話をかける

FOMA端末電話帳のメモリダイヤル番号（0～99）で簡単に電話をかけることができます。

- 複数の電話番号が登録されている場合、通常に設定されている電話番号にかかります。

〈例〉メモリダイヤル番号3の電話番号に電話をかけるとき

1 待受画面でメモリダイヤル番号（3）を入力し、発信キーを押す

- メモリダイヤル番号の前に0を入力する必要はありません。
- テレビ電話のときはメモリダイヤル番号を入力し、テレビ電話キーを押します。

お知らせ

- メモリダイヤル番号を入力し、● ▶ 1「音声発信」または 2「64K テレビ電話発信」を押しても電話をかけることができます。

音／画面／照明設定

音の設定

画面／照明の設定

携帯電話から鳴る着信音を変える

電話やメールの着信音、FOMA端末操作時の確認音や位置情報の通知・確認音を設定します。

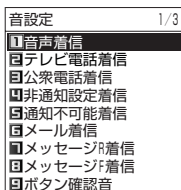
- iモーションを着信音に設定すると、着信時にiモーションの映像と音声が再生されます。（着モーション）

着信音や着モーションを変更する

お買い上げ時	音声着信：カントリーロード　テレビ電話着信：宝石 公衆電話／非通知設定／通知不可能着信：交響曲第25番ト短調 メール着信：ファンタジー　メッセージR/F着信：ハープ

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 1 ▶ 2 **を押す**

音設定　1/3
1音声着信
2テレビ電話着信
3公衆電話着信
4非通知設定着信
5通知不可能着信
6メール着信
7メッセージR着信
8メッセージF着信
9ボタン確認音

音設定画面が表示されます。

2 1 〜 8 **を押す**

音声着信　：音声電話着信時の設定です。
テレビ電話着信　：テレビ電話の着信時の設定です。
公衆電話着信　：公衆電話などからかかってきた電話の着信時の設定です。
非通知設定着信　：非通知設定でかかってきた電話の着信時の設定です。
通知不可能着信　：国際電話や、一般電話から各種転送サービスを経由しての着信時などの設定です。（経由する電話会社により発信者番号が通知される場合もあります。）
メール着信　：メールの着信時の設定です。
メッセージR着信：メッセージRの着信時の設定です。
メッセージF着信：メッセージFの着信時の設定です。

3 1 〜 4 **を押す**

iモーション　：映像データや音声データでお知らせします。
メロディ　：音声データでお知らせします。
音声読み上げ：音声でお知らせします。発信者が電話帳に登録されているときは、フリガナも読み上げます。
OFF　：着信音は鳴りません。

■「iモーション」、「メロディ」を選んだとき

データを選択し、● を押す

- データを選択して ✉［再生］を押すと、確認できます。

お知らせ

- 着信音に「音声読み上げ」を設定していると、着信時に相手の名前が周囲の人に聞こえる可能性があります。ご注意ください。

FOMA端末を開閉したときの音を変更する<オープントーン／クローズトーン>

お買い上げ時	オープントーン：オープントーン1 クローズトーン：クローズトーン1

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 1 ▶ 2 **を押す**

音設定画面が表示されます。

2 ◎ ▶ 1 **「オープントーン」または** 2 **「クローズトーン」を押す**

3 1 **「メロディ」を押す**

- 鳴らさないときは 2 「OFF」を押します。

4 **データを選択し、● を押す**

- データを選択して ✉ ［再生］を押すと、確認できます。

GPS機能に関する音を変更する

お買い上げ時	現在地確認：ストリート 現在地通知／定期現在地通知／位置提供／通知：モールス 位置提供／確認：スタイリッシュ

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 1 ▶ 2 **を押す**

音設定画面が表示されます。

2 ◎ **を1回または2回押し、項目を選択して ● を押す**

現在地確認：現在地確認を行うときの設定です。

現在地通知：現在地通知が行われたときの設定です。

定期現在地通知：定期現在地通知を行うときの設定です。

位置提供／通知：位置情報の提供を要求されたときの設定です。（GPSサービス利用設定が「許容」の場合）

位置提供／確認：位置情報の提供を要求されたときの設定です。（GPSサービス利用設定が「毎回確認」の場合）

3 1 **「メロディ」を押す**

- 鳴らさないときは 2 「OFF」を押します。

4 **データを選択し、● を押す**

- データを選択して ✉ ［再生］を押すと、確認できます。

内蔵のメロディ一覧

FOMA端末に内蔵のメロディは以下のとおりです。(「プリインストール」フォルダに登録されています)

- ディスプレイに表示しきれない部分は省略されます。

曲 名	作曲者	曲 名	作曲者
パターン1～3	－	ハープ	－
カントリーロード	Bill Danoff, Taffy Nivert, John Denver	ストリート	－
宝石	Pyotr Ilych Tchaikovsky	スタイリッシュ	－
交響曲第25番ト短調	Wolfgang Amadeus Mozart	モールス	－
4羽の白鳥	Pyotr Ilych Tchaikovsky	シロフォン	－
胡桃割り人形「行進曲」	Pyotr Ilych Tchaikovsky	音声着信(Voice)	－
動物の謝肉祭「化石」	Camille Saint-Saens	メール着信(Voice)	－
The Moment	－	沖縄風	－
ハンガリー舞曲第5番	Johannes Brahms	黒電話	－
禿山の一夜	Modest Mussorgsky	アラーム音	－
愛の挨拶	Edward Elgar	オープントーン1、2	－
エンターテイナー	Scott Joplin	クローズトーン1、2	－
ファンタジー	－	Flower Carnival (iモーション)	－

許諾番号:T- 0560263

お知らせ

- iモーションの種類によっては設定できない場合があります。
- 映像のみで音声のないiモーションは着信音には設定できません。
- 着信音に映像と音声が含まれるiモーションを設定した場合は、着信画像もそのiモーションに変更されます。ただし、音声のみのiモーション(歌手の歌声など映像のないiモーション)の場合は、着信画像は変更されず、設定された画像が表示されます。
- 電話帳で着信音を設定している場合、電話帳の着信音が優先されます。
  着信音の設定が重なっているときは次のような順番で優先されます。
  ① 電話帳の個別音声着信の着信音設定
  ② 電話帳のグループ音声着信の着信音設定
  ③ 各種設定の着信音設定
- 着信音に映像と音声が含まれるiモーションを設定したときは、電話帳の基本情報に静止画を設定している相手から着信があっても設定した静止画は表示されず、iモーションが再生されます。ただし、音声のみのiモーション(歌手の歌声など映像のないiモーション)のときは、設定された静止画が表示されます。
- ドライブモード中は、音声電話・テレビ電話の着信音、メール(メッセージR/F 含む)の着信音、各種アラームなどは鳴りませんが、FOMA端末の開閉音やボタン確認音は鳴ります。

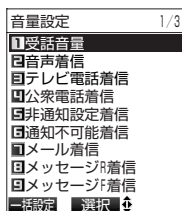
音量設定

携帯電話から鳴る音の音量を変える

お買い上げ時	すべて LEVEL3

電話やメールの着信音、確認音の音量を設定します。

- 音量はLEVEL1（最小）～LEVEL5（最大）の5段階と、OFF（無音）に設定できます。だんだん音が大きくなったり小さくなったりするステップトーンに設定できるものもあります。
- 受話音量はOFF(無音)、ステップトーンに設定できません。

1 **を押す**

音量設定画面

音量設定画面が表示されます。

2 項目を選択し、● を押す

音量調節画面が表示されます。

- 設定項目の内容に関する説明→P108、109

■ 音量をまとめて調節するとき

[一括設定］を押す

- 受話音量は「一括設定」では調節できません。

3 を押して音量を調節し、● を押す

- [STEP ↓］を押すと音がだんだん小さく、[STEP ↑］を押すと音がだんだん大きくなる設定になります。（ステップトーン）ただし、一括設定のときは設定できません。
- 「一括設定」のときは変更するかどうかのメッセージが表示されます。

バイブレータ設定

着信などを振動で知らせる

お買い上げ時	すべて OFF

音声電話やテレビ電話の着信時、メールやメッセージR/Fの受信時などに振動（バイブレータ）でお知らせします。

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 1 ▶ 3 を押す

バイブレータ設定画面が表示されます。

2 項目を選択し、● を押す

- 設定項目の内容に関する説明→P108、109

次ページへつづく

3 1 ～ 7 を押す

メロディ連動：着信音にメロディを設定すると、音にあわせて振動します。
- メロディによっては連動しない場合があります。

パターン1～5：FOMA端末に内蔵の振動パターンです。

OFF：振動しません。

- ［確認］▶ ● を押すと、内容を確認できます。

4 1 ～ 3 を押す

お知らせ

- マナーモード中にもこのバイブレータの設定で振動します。
- バイブレータを設定している場合、バイブレータの動作時に振動で机などから落下しないようにお気をつけください。
- バイブレータの設定が重なっているときは次のような順番で優先されます。
  ①電話帳の個別音声着信のバイブレータ設定
  ②電話帳のグループ音声着信のバイブレータ設定
  ③各種設定のバイブレータ設定

呼出バイブ
相手が電話に出たことを振動で知らせる

お買い上げ時	OFF

電話した相手が電話に出たときにFOMA端末が振動するように設定します。

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 1 ▶ 7 を押す

2 1「ON」を押す

- 設定しないときは 2「OFF」を押します。

ボタン確認音
キーを押したときに鳴る音を設定する

お買い上げ時	ピポパ

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 1 ▶ 2 ▶ 9 を押す

ボタン確認音画面が表示されます。

2 1 ～ 3 を押す

- 鳴らさないときは 4「OFF」を押します。
- ［再生］を押すと、確認できます。

お知らせ

- マナーモード中はボタン確認音は鳴りません。
- 「OFF」にすると、電池レベル表示時の確認音も鳴らなくなります。

OK トーン／NG トーン

OK トーン、NG トーンを設定する

お買い上げ時	OK トーン：ON　NG トーン：ON

FOMA 端末の機能を正しく設定・操作したときに鳴る音や、操作を間違えたり、設定できない機能を設定しようとしたときに鳴る音を設定します。

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 1 ▶ 2 を押す

2 ◯ ▶ 3「OK トーン」または 4「NG トーン」を押す

3 1「ON」を押す

- 設定しないときは 2「OFF」を押します。

お知らせ

- マナーモード中は OK トーン、NG トーンは鳴りません。

充電確認音

充電時の確認音を設定する

お買い上げ時	充電確認音 1

充電を開始したときや完了したときに、確認音を鳴らすかどうか設定します。

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 1 ▶ 2 ▶ ◯ ▶ 5 を押す

2 1「充電確認音 1」または 2「充電確認音 2」を押す

- 鳴らさないときは 3「OFF」を押します。

お知らせ

- マナーモード中、ドライブモード中、通話中、i モード接続中、電源が入っていないときなどは充電確認音は鳴りません。

通話品質アラーム

通話が切れそうなときはアラームで知らせる

お買い上げ時	アラーム高音

通話中に電波の状態が悪くなり、電話が途中で切れてしまいそうなときは、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。

- 急に通話状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 4 ▶ 3 ▶ 1 を押す

2 1「アラーム高音」または 2「アラーム低音」を押す

- 鳴らさないときは 3「アラーム OFF」を押します。

通知時間設定

メールの着信音などを鳴らす時間を設定する

お買い上げ時	すべて5秒

メールやメッセージR/Fの着信音やGPS機能の通知音を鳴らす時間を設定します。

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 1 ▶ 5 を押す

2 1 ～ 8 を押す

3 通知時間を入力し、● を押す

- 次の範囲で時間を設定できます。
  - メール着信、メッセージR/F着信：01～30秒
  - 現在地確認、現在地通知、定期現在地通知、位置提供/通知：00～30秒
  - 位置提供/確認：00～20秒

着信音出力先切替

イヤホンだけから着信音を鳴らす

お買い上げ時	イヤホン

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続している場合に、スピーカーから着信音が鳴らないように設定します。

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 4 ▶ 4 を押す

2 1「イヤホン」を押す

- スピーカーからも着信音を鳴らすときは 2「イヤホン+スピーカー」を押します。

お知らせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続していないときは、本機能の設定にかかわらず、スピーカーから着信音が鳴ります。

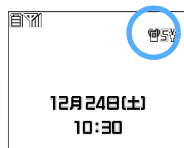
マナーモード

電話から鳴る音を消す

お買い上げ時	OFF

周囲に迷惑がかからないように、着信音を鳴らさず振動で知らせたり、ボタン確認音を鳴らさないように設定できます。

1 待受画面で # を1秒以上押す

12月24日(土)
10:30

マナーモードが設定され、待受画面に が表示されます。

■ マナーモードを解除するとき

待受画面で # を1秒以上押す

マナーモード（サイレントバイブ）を設定すると

着信音、ボタン確認音、アラーム音、GPS機能の通知音などの音を消し、着信を振動でお知らせします。また、マイクの感度も上がり、小さな声でも通話できます。

- 着信音、アラーム音、GPS機能の通知音などの振動については次のとおりです。
  - バイブレータ設定の内容で振動します。バイブレータ設定が「OFF」のときは、「パターン1」、強度「中」で振動します。
  - 音設定を「音声読み上げ」、「OFF」またはバイブレータのパターンが登録されていないメロディに設定しているときで、バイブレータ設定が「メロディ連動」のときは、「パターン1」で振動します。

お知らせ

- お買い上げ時は「サイレントバイブ」に設定されています。マナーモードの種類は変更できます。
- マナーモード中でもカメラ撮影時の確認音（シャッター音）は鳴ります。
- マナーモード中に音を鳴らす動作になったとき、一時的に音を鳴らすかどうかのメッセージが表示される場合があります。項目を選択し、◉を押します。

オリジナルマナーモード

マナーモードを変更する

お買い上げ時	マナーモード：サイレントバイブ タイマーモード：連続モード

マナーモードの内容を変更します。マナーモードの動作時間を設定したり、着信音や確認音の種類によって設定を変更できます。（オリジナルマナーモード）

マナーモードの種類や動作時間を設定する

1   ◉ ▶ 各種設定 ▶ 1 ▶ 6 **を押す**

2 1 〜 3 **を押す**

マナーモードの種類と内容は次のとおりです。

種　類	音　量	バイブレータ	マイク感度	低電圧アラーム
サイレントバイブ	OFF	ON（バイブレータ設定）	高感度	OFF
おやすみ	OFF	OFF	高感度	OFF
オリジナルマナー	個別に設定可能	個別に設定可能	個別に設定可能	個別に設定可能

3 **動作時間を設定する**

■ 動作時間を設定しないとき

① 1 **「連続モード」を押す**

② **待受画面で # を1秒以上押す**

- 待受画面に📳が表示されます。
- 手動で解除するまでマナーモードが継続します。

音／画面／照明設定

次ページへつづく

■ 動作時間を設定するとき
① 2「期間設定モード」を押す
② 開始時刻を入力し、● を押す
③ 終了時刻を入力し、● を押す
④ 待受画面で # を1秒以上押す
- 待受画面に が表示されます。
- 開始時刻から終了時刻まで自動的にマナーモードになります。マナーモード中は待受画面に が表示されます。

■ 設定した時間を過ぎると自動的に解除するとき
① 3「時間経過でOFF」を押す
② 動作時間を入力し、● を押す
③ 待受画面で # を1秒以上押す
- 待受画面に が表示されます。
- 設定した時間が経過すると自動的に解除されます。

オリジナルマナーモードを設定する

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 1 ▶ 6 を押す

2 「オリジナルマナー」を選択し、i［編集］を押す

オリジナルマナー設定画面が表示されます。

3 1 ～ 4 を押す

音量：音量を設定します。
以降の操作：→P111「携帯電話から鳴る音の音量を変える」手順2～3
- オリジナルマナー設定画面に戻るには CLR を押します。

バイブレータ：バイブレータを設定します。
以降の操作：→P111「着信などを振動で知らせる」手順2～4
- オリジナルマナー設定画面に戻るには CLR を押します。

マイク感度：マイクの感度を設定します。高感度にすると、小さな声で話しても相手にはっきり聞こえるようになります。1 ～ 3 を選択し、● を押します。
- マナーモードを設定していないときのマイク感度は中感度です。

低電圧アラーム：電池が切れそうなときにアラームを鳴らすかどうかを設定します。
1「ON」または 2「OFF」を押します。

4 i［保存］を押す

音／画面／照明設定

待受画面の表示を変える

待受画面の画像をｉモードのサイトなどからダウンロードした画像やｉモーション、FOMA端末で撮影した静止画や動画・ｉモーションなどに変更できます。また、待受画面にカレンダーや時計を表示したりスクリーンセーバーを設定できます。

画像を表示する<壁紙設定>

お買い上げ時	シンプル

お好きな画像を壁紙に設定します。

静止画を表示する

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 2 ▶ 1 ▶ 1 を押す

2 1「マイピクチャ」を押す

- 表示しないときは 3「OFF」を押します。

3 フォルダを選択し、● を押す

4 画像を選択し、● を押す

- ✉［再生］を押すと画像を確認できます。
- プレビュー画面が表示された場合、位置やサイズを設定し、● を押します。
- 画像によっては、プレビュー画面が表示されないもの、位置調整やサイズ変更ができないものがあります。

■ 位置を設定するとき

✥を押して設定する

- 押すごとに１ドットずつ移動します。
- １秒以上押すと、10ドットずつ移動します。

■ サイズを設定するとき

ｉ［サイズ変更］を押す

押すごとにサイズが①→②→③→①のように変更されます。
①画面の縦辺に合わせて、画像を拡大／縮小
②画面の横辺に合わせて、画像を拡大／縮小
③もとの画像サイズに戻す

動画・ｉモーションを表示する

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 2 ▶ 1 ▶ 1 を押す

2 2「ｉモーション」を押す

- 表示しないときは 3「OFF」を押します。

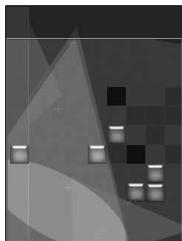
3 フォルダを選択し、● を押す

次ページへつづく

4 動画・iモーションを選択し、● を押す

- 表示サイズの確認画面が表示されたときは、[1] 「拡大」または [2] 「等倍」を押します。
- 音量調節画面が表示されたときは、◎ を押して音量を調節し、● を押します。
- 待受画面が表示されるたび、動画・iモーションが再生されます。再生後は最初の 1 コマが表示されます。
- ドライブモード中は再生されません。

FOMA 端末に内蔵されている画像について

FOMA 端末には以下の画像が内蔵されています。

お知らせ

- 画面と画像のサイズが同じときは、画像のサイズ変更はできません。
- キャラ電、フレーム、スタンプを壁紙に設定することはできません。
- 音声のみのiモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）、音声＋テキストのiモーションは壁紙に設定できません。
- iモーションによっては待受画面に設定できない場合があります。
- 待受画面に設定したiモーションからは、Phone To (AV Phone To)、Mail To、Web To 機能は利用できません。
- iモードサイトからダウンロードしたアニメーション GIF や Flash 画像を待受画面に設定した場合、iモードサイトでの表示と異なる場合があります。
- 待受画面に設定した画像などが削除された場合は、お買い上げ時の画像が表示されます。
- 次の画像が壁紙に設定できます。
  JPEG（Exif※／JFIF）、GIF、アニメーション GIF、Flash 画像

※「Exif」とは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、主にデジタルカメラなどで使用されている静止画用のファイルフォーマットです。

時計やカレンダーを表示する<時計／カレンダー設定>

お買い上げ時	デジタル時計（小）

待受画面の壁紙上に、時計やカレンダーを表示します。

- 画面を英語表示にしているときは、カレンダーの月、曜日表示も英語表示になります。

1   を押す

2 [1] 〜 [8] を押す

- 表示しないときは [9] 「OFF」を押します。
- [1] 「デジタル時計」、[2] 「アナログ時計」を押すとサイズを選択できます。

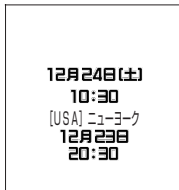
3 時計／カレンダーを設定する

1ヶ月カレンダー

■ デジタル・アナログ時計／カレンダーを設定するとき

で位置を調整し、● を押す

- を押すごとに1ドットずつ移動します。1秒以上押すと、10ドットずつ移動します。
- アナログ時計（大）は位置を変更できません。

12月24日(土)
10:30
[USA] ニューヨーク
12月23日
20:30

世界時計

■ 世界時計を設定するとき

を押して都市を選択し、● ▶ ● を押す

国名（アルファベット3文字の略称）、都市名、日時、日本との時差が表示されます。

- サマータイムの制度がある国では、✉［サマータイム］を押すと、サマータイム時刻が表示されます。（もう一度押すと戻ります）
- 世界時計は位置を変更できません。

お知らせ

- 時計設定を行っていない場合、時計やカレンダーは設定できません。

スクリーンセーバーを設定する<スクリーンセーバー>

お買い上げ時	OFF

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 2 ▶ 1 ▶ 4 **を押す**

2 1「マイピクチャ」を押し、アニメーションを選択して ● を押す

- スクリーンセーバーに設定できない画像は選択できません。
- 表示しないときは 2「OFF」を押します。

3 表示開始までの時間を入力し、● を押す

- 1～3分まで設定できます。

お知らせ

- スクリーンセーバーに設定できるのはアニメーションGIFだけです。

発着信画面設定

発着信時の画像を設定する

お買い上げ時	音声発信：発信（音声）　音声着信：着信（音声） テレビ電話発信：発信（テレビ電話）　テレビ電話着信：着信（テレビ電話） 公衆電話／非通知設定／通知不可能着信：着信（番号表示なし）

音声電話やテレビ電話をかけたり、受けたりするときに表示される画像を設定します。

1 ● ▶ ▶ ▶ を押す

2 1 〜 7 を押す

3 1「マイピクチャ」または 2「iモーション」を押す

- 発信画面にはiモーションは設定できません。
- 画像を表示しないときは、「OFF」を選択し、●を押します。

4 画像を選択し、●を押す

- プレビュー画面が表示された場合、位置やサイズを設定し、●を押します。

■ 位置を設定するとき

を押して設定する

- 押すごとに1ドットずつ移動します。
- 1秒以上押すと、10ドットずつ移動します。

■ サイズを設定するとき

i［サイズ変更］を押す

押すごとにサイズが①→②→③→①のように変更されます。
①画面の縦辺に合わせて、画像を拡大／縮小
②画面の横辺に合わせて、画像を拡大／縮小
③もとの画像サイズに戻す

お知らせ

- iモーションによっては、着信時の画像として設定できない場合があります。
- Flash画像は発着信画面に設定できません。
- 着信画像に映像と音声が含まれるiモーションを設定した場合は、着信音もそのiモーションに変更されます。
- 音声のみのiモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）は着信画像に設定できません。
- 着信時の画面設定が重なっている場合は、次の優先順位で表示されます。
  ① 電話帳の基本情報に設定した静止画
  ② 電話帳のグループ音声着信の画像設定
  ③ 各種設定の着信時の画面設定（映像と音声が含まれるiモーションを設定した場合は最優先で表示される場合があります）

背面ディスプレイを設定する

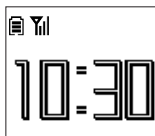
FOMA端末を折りたたんだときに、背面ディスプレイに着信相手の名前などの情報を表示させることができます。また時計表示のデザインや画面の明るさの変更ができます。

背面ディスプレイの時計表示を設定する＜背面時計設定＞

お買い上げ時	時計

1 **を押す**

2 1 〜 3 **を押す**

FOMA端末を折りたたんで を押すと、背面ディスプレイに設定した時計が表示されるようになります。

時計

時計＋日付

アニメーション時計

着信時に相手の名前などを表示する＜背面通知表示＞

お買い上げ時	ON

1 **を押す**

2 1 **「ON」を押す**

電話の着信時に、背面ディスプレイに名前や電話番号が表示されます。

- 設定しないときは 2 「OFF」を押します。

お知らせ

- シークレットモード中以外は、電話帳にシークレット属性が設定されている相手の電話を着信しても、相手の名前は表示されません。

背面ディスプレイの明るさを設定する<背面明るさ設定>

お買い上げ時	LEVEL3

1

2 を押して明るさを設定し、 を押す

LEVEL１～５までの５段階で設定できます。

照明設定

ディスプレイとキーの照明を設定する

お買い上げ時	画面／キー照明：ON 照明時間：10秒

FOMA端末の操作を行ったり、FOMA端末を開いた後、ディスプレイが設定した時間明るくなり、設定した時間が過ぎると、暗くなります。

1 ▶ 各種設定 ▶ 2 ▶ 6 ▶ 1 を押す

2 項目を設定する

■ 画面／キー照明を設定するとき

①1「画面／キー照明」を押す

②1「ON」を押す

- 点灯しないようにするときは、2「OFF」を押します。

■ 照明時間を設定するとき

①2「照明時間」を押す

②時間を入力し、 を押す

- 01～60秒まで設定できます。

3 [保存] ▶ 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

ディスプレイを常時点灯するように設定する<常時点灯設定>

お買い上げ時	テレビ電話：ON　その他のすべて：OFF

テレビ電話通話中やｉモード中などにディスプレイが、照明時間の設定にかかわらず常時明るくなります。

1 ● ▶ ▶ 2ABCか ▶ 6MNOは ▶ 2ABCか **を押す**

常時点灯設定画面が表示されます。

2 1.@あ 〜 5JKLな **を押す**

充電器接続：ACアダプタ（別売）やDCアダプタ（別売）接続時は、省電力設定で設定した時間が経過しても消灯しなくなります。

テレビ電話：テレビ電話通話中は常時点灯するようになります。

ｉモード：ｉモードのサイト画面表示中は常時点灯するようになります。

メール：メール表示画面、デコメールのプレビュー画面では常時点灯するようになります。

ｉアプリ：ｉアプリ実行中は常時点灯するようになります。

3 1.@あ **「ON」を押す**

- 常時点灯しないようにするときは 2ABCか 「OFF」を押します。

ディスプレイが消灯するまでの時間を設定する<省電力設定>

お買い上げ時	30秒

設定した時間になると、ディスプレイが消灯します。

1 ● ▶ ▶ ▶ ▶ 3DEFさ **を押す**

省電力設定画面が表示されます。

2 1.@あ 〜 6MNOは **を押す**

お知らせ

- 照明設定で指定した時間が経過していなくても、省電力設定で設定した時間が経過すると、ディスプレイは消灯します。

テイスト設定

ディスプレイの配色を設定する

お買い上げ時	シンプル

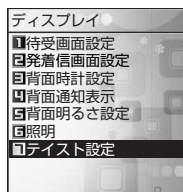
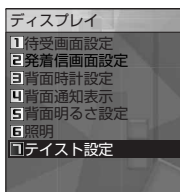
1 ▶ ▶ ▶ 7PQRSま **を押す**

テイスト設定画面が表示されます。

音／画面／照明設定

次ページへつづく

2 1 「シンプル」または 2 「スポット」を押す

ディスプレイの配色が変更されます。

シンプル

スポット

メインメニューのデザインを変更する

メインメニューのアイコンを並び替えたり、デザインを変更したりします。

- メールメニュー、GPS メニュー、i モードメニューでも行えます。

メニューアイコンを並び替える

1 設定するメニューを表示する

2 i ［機能］ ▶ 1 「並べ替え」を押す

3 移動させるアイコンを選択し、● を押す

4 ✥ を押して移動先を選択し、● を押す

- 手順３～４を繰り返してアイコンを並び替えます。

■ **お買い上げ時に戻すとき**

① ✉ ［リセット］を押す

② 1 「はい」を押す

- 中止するときは、2 「いいえ」を押します。

5 i ［保存］を押す

メニューアイコンを変更する

FOMA 端末に内蔵のアイコンに変更する

1 設定するメニューを表示する

2 [i]［機能］▶ [2ABCか] ▶ [1.@あ]「メニューアイコン変更」を押す

■ お買い上げ時に戻すとき

① [2ABCか]「メニューアイコン解除」を押す

② [1.@あ]「はい」を押す

- 中止するときは、[2ABCか]「いいえ」を押します。

3 アイコンを選択し、(●) ▶ (●) を押す

- [✉]［再生］を押すと、アイコンを確認できます。
- [i]［機能］▶ [1.@あ]「情報表示」を押すと、アイコン情報が表示されます。

■ FOMA 端末に内蔵されているアイコンについて

FOMA 端末には各メニュー用にそれぞれ「シンプル」と「スポット」アイコンが内蔵されています。

シンプル

スポット

ダウンロードしたアイコンに変更する

- あらかじめアイコンをダウンロードしておいてください。→P204

1 (●) ▶ [ツール] ▶ [6MNOは] ▶ [1.@あ] を押す

2 アイコンを選択し、(●) を押す

- [i]［機能］▶ [1.@あ]「タイトル編集」を押すと、タイトルを変更できます。
- [i]［機能］▶ [2ABCか]「情報表示」を押すと、アイコン情報が表示されます。

3 [✉]［設定］▶ [1.@あ] ～ [4GHIた] を押す

■ 個別用アイコンを選択したとき

(✥) を押して変更するアイコンを選択する

4 (●) を押す

お知らせ

• 変更したアイコンが削除された場合は、変更したアイコンがお買い上げ時のアイコンに戻ります。

メニューの説明を表示する

お買い上げ時	メニュー説明表示ON

1 メニュー画面を表示する

2 [i]［機能］▶ [3]「メニュー説明表示ON」を押す

メニュー選択後、約3秒後にメニューの説明が表示されるようになります。設定はすべてのメニューに反映されます。

• 表示しないときは、[3]「メニュー説明表示OFF」を押します。

LED設定

着信ランプの色を設定する

お買い上げ時	パターン： 音声・テレビ電話・公衆電話・非通知設定・通知不可能・メール・メッセージR/F着信　メロディ連動 現在地確認・現在地通知・定期現在地通知・位置提供/通知・位置提供/確認　パターン1 カラー：すべて カラー1

電話やメールの着信時、GPS機能の通知・確認時などに点滅する着信ランプに色や点滅パターンを設定します。

1 ●▶ 各種設定 ▶ [1] ▶ [4] を押す

2 項目を選択し、●を押す

• 設定項目の内容に関する説明→P108、109

3 [1] ～ [5] を押す

メロディ連動：着信音に設定したメロディにあわせて点滅します。
• メロディによっては連動しない場合があります。
• 現在地確認、現在地通知、定期現在地通知、位置提供/通知、位置提供/確認では選択できません。

パターン1～3：FOMA端末に内蔵の点滅パターンです。

OFF：点滅しません。
• 定期現在地通知、位置提供/通知、位置提供/確認では選択できません。

4 [1] ～ [7] を押す

- カラー１：紫、カラー２：青、カラー３：黄、カラー４：水色、カラー５：緑、カラー６：赤です。（色名はイメージです。）
- 「ALL」はカラー番号が６→３→５→４→２→１の順番で１秒ごとに点滅色が変わります。

お知らせLEDを設定する

お買い上げ時	OFF

LEDが約４秒間隔で点滅し、不在着信やメール受信、アラームなどを通知します。

1 ● ▶ 各種設定 ▶ [1] ▶ [4] ▶ [9] を押す

2 [1]「ON」を押す

- 設定しないときは [2]「OFF」を押します。

3 [1] ～ [5] を押す

不在着信　：不在着信、留守番電話、伝言メモがあったときに通知します。
メール　：iモードメール／SMS／メッセージR/F着信があったとき、センターにメールがあるときに通知します。
アラーム　：スケジュールアラーム、ToDoアラーム、アラームに応答しなかったとき、通知失敗／不応答のときに通知します。
iアプリ　：iアプリ自動起動失敗時に通知します。
ソフトウェア：ソフトウェアの更新結果があるときなどに通知します。

4 [1] ～ [5] を押す

- カラー１：紫、カラー２：青、カラー３：黄、カラー４：水色、カラー５：緑です。（色名はイメージです。）
- 設定しないときは [6]「OFF」を押します。

5 [i]［保存］を押す

通話イルミネーションを設定する

お買い上げ時	OFF

通話中に、着信ランプが点滅するように設定します。

1 ● ▶ 各種設定 ▶ [1] ▶ [4] ▶ ◎ ▶ [1] を押す

2 [1]「ON」を押す

- 設定しないときは [2]「OFF」を押します。

音／画面／照明設定

次ページへつづく

3 [1.@あ] ～ [7PQRSま] を押す

- 色の説明はLED設定と同じです。

お知らせ

- カラーを選択すると着信ランプが点滅しますので、設定前に色が確認できます。

Select language

画面を英語表示に切り替える

お買い上げ時	日本語

画面に表示される各機能名やメッセージなどの表示言語を切り替えます。

1 ▶ ▶ ▶   を押す

Select language（言語選択）画面が表示されます。

2 [2ABCか]「English」を押す

英語表示に切り替わります。（機能名「Select language」は「バイリンガル」とカタカナで表示されます）

■ 日本語表示に戻すとき

① [●] ▶ [Settings] ▶ [9WXYZら] を押す

② [4GHIた]「バイリンガル」を押す

バイリンガル画面が表示されます。

③ [1.@あ]「日本語」を押す

お知らせ

- Select languageの設定はFOMAカードを挿入している場合はFOMAカードに記憶されます。FOMAカードを抜いたり、設定したときと違うFOMAカードを挿入すると、設定が変わる場合があります。

あんしん設定

暗証番号について

携帯電話の操作や機能を制限する

発着信や送受信を制限する

その他の「あんしん設定」について

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号の必要なものがあります。暗証番号には、各種端末操作用の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、iモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問合せ先」までご相談ください。

端末暗証番号

端末暗証番号は、お買上げ時には「0000」に設定されていますが、お客様のお好みで自由に番号を変更できます。→P131

- 端末暗証番号を万一お忘れになったときは、FOMA端末※、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップ窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。
  ※契約者ご本人が購入された携帯電話でない場合、受け付けできない場合があります。

ネットワーク暗証番号

ドコモｅサイトでの各種手続き時や、各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「My DoCoMo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なお、iモードからは、ドコモｅサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更ができます。
※「My DoCoMo」「ドコモｅサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

iモードパスワード

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、iモード有料サービスのお申し込み／解約などを行う際には、4桁の「iモードパスワード」が必要になります。
この他にも各IP（情報サービス提供者）が独自にパスワードを設定している場合があります。
ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様のお好みで自由に番号を変更できます。
iモードから変更される場合は、iMenu→[8TUVや]「オプション設定」→[2ABCか]「iモードパスワード変更」から変更ができます。

PIN1コード／PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様のお好みで自由に番号を変更できます。

PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号(コード)です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。
PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算料金リセットを行うときなどに使用する4～8桁の暗証番号です。
- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。

認証パスワード

赤外線通信で全件送信/全件受信するときのパスワードです。(数字4桁)
赤外線通信を行う前に、送信側と受信側で同じパスワードを入力します。

お知らせ

- いたずら防止のため、端末暗証番号/PIN1コード・PIN2コード/iモードパスワードはご契約後にお好きな番号に変更してください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 電話番号の下4桁などのわかりやすい番号の使用は避け、他人に知られないよう十分ご注意ください。

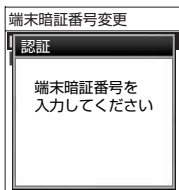
端末暗証番号変更

端末暗証番号を変更する

お買い上げ時	0000

FOMA端末を安全にご使用いただくために、端末暗証番号を変更できます。
- 端末暗証番号には、4～8桁の数字を入力します。

1 ●▶各種設定▶3 DEF さ▶1 .@あ を押す

2 1 .@あ「はい」を押す

認証画面が表示されます。
- 中止するときは 2 ABC か「いいえ」を押します。

3 現在設定している端末暗証番号を入力し、● を押す
- 端末暗証番号は「¥」で表示されます。

4 新しい端末暗証番号を入力し、● を押す

5 手順4で入力した端末暗証番号をもう一度入力し、● を押す

端末暗証番号が変更されます。

お知らせ

- FOMA端末の機能や設定でFOMA端末暗証番号の入力が必要になる場合があります。FOMA端末暗証番号とネットワーク暗証番号やiモードパスワードとは異なりますので、お気をつけください。

FOMAカード（UIM）

PINコードを設定する

FOMAカードを不正に使用されないため、FOMA端末の電源を入れたときにPIN1コードを入力しなければ、使用できない設定にします。

• PINコードには、4～8桁の数字を入力します。

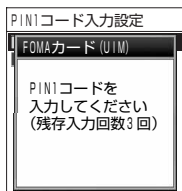
電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定する<PIN1コード入力設定>

お買い上げ時	OFF

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 3 DEF さ ▶ 6 MNO は を押す

2 端末暗証番号を入力し、● を押す

3 3 DEF さ「PIN1コード入力設定」を押す

4 1 .@あ「ON」を押す

認証画面が表示されます。

• 設定しないときは 2 ABC か「OFF」を押します。

5 PIN1コードを入力し、● を押す

• PIN1コードは「¥」で表示されます。

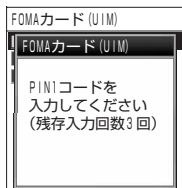
PIN1／PIN2コードを変更する<PIN1コード変更／PIN2コード変更>

お買い上げ時	PIN1コード：0000　PIN2コード：0000

• PIN1コード入力設定を「ON」にしないと、PIN1コードは変更できません。

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 3 DEF さ ▶ 6 MNO は を押す

2 端末暗証番号を入力し、● を押す

3 1 .@あ「PIN1コード変更」または 2 ABC か「PIN2コード変更」を押す

認証画面が表示されます。

4 現在のPIN1（またはPIN2）コードを入力し、◉を押す

・PIN1（またはPIN2）コードは「✱」で表示されます。

5 新しいPIN1（またはPIN2）コードを入力し、◉を押す

6 手順5で入力したPIN1（またはPIN2）コードをもう一度入力し、◉を押す

PIN1（またはPIN2）コードが変更されます。

お知らせ

・PIN1コード、PIN2コード、PIN1コード入力設定はFOMAカードに記録されます。新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、これまでお使いの設定のままご利用になれます。

PINロックを解除する

間違ったPIN1コード、PIN2コードを3回連続して入力すると、PINコードが自動的にロックされます。その場合は、ロックを解除して、新しいPINコードを設定します。

・PINロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうか確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

1 「PINロック解除コードを入力してください」と表示されたら、8桁のPINロック解除コードを入力し、◉を押す

2 新しいPIN1（またはPIN2）コードを入力し、◉を押す

・PIN1（またはPIN2）コードは「✱」で表示されます。

3 手順2で入力したPIN1（またはPIN2）コードをもう一度入力し、◉を押す

PINロックが解除され、新しいPIN1（またはPIN2）コードが設定されます。

次ページへつづく

お知らせ

- 間違ったPIN1コード、PIN2コードを3回連続で入力すると、PIN1コード、PIN2コードが自動的にロックされ、ロック解除コードを入力しないと使えなくなります。設定したPIN1コード、PIN2コードはお忘れにならないようにお気をつけください。(PIN2コードの場合、ロックされていても電話の発着信、メールの送受信などは行えます)
- 間違った PIN ロック解除コードを 10 回連続で入力すると、PIN コードが完全にロックされます。この場合、FOMA 端末とロックされたFOMAカード、ご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの(運転免許証など)を、ドコモショップ窓口までお持ちいただくことが必要になりますのでご注意ください。
- 間違ったPINコードを入力した場合、以下のようになります。

各種ロック機能について

FOMA 端末のデータを他の人に閲覧されたり、使用されないようにするために、ロック機能を利用します。次のようなロック機能があります。

ロック機能の種類	説　明
オールロック	他の人が不正に使用できないようにします。電源の切/入、緊急通報番号(110番、119番、118番)への発信以外の操作ができなくなります。
セルフモード	電話やメールの発着信や通信機能が利用できなくなります。
PIMロック	電話帳やスケジュールなどの個人情報を表示・編集できなくなります。
ダイヤル発信制限	ダイヤルキーでの電話の発信ができなくなります。
サイドキー操作有効/無効	FOMA 端末を折りたたんだときのサイドキーの操作を無効にし、誤動作を防ぎます。
シークレットモード	シークレット属性を設定した電話帳データ、その着信履歴などを表示します。シークレットモードを設定していないときは表示されなくなります。

お知らせ

- シークレットモードは電源を切ると解除されます。それ以外のロック機能は電源を切っても解除されません。
- ロック中であっても、緊急通報番号(110番、119番、118番)へ発信できます。

オールロック

他の人が使用できないようにする

お買い上げ時	OFF

FOMA端末を操作できないように設定します。

- FOMA端末の電源の操作と、緊急通報番号（110番、119番、118番）への発信はできます。（端末暗証番号入力画面で番号を入力し、[発信キー]を押します。）

1 ● ▶ ▶ 3 ▶ 4 を押す

2 1「ON」を押す

3 端末暗証番号を入力し、● を押す

12月24日(土)
10:30
オールロック

オールロックが設定され、待受画面に「オールロック」と[アイコン]が表示されます。

オールロックに設定すると

次のような操作制限がかかります。

- 静止画などを待受画面に設定しているときは、お買い上げ時の設定になります。オールロックを解除すると、設定していた待受画面に戻ります。
- 電話がかかってきても着信が拒否され、着信音は鳴りません。
- iモードメール、SMS、メッセージR/Fは受信されますが、メール、メッセージ着信音は鳴りません。
- アラームを設定していた時刻になっても、アラームは鳴りません。
- お知らせアイコンは表示されません。
- オールロックを解除すると、着信やメール、メッセージ受信、アラームのお知らせアイコンが表示されます。

オールロックを解除する

1 待受画面で、端末暗証番号を入力し、● を押す

お知らせ

- オールロックの解除に5回続けて失敗するとFOMA端末の電源が切れます。再び電源を入れて、正しい端末暗証番号を入力してください。
- オールロックは電源を切っても解除されません。

セルフモード

発信や着信ができないようにする

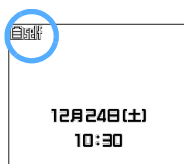
お買い上げ時	OFF

電話の発着信やメールの送受信、iモード、赤外線通信などの通信機能が使用できないように設定します。

1 ▶ ▶ **を押す**

2 1 「ON」を押す

- 解除するときは 2 「OFF」を押します。

3 1 「はい」を押す

セルフモードが設定され、待受画面に self が表示されます。
- 「圏外」や は表示されなくなります。

お知らせ

- セルフモード中でも留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できます。
- セルフモード中に緊急通報番号（110番、119番、118番）へ発信すると、セルフモードは解除されます。

PIMロック

電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする

お買い上げ時	OFF

電話帳やスケジュールなどの個人情報を表示しない設定にして、プライバシーを守ります。
- 電話帳登録外着信拒否を「ON」に設定しているときは、設定できません。

1 ▶ ▶ **を押す**

2 1 「ON」を押す

- 解除するときは 2 「OFF」を押します。

3 端末暗証番号を入力し、● を押す

12月24日(土)
10:30

PIMロックが設定され、待受画面に が表示されます。

あんしん設定

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

PIMロックを設定すると

- 次の機能が使用できなくなります。

- 自局情報表示	- 伝言メモ	- 電話帳	- 静止画撮影
- 動画撮影	- バーコードリーダー	- 文字リーダー	- カメラde辞書
- iMenu	- ラストURL	- インターネット接続	- ブックマーク
- 画面メモ	- iモードメール／SMS	- iモード問合せ	- iアプリ
- iアプリ自動起動	- iアプリ待受画面	- マイピクチャ	- iモーション
- メロディ	- キャラ電	- 赤外線通信	- ボイスレコーダー
- プリントモード	- アラーム	- スケジュール	- ToDo
- 音声メモ	- テキストメモ	- ダイヤルメモ	- オリジナルデータ
- ソフトウェア更新	- miniSDメモリーカード	- 電話帳指定着信許可／拒否	
- GPS機能※	- お知らせアイコン	- 電話帳登録外着信拒否	

※位置提供は行われます。

- 静止画などを待受画面に設定しているときは、お買い上げ時の設定になります。PIMロックを解除すると、設定していた待受画面に戻ります。

お知らせ

- オールロックとPIMロックが設定されている場合は、はじめにオールロックを解除してから、PIMロックを解除してください。
- PIMロックを設定すると、リダイヤル、着信履歴、送信アドレス履歴、受信アドレス履歴はすべて削除されます。PIMロック設定後の履歴については記録されます。
- PIMロック設定中は、リダイヤルや着信履歴などには名前は表示されません。

ダイヤル発信制限

ダイヤル発信を禁止する

お買い上げ時	OFF

ダイヤルキーで電話番号を入力して電話をかけることができないように設定します。

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 3 ▶ 5 を押す

2 1「ON」を押す

- 解除するときは 2「OFF」を押します。

3 端末暗証番号を入力し、● を押す

ダイヤル発信が制限され、待受画面に が表示されます。

ダイヤル発信制限を設定すると

- 次の状態からの電話発信ができなくなります。

- ダイヤル入力	- 着信履歴	- 自局情報表示	- バーコードリーダー
- 画面メモ	- 受信アドレス履歴	- お知らせアイコン	- 文字リーダー
- miniSDメモリーカード内の電話帳データ			

次ページへつづく

- 次の機能が使用できなくなります。
  - FOMA端末電話帳・FOMAカード電話帳の新規登録／編集／削除
  - Phone To／AV Phone To／Mail To機能（電話帳からのPhone toは使用できます。）
  - FOMAカード、miniSDメモリーカードを使った電話帳データのコピー
  - 赤外線通信での電話帳データの送受信
  - ダイヤルキー入力操作によるネットワークサービスの利用
- iモードメールやSMSの送信に規制がかかることがあります。

お知らせ

- ダイヤル発信制限を設定すると、設定前のリダイヤルと着信履歴は削除されます。ただし、設定後のリダイヤルと着信履歴については記録されます。
- 緊急通報番号（110番、119番、118番）へはダイヤルキーを押して発信できます。

サイドキー操作有効／無効

サイドキーの誤操作を防止する

かばんの中などでの誤動作を防ぐために、FOMA端末を折りたたんだときにサイドキー操作が無効になるように設定します。

1 待受画面で、● を1秒以上押す

サイドキー操作無効が設定され、待受画面に 🔒 が表示されます。

■ サイドキー操作を有効にするとき

待受画面で、● を1秒以上押す

発着信履歴表示

リダイヤルや着信履歴の表示を設定する

お買い上げ時	ON

リダイヤル、着信履歴などを表示するかしないかを設定できます。

1 ●▶ ▶ ▶ 7 を押す

2 1 「ON」を押す

- 表示しないときは 2 「OFF」を押します。

3 端末暗証番号を入力し、● を押す

シークレットモード

シークレット設定されている情報を表示する

お買い上げ時	OFF

シークレット属性を設定した電話帳やスケジュール、ToDoデータを表示します。

1   ▶ 3 ▶ 2 を押す

あんしん設定

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

2 1「ON」を押す

- 解除するときは2「OFF」を押します。

3 端末暗証番号を入力し、●を押す

シークレットモードが設定され、ディスプレイに が表示されます。

お知らせ

- FOMA端末の電源を切ると、シークレットモードは解除されます。

電話帳指定着信許可

指定した電話番号からの電話だけを受ける

FOMA端末電話帳の特定の電話番号からの電話だけ受けるように設定します。

- 本機能は番号を通知している相手からの電話に対して有効です。「番号通知お願いサービス」をあわせて設定することをおすすめします。

着信を許可する電話番号を指定する

1 電話帳詳細画面で着信を許可する電話番号を選択する

2 i［機能］▶ ▶2「着信許可/拒否設定」を押す

3 端末暗証番号を入力し、●を押す

4 1「着信許可」を押す

- 解除するときは3「設定なし」を押します。

指定した電話番号からのみ電話を受けるように設定する

お買い上げ時	OFF

1 ●▶ 各種設定 ▶3▶9を押す

2 端末暗証番号を入力し、●を押す

着信拒否設定
1電話帳指定 :OFF
2電話帳登録外 :OFF
3非通知設定 :OFF
4公衆電話 :OFF
5通知不可能 :OFF

着信拒否設定画面が表示されます。

3 1「電話帳指定」を押す

4 1「ON 着信許可」を押す

- 解除するときは3「OFF」を押します。

あんしん設定

次ページへつづく

お知らせ

- 着信許可を設定した電話番号には、電話帳詳細画面の電話番号表示の横に が表示されます。
- 着信許可を設定している電話番号以外から電話がかかってきたときは、拒否履歴に記録されます。
- 着信許可を設定している電話番号に電話をかけることはできます。
- iモードメールやSMSは本機能に関係なく受信できます。
- 「電話帳指定」以外の着信拒否設定もあわせて設定できます。
- 「着信許可」と「着信拒否」を同時に設定することはできません。

電話帳指定着信拒否

指定した電話番号からの電話だけを受けない

FOMA端末電話帳の特定の電話番号からの電話だけ拒否するように設定します。

- 本機能は番号を通知している相手からの電話に対して有効です。「番号通知お願いサービス」をあわせて設定することをおすすめします。

着信を拒否する電話番号を指定する

1 電話帳詳細画面で着信を拒否する電話番号を選択する

2 i［機能］▶ ▶ 2ABCか「着信許可/拒否設定」を押す

3 端末暗証番号を入力し、● を押す

4 2ABCか「着信拒否」を押す

- 解除するときは 3DEFさ「設定なし」を押します。

指定した電話番号からの電話を受けないように設定する

お買い上げ時	OFF

1 を押す

2 端末暗証番号を入力し、● を押す

着信拒否設定画面が表示されます。

3 1.@あ「電話帳指定」を押す

4 2ABCか「ON 着信拒否」を押す

- 解除するときは 3DEFさ「OFF」を押します。

お知らせ

- 着信拒否を設定した電話番号には、電話帳詳細画面の電話番号表示の横に が表示されます。
- 着信拒否を設定している電話番号から電話がかかってきたときは、拒否履歴に記録されます。
- 着信拒否を設定している電話番号に電話をかけることはできます。
- iモードメールやSMSは本機能に関係なく受信できます。
- 「電話帳指定」以外の着信拒否設定もあわせて設定できます。
- 「着信許可」と「着信拒否」を同時に設定することはできません。

非通知理由別着信拒否

発信者番号のわからない電話を受けない

お買い上げ時	すべてOFF

電話番号が非通知の場合に、非通知理由により着信動作を設定します。

- 「番号通知お願いサービス」をあわせて設定することをおすすめします。

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 3 ▶ 9 を押す

2 端末暗証番号を入力し、● を押す

着信拒否設定画面が表示されます。

3 3 〜 5 を押す

非通知設定：発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話　：公衆電話などから発信した場合
通知不可能：海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合（ただし、経由する電話会社により発信者番号が通知される場合もあります。）

4 1「ON」を押す

- 設定しないときは 2「OFF」を押します。

呼出動作開始時間

電話番号未登録の相手の着信音を無音にする

お買い上げ時	OFF

電話帳に登録されていない相手や非通知設定の相手から電話がかかってきたときに、設定した時間を経過した後に呼出動作（着信音、バイブレータなど）を開始するように設定します。

- 「ワン切り」などの迷惑電話対策に利用できます。
- 「電話帳登録外」を「ON」にしているときは、本機能を設定できません。

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 4 ▶ 5 ▶ 1 を押す

2 1「ON」を押す

- 解除するときは 2「OFF」を押します。

3 無音時間を入力し、● を押す

設定した時間を過ぎると、呼出動作を開始します。

無音着信時に着信履歴に表示しないようにする

お買い上げ時	ON

相手が呼出動作開始時間で設定した時間内に電話を切った場合に、着信履歴に表示されないようにできます。お知らせアイコンも表示されません。

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 4 ▶ 5 ▶ 2 **を押す**

2 2 **「OFF」を押す**

無音着信があったとき、着信履歴に表示されなくなります。

- 無音着信履歴を着信履歴に表示させるときは 1 「ON」を押します。

無音着信履歴を表示する

- 無音着信履歴表示が「ON」のときは、無音着信履歴は着信履歴に表示されるため、無音着信履歴だけでは表示できません。

1 **着信履歴一覧画面で、 i ［機能］ ▶ 4 「無音着信履歴表示」を押す**

お知らせ

- マナーモード中も呼出動作開始時間は有効です。
- PIMロック中は、電話番号が電話帳に登録されていても本機能が動作します。
- ドライブモード中は本機能は動作しません。
- 無音時間が伝言メモ・留守番電話サービス・転送でんわサービスの開始時間より長く設定されている場合、呼出を行いません。これらの機能・サービスよりも短い無音時間に設定してください。
- シークレットモードを設定していないときに、シークレット属性を設定している相手から電話があったときもこの機能は動作します。

電話帳登録外着信拒否

電話番号未登録の相手からの電話を受けない

お買い上げ時	OFF

電話帳に登録していない電話番号から電話がかかってきたときに電話を受けないように設定します。

- 本機能は番号を通知している相手からの電話に対して有効です。着信拒否設定の「非通知設定」、「公衆電話」、「通知不可能」や「番号通知お願いサービス」をあわせて設定することをおすすめします。
- 呼出動作開始時間設定中は、本機能を設定できません。

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 3 ▶ 9 **を押す**

2 **端末暗証番号を入力し、 ● を押す**

着信拒否設定画面が表示されます。

3 2 **「電話帳登録外」を押す**

4 1 **「ON」を押す**

- 解除するときは 2 「OFF」を押します。

お知らせ

- ｉモードメールやSMSは本機能に関係なく受信できます。
- シークレットモードを設定していないときに、シークレット属性を設定している相手から電話があったときは本機能は動作しません。
- 電話帳登録外拒否を「ON」に設定しているときは、着信拒否設定の「非通知」、「公衆電話」、「通知不可能」の設定にかかわらず、非通知着信は拒否されます。

その他の「あんしん設定」について

FOMA端末では、この章で記載している機能以外に、次のような「あんしん設定」をご利用できます。

- 迷惑メールの対策については、別冊の『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

<table>
<tr><th>目　的</th><th>機能・サービス</th><th>参照先</th></tr>
<tr><td>いたずら電話や悪質な勧誘電話などの「迷惑電話」を受けない</td><td>迷惑電話ストップサービス</td><td>P438</td></tr>
<tr><td>発信者番号を通知しない電話を着信しない</td><td>番号通知お願いサービス</td><td>P439</td></tr>
<tr><td>必要なメールだけを受信する</td><td>メール選択受信</td><td>P271</td></tr>
<tr><td>メールアドレスを変更する</td><td>メールアドレス変更</td><td rowspan="12">『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>メールアドレスを確認する</td><td>アドレス確認</td></tr>
<tr><td>受信メールのサイズを制限する</td><td>メールサイズ制限</td></tr>
<tr><td>指定したドメインからのメールのみを受信する</td><td>ドメイン指定受信</td></tr>
<tr><td>ｉモードどうしのメールのみ受信する／拒否する</td><td>ｉモードメールのみ受信／拒否</td></tr>
<tr><td>一方的に送られてくる広告メールを受信しない</td><td>未承諾広告※メール拒否</td></tr>
<tr><td>1日に1台のｉモード携帯電話から送信される200通目以降のｉモードメールを受信しない</td><td>ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限</td></tr>
<tr><td>指定したアドレスからのメールのみ受信する／拒否する</td><td>アドレス指定受信／拒否</td></tr>
<tr><td>メール機能を一時的に停止する</td><td>メール機能停止</td></tr>
<tr><td>SMSを受信しない</td><td>SMS一括拒否／非通知SMS拒否
国際SMS拒否
国際SMS拒否＋非通知SMS拒否</td></tr>
<tr><td>災害発生時に、ｉモードを利用して安否情報を登録／確認する</td><td>ｉモード災害用伝言板サービス</td></tr>
<tr><td>電子認証サービス「FirstPass」を利用して、安全で信頼性のあるデータ通信を行う（FirstPass対応のサイトに限ります。）</td><td>FirstPass</td><td>P187</td></tr>
<tr><td>必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新する</td><td>ソフトウェア更新</td><td>P530</td></tr>
</table>

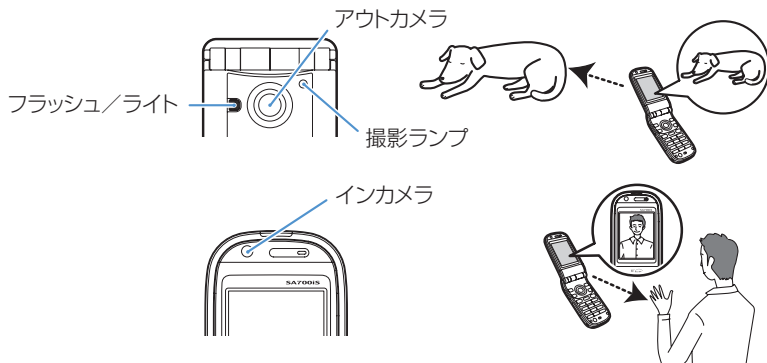
カメラ

カメラをご利用になる前に

miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。
→P361
miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

FOMA端末のカメラの特徴について

FOMA端末はアウトカメラとインカメラの2つのカメラを搭載しています

他の人や風景などを撮影する場合はアウトカメラを、自分を撮影する場合やテレビ電話で自分を映す場合などは、インカメラを利用すると便利です。

静止画や動画を撮影できます

- 撮影した静止画や動画、録音した音声は、FOMA端末で表示・再生して楽しむ他に、iモードメールや赤外線通信で他のFOMA端末や他社携帯電話に送信したり、FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用してパソコンなどにも送信することができます。→P241、378、520
- 撮影した静止画や動画を電話帳や待受画面などに設定することができます。→P338、346
- 撮影した静止画にFOMA端末で測位した位置情報を埋め込むことができます。→P167

文字やバーコードを読み取ることができます

- カメラを使って文字を読み取ったり（文字リーダー）、バーコード（JANコード、QRコード）を読み取る（バーコードリーダー）こともできます。

カメラの使いかた

アウトカメラやインカメラは、CCDカメラを使用しています

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますのでご了承ください。
- FOMA 端末を暖かい場所に長時間置いたあとで画像を撮影したり、保存した場合は、画像が劣化することがあります。
- レンズ部分に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して画像が変色することがあります。
- 撮影中に強い光が入ると白っぽい帯が発生することがありますが、故障ではありません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

撮影時のご注意

- FOMA 端末で撮影した画像は、実際の被写体と色味が異なる場合や明るさにムラがでる場合があります。また、広角レンズを使用しているため被写体が一部ゆがんで写る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 非常に暗い場所での撮影では、青い点や白い点などが出ることがありますのでご了承ください。
- 撮影するときに手ぶれでFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。FOMA端末が動かないようしっかり持って撮影するか、安定した場所に置いてセルフタイマーで撮影してください。特に、室内など光量が十分でない場所では画像のぶれが起きやすくなりますのでご注意ください。また、被写体が動いた場合もぶれた画像になりますのでご注意ください。
- マナーモードやドライブモード中、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続中でも、シャッター音が鳴ります。シャッター音の音量は変更できません。
- レンズ部に指紋や油脂などがつくと、ピントが合わなくなります。撮影前に柔らかな布でふいてください。
- 撮影する場合は、レンズに指や髪、ハンドストラップなどがかからないように注意してください。
- FOMA端末はフラッシュ※を内蔵しています。フラッシュをご使用になる場合は、人の目の前で発光させないよう、ご注意ください。視力障害を引き起こす原因となります。
  ※フラッシュは、暗い場所などでの撮影を補助するもので、通常のカメラのストロボのような光量はありません。
- フラッシュ／ライトを目に近づけて点灯させないでください。またライト点灯中は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障害を引き起こす原因となります。
- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合は、蛍光灯のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき）を感知してしまい、画面がちらつくことがありますが、故障ではありません。
- 動画撮影する場合は、マイクを手や指でおおわないようにご注意ください。また、撮影時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- 撮影時の確認画面において、被写体の明るさの違いが波状に目立って見える場合があります。これは、ディスプレイ表示上の現象であり、保存される画像データには影響がありません。

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影・録音したものを、権利者に無断で複製・改変・編集などを行うことは、個人で楽しむ場合などのほかは、著作権法上禁止されております。また、個人で楽しむ場合であっても禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
個人の肖像や名前を無断で使用・改変するなども、肖像権の侵害となる場合がありますので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

静止画撮影について

FOMA端末に内蔵のカメラで 1Mサイズまでの静止画を撮影します。
撮影した静止画はJPEG形式で保存されます。
静止画撮影では次のような操作を行えます。

- 撮影サイズ、画質の設定→P162
- 連続撮影→P155
- 撮影環境・被写体による6つの設定から選択して撮影（シーンセレクト）→P163
- フレームイラストを重ねて撮影（フレーム撮影）→P157
- 特殊効果を付加しての撮影→P164
- セルフタイマーを使用した撮影→P164
- 日付スタンプを入れての撮影→P167
- 位置情報を埋め込んでの撮影→P167
- ホワイトバランスの調整→P165
- シャッター音の変更→P168
- 撮影した画像の自動保存→P165
- miniSDメモリーカードへの画像保存→P166
- ライト・フラッシュを使っての撮影→P161
- ズーム→P160
- 明るさ調整→P161

静止画の画像サイズ・画質などについて（目安）

FOMA端末で撮影できる画像のサイズ・画質は次のとおりです。

画像サイズ（横×縦）	カメラ	画質		
		ノーマル	ファイン	スーパーファイン
Sub-QCIF（128×96）	インカメラ アウトカメラ	約8Kバイト	約10Kバイト	約20Kバイト
QCIF（176×144）	インカメラ アウトカメラ	約8Kバイト	約10Kバイト	約20Kバイト
待受画面（240×320）	インカメラ アウトカメラ	約20Kバイト	約30Kバイト	約50Kバイト
CIF（288×352）	インカメラ	約20Kバイト	約30Kバイト	約50Kバイト
CIF（352×288）	アウトカメラ			
VGA（480×640）	アウトカメラ	約50Kバイト	約100Kバイト	約150Kバイト
XGA（768×1024）	アウトカメラ	約100Kバイト	約150Kバイト	約250Kバイト
1M（870×1160）	アウトカメラ	約150Kバイト	約200Kバイト	約300Kバイト

保存できる静止画の枚数について（目安）

FOMA端末で撮影できる画像の枚数は次のとおりです。

- FOMA端末に保存できる静止画は、最大1024枚です。ただし、画質または、画像サイズの設定やデータBOXに保存されているデータ数などによって最大保存枚数まで保存できない場合があります。
- FOMA端末やminiSDメモリーカードに保存できる枚数はあくまで目安です。

画像サイズ（横×縦）	画質	FOMA端末	miniSDメモリーカード	
			16Mバイト	32Mバイト
Sub-QCIF（128×96）	ノーマル	約1024枚	約910枚	約1900枚
	ファイン	約820枚	約910枚	約1900枚
	スーパーファイン	約410枚	約450枚	約950枚
QCIF（176×144）	ノーマル	約1024枚	約910枚	約1900枚
	ファイン	約820枚	約910枚	約1900枚
	スーパーファイン	約410枚	約450枚	約950枚
待受画面（240×320）	ノーマル	約410枚	約450枚	約950枚
	ファイン	約270枚	約450枚	約950枚
	スーパーファイン	約160枚	約230枚	約470枚
CIF（288×352）または CIF（352×288）	ノーマル	約410枚	約450枚	約950枚
	ファイン	約270枚	約450枚	約950枚
	スーパーファイン	約160枚	約230枚	約470枚
VGA（480×640）	ノーマル	約160枚	約230枚	約470枚
	ファイン	約80枚	約130枚	約270枚
	スーパーファイン	約50枚	約90枚	約190枚
XGA（768×1024）	ノーマル	約80枚	約130枚	約270枚
	ファイン	約50枚	約90枚	約190枚
	スーパーファイン	約30枚	約60枚	約120枚
1M（870×1160）	ノーマル	約50枚	約90枚	約190枚
	ファイン	約40枚	約70枚	約150枚
	スーパーファイン	約30枚	約50枚	約100枚

お知らせ

- miniSDメモリーカードに保存するときは、すべての静止画がDCFに準拠します。
- シーンセレクトから「接写」を選択すると、距離が約10cmの被写体にピントをあわせて撮影できます。
- 本文中は、画像サイズの（横×縦）という記載を省略しています。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

動画撮影について

FOMA端末に内蔵のカメラで動画を撮影し、映像と音声をFOMA端末やminiSDメモリーカードに保存します。（映像のみの撮影、または音声のみの録音もできます）
録画した動画はMP4形式で保存されます。
動画撮影では次のような操作を行えます。

- 撮影サイズ、画質の設定→P162
- 映像のみの撮影または音声のみの録音→P158
- セルフタイマーを使用した撮影→P164
- ホワイトバランスの調整→P165
- 撮影した画像の自動保存→P165
- miniSDメモリーカードへの画像保存→P166
- ズーム→P160
- ファイルサイズを制限しての撮影→P162
- 特殊効果を付加しての撮影→P164
- マイク感度の設定→P158
- 録画・録音開始音／終了音の変更→P168
- ライトを使っての撮影→P161
- 明るさ調整→P161

動画の画像サイズ・撮影モードなどについて

FOMA端末で撮影できる画像は次のとおりです。

画像サイズ（横×縦）	撮影モード	ビデオビットレート	オーディオビットレート	フレームレート（1秒あたり）
Sub-QCIF（128×96）	標準	32Kbps	12.2Kbps	7.5フレーム
	動き優先	128Kbps		15フレーム
	画質優先	192Kbps		10フレーム
QCIF（176×144）	標準	32Kbps	12.2Kbps	7.5フレーム
	動き優先	128Kbps		15フレーム
	画質優先	192Kbps		10フレーム

FOMA端末に保存できる動画の長さ（目安）

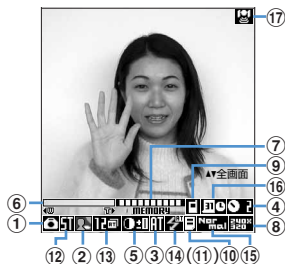
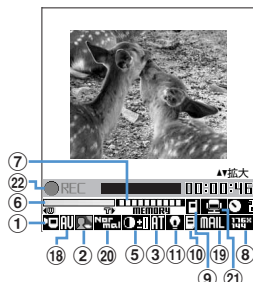
画像サイズ（横×縦）	撮影モード	撮影種別	ファイルサイズ制限		
			iモードメール添付（秒）	大容量メール添付（秒）	制限なし（分）
Sub-QCIF（128×96）	標準	映像＋音声	約50	約80	約20
		映像のみ	約60	約110	約30
	動き優先	映像＋音声	約10	約30	約7
		映像のみ	約20	約30	約8
	画質優先	映像＋音声	約10	約20	約5
		映像のみ	約10	約20	約5
QCIF（176×144）	標準	映像＋音声	約50	約80	約20
		映像のみ	約60	約110	約30
		音声のみ	約180	約310	約80
	動き優先	映像＋音声	約10	約30	約7
		映像のみ	約20	約30	約8
	画質優先	映像＋音声	約10	約20	約5
		映像のみ	約10	約20	約5

miniSDメモリーカードに保存できる動画の長さ（目安）

容量	画像サイズ（横×縦）	撮影モード	撮影種別	ファイルサイズ制限		
				iモードメール添付（秒）	大容量メール添付（秒）	制限なし（分）
16Mバイト	Sub-QCIF（128×96）	標準	映像＋音声	約50	約80	約43
			映像のみ	約60	約110	約60
		動き優先	映像＋音声	約10	約30	約14
			映像のみ	約20	約30	約15
		画質優先	映像＋音声	約10	約20	約9
			映像のみ	約10	約20	約10
	QCIF（176×144）	標準	映像＋音声	約50	約80	約43
			映像のみ	約60	約110	約60
			音声のみ	約180	約310	約120
		動き優先	映像＋音声	約10	約30	約14
			映像のみ	約20	約30	約15
		画質優先	映像＋音声	約10	約20	約9
			映像のみ	約10	約20	約10
32Mバイト	Sub-QCIF（128×96）	標準	映像＋音声	約50	約80	約95
			映像のみ	約60	約110	約120
		動き優先	映像＋音声	約10	約30	約30
			映像のみ	約20	約30	約30
		画質優先	映像＋音声	約10	約20	約20
			映像のみ	約10	約20	約20
	QCIF（176×144）	標準	映像＋音声	約50	約80	約90
			映像のみ	約60	約110	約120
			音声のみ	約180	約310	約120
		動き優先	映像＋音声	約10	約30	約30
			映像のみ	約20	約30	約30
		画質優先	映像＋音声	約10	約20	約20
			映像のみ	約10	約20	約20

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

撮影画面の見かた

静止画撮影を起動すると、静止画撮影画面が表示されます。動画撮影を起動すると、動画撮影画面が表示されます。

静止画撮影画面

動画撮影画面

機　能	アイコンと項目名	内　容
静止画・動画共通		
①カメラモード	静止画撮影	静止画を撮影します。
	動画撮影	動画を撮影します。
②特殊効果	セピア	古い写真のような、茶色がかった画像になります。
	モノクロ	白黒の画像になります。
	レッドなど４色	画像に色味を付加します。（レッド、グリーン、ブルー、パープル）たとえば、「レッド」を選択すると、赤みをおびた画像になります。
	エンボス	凹凸のある画像になります。
	ネガ	カメラのネガフィルムのような色調を反転させた画像になります。
③ホワイトバランス	自動	色合いを自動で調整します。
	晴天	晴天下での撮影に適した設定です。
	曇天	曇天下での撮影に適した設定です。
	電球	電球の下での撮影に適した設定です。
	蛍光灯（昼白色）	昼白色の蛍光灯の下での撮影に適した設定です。
	蛍光灯（昼光色）	昼光色の蛍光灯の下での撮影に適した設定です。
④セルフタイマー	２秒、５秒 10秒	設定した時間が経過すると、自動的に撮影を開始します。
⑤明るさ	～～	明るさを設定します。
⑥ズーム		被写体を拡大（ズーム）します。
⑦メモリーバー	MEMORY	設定した保存先の容量（残量）を表示します。
⑧サイズ選択	128x96、176x144、240x320、352x288、288x352、480x640、768x1024、870x1160	設定した画像サイズで撮影されます。 動画撮影の場合、Sub-QCIF、QCIFのみとなります。
⑨自動保存 保存先設定	自動保存ON 保存先設定：データBOX	FOMA端末本体に自動保存されます。
	自動保存ON 保存先設定：miniSD	miniSDメモリーカードに自動保存されます。
	自動保存OFF 保存先設定：データBOX	撮影した画像を確認してからFOMA端末本体に保存できます。
	自動保存OFF 保存先設定：miniSD	撮影した画像を確認してからminiSDメモリーカードに保存できます。

カメラ

次ページへつづく

機　能	アイコンと項目名	内　容
静止画・動画共通		
⑩ファイル制限	ファイル制限あり	送付先のFOMA端末から送信／転送できなくなります。
	ファイル制限なし	送付先のFOMA端末で送信／転送ができます。
⑪ライト	ライトON	ライトが点灯しています。
	使用不可	周囲の温度が低いため、ライトは使用できません。
静止画		
⑫シーンセレクト	標準	通常撮影を行います。
	人物	肌色を強調したり、背景をぼかして人物をひきたてます。
	風景	輪郭線を強調して撮影します。
	夜景	夜景を活かしながら被写体を撮影します。
	接写	近い距離の被写体を撮影します。
	スポーツ	シャッタースピードを速くし、動きのある被写体を撮影します。
⑬連続撮影	12枚自動 24枚自動	⦿を1回押すと、自動で連続撮影を行います。 連続撮影の枚数は画像サイズにより異なります。
	12枚手動 24枚手動	⦿を押すごとに連続して撮影を行います。
⑭フラッシュ	フラッシュAUTO	撮影時に周囲・被写体が暗い場合、自動的にフラッシュが光ります。
	フラッシュON	撮影時に常にフラッシュが光ります。
⑮画質選択	ノーマル	標準的な画像を撮影します。
	ファイン	高画質の画像を撮影します。
	スーパーファイン	最高画質の画像を撮影します。
⑯日付スタンプ	日時	撮影した静止画に日時を入れて保存します。
	日付	撮影した静止画に日付を入れて保存します。
	時間	撮影した静止画に時間を入れて保存します。
⑰位置情報埋め込み	位置情報埋め込み	撮影した静止画に位置情報を埋め込んで保存します。
動画		
⑱撮影種別	映像＋音声	映像と音声を記録します。
	映像のみ	映像のみ記録します。
	音声のみ	音声のみ記録します。
⑲ファイルサイズ制限	iモードメール添付	記録できるファイルサイズが、約290Kバイトまでに制限されます。
	大容量メール添付	記録できるファイルサイズが、約490Kバイトまでに制限されます。
	制限なし	ファイルサイズの制限はありません。（最大約40Mバイト）
⑳撮影モード	標準	画質、動きとも標準で録画します。
	動き優先	動きはなめらかですが、画質は少し粗くなります。
	画質優先	高画質ですが、動きが少し不安定になります。
㉑マイク感度	広域用	広い範囲で集音します。
	自分撮り用	近い範囲で集音します。
㉒録画・録音中	●REC	録画・録音中です。
㉓撮影可能残時間	00:00:00	録画・録音可能残時間を表示します。

静止画を撮影する

FOMA端末のカメラで静止画を撮影します。

- マナーモードやドライブモード中、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続中でも、シャッター音が鳴ります。シャッター音の音量は変更できません。

1 待受画面で［カメラ］（📷）を1秒以上押す

静止画撮影画面

静止画撮影画面が表示されます。
- インカメラに切り替えるときは［メール］［カメラ切替］を押します。
- 撮影時の設定を変更できます。→P160

■ 全画面表示にするとき

［上下］を押す

画面のアイコンやソフトキーが一時的に非表示になります。
- 画像サイズが待受画面以上のとき、CIF（インカメラ）のときに全画面表示ができます。
- もう一度押すと、画面のアイコンなどが表示されるようになります。
- 静止画確認画面でも同じ操作で全画面表示ができます。

■ 拡大表示するとき

［上下］を押す
- ［i］［機能］▶「拡大表示」／「等倍表示」を選択し、［●］を押しても拡大／等倍表示できます。
- 画像サイズがSub-QCIF、QCIFのときに拡大表示ができます。
- もう一度押すと、等倍表示になります。
- 静止画確認画面でも同じ操作で拡大表示／等倍表示ができます。

2 被写体にカメラのレンズを向けて、［●］を押す

静止画確認画面

シャッター音が鳴り、静止画確認画面が表示されます。
- 「自動保存ON」に設定しているときは保存されます。

3 画像を確認する

■ 画像を撮り直すとき

［CLR］を押す

■ 画像をメールに添付して送るとき
- 保存先設定を「miniSD」にしているときはメール作成はできません。

［メール］［メール作成］を押す

画像がデータBOXに保存され、画像が添付されたメール作成画面が表示されます。
- 画像サイズが待受画面より大きい場合は、画像サイズを待受画面に変換して添付できます。
- 以降の操作：→P230「iモードメールを作成して送信する」手順2～6
  位置情報付き静止画の添付について→P241

■ 日付スタンプを貼り付けるとき

i［機能］▶ 1「日付スタンプ」を押す

• 画像サイズがSub-QCIF、QCIF、待受画面、CIFの静止画のみ貼り付けできます。
• 以降の操作：→P167「日付スタンプを貼り付けるとき」手順②

■ 位置情報を埋め込むとき

i［機能］▶ 2「位置情報埋め込み」を押す

• を押しても位置情報埋め込みができます。
• 以降の操作：→P329「位置情報を埋め込む」手順4

■ 画像を待受画面などに設定するとき

i［機能］▶ 3「画像設定」を押す

画像がデータBOXに保存されます。

• 以降の操作：→P338「画像を待受画面などに設定する」手順2～4

■ タイトルを編集するとき

① i［機能］▶ 5「タイトル編集」を押す

② タイトルを入力し、● を押す

• 全角18文字（半角36文字）まで入力できます。

■ 画像を反転表示するとき

i［機能］▶ 6「かがみ画像表示」を押す

• 画像サイズがSub-QCIF、QCIF、待受画面、CIFの静止画のみかがみ画像表示／保存できます。
• 反転表示を戻すときは i［機能］▶ 6「普通画像表示」を押します。
• 反転表示した画像を保存するときは i［機能］▶ 7「かがみ画像保存」を押します。フレームを重ねた画像はかがみ画像保存できません。

4 ● を押す

画像が保存されます。

• 画像は「データBOX」→「マイピクチャ」→「カメラ」フォルダに保存されます。保存先は変更できます。→P166

お知らせ

• ● ▶ カメラ ▶ 1 を押しても静止画撮影画面が表示されます。
• シャッター音は3種類から選択できますが、メロディなどをシャッター音に設定することはできません。→P167
• 静止画撮影画面表示中は、緑の撮影ランプが点滅します。撮影時は赤の撮影ランプが点灯します。
• 画像サイズや画質などによって、画像の保存に時間がかかる場合があります。
• 静止画撮影画面または静止画確認画面表示中に電話の着信・アラーム（スケジュールアラーム、ToDoアラームも含む）・GPS測位があった場合は、撮影は停止され、途中までのデータが保持されます。通話終了後、アラーム停止後またはGPS測位後に元の画面に戻ります。アラームにスヌーズを設定している場合は、スヌーズモード解除後に元の画面に戻ります。
• 撮影中にメールを受信しても、そのまま撮影を続けることができます。
• 静止画撮影画面で2分以上何も操作しなかったときは、カメラが自動的に終了します。

連続撮影する<連続撮影>

お買い上げ時	OFF

静止画を連続で撮影できます。連続撮影には一定の間隔で自動的に設定枚数を撮影する「自動」と、設定枚数を1枚ずつ手動で撮影する「手動」があります。
- 撮影する画像サイズによって、連続撮影できる枚数が異なります。
- 画像サイズがVGA、XGA、1Mの画像は連続撮影できません。

1 静止画撮影画面で [i] ［機能］ ▶ [5 JKLな] 「連続撮影」を押す

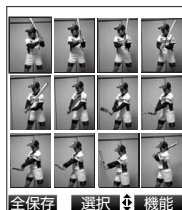
2 項目を選択し、(●) を押す

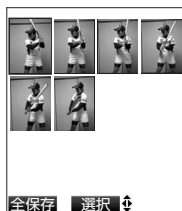
■ 画像サイズがSub-QCIF、QCIFのとき

24枚自動（速い）：24枚の静止画が約0.2秒間隔で連続撮影されます。
24枚自動（普通）：24枚の静止画が約0.4秒間隔で連続撮影されます。
24枚手動：(●) を押すごとに撮影し、24枚の静止画を撮影すると、インデックス表示されます。
OFF：連続撮影しません。

■ 画像サイズが待受画面、CIFのとき

12枚自動：12枚の静止画が待受画面サイズで約0.4秒間隔、CIFサイズで約0.6秒間隔で連続撮影されます。
12枚手動：(●) を押すごとに撮影し、12枚の静止画を撮影すると、インデックス表示されます。
OFF：連続撮影しません。

3 (●) を押す

■ 連続撮影（自動）のとき

連続撮影が始まり、24枚（待受画面、CIFのときは12枚）撮影後にインデックス表示されます。
- 途中で連続撮影を停止するときは、[✉] ［停止］を押します。撮影した画像がインデックス表示されます。
- 「自動保存 ON」に設定しているときは、撮影が終了するとすべての画像が保存されます。

■ 連続撮影（手動）のとき

「24枚（12枚）手動」を選択した場合は、24枚（12枚）まで撮影できます。
- 途中で連続撮影を停止するときは、[✉] ［停止］を押します。撮影した画像がインデックス表示されます。
- 「自動保存 ON」に設定しているときは、撮影が終了するとすべての画像が保存されます。

4 静止画を選択して (●) を押す

■ 全画像を一括保存するとき

[✉] ［全保存］を押す

全画像が保存され、静止画撮影画面に戻ります。

次ページへつづく

■ インデックス表示画面を保存するとき

- 連続撮影できる枚数をすべて撮影した場合のみインデックス表示が保存できます。

① i［機能］▶ 1「インデックス保存」を押す

② 1「はい」を押す

インデックスが保存され、インデックス表示に戻ります。

- 中止するときは 2「いいえ」を押します。
- 保存したインデックスの画像サイズは以下のとおりです。
  - Sub-QCIF　:256×288　- QCIF　:352×432
  - 待受画面　:240×240
  - CIF（アウトカメラ）:352×216　- CIF（インカメラ）:288×264

5 画像を確認して ◉ を押す

選択した画像が保存され、インデックス表示に戻ります。
必要な静止画をすべて保存します。

- i［機能］を押して位置情報埋め込み、タイトル編集などができます。→P154

■ 画像をメールに添付して送るとき

① ✉［メール作成］を押す

② 1「全保存」または 2「選択データのみ保存」を押す

画像がデータBOXに保存され、画像が添付されたメール作成画面が表示されます。

- 中止するときは 3「キャンセル」を押します。
- 画像サイズが待受画面より大きい場合は、画像サイズを待受画面に変換して添付できます。
- 以降の操作：→P230「iモードメールを作成して送信する」手順2～6
  位置情報付き静止画の添付について→P241

■ 画像を待受画面などに設定するとき

① i［機能］▶ 2「画像設定」を押す

② 1「全保存」または 2「選択データのみ保存」を押す

画像がデータBOXに保存されます。

- 中止するときは 3「キャンセル」を押します。
- 以降の操作：→P338「画像を待受画面などに設定する」手順2～4

お知らせ

- 連続撮影では、シャッター音の設定にかかわらず、「カシャ」音になります。
- 連続撮影では、ライトON／OFFのみできます。
- 連続撮影（自動）ではシーンセレクトの「夜景」は選択できません。「夜景」にしていた場合、「標準」に設定されます。
- インデックス画面から静止画を選択して保存したあとに、「全保存」を実行しても、すでに保存された画像は保存されません。
- 連続撮影中にFOMA端末を折りたたむと、撮影は中断します。開くと、撮影した画像がインデックス表示されます。「自動保存ON」のときは自動的に保存されます。
- 連続撮影中に電話の着信があった場合、撮影は停止し、着信画面になります。撮影した画像は保持され、通話終了後にインデックス画面が表示されます。
- 連続撮影中にメールを受信しても、連続撮影を継続します。

フレームを重ねて撮影する<フレーム撮影>

お買い上げ時	フレームなし

FOMA端末に内蔵のフレームやサイトからダウンロードしたフレームを重ねて撮影できます。
- 画像サイズがVGA、XGA、1Mの画像はフレーム撮影できません。
- 撮影する画像サイズと異なるフレームは選択できません。
- FOMA端末には次のフレームが内蔵されています。

1 静止画撮影画面で [i]［機能］▶ [6]「フレーム撮影」を押す

2 フレームを選択し、● を押す

フレームが表示されます。
- ◉を押すと、前後のフレームを表示できます。
- 解除するときは [✉]［解除］を押します。

■ フレームをインデックス表示にして選択するとき

[i]［4分割］を押すと、4分割のインデックス表示になります。[i]を押すたびに、インデックス表示（リスト表示）が切り替わります。

3 ● を押す

フレームが設定されます。
- 以降の操作：→P153「静止画を撮影する」手順2～4

お知らせ

- フレームだけを赤外線通信で送信したり、メールに添付して送信することはできません。

動画撮影

動画を撮影する

FOMA端末のカメラで音声付き動画を撮影します。
- マナーモードやドライブモード中、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続中でも、録画・録音開始／終了音が鳴ります。録画・録音開始／終了音の音量は変更できません。

1 待受画面で [📷]（📷）を1秒以上押す

次ページへつづく

2 [i]［機能］▶[1]「カメラモード」▶[2]「ムービー撮影」を押す

動画撮影画面

動画撮影画面が表示されます。
- インカメラに切り替えるときは[✉]［カメラ切替］を押します。
- 撮影時の設定を変更できます。→P160

■ 拡大表示するとき

[↕]を押す
- [i]［機能］▶「拡大表示」／「等倍表示」を選択し、[●]を押しても拡大／等倍表示できます。
- もう一度押すと、等倍表示になります。
- 動画確認画面でも同じ操作で拡大表示／等倍表示ができます。

■ 映像のみの動画を撮影、または音声のみ録音するとき

①[i]［機能］▶[5]「撮影種別」を押す
②[2]「映像のみ」または[3]「音声のみ」を押す

■ マイク感度を設定するとき

①[i]［機能］▶[◀]▶[1]「マイク感度」を押す
②[1]「広域用」または[2]「自分撮り用」を押す

広域用　　：広い範囲で集音します。
自分撮り用：近い範囲で集音します。

3 被写体にカメラのレンズを向けて、[●]を押す

録画開始音が鳴り、「●REC」が表示され、録画が始まります。

■ 録画を一時停止するとき

[✉]［一時停止］を押す
- もう一度押すと、録画が再開します。

4 [●]を押す

動画確認画面

録画が停止します。
-「自動保存 ON」や、ファイルサイズ制限を「制限なし」に設定しているときは、保存されます。

■ 保存せず録画し直すとき

[CLR]を押す

■ 動画をメールに添付して送るとき

- 保存先設定を「miniSD」にしているときはメール作成はできません。

[✉]［メール作成］を押す

動画がデータBOXに保存され、動画が添付されたメール作成画面が表示されます。
- 以降の操作：→P230「iモードメールを作成して送信する」手順2～6
- iモードメールに添付できるファイルサイズには制限があります。メールに添付する場合は、「ファイルサイズ制限」の設定をしておくと便利です。

■ 動画を確認するとき

[i]［機能］▶[1]「再生」を押す

録画した動画を再生します。

- ◀で巻き戻し、▶で早送りができます。▲▼で音量を調節できます。
- ●を押す、または録画した動画をすべて再生すると、動画確認画面に戻ります。

■ 動画を待受画面や着信音などに設定するとき

[i]［機能］▶[2]「iモーション設定」を押す

動画がデータBOXに保存されます。

- 以降の操作：→P346「動画・iモーションを音声着信などに設定する」手順3

■ タイトルを編集するとき

①[i]［機能］▶[4]「タイトル編集」を押す

②タイトルを入力し、●を押す

- 全角18文字（半角36文字）まで入力できます。

5 ●を押す

動画が保存されます。

- 動画は「データBOX」→「iモーション」→「カメラ」フォルダに保存されます。保存先は変更できます。→P166

動画撮影中に静止画を撮影する

- 撮影種別が「映像＋音声」または「映像のみ」のときは、ファイルサイズ制限が「制限なし」の場合のみ静止画を撮影できます。→P162
- 撮影できる静止画は、撮影種別が「映像＋音声」、「映像のみ」の場合は動画撮影中に9枚、「音声のみ」の場合は録音前に1枚です。
- シャッター音は設定にかかわらず「カシャ」音になります。
- 撮影中の動画には静止画撮影時の「カシャ」音が記録されます。

1 動画撮影中に、[📷]を押す

- 画像サイズは設定されている動画サイズと同じになります。
- 撮影の一時停止中でも静止画を撮影できます。

お知らせ

- ●▶[カメラ]▶[2]を押しても動画撮影画面が表示されます。
- 動画撮影画面表示中は、緑の撮影ランプが点滅します。録画・録音時は赤の撮影ランプが点滅します。
- 撮影中にFOMA端末を折りたたむと撮影は中断します。開くと動画確認画面が表示されます。「自動保存ON」の場合、ファイルサイズ制限が「制限なし」の場合は、自動的に保存されます。
- 動画撮影中にキー操作を行うと、操作音が録音される場合があります。
- 動画撮影画面または動画確認画面表示中に電話の着信・アラーム（スケジュールアラーム、ToDo アラームも含む）・GPS測位があった場合は、録画（録音）は停止され、途中までのデータが保持されます。通話終了後、アラーム停止後またはGPS測位後に元の画面に戻ります。アラームにスヌーズを設定している場合は、スヌーズモード解除後に元の画面に戻ります。
- 動画撮影中（音声録音中）にメールを受信しても、そのまま撮影（録音）を続けることができます。
- 通話中は動画撮影（音声録音）できません。
- 動画撮影画面で2分以上何も操作しなかったときは、カメラが自動的に終了します。

撮影時の設定を変える

FOMA端末のカメラの設定を撮影シーンに合わせて変更します。保存場所を変更したり、セルフタイマーで撮影したりできます。

- 静止画撮影画面または動画撮影画面で行います。
- 静止画撮影画面の表示方法は「静止画を撮影する」をご覧ください。→P153
- 動画撮影画面の表示方法は「動画を撮影する」をご覧ください。→P157
- 電話帳の登録画面や、iアプリなどからカメラを起動した場合や、動画撮影の撮影種別の設定によっては、変更できない項目があります。

ズームを使う

お買い上げ時	ワイド

- 画像サイズがXGA、1Mの静止画はズームできません。

1 静止画／動画撮影画面で、を押す

のズームバーが左右に動き、画像表示が拡大（縮小）します。

- 動画撮影中、動画撮影の一時停止中でもズームできます。

- ズーム倍率は次のとおりです。

画像サイズ（横×縦）	カメラ	ズーム（段階）
静止画		
Sub-QCIF（128×96）	インカメラ	約2.3倍まで（6段階）
	アウトカメラ	約13.5倍まで（16段階）
QCIF（176×144）	インカメラ	約1.6倍まで（4段階）
	アウトカメラ	約9.7倍まで（10段階）
待受画面（240×320）	インカメラ	－
	アウトカメラ	約7.2倍まで（7段階）
CIF（288×352）	インカメラ	－
CIF（352×288）	アウトカメラ	約2.4倍まで（6段階）
VGA（480×640）	インカメラ	－
	アウトカメラ	約1.6倍まで（4段階）
動画		
Sub-QCIF（128×96）	インカメラ	約2.3倍まで（6段階）
	アウトカメラ	約11.5倍まで（15段階）
QCIF（176×144）	インカメラ	約1.6倍まで（4段階）
	アウトカメラ	約8.3倍まで（9段階）

明るさを設定する

お買い上げ時	±0

画像全体の明るさを設定します。

1 **静止画／動画撮影画面で、▲または▼を押す**

画面の明るさが－5～＋5まで11段階で設定できます。
[-5]～[±0]～[+5]と表示が変わります。

ライト（フラッシュ）を点灯する

お買い上げ時	静止画：フラッシュ AUTO 動画　：OFF

撮影場所が暗いときにライトをつけて撮影できます。静止画撮影の場合は、撮影時にフラッシュを使うことができます。

- 静止画撮影時にライトを「ON」に設定すると、フラッシュも点灯します。
- 動画撮影時はフラッシュは使えません。
- 連続撮影・シーンセレクトの「夜景」設定時は、フラッシュは使用できません。（「ライト／フラッシュ」の設定項目は「ライト」になります。）
- 周辺の気温が非常に低い場合（－10℃以下）、ライト／フラッシュは使用できません。

ライト／フラッシュを点灯する（静止画撮影）

1 **静止画撮影画面で、[i]［機能］▶◎▶◎▶[3]「ライト／フラッシュ」を押す**

2 **[1]～[4]を押す**

フラッシュ AUTO：撮影時に、周囲や被写体が暗い場合に自動的にフラッシュが光ります。
フラッシュ ON　：撮影時にフラッシュが光ります。
ライトON　　　：ライトとフラッシュが点灯します。
OFF　　　　　：ライトとフラッシュは点灯しません。

■ **簡単にライト／フラッシュを切り替えるとき**
静止画撮影画面で[#]を押す
押すたびにアイコンが切り替わります。

ライトを点灯する（動画撮影）

1 **動画撮影画面で、[i]［機能］▶◎▶◎▶[1]「ライト」を押す**

2 **[1]「ON」を押す**

- 点灯しないときは[2]「OFF」を押します。

■ **簡単にライトを切り替えるとき**
動画撮影画面で[#]を押す
押すたびにアイコンが切り替わります。

お知らせ

- ライトは薄暗いときなどに、光量を補うために使用します。真っ暗な場所を明るく映すことはできません。

画像サイズ／画質を選択する

お買い上げ時	静止画 サイズ選択：待受画面　画質選択：ノーマル 動画 サイズ選択：QCIF　撮影モード：標準

画像サイズを選択する

1 **静止画／動画撮影画面で、i［機能］▶2「サイズ選択」を押す**

2 **画像サイズを選択し、●を押す**

■ 簡単に画像サイズ切り替えるとき
静止画／動画撮影画面で1を押す
押すたびに、アイコンが切り替わります。

撮影する静止画の画質を選択する

1 **静止画撮影画面で、i［機能］▶3「画質選択」を押す**

2 **1～3を押す**

ノーマル　　　　：標準画質で撮影します。
ファイン　　　　：高画質で撮影します。
スーパーファイン：最高画質で撮影します。

■ 簡単に画質を切り替えるとき
静止画撮影画面で2を押す
押すたびに、アイコンが切り替わります。

撮影する動画の画質を選択する

1 **動画撮影画面で、i［機能］▶4「撮影モード」を押す**

2 **1～3を押す**

標準　　：画像、動きとも標準の画像となります。
動き優先：動きはなめらかですが、画質は少し粗い画像となります。
画質優先：高画質ですが動きが少し不安定な画像となります。

■ 簡単に撮影モードを切り替えるとき
動画撮影画面で3を押す
押すたびに、アイコンが切り替わります。

ファイルサイズを制限する<ファイルサイズ制限>

お買い上げ時	iモードメール添付

撮影した動画をメールに添付して送る場合、ファイルサイズ制限を設定しておくと便利です。

1 **動画撮影画面で、i［機能］▶3「ファイルサイズ制限」を押す**

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

2 1 ～ 3 を押す

iモードメール添付：ファイルサイズが約290Kバイトになると、録画を停止します。
大容量メール添付：ファイルサイズが約490Kバイトになると、録画を停止します。
制限なし：FOMA端末本体に保存するときはファイルサイズが約8Mバイトまで録画できます。miniSDメモリーカードに保存するときは約40Mバイトまで録画できます。保存先（FOMA端末、miniSDメモリーカード）の空き容量によっては、保存できる動画のファイルサイズが変わります。

■ 簡単にファイルサイズ制限を切り替えるとき

動画撮影画面で 2 を押す

押すたびにアイコンが切り替わります。

お知らせ

- 保存先の空き容量が390Kバイト未満の場合、「制限なし」には設定できません。
- 「制限なし」に設定すると、録画（録音）終了後に動画（音声）は自動保存されます。

撮影シーンを選択する<シーンセレクト>

お買い上げ時	標準

静止画を撮影する場合に、約10cmの距離で撮影したり、動きのある被写体を撮るときなど、撮りたいシーンにあわせた設定を選択できます。

- インカメラのときは「接写」は選択できません。「接写」に設定しているときに、インカメラに切り替えた場合、設定は「標準」になります。
- 連続撮影にしている場合「夜景」は選択できません。「夜景」に設定しているときに、連続撮影にした場合、設定は「標準」になります。

1 静止画撮影画面で、i ［機能］ ▶ 4 「シーンセレクト」を押す

2 1 ～ 6 を押す

標準：通常の撮影です。
人物：人物の顔色を強調したり、背景をぼかして人物をひきたてます。
風景：輪郭線を強調して撮影します。
夜景：夜景を活かしながら被写体を撮影します。
接写：約10cmの距離の被写体を撮影します。
スポーツ：シャッタースピードを速くし、動きのある被写体を撮影します。

■ 簡単にシーンセレクトを切り替えるとき

静止画撮影画面で 3 を押す

押すたびにアイコンが切り替わります。

お知らせ

- 「夜景」に設定すると、フラッシュは使用できません。
- 「夜景」に設定すると、ホワイトバランスは「自動」になります。

セルフタイマーを使う

お買い上げ時	OFF

セルフタイマーで設定した時間が経過すると、自動的に撮影を開始します。撮影するときにキー操作を行わないので、キー操作による手ぶれを防ぐことができます。

1 静止画撮影画面で、i［機能］▶ ▶ 1「セルフタイマー」を押す

- 動画撮影のときは、i［機能］▶ 7「セルフタイマー」を押します。

2 1 〜 4 を押す

（5秒の場合）が表示されます。

3 撮影する構図を決めて、● を押す

セルフタイマーが起動します。 の残り時間が減っていき、設定した時間が経過すると撮影を開始します。

■ 簡単にセルフタイマーを設定するとき

静止画／動画撮影画面で 5 を押す

押すたびにアイコンが切り替わります。

お知らせ

- セルフタイマーが起動すると、10秒前から撮影ランプが緑で点滅します。3秒前になると撮影ランプが赤に変わり、点滅が速くなります。また、3秒前から1秒間隔で「ピッ、ピッ、ピッ」という撮影開始のタイミングを知らせる音が鳴ります。
- セルフタイマーの起動中に CLR を押すと、セルフタイマーのカウントが元に戻ります。静止画撮影の場合、 ［停止］を押しても操作できます。

撮影効果を設定する<特殊効果>

お買い上げ時	効果なし

画像に色味をつける、色調を反転させるなどの効果を付加できます。

1 静止画撮影画面で、i［機能］▶ 7「特殊効果」を押す

- 動画撮影のときは、i［機能］▶ 6「特殊効果」を押します。

2 1 〜 8 を押す

特殊効果のプレビュー画面が表示されます。

- プレビュー画面で を押して、特殊効果を選択することもできます。

セピア　：古い写真のような、茶色がかった画像になります。
モノクロ：白黒の画像になります。
レッド　：赤みがかった画像になります。
グリーン：緑がかった画像になります。
ブルー　：青みがかった画像になります。
パープル：紫がかった画像になります。
エンボス：凹凸のある画像になります。
ネガ　　：カメラのネガフィルムのような色調を反転させた画像になります。

■ 特殊効果を解除するとき
[✉]［解除］を押す

3 [●] を押す

選択した特殊効果に設定されます。

■ 簡単に特殊効果を設定するとき
① 静止画／動画撮影画面で [4GHIた] を押す
② [◎] を押して特殊効果を選択し、[●] を押す
• 特殊効果を解除するときは [✉]［解除］を押します。

ホワイトバランスを調整する

お買い上げ時	自動

撮影する場所の明るさや照明の種類などによって、画像の色合いが実際の色合いと異なって撮影されることがあります。このような場合に色合いを調整します。

1 静止画撮影画面で、[i]［機能］▶[◎]▶[4GHIた]「ホワイトバランス」を押す

• 動画撮影のときは、[i]［機能］▶[◎]▶[2ABCか]「ホワイトバランス」を押します。

2 [1.@あ] 〜 [6MNOは] を押す

自動：色合いを自動で調整します。
晴天：晴天下での撮影に適するように設定します。
曇天：曇天下での撮影に適するように設定します。
電球：電球の下での撮影に適するように設定します。
蛍光灯（昼白色）：昼白色の蛍光灯の下での撮影に適するように設定します。
蛍光灯（昼光色）：昼光色の蛍光灯の下での撮影に適するように設定します。

■ 簡単にホワイトバランスを切り替えるとき
静止画／動画撮影画面で [6MNOは] を押す
押すたびにアイコンが切り替わります。

撮影した静止画／動画を自動的に保存する＜自動保存ON／OFF＞

お買い上げ時	自動保存OFF

1 静止画撮影画面で、[i]［機能］▶[◎]▶[6MNOは]「自動保存ON」を押す

撮影した画像は、自動的に保存されるようになります。
• 動画撮影のときは、[i]［機能］▶[◎]▶[4GHIた]「自動保存ON」を押します。
• 自動保存しないときは、静止画／動画撮影画面で [i]［機能］▶「自動保存OFF」を選択し、[●] を押します。
• 撮影後すぐに、メールに添付する場合は、「自動保存OFF」にしておいてください。

撮影した静止画／動画の保存先を設定する<保存先設定>

お買い上げ時	静止画：「データBOX」→「マイピクチャ」→「カメラ」 動画　：「データBOX」→「iモーション」→「カメラ」

miniSDメモリーカードに保存する

- 保存先設定を「miniSD」にしているときは、静止画／動画確認画面からメール作成・待受画面などへの設定はできません。

1 miniSDメモリーカードを挿入する

- miniSDメモリーカードの挿入については「miniSD メモリーカードの取付けかた／取外しかた」をご覧ください。→P361

2 静止画撮影画面で、i［機能］▶◎▶7「保存先設定」を押す

- 動画撮影のときは、i［機能］▶◎▶5「保存先設定」を押します。

3 2「miniSD」を押す

静止画は「デジカメ」フォルダに、動画は「iモーション」フォルダに保存されます。

FOMA端末本体の任意のフォルダに保存する

1 静止画撮影画面で、i［機能］▶◎▶7「保存先設定」を押す

- 動画撮影のときは、i［機能］▶◎▶5「保存先設定」を押します。

2 1「データBOX」を押す

3 保存先のフォルダを選択し、●を押す

保存された静止画や動画のファイル名／タイトルについて

撮影した画像を保存すると、画像のファイル名／タイトルは「撮影年-撮影月-撮影日_撮影時間（時）-撮影時間（分）」となります。

〈例〉2005年12月24日10：30に撮影された動画の場合

ファイル名／タイトルは「2005-12-24_10-30」となります。

- 連続撮影した静止画のファイル名は、1枚目に撮影した撮影日時となり、その後ろに通し番号がつきます。たとえば、2005年12月24日10:30に連続撮影した場合、3枚目の画像のファイル名は「2005-12-24_10-30_03」となります。インデックス画像は通し番号が「00」になります。

お知らせ

- 保存した静止画や動画のファイル名／タイトルは、「情報表示」で確認できます。→P375
- miniSD メモリーカードに保存した場合、ファイル名とタイトルは異なります。miniSD メモリーカードに保存した場合のファイル名について→P363
- miniSD メモリーカードに保存中に、miniSD メモリーカードを抜かないでください。画像や miniSD メモリーカードが壊れるおそれがあります。
- miniSDメモリーカードに保存した画像はDPOFプリント予約（プリント画像と枚数の指定）ができます。
- miniSDメモリーカードに、保存できる空き容量がないまたは件数オーバーの場合は、データBOXに保存されます。

＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→ P361

撮影時に静止画／動画を参照する

1 **静止画撮影画面で、[i]［機能］▶[○]▶[○]▶[4GHIた]「マイピクチャ参照」を押す**

- 動画撮影のときは動画撮影画面で、[i]［機能］▶[○]▶[○]▶[2ABCか]「iモーション参照」を押します。

2 **[1.@あ]「データBOX」を押す**

- miniSDメモリーカードに保存した静止画／動画を参照するときは[2ABCか]「miniSD」を押します。保存先設定を「miniSD」にしているときに、miniSDメモリーカード内の静止画／動画を参照すると、保存先設定は「データBOX」になります。

3 **フォルダを選択し、[●]を押す**

4 **画像を選択して[●]を押す**

- 静止画再生画面について→P335
- 動画再生画面について→P344

撮影後に静止画／動画を参照する

- 保存した画像を表示する→P334
- 動画・iモーションを再生する→P343

その他の設定を変える

お買い上げ時	日付スタンプ：OFF　シャッター音：カシャ 開始／終了音：ピピッ　ファイル制限：なし

撮影時に日付スタンプを入れたり、シャッター音を変更したり、さまざまな設定ができます。

1 **静止画／動画撮影画面で[i]［機能］を押す**

2 **項目を選択する**

■ 日付スタンプを貼り付けるとき

- 静止画撮影画面で行えます。
- 画像サイズがSub-QCIF、QCIF、待受画面、CIFの静止画のみ貼り付けできます。

① [○]▶[2ABCか]**「日付スタンプ」を押す**

② [1.@あ]～[3DEFさ]**を押す**

- 日付スタンプを貼り付けないときは[4GHIた]「OFF」を押します。
- [i]［色変更］を押すと日付スタンプの色を変更できます。

■ 位置情報を埋め込むとき

- 静止画撮影画面で行えます。

[○]▶[3DEFさ]**「位置情報埋め込み」を押す**

- 静止画撮影画面で[☺]を押しても位置情報埋め込みができます。
- 以降の操作：→P329「位置情報を埋め込む」手順4

カメラ

次ページへつづく

■ シャッター音を変更するとき

- 静止画撮影画面で行えます。

① ◯▶ 5 「シャッター音」を押す

② 1 ～ 3 を押す

- ✉［再生］を押すとシャッター音を確認できます。

■ 録画開始／終了音を変更するとき

- 動画撮影画面で行えます。

① ◯▶ 3 「開始/終了音」を押す

② 1 ～ 3 を押す

- ✉［再生］を押すと開始／終了音を確認できます。

■ ファイル制限を設定するとき

静止画や動画を送信したFOMA端末から送信や転送ができないように設定できます。

- 静止画撮影画面、動画撮影画面で行えます。

①「ファイル制限」を選択し、◉を押す

② 1 「あり」を押す

- 設定しないときは 2 「なし」を押します。

■ 操作ガイドを表示するとき

- 静止画撮影画面、動画撮影画面で行えます。

「操作ガイド」を選択し、◉を押す

- 終了するときは◉を押します。

バーコードリーダー

バーコードリーダーを利用する

FOMA端末のカメラを使ってJANコードやQRコードを読み取ります。読み取ったデータはPhone To／AV Phone To機能、Mail To機能などで利用できます。

- 読み取ったコードは18件まで保存できます。
- 読み取れるのはJANコードとQRコードだけです。

JANコード・QRコードについて

JANコードとは、太さや間隔の異なる縦のバーで数字を表しているバーコードの一種です。FOMA端末では8桁（JAN8）と13桁（JAN13）の2種類を読み取れます。

- 左のJANコードから、「4123578369877」という数字の情報が読み取れます。

QRコードとは、縦横の模様で数字、アルファベット、漢字、カナ、絵文字、メロディ、画像などを表している、高い情報力を持った二次元コードです。

- 左のQRコードから、「株式会社NTTドコモ」という文字情報が読み取れます。

コードを読み取る

JANコードやQRコードをカメラを使って読み取ります。

- コードが読み取れるのはアウトカメラだけです。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射によっては読み取れないことがあります。
- バーコードの種類やバージョン※、サイズによっては読み取れないことがあります。

※QRコードは、バージョン10まで対応しています。

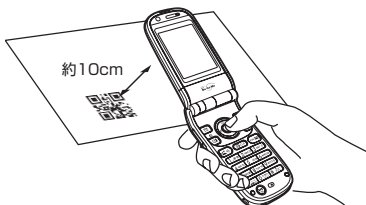
1 待受画面で [カメラ]（[カメラ]）を1秒以上押す

2 [i]［機能］▶[1]「カメラモード」▶[3]「バーコードリーダー」を押す

バーコードリーダー画面

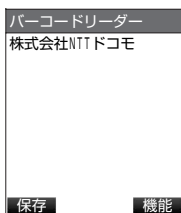
① [アイコン]：バーコードリーダーが起動しています。

② [アイコン]：ライトが点灯しています。
[アイコン]：周囲の温度が低いため、ライトは使用できません。

3 アウトカメラをコードから約10cm離し、コード全体をディスプレイに表示させる

- FOMA端末を手でしっかり支えて操作します。

■ ライトを点灯させて読み取るとき

[i]［機能］▶[2]「ライト」▶[1]「ON」を押す

4 [●]を押す

「読み取り中」と表示されたあと、読み取り結果が表示されます。

5 [✉]［保存］を押す

読み取ったデータが保存されます。

- 保存せず、情報を利用することもできます。
  以降の操作：→P170「読み取ったデータを利用する」手順3、→P171「読み取ったテキスト情報を利用する」手順2
- データを保存しないときは、[CLR]▶[1]「はい」を押します。バーコードリーダー画面に戻ります。

分割された複数のQRコードを読み取る

分割されたQRコード（16個まで）を結合できます。
読み取ったQRコードが分割されていた場合、「次のデータを読み取ってください」と表示されます。手順3を行うと、自動的に次のQRコードを読み取ります。すべてのQRコードを読み取ってください。

お知らせ

- ● ▶ カメラ ▶ 3 または、● ▶ ツール ▶ 9 を押してもバーコードリーダー画面が表示されます。
- 暗い場所ではライトを点灯してから読み取ってください。
- 保存したデータのタイトルは、読み取った日時になっています。（西暦-月-日_時間（時）-時間（分））たとえば、2005年12月24日10:30に読み取った場合、「2005-12-24_10-30」になります。保存したデータのタイトルは変更できます。→P172
- データBOX、miniSDメモリーカードには読み取ったデータを保存できません。

読み取ったデータを利用する

1 バーコードリーダー画面で ✉［一覧］を押す

バーコードリーダー一覧画面

- バーコードリーダー画面に戻すときは、✉［起動］を押します。

2 利用するデータを選択し、● を押す

3 データを利用する

- 電話番号やURLなどのデータの利用については、P171「利用したい項目を直接選択する」をご覧ください。

■ **電話帳に登録するとき**

データの内容を電話帳に登録できます。

①**「電話帳登録」を選択し、● を押す**

② **1 「本体」または 2 「FOMAカード(UIM)」を押す**

- データ内容が入力された電話帳が表示されます。
  以降の操作：→P89「FOMA端末電話帳に登録する」手順3～6、→P94「FOMAカード電話帳に登録する」手順3～4
- 選択した電話帳によって、登録できない項目があります。

■ **メールを作成するとき**

データにある「宛先」にメールを送信します。

「メール作成」を選択し、● を押す

- 以降の操作：→P230「iモードメールを作成して送信する」手順4～6

カメラ

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

■ ブックマークに登録するとき

データにあるURLやタイトル名をブックマークに登録します。

「Bookmark登録」を選択し、◉を押す

- 以降の操作：→P194「ブックマークに登録する」手順2～3

■ iアプリを起動するとき

①「iアプリ起動」を選択し、◉を押す

- 該当するiアプリがFOMA端末にない場合、起動できません。

② 1「はい」を押す

- 起動しないときは 2「いいえ」を押します。

■ データにある画像・メロディを再生・保存するとき

画像・メロディを選択し、◉を押す

画像・メロディが再生されます。

- 画像・メロディを保存するときは、データを選択し、i［機能］▶ 5「データBOXへ保存」を押します。
- 画像は「データBOX」→「マイピクチャ」→「データ交換」フォルダに、メロディは「データBOX」→「メロディ」→「データ交換」フォルダに保存されます。

利用したい項目を直接選択する

- セルフモード中はバーコードリーダーから読み取ったデータからは電話の発信、メールの送信、サイト接続はできません。

1 バーコードリーダー一覧画面でデータを選択し、◉を押す

2 利用する項目を選択し、◉を押す

電話番号を選択したとき：音声発信、64Kテレビ電話発信、テレビ電話画像選択、電話帳新規登録、電話帳追加登録、電話番号コピーが行えます。
- 以降の操作：→P205「電話番号を選択してできる機能」手順2～3

URLを選択したとき：サイト接続、Bookmark登録、電話帳新規登録、電話帳追加登録、URLコピーが行えます。
- 以降の操作:→P206「URLを選択してできる機能」手順2～3

メールアドレスを選択したとき：メール作成、電話帳新規登録、電話帳追加登録、アドレスコピーが行えます。
- 以降の操作：→ P206「メールアドレスを選択してできる機能」手順2

読み取ったテキスト情報を利用する

1 バーコードリーダー一覧画面でデータを選択し、◉を押す

2 i［機能］を押し、テキスト情報を利用する

■ コピーするとき

① 1「コピー」を押す

② コピーする範囲の始点で◉▶終点で◉を押す

- コピーしたデータは貼り付けデータとして保存されます。

次ページへつづく

■ ユーザー辞書に登録するとき

① [2] 「ユーザー辞書登録」を押す

② 登録する範囲の始点で ● ▶ 終点で ● を押す

- 全角20文字（半角40文字）まで範囲指定できます。

③ よみを入力し、● を押す

■ 英単語辞書を使うとき

① [3] 「英単語辞書」を押す

② 調べる単語の始点で ● ▶ 終点で ● を押す

- 指定できる文字数は和英／カタカナ英語辞書の場合、8文字（全角・半角ともに）まで、英和辞書の場合、16文字（全角・半角ともに）までです。
- 翻訳候補一覧が表示されたときは、単語を選択し、● を押します。

■ よみを確認するとき

① [4] 「よみ確認」を押す

② 調べる単語の始点で ● ▶ 終点で ● を押す

- 全角50 文字（半角100 文字）まで範囲指定できます。
- 文章は文節ごとに表示されます。文節を選択し、● を押してください。

保存したコードのタイトルを変更する

1 バーコードリーダー一覧画面でデータを選択し、[i]［機能］▶ [1]「タイトル編集」を押す

2 タイトルを入力し、● を押す

- 全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

保存したコードを削除する

1 バーコードリーダー一覧画面でデータを選択し、[i]［機能］▶ [2]「削除」を押す

2 [1]「1件削除」を押す

■ 選択削除するとき

① [2] 「選択削除」を押す

② データを選択し、● を押す

- 解除するときは ● を押します。
- [✉]［詳細］を押すと内容を確認できます。◀▶ を押すと前後のデータを確認できます。[✉]［一覧］を押すと一覧画面に戻ります。

③ [i]［実行］を押す

■ 全件削除するとき

① [3] 「全件削除」を押す

② 端末暗証番号を入力し、● を押す

3 [1]「はい」を押す

- 中止するときは [2]「いいえ」を押します。

お知らせ

- 電話番号やメールアドレス、URL を読み取っても、各機能にリンクできない場合があります。(下線付きの色文字でない場合リンクできません)

文字リーダー

文字を読み取る

FOMA 端末のカメラを使って文字(英数字と記号)を読み取ります。読み取った文字は電話帳登録やメール作成などで利用できます。また、簡単に英単語の意味を調べることができます。

- 読み取った文字は 18 件まで保存できます。(カメラ de 辞書で読み取った文字は保存できません。)1 件につき半角256文字まで登録できます。
- 一度に読み取れる文字数は約35文字です。(カメラde辞書の場合は16文字までです。)
- 文字が読み取れるのはアウトカメラだけです。
- 読み取り可能な文字は書体が「明朝体」「ゴシック体」「セリフ書体」「サンセリフ書体」(斜体は対象外)の「アルファベット」「数字」「半角記号」のみです。
- パソコンなどのディスプレイから読み取った場合は、正しく読み取れない場合があります。
- 文字の読み取りは、撮影状況によって正しく読み取れない場合があります。
- 縦書きの文字は、読み取ることができません。

1 待受画面で (📷)を 1 秒以上押す

2 [機能] ▶ 「カメラモード」▶ 「文字リーダー」を押す

文字リーダー画面

① :文字リーダーが起動しています。
② :ピントレベルです。バーが多いほど認識しやすくなります。
③ (自動):認識モードを表示しています。他に (メールアドレス)、(URL)、(電話番号)があります。
:英単語の意味を英単語辞書で調べます。(カメラde 辞書)
④ :ライトが点灯しています。
:周囲の温度が低いため、ライトは使用できません。

3 読み取る文字をディスプレイに表示し、● を押す

読み取り結果画面

読み取った部分が赤枠で囲まれ、実際に読み取った文字テキストが表示されます。

- ディスプレイに[OK]が表示されているときに、読み取ることができます。

■ ライトを点灯させて読み取るとき

[機能] ▶ 「ライト」▶ 「ON」を押す

■ 文字を編集するとき

① [編集]を押す

② 文字を編集する

- 赤く表示されている文字があるときは、読み取り候補から文字を選択することができます。文字を選択して を押し、読み取り候補から文字を選択して ● または を押します。

カメラ

次ページへつづく

4 ● ▶ 2ABCか「いいえ」を押す

文字データ確認画面

- 長い文字列を続けて読み取るときは 1.@あ「はい」を押します。追加で読み取るごとに読み取ったテキストの後ろに追加されます。

5 ✉［保存］を押す

読み取った文字の先頭から20文字をタイトルとしてデータを保存します。

- 電話番号やメールアドレス、URLを読み取ったときは、電話番号などを選択し、●を押すとPhone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能が利用できます。→P205
- i［機能］を押すと読み取った文字を利用できます。
  以降の操作：→P175「読み取った文字データを利用する」手順3
- 文字リーダー画面に戻るときは CLR ▶ 1.@あ「はい」を押します。

認識モードを設定する

認識モードを設定すると、設定した項目に最適化した読み取りが行われます。

1 文字リーダー画面で i［機能］▶ 2ABCか「認識モード」を押す

2 1.@あ～4GHIた を押す

自動　：文字の種別を自動で認識します。
メールアドレス：メールアドレスが読み取りやすくなります。
URL　：URLが読み取りやすくなります。
電話番号　：電話番号が読み取りやすくなります。

保存したデータを削除する

1 文字リーダー画面で ✉［一覧］を押す

- 文字リーダー画面に戻すときは、✉［起動］を押します。

2 文字データを選択し i［機能］▶ 2ABCか「削除」を押す

3 1.@あ「1件削除」を押す

■ 選択削除するとき

① 2ABCか「選択削除」を押す
② データを選択し、●を押す
- 解除するときは●を押します。
- ✉［詳細］を押すと内容を確認できます。◀▶を押すと前後のデータを確認できます。✉［一覧］を押すと一覧画面に戻ります。

③ i［実行］を押す

■ 全件削除するとき

①［3］「全件削除」を押す

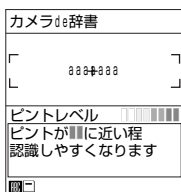
②端末暗証番号を入力し、●を押す

4 ［1］「はい」を押す

・中止するときは［2］「いいえ」を押します。

英単語を読み取る

読み取った英単語の意味を確認できます。

1 文字リーダー画面で［i］［機能］▶［4］「カメラde辞書」を押す

2 意味を確認したい英単語をディスプレイに表示させ、●を押す

読み取った英単語と意味が表示されます。
該当の英単語が辞書にない場合など、意味が表示されないときは、●を押し、翻訳候補一覧から英単語を選択し、●を押します。

読み取った文字データを利用する

読み取った文字データをコピーしたり、ユーザー辞書に登録したりできます。また、読み取った情報に電話番号やメールアドレスなどが含まれる場合、簡単に電話帳に登録できます。

1 文字リーダー画面で［✉］［一覧］を押す

2 データを選択し、●▶［i］［機能］を押す

・電話番号やメールアドレス、URLを読み取ったときは、電話番号などを選択し、●を押すとPhone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能が利用できます。→P205

3 テキスト情報を利用する

■ コピーするとき

［2］「コピー」を押す

・以降の操作：→P171「コピーするとき」手順②

■ ユーザー辞書に登録するとき

［3］「ユーザー辞書登録」を押す

・以降の操作：→P172「ユーザー辞書に登録するとき」手順②～③

■ 英単語辞書を使うとき

［4］「英単語辞書」を押す

・以降の操作：→P172「英単語辞書を使うとき」手順②

読み取った文字を編集する

1 文字リーダー画面で ✉［一覧］を押す

2 データを選択し、 i ［機能］▶ 1「編集」を押す

3 文字を編集し、◉ を押す

お知らせ

- ◉ ▶ カメラ ▶ 4 を押しても文字リーダー画面が表示されます。
- 暗い場所ではライトを点灯してから読み取ってください。
- データ BOX、miniSD メモリーカードには読み取った文字データを保存できません。
- 電話番号やメールアドレス、URL を読み取っても、各機能にリンクできない場合があります。（反転していない場合リンクできません）

＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→ P361

iモード

サイトを表示する

サイトから画像やメロディなどをダウンロードする

iモードの便利な機能

iモードの設定を行う

メッセージサービスを利用する

証明書を利用する

iモードとは

iモードでは、iモード対応FOMA端末（以下iモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、iモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

■ サイト（番組）接続

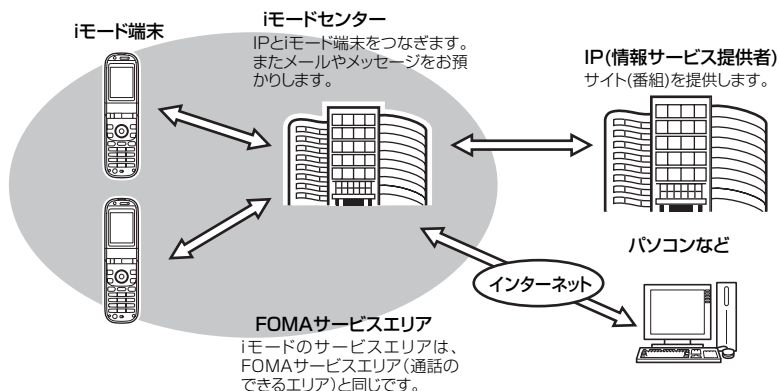
iモードメニューからメニューリストを選択して、天気、ニュースなどIP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。さらにゲームや待受画像をダウンロードして楽しめます。

■ インターネット接続

iモード端末にホームページアドレス（URL）を直接入力することで、iモード対応のさまざまなホームページを見ることができます。

■ iモードメール

iモード端末どうしをはじめ、インターネットのメールアドレスを持っている人となら誰とでもe-mailのやりとりが最大全角5000文字までできます。さらにデコメールや静止画像、動画を送受信して楽しいメールのやりとりができます。

サービスのしくみ

- iモードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、取扱説明書裏面をご覧ください。

お知らせ

- 新規でFOMAサービスのご契約をいただいた場合は、当日よりすべてのサービスがご利用になれます。
- movaサービス（iモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスでご利用いただいていた「マイメニュー」の内容は引き継がれます。サイトによって、FOMAに「マイメニュー」が引き継がれないサイトもございますので、その場合は再登録をお願いします。なお、「マイメニュー」引継対応サイトについては、iMenu内「お知らせ&ヘルプ」でご確認できます。→P179
- iモードは送受信した情報量（パケット数）に応じて課金されるサービスです。本取扱説明書においては、料金に関する情報は記載しておりません。ご利用料金等につきましては、iモードご契約時にお渡しいたします『iモード操作ガイド』をご覧ください。
- iモードのサービス内容は変更することがありますので、詳しくは最新の『iモード操作ガイド』をご覧ください。

サイト（番組）接続

簡単なキー操作でサイトに接続して、IPが提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。たとえば銀行の残高照会・振込、チケット予約、ニュース、辞書検索、着信メロディのダウンロードなどさまざまなオンラインサービスがあります。

サイトを表示するには

iモードセンターに接続すると、最初にiMenuが表示されます。ここから、各サイト（番組）や「週刊iガイド」などへアクセスします。

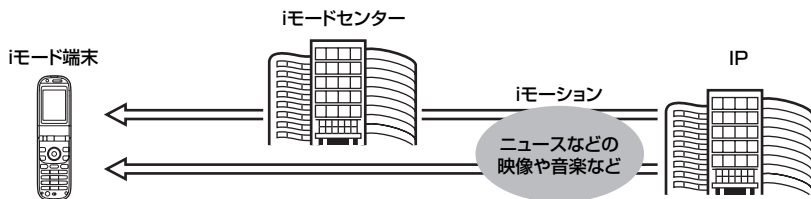
- サイトの表示方法について→P185

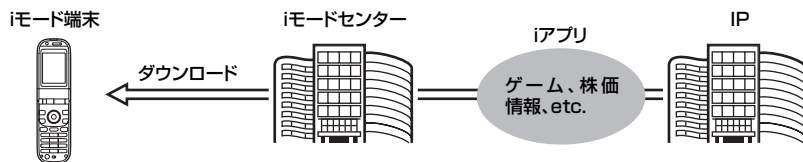
メニュー名	機　能
1 マイメニュー	よく利用するサイトを登録しておくと、次回から簡単にサイトに接続できます。→P191 iMenu内の有料サイト等は自動的に登録されます。登録可能な件数は45件です。
2 週刊iガイド	新着サイトやおすすめサイトなど最新のサイト情報を毎週月曜日から金曜日までの毎日更新して掲載します。
3 メニューリスト	すべてのサイトをジャンル別・地域別に紹介するリストです。ここから見たいサイトを選んで接続できます。
4 とくするメニュー	楽しいキャンペーン情報、プレゼントやお得な割引クーポン情報などが掲載されています。毎週情報が更新されます。（提供：D2コミュニケーションズ）
5 iエリア	今いる場所やその周辺に関する天気・地図・タウン情報・GPSを活用できるサイトなどを簡単にご利用になれます。
6 かんたん検索	「ゲーム」「待受画面」などのカテゴリからキーワード検索などで簡単にサイトを検索できます。
iアプリサーチ	iアプリを情報料が無料のものやゲームができるものなど、目的別に紹介しているメニューです。
便利サイトサーチ	メニューリストの中から、日常的に利用できる便利なサイトを利用シーン別に合わせて紹介しているメニューです。
7 マイボックス	サービスを提供するお店やサイトにあらかじめ登録することにより簡単にアクセスできる会員向けのサービスです。
8 オプション設定	iモードメールの設定やiモードパスワードの変更などを行います。
9 お知らせ&ヘルプ	ドコモからのお知らせや、iモードの利用方法やご利用規則を掲載しています。
■料金&お申込	料金の確認やお支払い、また、ご契約内容の変更・各種サービスのお申し込みができます。
ENGLISH	iMenuを英語表記に変更できます。

• 画面はイメージです。設定によっては、表示が異なる場合があります。

お知らせ

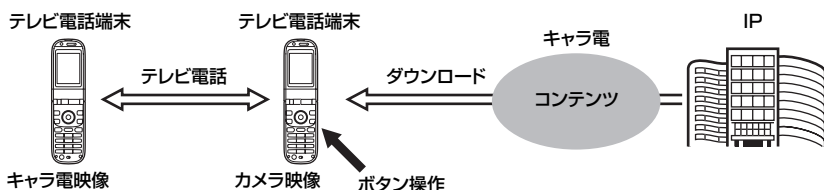
- サイトによっては、利用するために情報料が必要なもの（iモード有料サイト）があります。
- IPが提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- iモードアイコンが点滅していても、iモードセンターとの通信中以外は、パケット通信料はかかりません。
- デュアルネットワークサービスご契約の場合、iMenu画面などが一部異なります。

■ iモーション
iモードのサイトから映像や音をiモード端末に取得し、再生したり、待受画面として楽しんだりすることができます。
- iモーションを取得する→P304
- iモーションを再生する→P343
- iモーションを自動再生設定する→P306

■ 着モーション／着うた®
iモードのサイトからiモーションをiモード端末に取得し、着信音や着信画像に設定できます。メロディだけではなくお好きな歌手の歌声なども着信音としてご利用いただけます（一部の対応していないiモーションは着モーションに設定できません）。
- 着モーションを設定する→P108
- 「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

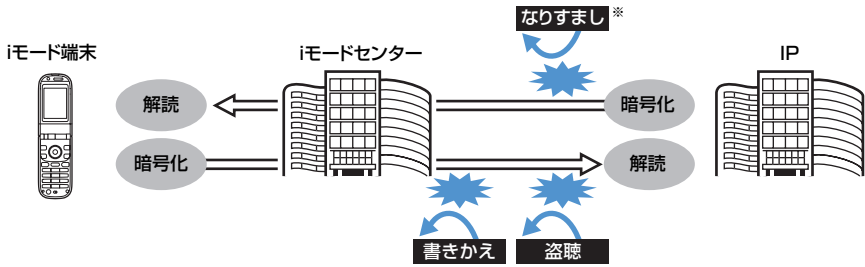
■ iアプリ
iアプリをサイトからダウンロードすることにより、iモード端末をより便利に活用いただけます。たとえばiモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のiアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図のiアプリでは必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。
- アプリをダウンロードする→P286
- アプリを実行する→P288
- iアプリを自動起動する→P292

■ iアプリ待受画面
iアプリ待受画面ではiアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。
- iアプリ待受画面を設定する→P294

■ iアプリDX
iアプリDXでは、iモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信かを知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの

進行がよりリアルタイムに更新されるなど、iアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。
- iアプリDX→P284

■ キャラ電
テレビ電話利用時に、相手のテレビ電話端末に自分の映像を映す代わりにキャラクタを表示させ、キー操作でキャラクタを動作させたりできます。お好きなキャラクタをダウンロードし、そのキャラ電を撮影した静止画・動画ファイルを待受画像に設定したり、メールに添付して送ることもできます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像ファイル・動画ファイルは送信できません）。
- キャラ電をダウンロードする→P204
- キャラ電設定をする→P80
- キャラ電の撮影→P355
- キャラ電の確認→P352
- キャラクタの操作方法→P354

■ 赤外線通信機能
赤外線通信機能が搭載された携帯電話、パソコンなどと、電話帳やメール、ブックマークなどを送受信できます。※
また、iアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動して、より広がった使いかたができます。例えば携帯電話をテレビのリモコンや会員証などとして利用することが可能です。
※相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。
- 赤外線通信モードにする→P383

■ SSL通信
SSLとは認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSLページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすましや書きかえを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。
SSL通信には、iモード端末から特別な操作なしに、端末内のCA証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと、FirstPassセンターからダウンロードしたユーザ証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものの2つがあります。なお、サイトによって使用する証明書は異なります。→P217
- iモード端末に保存されているCA証明書を利用する→P217
- FirstPassのユーザ証明書を利用する→P218

次ページへつづく

※なりすましとは、第三者がサイトになりすまして、不正にお客様の情報を入手したりすることです。

■ FOMAカード動作制限機能

お客様情報（電話番号・電話帳（一部）など）を格納しているFOMAカードを、iモード端末に挿入して、サイトからダウンロードしたり、メールにて取得したメロディ・静止画・動画などのファイルを動作制限します。また、別のFOMAカードに差し替えたり、または未挿入の状態で電源をONにした場合、取得したファイルの再生や表示もできなくする機能です。→P37

※カメラ機能によりお客様が撮影した静止画・動画、外部メモリからiモード端末内に保存したファイルについては、本機能の対象外となります。

※着信音や待受画面設定など、iモード端末に設定していた場合、本機能により設定がリセットされます。

■ iメロディ

サイトから最新の曲やお好みの曲をiモード端末にダウンロードし、着信音として利用できます。→P203

■ iアニメ

サイトからお好みのアニメーション画像をiモード端末にダウンロードし、待受画面や着信画面に表示できます。→P117、120

■ Flash[TM]

Flashとは、絵や音を利用したアニメーション技術です。多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。また、Flash画像を利用した画像をiモード端末にダウンロードし、待受画面に設定することもできます。

Flash画像によっては、お客様のiモード端末の端末情報データを参照できるものがあります。利用する登録データには次のものがあります。

- 電池残量
- 受信レベル
- 時刻情報
- 着信音量設定
- バイリンガル設定
- 機種情報

→P209

■ メッセージサービス

メッセージサービスは、欲しい情報（メッセージ）が自動的にお客様のiモード端末に届くサービスです。メッセージサービスにはメッセージR（リクエスト）とメッセージF（フリー）があります。

メッセージリクエスト（メッセージR）	メッセージサービスを提供するサイトでお申し込みいただくと、欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。
メッセージフリー（メッセージF）	パケット通信料が無料で届けられるメッセージです。

- メッセージサービスの受信方法→P211、213、248
- メッセージF（フリー）の設定について、2004年10月1日以降にFOMAの新規ご契約と同時にiモードをお申し込みの場合は、メッセージF設定の初期設定が「受信する」と

なっております。お客様が受信を希望されない場合は、メッセージF設定をお客様自身で「受信しない」設定にご変更いただく必要がございますので、ご了承ください。

※上記の場合以外のお客様がメッセージFをご利用になるには、あらかじめオプション設定からの受信設定が必要です。初期設定では、「受信しない」設定になっております。

- 電源が入っていないとき、圏外などで受信できないときは、メッセージR/FはｉモードセンターにÅ保管されます。

お知らせ

- ｉモードセンターでのメッセージR/Fの保管件数、保管期間は次のとおりです。最大保管件数、最大保管期間を超えた場合は、最も古いメッセージR/Fから順に削除されます。

メッセージ名	最大保管件数	最大保管期間
メッセージR	300件	72時間
メッセージF	300件	72時間

- ｉモードセンターに保管されたメッセージR/Fは、ｉモード問合せにより受信できます。→P213、248

■ トクだねニュース便

メッセージR（リクエスト）機能を利用し、ニュースや天気などの情報をｉモード端末にドコモが配信するサービスです。

トクだねニュース便はお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込み完了後、自動的にマイメニュー登録され、マイメニューからアクセスしても同じ情報を見ることができます。

- メッセージRの画面の見かた→P214

ｉモードパスワード

有料サイトの申し込みやマイメニューの登録・解除、ｉモードメールの設定などを行うときには「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますので、お客様独自の４桁の数字に変更してください。→P192

ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

インターネット接続

インターネットホームページのアドレス（URL）を入力することにより、インターネットに接続し、iモード対応のインターネットホームページを表示できます。

- 表示方法→P193

お知らせ

- iモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。iモード対応のインターネットホームページとは、iモード対応のタグなどで作成されたホームページのことです。→P193
- パソコン上での表示とは異なる場合があります。
- URLが512文字を超えるインターネットホームページは、表示できない場合があります。

iモードのご使用にあたって

- サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイト（番組）やインターネットホームページからiモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- iモード端末に保存されている内容（メール、メッセージR/F、画面メモ、iアプリ、iモーション）やブックマークなどの登録内容は、電池パックを外したままの状態でも約1ヶ月は記録されていますが、それ以上経過すると消失する可能性があります。また、iモード端末の故障、修理やその他の取扱いによっても消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- iモード端末の修理などを行った場合、iモード・iアプリ・iモーションにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しい携帯電話への移行を行っておりません。また、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源をONにした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画・動画・メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画・動画・メロディ）、画面メモおよびメッセージR/Fなどを表示・再生できません。
- FOMAカードにより表示･再生が制限されているファイルを待受画面や着信音などに設定されている場合、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにすると、設定内容は初期状態にリセットされます。

お知らせ

- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、パソコンをお持ちの方は、万一に備えデータリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに管理することをおすすめします。→P520
- miniSDメモリーカード（別売）にメール、ブックマークなどの内容を保存できます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

iモードメニューを表示する

1 [i]［iモード］を押す

iモードメニューが表示されます。

メニュー	機　能	参照先
iモード設定	iモードに関する機能を設定します。	P207
メッセージR	受信したメッセージリクエストを見ることができます。	P214
メッセージF	受信したメッセージフリーを見ることができます。	P214
画面メモ	FOMA端末に保存された画面メモを見ることができます。	P198
iMenu	iモードセンターに接続すると、最初にiMenuが表示されます。ここから各サイト（番組）へアクセスします。	P185
Bookmark	登録したお気に入りのサイトへ、直接アクセスできます。	P195
ラストURL	最後に表示したサイトへアクセスできます。	P188
Internet	URLを入力して、インターネットホームページにアクセスできます。	P193
iモード問合せ	iモードセンターにiモードメールやメッセージリクエスト・メッセージフリーが届いているかどうか問い合わせます。	P248、213

お知らせ

- ● ▶ [iモード] を押してもiモードメニューを表示できます。
- サイト表示中にiモードメニューに戻るときは、[i]［機能］▶ ◎ ▶ ◎ ▶ [3]「iモードメニュー」を押します。

サイトを表示する

iモードに接続して、いろいろなサイトを表示し、各種サービスを利用できます。

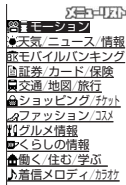
1 [i] ▶ [iMenu] を押す

[アイコン]が点滅し、接続されると[アイコン]が点滅します。

- ページ取得中に[✉]［中止］か[CLR]を押すと、ページの取得が中止されます。

次ページへつづく

2 「メニューリスト」を選択し、◉を押す

メニューリスト
モーション
天気/ニュース/情報
モバイルバンキング
証券/カード/保険
交通/地図/旅行
ショッピング/チケット
ファッション/コスメ
グルメ情報
くらしの情報
働く/住む/学ぶ
着信メロディ/カラオケ

3 見たいサイトの項目を選択し、◉を押す

サイトに接続されます。

■ iモードを終了するとき

① PWR を押す

② 1 「はい」を押す

- が消えます。

■「どこでもSANYO」

「どこでもSANYO」のサイトからメニューアイコンや祝日データ、辞書データ、デコメールテンプレートなどをダウンロードし、FOMA端末で利用できます。

- アクセス方法：「iMenu」→「メニューリスト」→「ケータイ電話メーカー」→「どこでもSANYO」

お知らせ

- サイト表示中にiMenuに戻るときは、i［機能］▶ 1「iMenu」を押します。
- 画像を表示できなかった場合は または が表示されます。
- 表示中のページが正しく表示されていない場合、「文字コード変換」で正しく表示できる場合があります。→P194
- 「圏外」または が表示されているときは、iモードはご利用になれません。
- サイトによってはiモード端末の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を送信することを通知するメッセージが表示されることがあります。
  - 送信される「iモード端末の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
  - 送信するお客様の「iモード端末の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）等に通知されることはありません。

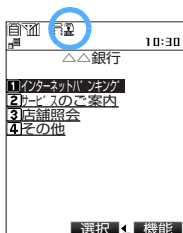
SSL対応のページに接続する

SSL 対応のページ（SSL ページ）を表示できます。

- SSL通信を行うには、接続サイトとFOMA端末に同じ認証機関が発行した「証明書」という電子情報が必要です。→P217

SSLページに接続する

SSLページに接続する場合は、SSL通信開始のメッセージが表示されます。

- SSLページが表示されると、[SSL] が表示されます。

お知らせ

- SSLページ表示中に証明書を表示する場合は、[i]［機能］▶[◎]▶[6]「証明書表示」を押します。

SSLページから通常ページに進む

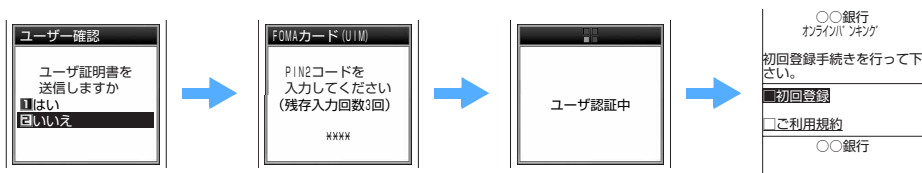
SSLページから通常ページに進む場合は、SSL通信終了の確認メッセージが表示されます。

- [1]「はい」を押すと通常ページが表示され、[SSL] が消えます。

お知らせ

- サイトとの通信の安全性が確認できない場合、接続するかどうかの確認メッセージが表示されます。接続するときは [1]「はい」、接続を中止するときは [2]「いいえ」を押します。

FirstPass対応ページに接続する

FirstPass対応ページに接続する場合は、以下のように操作します。

① [1]「はい」を押す

PIN2コード入力画面が表示されます。

② PIN2コードを入力し、[●] を押す

ユーザ証明書が送信され、FirstPass対応ページが表示されます。

最後に表示したページに再接続する<ラストURL>

iモードを終了すると、最後に表示したサイトのURLが記憶されます。最後に表示したページに簡単に再接続できます。

1 i ▶ ラストURL を押す

最後に表示したサイトのURLが表示されます。

- ラストURLが記憶されていないときは、ラストURLがない旨のメッセージが表示されます。

2 ● を押す

■ URLをコピーするとき

i［機能］▶ 1「コピー」を押す

■ ラストURLを削除するとき

① i［機能］▶ 2「削除」を押す

② 1「はい」を押す

- 削除しないときは 2「いいえ」を押します。

サイトの見かたと操作

サイト表示中の操作方法について説明します。

画像の表示について

絵や音を利用したアニメーション技術であるFlashに対応しています。Flash画像によりサイトの表現力がより豊かになります。また、Flash画像を待受画面に設定することができます。

- 画像表示設定を「表示しない」に設定した場合は、Flash画像も表示されません。
- Flash画像が表示されているときは、表示動作が通常のサイト表示とは異なる場合があります。
- Flash画像によっては、画像保存や画面メモに保存をしても画像の一部が保存されないなど、サイトでの見えかたと異なる場合があります。
- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。また、正しく動作しないFlash画像は保存できない場合があります。
- Flash画像によっては、効果音が鳴るものがあり、効果音を鳴らさない場合は、効果音設定を「再生しない」に設定してください。Flash画像によっては効果音が鳴らないものもあります。
- Flash画像によっては、画面下部に▶◀▲▼が表示されていない場合でも、Flash画像の操作ができる場合があります。
- 再生中に30秒以上操作しなかった場合は、一時停止します。再開するには、✥、●、0〜9、*、#のいずれかを押してください。
- 再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できません。
- Flash画像によっては、再生中にFOMA端末を振動させるものがあります。バイブレータ設定を「OFF」に設定していても振動しますのでご注意ください。
- Flash画像によっては、iモード設定の登録データを利用するものがあります。登録データを画像が利用するためには、登録データ利用設定を「利用する」に設定してください。→P209
  お買い上げ時は、「利用する」に設定されています。なお、画像が利用する登録データには次のものがあります。

- 電池残量	- 受信レベル	- 時刻情報
- 着信音量設定	- バイリンガル設定	- 機種情報

- 待受画面に設定されたFlash画像のメロディは再生されません。

リンク先や項目を選択する

i モード接続中に、サイトによっては以下のような操作ができます。

リンク先

表示中のページから関連するページ（リンク先）へ進むための項目です。リンク先を選択すると反転表示されます。

- 画像にリンク先が設定されている場合もあります。画像を選択すると枠で囲まれます。
- 1、2 などの番号付きのリンク先は、対応する番号キーを押すとリンク先へ進めます。ただし、サイトによってはリンク先へ進めない場合があります。

チェックボックス

選択肢の中から複数項目を選択できます。

□：選択されていない状態　☑：選択されている状態

- ⊙ で選択／解除が切り替わります。

ラジオボタン

選択肢の中から 1 つだけ選択できます。

○：選択されていない状態　◉：選択されている状態

- ⊙ で選択する項目が切り替わります。

プルダウンメニュー

選択肢の一覧から項目を選択できます。

⊙ を押すと、一覧が表示されます。◎ を押して項目を選択し、⊙ を押します。

- サイトによっては、選択肢の一覧で項目を選択する操作を繰り返して複数の項目が選択できます。選択後に i ［完了］を押すと、操作が完了します。

テキストボックス

文字を入力できます。テキストボックスを選択すると文字入力画面が表示されます。

- パスワードなどを入力した場合、「*」で表示されることがあります。
- 文字入力中にバーコードリーダーや文字リーダーを起動して、読み取った内容を入力できます。

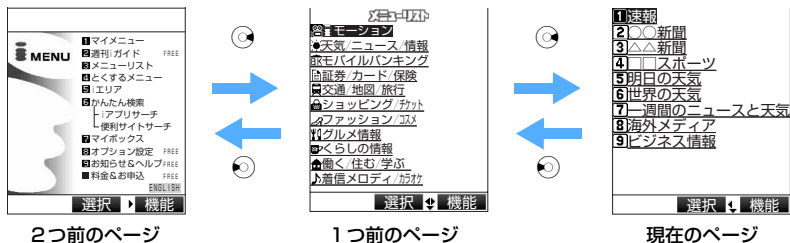
ボタン（送信・リセットなど）

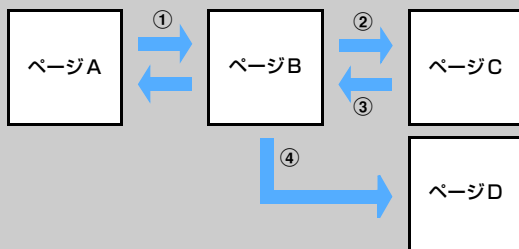
ページの入力・選択内容をサイトに送信したり、取り消したりできます。ボタンを選択すると、実線枠で囲まれます。⊙ を押すと、実行されます。

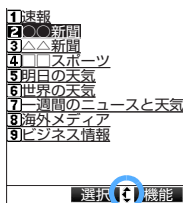
前のページに戻る／進む

キャッシュに記憶された前のページに戻ったり、次のページに進めたりできます。キャッシュとは、表示したインターネットホームページなどのデータを一時的に記憶する端末内の場所です。◐を押すことで、通信を行わずにキャッシュとして記憶されたページを表示できます。
ただし、端末のキャッシュサイズをオーバーしているか、サイトによって必ず最新情報を読み込むように設定（作成）されたページを表示する場合は、◐を押すと通信を行います。

- キャッシュに記憶されたページを表示しても、以前入力した文字や設定などの情報は表示されません。
- iモードを終了すると、キャッシュに記録されたページの情報はクリアされます。
- Flash画像が表示されている場合は、表示動作が異なることがあります。

２つ前のページ　１つ前のページ　現在のページ

お知らせ

- ページA→ページB→ページCの順に表示（①、②）した後でページBに戻り（③）、ページDに進む（④）と、ページB→ページCの表示履歴は消去されます。ページDからページAには戻れますが、ページCへ戻ることはできません。

画面をスクロールする

サイトやインターネットホームページを表示中に、◎で画面をスクロールします。

サイト全体が表示されていないとき、またはリンク先が選択できるときは▲や▼が表示されます。

- ◎を１秒以上押すと連続スクロールします。
- スクロール設定で、◎を押したときのスクロール行数を設定できます。
- ▲または▼を押すと画面単位でスクロールします。
- メッセージR/F、iモードメール、SMSでも同様に操作できます。→P214、254

情報を再読み込みする<再読み込み>

ページの情報を正常に受信し直したり、新しい情報に更新できます。

1 **サイトを表示中に、i［機能］▶◎▶5「再読み込み」を押す**

ページの情報が受信され、ページが再表示されます。

お知らせ

- サイト表示中にFlash画像をもう一度動作させたいときは、i［機能］▶◎▶7「リトライ」を押します。

URLを表示する<URL表示>

表示中のサイトのURLを表示します。

1 **サイトを表示中に、i［機能］▶7「URL表示／コピー」を押す**

URLが表示されます。
- URLをコピーするときは、i［コピー］を押します。

お知らせ

- URL履歴一覧画面、ブックマーク一覧画面、画面メモ一覧から操作する場合は、i［機能］▶「URL表示／コピー」を選択し、◉を押します。
- 表示中のサイトのURLをメールにコピーするには、i［機能］▶◎▶1「メール作成」を押します。表示中のサイトのURLが本文に貼り付けられてメール作成画面が表示されます。

マイメニュー

マイメニューに登録する

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単にアクセスできます。

- マイメニューは45件まで登録できます。
- マイメニュー登録にはiモードパスワードが必要です。
- マイメニューに登録できるのはiモードのサイトだけです。ただし、登録できないサイトもあります。インターネットホームページを登録する場合はブックマークに登録してください。
- 有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。

1 **サイトを表示中に「マイメニュー登録」を選択し、◉を押す**

2 **iモードパスワード欄を選択して◉を押し、iモードパスワードを入力して◉を押す**

入力したパスワードは「*」で表示されます。
- iモードパスワードは初期設定では「0000」に設定されています。

3 **「決定」を選択し、◉を押す**

マイメニューに登録したサイトを表示する

1 i ▶ iMenu ▶ 1.@あ を押す

2 サイトを選択し、◉ を押す

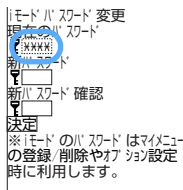
iモードパスワード変更

iモードパスワードを変更する

マイメニュー登録／削除、メッセージサービスやiモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定などをするときはiモードパスワードが必要です。iモードパスワードはiモードご契約時には「0000」に設定されていますので、お客様独自のiモードパスワードに変更してください。なお、iモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

- iモードパスワードには、4桁の数字を入力します。
- iモードパスワードを万一お忘れの場合は、ドコモショップ窓口において、運転免許証などでご契約者本人であることを確認させていただいた上で、iモードパスワードを「0000」にリセットさせていただくことになります。

1 i ▶ iMenu ▶ 8TUVや ▶ 2ABCか を押す

2 現在のパスワード欄を選択して ◉ を押し、iモードパスワードを入力して ◉ を押す

入力したパスワードは「*」で表示されます。

3 新パスワード欄を選択して ◉ を押し、新しいiモードパスワードを入力して ◉ を押す

4 新パスワード確認欄を選択して◉を押し、手順3で入力したiモードパスワードをもう一度入力して ◉ を押す

5 「決定」を選択し、◉ を押す

- 入力した内容が間違っていた場合は、メッセージが表示されます。

インターネットホームページを表示する

URLを入力してインターネットホームページにアクセスします。

- iモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。
- インターネットホームページ表示中の操作方法は、iモードのサイトの場合と同じです。

1 i ▶ Internet を押す

URL入力画面が表示されます。

2 「新規入力」を選択して ● を押し、URLを入力して ● を押す

- 「http://」または「https://」を含めて半角512文字まで入力できます。

お知らせ

- サイトやインターネット表示中から操作する場合は、i［機能］▶ 6「Internet」を押します。
- 受信データが1ページの最大サイズを超えたときはメッセージが表示され、受信できた分のデータが表示されます。

URL履歴を使って表示する<URL履歴>

接続操作したインターネットホームページのURLを新しい順に表示します

- 10件まで記憶されます。（10件を超えると古いものから上書きされます。）

1 i ▶ Internet を押す

URL履歴一覧画面

URL履歴一覧画面が表示されます。

2 URLを選択し、● を押す

3 ● を押す

URL履歴を削除する

1 URL履歴一覧画面でURLを選択し、i［機能］▶ 5「削除」を押す

2 1「1件削除」を押す

■ **選択削除するとき**

① 2「選択削除」を押す
② URLを選択し、● を押す
- 解除するときは ● を押します。
- ✉［詳細］を押すとURLが表示されます。

③ i［実行］を押す

iモード

次ページへつづく

■ 全件削除するとき
① 3 「全件削除」を押す
② 端末暗証番号を入力し、● を押す

3 1 「はい」を押す

- 削除しないときは 2 「いいえ」を押します。

正しい文字で表示する<文字コード変換>

表示中のサイトの文字が正しく表示されないときは、文字コードを変換すると正しく表示できる場合があります。

1 サイトを表示中に、i ［機能］▶ ◎ ▶ ◎ ▶ 2 「文字コード変換」を押す

- 手順1を繰り返すと、ShiftJIS→JIS→EUC→UTF8の順に切り替わります。操作を4回繰り返すと元の文字コードに戻ります。
- 文字コード変換を行っても文字を正しく表示できない場合があります。
- 文字が正しく表示されているときに文字コード変換を行うと、正しく表示されない場合があります。

ブックマーク

ホームページやサイトを登録してすばやく表示する

頻繁に見るサイトやインターネットホームページをブックマークに登録すると、すばやく表示させることができ便利です。

ブックマークに登録する

- ブックマークは100件まで登録できます。
- URLは「http://」または「https://」を含めて半角256文字まで登録できます。最大文字数を超えるURLは登録できません。
- サイトによってはブックマークに登録できない場合があります。

1 サイトを表示中に、i ［機能］▶ 2 「Bookmark登録」を押す

2 登録先フォルダを選択し、● を押す

3 タイトルを入力し、● を押す

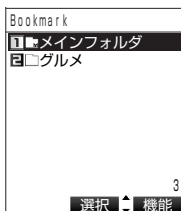
ブックマークに登録されます。
- タイトルは全角12文字（半角24文字）まで入力できます。
- タイトルの最大文字数を越えた部分は削除されます。
- タイトルを入力しないで登録すると、ブックマーク一覧画面ではURLが表示されます。

お知らせ

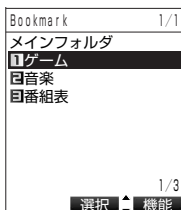
- URL履歴一覧画面から登録する場合は i ［機能］▶ 2 「Bookmark登録」を押します。
- ブックマークが最大保存件数を超えるときは、登録済みのブックマークを上書きして登録するかどうかの確認メッセージが表示されます。登録する場合は上書きするブックマークを選択します。
- miniSDメモリーカードにエクスポートしたブックマークは他の機器にコピーできます。（一部対応していない機器もあります。）

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

ブックマークからホームページやサイトを表示する

1 i ▶ Bookmark を押す

ブックマーク
フォルダー覧画面

ブックマークフォルダ一覧画面が表示されます。

2 フォルダを選択し、● を押す

ブックマーク
一覧画面

ブックマーク一覧画面が表示されます。

3 ブックマークを選択し、● を押す

サイトに接続されます。

■ 選択したブックマークのURLを表示･コピーするとき

i［機能］▶ 1「URL表示／コピー」を押す

URLが表示されます。● を押すと、接続されます。コピーするときは、i［コピー］を押します。

■ 選択したブックマークのURLを貼り付けてメール作成するとき

i［機能］▶ 4「メール作成」を押す

• 以降の操作：→P230「iモードメールを作成して送信する」手順2～6

お知らせ

• サイト表示中から操作する場合は i［機能］▶ 3「Bookmark一覧」を押します。

フォルダを作成する

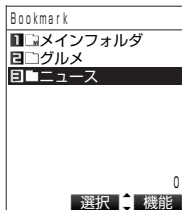
ブックマークを登録するフォルダを作成します。

•「メインフォルダ」を含めて8個まで作成できます。

1 i ▶ Bookmark を押す

2 i［機能］▶ 1「フォルダ作成」を押す

次ページへつづく

3 フォルダ名を入力し、● を押す

「Bookmark」にフォルダが作成されます。
• 全角8文字（半角16文字）まで入力できます。

■ フォルダを並べ替えるとき

「Bookmark」内のフォルダを並べ替えます。
•「メインフォルダ」は並べ替えられません。

① i［機能］▶ 3「フォルダ並べ替え」を押す
② フォルダを選択し、● を押す
③ ◎ で移動先を選択し、● を押す
  • 他のフォルダを並べ替えるときは、手順②〜③を繰り返します。
④ i［完了］を押す

■ 各フォルダ内のブックマークを全件表示するとき

i［機能］▶ 5「Bookmark全件表示」を押す

ブックマークをフォルダに移動する

保存されているブックマークを別のフォルダに移動できます。

1 ブックマークを選択し、i［機能］▶ 3「フォルダ移動」を押す

2 1「1件移動」を押す

■ 選択移動するとき

① 2「選択移動」を押す
② ブックマークを選択し、● を押す
  • 解除するときは ● を押します。
  • ✉［詳細］を押すと、ブックマークのURLが表示されます。
③ i［実行］を押す

■ 全件移動するとき

3「フォルダ内全件移動」を押す
• ブックマーク全件表示中は 3「全件移動」を押します。

3 移動先フォルダを選択し、● を押す

4 1「はい」を押す

• 移動しないときは 2「いいえ」を押します。

ブックマークやフォルダのタイトルを変更する

・「メインフォルダ」のフォルダ名は変更できません。

1 ブックマークを選択し、i［機能］▶2「タイトル編集」を押す

・フォルダ名を変更するときは、ブックマークフォルダ一覧画面でフォルダを選択し、i［機能］▶2「フォルダ名編集」を押します。

2 新しいタイトルを入力し、●を押す

・ブックマークのタイトルは全角12文字（半角24文字）まで入力できます。フォルダ名は全角8文字（半角16文字）まで入力できます。

ブックマークやフォルダを削除する

作成したフォルダやブックマークを削除できます。

フォルダ削除

お買い上げ時に登録されている「メインフォルダ」は削除できません。
・フォルダに保存されているブックマークも削除されます。

1 フォルダを選択し、i［機能］▶4「フォルダ削除」を押す

2 端末暗証番号を入力し、●を押す

3 1「はい」を押す

・削除しないときは2「いいえ」を押します。

ブックマーク削除

1 ブックマークを選択し、i［機能］▶◯▶2「削除」を押す

2 1「1件削除」を押す

■ 選択削除するとき

①2「選択削除」を押す
②ブックマークを選択し、●を押す
・解除するときは●を押します。
・✉［詳細］を押すと、ブックマークのURLが表示されます。
③i［実行］を押す

■ 全件削除するとき

①3「フォルダ内全件削除」を押す
・ブックマーク全件表示中は3「全件削除」を押します。
②端末暗証番号を入力し、●を押す

3 1「はい」を押す

・削除しないときは2「いいえ」を押します。

画面メモ

サイトの内容を保存する

表示中のサイトの内容を画面メモとしてFOMA端末に保存できます。

画面メモを保存する

保存可能件数は、保存する画面メモのデータ量により変動します。
- 画面メモは100件まで登録できます。

1 サイトを表示中に、i［機能］▶ 4「画面メモ」を押す

2 登録先フォルダを選択し、◉を押す

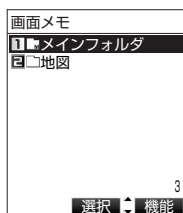
3 タイトルを入力し、◉を押す

画面メモに登録されます。
- タイトルは全角12文字（半角24文字）まで入力できます。
- タイトルの最大文字数を越えた部分は削除されます。
- タイトルを入力しない場合は「無題」として保存されます。

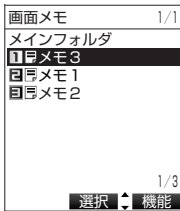
お知らせ

- 画面メモの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、FOMA端末に保存されている画面メモを上書きするかどうかの確認メッセージが表示されます。保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き領域が確保できるまでFOMA端末内の画面メモを削除します。

画面メモを表示する

1 i ▶ 画面メモ を押す

画面メモフォルダ一覧画面

画面メモフォルダ一覧画面が表示されます。

2 フォルダを選択し、◉を押す

画面メモ一覧画面

画面メモ一覧画面が表示されます。

3 画面メモを選択し、◉を押す

画面メモが表示されます。

- 画面メモ表示中の操作方法は、機能メニューなど一部を除きサイト表示中と同じです。
→P188
- 詳細を示すアイコンの意味は次のとおりです。
  - ：通常の画面メモ
  - ：保護されている画面メモ
  - ：FOMAカードが抜けています
  - ：保護されている画面メモでFOMAカードが抜けています

■ 選択した画面メモの情報を表示するとき

i［機能］▶6「情報表示」を押す

- 画面メモ表示中は i［機能］▶3「情報表示」を押します。

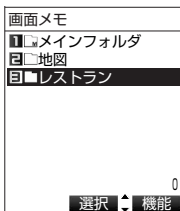
フォルダを作成する

画面メモを登録するフォルダを作成します。

- 「メインフォルダ」を含めて８個まで作成できます。

1 i ▶ 画面メモ を押す

2 i［機能］▶1「フォルダ作成」を押す

3 フォルダ名を入力し、◉を押す

「画面メモ」にフォルダが作成されます。

- 全角８文字（半角16文字）まで入力できます。

■ フォルダを並べ替えるには

「画面メモ」内のフォルダを並べ替えます。
- 「メインフォルダ」は並べ替えられません。

① [i]［機能］▶ [3]「フォルダ並べ替え」を押す
② フォルダを選択し、[●]を押す
③ [◎]で移動先を選択し、[●]を押す
- 他のフォルダを並べ替えるときは、手順②～③を繰り返します。

④ [i]［完了］を押す

■ 各フォルダ内の画面メモを全件表示するには

[i]［機能］▶ [5]「画面メモ全件表示」を押す

画面メモをフォルダに移動する

保存されている画面メモを別のフォルダに移動できます。

1 画面メモを選択し、[i]［機能］▶ [3]「フォルダ移動」を押す

2 [1]「1件移動」を押す

■ 選択移動するとき

① [2]「選択移動」を押す
② 画面メモを選択し、[●]を押す
- 解除するときは[●]を押します。
- [✉]［詳細］を押すと、画面メモの情報が表示されます。

③ [i]［実行］を押す

■ 全件移動するとき

[3]「フォルダ内全件移動」を押す
- 画面メモ全件表示中は[3]「全件移動」を押します。

3 移動先フォルダを選択し、[●]を押す

4 [1]「はい」を押す
- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

画面メモやフォルダのタイトルを変更する

- 「メインフォルダ」のフォルダ名は変更できません。

1 画面メモを選択し、[i]［機能］▶ [1]「タイトル編集」を押す
- フォルダ名を変更するときは、画面メモフォルダ一覧画面でフォルダを選択し、[i]［機能］▶ [2]「フォルダ名編集」を押します。

2 新しいタイトルを入力し、[●]を押す
- 画面メモのタイトルは全角12文字（半角24文字）まで入力できます。フォルダ名は全角8文字（半角16文字）まで入力できます。

お知らせ

- 画面メモ表示中にタイトルを変更する場合は[i]［機能］▶ [1]「タイトル編集」を押します。

画面メモやフォルダを削除する

- 保護されている画面メモは削除できません。全件削除しても保護されている画面メモは削除されません。また、保護されている画面メモがあるフォルダも削除できません。画面メモの保護を解除してから削除してください。

フォルダ削除

- お買い上げ時に登録されている「メインフォルダ」は削除できません。

1 フォルダを選択し、i［機能］▶ 4「フォルダ削除」を押す

2 端末暗証番号を入力し、● を押す

3 1「はい」を押す

- 削除しないときは 2「いいえ」を押します。

画面メモ削除

1 画面メモを選択し、i［機能］▶ 7「削除」を押す

2 1「1件削除」を押す

■ 選択削除するとき

① 2「選択削除」を押す

② 画面メモを選択し、● を押す

- 解除するときは ● を押します。
- ✉［詳細］を押すと、画面メモの情報が表示されます。

③ i［実行］を押す

■ 全件削除するとき

① 3「フォルダ内全件削除」を押す

- 画面メモ全件表示中は 3「全件削除」を押します。

② 端末暗証番号を入力し、● を押す

3 1「はい」を押す

- 削除しないときは 2「いいえ」を押します。

お知らせ

- 表示中の画面メモを削除する場合は i［機能］▶ 4「削除」を押します。

画面メモを保護する

- 50件まで保護できます。

1 画面メモを選択し、i［機能］▶ 2「保護」を押す

- 保護された画面メモが 📄 から 📄 に変わります。

iモード

■ 画面メモの保護を解除するとき

① 画面メモを選択し、i［機能］▶2「保護解除」を押す

② 1「1件保護解除」を押す

- すべての画面メモを解除するときは2「全件保護解除」を押し、1「はい」を押します。

お知らせ

- 表示中の画面メモを保護するにはi［機能］▶2「保護」を押します。保護解除するにはi［機能］▶2「保護解除」を押します。

画面メモを並べ替える<ソート>

画面メモの並び順を一時的に並べ替えます。

1 画面メモ一覧画面で、i［機能］▶4「ソート」を押す

2 1～6を押す

保存日時（新→旧）：保存日時の新しい順に並べ替えます。
保存日時（旧→新）：保存日時の古い順に並べ替えます。
タイトル（昇順）：タイトルの昇順に並べ替えます。
タイトル（降順）：タイトルの降順に並べ替えます。
保護／非保護順：保護→非保護の順に並べ替えます。
非保護／保護順：非保護→保護の順に並べ替えます。

お知らせ

- 画面メモ一覧表示を終了すると、並び順は「保存日時（新→旧）」に戻ります。

画像保存

サイトやメッセージから画像を取得する

表示中のサイトやメッセージR/Fなどから画像を保存すると、待受画面などに設定できます。

1 画像があるサイトを表示し、i［機能］▶5「画像保存」を押す

開催中！

他の画像を見る
1今からすぐ電話
2お店詳細へ
保存

画像に枠が付きます。取得する画像を選択してください。CLRを押すとサイトやメッセージR/Fの表示画面に戻ります。

2 ●▶1「はい」を押す

- 保存しないときは2「いいえ」を押します。

iモード

3 保存先フォルダを選択し、◉を押す

静止画は、データBOXの「マイピクチャ」→「iモード」または「デコメールピクチャ」フォルダのどちらかを選択して保存します。画像設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。1「はい」を押すと画像を設定できる一覧が表示され、待受画面などに設定できます。→P338

- フレームまたはスタンプ画像の場合は「アイテム」フォルダに保存されます。

お知らせ

- FOMA端末への保存可能件数について→P332
- FOMA端末へ保存可能な1件の最大サイズは、約100Kバイトです。
- 画像によっては正しく表示できない場合があります。
- 静止画のサイズがディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
- 横縦（または縦横）のサイズが、GIF形式は640×480（アニメーションGIFは240×320）を超える画像は保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できないものもあります。
- データの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるとき→P376

iメロディ

サイトからiメロディをダウンロードする

表示中のサイトからメロディを保存すると、着信音などに設定できます。

1 サイトでダウンロードするメロディを選択し、◉を押す

- ダウンロード中に✉［中止］を押すと、ダウンロードを中止します。

2 2「保存」を押す

保存したメロディは、「データBOX」→「メロディ」→「iモード」フォルダに保存されます。

■ メロディを再生するには

1「再生」を押す

■ メロディを保存後すぐ着信音などに設定するときは

3「設定」を押す

- 以降の操作：→P359「メロディを着信音などに設定する」手順3

■ メロディの情報を表示するときは

4「情報表示」を押す

■ 保存せず戻るときは

5「戻る」▶1「はい」を押す

3 5「戻る」を押す

お知らせ

- FOMA端末への保存可能件数、1件の最大サイズについて→P332
- メロディによっては正しく再生できない場合があります。
- データの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるとき→P376

サイトからメニューアイコンやデータをダウンロードする

サイトからメニューアイコン、辞書データやデコメールテンプレートなどをダウンロードし、いろいろな用途に利用できます。

1 サイトでダウンロードするデータを選択し、◉を押す

- ダウンロード中に✉［中止］を押すと、ダウンロードを中止します。

2 2「保存」を押す

保存したメニューアイコン、祝日データ、辞書データは、「ツール」→「オリジナルデータ」に保存されます。デコメールテンプレートは「データBOX」→「マイピクチャ」→「デコメールピクチャ」フォルダに保存されます。

■ データを表示するには

1「表示」を押す

- デコメールテンプレートをプレビューするには、1「プレビュー」を押します。

■ データを保存後すぐ設定するときは

3「設定」を押す

- 以降の操作：→P359「オリジナルデータを表示／登録する」

■ データの情報を表示するときは

4「情報表示」を押す

■ 保存せず戻るときは

5「戻る」▶1「はい」を押す

3 5「戻る」を押す

お知らせ

- FOMA端末への保存可能件数、1件の最大サイズについて→P332
- 「どこでもSANYO」のサイトからダウンロードできます。→P186
- データの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるとき→P376

サイトからキャラ電をダウンロードする

サイトからお好みのキャラ電を保存します。

1 サイトでダウンロードするキャラ電を選択し、◉を押す

- ダウンロード中に✉［中止］を押すと、ダウンロードを中止します。

2 2「保存」を押す

保存したキャラ電は、「データBOX」→「キャラ電」フォルダに保存されます。

■ キャラ電を再生するには

1「再生」を押す

■ キャラ電を保存後すぐテレビ電話代替画像に設定するときは

3「代替画像設定」を押す

■ キャラ電の情報を表示するときは

4 「情報表示」を押す

■ 保存せず戻るときは

5 「戻る」▶ 1 「はい」を押す

3 5 「戻る」を押す

お知らせ

- FOMA端末への保存可能件数、1件の最大サイズについて→P332
- お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除した場合でも、「どこでもSANYO」のサイトからダウンロードできます。→P186
- データの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるとき→P376

iモードの便利な機能

表示中のサイトやメールに記載されている電話番号やメールアドレス、URLを利用して、音声電話／テレビ電話（Phone To／AV Phone To）や、iモードメール作成（Mail To）、サイト接続（Web To）ができます。また、電話帳に登録することもできます。

- サイトによっては、利用できない機能があります。
- パソコンなどからメールを受信すると、Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能が使用できない場合があります。

Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を使う

1 電話番号、メールアドレス、URLが記載されているサイトやメールを表示する

電話番号を選択してできる機能

- 26桁まで認識できます。

1 電話番号を選択し、● を押す

2 1 「音声発信」を押す

- テレビ電話をかけるときは 2 「64Kテレビ電話発信」を押します。

■ 画像を選択してテレビ電話をかけるとき

① 3 「テレビ電話画像選択」を押す

② 1 「自画像」または 2 「キャラ電」を押す

- 2 「キャラ電」を押したときは、キャラ電を選択し、● を押します。

■ 電話帳に登録するとき

4 「電話帳新規登録」を押す

- 以降の操作：→P89「FOMA端末電話帳に登録する」手順2～6、P94「FOMAカード電話帳に登録する」手順2～4
- 追加登録するときは 5 「電話帳追加登録」を押して電話帳を選択し、● を押します。以降の操作：→P101「電話帳を修正する」手順3～5

■ 電話番号をコピーするとき

6「電話番号コピー」を押す

電話番号がコピーされます。コピーしたデータは貼り付けデータとして記録されます。

3 1「発信」を押す

- 2「中止」を押すと元の画面に戻ります。

■ 自分の電話番号を相手に通知して電話をかけるとき

① 3「発信者番号通知設定」を押す

② 2「番号通知」を押す

- 番号を通知しないで電話をかけるときは1「番号非通知」を押します。

■ 国際電話番号などを付加して電話をかけるとき

① 4「番号付加／削除」を押す

② 1～4を押す

プレフィックス：プレフィックス一覧から登録した番号を選択し、●を押します。さらに発信者番号通知設定、番号付加／削除を行うことができます。

国際アクセス番号：国際電話設定で登録した番号を付加します。さらに発信者番号通知設定、番号付加／削除を行うことができます。

マルチナンバー：マルチナンバーについて→P441

削除：付加した番号を削除します。

③ 1「発信」を押す

- 2「中止」を押すと元の画面に戻ります。

メールアドレスを選択してできる機能

- 半角50文字まで認識できます。

1 メールアドレスを選択し、●を押す

2 1「メール作成」を押す

- 以降の操作：→P230「iモードメールを作成して送信する」手順4～6

■ 電話帳に登録するとき

2「電話帳新規登録」を押す

- 以降の操作：→P89「FOMA端末電話帳に登録する」手順2～6、P94「FOMAカード電話帳に登録する」手順2～4
- 追加登録するときは3「電話帳追加登録」を押して電話帳を選択し、●を押します。以降の操作：→P101「電話帳を修正する」手順3～5

■ メールアドレスをコピーするとき

4「アドレスコピー」を押す

メールアドレスがコピーされます。コピーしたデータは貼り付けデータとして記録されます。

URLを選択してできる機能

1 URLを選択し、●を押す

2 1「サイト接続」を押す

■ ブックマークに登録するとき

2 「Bookmark登録」を押す

- 以降の操作：→P194「ブックマークに登録する」手順2～3

■ 電話帳に登録するとき

3 「電話帳新規登録」を押す

- 以降の操作：→P89「FOMA端末電話帳に登録する」手順3～6
- 追加登録するときは 4「電話帳追加登録」を押して電話帳を選択し、● を押します。
  以降の操作：→P101「電話帳を修正する」手順3～5

■ URLをコピーするとき

5 「URLコピー」を押す

URLがコピーされます。コピーしたデータは貼り付けデータとして記録されます。

3 i［接続］を押す

- 接続しないときは ✉［中止］を押します。

お知らせ

- 複数のメールアドレスが続けて表示されている場合、Mail To機能を利用できないことがあります。
- ブックマーク一覧画面から登録する場合は、i［機能］▶ 5「電話帳新規登録」または 6「電話帳追加登録」を押します。
- URL 履歴一覧画面から登録する場合は、i［機能］▶ 3「電話帳新規登録」または 4「電話帳追加登録」を押します。

iモード設定

iモードの設定を行う

iモードに関する機能を設定します。

1 i ▶ を押す

メニュー	機　能	参照先
文字サイズ設定	サイトやメッセージR/Fを表示したときの文字サイズを設定します。	P210
スクロール設定	サイトや画面メモ、メッセージR/Fを表示したときのスクロール行数を設定します。	P211
画像表示設定	サイトや画面メモ、メッセージR/Fを表示したときに、画像を表示するかどうかを設定します。	P210
メッセージ自動表示設定	受信したときに自動的に表示するメッセージR/Fを設定します。	P213
メッセージ添付メロディ設定	メッセージR/Fに添付されているメロディを自動的に再生するかどうかを設定します。	P213
iモーション自動再生設定	ダウンロードしたiモーションを自動的に再生するかどうかを設定します。	P306
登録データ利用設定	サイトや画面メモのFlash画像に、端末情報データを利用させるかどうかを設定します。	P209
効果音設定	サイトや画面メモのFlash画像の効果音を鳴らすかどうかを設定します。	P209

次ページへつづく

メニュー	機　能	参照先
iモード問合せ設定	iモードセンターにiモードメールやメッセージリクエスト･メッセージフリーが届いているかどうか問い合わせます。 • メール設定の「iモード問合せ設定」と設定内容は同じです。	P271
接続待ち時間設定	iモードセンターに接続するまでの最大待ち時間を設定します。	P208
接続先設定	iモード以外のサービスへの接続先を設定します。	P208
証明書センター接続先設定	FirstPass以外のサービスを受けるときに、接続先を設定します。	P219
証明書設定	SSL通信時に必要な証明書の有効／無効の設定や内容確認をします。	P217
ユーザ証明書操作	FirstPassセンターからユーザ証明書の発行申請や、証明書のダウンロードができます。	P218
iモード設定確認	「iモード設定」の設定内容を確認できます。	P211
iモード設定リセット	「iモード設定」をお買い上げ時の設定内容に戻します。	P211

接続待ち時間を設定する<接続待ち時間設定>

お買い上げ時	60秒間

サイトから応答がない場合に、自動的に接続を中断するまでの時間を設定します。

1 [i] ▶ iモード設定 ▶ ◎ ▶ [1] **を押す**

2 [1]～[3] **を押す**

60秒間：60秒間応答がない場合に、自動的に接続を中断します。
90秒間：90秒間応答がない場合に、自動的に接続を中断します。
無制限（設定なし）：接続を中断しません。

お知らせ

• 「無制限（設定なし）」に設定しても、電波状況などにより接続が中断されることがあります。

iモードから接続先を変更する（ISP接続通信）<接続先設定>

お買い上げ時	iモード（FOMAカード）

通常は設定を変更する必要はありません。

iモード以外のサービスへの接続先を設定します。
- 登録できる接続先は最大10件です。
- iモード契約時の接続先は、ご契約頂いた地域により異なります。
- ISP接続通信を利用するには、別途他プロバイダへのお申し込みが必要です。プロバイダが提供するサービスには、別途情報料などがかかる場合があります。
- 接続先を変更した場合はiモードが利用できなくなります。

1 [i] ▶ iモード設定 ▶ ◎ ▶ [2] **を押す**

2 **「未登録」を選択し、[i]［編集］を押す**

■ **以前設定した接続先に変更するとき**
以前設定した接続先を選択し、◉を押す

■ iモードを利用する設定に戻すとき
1「iモード（FOMAカード）」を押す

■ 設定した接続先を削除するとき
① 接続先を選択し、✉［削除］を押す
② 端末暗証番号を入力し、●を押す
③ 1「はい」を押す
• 削除しないときは 2「いいえ」を押します。

3 端末暗証番号を入力し、●を押す

4 タイトルを入力し、●を押す

• タイトルは全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

5 接続先名称を入力し、●を押す

• 接続先名称は半角英数字99文字まで入力できます。

6 接続先アドレスを入力し、●を押す

• 接続先アドレスは半角英数字30文字まで入力できます。

7 入力内容を確認し、i［完了］を押す

接続先が変更されます。

お知らせ

• iモード以外のサービスへ接続した際のパケット通信料は、パケ・ホーダイの対象とはなりませんのであらかじめご了承ください。
• 通信中は接続先を設定／変更できません。

Flash画像で端末情報データを利用するかどうかを設定する<登録データ利用設定>

お買い上げ時	利用する

サイトや画面メモのFlash画像に、FOMA端末の登録情報を利用させるかどうかを設定します。
Flash画像が利用する登録情報は以下のものがあります。

- 電池残量
- 受信レベル
- 時刻情報
- 着信音量設定
- バイリンガル設定
- 機種情報

1 i ▶ iモード設定 ▶ 7 を押す

2 1「利用する」または 2「利用しない」を押す

Flash画像の効果音を利用するかどうかを設定する<効果音設定>

お買い上げ時	再生する

サイトや画面メモのFlash画像の効果音を鳴らすかどうかを設定します。

1 i ▶ iモード設定 ▶ 8 を押す

2 1「再生する」または 2「再生しない」を押す

次ページへつづく

お知らせ

- サイト表示中に操作する場合は [i]［機能］▶ ◎ ▶ ◎ ▶ [1]「効果音設定」を押します。
- 「再生する」に設定しても、Flash画像によっては効果音が鳴らないことがあります。

画像を表示しないようにする<画像表示設定>

お買い上げ時	表示する

サイトや画面メモ、メッセージR/Fを表示したときに、画像を表示するかどうかを設定します。

1 [i] ▶ iモード設定 ▶ [3] **を押す**

2 [1] **「表示する」または** [2] **「表示しない」を押す**

サイトなどでは、表示されない画像の代わりに、[画像] が表示されます。

- 「表示しない」に設定すると、Flash画像も表示されません。

お知らせ

- メッセージR/Fの添付画像は、「表示しない」に設定していても表示されます。
- サイト表示中に操作する場合は [i]［機能］▶ ◎ ▶ [4]「画像表示設定」を押します。
- 「表示する」に設定しても、画像が正しく表示されないことがあります。

文字サイズを設定する<文字サイズ設定>

お買い上げ時	iモード：標準　メッセージ：標準

サイトやメッセージR/Fを表示したときの文字サイズを設定します。

1 [i] ▶ iモード設定 ▶ [1] **を押す**

2 [1] **「iモード」または** [2] **「メッセージ」を押す**

3 [1] 〜 [3] **を押す**

小さめ：16ドット

標準：20ドット

大きめ：24ドット

スクロール行数を設定する<スクロール設定>

お買い上げ時	1行

サイトや画面メモ、メッセージR/Fを表示中に を押したときのスクロール行数を設定します。

1 ▶ ▶ 2ABCか **を押す**

2 1.@あ 〜 5JKLな **を押す**

iモード機能の設定の内容を確認する<iモード設定確認>

「iモード設定」の設定内容を確認できます。

1 6MNOは **を押す**

設定内容が表示されます。

iモード機能の設定を初期状態に戻す<iモード設定リセット>

「iモード設定」をお買い上げ時の設定内容に戻します。

1 ▶ ▶ ▶ 7PQRSま **を押す**

2 **端末暗証番号を入力し、 を押す**

3 1.@あ **「はい」を押す**

- 中止するときは 2ABCか 「いいえ」を押します。

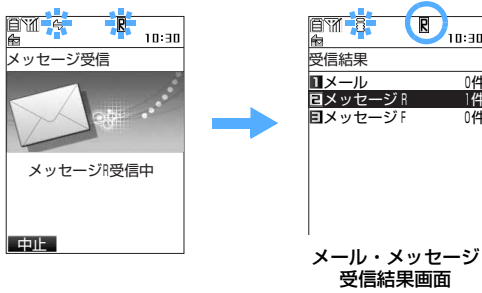
メッセージ受信

メッセージR/Fを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、メッセージR/Fを自動的に受信します。受信したメッセージR/FはFOMA端末に保存されます。

- メッセージRは100件まで、メッセージFは50件まで保存できます。
- 以下のようなときに送られてきたメッセージR/Fは、iモードセンターに保管されます。
  - テレビ電話通話中
  - セルフモード中
  - 赤外線通信利用中
  - 電源が入っていないとき
  - iモード圏外
  - SMS受信中
  - メッセージR/F一覧が保護や未読で満杯のとき
  - FirstPassセンター接続中

1 メッセージR/Fを受信する

メール・メッセージ受信結果画面

受信中は と、 または が点滅します。受信が完了すると が点滅し、 または が点灯します。
メッセージR/F着信音が鳴り、着信ランプが点灯／点滅して受信件数が表示されます。

- メッセージR/F受信中に ［中止］を押すと受信を中止できます。受信時の状況によってはメッセージR/Fを受信する場合があります。
- FOMA端末を折りたたんでいるときは、背面ディスプレイに受信状態が表示されます。→P29
- 受信結果画面が表示されてから約30秒間何も操作しないでいると、自動的に受信前の画面に戻ります。

メッセージ自動表示設定で設定したメッセージを受信したときは、何も操作しないでいると、受信結果画面から受信前の画面に戻る前に、未読メッセージR/Fの内容が表示されます。

- マルチタスク中は自動表示できません。

iモード

新着メッセージR/Fを表示する

〈例〉受信したメッセージRを表示するとき

1 メール・メッセージ受信結果画面で 2 「メッセージR」を押す

- メッセージFを表示するときは 3 「メッセージF」を押します。

2 メッセージRを選択する

- メッセージR/Fの見かた→P214

お知らせ

- 受信優先設定によっては、受信中画面や受信結果画面が表示されない場合があります。→P274
- FOMA端末がメッセージR/Fを受信すると、iモードセンター内のメッセージR/Fは削除されます。
- メッセージR/Fの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない既読のメッセージR/Fから古い順に上書きされます。残しておきたいメッセージR/Fは保護してください。→P215
- 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯で上書きできないときは、メッセージR/Fの受信は中止され、画面には （オレンジ）や （オレンジ）が表示されます。→P27
- iモードセンターにメッセージR/Fが残っているときは、 や が表示されます。ただし、メッセージR/Fがあっても表示されない場合もあります。（例：電源が入っていないとき、圏外時）また、iモードセンターの保管件数（→P183）が満杯になったときは、 （オレンジ）や （オレンジ）が表示されます。
- 途中で受信に失敗した場合は、iモード問合せを行ってメッセージR/Fを受信し直してください。

メッセージR/Fを自動的に表示する<メッセージ自動表示設定>

お買い上げ時	メッセージR優先

受信したときに自動的に表示するメッセージR/Fを設定します。

1 i ▶ iモード設定 ▶ 4 GHI た **を押す**

2 1 .@あ 〜 5 JKL な **を押す**

メッセージR優先：メッセージリクエストを優先自動表示します。
メッセージRのみ：メッセージリクエストのみ自動表示します。
メッセージF優先：メッセージフリーを優先自動表示します。
メッセージFのみ：メッセージフリーのみ自動表示します。
自動表示しない：メッセージR/Fを自動表示しません。

メッセージR/Fの添付メロディを自動的に再生する<メッセージ添付メロディ設定>

お買い上げ時	自動再生する

メロディが添付されているメッセージR/Fを表示したときに、メロディを自動的に再生するかどうかを設定します。

1 i ▶ iモード設定 ▶ 5 JKL な **を押す**

2 1 .@あ **「自動再生する」または** 2 ABC か **「自動再生しない」を押す**

iモード問合せ

メッセージR/Fがあるかどうかを問い合わせる

圏外にいた時や電源を切っていた時にメッセージR/Fが届いていないかを問い合わせます。

- 電波状態によってはiモード問合せができない場合がありますのでご了承ください。

1 i ▶ iモード問合せ **を押す**

iモードセンターにメッセージR/Fが保管されていれば受信します。

- iモードメールの問い合わせの操作は、メッセージR/Fと同じです。

お知らせ

- iモードセンターにメッセージR/Fが保管されているときは、R や F が表示されます。ただし、メッセージR/Fがあっても表示されない場合もあります。（例：電源が入っていないとき、圏外時）
- お買い上げ時は、iモード問合せ設定は「メール」「メッセージR」「メッセージF」すべてを受信する設定になっています。メッセージRやメッセージFの配信を希望されない場合は、設定を解除してください。

メッセージR／メッセージF

メッセージBOXのメッセージR/Fを表示する

受信したメッセージR/FはFOMA端末に保存されます。

〈例〉メッセージRを表示するとき

1 ｉ ▶ メッセージR を押す

メッセージR一覧画面が表示されます。
- メッセージFを表示するときは メッセージF を押します。

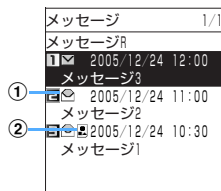
2 表示するメッセージRを選択し、● を押す

メッセージR表示画面が表示されます。

お知らせ

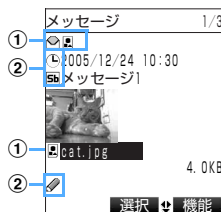
- メッセージ添付メロディ設定を「自動再生する」に設定している場合、メロディが添付されているメッセージR/Fを表示すると、メッセージR着信音量設定、メッセージF着信音量設定それぞれで設定されている音量でメロディが自動的に再生されます。再生を途中で停止させるときは ● を押します。
- 受信したメッセージの添付ファイルを確認するには、ｉ［機能］▶ 3「添付ファイル確認」を押します。
- 受信したメッセージに表示されている画像をFOMA端末に取り込めます。→P252
- メロディをFOMA端末に取り込めます。操作方法はｉモードメールからのメロディ保存と同じです。→P250
- Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To 機能が利用できます。→P205

メッセージR/F一覧画面／表示画面の見かた

メッセージR/F一覧画面の見かた

① メッセージ種別
- ：未読メッセージ
- ：既読メッセージ
- ：未読メッセージで保護
- ：既読メッセージで保護

② 添付ファイル種別
- ：静止画
- ：静止画（削除済み）
- ：メロディ
- ：メロディ（削除済み）
- ：静止画、メロディ（FOMAカード未挿入など）
- ：無効ファイル

- 受信日時には、当日の場合は時刻、当日以外は日時が表示されます。

メッセージR/F表示画面の見かた

① メッセージ種別・添付ファイル種別はメッセージR/F一覧画面と同じです。

② 項目種別
- ：受信日時
- ：件名
- ：本文

メッセージR/F内の画像を再読み込みする＜画像再読み込み＞

取得に失敗した本文中の画像を受信し直します。
- 画像によっては再読み込みを行っても表示できない場合があります。

1 **メッセージR/F表示画面で [i]［機能］▶ [4]「画像再読み込み」を押す**

画像が読み込まれます。

メッセージR/Fを保護する＜保護＞

- メッセージR/Fは全保存件数分保護できます。

1 **メッセージR/F一覧画面でメッセージR/Fを選択し、[i]［機能］▶ [2]「保護」を押す**

- 保護されたメッセージR/Fがからに変わります。

■ メッセージR/Fの保護を解除するとき

① **メッセージR/Fを選択して [i]［機能］▶ [2]「保護解除」を押す**
② **[1]「1件保護解除」を押す**
- すべての保護メッセージ R/F を解除するときは [2]「全件保護解除」を押し、[1]「はい」を押します。

お知らせ

- メッセージR/F表示画面で保護するには [i]［機能］▶ [1]「保護」を押します。保護解除するには [i]［機能］▶ [1]「保護解除」を押します。

メッセージR/Fを並べ替える＜ソート＞

メッセージR/F一覧画面の並び順を一時的に並べ替えます。

1 **メッセージR/F一覧画面で [✉]［ソート］を押す**

2 **[1] ～ [4] を押す**

受信日時（新→旧）：受信日時の新しい順に並べ替えます。
受信日時（旧→新）：受信日時の古い順に並べ替えます。
件名（昇順）：件名の昇順に並べ替えます。
件名（降順）：件名の降順に並べ替えます。

お知らせ

- メッセージR/F一覧画面を終了すると、元の表示状態に戻ります。

メッセージR/Fを検索して表示する<検索>

メッセージR/F一覧画面から検索条件を指定してメッセージR/Fを検索できます。

1 メッセージR/F一覧画面で i ［機能］ ▶ 1 「検索」を押す

2 1 ～ 4 を押す

選択した検索条件のメール件数が表示されます。

未読検索　：未読メッセージR/Fを抽出します。
既読検索　：既読メッセージR/Fを抽出します。
保護検索　：保護されたメッセージR/Fを抽出します。
添付あり検索：添付ファイルがあるメッセージR/Fを抽出します。

3 ● を押す

検索結果が表示されます。

■ 検索後に再検索するとき

i ［機能］ ▶ 1 「検索」 ▶ 1 「再検索」を押す

- 以降の操作は手順２～３と同じです。
- 最初の検索結果は破棄されます。

■ 検索結果から戻るとき

i ［機能］ ▶ 1 「検索」 ▶ 2 「検索状態解除」を押す

メッセージR/Fを削除する<削除>

受信したメッセージR/Fを削除できます。

- 保護されているメッセージR/Fは削除できません。メッセージR/Fの保護を解除してから削除してください。

1 メッセージ R/F 一覧画面でメッセージ R/F を選択し、 i ［機能］ ▶ 3 「削除」を押す

2 1 「1件削除」を押す

■ 選択削除するとき

① 2 「選択削除」を押す
② メッセージR/Fを選択し、 ● を押す
- 解除するには ● を押します。
- ✉ ［詳細］を押すと、メッセージR/Fが表示されます。

③ i ［実行］を押す

■ 全件削除するとき

① 3 「全件削除」を押す
② 端末暗証番号を入力し、 ● を押す
- 検索結果表示中は 3 「検索メッセージ全件削除」を押します。

3 1 「はい」を押す

- 削除しないときは 2 「いいえ」を押します。

お知らせ

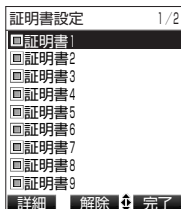
- メッセージR/F表示画面から削除する場合は i［機能］▶ 5「削除」を押します。

SSL証明書操作

SSL証明書を操作する

SSL通信時に必要な証明書の有効／無効の設定や内容確認をします。

- お買い上げ時は、すべての証明書が有効に設定されています。
- ユーザ証明書をダウンロードしていない場合は、「ユーザ証明書」は表示されません。
- 青色のFOMAカードを差し込んでいる場合は、「ドコモ証明書」「ユーザ証明書」は表示されません。

1 を押す

2 証明書を選択する

- ●を押すたびに有効／無効が切り替わります。

■ **証明書の内容を確認するとき**

証明書を選択し、✉［詳細］を押す

3 設定が完了したら i［完了］を押す

お知らせ

- 証明書は、認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時に端末内に保存されています。
- ドコモ証明書は、FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、FOMAカード（緑色）内に保存されています。
- ユーザ証明書は、FirstPass対応サイトへ接続するために必要な証明書で、FirstPassセンターからダウンロードします。ダウンロードするとFOMAカード（緑色）内に保存されます。

ユーザ証明書操作

FirstPassの設定を行う

FirstPassセンターからユーザ証明書の発行申請やダウンロードができます。

- FirstPass対応ページに接続するには、ユーザ証明書をFirstPassセンターからダウンロードし、緑色のFOMAカードに保存する必要があります。青色のFOMAカードを差し込んでいる場合は接続できません。
- FirstPassセンターに接続する場合、日付時刻設定を行ってください。→P46
- FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
- FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信やメッセージR/Fの受信はできません。

1

を押す

FirstPass

・FirstPassをご利用いただくためには、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞが必要です。
・「次へ」を選択して、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞを行ってください。
・当ｻｲﾄの閲覧/ご利用にあたってのﾊﾟｹｯﾄ通信料は無料です。

2 「次へ」を選択し、●を押す

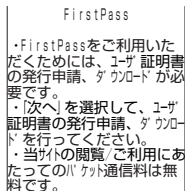
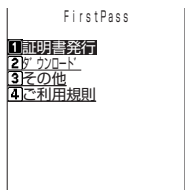
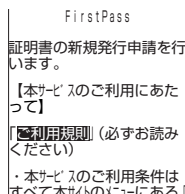
3 1.@あ「証明書発行」を押す

FirstPass

証明書の新規発行申請を行います。

【本ｻｰﾋﾞｽのご利用にあたって】

「ご利用規則」(必ずお読みください)

・本ｻｰﾋﾞｽのご利用条件はすべて本ｻｲﾄのﾒﾆｭｰにある

■ **初めてFirstPassをご利用になるとき**

「ご利用規則」をよくお読みになり、同意の上、FirstPassをご利用ください。

■ **証明書を失効要求するとき**

「その他」を選択し、「証明書失効」を選択します。
PIN2コードを入力し、画面の指示に従って操作してください。

4 表示された内容を確認し、「実行」を選択して●を押す

5 ●を押す

6 PIN2コードを入力し、●を押す

7 メッセージを確認し、「ダウンロード」を選択して●を押す

8 内容を確認し、「実行」を選択して●を押す

お知らせ

- FirstPassセンターへの接続や利用のパケット通信料は無料です。
- iモードでFirstPass対応サイトへのアクセスに発生するパケット通信料はパケ・ホーダイに含まれます。
- ユーザ証明書を新規で発行するときも更新で発行するときも、必ず発行申請を行ったあとにダウンロードを行ってください。発行の申請をしていないユーザ証明書はダウンロードすることができません。
- ユーザ証明書は、お客様がFOMA契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書は緑色のFOMAカードに保存され、FirstPassに対応しているサイト（クライアント認証に対応しているサイト）で利用できます。
- 添付のCD-ROMからFirstPass PCソフトをパソコンにインストールすると、FOMA端末をパソコンに接続して、FirstPassを使った通信を行うことができます。詳しくはCD-ROM内の「FirstPassManual」をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます（別途通信料がかかります）。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

FirstPassのご使用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただくことが可能です。パソコンでご利用いただくためには、添付のCD-ROM内のFirstPass PCソフトが必要です。
- ユーザ証明書の発行申請をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、要求してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。
- PIN2コード入力後になされたすべての行為はお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、ドコモショップなどの窓口にてユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

証明書センター接続先設定

証明書発行接続先を変更する

お買い上げ時	ドコモ

ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先を設定します。設定を変更するとFirstPassセンターに接続できなくなります。

通常は設定を変更する必要はありません。

1

次ページへつづく

2 「未登録」を選択し、i［編集］を押す

■ 以前設定したユーザー指定接続先に変更するとき

2「ユーザー指定接続先」を押す

■ FirstPassを利用する設定に戻すとき

1「ドコモ」を押す

■ 設定したユーザー指定接続先を削除するとき

①「ユーザー指定接続先」を選択し、✉［削除］を押す
②端末暗証番号を入力し、●を押す
③1「はい」を押す
- 削除しないときは2「いいえ」を押します。

3 端末暗証番号を入力し、●を押す

4 接続先名称を入力し、●を押す

- 接続先名称は半角英数字99文字まで入力できます。

5 接続先アドレスを入力し、●を押す

- 接続先アドレスは半角英数字100文字まで入力できます。

6 入力内容を確認し、i［完了］を押す

接続先が変更されます。

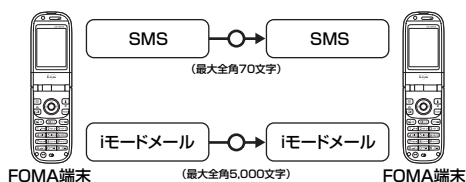
メール

iモードメールとは

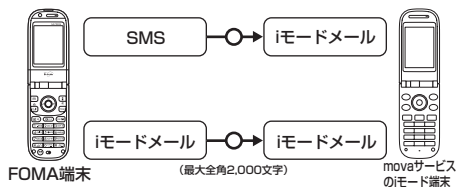
FOMA端末では、iモードメール、SMSの2種類のメール機能を利用できます。

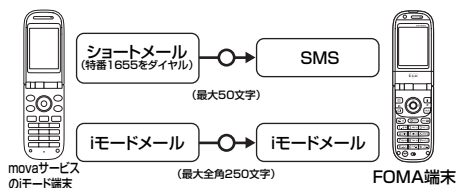
- iモードメールをご利用いただくには、iモードのご契約が必要です。
- SMSは、iモードをご契約されていなくてもご利用いただけます。

メール機能の送受信について

FOMA端末→FOMA端末

FOMA端末→movaサービスのiモード端末

FOMA端末から送信したSMSは、movaサービスのiモード端末ではiモードメールとして受信されます。

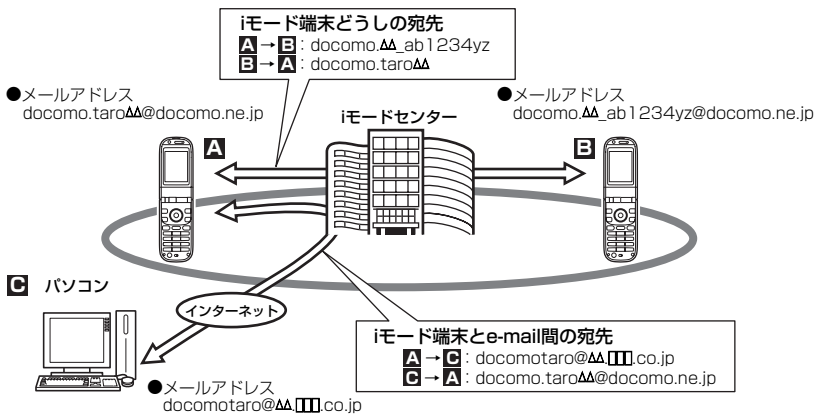
※「SMS送達通知設定」（→P278）を設定されている場合には、movaサービスのiモード端末へ送ることはできません。

movaサービスのiモード端末→FOMA端末

movaサービスのiモード端末から送られたiモードメールとショートメールを受信できます。ショートメールはSMSとして受信します。

※ショートメールとは、ドコモの携帯電話間で文字メッセージをやりとりできるサービスです。
- FOMA端末では、movaサービスのiモード端末から送られてきたショートメールをSMSとして受信します。

ｉモードメールについて

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末（mova端末含む）間はもちろん、インターネットを経由してe-mailとのメールのやりとりができます。
ｉモードご契約時のメールアドレスは次のようになります。

新規にｉモードをご契約の場合
@マークより前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、ｉモード契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。
(例) abc1234～789xyz@docomo.ne.jp
〈お客様のメールアドレスの確認方法〉
iMenu → 8 オプション設定 → 1 メール設定 → アドレス確認

- ｉモード端末（mova端末含む）間でメールをやりとりする場合は、@マークより前の部分のみのアドレスで送信可能です。
- パソコンなどのe-mailからメールを受信する場合は、@docomo.ne.jpも含めたアドレス全体を使用します。

- メールの送信方法→P230 - メールの受信方法→P244

■ メール選択受信

ｉモードセンターに保管されているメールの件名などを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。→P246

メール設定を行う

下記の各種設定を行うことができます。

設定方法
iMenu → 8 オプション設定 → 1 メール設定 → 【各設定】

※詳細はｉモードご契約時にお渡しいたします『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

■ メールアドレス変更【アドレス変更】

たとえば「docomo.taro_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの「@」より前の部分を、お好みのアドレスに変更できます。

■ シークレットコード登録【メールアドレス設定（その他設定）→シークレットコード登録】

電話番号のアドレス利用時に、メールアドレスに加えて４桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないメールは受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けられます。

■ メールアドレスリセット【メールアドレス設定(その他設定)→アドレスリセット】

メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にできます。

■ メールアドレス確認【アドレス確認】

現在設定されているメールアドレスを確認できます。

■ メール受信/拒否設定

以下のいずれかの方法でメールの受信/拒否設定を行うと、メールの受信を制限できます。

① ドメイン指定受信【メール受信設定(受信/拒否設定)→ドメイン指定受信】

- au･ボーダフォン･TU-KA･ウィルコムのうち、指定する会社からのメールの受信ができます。
- また、上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインからのメールを受信します。

※NTT ドコモのｉモード・ｉショット・一定額到達通知サービス・ｅビリング請求額お知らせメール・ビジュアルネットからのメールはすべて受信します。

② アドレス指定受信/拒否
【メール受信設定(受信/拒否設定)→アドレス指定受信、アドレス指定拒否】

- 受信するすべてのメールのうち、指定するアドレスからのメールを受信/拒否します。

③ ｉモードメールのみ受信/拒否
【メール受信設定(受信/拒否設定)→ｉモードメールのみ受信、ｉモードメールのみ拒否】

- ｉモードどうしのメールのみ受信(インターネット経由のメールを拒否)/拒否します。

④ ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限
【メール受信設定(その他設定)→ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限】

- 1日に1台のｉモード端末(mova含む)から送信される200通目以降のｉモードメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。

⑤ 未承諾広告※メール拒否【メール受信設定(その他設定)→未承諾広告※メール拒否】

- 受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信される、メール件名欄の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません(送信者はメール件名欄の最前部に未承諾広告※(全角6文字)と記載することが法律で義務づけられています)。

※「ドメイン指定受信」、「アドレス指定受信」、「アドレス指定拒否」、「ｉモードメールのみ受信」、「ｉモードメールのみ拒否」は同時に設定することができません。

⑥ SMS拒否【メール受信設定(その他設定)→SMS拒否設定/確認】

- 受信するSMSを制限することができ、「SMS一括拒否」「非通知SMS拒否」「国際SMS拒否」「非通知SMSと国際SMSの拒否」の4つの中から選択いただけます。また、設定の状況を確認することができます。

■ メール設定状況確認【設定状況確認】

現在設定されているメール受信/拒否などの設定状況を確認できます。

■ メールサイズ制限【メールサイズ制限】

あらかじめ指定したサイズによって、受信するｉモードメールを制限できます。

■ メール機能停止【メール機能停止】

メール機能を利用されない場合、ｉモードセンターでのメール機能停止ができます。

送受信できる文字数

ｉモードメールで送受信できる文字数は次のとおりです。

項　目	全角文字(漢字、ひらがな、絵文字など)	半角文字(英字、数字、カタカナなど)
題 名	15文字	30文字
メールアドレス	−	50文字
本 文	5000文字	10000文字

お知らせ

- iモードメールの本文は全角5000文字（10000バイト）まで送受信できますが、添付ファイルのデータ量により送受信できる文字数が少なくなります。
- 本文が受信できる文字数を超えた場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた分が自動的に削除されます。
- mova端末へiモードメールを送信する場合、本文として送信できるのは最大全角2000文字までです。また、iショット・iモーションメールはURLの記載されたメールとして送信され、それ以外の添付ファイルは削除されます。
- 題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
- iモード端末（mova端末含む）どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。受信側で正しく表示されない場合があります。

メールを受信できないとき

iモードセンターに届いたメールは、すぐにお客様のiモード端末に送信されます。ただし、お客様のiモード端末の電源が入っていない場合やiモード圏外などで受信できないときは、メールはiモードセンターに保管されます。iモードセンターで保管しているときは、一定の時間をおいて最大３回まで再送されます。また、メール選択受信設定により、iモードセンターでiモードメールを選択して受信することができます。

お知らせ

- iモードセンターでのメールの最大保管件数、保管期間は次のとおりです。

項　目	最大保管件数	最大保管期間
iモードメール	207～1000件（約2Mバイトまで）	720時間

- 保管期間が超過したメールは自動的に削除されます。
- 最大保管件数は、メールのデータサイズにより異なります。保管件数を超えた場合は、iモードセンターではメールを受信せず、送信者にエラーメッセージとともに返信します。このときiモード端末には が表示されます。ただし、メール選択受信設定が「ON」のときは、保管件数を超えても は表示されません。
- iモードセンターに保管されているメールは、iモード問合せ（→P248）やメール選択受信（→P246）により受信できます。また新しいメールが届いたときは、保管されている他のメール、メッセージR/Fも合わせて受信できます。
- iモード端末でメールを受信するとiモードセンターに保管されていたメールは削除されます。受信したメールはiモード端末に保存されます。→P244
- 極端に容量の大きいメールはiモードセンターで受け付けないことがあります。

こんなこともできます

■ ファイル添付メール

- **メロディ添付メール**

  サイト、インターネットホームページからダウンロードしたメロディファイルを、iモードメールに添付して送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディファイルは送信できません）。

  - 送信する→P241　　- 受信したとき→P250

- **画像添付メール**

  サイト、インターネットホームページ、または外部メモリから取得した静止画ファイルを、iモードメールに添付して送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画ファイルは送信できません）。

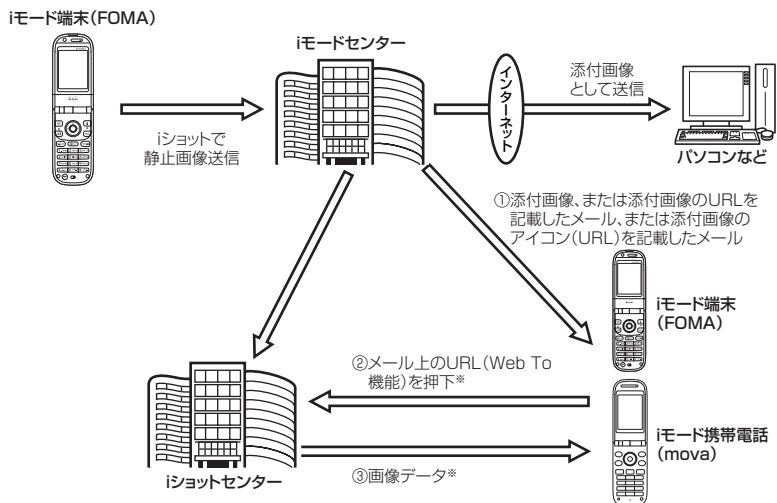
  - 送信する→P241　　- 受信したとき→P251

次ページへつづく

■ iショット

カメラ機能付き端末で撮影した静止画を添付ファイルとしてiモード端末（mova端末含む）およびパソコンや他社携帯電話の間で送受信できます。受信側には添付ファイル形式または、画像閲覧用URL（またはアイコン）および画像の保存期限が記載されたメールとして送信され、そのURLを押下して画像を取得できます。

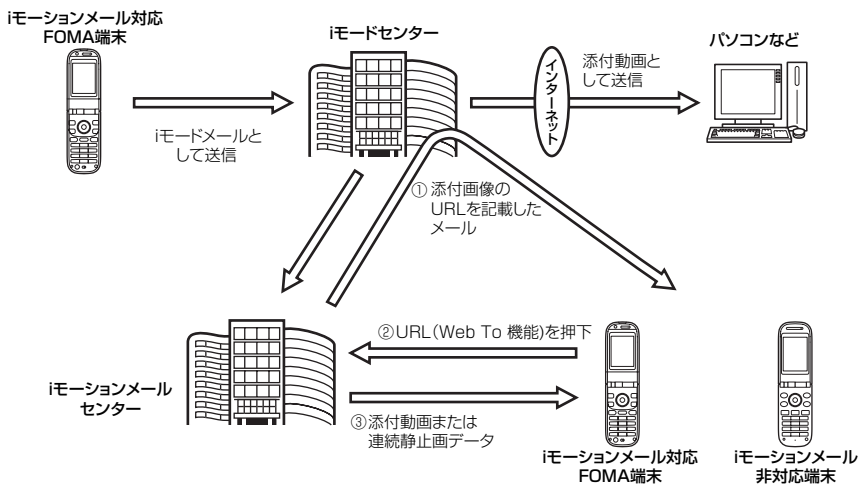
mova端末へ送れるメール本文は最大全角184文字（369バイト）で、複数ファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。

- 送信する→P241　　- 受信したとき→P244

※添付画像のURLを記載したメールを受信した場合

- iショットセンターでは最大10日間画像が保存され、保存期間経過後自動的に削除されます。
- iモード端末が送信できるのは最大500Kバイトまでの静止画となります。また、20Kバイトより大きい画像を添付してiモード端末に送信した場合は、受信側では自動的にサイズの圧縮された画像を取得します。

■ iモーションメール

iモーションメール対応端末で撮影した動画やサイトから取得した動画を、iモーションメール対応端末およびパソコンや他社携帯電話の間で送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画ファイルは送信できません）。

- iモーションメールを送信する→P241
- iモーションメールを受信したとき→P253
- サービスのしくみ
  iモーションメールに添付された動画ファイルはiモーションメールセンターに送信され、そこで保存されます（送信先がパソコンなどの場合は、直接添付ファイルとして送信されます）。
  iモーションメール対応端末で受信した場合、メール本文中に表示されているURLを押下して動画を取得することができます。
  iモーションメール非対応端末へ送信した場合は、iモーションが連続静止画に変換され、URLの記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを押下し、連続静止画を取得します。

- iモーションメールセンターでは最大10日間画像が保存され、保管期間経過後自動的に削除されます。
- iモーションメール対応端末が受信できるのは最大500Kバイトまでの動画となります。また、取得した動画はiモーションメール対応端末の画面に合わせて画像サイズを自動的に変換します。

■ デコメール

iモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼り付けることによって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信することが可能になります（パソコンから装飾したメールを受信する場合、iモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります）。
デコメールを非対応端末へ送信した場合は、URLが記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを押下し、デコメールを閲覧できます。

- デコメール編集方法→P232
- デコメール送信方法→P232
- 対応機種･･･デコメール対応機種でご利用いただけます。詳しくは「iモード操作ガイド」をご覧ください。

■ メール同報送信

同じiモードメールを、一度に複数の宛先（最大5件）に送信できます。→P231

お知らせ

- 通信料は、1通のみ送信した場合と同じです（ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます）。

■ CC、BCC送受信

パソコンと同じように、iモードメール編集時に宛先をTO、CC、BCCから選択できます。ただし、TOが1件もない場合は、メールを送信できません。→P230

■ チャットメール（SA700iSでは非対応）

複数の相手と会話をするような感覚でメールの交換ができます。

SMS（ショートメッセージ）について

FOMA端末間で文字メッセージをやりとりできます。

- 受信したSMSや送信したSMSをFOMAカードに保存できます。→P280
- 送信したSMSが相手に届いたかどうかを知らせる送達通知を受け取ることができます。→P278

- 送信方法→P275　　- 受信方法→P277　　- 問合せ方法→P278

SMS（ショートメッセージ）の宛先

SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

送受信できる文字数

SMSで送受信できる文字数は次のとおりです。
送信文字種の設定により最大文字数が異なります。→P279

項　目	送信文字種「日本語」	送信文字種「英語」
宛先	20文字（数字、＊、＃のみ）※1	
本文	全角・半角を問わず70文字	半角160文字※2

※1 先頭に半角の「+」を入力した場合は21文字です。
※2 半角の英数字と記号（ ‘。「」、・゛゜-を除く）を送信できます。
記号（ | ^ { } [ ] ~ ¥）を入力すると送信できる文字数が少なくなります。

お知らせ

- SMSでは題名は送信できません。
- SMSの本文に半角カタカナ、絵文字を使用すると、受信側で正しく表示されない場合があります。

SMS（ショートメッセージ）を受信できないとき

お客様のFOMA端末に送られてきたSMSは、SMSセンターで受信し、すぐにお客様のFOMA端末に送信します。ただし、お客様のFOMA端末の電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、SMSはSMSセンターに保管されます。

お知らせ

- SMSセンターでのSMSの最大保管期間は72時間です。送信したSMSの保管期間を指定することもできます。→P279
- 保管期間が過ぎたSMSは自動的に削除されます。
- SMSセンターに保管されているSMSは、SMS問合せにより受信できます。→P278
- FOMA端末がSMSを受信すると、SMSセンターに保管されていたSMSは削除されます。受信したSMSはFOMA端末に保存されます。→P277

メールメニューを表示する

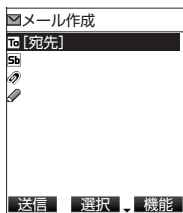
1 [メール]を押す

メニュー	機　能	参照先
メール設定	メールに関する各種機能の設定をします。	P269
パーソナル検索	送受信BOXの中から、指定した文字列をアドレスに含むメールを検索します。	P267
SMS新規作成	SMSを新規に作成して送信します。	P275
iモード問合せ	iモードセンターにiモードメールやメッセージR/Fがあるかどうかを問い合わせます。	P248、213
受信BOX	受信メールを表示します。	P254
メール新規作成	iモードメールを新規に作成して送信します。	P230
メール選択受信	iモードセンターからメールを選択して受信します。	P246
送信BOX	送信済みのメールを表示します。	P254
デコメールテンプレート	テンプレートの内容を表示してメールを作成します。テンプレートを新規作成することもできます。	P238
SMS問合せ	SMSセンターにSMSがあるかどうかを問い合わせます。	P278
未送信BOX	送信せずに保存したメールや送信に失敗したメールを表示します。	P254
アドレス履歴	受信／送信したメールのアドレス（電話番号）が自動的に記録されます。	P268

お知らせ

- ●▶ メール を押しても表示することができます。

iモードメールを作成して送信する

1 [メール]を1秒以上押す

メール作成画面

2 To「宛先」を選択し、●を押す

3 6「直接入力」を押して宛先を入力し、●を押す

- 半角50文字まで入力できます。

■ 電話帳から入力するとき

① 1「電話帳引用」を押す
- 電話帳の操作中に受信したメールを転送するなどの場合には、電話帳を引用することができません。電話帳の操作を終了すると電話帳を引用することができます。

② 電話帳を選択し、●を押す
③ メールアドレスを選択し、●を押す

■ 送受信アドレス履歴から入力するとき

① 2「送信アドレス履歴引用」または3「受信アドレス履歴引用」を押す
② メールアドレスを選択し、●を押す
③ ●を押す

■ 送信グループから入力するとき

あらかじめ「メール設定」で送信グループを登録しておく必要があります。

① 4「送信グループ引用」を押す
② ◀▶でグループを選択する
③ 宛先を選択する
- 不要な宛先を解除するときは●を押します。

④ i［完了］を押す

■ 自局情報から入力するとき

① 5「自局情報引用」を押す
② メールアドレスを選択し、●を押す

■ 宛先を修正するとき

① メールアドレスを選択し、●を押す
② 1「宛先変更」を押す

■ To、Cc、Bccを変更するとき

① メールアドレスを選択し、●を押す
② 2～4を押す
- Toは、送信相手の宛先です。Toが1件も設定されていないメールは送信できません。
- Ccは、直接の送信相手以外にメールの内容を知らせたい宛先用です。

- Bcc は、他の送信相手に知らせたくない宛先用です。Bcc に入力したメールアドレスは、他の送信相手には表示されません。

■ 宛先を削除するとき

① メールアドレスを選択し、◉ を押す
② 5JKLな「宛先削除」▶ 1.@あ「はい」を押す

■ 宛先追加について

宛先を入力すると、宛先欄が自動的に追加されます。宛先は5件まで入力でき、メールを同時に送信（同報送信）できます。

- 通信料は、1通のみ送信した場合と同じです（ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます）。
- すでに宛先が入力されている場合は、同じ宛先は入力できません。

4 Sb「件名」を選択して ◉ を押し、件名を入力して ◉ を押す

- 全角15文字（半角30文字）まで入力できます。

5 ✎「本文」を選択して ◉ を押し、本文を入力して ◉ を押す

- 全角5000文字（半角10000文字）まで入力できます。
- 文中で改行できます。かな方式の場合、改行するときは # を押します。改行も本文の文字数に含まれます。
- 本文を装飾することもできます。→P232

■ スペースを入力するとき

本文入力中に i ［機能］▶ 7PQRSま「スペース入力」を押す

- メール本文の最後で ◉ を押しても半角スペースを入力できます。スペースも本文の文字数に含まれます。

■ 署名を挿入するとき

① 本文入力中に i ［機能］▶ ◉ ▶ ◉ ▶ 3DEFさ「署名」を押す
② 1.@あ ～ 3DEFさ を押す

- 署名はあらかじめ登録しておく必要があります。→P270
- 署名の文字数も本文の文字数に含まれます。

■ 位置情報URLを貼り付けるとき

- 位置情報URLを貼り付けたときは、URLも文字数に含まれます。
- movaサービスのｉモード端末へ送信するときは、本文文字数の制限を超えた場合、URLの途中であっても、超えた文字数分のみが削除されますのでご注意ください。

① 本文入力中に i ［機能］▶ ◉ ▶ 7PQRSま「位置情報引用」を押す
② 1.@あ ～ 6MNOは を押す

現在地確認：現在地の情報を取得して貼り付けます。→P310
位置履歴から：位置履歴一覧から位置情報を選択して貼り付けます。→P326
電話帳から：電話帳に登録されている位置情報を選択して貼り付けます。→P330
自局情報から：自局情報に登録されている位置情報を貼り付けます。→P330
画像データから：画像に埋め込まれている位置情報を選択して貼り付けます。→P330
スケジュールから：スケジュールに登録されている位置情報を貼り付けます。→P330

③ 位置サイト一覧画面から位置情報URLを貼り付ける位置サイトを選択し、◉ を押す

- ワンタッチ位置サイトが設定されているときは、1.@あ「貼り付ける」を押すと、位置情報URLが本文に貼り付けられます。2ABCか「位置サイト選択」を押すと、位置サイト一覧画面が表示されますので、位置サイトを選択し、◉ を押します。中止するときは 3DEFさ「キャンセル」を押します。
- 本文の位置情報URLの前に ⚲ が付加されます。

次ページへつづく

6 ✉［送信］を押す

- 接続中画面で ✉［中止］を押すと接続が中止されます。ただし、タイミングによっては送信されることがあります。

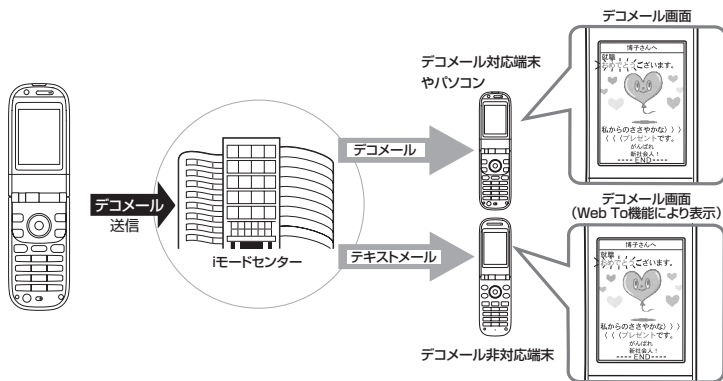
お知らせ

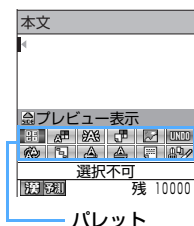
- ✉ ▶ メール新規作成 を押してもメール作成画面を表示できます。
- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- iモードメールを正常に送信できていても、電波状況によっては「送信できませんでした」というエラーメッセージが表示される場合があります。
- iモード端末（mova含む）どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。正しく表示されない場合があります。
- 一部の絵文字は、相手のiモード端末の機種によっては正しく表示されない場合があります。
- 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、iモードメールが未送信BOXに保存されます。未送信BOXからiモードメールを編集・送信できます。→P243
- 送信が正常に終了したときは、iモードメールは送信BOXに保存されます。送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない送信メールから古い順に上書きされます。残しておきたい送信メールは保護してください。→P265
- ドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合に宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
- 相手がシークレットコードを登録しているときは、宛先に相手のiモード端末の電話番号に続けて４桁のシークレットコードを入力してください。
- 未送信メールや保護されているメールで、メールの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、iモードメールは作成できません。送信・未送信BOXから不要なiモードメール、SMSを削除してください。→P266
- ToとCcに設定したメールアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては表示されない場合があります。
- メール設定の「署名設定」に署名が登録・設定されていれば、メール作成時に設定した署名が自動的に付加されます。

デコメール

デコメールを作成して送信する

iモードメールの本文には、文字色や文字サイズを変更したり、デコメールピクチャやカメラで撮影した写真を挿入するなど、表現力豊かなメールを作成し、送信できます。
デコメールの作成方法には、装飾を指定してから文字を入力する方法と、文字を入力してから装飾する方法があります。→P233、236

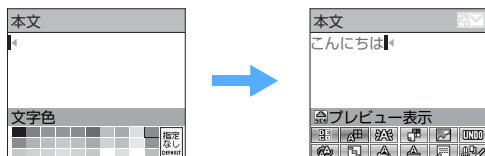
装飾を指定してから文字を入力する

1 本文表示中に [✉] ［デコレーション］を押す

2 パレットで装飾を選択する

パレットでマークにカーソルを合わせて ● を押すと、その装飾が選択されます。複数のマークを選択することで、複数の装飾が設定できます。ただし、「テロップ」「スウィング」「文字位置」は同時に設定できません。

■ 文字またはライン（罫線）色を変更するとき

① [文字色アイコン] を選択して ● を押し、文字色を選択して ● を押す

- 30色から選択できます。
- 絵文字の文字色も変更されますが、元に戻すときは範囲を選択し、「指定なし」を選択してください。

② [✉] ［本文入力］を押して文字を入力し、● を押す

■ 文字サイズを変更するとき

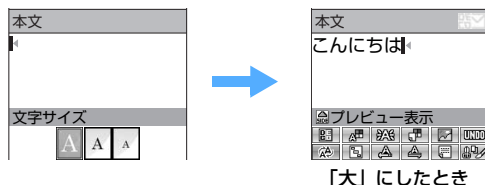
① [文字サイズアイコン] を選択して ● を押し、文字サイズを選択して ● を押す

- 「大」「標準」「小」から選択できます。

② [✉] ［本文入力］を押して文字を入力し、● を押す

「大」にしたとき

メール

次ページへつづく

■ 画像を挿入するとき

① [画像挿入] を選択して ● を押し、フォルダを選択して ● を押す

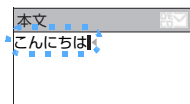
② 画像を選択し、● を押す

[表示位置] で指定されている位置に画像が挿入されます。

- JPEGまたはGIF形式の静止画を、メール本文を含め10000バイトまで挿入できます。
- 位置情報付き静止画を挿入したときは、静止画の後に位置情報URLが付加されます。位置情報付き静止画を添付したメールを送信した場合、添付された静止画の位置情報は削除されます。ただし、本文の位置情報URLは削除されません。
- 本文表示中に挿入した画像にカーソルを合わせて [i]［機能］▶ ◎ ▶ ◎ ▶ [4]「情報表示」を押すと、画像の情報が表示されます。

■ 文字を点滅させるとき

① [点滅] を選択して ● を押す

② [✉]［本文入力］を押して文字を入力し、● を押す

入力した文字が点滅します。点滅は一定期間が経過すると停止します。

■ 文字を流して表示（テロップ表示）させるとき

① [テロップ] を選択して ● を押す

② [✉]［本文入力］を押して文字を入力し、● を押す

矢印の間に文字を入力します。

■ 文字を左右に揺らして表示（スウィング表示）させるとき

① [スウィング] を選択して ● を押す

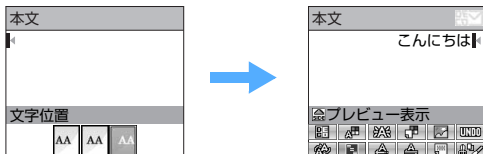
② [✉]［本文入力］を押して文字を入力し、● を押す

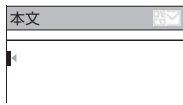
矢印の間に文字を入力します。

■ 文字または画像の表示位置を変更するとき

① [表示位置] を選択して ● を押し、表示位置を選択して ● を押す

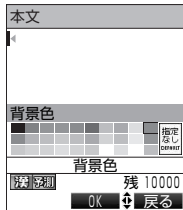
・「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」から選択できます。

② [✉]［本文入力］を押して文字を入力し、● を押す

■ 本文中にライン（罫線）を挿入するとき

を選択し、● を押す

- で指定されている色でライン（罫線）が挿入されます。

■ 本文の背景色を変更するとき

を選択して ● を押し、背景色を選択して ● を押す

- 30色から選択できます。
- 背景色によっては、画像やｉモーション取得先URLの文字色と重なり、URLが見えない場合があります。

■ 1つ前の状態に戻すとき

UNDO を選択し、● を押す

直前に行った装飾または文字入力が解除されます。

■ コピー・切り取りするとき

を選択して ● を押し、「コピー」または「切り取り」を選択して ● を押す

- 以降の操作：→P487「文字をコピーする／切り取る」手順2～3

■ 貼り付けするとき

を選択して ● を押し、「貼り付け」を選択して ● を押す

- 以降の操作：→P489「文字を貼り付ける」手順2

■ 装飾を変更するとき

を選択し、● を押す

- 以降の操作：→P236「範囲を指定してから文字を装飾する」手順3～4のあとパレットで装飾を選択します。

3 i［閉じる］を押す

■ 装飾を確認するとき

i［機能］▶ ▶ ▶ 6「プレビュー」を押す

- 設定した装飾と、入力できる残りのデータ量の正確なバイト数を確認できます。
- を押しても装飾を確認できます。

■ 装飾をすべて解除するとき

① i［機能］▶ 1「デコレーション」▶ ▶ 4「全解除」を押す

② 1「はい」を押す

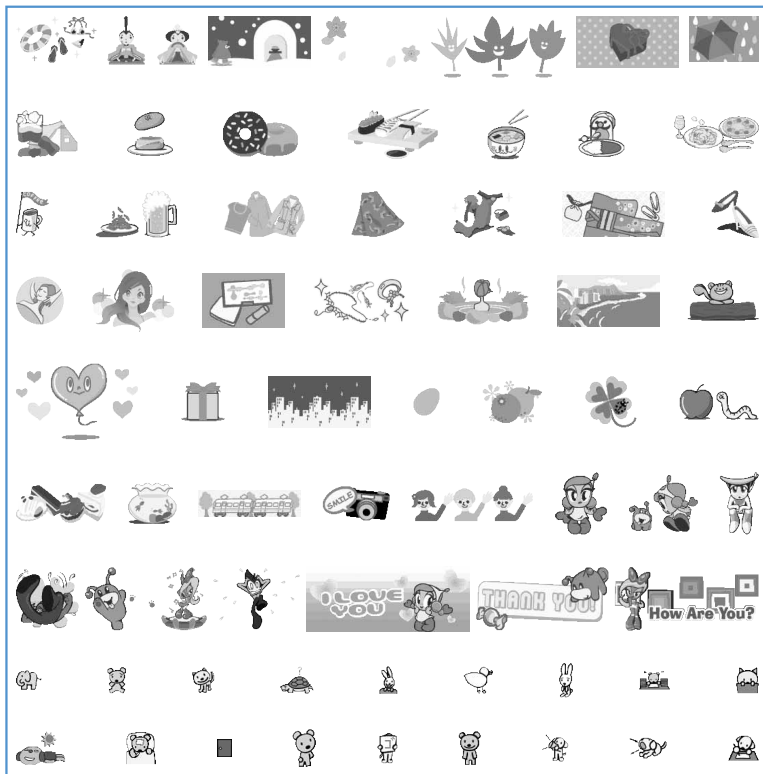
- 中止するときは 2「いいえ」を押します。

お知らせ

- メール本文入力中に i［機能］▶ 1「デコレーション」を押しても操作できます。

メール

「デコメールピクチャ」フォルダに保存されている画像

• お買い上げ時は、「デコメールピクチャ」フォルダに次の画像が保存されています。

範囲を指定してから文字を装飾する

すでに入力されている文字の装飾や、装飾されている文字の装飾変更ができます。
• ライン挿入、画像挿入、背景色、コピー／切り取り／貼り付けは操作できません。

1 本文表示中に i ［機能］ ▶ 1 「デコレーション」を押す

2 ◎ ▶ 3 「デコレーション変更」を押す

3 装飾する範囲の始点にカーソルを合わせて ● を押す

• 文章すべてを選択するときは i ［全選択］を押します。

4 装飾する範囲の終点にカーソルを合わせて ● を押す

5 装飾方法を選択する

■ 文字またはライン（罫線）色を変更するとき

1 「文字色」 ▶ 文字色を選択し、● を押す

■ 文字サイズを変更するとき

2 「文字サイズ」 ▶ 1 〜 3 を押す

■ 文字を点滅させるとき

4「点滅」▶1「設定」を押す

- 点滅を解除するには2「解除」を押します。

■ 文字を流して表示（テロップ表示）させるとき

5「テロップ」▶1「設定」を押す

- テロップを解除するには2「解除」を押します。

■ 文字を左右に揺らして表示（スウィング表示）させるとき

6「スウィング」▶1「設定」を押す

- スウィングを解除するには2「解除」を押します。

■ 文字または画像の表示位置を変更するとき

7「文字位置」▶1～3を押す

お知らせ

- デコメールの場合、「文字色」、「文字サイズ」、「点滅」、「画像」、「ライン」のみコピーまたは切り取り元の装飾情報を引き継ぎます。それ以外の装飾情報については引き継がず、貼り付け先の指定に従います。
- 本文入力中にコピー・切り取りしたデコメール本文をそのまま貼り付けできるのは、その本文のあるメール本文入力画面のみです。それ以外の場所では装飾が解除されテキストデータのみの貼り付けデータになります。また、プレビュー表示や署名挿入など、他の操作を行った場合も装飾が解除される場合があります。
- 装飾したデコメールの本文をコピー・切り取りするとき、装飾データが引き継がれるのは、最後にコピー・切り取りしたもののみです。それ以前のものは装飾が解除され、テキストデータのみの貼り付けデータになります。
- 装飾した文字を削除しても、装飾データのみが残り、入力文字数が少なくなる場合があります。装飾の解除を行ってから文字を削除してください。なお、CLRを1秒以上押して文字を削除した場合は、装飾データを含めて文字が削除されます。
- デコメールを非対応端末に送信した場合、メール本文にデコメール閲覧用のURLをつけて送信し、受信者はURLを選択し、Web To機能によりデコメールを表示・閲覧することができます。また、相手の機種によっては正しく受信できなかったり、表示できない場合があります。
- 受信したデコメールを引用返信、転送した場合、装飾と挿入した画像は引用された状態で本文が表示されます。
- パソコンなどから送信された装飾付きメールを受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。
- 画像のみやラインのみのデータをコピーすると、貼り付けデータ一覧画面には「デコメールデータ」と表示されます。

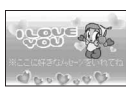
テンプレートを利用する

FOMA 端末に登録されているテンプレートを利用して、デコメールを作成できます。テンプレートとは、レイアウトや装飾がすでに決められているデコメール用の雛形です。テンプレートを利用することにより、簡単にデコメールを作成／送信することができます。

- お買い上げ時は次のテンプレートが登録されています。

ラブラブ　ありがとう　ごめんね　お誕生日おめでとう　お久しぶり！　大丈夫？

飲み会案内　NEW YEAR CARD　HAPPY!　クリスマスカード　花火　スキー

ゴール！　バーベキュー　かざぐるま　You Got Mail　インテリア　ダルメシアン

お花　海　I Love You　Thank You!　How Are You?

©BVIG

お知らせ

- 送受信したデコメールをテンプレートとして登録できます。送受信メール表示画面で [i]［機能］▶「テンプレートへ保存」を選択し、(●) を押します。
- テンプレートは、サイトからダウンロードすることができます。ダウンロードしたテンプレートは「マイピクチャ」→「デコメールピクチャ」に保存され、編集することもできます。→P204

テンプレートを利用してデコメールを作成する<テンプレート選択>

1 メール作成画面で [i]［機能］▶ [2 ABCか]「テンプレート選択」を押す

2 読み込むテンプレートを選択し、(●) を押す

3 内容を追加・修正して送信する

テンプレートの内容がメール作成画面に設定されます。

お知らせ

- メール本文入力中に i ［機能］ ▶ 2 「テンプレート」を押しても操作できます。
- すでにメール本文を入力済みでテンプレートの読み込みを行うと、現在入力中の内容を破棄するかどうかの確認メッセージが表示されます。1 「はい」を押し、テンプレートを選択するとメールは上書きされます。読み込みを中止するときは 2 「いいえ」を押してください。
- テンプレート自体は添付できません。

テンプレートを作成する

テンプレートを新規作成・保存し、デコメール作成に利用できます。

1 ✉ ▶ デコメールテンプレート ▶ 1 を押す

2 テンプレートを作成し、● を押す

- 作成方法について→P233「装飾を指定してから文字を入力する」手順1

3 1 「はい」を押す

- 中止するときは 2 「いいえ」を押します。

お知らせ

- データの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるとき→P376

テンプレート一覧を表示してテンプレートを利用する

登録されているテンプレートを一覧表示し、内容を確認してメール作成画面に設定したり、テンプレートを編集できます。

1 ✉ ▶ デコメールテンプレート ▶ 2 を押す

2 テンプレートを選択する

■ メールを作成するとき

① テンプレート表示中に ✉ ［メール作成］を押す
- テンプレートの内容がメール作成画面に設定されます。

② 内容を追加・修正して送信する

■ テンプレートを編集するとき

① テンプレート表示中に ● を押す
② 内容を追加・修正し、● を押す
③ 1 「上書き保存」または 2 「新規保存」を押す

■ タイトルを編集するとき

① i ［機能］ ▶ 3 「タイトル編集」を押す
② タイトルを入力し、● を押す
- 全角18文字（半角36文字）まで入力できます。

■ テンプレートの情報を見るとき

i ［機能］ ▶ 4 「情報表示」を押す

メール

次ページへつづく

■ デコメールピクチャのファイル名を編集するとき

① [i]［機能］▶ ◎ ▶ [2]「ファイル名編集」を押す

② ファイル名を入力し、● を押す

- 半角36文字まで入力できます。

■ テンプレートを並べ替えるとき

① [i]［機能］▶ ◎ ▶ [3]「ファイルソート」を押す

② [1]～[6] を押す

日付順（新→旧）：保存日時の新しい順に並べ替えます。
日付順（旧→新）：保存日時の古い順に並べ替えます。
タイトル順：タイトルの降順に並べ替えます。
ファイルサイズ（昇順）：ファイルサイズの昇順に並べ替えます。
ファイルサイズ（降順）：ファイルサイズの降順に並べ替えます。
取得元別：取得元の順に並べ替えます。

- 取得元別のソートができるのは、お客様が作成したフォルダ（ユーザーフォルダ）のみです。

テンプレートを削除する

1 テンプレートを選択し、[i]［機能］▶ ◎ ▶ ◎ ▶ [1]「削除」を押す

2 [1]「1件削除」を押す

■ 選択削除するとき

① [2]「選択削除」を押す

② テンプレートを選択し、● を押す

- 解除するときは ● を押します。
- デコメールピクチャを選択したときは、[✉]［再生］を押すとデコメールピクチャが表示されます。

③ [i]［実行］を押す

■ 全件削除するとき

① [3]「フォルダ内全件削除」を押す

② 端末暗証番号を入力し、● を押す

3 [1]「はい」を押す

- 削除しないときは [2]「いいえ」を押します。

メール

ファイルを添付する

iモードメールに静止画やメロディを添付して送信します。また、FOMA端末で撮影またはサイトから取得した動画・iモーションなどを添付して、iモーションメールとして送信できます。

- 添付可能なファイルは以下のとおりです。

ファイルの種類	SMF形式メロディ	10000バイト以下のJPEG、GIF形式静止画	10001バイト以上、500Kバイト以下のJPEG形式静止画（大容量静止画）	500Kバイト以下の動画・iモーション
1件のメールに添付可能な最大件数	10件		1件	
備考	静止画とメロディを合計最大10件、メール本文を含め最大10000バイト添付できます。ファイルサイズによって、添付可能な最大件数は変わります。		大容量静止画と動画・iモーションは、1件のメールに1件のみ添付できます。	

1 メール作成画面で「添付」を選択し、●を押す

2 ファイルを添付する

■ 静止画を添付するとき

① 1 「イメージ添付」を押し、フォルダを選択して●を押す

② 静止画を選択し、●を押す

選択した静止画が添付されます。

- 静止画を選択し、✉［再生］を押すと静止画を表示できます。一覧画面に戻るにはCLRを押します。
- 添付できない静止画は選択できません。
- 位置情報付き静止画を添付する場合は、位置情報URLを付加するかどうかの確認メッセージが表示されます。1「貼り付ける」を押すと、あわせてメール本文に位置情報URLが付加されます。2「位置サイト選択」を押すと、位置サイトを選択できます。3「画像のみ添付」を押すと、画像のみが添付されます。4「キャンセル」を押すと、添付されません。
- 画像サイズがQVGAを超える静止画の場合は、待受画面サイズ（QVGA）に変換するかどうかの確認メッセージが表示されます。1「はい」▶●▶●を押すと、画像が添付されます。ファイルサイズが500Kバイトを超えるJPEG形式の静止画の場合は、自動的に500Kバイト以下に変換されたあと表示され、●を押すとデータBOXに保存され、添付されます。

■ 動画・iモーションを添付するとき（iモーションメール）

① 2 「iモーション添付」を押し、フォルダを選択して●を押す

② 動画・iモーションを選択し、●を押す

選択した動画・iモーションが添付されます。

- 動画・iモーションを選択し、✉［再生］を押すと動画・iモーションを再生できます。一覧画面に戻るにはCLRを押します。
- 添付できない動画・iモーションは選択できません。
- 500Kバイトを超えるiモーションの場合は、ファイルサイズが大きすぎるため、メールに添付可能なサイズに切り出すかどうかの確認メッセージが表示されます。1「はい」を押して動画を切り出してください。→P351

次ページへつづく

■ メロディを添付するとき

① 3「メロディ添付」を押し、フォルダを選択して ● を押す

② メロディを選択し、● を押す

選択したメロディが添付されます。

- メロディを選択し、✉［再生］を押すとメロディを再生できます。一覧画面に戻るには CLR を押します。
- 添付できないメロディは選択できません。

■ 静止画・動画を撮影し、すぐ添付するとき

① 4「フォト撮影」または 5「ムービー撮影」を押す

② 撮影し、● を押す

保存が終わると撮影した静止画・動画が添付されます。
撮影した静止画・動画は、「データBOX」→「マイピクチャ」（静止画）または「iモーション」（動画）→「カメラ」フォルダに保存されます。

■ miniSDメモリーカード内のデータを添付するとき

① 6「miniSD」を押し、フォルダを選択して ● を押す

② データを選択し、● を押す

選択したデータが添付されます。

- 静止画、動画・iモーション、メロディを選択し、✉［再生］を押すとそれぞれ再生できます。一覧画面に戻るには CLR を押します。
- 添付できない静止画、動画・i モーションやメロディを選択すると、そのデータは選択できない旨のメッセージが表示されます。

お知らせ

- 動画・iモーションや大容量静止画を添付した場合、本文に入力できる文字数が全角100文字（半角200文字）分、デコメールで全角200文字（半角400文字）分少なくなります。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは添付できません。
- movaサービスのiモード端末には、JPEG形式の静止画1枚のみ添付できます。その場合、movaサービスのiモード端末はURL付きのiショットメールとして受信します。
- ファイルを1つ以上添付している場合にフォト撮影やムービー撮影して添付すると、添付ファイルが解除される旨のメッセージが表示されます。1「はい」を押すと添付ファイルが解除されます。
- メロディやGIF形式の静止画を添付すると、movaサービスのiモード端末では受信できません。
- iモーションメールでは、撮影した動画などを本文を除き500Kバイトまで添付できます。最大サイズを超えたiモーションは添付できません。また、iモーションによっては添付できないものもあります。
- 受信側がSA700iS以外の場合、送信したメロディが正しく再生できないことがあります。
- 静止画をQVGAサイズ（240×320）に縮小できます（→P339）。QVGAサイズは待受画面のサイズであり、iモード端末に送るのに適したサイズです。
- 10000バイトを超えるJPEG形式の静止画が添付されたメールをiモード対応端末に送信した場合、iショットセンターでiモード対応端末に送るのに適したサイズに変換されます。
- 10000バイトを超えるGIF形式の静止画はメールに添付できません。
- iモーションメール送信時、送信相手側機種によっては、動画が荒くなったり、連続静止画に変換されて表示される場合があります。
- 位置情報付き静止画を添付したメールを送信した場合、添付された静止画の位置情報は削除されます。ただし、本文の位置情報URLは削除されません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

添付ファイルを再生／変更／情報表示／解除する

1 メール作成画面で添付ファイルを選択し、◉を押す

■ 添付ファイルを再生するとき

1.@あ「再生」を押す

■ 添付ファイルを変更するとき

2ABCか「変更」を押す

- 以降の操作：→P241「ファイルを添付する」手順2

■ 添付ファイル情報を表示するとき

3DEFさ「情報表示」を押す

■ 添付ファイルを解除するとき

① 4GHIた「解除」を押す

② 1.@あ「はい」を押す

- 中止するときは2ABCか「いいえ」を押します。

iモードメール保存

iモードメールを保存しておき、あとで送信する

作成途中のメールを送信せずに保存したり、保存したメールを再編集して送信したりできます。

- 送信済み・未送信のiモードメールとSMSは、送信BOXと未送信BOXあわせて400件まで保存できます。

iモードメールを保存する

作成途中のiモードメールを、送信せず未送信BOXに保存しておきます。

1 メール作成画面で i［機能］▶ 1.@あ「保存」を押す

- 題名、宛先、本文のいずれかが入力されているか、ファイルが添付されていると保存できます。

2 1.@あ「はい」を押す

送信・保存したiモードメールを編集・送信する

送信済みや、送信せずに保存したり送信に失敗したiモードメールやSMSを、編集·送信できます。

1 ✉▶ 送信BOX または 未送信BOX を押す

2 フォルダを選択し、◉を押す

3 編集するメールを選択し、◉を押す

4 メールを編集し、送信する

ツータッチメール作成

手早くｉモードメールを作成する

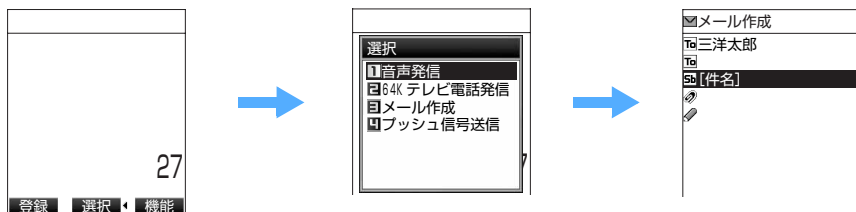
FOMA端末電話帳のメモリダイヤル番号0～99の相手には、簡単な操作でｉモードメールを作成できます。

• 複数のメールアドレスが登録されている場合、1件目のメールアドレスが宛先となります。

〈例〉メモリダイヤル番号27の相手にｉモードメールを送信するとき

1 待受画面でメモリダイヤル番号（この場合は 2 7）を押す

2 ● ▶ 3「メール作成」を押す

電話帳の1件目のメールアドレスが宛先に設定されます。

• メモリダイヤル番号の前に0などを付ける必要はありません。
• ｉモードメールの作成・送信方法→P230

お知らせ

• 入力したメモリダイヤル番号に電話帳データが登録されていない場合は、メール作成できません。

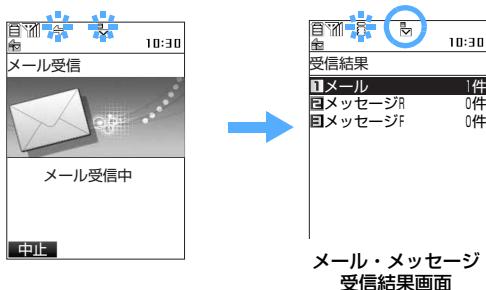
メール自動受信

ｉモードメールを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、ｉモードメールを自動的に受信します。受信したｉモードメールは受信BOXに保存されます。

• 受信BOXにはSMSとあわせて1000件まで保存できます。
• 以下のようなときに送られてきたｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されます。
  - テレビ電話通話中
  - セルフモード中
  - 赤外線通信利用中
  - 電源が入っていないとき
  - ｉモード圏外
  - メール選択受信設定ON中
  - 受信BOXが保護や未読メールで満杯のとき
  - FirstPassセンター接続中

1 iモードメールを受信する

メール・メッセージ
受信結果画面

と が点滅し、「メール受信中」と表示されます。受信が完了すると が点滅し、 が点灯します。

- ：未読のiモードメールとSMSがあります。
- ：未読のiモードメールがあります。

メール着信音が鳴り、着信ランプが点灯／点滅して受信件数が表示されます。

- メール受信中に [中止] を押すと受信を中止できます。受信時の状況によってはメールを受信する場合があります。
- FOMA端末を折りたたんでいるときは、背面ディスプレイに受信状態が表示されます。→P29
- 受信結果画面は約30秒間表示されます。何も操作しないでいると、自動的に受信前の画面に戻ります。
- iモード問合せ・メール選択受信を行ったときは、受信結果画面が表示され続けます。

新着iモードメールを表示する

1 メール・メッセージ受信結果画面で 1 「メール」を押す

- 2「メッセージR」、3「メッセージF」を押すと、メッセージR/Fが表示されます。

2 フォルダを選択し、● を押す

3 メールを選択し、● を押す

- 受信メールの見かた→P256

メール

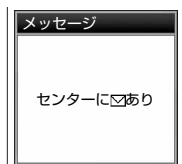
お知らせ

- 受信優先設定によっては、受信中画面や受信結果画面が表示されない場合があります。
- メール選択受信設定を「ON」に設定すると、メールを自動的に受信せずに、必要なメールだけを選択して受信できます。
- 新しいｉモードメールが届いたときには、ｉモードセンターで保管している他のｉモードメールやメッセージR/Fもあわせて受信します。
- FOMA端末がｉモードメールを受信すると、ｉモードセンター内のｉモードメールは削除されます。
- TO、CC、BCCを設定できる端末からのメールを受信した場合、自分がTO、CC、BCCのどれに当てはまるかを確認できます。→P256
- 極端に容量の大きいｉモードメールは、ｉモードセンターで受け付けずに、エラーメッセージと共に送信者に返信されることがあります。
- ｉモードメールではメロディや静止画を添付ファイルとして送受信できます。対応していない添付ファイルはｉモードセンターで削除されます。添付ファイルが削除された場合は、本文に［添付ファイル削除］のメッセージが追加されます。
- 受信メール（本文＋添付ファイル）のデータ量が、オプション設定の「メールサイズ制限」で設定した文字数（データ量）を超えた場合は、添付ファイルはｉモードセンターで削除され、もう一度受信できません。
- 添付ファイル受信設定が「受信しない」に設定されている場合は、添付ファイルはｉモードセンターで削除され、削除された添付ファイルを再度受信することはできません。
- 複数のｉモードメール、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメール、メッセージR/Fに設定されている条件に従い着信音やバイブレータ、着信ランプが動作します。
- SMS受信中にｉモードメールは受信できません。
- ｉモードメールを自動受信できないときは、ｉモードメールセンターに保管されます。保管されたメールは一定の時間をおいて最大3回再送されます。
- 受信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない既読の受信メールから古い順に上書きされます。残しておきたい受信メールは保護してください。→P265
- 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、ｉモードメールの受信は中止され、画面には が表示されます。
- ｉモードセンターにｉモードメールが残っているときは、 が表示されます。ただし、ｉモードメールがあっても表示されない場合もあります。（例：電源が入っていないとき、圏外時）また、ｉモードセンターの保管件数が満杯になったときは、 （オレンジ）が表示されます。
- 途中で受信に失敗した場合は、ｉモード問合せまたはメール選択受信を行ってｉモードメールを受信し直してください。

メール選択受信

ｉモードメールを選択して受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。メール選択受信をご利用になるためには、あらかじめメール選択受信設定を「ON」に設定します。なお、「ON」に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。

ｉモードメールが届いたときは

メール選択受信設定を「ON」に設定しているときにｉモードメールを受信すると、センターにメールがある旨のメッセージで確認できます。

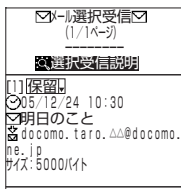
- メールを受信しても着信音やバイブレータは動作しません。
- ⦿を押すと待受画面または元の画面に戻ります。

iモードメールを選択受信する

1 ✉ ▶ [メール選択受信] を押す

■ メール選択受信設定が「OFF」のとき

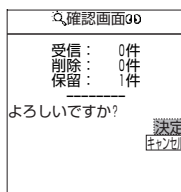
1「はい」▶ 1「ON」を押す

• 設定しないときは 2「OFF」を押します。

iモードに接続され、iモードセンターに保管されているiモードメールが一覧表示されます。

• メールの末尾のアイコンの意味は次のとおりです。
  - 📷：静止画ファイルが添付されています。
  - ♪：メロディファイルが添付されています。
  - 🎥：iモーションが添付されています。

2 メールごとにプルダウンメニューから「受信」「削除」「保留」のいずれかを選択する

• 「保留」を選択した場合は、そのままｉモードセンターに保管されます。ｉモード問合せなどで受信できます。
• ページが複数ある場合は、メール一覧の最後に表示される「前ページ」「次ページ」を選択して ⦿ を押すと、前後のページを表示できます。

3 「受信／削除」を選択し、⦿ を押す

■ iモードセンターに保管されている全メールを削除するとき

「iモードセンターからすべてのメールを」の「削除」を選択し、⦿ を押す

4 「決定」を選択し、⦿ を押す

お知らせ

• プルダウンメニュー項目の選択方法：→P189
• メール選択受信設定を「ON」に設定した場合でも、ｉモード問合せをすると全メールを受信しますので、受信したくない場合には、ｉモード問合せ設定の項目から「メール」を外しておいてください。→P271

iモード問合せ

iモードメールがあるかどうかを問い合わせる

圏外にいた時や電源を切っていた時にiモードメールが届いていないかを問い合わせます。

- 電波状態によってはiモード問合せができない場合がありますのでご了承ください。

1 ▶ iモード問合せ を押す

iモードセンターにiモードメールが保管されていれば受信します。

- メッセージR/Fの問い合わせの操作は、iモードメールと同じです。

お知らせ

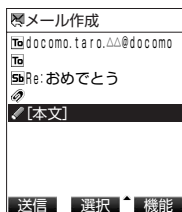
- iモードセンターにiモードメールが保管されているときは、が表示されます。ただし、iモードセンターに保管されているときでもが表示されない場合があります。(例:電源が入っていないとき、圏外時)
- お買い上げ時は、「メール」「メッセージ R」「メッセージ F」すべてを受信する設定になっています。メッセージRやメッセージFの配信を希望されない場合は、設定を解除してください。→P271

iモードメール返信

iモードメールに返信する

受信したiモードメールやSMSに返信します。iモードメールへの返信には、返信する宛先のみ入力する方法と、受信したiモードメールの本文を引用する方法があります。

- 受信メールによっては返信できない場合があります。

1 受信メール一覧画面でメールを選択し、[i]［機能］▶ [1]「返信」を押す

題名には先頭に「Re:」の付いた受信メールの題名が入力されています。(iモードメールのみ)

- 受信したiモードメールの本文を引用するには [2]「引用返信」を押します。

■ 複数の宛先に送られた受信メールに返信するとき

[1]「送信元」または [2]「全員」を押す

2 メールを編集して送信する

- 返信すると、次回受信メール一覧画面を表示したときに受信メールの状態マークがから に変わります。

メール

お知らせ

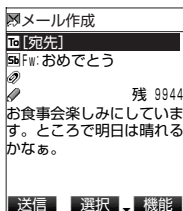
- 受信メール表示画面から返信する場合は、[✉]［返信］を押します。引用返信の場合は [i]［機能］▶ [1] 「引用返信」を押します。
- 「引用返信」する際に引用した本文の先頭に付ける引用文字を設定できます。→P271
- SMSには引用返信できません。
- 受信メールの添付ファイルは、返信メールには添付されません。
- 発信元に非通知理由（「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」）が表示される受信SMSや、movaサービスのiモード端末から送信されたショートメールには返信できません。
- メール本文にiアプリToがある場合、返信や転送をするとiアプリToは引用できません。また、データリンクソフトや赤外線通信時もiアプリ To は引用できません。
- メール添付やFOMA 端末外への出力が禁止されているファイルがデコメールの本文に挿入されている場合、引用返信時に削除されます。

iモードメール転送

iモードメールを他の宛先に転送する

受信したiモードメールやSMSを他の宛先に転送できます。

- 受信したメールの種別でそれぞれ転送されます。
- 受信メールに添付ファイルがある場合は、そのまま転送メールに添付されます。

1 受信メール一覧画面でメールを選択し、[i]［機能］▶ [3]「転送」を押す

題名には先頭に「Fw:」の付いた受信メールの題名が入力されています。（iモードメールのみ）

2 宛先を入力して送信する

- 転送すると、次回受信メール一覧画面を表示したときに受信メールの状態マークが✉から↪に変わります。

お知らせ

- 受信メール表示画面から転送する場合は [i]［機能］▶ [2]「転送」を押します。
- 受信メールの添付ファイル（静止画、メロディ）のうち、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは転送メールに添付されません。
- 10000 バイトを超える静止画（大容量静止画）が添付されたメールで画像を取得していない場合は、転送時に画像は添付されません。
- メール本文にiアプリ起動の貼付データ（iアプリ To）がある場合、返信や転送をするとiアプリ To は引用できません。また、データリンクソフトや赤外線通信時もiアプリ To は引用できません。
- メール添付やFOMA 端末外への出力が禁止されているファイルがデコメールの本文に挿入されている場合、転送時に削除されます。
- 受信したデコメールを引用した場合、装飾と挿入されている画像は引用された状態で本文が表示されます。また、転送時にサイズオーバーとなった場合は、サイズオーバーで送信できない旨のメッセージが表示されます。

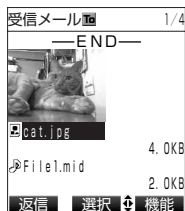
メロディ保存

iモードメールからメロディを再生・保存する

受信したiモードメールに添付または貼り付けられたメロディを再生・保存します。

- 送信側がSA700iS以外の場合、送られてきたメロディが正しく再生できないことがあります。

メロディを再生する

1 メロディが添付されているiモードメールを表示する

- 添付ファイル種別のアイコンについて→P255
- メロディ自動再生設定を「自動再生する」に設定しているときは、iモードメールを表示すると自動的にメロディが再生されます。

2 メロディを選択し、● ▶ 1「再生」を押す

- 再生を途中で止めるときは ✉［停止］を押します。

■ メロディを着信音などに設定するとき

3「設定」を押す

- メロディは、「データBOX」→「メロディ」→「iモード」フォルダに保存されます。miniSDメモリーカードからインポートされたメールなどメールによっては、「データ交換」フォルダに保存される場合があります。
- 以降の操作：→P359「メロディを着信音などに設定する」手順3

■ メロディの情報を見るとき

4「情報表示」を押す

■ メロディを削除するとき

① **5「削除」を押す**

② **1「はい」を押す**

- 削除しないときは 2「いいえ」を押します。

添付ファイル一覧からメロディを再生する

1 メロディが添付されているiモードメールを表示する

2 i［機能］▶ 7「添付ファイル確認」を押す

3 メロディを選択し、● を押す

お知らせ

- 添付ファイル一覧で添付ファイルを選択し、i［機能］を押して、着信音などへの設定、情報表示、削除を行うことができます。
- メールを表示したときにメロディを自動再生させたくないときは、メロディ自動再生設定を「自動再生しない」に設定してください。

メール

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

メロディを保存する

1 メロディが添付されているｉモードメールを表示する

2 メロディを選択し、● ▶ 2 「保存」を押す

メロディは、「データBOX」→「メロディ」→「ｉモード」フォルダに保存されます。miniSDメモリーカードからインポートされたメールなどメールによっては、「データ交換」フォルダに保存される場合があります。

添付ファイル一覧からメロディを保存する

1 メロディが添付されているｉモードメールを表示する

2 ｉ［機能］▶ 7 「添付ファイル確認」を押す

3 メロディを選択し、✉［保存］を押す

お知らせ

- データの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるとき→P376

画像メール受信

画像メールの画像を表示する

受信したｉモードメールに添付された静止画を表示・保存します。

静止画を表示する

1 静止画が添付されているｉモードメールを表示する

- 添付ファイル種別のアイコンについて→P255
- １つ目の添付ファイルが自動的に表示されます。

2 静止画を選択し、● ▶ 1 「再生」を押す

■ 静止画を待受画面などに設定するとき

3 「設定」を押す

- 静止画は、「データBOX」→「マイピクチャ」→「ｉモード」フォルダに保存されます。miniSDメモリーカードからインポートされたメールなどメールによっては、「データ交換」フォルダに保存される場合があります。
- 以降の操作：→P338「画像を待受画面などに設定する」手順２～４

■ 静止画の情報を見るとき

4 「情報表示」を押す

■ 静止画を削除するとき

① 5 「削除」を押す

② 1 「はい」を押す

- 削除しないときは 2 「いいえ」を押します。

メール

添付ファイル一覧から静止画を表示する

1 静止画が添付されているｉモードメールを表示する

2 [i]［機能］▶[7]「添付ファイル確認」を押す

3 静止画を選択し、[●]を押す

お知らせ

- 添付ファイル一覧表示中に [i]［機能］を押して、待受画面などへの設定、情報表示、削除ができます。ただし、大容量静止画の場合は削除できません。
- 取得できる静止画は、JPEG 形式または GIF 形式で 100K バイトまでです。また、500K バイトまでのJPEG形式の静止画（大容量静止画）が添付されたメールを受信した場合、適したサイズに変換されたあと取得できます。
- ｉモードメールに添付された 10000 バイトを超える JPEG 形式の静止画（大容量静止画）は、自動的に取得されます。自動取得された大容量静止画は、自動的に「データBOX」→「マイピクチャ」→「ｉモード」フォルダに保存されます。
- 大容量静止画を自動的に取得できなかった場合は、ｉモードメール中の「[📷]」を選択し、[●]▶[1]「データ取得」を押すと画像を取得することができます。[●]▶[2]「URL 表示」を押すと、取得元のURLを表示できます。
- 静止画のサイズがディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。ただし、大きすぎるときは表示されないことがあります。
- 静止画によっては正しく表示できない場合があります。また、表示できるサイズは、横240 ドット×縦320ドットまでです。サイズを超えた場合は、受信はできても表示することができません。

静止画を保存する

1 静止画が添付されているｉモードメールを表示する

2 静止画を選択し、[●]▶[2]「保存」を押す

静止画は、「データBOX」→「マイピクチャ」→「ｉモード」フォルダに保存されます。miniSDメモリーカードからインポートされたメールなどメールによっては、「データ交換」フォルダに保存される場合があります。

■ デコメール内の静止画を保存するには

① [i]［機能］▶[6]「画像確認」を押す
② [◎]で静止画を選択し、[●]を押す
③ [1]「はい」を押す
- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

④ フォルダを選択し、[●]を押す

画像は「データBOX」→「マイピクチャ」→「ｉモード」または「デコメールピクチャ」フォルダに保存できます。

添付ファイル一覧から静止画を保存する

1 静止画が添付されているｉモードメールを表示する

2 [i]［機能］▶[7]「添付ファイル確認」を押す

3 静止画を選択し、[✉]［保存］を押す

＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→ P361

お知らせ

- 送信メールに添付した静止画も同様の操作で保存できます。
- データの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるとき→P376

iモーションメール

iモーションメールからiモーションを再生・保存する

iモーションメールで送られてきた動画・iモーションのデータは、iモーションメールセンターに保管され、iモーション閲覧のためのURLが付加されたメールを受信します。

- 取り込めるiモーションは、500Kバイトまでです。

1 iモーションのURLを含むiモードメールを表示する

2 iモーションのURLを選択し、◉▶1「サイト接続」を押す

3 i［接続］を押す

iモーションメールセンターに接続され、iモーションの受信が始まります。

- i モーション自動再生設定を「自動再生する」に設定しているときは、ダウンロードが完了すると自動的にiモーションが再生されます。
- データ取得中に✉［中止］を押すと、取得が中止されます。

4 ダウンロードが完了したら1「再生」を押す

iモーションが再生されます。

- 再生画面の操作方法→P343

■ iモーションを保存するとき

2「保存」を押す

- iモーションは、「データBOX」→「iモーション」→「iモード」フォルダに保存されます。

■ iモーションを待受画面などに設定するとき

3「設定」を押す

- iモーションは、「データBOX」→「iモーション」→「iモード」フォルダに保存されます。
- 以降の操作：→P346「動画・iモーションを音声着信などに設定する」手順3

■ iモーションの情報を見るとき

4「情報表示」を押す

■ メール表示画面に戻るとき

5「戻る」を押す

- i モーションを保存していないときは、ユーザー確認画面が表示されます。1「はい」を押すと、iモーションを保存せずにメール表示画面に戻ります。

お知らせ

- iモーション再生中に i［機能］を押しても、情報表示や拡大再生などができます。
- 送信メールに添付されている動画・iモーションも同様にして再生できます。ただし、動画・iモーションがFOMA端末から削除されているときは再生できません。
- iモード端末へiモーションメールを送信した場合、iモーションセンターに保存されたiモーション閲覧用URL1件につき50回まで取得することができます。50回を超えた場合は、iモーションの取得ができなくなります。
- メールに添付されたiモーションをパソコンなどで再生する場合は、対応のソフトが必要となります。詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

受信メールBOX／送信メールBOX

受信／送信メールBOXのメールを表示する

受信したメールは受信BOXに、送信したメールは送信BOXに保存されます。また、保存したメールや送信に失敗したメールは未送信BOXに保存されます。

- 送信メール、未送信メールは、iモードメールとSMSを合わせてそれぞれ400件まで、受信メールは1000件まで保存できます（データの大きさによって、保存できる件数は変わります）。

〈例〉受信メールを表示する

1 ✉▶ 受信BOX を押す

受信フォルダ一覧画面が表示されます。

- 送信メールを表示するには 送信BOX を、未送信メールを表示するには 未送信BOX を押します。

2 フォルダを選択し、● を押す

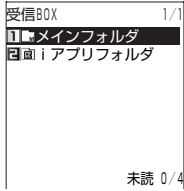
受信メール一覧画面が表示されます。

3 表示するメールを選択し、● を押す

受信メール表示画面が表示されます。

- ◐ を押すと、前後のメールを表示できます。

お知らせ

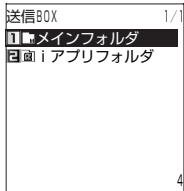
- 受信BOXや送信BOXの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない既読の受信メールや保護されていない送信メールから古い順に上書きされます。必要なメールは保護することをおすすめします。
- 受信／送信したメールの添付ファイルを確認するには、i［機能］▶「添付ファイル確認」を選択し、● を押します。
- メール連動型iアプリ用フォルダを選択すると、対応するソフトが起動します。
- ソフトを起動させずにメール連動型iアプリ用フォルダ内のメールを見るときは、メール連動型iアプリ用フォルダを選択中に i［機能］▶ ◐ ▶ 1「フォルダ内全件表示」を押します。
- パソコンなどから送信された装飾付きメールを受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。
- デコメールを表示した場合、デコメールの背景色によっては画像やiモーション取得先URLの文字色と重なってURLが見えない場合があります。
- 送受信したデコメールをテンプレートとして登録できます。送受信メール表示画面で i［機能］▶「テンプレートへ保存」を選択し、● を押します。
- miniSDメモリーカードにエクスポートしたメールは他の機器にコピーできます。（一部対応していない機器もあります）

メール

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

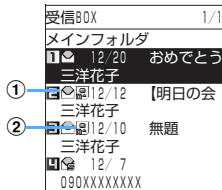
フォルダ一覧画面の見かた

受信フォルダ一覧画面の見かた

- フォルダ種別（作成したフォルダにはMは表示されません）
  - ：未読メールなし
  - ：未読メールあり
  - ：未読メールなしでセキュリティ設定ON
  - ：未読メールありでセキュリティ設定ON
  - ：メール連動型iアプリ用フォルダに未読メールなし
  - ：メール連動型iアプリ用フォルダに未読メールあり
  - ：メール連動型iアプリ用フォルダに未読メールなしでセキュリティ設定ON
  - ：メール連動型iアプリ用フォルダに未読メールありでセキュリティ設定ON

送信・未送信フォルダ一覧画面の見かた

- フォルダ種別（作成したフォルダにはMは表示されません）
  - ：セキュリティ設定ON
  - ：セキュリティ設定OFF
  - ：メール連動型iアプリ用フォルダでセキュリティ設定ON
  - ：メール連動型iアプリ用フォルダでセキュリティ設定OFF

受信／送信／未送信メールのメール一覧画面／表示画面の見かた

受信メール一覧画面の見かた

① メール種別

- ：未読メール
- ：既読メール
- ：返信済みメール
- ：転送済みメール
- ：未読SMS
- ：既読SMS
- ：返信済みSMS
- ：転送済みSMS
- ：未読メールで保護
- ：既読メールで保護
- ：返信済みメールで保護
- ：転送済みメールで保護
- ：未読SMSで保護
- ：既読SMSで保護
- ：返信済みSMSで保護
- ：転送済みSMSで保護

② 添付ファイル種別

- ：静止画
- ：メロディ
- ：大容量静止画
- ：無効ファイル
- ：UIM実行制限ファイル
- ：iアプリ連携
- ：静止画（削除済み）
- ：メロディ（削除済み）
- ：大容量静止画（削除済み）
- ：FOMAカード内SMS
- ：メッセージiアプリ

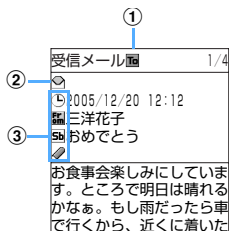
- 電話帳に登録されている発信元の場合、名前が表示されます。
- 受信日時には、当日の場合は時刻、当日以外は日時が表示されます。

メール

次ページへつづく

お知らせ

- iモードメールでは、発信元または宛先のメールアドレスが電話帳のメールアドレスと一致すれば、電話帳に登録された名前で表示されます。SMSでは、発信元または宛先の電話番号が電話帳の電話番号と一致すれば、電話帳に登録された名前で表示されます。
- 10000バイトを超える画像（大容量静止画）が添付されているときは、静止画やメロディが添付されていても、[大容量静止画アイコン]が表示されます。また、静止画やメロディのみ複数添付されているときは、先頭に添付されているファイルのアイコンが表示されます。

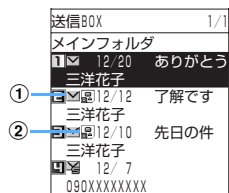
受信メール表示画面の見かた

① 受信タイプ種別

- To：送信元からTOに設定されたメール
- Cc：送信元からCCに設定されたメール
- Bcc：送信元からBCCに設定されたメール

② メール種別・添付ファイル種別は受信メール一覧画面と同じです。

③ 項目種別

- [時計]：受信日時
- From：発信元
- From：返信できない発信元
- Sb：件名
- [鉛筆]：本文

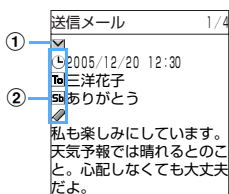
送信／未送信メール一覧画面の見かた

① メール種別

- [アイコン]：送信済みメール
- [アイコン]：送信済みメールで保護
- [アイコン]：送信済みSMS
- [アイコン]：送信済みSMSで保護
- [アイコン]：未送信メール
- [アイコン]：送信失敗メール
- [アイコン]：未送信SMS
- [アイコン]：送信失敗SMS

② 添付ファイル種別

- [アイコン]：静止画
- [アイコン]：静止画（削除済み）
- [アイコン]：メロディ
- [アイコン]：メロディ（削除済み）
- [アイコン]：iモーション
- [アイコン]：iモーション（削除済み）
- [アイコン]：大容量静止画
- [アイコン]：大容量静止画（削除済み）
- [アイコン]：無効ファイル
- UIM：FOMAカード内SMS
- [アイコン]：UIM実行制限ファイル
- [アイコン]：メッセージiアプリ
- [アイコン]：iアプリ連携

- 送信日時には、当日の場合は時刻、当日以外は日付が表示されます。
- 電話帳に登録されている宛先の場合、名前が表示されます。

送信／未送信メール表示画面の見かた

① メール種別・添付ファイル種別は送信／未送信メール一覧画面と同じです。

② 項目種別

- [時計]：送信日時
- To：宛先
- Sb：件名
- [鉛筆]：本文

お知らせ

- 送信日時・保存日時の表示には日付時刻設定が必要です。→P46

メール

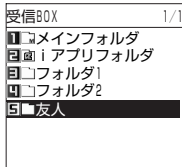
フォルダを作成・編集・削除する

メールを保存するフォルダの作成や削除をします。

フォルダを作成する

- 受信BOXと送信BOXに「メインフォルダ」とメール連動型iアプリ用フォルダを含めて24個まで作成できます。すでに24個のフォルダがある場合は、メール連動型iアプリをダウンロードできません。
- メールフォルダのみが残っているメール連動型iアプリを再度ダウンロードする場合、そのフォルダを利用できますが、フォルダにセキュリティが設定されている場合は、端末暗証番号を入力したあとに、ダウンロードすることができます。フォルダを利用しない場合は、フォルダを削除して、新規フォルダを作成することができます。ただし、新規フォルダを作成しない場合は、メール連動型iアプリをダウンロードすることができません。

1 フォルダ一覧画面で [i]［機能］▶ [1.@あ]「フォルダ作成」を押す

2 フォルダ名を入力し、● を押す

BOX内にフォルダが作成されます。
- 全角8文字（半角16文字）まで入力できます。

フォルダ名を編集する

1 フォルダを選択し、[i]［機能］▶ [2ABCか]「フォルダ名編集」を押す

2 新しいフォルダ名を入力し、● を押す

お知らせ

- メール連動型iアプリをダウンロードした場合、受信BOX・送信BOX・未送信BOXにiアプリメール用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はソフト名と同じになり、変更はできません。

フォルダを削除する

- お買い上げ時に登録されている「メインフォルダ」は削除できません。
- 保護されているメールがあるフォルダは削除できません。保護解除してからフォルダを削除してください。

1 フォルダを選択し、[i]［機能］▶ [7PQRSま]「フォルダ削除」を押す

2 端末暗証番号を入力し、● を押す

3 [1.@あ]「はい」を押す

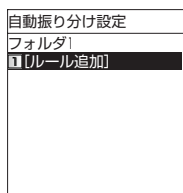
- 中止するときは [2ABCか]「いいえ」を押します。
- メール連動型iアプリ用フォルダは、対応するメール連動型iアプリがある場合は削除できません。削除すると、送信・未送信フォルダ一覧画面に作成されたメール連動型iアプリ用フォルダも削除することができます。

メールを自動的にフォルダに振り分ける<自動振り分け設定>

受信／送信したｉモードメールやSMSを、振り分け条件によって自動的にフォルダに振り分けます。

- 「メインフォルダ」には設定できません。
- 受信メール、送信メールの振り分け条件は、各フォルダにそれぞれ８件まで登録できます。

振り分け条件を設定する

1 フォルダを選択し、i［機能］▶3「自動振り分け設定」を押す

2 1「ルール追加」を押す

3 振り分け条件を選択する

- 送信BOXに設定する場合、1「送信先アドレス」、3「全送信メール」と表示されます。

■ 送信元アドレスを電話帳から入力するとき

① 1「送信元アドレス」▶1「電話帳引用」を押す
② 電話帳を選択し、●を押す
③ メールアドレスを選択し、●を押す

■ 送信元アドレスを送受信アドレス履歴から入力するとき

① 1「送信元アドレス」▶
2「送信アドレス履歴引用」または3「受信アドレス履歴引用」を押す
② メールアドレスを選択し、●を押す
③ ●を押す

■ 送信元アドレスを送信グループから入力するとき

あらかじめメール設定で送信グループを登録しておく必要があります。

① 1「送信元アドレス」▶4「送信グループ引用」を押す
② ◀▶でグループを選択する
③ 引用する宛先を選択し、●を押す

■ 送信元アドレスを自局情報から入力するとき
① 1 「送信元アドレス」▶ 5 「自局情報引用」を押す
② メールアドレスを選択し、● を押す

■ 送信元アドレスを直接入力するとき
① 1 「送信元アドレス」▶ 6 「直接入力」を押す
② メールアドレスを入力し、● を押す

■ 件名から設定するとき
① 2 「件名」を押す
② 件名を入力し、● を押す
件名を示す Sb が表示されます。

■ 全受信メールから設定するとき
3 「全受信メール」を押す

お知らせ

- 振り分けは次の優先順位で行います。
  ① 件名
  ② 送信元(送信先)アドレス
  ③ 全受信(全送信)メール
- 振り分け条件が他のフォルダにすでに設定されている場合、フォルダを変更して設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。1「はい」を押すと操作中のフォルダに設定されます。
- メール連動型iアプリ用のフォルダに「メール振り分け設定」する場合、メール連動型iアプリがメールを利用するか設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。1「はい」を押すとメール連動型iアプリ用のフォルダに設定されます。
- 通常のメールをメール連動型iアプリ用フォルダにも自動振り分けすることができます。この場合、メール連動型iアプリの振り分け条件が優先されます。
- メール連動型iアプリに対応したメールを受信・送信した場合は、自動的にiアプリ用フォルダに振り分けされます。
- メール連動型iアプリをダウンロードするときに、すでに受信しているiアプリメールを自動的に作成されたフォルダに振り分けることができます。また、手動での振り分けもできます。

振り分け条件を編集する

1 フォルダを選択し、i [機能] ▶ 3 「自動振り分け設定」を押す

2 ルールを選択し、● を押す

3 1 「はい」を押す

- 以降の操作：→P258「振り分け条件を設定する」手順3

■ 振り分け条件を削除するとき
① ✉ [削除] ▶ 1 「1件削除」を押す
  - 2 「全件削除」のときは端末暗証番号を入力し、● を押します。
② 1 「はい」を押す
  - 削除しないときは 2 「いいえ」を押します。

お知らせ

- 「送信元(送信先)アドレス」、「件名」が設定済みのフォルダに「全受信(全送信)メール」を設定しようとすると、設定済みの条件は削除する旨の確認メッセージが表示されます。1「はい」を押すと設定済みの条件は削除され、「全受信(全送信)メール」が設定されます。

自動振り分け設定した後にメールを再振り分けする

自動振り分け設定の変更やフォルダ移動したメールなどを、現在の振り分け設定されているフォルダに移動します。
- すべてのフォルダのメールが対象になります。

1 フォルダ一覧画面で i ［機能］▶ 4GHIた 「メール再振り分け」を押す

2 1.@あ 「はい」を押す
- 中止するときは 2ABCか 「いいえ」を押します。

お知らせ

- セキュリティが設定されているフォルダがある場合、再振り分けの対象とするかどうかの確認メッセージが表示されます。1.@あ「はい」を押して端末暗証番号を入力すると、メールが再振り分けされます。2ABCか「いいえ」を押すと、セキュリティが設定されているフォルダ以外が再振り分けされます。

フォルダを並べ替える

受信／送信／未送信BOX内のフォルダを並べ替えます。
- 「メインフォルダ」は並べ替えられません。

〈例〉受信フォルダを並べ替えるとき

1 フォルダを選択し、i ［機能］▶ 5JKLな 「フォルダ並べ替え」を押す

2 フォルダを選択し、● を押す

3 ◎ で移動先を選択し、● を押す

他のフォルダを並べ替えるときは、つづけて手順2～3を操作します。

4 i ［完了］を押す

フォルダにセキュリティをかける

セキュリティを設定されたフォルダの閲覧や削除、自動振り分け設定などの操作時に、端末暗証番号の入力が必要になるため、他の人に見られなくなります。
- フォルダにセキュリティが設定されているメール連動型iアプリは、自動起動やiアプリ待受画面を起動することができません。
- メール連動型iアプリのフォルダにセキュリティが設定されている場合は、端末暗証番号を入力したあとに再度ダウンロードすることができます。

〈例〉受信フォルダにセキュリティをかけるとき

1 フォルダを選択し、i ［機能］▶ 6MNOは 「セキュリティ設定」を押す

解除するときは、6MNOは 「セキュリティ解除」を押します。

2 端末暗証番号を入力し、● を押す

選択したフォルダにセキュリティが設定されます。

メール

お知らせ

- フォルダ移動やメール振り分け設定によってセキュリティが設定されたフォルダへメールが移動する場合、端末暗証番号の入力は不要です。

メールを全件表示する<フォルダ内全件表示>

受信／送信／未送信メールをフォルダごとに全件表示します。

〈例〉受信フォルダを全件表示するとき

1 フォルダを選択し、i［機能］▶ ◎ ▶ 1「フォルダ内全件表示」を押す

2 確認が終わったら CLR を押す

■ BOX内のメールをすべて表示するには

i［機能］▶ ◎ ▶ 2「受信メール全件表示」を押す

- メール全件一覧が表示されます。

フォルダ設定を元に戻す

フォルダに設定した内容がリセットされます。

- 以下のようにリセットされます。
  - フォルダ名→「新しいフォルダ」
  - セキュリティの設定→「OFF」
  - 自動振り分け設定→「ルールなし」

〈例〉受信フォルダの設定を元に戻すとき

1 フォルダを選択し、i［機能］▶ ◎ ▶ 3「フォルダ設定リセット」を押す

2 端末暗証番号を入力し、◉ を押す

3 1「はい」を押す

- 中止するときは 2「いいえ」を押します。

お知らせ

- フォルダ内のメールはそのまま残ります。

iモードメールを読み上げる<読み上げ>

受信BOX、送信BOX、未送信BOX内のiモードメールの内容を音声で読み上げます。

- 通話・発着信中は読み上げられません。

〈読み上げ例〉
「12月24日　10時30分に○○さんから受信したメールです　⇔　件名は○○　⇔　添付あり（添付なし）　⇔　本文は○○・・・・」

1件読み上げ

1　メールを選択・表示中に、[▼]（ボイス）を1秒以上押す

- [＊] を押すと読み上げ内容をさかのぼり、[#] を押すと読み上げ内容を先送りします。
- もう一度[▼]（ボイス）を1秒以上押すと読み上げを終了します。
- メール選択中は[＊]、[#]以外、メール表示中は[○]、[▲]、[▼]、[＊]、[#]以外を押しても読み上げを終了します。

連続読み上げ

1　メール一覧画面で[i]［機能］▶[4]「連続読み上げ」を押す

- 未読メールのみを連続読み上げするときは、[5]「未読連続読み上げ」を押します。

2　[1]「開始」を押す

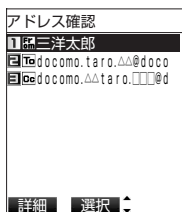
- [＊] を押すと読み上げ内容をさかのぼり、[#] を押すと読み上げ内容を先送りします。
- [○]、[#]、[＊]以外を押すと読み上げを終了します。

お知らせ

- 読み上げのON/OFF切り換えや、読み上げ音量やスピードなどは、音声読み上げ設定で設定できます。→P429

メールアドレスを確認する<アドレス確認>

受信／送信／未送信メールの発信元や宛先のメールアドレスを表示します。
〈例〉受信メールのアドレスを確認するとき

1　メールを選択し、[i]［機能］▶[○]▶[3]「アドレス確認」を押す

- 受信メール
  - [Fr om]：発信元
  - [Fr om]：返信できない発信元
  - [To]：宛先（TO）
  - [To]：返信できない宛先（TO）
  - [Cc]：宛先（CC）（iモードメールのみ）
  - [Cc]：返信できない宛先（CC）（iモードメールのみ）

アドレス確認
1 三洋太郎
2 docomo.taro.△△@doco
3 docomo.△△taro.□□□@d
詳細　選択

- 送信・未送信メール
  - [To]：送信した宛先（TO）
  - [To]：送信失敗した宛先（TO）
  - [Cc]：送信した宛先（CC）（iモードメールのみ）
  - [Cc]：送信失敗した宛先（CC）（iモードメールのみ）
  - [Bcc]：送信した宛先（BCC）（iモードメールのみ）
  - [Bcc]：送信失敗した宛先（BCC）（iモードメールのみ）

2 アドレス選択中に [✉] ［詳細］を押す

- 戻るには、[✉] ［一覧］を押します。
- ◎で前後のアドレスの詳細が表示されます。

■ メール作成するとき

アドレス選択中に ◉ ▶ [1] 「メール作成」を押す

- SMSの場合、[1]「SMS作成」を押します。
- 以降の操作：→P230「iモードメールを作成して送信する」手順4～6

■ 電話帳に登録するとき

アドレス選択中に ◉ ▶ [2] 「電話帳新規登録」を押す

- 以降の操作：→P89「FOMA端末電話帳に登録する」手順2～6、P94「FOMAカード電話帳に登録する」手順2～4
- 追加登録するときは [3]「電話帳追加登録」を押して電話帳を選択し、◉ を押します。以降の操作：→P101「電話帳を修正する」手順3～5

■ アドレスを自動振り分け設定するとき

① アドレス選択中に ◉ ▶ [4] 「自動振り分け設定」を押す

② フォルダを選択し、◉ を押す

■ 送信グループに登録するとき

① アドレス選択中に ◉ ▶ [5] 「送信グループ登録」を押す

- SMSの場合、送信グループに登録できません。

② フォルダを選択し、◉ を押す

■ アドレスをコピーするとき

アドレス選択中に ◉ ▶ [6] 「アドレスコピー」を押す

- SMSの場合、[6]「電話番号コピー」を押します。

お知らせ

- 受信メール、送信メール表示画面から操作するときは、[i]［機能］▶「アドレス確認」を選択し、◉ を押します。
- メールアドレスが電話帳に登録されているときは、名前が表示されます。

受信／送信メールをフォルダに移動する<フォルダ移動>

メールを別のフォルダに移動できます。

〈例〉受信メールを他のフォルダに1件移動するとき

1 メールを選択し、[i] ［機能］ ▶ ◎ ▶ [1] 「フォルダ移動」を押す

2 [1] 「1件移動」を押す

■ 選択移動するとき

① [2] 「選択移動」を押す

② 移動するメールを選択し、◉ を押す

- 解除するときは ◉ を押します。
- [✉] ［詳細］を押すとメールが表示されます。

③ [i] ［実行］を押す

次ページへつづく

■ 全件移動するとき

3「フォルダ内全件移動」を押す

- 検索結果一覧表示中は3「検索メール全件移動」、メール全件一覧では3「全件移動」を押します。

3 移動先フォルダを選択し、● を押す

4 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

メール一覧の表示形式を設定する<表示切替>

受信／送信／未送信メール一覧の表示形式を設定します。

〈例〉受信メール一覧画面を表示切替するとき

1 メール一覧画面で i［機能］▶ ○ ▶ 2「表示切替」を押す

2 1～3を押す

日時／件名／送信元：一覧で日時／件名／送信元を表示します。
日時／送信元　　　：一覧で日時／送信元を表示します。
件名／送信元　　　：一覧で件名／送信元を表示します。

受信／送信メールを並べ替える<ソート>

受信／送信／未送信メール一覧の並び順を一時的に並べ替えます。

〈例〉受信メールをソートするとき

1 メール一覧画面で ✉［ソート］を押す

2 1～6を押す

受信日時（新→旧）：受信日時の新しい順に並べ替えます。
受信日時（旧→新）：受信日時の古い順に並べ替えます。
件名（昇順）　　　：件名の昇順に並べ替えます。
件名（降順）　　　：件名の降順に並べ替えます。
送信元（昇順）　　：送信元の昇順に並べ替えます。
送信元（降順）　　：送信元の降順に並べ替えます。

お知らせ

- 「受信日時」は、送信メールでは「送信日時」、未送信メールでは「保存日時」と表示されます。
- 「送信元」は、送信／未送信メールでは「送信先」と表示されます。
- メール一覧表示を終了すると、元の表示状態に戻ります。

メールを検索して表示する<メール検索>

受信／送信／未送信メール一覧から検索条件を指定してメールを検索できます。

〈例〉受信メールを検索するとき

1 メール一覧画面で i［機能］▶ 6「検索」を押す

2 1 〜 4 を押す

未読検索　：未読メールを抽出します。
既読検索　：既読メールを抽出します。
保護検索　：保護されたメールを抽出します。
添付あり検索：添付ファイルがあるメールを抽出します。
検索結果一覧が表示されます。

- 送信メールでは「保護検索」「添付あり検索」から選択できます。
- 未送信メールでは「送信失敗検索」「未送信検索」「添付あり検索」から選択できます。

■ 検索後に再検索するとき

i［機能］▶ 6「検索」▶ 1「再検索」を押す

- 以降の操作は手順2と同じです。
- 最初の検索結果は破棄されます。

■ 検索結果一覧から戻るとき

i［機能］▶ 6「検索」▶ 2「検索状態解除」を押す

受信／送信メールを保護する<メール保護>

受信／送信メールを保護すると、まちがって削除したり、保存領域が足りずに上書きされることを防ぐことができます。

- 受信メールは 500 件まで、送信メールは未送信メールと合わせて 200 件まで保護できます。（データの大きさによって、保護できる件数は変わります）
- FOMA カードの SMS は保護できません。

〈例〉受信メールを 1 件保護するとき

1 メールを選択し、i［機能］▶ 7「保護」を押す

- 保護されたメールが から に変わります。

■ 受信メールの保護を解除するとき

① メールを選択し、i［機能］▶ 7「保護解除」を押す
② 1「1 件保護解除」を押す

- すべての保護メールを解除するときは 2「全件保護解除」を押し、1「はい」を押します。

お知らせ

- メール表示画面から保護するには i［機能］▶ 3「保護」を押します。保護解除するには i［機能］▶ 3「保護解除」を押します。

メール

受信／送信メールを削除する<メール削除>

不要な受信／送信／未送信メールを削除します。
- 保護されているメールは削除できません。保護を解除してから削除してください。

〈例〉受信メールを1件削除するとき

1 メールを選択し、i［機能］▶ ▶ 7「削除」を押す

2 1「1件削除」を押す

■ 選択削除するとき

① 2「選択削除」を押す

② 削除するメールを選択し、● を押す
- 解除するときは ● を押します。
- ［詳細］を押すとメールが表示されます。

③ i［実行］を押す

■ 全件削除するとき

① 3「フォルダ内全件削除」を押す
- 検索結果一覧表示中は 3「検索メール全件削除」、メール全件一覧表示中は 3「全件削除」を押します。

② 端末暗証番号を入力し、● を押す

3 1「はい」を押す
- 削除しないときは 2「いいえ」を押します。

お知らせ
- メール表示画面から削除するには、i［機能］▶ ▶ ▶ 4「削除」を押します。

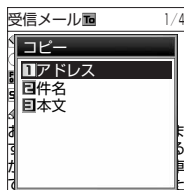
メール

メールの便利な機能

本文などをコピーする

iモードメール、SMSの本文などをコピーできます。
- 受信したデコメールをコピーするときは、テキストデータのみコピーされます。

〈例〉受信メールからコピーするとき

1 メールを表示し、i［機能］▶ ▶ 3「コピー」を押す

2 3DEFさ「本文」を押す

- 以降の操作：→P487「文字をコピーする／切り取る」手順2～3
- 全角5000文字（半角10000文字）までコピーできます。

■ アドレスをコピーするとき

1.@あ「アドレス」を押す

- アドレスが複数あるときは、アドレスを選択し、● を押します。

■ 件名をコピーするとき

2ABCか「件名」を押す

メール本文を利用する

メール本文の内容をユーザー辞書に登録したり、英単語辞書を使って調べたり、単語のよみの確認ができます。

1 メールを表示し、i［機能］▶ ◎ ▶ 4GHIた「ユーザー辞書登録」を押す

2 開始位置にカーソルを移動し、● を押す

3 終了位置にカーソルを移動し、● を押す

- 以降の操作：→P488「ユーザー辞書に登録するとき」手順②
- 英単語辞書について→P488
- よみ確認について→P488

URLをブックマークに登録する

iモードメール、SMS、メッセージR/F本文中のURLをブックマークに登録できます。

〈例〉受信メールのURLからブックマーク登録するとき

1 URLを含むメールを表示してURLを選択し、● を押す

2 2ABCか「Bookmark登録」を押す

- 以降の操作：P194「ブックマークに登録する」手順2～3

お知らせ

- Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能が利用できます。→P205

パーソナル検索

アドレスの一部を入力して検索する

送受信BOXの中から、指定した文字列をアドレスに含むメールを検索します。アドレスは半角50文字まで入力できます。

- 検索結果として表示できるメールは1000件までです。
- 受信メールの場合：送信元を検索できます。
- 送信メールの場合：送信先（TO）1件を検索できます。

1 を押す

2 アドレスの一部を入力し、◉または◎を押す

該当したメールが表示されます。

お知らせ

- セキュリティが設定されているフォルダがある場合、そのフォルダを検索の対象とするかどうかの確認メッセージが表示されます。1「はい」を押して端末暗証番号を入力すると、検索が始まります。2「いいえ」を押すと、セキュリティが設定されているフォルダ以外が検索されます。

受信アドレス履歴・送信アドレス履歴

メールの履歴を利用する

受信／送信したメールのアドレス（電話番号）は、受信／送信アドレス履歴一覧に自動的に記録されます。受信／送信アドレス履歴には、それぞれ30件まで記録されます。

1 ◎を1秒以上押す

アドレス履歴一覧画面

- ◎を1秒以上押すと受信アドレス履歴が、◎を1秒以上押すと送信アドレス履歴が表示されます。
- ✉はｉモードメールを、✉はSMSを示します。

■ 電話をかけるとき

アドレス履歴を選択し、i［機能］▶1「音声発信」を押す

- テレビ電話をかけるときは2「64Kテレビ電話発信」を押します。
- 以降の操作：→P205「電話番号を選択してできる機能」手順3
- アドレス履歴詳細画面でも同様に操作できます。

■ 画像を選択してテレビ電話をかけるとき

アドレス履歴を選択し、i［機能］▶3「テレビ電話画像選択」を押す

- 以降の操作：→ P205「画像を選択してテレビ電話をかけるとき」手順①～②
- アドレス履歴詳細画面でも同様に操作できます。

■ 電話帳に登録されている画像を表示しないときは

アドレス履歴を選択し、i［機能］▶5「フォト表示OFF」を押す

- 表示するときは5「フォト表示ON」を押します。
- アドレス履歴詳細画面でも同様に操作できます。

■ 通話中にプッシュ信号を送信するとき

- 通話中にアドレス履歴を表示する→P396

アドレス履歴を選択し、i［機能］▶6「プッシュ信号送信」を押す

- アドレス履歴詳細画面でも同様に操作できます。

メール

2 アドレス履歴を選択し、◉を押す

アドレス履歴詳細画面が表示されます。
- 戻るには CLR を押します。
- ◉を押したときの操作：→P206「メールアドレスを選択してできる機能」手順2

■ 電話帳に登録されている画像を背景として表示しないときは

i［機能］▶5「シースルー表示OFF」を押す
- 表示するときは5「シースルー表示ON」を押します。

お知らせ
- ✉▶ アドレス履歴 を押してもアドレス履歴を表示できます。

メールの履歴を削除する<メール履歴削除>

不要な受信／送信アドレス履歴を削除します。

1 アドレス履歴を選択し、i［機能］▶4「削除」を押す

2 1「1件削除」を押す

■ 選択削除するとき

① 2「選択削除」を押す

② メールを選択し、◉を押す
- 解除するときは◉を押します。
- ✉［詳細］を押すとアドレス履歴詳細画面が表示されます。

③ i［実行］を押す

■ 全件削除するとき

① 3「全件削除」を押す

② 端末暗証番号を入力し、◉を押す

3 1「はい」を押す

- 削除しないときは2「いいえ」を押します。

お知らせ
- メール履歴詳細画面から削除するには、i［機能］▶4「削除」を押します。

メール設定

FOMA端末のメール機能を設定する

メールに関する機能を設定します。

1 ✉▶ メール設定 を押す

機能名	内　容	参照ページ
iモード問合せ設定	iモードセンターに問い合わせる内容を設定します。	P271
添付ファイル受信設定	添付ファイルを受信するかどうかを設定します。	P273
メール選択受信設定	メールを自動受信せず、選択して受信できるようにします。	P271
メロディ自動再生設定	メロディが添付されたメールを表示したときに、自動再生するかどうかを設定します。	P273

機能名	内　容	参照ページ
受信優先設定	メールまたはメッセージR/Fを受信したときの受信中画面、および受信結果画面を優先的に表示するかどうかを設定します。	P274
署名設定	メールに添付する署名を登録します。	P270
引用符編集	メール返信のときに、引用する本文に付ける引用文字を設定します。	P271
文字サイズ設定	メールを表示したときの文字サイズを設定します。	P274
スクロール設定	メール本文を表示したときのスクロール行数を設定します。	P274
返信自動学習	返信元メールに含まれている単語、カタカナ語を一時的に学習し、変換候補として利用できます。	P273
送信グループ登録	複数の宛先をメールグループとして設定します。	P272
SMS送達通知設定	SMSを送信する際に、送達通知の配信を要求するかどうかを設定します。	P278
SMSメッセージ有効期限	SMSセンターで送信したSMSの保管する期間を選択します。	P279
SMS入力文字種確認	SMS本文の入力方法を選択します。	P279
SMSセンター設定	ドコモ以外のSMSサービスへの接続先を設定します。	P279
メール設定確認	メール設定の設定内容を確認できます。	P275
メール設定リセット	メール設定をお買い上げ時の設定内容に戻します。	P275

メールに署名を付ける<署名設定>

お買い上げ時	OFF

iモードメールの本文に自動的に付加する署名を登録します。署名は３件まで登録できます。

1   **を押す**

2 1 〜 3 **を押す**

- 設定しないときは 4「OFF」を押します。

■ 署名のタイトルを編集するとき

① 署名を選択し、i［タイトル編集］を押す

② タイトルを入力し、● を押す

- タイトルは全角８文字（半角16文字）まで入力できます。

3 署名を入力し、● を押す

- 署名は全角128文字（半角256文字）まで入力できます。

メール

返信時に付加する引用文字を設定する＜引用符編集＞

お買い上げ時	＞（半角）

メール返信のときに、引用する本文に付ける引用文字を設定します。

1 [メール] ▶ [メール設定] ▶ [7] **を押す**

2 **引用符を入力し、[●] を押す**

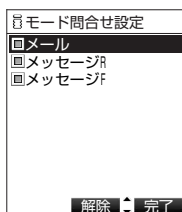
全角5文字（半角10文字）まで入力できます。

センター問い合わせの内容を設定する＜ｉモード問合せ設定＞

お買い上げ時	すべて選択

ｉモードセンターへ問い合わせをするときに、ｉモードメール、メッセージR/Fの中から受信する項目を設定します。
「ｉモード設定」のｉモード問合せ設定と設定内容は同じです。
• 受信をしない場合は、「□」に設定してください。

1 **を押す**

2 **問い合わせる項目を選択する**

• [●] を押すたびに選択／解除が切り替わります。

3 [ｉ] **［完了］を押す**

メールを選択して受信できるようにする＜メール選択受信設定＞

お買い上げ時	OFF

メールを自動受信せず、選択して受信できるようにします。

1 [メール] ▶ [メール設定] ▶ [3] **を押す**

2 [1] **「ON」を押す**

• 設定しないときは [2] 「OFF」を押します。

お知らせ

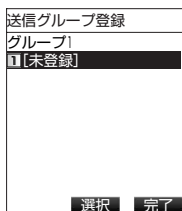
• メール選択受信設定を「ON」に設定しているときは、自動的にメールを受信できません。また、メール着信音やバイブレータも動作しません。
• メール選択受信設定を「ON」に設定しているときにｉモードメールセンターにメールが届くと、センターにメールがある旨のメッセージが表示されます。

宛先をメールグループに登録する<送信グループ登録>

複数のメールアドレスをメールグループに登録すると、iモードメール作成時に簡単な操作で複数の宛先が設定できます。

- メールグループは最大9グループ登録できます。1メールグループにつき最大5件のメールアドレスを登録できます。

1 [メール] ▶ [メール設定] ▶ [○] ▶ [2] を押す

2 [1]～[9] を押す

■ メールグループ名を編集するとき

①グループを選択し、[i][機能] ▶ [1]「グループ名編集」を押す

②グループ名を入力し、[●] を押す

- 全角8文字（半角16文字）まで入力できます。

■ メールグループを削除するとき

①グループを選択し、[i]［機能］▶ [2]「削除」を押す

② [1]「はい」を押す

- 削除しないときは [2]「いいえ」を押します。

3 [1]「未登録」を押す

■ メールアドレスを修正するとき

①メールアドレス（または名前）を選択し、[●] を押す

② [1]「はい」を押し、手順4から操作を続けてメールアドレスを変更する

- 中止するときは [2]「いいえ」を押します。

■ メールアドレスを削除するとき

①メールアドレス（または名前）を選択し、[メール]［削除］を押す

② [1]「1件削除」を押す

- [2]「全件削除」のときは端末暗証番号を入力し、[●] を押します。

③ [1]「はい」を押す

- 削除しないときは [2]「いいえ」を押します。

4 [6]「直接入力」を押してメールアドレスを入力し、[●] を押す

- 半角50文字まで入力できます。

■ 電話帳から入力するとき

① [1]「電話帳引用」を押す

②電話帳を選択し、[●] を押す

③メールアドレスを選択し、[●] を押す

■ 送受信アドレス履歴から入力するとき

① [2]「送信アドレス履歴引用」または [3]「受信アドレス履歴引用」を押す

②メールアドレスを選択し、[●] を押す

③ [●] を押す

■ 自局情報から入力するとき

① [5]「自局情報引用」を押す

②メールアドレスを選択し、[●] を押す

5 [i]［完了］を押す

メールアドレスが登録されます。

- 電話帳に登録されているメールアドレスは、登録されている名前が表示されます。電話帳に登録されていない場合は、メールアドレスが表示されます。
- 他のメールアドレスを追加する場合は、手順３～４を繰り返します。

お知らせ

- 同一グループ内には重複してアドレスを登録できません。他グループとは重複してアドレスを登録できます。

返信メール作成時に返信元メールの単語を利用する<返信自動学習>

お買い上げ時	OFF

返信メールの本文入力時に、返信元メールに含まれている単語、カタカナ語を一時的に学習し、変換候補として利用できます。

1

2 [1.@あ]「ON」を押す

- 利用しないときは [2ABCか]「OFF」を押します。

メロディを自動再生するかどうかを設定する<メロディ自動再生設定>

お買い上げ時	自動再生する

メロディが添付されているｉモードメールを表示したときに、メロディを自動的に再生するかどうかを設定します。

1

2 [1.@あ]「自動再生する」または [2ABCか]「自動再生しない」を押す

お知らせ

- 複数のメロディが添付されているときは添付されている順番にメロディが再生されます。

添付ファイルを受信するかどうかを設定する<添付ファイル受信設定>

お買い上げ時	画像とメロディ

ｉモードメールに添付されている静止画、添付メロディを受信するかどうかを設定します。

1 [✉] ▶ [メール設定] ▶ [2ABCか] を押す

2 [1.@あ] ～ [4GHIた] を押す

お知らせ

- 受信しない添付ファイルはｉモードセンターで削除され、受信できなくなりますのでご注意ください。
- 画像を受信しない設定にすると、デコメールの挿入画像も受信できなくなります。
- メール本文に貼り付けられたMFi形式のメロディは、添付ファイル受信設定にかかわらず受信できます。

操作中のメール受信通知を設定する<受信優先設定>

お買い上げ時	受信通知優先

FOMA端末の操作中に、メールまたはメッセージR/Fを受信したときの受信中画面、および受信結果画面を優先的に表示するかどうかを設定します。

1 [✉] ▶ [メール設定] ▶ [5 JKL な] **を押す**

2 [1 .@あ] **「受信通知優先」または** [2 ABC か] **「ユーザー操作優先」を押す**

受信通知優先：メールを受信したときは、実行中の機能を一時的に中止し、受信中画面および受信結果画面を表示します。

ユーザー操作優先：メールを受信したときに他の機能を実行中の場合は、受信中画面および受信結果画面を表示しません。受信はアイコンでお知らせし、着信音やバイブレータなども動作しません。

メールの文字サイズを設定する<文字サイズ設定>

お買い上げ時	標準

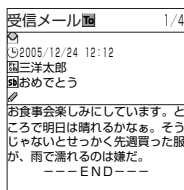
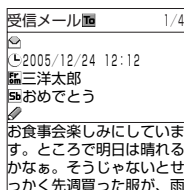
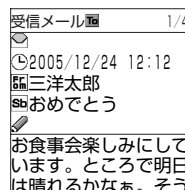
1 [✉] ▶ [メール設定] ▶ [8 TUV や] **を押す**

2 [1 .@あ] 〜 [3 DEF さ] **を押す**

小さめ：16ドット

受信メール 1/4
2005/12/24 12:12
三洋太郎
おめでとう
お食事会楽しみにしています。ところで明日は晴れるかなぁ。そうじゃないとせっかく先週買った服が、雨

標準：20ドット

受信メール 1/4
2005/12/24 12:12
三洋太郎
おめでとう
お食事会楽しみにしています。ところで明日は晴れるかなぁ。そう

大きめ：24ドット

お知らせ

- 受信／送信メールの表示中に文字サイズを変更する場合は、[i]［機能］▶「文字サイズ設定」を選択し、[●]を押します。

メールのスクロール行数を設定する<スクロール設定>

お買い上げ時	1行

メール本文を表示中に[◎]を押したときのスクロール行数を設定します。

1 [✉] ▶ [メール設定] ▶ [9 WXYZ ら] **を押す**

2 [1 .@あ] 〜 [5 JKL な] **を押す**

お知らせ

- 受信／送信メールの表示中にスクロール設定を変更する場合は、[i]［機能］▶「スクロール設定」を選択し、[●]を押します。

メール設定の内容を確認する<メール設定確認>

1 を押す

メール機能の設定を初期状態に戻す<メール設定リセット>

メール設定をお買い上げ時の設定内容に戻します。

1 [✉] ▶ メール設定 ▶ ◎ ▶ [8] を押す

2 端末暗証番号を入力し、◉ を押す

3 [1] 「はい」を押す

- 中止するときは [2] 「いいえ」を押します。

SMS作成・送信

SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する

- 半角カタカナや絵文字を使うと受信側に正しく表示されない場合があります。また、文字の装飾はできません。
- 送信できる絵文字は♥と☎のみです。
- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者についてはドコモのホームページをご覧ください。
- 受信、送信、未送信のSMS一覧／表示画面の見かた→P254

1 [✉] ▶ SMS新規作成 を押す

2 To「宛先」を選択し、◉ を押す

3 [6] 「直接入力」を押して宛先を入力し、◉ を押す

相手の電話番号を入力します。

- 宛先が電話帳に登録されている場合は、To に電話帳の名前が表示されます。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合、「+」（[*] を1秒以上押す）「国番号」「相手先の携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」ではじまる場合は、「0」を除いて入力してください。また、「010」、「国番号」、「相手先の携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力して海外に返信してください。）

■ 電話帳から入力するとき

① [1] 「電話帳引用」を押す
② 電話帳を選択し、◉ を押す
③ 電話番号を選択し、◉ を押す

■ メール送受信履歴から入力するとき

① [2] 「送信アドレス履歴引用」または [3] 「受信アドレス履歴引用」を押す
② 電話番号を選択し、◉ を押す
③ ◉ を押す

次ページへつづく

■ 自局情報から入力するとき

① 5「自局情報引用」を押す
② 電話番号を選択し、● を押す

4 「本文」を選択して ● を押し、本文を入力して ● を押す

- 入力できる文字数はSMS入力文字種設定によって変わります。
- 文中で改行できます。かな方式の場合、改行するときは # を押します。改行も本文の文字数に含まれます。
- ◎ を押して半角スペースを入力できます。スペースも本文の文字数に含まれます。

5 ✉［送信］を押す

■ 送信せずに保存するとき

- i［機能］▶1「保存」を押すと「未送信BOX」に保存されます。宛先、本文のいずれも入力されていない場合は保存できません。

お知らせ

- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 一部の絵文字は、相手のiモード端末の機種によっては正しく表示されない場合があります。
- 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、SMSが未送信BOXに保存されます。未送信BOXからSMSを編集・送信できます。→P243
- 送信が正常に終了したときは、SMSは送信BOXに保存されます。送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない送信メールから古い順に上書きされます。残しておきたい送信メールは保護してください。→P265
- 送信する文字種や送達通知を受け取るかどうかは、あらかじめSMS設定で設定できます（→P278）。また、「送達通知設定」「メッセージ有効期限」は、SMSの作成開始後に i［機能］を押して変更することもできます。設定した内容は、作成中のSMSのみ有効です。
- 送達通知設定を「ON」に設定して送信した場合、SMSが相手のFOMA 端末に届いたことを知らせる送達通知が送られてきます。送達通知は受信BOXに保存されます。
- 発信者番号通知が「通知しない」に設定されていても、SMS送信時は送信先に発信者番号が通知されます。
- 送信する文字種により送信できない文字があります。→P228
- 未送信メールや保護されているメールで、メールの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、SMSは作成できません。送信・未送信BOXから不要なiモードメール、SMSを削除してください。→P266

送信・保存したSMS（ショートメッセージ）を編集・送信する

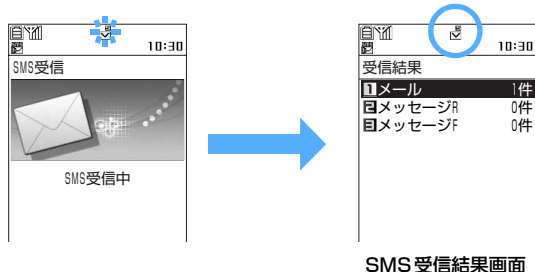
送信済みや、送信せずに保存したり送信に失敗したSMSを、編集・送信できます。→P243

SMS受信

SMS（ショートメッセージ）を受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、SMSを自動的に受信します。受信したSMSは受信BOXに保存されます。

- 受信BOXにはiモードメールとあわせて1000件まで保存できます。
- 以下のようなときに送られてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
  - セルフモード中
  - 赤外線通信利用中
  - 電源が入っていないとき
  - iモード圏外
  - 受信BOXが保護や未読メールで満杯のとき

1 SMSを受信する

SMS受信結果画面

が点滅し、「SMS受信中」と表示されます。受信が完了すると点灯します。
- ：未読のiモードメールとSMSがあります。
- ：未読のSMSがあります。

メール着信音が鳴り、着信ランプが点灯／点滅して受信件数が表示されます。
- FOMA端末を折りたたんでいるときは、背面ディスプレイに受信状態が表示されます。→P29
- 受信結果画面は約30秒間表示されます。何も操作しないでいると、自動的に受信前の画面に戻ります。

新着SMS（ショートメッセージ）を表示する

1 メール受信結果画面で 1 「メール」を押す

2 フォルダを選択し、● を押す

3 メールを選択し、● を押す

- 受信メールの見かた→P256
- 受信したSMSに返事を出す→P248
- 受信したSMSを転送する→P249

メール

お知らせ

- FOMA端末がSMSを受信すると、SMSセンター内のSMSは削除されます。
- movaサービスのiモード端末から送信されたショートメールは、FOMA端末ではSMSとして受信します。
- 発信元に非通知理由（「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」）が表示される受信SMSや、movaサービスのiモード端末から送信されたショートメールには返信できません。
- 途中で受信に失敗した場合は、SMS問合せを行ってSMSを受信しなおしてください。
- 受信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない既読の受信メールから古い順に上書きされます。残しておきたい受信メールは保護してください。→P265
- 未読メールや保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、SMSの受信は中止され、画面にはが表示されます。
- FOMAカードにSMSが最大件数（20件）保存されているときは、受信BOXに空きがあっても、SMSを受信できないことがあります。このとき、画面にはが表示されます。FOMA端末に移動するか、FOMAカードのSMSを削除してください。→P280、266

SMS問合せ

SMS（ショートメッセージ）があるかどうかを問い合わせる

圏外にいた時や電源を切っていた時にSMSが届いていないかを問い合わせます。

- 電波状態によってはSMS問合せができない場合がありますのでご了承ください。

1 を押す

SMSセンターにSMSが保管されていれば受信します。

SMS設定

SMS（ショートメッセージ）の設定を行う

SMSを利用するときの各種条件を設定します。

SMS（ショートメッセージ）送達通知設定

お買い上げ時	OFF

SMSを送信する際に、送達通知の配信を要求するかどうかを設定します。

1 ▶メール設定▶▶3を押す

2 1「ON」を押す

- 設定しないときは2「OFF」を押します。

SMS（ショートメッセージ）メッセージ有効期限

お買い上げ時	3日

送信したSMSを相手が受け取れないときに、SMSセンターで保管する期間を選択します。

1 [メール] ▶ [メール設定] ▶ [◎] ▶ [4 GHI た] を押す

2 [1 .@あ] ～ [4 GHI た] を押す

0日：SMSセンターで保管しません。
1日：SMSセンターで1日保管します。
2日：SMSセンターで2日保管します。
3日：SMSセンターで3日保管します。

SMS（ショートメッセージ）入力文字種設定

お買い上げ時	日本語

本文の入力方法を選択します。文字種により送信できる文字数が異なります。→P228

1 [メール] ▶ [メール設定] ▶ [◎] ▶ [5 JKL な] を押す

2 [1 .@あ]「日本語」または [2 ABC か]「英語」を押す

日本語：全角・半角を問わず70文字まで入力できます。
英語　：半角の英数字と記号（ ‘。「」、・ ゛ ゜ - を除く）160文字まで入力できます。

SMS（ショートメッセージ）センター設定

お買い上げ時	ドコモ

通常は設定を変更する必要はありません。

1 [メール] ▶ [メール設定] ▶ [◎] ▶ [6 MNO は] を押す

2 [2 ABC か]「その他」を押してSMSセンター番号を入力し、[●] を押す

- 半角20文字まで入力できます。先頭に＋を入力した場合は21文字です。
- SMSセンター番号の先頭に [*] を1秒以上押して＋を付加すると「international」に設定されます。付加しない場合は「unknown」に設定されます。

メール

次ページへつづく

お知らせ

- メッセージ作成画面から操作する場合は i［機能］を押します。この場合には、「送達通知設定」「メッセージ有効期限」のみ設定できます。また、メッセージ作成画面から設定した内容は、作成中のSMSのみ有効です。

FOMAカード操作

SMS（ショートメッセージ）をFOMAカードに保存する

FOMA端末内のSMSを、FOMAカードに移動またはコピーして保存できます。また、FOMAカードに保存してあるSMSを、FOMA端末に移動またはコピーできます。

SMS（ショートメッセージ）をFOMAカードに移動／コピーする

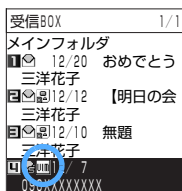
- FOMAカードには、受信／送信／未送信SMSを合わせて20件まで保存できます。移動／コピーした受信／送信／未送信SMSは、それぞれの「メインフォルダ」に表示されます。
- 送信SMSを移動／コピーしても、対応する送達通知はFOMAカードに移動／コピーされません。

〈例〉受信したSMSを1件移動するとき

1 SMSを選択し、i［機能］▶ ◉ ▶ 4「FOMAカード（UIM）操作」を押す

2 1「FOMAカードへ移動」を押す

- コピーするときは 2「FOMAカードへコピー」を押します。

3 1「はい」を押す

FOMAカードへ移動すると、選択したSMSがメール一覧画面の一番最後に移動し、UIMが表示されます。コピーの場合は、コピー元のSMSが選択されます。

- 中止するときは 2「いいえ」を押します。

お知らせ

- 受信メール、送信メール表示画面から操作するときは、i［機能］▶「FOMA カード（UIM）操作」を選択し、◉を押します。

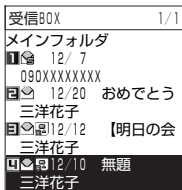
FOMAカード内のSMS(ショートメッセージ)をFOMA端末に移動／コピーする

〈例〉受信SMSを1件移動するとき

1 SMSを選択し、i［機能］▶ ◉ ▶ 4「FOMAカード（UIM）操作」を押す

2 3「本体へ移動」を押す

- コピーするときは 4「本体へコピー」を押します。

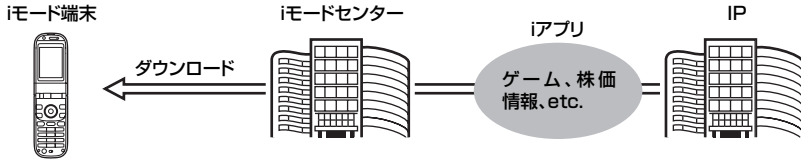
3 [1.@あ]「はい」を押す

- 中止するときは [2ABCか]「いいえ」を押します。

お知らせ

- 受信メール、送信メール表示画面から操作するときは、[i]［機能］▶「FOMA カード（UIM）操作」を選択し、[●]を押します。

iアプリ

iアプリとは

iアプリをサイトからダウンロードすることにより、iモード対応FOMA端末（以下、iモード端末）を便利に活用いただけます。たとえば、iモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のiアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図のiアプリでは、必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。また、iアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得など「データBOX」と連動できるiアプリもあります。

- iアプリをダウンロードする→P286
- iアプリを実行する→P288
- iアプリを自動実行する→P292

お知らせ

- ソフトによってはiモード端末の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用する場合があります。
- ソフトによっては実行時に通信を行うものがあります。通信を行わないように設定することもできます。→P289

登録データを利用する

iアプリのソフトには、お客様のiモード端末の登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）を参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは以下のとおりです。

- 電話帳登録
- アイコン情報利用
- ブックマーク登録
- スケジュール登録
- データBOXからの画像取得
- データBOXへの画像保存

iアプリDXとは

iアプリDXでは、iモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信か知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されたり、GPS機能を利用して地図上に自分の現在地を表示させ目的地までのルートを検索するなど、iアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

登録データを利用する

iアプリDXのソフトでは、通常のiアプリで利用できる登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）に加えて、メール、リダイヤル、着信履歴、着信音などの登録データを参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは以下のとおりです。

- 電話帳登録
- 電話帳参照
- アイコン情報利用

- ブックマーク登録
- スケジュール登録
- メールメニューの利用
- iモードメール作成画面利用
- 最新のリダイヤル参照
- 最新の着信履歴参照
- 最新の未読メール参照
- 着信音保存
- 着信音変更（電話、メール、メッセージR/F）
- データBOXからの画像取得
- データBOXへの画像保存
- 画面設定の変更（待受画面、電話発着信）

お知らせ

- iアプリ DX では、ソフトの有効性を確認するため、ソフトの通信設定に関わらず通信する場合があります。通信回数やタイミングはソフトによって異なります。
- iアプリ DXを起動するには日付時刻設定が必要です。

メール連動型iアプリとは

メール連動型iアプリはiアプリDXの一種で、iモードメールで情報をやりとりすることにより、株価などの欲しい情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ソフトをより便利に楽しく利用することができます。

- メール連動型iアプリで利用されるiアプリメールは、正しく表示できない場合があります。

GPS対応iアプリとは

GPS対応iアプリでは、GPS機能を利用することにより、現在地のタウン情報などがより簡単に探せたり、地図上に自分の現在地を表示させ目的地までのルートを検索するなど、ソフトをより便利に楽しく利用することができます。

- GPS対応iアプリを利用すると、利用するソフトの情報提供者あるいはGPSサービス提供者に位置情報が送信されます。
- GPS対応iアプリでGPS機能を利用する場合、利用するソフトの「位置情報利用設定」を「送信する」に設定する必要があります。

こんなこともできます

■ iアプリ待受画面

iアプリ待受画面ではiアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。→P294

- iアプリ待受画面に対応したソフトで利用できる機能です。

■ iアプリの自動起動

時刻や日付、曜日などを指定して、ソフトを自動起動できます。あらかじめソフトに設定されている時間間隔で自動起動できるソフトもあります。→P292

■ カメラ撮影

ソフトからiモード端末のカメラを使って撮影できます。→P301

- カメラ撮影機能に対応したソフトで利用できる機能です。

■ 赤外線通信

ソフトから、赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。赤外線通信機能搭載機器と連動してより広がった使いかたができます。→P301

- 赤外線通信機能に対応したソフトで利用できる機能です。
- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

次ページへつづく

■ 赤外線リモコン
ソフトから赤外線リモコンに対応した家電機器など、各種機器を操作できます。→P383
たとえばプリインストールされている「Gガイド番組表リモコン」では、テレビ番組表と連動したAVリモコンとして利用することができます。→P291
- 赤外線リモコン機能に対応したソフトで利用できる機能です。相手の機器に対応したソフトが必要です。

サイトからiアプリをダウンロードする

サイトからソフトをダウンロードしてFOMA端末に保存します。
- お買い上げ時に登録されているソフトを含めて100件まで保存できます。
- 保存できる1件の最大容量は250Kバイトです。
- すでにFOMA端末に保存されているメール連動型iアプリを、再度ダウンロードできません。ただし、ソフトが新しくなった場合はバージョンアップできます。
- 電波状況などによりソフトのダウンロードに失敗した場合、そのソフトはFOMA端末に保存されません。
- ダウンロードにはパケット通信料がかかります。

1 サイトからダウンロードするソフトを選択し、● を押す

選択したソフトがダウンロードされます。
- ✉［中止］を押すとダウンロードが中止されます。

■ ソフト情報表示設定を「表示する」に設定しているとき
ソフト名やバージョンなどの情報が表示されます。
●▶1「はい」を押す
- 中止するときは2「いいえ」を押します。

■ 選択したソフトが異なるFOMAカードですでにダウンロードされているとき
上書きするかどうかのユーザー確認画面で1「はい」を押す

■ 選択したソフトがすでにダウンロードされているとき
「ダウンロード済みです」または「そのソフトは最新です」というメッセージが表示され、ダウンロードはできません。

■ 登録データや携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用するソフトをダウンロードするとき
1「はい」を押す
- 中止するときは2「いいえ」を押します。
- 登録データを利用するソフトの場合、✉［詳細］を押すと、利用する登録データの内容を一覧で確認できます。
- お客様の住所や年齢、性別などがIP（情報サービス提供者）に通知されることはありません。

2 保存先のフォルダを選択し、● を押す

3 iアプリ設定を設定する

- ソフトによっては設定できる項目が変わります。設定がない場合は、手順5へ進みます。

■ ソフト起動中に通信するかどうかを設定するとき
①「通信設定」を選択し、● を押す
② 1「通信する」または2「通信しない」を押す

iアプリ

■ iアプリ待受画面に設定するとき

①「iアプリ待受画面」を選択し、● を押す

② 1 「設定する」または 2 「設定しない」を押す

■ 位置情報送信を許可するかどうかを設定するとき

①「位置情報利用設定」を選択し、● を押す

② 1 「位置情報を送信する」または 2 「位置情報を送信しない」を押す

4 i ［完了］を押す

5 1 「はい」を押す

iアプリが起動します。

- 位置情報を利用するソフトを起動した場合、ユーザー確認画面が表示されます。起動するときは 1 「はい」を押します。
- 起動しないときは 2 「いいえ」を押します。

サイトからすぐに起動するiアプリについて

iアプリの中には、ダウンロードが完了すると同時に起動するものがあります。

- 即起動iアプリには、FOMA端末に保存できないものがあります。

お知らせ

- iアプリの保存領域に空きがない場合、すでにソフトが100件保存されている場合は、ユーザ確認画面が表示されます。データを削除してダウンロードしたソフトを保存する場合は、1 「はい」を押してください。2 「いいえ」を押すとソフトは保存されず、ダウンロード元の画面に戻ります。ソフトを削除してダウンロードに失敗した場合、削除したソフトは元に戻りません。
- 接続に失敗したときは 1 「再接続する」を押してもう一度ダウンロードを開始してください。
- 対応機種でない場合、ソフトにエラーがある場合などはメッセージが表示され、ダウンロードできません。

ダウンロード時にiアプリの情報を見る<ソフト情報表示設定>

お買い上げ時	表示しない

ソフトをダウンロードするときに、ソフト名やバージョンなどの情報を表示します。

1 iアプリフォルダ一覧画面で i ［機能］▶ 7 「ソフト情報表示設定」を押す

2 1 「表示する」または 2 「表示しない」を押す

お知らせ

- iアプリ一覧画面から設定するには、i ［機能］▶ ◎ ▶ 4 「ソフト情報表示設定」を押します。
- iアプリのソフト名は変更できません。

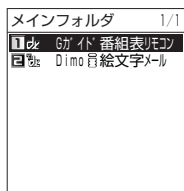
iアプリを実行する

iアプリ一覧からソフトを選択して実行します。

1 [i]を1秒以上押す

iアプリフォルダ一覧画面

iアプリフォルダ一覧画面が表示されます。

2 フォルダを選択し、[●]を押す

iアプリ一覧画面

iアプリ一覧画面が表示されます。

3 iアプリを選択し、[●]を押す

- 通信設定を「起動ごとに確認」に設定している場合は、ユーザー確認画面が表示されます。[1]「通信する」または[2]「通信しない」を押します。

お知らせ

- [●]▶[iアプリ]を押しても、iアプリフォルダ一覧画面を表示できます。
- ソフトによってはダウンロード後も起動中に通信を行う場合があります。通信を行うかどうかをあらかじめ設定できます。→P289
- iアプリ起動中に音声電話の着信があると、着信画面になり、電話にでることができます。ソフトによっては電話終了後に中断時の状態に戻るものと、戻らないものがあります。
- i アプリ起動中にメールやメッセージを受信すると、アイコンで通知します。i アプリを実行したままメールを見られます。→P396
- 3D ポリゴン※エンジン搭載により、iアプリで立体画像を表示できます。
  ※多角形（三角形や四角形など）を組み合わせることにより、立体的で奥行きがある画像を実現します。
- iアプリで利用する画像※やお客様が入力したデータなどが、自動的にインターネットを経由して、サーバに送信される可能性があります。
  ※実行中のソフトからカメラを起動して撮影した画像や、赤外線通信機能を利用して取得した画像などです。
- ソフトが許可されている機能以外の動作をしようとする場合、「セキュリティエラーのため終了しました」のメッセージが表示されます。セキュリティエラーによりソフトが終了した場合、エラー履歴が保存されます。
- iアプリ起動中に動作しなくなった場合、電源キーを1秒以上押しても電源を切れない場合があります。
- iアプリ起動中に再生されるメロディは、音量設定で設定した音量で再生されます。→P111
- ソフトによっては音が鳴らない場合があります。

通信を行うかどうかを設定する<通信設定>

iアプリ起動中に、通信を行うかどうかを設定します。

1 **iアプリ一覧画面でiアプリを選択し、[i]［機能］▶◎▶[3]「ソフト動作設定」▶[3]「通信設定」を押す**

2 **[1]〜[3]を押す**

通信する　：通信できるソフトは自動的に通信します。
通信しない　：通信できるソフトを起動しても通信しません。
起動ごとに確認：ソフトを起動するごとに通信するかしないかを設定します。通信を利用しないソフトの場合は確認画面は表示されません。

- 通信には通信料がかかります。「通信する」に設定すると自動的にネットワークに接続されますのでご注意ください。

お知らせ

- 通信を必要とするソフトの通信設定を「通信しない」に設定すると、動作が正常に行えない可能性があります。

アイコン情報通知を許可するかどうかを設定する<アイコン情報設定>

未読メールやマナーモードなど、FOMA端末のアイコン情報をiアプリで利用できるように設定します。
- アイコン情報を利用しないソフトにはこの設定はできません。

1 **iアプリ一覧画面でiアプリを選択し、[i]［機能］▶◎▶[3]「ソフト動作設定」▶[5]「アイコン情報設定」を押す**

2 **[1]「利用する」または[2]「利用しない」を押す**

お知らせ

- iアプリ待受画面に設定されているソフトのアイコン情報設定を「利用する」に設定すると、未読のメール・メッセージ、電池残量、マナーモード、圏内・圏外のアイコンの有無がお客様の携帯電話情報（FOMA端末の製造番号、FOMAカードの識別番号）と同じようにインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。
- アイコン情報が必要なソフトには、アイコン情報設定を「利用しない」に設定していると、起動できないものがあります。

電話帳や履歴の参照を許可するかどうかを設定する<電話帳・履歴参照>

iアプリを実行するときに、電話帳、リダイヤル・着信履歴、最新の未読メールを参照するかどうかを設定します。
- 電話帳、リダイヤル・着信履歴、最新の未読メールを参照しないソフトにはこの設定はできません。

1 **iアプリ一覧画面でiアプリを選択し、[i]［機能］▶◎▶[3]「ソフト動作設定」▶[7]「電話帳・履歴参照」を押す**

2 **[1]「許可する」または[2]「許可しない」を押す**

次ページへつづく

お知らせ

- iアプリには、電話帳とリダイヤル・着信履歴の参照を許可するかしないかを設定できるものがあります。その設定を「許可する（有効）」に設定した場合、自動的に電話帳・リダイヤル・着信履歴を参照します。

着信音や画面の変更を許可するかどうかを設定する<着信音・画像変更>

iアプリには着信音と画像変更の設定が可能なものがあります。その設定を「許可する」にした場合、自動的に着信音や画像が変更されます。

1 **iアプリ一覧画面でiアプリを選択し、i［機能］▶◎▶3「ソフト動作設定」▶6「着信音・画像変更」を押す**

2 **1「許可する」または2「許可しない」を押す**

- 「許可する」に設定した場合は、変更ごとに確認画面を表示するかどうかを設定します。1「表示する」または2「表示しない」を押します。

位置情報を利用・送信するかどうかを設定する<位置情報利用設定>

iアプリが位置情報を送信することを許可するかどうかを設定します。

1 **iアプリ一覧画面でiアプリを選択し、i［機能］▶◎▶3「ソフト動作設定」▶◎▶1「位置情報利用設定」を押す**

2 **1「送信する」または2「送信しない」を押す**

ソフトから他のソフトを起動する

起動中のソフトからソフト一覧画面に戻らずに他のソフトを起動することができます。
ソフトの起動方法、起動するソフトの登録方法はソフトによって異なりますので、画面の案内に従って操作・設定してください。

- 他のソフトを起動することに対応したソフトをダウンロードしておく必要があります。
- ソフトによっては起動するソフトをあらかじめ登録しておく必要があります。

お知らせ

- 起動するソフトが指定されていても、そのソフトがFOMA端末に保存されていない場合は、ダウンロードする必要があります。

お買い上げ時に登録されているソフト

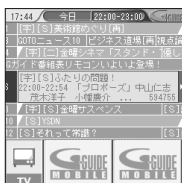
FOMA端末にはあらかじめ「Dimo絵文字メール」「Gガイド番組表リモコン」のソフトが登録されています。

- お買い上げ時に登録されているソフトを削除した場合でも、「どこでもSANYO」のサイトからダウンロードできます。→P186

Dimo絵文字メール

©BVIG

メール内の絵文字に対応して、キャラクタたちが愉快に動き回り、楽しいメールのやりとりができます。
また、相手がDimo対応の機種の場合は、キャラクタたちが電話やメールの着信を教えてくれたり、FOMA端末の未読メール情報などを伝えてくれます。

Gガイド番組表リモコン

※画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じたチャンネルが表示されます。

テレビ番組表とテレビリモコン機能が1つになった便利アプリです。いつでもどこでも知りたい時間のテレビ番組情報が簡単に取得できます。お住まいの地域に応じたテレビ局の番組タイトル・番組内容・開始／終了時間・Gコード®などを知ることができます。気になった番組情報があったらすぐにお友達に番組のタイトル・番組の放送スケジュールなどをメールでお知らせできる「おすすめメール」機能があります。
また、お使いのテレビのリモコン操作ができます。（一部対応していない機種もあります）

- 「Gガイド番組表リモコン」の月額利用料は無料です。別途パケット通信料がかかります。
- ソフトについて詳しくは『iモード操作ガイド』をご覧ください。

お知らせ

- 両ソフトはFOMAカード動作制限を受けることなく起動できます。ただし、削除後に再ダウンロードした場合またはバージョンアップによってソフトを上書きした場合は、通常のソフトと同様にFOMAカードの制限を受けます。FOMAカード動作制限機能について→P37
- お買い上げ時の設定は次のようになっています。
  - 通信設定（→P289）　：通信する
  - iアプリTo設定（→P294）　：許可する
  - 待受画面通信設定（→P295）　：通信する
  - 待受画面設定（→P294）　：設定しない
  - アイコン情報設定（→P289）　：利用する
  - 着信音・画像変更※（→P290）　：許可する
  - 電話帳・履歴参照（→P289）　：許可する
  - 位置情報利用設定※（→P290）　：送信する
  - 自動起動設定（→P292）　：設定しない

※両ソフトでは設定を変更できません。

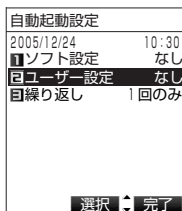
iアプリを自動実行する

お買い上げ時	ソフト設定　：なし ユーザー設定：なし

日時や繰り返しを設定して、iアプリを自動的に起動するように設定できます。
- 有効にできる自動起動設定は、ソフト設定・ユーザー設定を合わせて30件です。
- 電源が切れているとき、オールロック中は自動起動できません。

自動起動するかどうかを設定する<自動起動設定>

それぞれのiアプリについて、自動起動するかどうかを設定します。自動起動する間隔が設定されているソフトの場合は、ソフトに設定されている間隔で自動起動するかどうかを登録します。
- 自動起動できないソフトもあります。

1 **iアプリ一覧画面でiアプリを選択し、i［機能］▶ ◎ ▶ 2「自動起動設定」を押す**

2 **1「ソフト設定」または 2「ユーザー設定」を押す**

ソフト設定：ソフト内にあらかじめ設定されている日時・繰り返しで自動起動するかどうかを設定します。

ユーザー設定：自動起動登録で設定されている日時で自動起動するかどうかを設定します。

3 **1「あり」を押す**

- 自動起動しないときは 2「なし」を押します。

4 **i［完了］を押す**

ソフトに⏲のアイコンが表示されます。

起動日時を設定する<自動起動登録>

自動起動する日時を登録します。
- 設定できる条件は、ソフトによって異なります。
- 自動起動設定のソフト設定とユーザー設定を「なし」に設定している場合は、自動起動しません。

1 **iアプリ一覧画面でiアプリを選択し、i［機能］▶ ◎ ▶ 2「自動起動設定」を押す**

2 **3「繰り返し」を押す**

iアプリ

3 1 ～ 3 を押す

1回のみ：登録した日時に1回だけ自動起動します。
毎日　：毎日登録した時刻に自動起動します。
曜日　：選択した曜日の登録した時刻に毎週、自動起動します。
①自動起動する曜日を選択し、● を押す
　解除するときはもう一度 ● を押します。
② i ［完了］を押す

4 日時を入力し、● を押す

5 i ［完了］を押す

お知らせ

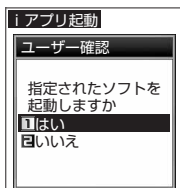
- iアプリ自動起動とアラームやスケジュールアラームなどが同時刻に設定されている場合は、各種アラームが優先され、iアプリは起動しません。また、メール作成など他の操作を行っているときも起動しない場合があります。
- 自動起動に失敗した場合、自動起動失敗履歴として保存されます。
- 複数のソフトを同時刻に自動起動させることはできません。同時刻に設定しようとするとエラーメッセージが表示されます。
- 同一ソフトの自動起動が前回の自動起動から10分未満の場合、起動できない場合があります。自動起動する間隔を10分以上に設定してください。

iアプリTo機能

サイトやメールからiアプリを実行する

サイト・メール・赤外線通信・バーコードなど、iアプリ以外の機能からiアプリを起動できます。

1 ソフトにリンクしている項目を選択し、● を押す

2 1 「はい」を押す

- 起動しないときは 2 「いいえ」を押します。

お知らせ

- 起動するソフトがあらかじめFOMA端末に保存されている必要があります。ただし、サイトから起動するソフトについては、ダウンロード後すぐに起動するものがあります（即起動iアプリ）。このときソフトは保存されておらず、終了後に保存するかどうかの選択画面になります。また、即起動iアプリにはFOMA端末に保存できないものもあります。
- 起動するソフトがFOMA端末に保存されていない場合、「指定されたソフトがありません」と表示されます。
- 即起動iアプリは、起動中に通信を行うかどうかの確認画面が表示されることがあります。
- iアプリTo設定で「許可しない」に設定しているとiアプリを起動できません。
- iアプリ終了後やエラーによりiアプリが強制終了された場合は起動元の画面に戻ります。

iアプリToで起動するかどうかを設定する<iアプリTo設定>

サイト・メールなどからiアプリを起動させるかどうかをソフトごとに設定できます。
- iアプリTo機能を設定できないソフトもあります。

1 iアプリ一覧画面でiアプリを選択し、[i]［機能］▶[○]▶[3]「ソフト動作設定」▶[4]「iアプリTo設定」を押す

2 [1]「許可する」または[2]「許可しない」を押す

iアプリ待受画面設定

iアプリ待受画面を設定する

iアプリを待受画面に設定し、待受画面からiアプリを起動して操作できます。
- iアプリ待受画面を設定するにはあらかじめ待受画面用のソフトをダウンロードしておく必要があります。
- 待受画面に設定できないソフトもあります。
- iアプリ待受画面が起動中は、[アイコン]や[アイコン]が表示されます。
- 待受画面設定の設定よりもiアプリ待受画面設定の設定が優先されます。
- iアプリ待受画面に設定できるソフトは1件のみです。
- iアプリ待受画面からサイトに接続（Web To）することはできません。

iアプリ待受画面を設定する

各種設定から設定する

1 [●]▶[各種設定]▶[2]▶[1]▶[2]を押す

2 [1]「設定」を押す

3 iアプリを選択し、[●]を押す

4 [1]「設定する」または[2]「設定しない」を押す

iアプリ一覧から設定する

1 iアプリ一覧画面でiアプリを選択し、[i]［機能］▶[○]▶[3]「ソフト動作設定」▶[1]「待受画面設定」を押す

2 [1]「設定する」または[2]「設定しない」を押す

iアプリ待受画面を操作する

1 iアプリ待受画面表示中に CLR を押す

iアプリが起動し、 や が （オレンジ） や （オレンジ） の点滅に変わります。

■ 起動中にiアプリ待受画面を終了・解除するとき

iアプリ待受画面を起動中に PWR を押す

- 以降の操作：→P295「各種設定から解除する」手順3

お知らせ

- iアプリ待受画面表示中にオールロックまたはPIMロックを設定すると、iアプリ待受画面は終了し、お買い上げ時の待受画面が表示されます。オールロックまたはPIMロックを解除するとiアプリ待受画面が再表示されます。
- iアプリ待受画面設定中に電源を入れ直した場合、iアプリ待受画面を起動するかどうかの確認画面が表示されます。1「はい」を押すとiアプリ待受画面が起動され、2「いいえ」を押すと待受画面が表示されます。なにも操作しない場合は、約5秒後にiアプリ待受画面が起動します。
- ネットワークに接続するソフトをiアプリ待受画面に設定した場合は、電波状況により正しく動作しないことがあります。
- iアプリ待受画面に設定されているソフトのアイコン情報設定を「利用する」に設定すると、未読のメール・メッセージ、電池残量、マナーモード、圏内・圏外のアイコンの有無がお客様の携帯電話情報（FOMA端末の製造番号、FOMAカードの識別番号）と同じようにインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。

iアプリ待受画面の通信を設定する<iアプリ待受画面通信設定>

iアプリ待受画面起動中に通信するかどうかを設定します。

1 iアプリ一覧画面でiアプリを選択し、i［機能］▶ ▶3「ソフト動作設定」▶2「待受画面通信設定」を押す

2 1「通信する」または2「通信しない」を押す

お知らせ

- 待受画面通信設定を「通信しない」に設定した場合、タイムリーな情報提供ができない場合がありますのでご注意ください。

iアプリ待受画面を解除する

各種設定から解除する

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 2 ▶ 1 ▶ 2 を押す

2 2「終了・解除」を押す

3 2「解除する」を押す

- 一時的にiアプリ待受画面を終了するときは1「終了する」を押します。次に待受画面を表示するときはiアプリ待受画面が起動します。
- 中止するときは3「キャンセル」を押します。

iアプリ一覧から解除する

1 **iアプリ一覧画面でiアプリを選択し、i［機能］▶◎▶3「ソフト動作設定」▶1「待受画面設定」を押す**

- iアプリ待受画面設定中に別のソフトを選択した場合は、iアプリ待受画面を変更するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **1「はい」を押す**

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

iアプリを管理する

ソフトをバージョンアップしたり、使いやすいように並び替えたりできます。また、iアプリの起動に失敗したときなどのエラー履歴を確認することができます。

お知らせ

- iアプリ作成者の方へ
  ソフトを作成中、正常動作しないときは、トレース情報表示が参考になる場合があります。
  アプリ一覧でi［機能］▶6「履歴表示」▶4「トレース情報」を押して確認できます。

iアプリをバージョンアップする<バージョンアップ>

FOMA端末に保存しているソフトがサイトでバージョンアップされたときは、ダウンロードしてバージョンアップできます。

- メール連動型iアプリが使用する、受信BOX・送信BOX・未送信BOXのフォルダにセキュリティが設定されている場合、フォルダ名を変更するメール連動型iアプリはバージョンアップ時にユーザー確認画面が表示され、1「はい」を押すとバージョンアップを開始します。

1 **iアプリ一覧画面でiアプリを選択し、i［機能］▶3「バージョンアップ」を押す**

2 **1「はい」を押す**

ネットワークに接続され、ダウンロードを開始します。

- 中止するときは2「いいえ」を押します。
- ソフト動作設定やソフト個別の設定によっては、ユーザー確認画面が表示されます。ダウンロード時のユーザー確認画面について→P286

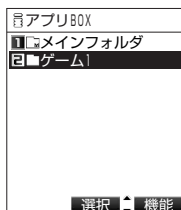
お知らせ

- ソフトによっては自動的にバージョンアップが必要かどうか確認し、起動時にユーザー確認画面が表示されることがあります。1「はい」を押すとバージョンアップを開始します。

フォルダを作成する

iアプリを保存するフォルダを作成します。

- 「メインフォルダ」を含めて9個まで作成できます。

1 iアプリフォルダ一覧画面で [i]［機能］▶ [1]「フォルダ作成」を押す

2 フォルダ名を入力し、[●] を押す

- 全角8文字（半角16文字）まで入力できます。

■ 作成したフォルダ名を変更するには

- 「メインフォルダ」のフォルダ名は変更できません。

① フォルダを選択し、[i]［機能］▶ [2]「フォルダ名編集」を押す
② フォルダ名を入力し、[●] を押す

■ フォルダを並べ替えるには

- 「メインフォルダ」は並べ替えられません。

① [i]［機能］▶ [3]「フォルダ並べ替え」を押す
② フォルダを選択し、[●] を押す
③ [◎] で移動先を選択し、[●] を押す
　• 他のフォルダを並べ替えるときは、手順②～③を繰り返します。
④ [i]［完了］を押す

iアプリをフォルダに移動する

保存されているiアプリを別のフォルダに移動します。

1 iアプリ一覧画面でiアプリを選択し、[i]［機能］▶ [2]「フォルダ移動」を押す

2 [1]「1件移動」を押す

■ 複数移動するとき

① [2]「選択移動」を押す
② iアプリを選択し、[●] を押す
　• 解除するときは [●] を押します。
　• [✉]［詳細］を押すと、iアプリの情報が表示されます。
③ [i]［実行］を押す

■ 全件移動するとき

[3]「フォルダ内全件移動」を押す

3 移動先フォルダを選択し、[●] を押す

次ページへつづく

4 1「はい」を押す

- 移動しないときは 2「いいえ」を押します。

iアプリやフォルダを削除する

作成したフォルダやiアプリを削除できます。

フォルダ削除

お買い上げ時に登録されている「メインフォルダ」は削除できません。

1 iアプリフォルダ一覧画面でフォルダを選択し、i［機能］▶4「フォルダ削除」を押す

2 端末暗証番号を入力し、●を押す

3 1「はい」を押す

- 削除しないときは 2「いいえ」を押します。

iアプリ削除

1 iアプリ一覧画面でiアプリを選択し、i［機能］▶◯▶1「削除」を押す

2 1「1件削除」を押す

■ 選択削除するとき

①2「選択削除」を押す

②iアプリを選択し、●を押す

- 解除するときは●を押します。
- ✉［詳細］を押すと、iアプリの情報が表示されます。

③i［実行］を押す

■ 全件削除するとき

①3「フォルダ内全件削除」を押す

②端末暗証番号を入力し、●を押す

3 1「はい」を押す

- 削除しないときは 2「いいえ」を押します。

お知らせ

- 削除するｉアプリがｉアプリ待受画面に設定されている場合は、ユーザー確認画面が表示されます。1「はい」を押すと、ｉアプリを削除し、待受画面は壁紙設定で設定されている画像になります。
- メール連動型ｉアプリを削除する場合、そのソフトが使用する受信BOX・送信BOX・未送信BOXのフォルダに保護されたメールがあると削除できません。
- メール連動型ｉアプリを削除する場合、自動的に作られたフォルダを同時に削除するかしないかを選択することができます。ただし、フォルダ内に保護されたメールがある場合はソフトもフォルダも削除できません。
- メール連動型ｉアプリが使用する受信BOX・送信BOX・未送信BOXのフォルダにセキュリティが設定されている場合は、削除を実行するかどうかの確認画面が表示されます。削除する場合は1「実行」を押し、端末暗証番号を入力してください。
- ソフトによってはメール連動型ｉアプリを削除すると、ｉアプリメールがフォルダ内から削除されることがあります。
- マルチタスク機能などでメール連動型ｉアプリ用フォルダを操作中の場合は、対応するメール連動型ｉアプリを削除できません。

ｉアプリを並べ替える<ソート>

ｉアプリを使いやすいように並び替えできます。

1 **ｉアプリ一覧画面でi［機能］▶1「ソート」を押す**

2 **項目を選択し、●を押す**

実行回数（昇順）：実行回数の昇順に並べ替えます。
実行回数（降順）：実行回数の降順に並べ替えます。
起動日時（新→旧）：起動日時の新しい順に並べ替えます。
起動日時（旧→新）：起動日時の古い順に並べ替えます。
保存日時（新→旧）：保存日時の新しい順に並べ替えます。
保存日時（旧→新）：保存日時の古い順に並べ替えます。
アプリ名（昇順）：アプリ名の昇順に並べ替えます。
アプリ名（降順）：アプリ名の降順に並べ替えます。
アプリサイズ（昇順）：ソフトのファイルサイズの昇順に並べ替えます。
アプリサイズ（降順）：ソフトのファイルサイズの降順に並べ替えます。

お知らせ

- 実行回数やアプリサイズなど条件が同じ場合、ソート順位が並び変わらない場合があります。

ｉアプリのエラーなどの情報を確認する<履歴表示>

起動に失敗したときなどのエラー情報を確認できます。

1 **ｉアプリフォルダ一覧画面でi［機能］▶5「履歴表示」を押す**

2 **1～4を押す**

自動起動失敗履歴：自動起動に失敗したソフト名と日時が確認できます。
待受エラー終了履歴：ｉアプリ待受画面の続行に失敗したソフト名と日時が確認できます。
セキュリティエラー履歴：ソフトが許可されていない通信・参照などをしようとして強制終了した場合のソフト名と日時が確認できます。
トレース情報：ソフト実行中のエラー出力に書き込まれた文字列や例外などで終了した場合の内容をトレース情報として出力します。

次ページへつづく

■ 履歴を削除するとき

①それぞれの履歴一覧画面（トレース情報画面）で i［削除］を押す

② 1「はい」を押す

- 削除しないときは 2「いいえ」を押します。
- すべての履歴・トレース情報が削除されます。

お知らせ

- iアプリ一覧画面から確認するには、i［機能］▶ 6「履歴表示」を押します。
- 自動起動失敗履歴・待受エラー終了履歴・セキュリティエラー履歴・トレース情報はそれぞれ 1K バイトまで保存できます。
- 最大保存容量を超える場合は自動的に一番古い履歴が削除され、新しい履歴が保存されます。

iアプリの情報を確認する<ソフト情報表示>

iアプリのソフト名やバージョン、設定内容を確認できます。

1 **iアプリ一覧画面でiアプリを選択し、i［機能］▶ 4「ソフト情報表示」を押す**

お知らせ

- ダウンロード時に確認できるように設定することもできます。→P287

iアプリのシステム状況を確認する<システム情報表示>

iアプリの使用容量・空き容量・保存件数を数字やグラフで表示します。

1 **iアプリフォルダ一覧画面で i［機能］▶ 6「システム情報表示」を押す**

お知らせ

- iアプリ一覧画面から確認するには、i［機能］▶ 7「システム情報表示」を押します。

iアプリのさまざまな機能を利用する

iアプリには、電話をかけたり、サイトに接続したり、カメラやバーコードリーダー、赤外線通信などの機能を利用できるものがあります。

- それぞれ機能に対応したソフトをあらかじめダウンロードしておく必要があります。

iアプリから電話をかける

1 **画面に従って電話番号を選択し、◉を押す**

- 以降の操作：→P205「電話番号を選択してできる機能」手順2～3
- 電話をかけるとソフトは中断されます。
- ソフトによって操作方法が異なったり、電話をかけられない場合があります。

iアプリからサイトに接続する

1 画面に従ってリンク項目を選択し、◉を押す

2 i［接続］を押す

ソフトが終了し、サイトが表示されます。

- ソフトによって操作方法が異なったり、サイトに接続できない場合があります。

iアプリからカメラ機能を利用する

1 ソフトを操作してカメラ撮影を行う

- ソフトには、自動的にカメラが起動するものがあります。

お知らせ

- ソフトからカメラを起動した場合、撮影した画像はマイピクチャまたはiモーションの「カメラ」フォルダには保存されず、iアプリの一部として保存・利用されます。
- ソフトによって、サイズ、連写、画質、フレームなどの設定ができます。

iアプリからバーコードリーダーや文字リーダーを利用する

iアプリからカメラを利用して、JANコードやQR コード、文字を読み取ることができます。

1 ソフトを操作してコードや文字を読み取る

- 読み取ったデータはソフトで利用・保存される旨のメッセージが表示されます。

iアプリから赤外線通信を利用する

- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できない場合があります。

1 ソフトを操作して赤外線通信を行う

iモーション

iモーションとは

サイトやインターネットホームページから映像や音（iモーション）をFOMA端末に取得し、再生したり、着信音（着モーション）などに設定できます。（一部の対応していないiモーションは着モーションに設定できません）

iモーションのタイプについて

iモーションには、大きく分けて以下の2つのタイプがあります。本FOMA端末はストリーミングタイプのiモーションに対応していません。取得したiモーションがどのタイプであるかは、サイトにより異なります。

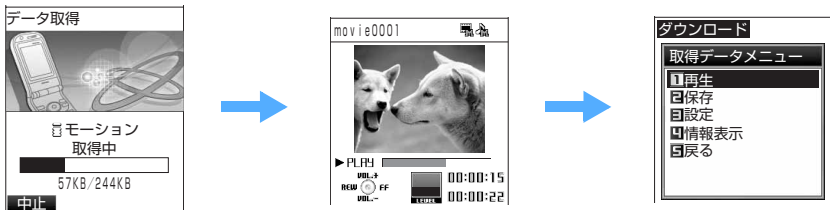
■ スタンダードタイプ
FOMA端末に保存することができます。
iモーションによっては、スタンダードタイプでも保存できないものもあります。
①取得後に再生可能なタイプ（500Kバイトまで）
②取得中に再生可能なタイプ（500Kバイトまで）

■ ストリーミングタイプ（本FOMA端末は対応していません）
ストリーミングタイプとは、データを取得しながら同時に再生を行うタイプで、再生し終わったデータについては破棄されます。2Mバイトまで再生できますが、繰り返し再生をしたり、FOMA端末に保存することはできません。

iモーション取得

サイトからiモーションを取得する

サイトからiモーションを取得し、再生・保存します。
- iモーションによっては、取得したデータをFOMA端末に保存できない場合があります。
- ASF形式のiモーションの取得、再生はできません。取得、再生できるiモーションはMP4（Mobile MP4）形式のみです。

1 サイトで取得するiモーションを選択し、◉を押す

iモーションの取得が始まります。
- iモーション自動再生設定を「自動再生する」に設定しているときは、iモーションが自動的に再生されます。設定していないときは、取得データメニューが表示されます。
- 取得中に✉［中止］を押すと、取得を中止します。

■ 取得中に再生可能なタイプのiモーションのとき
iモーション自動再生設定を「自動再生する」に設定している場合、取得しながら再生が始まります。

2 [1.@あ]「再生」を押す

- 再生中は以下の操作ができます。
  - ●：一時停止／再開
  - ✉：停止
  - ○▸：早送り
  - ◂○：巻戻し
  - ⇕：音量調節
- 一時停止中は以下の操作ができます。
  - ○▸：コマ送り
  - ◂○：コマ戻し
- 取得中の再生では、早送り、巻き戻し、コマ送り、コマ戻しはできません。

■ 保存するとき

[2ABCか]「保存」を押す

- 保存したｉモーションは、「データBOX」→「ｉモーション」→「ｉモード」フォルダに保存されます。

■ 待受画面などに設定するとき

[3DEFさ]「設定」を押す

- 以降の操作：→P346「動画・ｉモーションを音声着信などに設定する」手順３

■ ｉモーションの情報を表示するとき

[4GHIた]「情報表示」を押す

■ 保存せずサイトに戻るとき

[5JKLな]「戻る」▶[1.@あ]「はい」を押す

お知らせ

- FOMA端末への保存可能件数、１件の最大サイズについて→P332
- ｉモーションによっては、データ取得中の再生ができないものがあります。
- ｉモーションによっては、取得したデータを正しく再生できない場合があります。
- ｉモーションには、再生回数／再生期限／再生期間が設定されている場合があります。再生できる期間が制限されているｉモーションは、期間前や後には再生できません。また、長い期間電池パックを外しているとFOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められているｉモーションは再生できません。
- ｉモーションを取得しながら再生しているときにデータの受信待ちになり、再生が一時停止することがあります。このような場合でも、データを受信し始めると自動的に再生が再開されます。
- ｉモーションを取得しながら再生しているときに、電波状況などにより再生が停止したり、画像が乱れたりする場合があります。そのような場合でも、ｉモーションの取得完了後に再生できます。
- データの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるとき→P376
- 下記ビットレート※を超えるｉモーションを再生すると、コマ落ちや音とびが発生することがあります。
  - 取得後に再生可能なタイプ
    映像：128Kbps
    音響：128Kbps
  - 取得中に再生可能なタイプ
    映像：64Kbps
    音響：80Kbps

  ※ビットレートとは、圧縮された映像データや音声データが１秒あたりどのくらいの情報量で表現されているかを表すものです。
- 再生回数／再生期限／再生期間が決められているｉモーションを再生すると、再生前に残り再生回数／期限／期間を確認できます。
- テキストのみのｉモーションは取得・再生できません。

iモーション自動再生設定

iモーションを自動再生するかどうかを設定する

お買い上げ時	自動再生する

取得したiモーションを自動的に再生するかどうかを設定します。

1 i ▶ iモード設定 ▶ 6 を押す

2 1「自動再生する」または 2「自動再生しない」を押す

- 「自動再生しない」に設定しても、取得データメニューで 1「再生」を押すと再生できます。

GPS機能

GPSとは

GPS（Global Positioning System:全地球測位システム）は、米国国防総省が開発・運用しているシステムで、地球の周回軌道を回る衛星から放射される位置測位用の電波を利用して現在の位置（緯度、経度など）を知ることができるシステムです。
GPS衛星から放射される位置測位用の電波を利用して、FOMA端末（お客様）の位置情報（緯度・経度）を取得します。取得した位置情報を利用して、さまざまなサービスが利用できます。

GPS機能を使ってできること

■ 今いる場所の地図や周りの情報を見る、探す（現在地確認）

現在地の位置情報を位置サイト（GPS機能に対応したiモードサイト）に送信して地図を表示したり、周辺情報の検索ができます。（IPによりサービス内容は異なります）

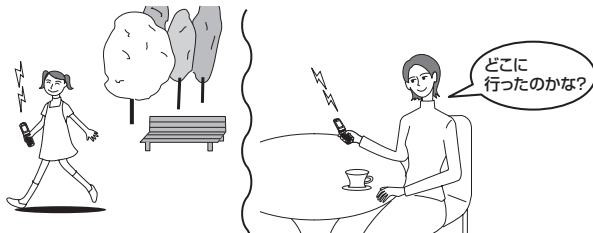
■ ナビゲーションを使う（ナビゲーション）

位置情報を利用して目的地まで歩いていくときなどに、ナビゲーションを行うことができます。

■ GPS機能対応のiアプリを使う（GPSソフト）

位置情報を利用した便利なiアプリを使うことができます。交通情報を確認することなどができます。

■ 相手からの要求に応えて位置情報を提供する（位置提供）

あらかじめ設定した相手から、現在どこにいるかの要求があると、位置情報を提供します。

■ 今いる場所の位置情報を通知する（現在地通知・定期現在地通知）

現在地の位置情報を他の人に通知します。FOMA端末を持っているお子様などが今どこにいるかなど定期的に通知するように設定できます。

■ 撮影した静止画に位置情報を埋め込む

撮影した静止画に位置情報を埋め込むことができます。埋めこまれた位置情報からナビゲーションしたり、地図を表示したりできます。

■ メールで自分の場所やお気に入りの場所を送る

位置情報をメール本文に貼り付けることができます。受信者は位置情報URLを利用して周辺地図を見ることができます。

■ 位置情報を電話帳やスケジュールに登録する

取得した位置情報を電話帳やスケジュールに登録して、利用することができます。

GPS機能のご利用について

- オールロック中、PIMロック中、セルフモード中、PINロックが完全にロックされている場合はGPS機能は利用できません。ただしPIMロック中でも位置提供は利用できます。
- 機能として搭載しているナビゲーションは2008年12月末をもってご利用できなくなります。あらかじめご了承ください。
- GPS機能は、動作中にメールの受信・電話の着信があっても動作は継続します。

- FOMA端末の故障、修理やその他の取扱いによって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したためお客様が不利益を被ったとしても当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末は航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる障害が発生しても当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末は高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置情報の誤差による損害が発生しても当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末のGPS機能は、日本国外では使用できません。
- 測位（現在地確認･現在地通知･定期現在地通知･位置提供）が行われない条件は以下の通りです。

機能名	条　件
現在地確認	テレビ電話中
位置提供	iアプリからの測位中、iアプリがサイト接続中、iアプリが赤外線通信中、ナビゲーションからの測位中／パケット通信中（送受信中）
定期現在地通知	iアプリが赤外線通信中
測位（現在地確認・現在地通知・定期現在地通知・位置提供）	• iアプリ起動中のGPSキー、タスクキーを1秒以上押したとき • 赤外線通信中、プリントモード中（着信を受けない設定の場合）、ソフトウェア更新中 • 電源を入れたときのPIN1コード入力時 • セルフモード中
定期現在地通知、位置提供	通話中に電話がかかってきたとき（キャッチホンをご契約されている場合）

お知らせ

- 位置提供・現在地通知を利用したサービスは申し込みが必要な場合があります。
- 位置提供・現在地通知の設定、現在地通知やGPSサービス利用設定のご利用にあたっては、GPSサービス提供者や、ドコモのホームページなどでのお知らせに従って行ってください。また、これらの機能の利用は有料となる場合があります。
- iモードのご契約が必要となる場合があります。
- GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。
  - 建物の中や直下
  - 地下やトンネル、地中、水中
  - かばんや箱の中
  - ビル街や住宅密集地
  - 密集した樹木の中や下
  - 高圧線の近く
  - 移動中の自動車、電車などの車内
  - 大雨、雪などの悪天候
  - 携帯電話の周囲に障害物（人や物）がある場合
  - 携帯電話の画面・操作キー・マイクやスピーカ周辺を手で覆い隠すように持っている場合
  - FOMA端末が閉じられている状態

  このような場合、得られる位置情報の誤差が300m以上になる場合があります。
- FOMA端末のGPS機能は、現在地確認機能を除いて、圏外では使用できません。
- 圏外での現在地確認は、圏内の場合と比べて、時間がかかる場合があるなど、動作が異なる場合があります。
- GPSの人工衛星は高度約20,000kmの衛星軌道上に約24個あり、それぞれが約12時間で地球を一周しています。そのため同じ使用環境であっても日時が異なれば、電波の受信状態が異なり、位置情報に大きな誤差を生じたり、測位できなくなることがありますのでご注意ください。

現在地確認

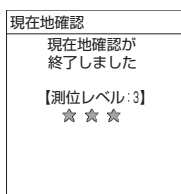
自分のいる場所を確認する

現在地を測位して、自分が今どこにいるか確認します。測位した位置情報をメールで送ったり、電話帳に登録したりできます。また、位置情報をGPSソフトやナビゲーションで利用できます。

- 現在地確認は FOMA 端末が圏外でもできる場合がありますが、時間がかかる場合があります。また、周囲の状況によって、測位できないことがあります。
- 現在地確認はFOMA端末が圏外でもできる場合がありますが、位置サイトへの接続、GPSソフト・ナビゲーションの使用はできません。

1 ▶ 現在地確認 を押す

が点滅し、音設定／音量設定／バイブレータ設定／LED設定／通知時間設定で設定した内容で動作します。

- メロディを止めるときは、、、以外のキーを押します。
- 現在地確認中に表示されている測位レベルの位置情報を現在地確認結果として利用したいときは、［利用］を押します。

現在地確認結果画面

測位レベル1（★☆☆）：誤差が300m以上
測位レベル2（★★☆）：誤差が50m以上300m未満
測位レベル3（★★★）：誤差が50m未満

- 測位レベルは目安であり、実際とは異なることがあります。

■ 現在地確認を中止するとき

［中断］または を押す

現在地確認結果でできること

位置サイトに接続する

GPS機能に対応したiモードサイト（位置サイト）に接続して、位置情報から周辺地図などを表示します。

1 現在地確認結果画面で ▶ 「位置サイト接続」を押す

■ ワンタッチ位置サイトが設定されているとき

位置サイトに接続するかを確認するメッセージが表示されます。
「位置サイト接続」▶「はい」を押すと、位置サイトが表示されます。
「位置サイト選択」を押すと、位置サイト一覧画面が表示されますので、位置サイトを選択し、を押します。

- 中止するときは「キャンセル」を押します。

■ ワンタッチ位置サイトが設定されていないとき

位置サイトを選択し、を押します。

位置情報をメールで送る

位置情報URLをメールに貼り付けて他の人に知らせることができます。

- 位置情報URLとは地図や周辺情報などを提供する位置サイトのURLに位置情報（緯度・経度）・測地系※、測位レベルなどの情報を付加したものです。位置情報URLにアクセスすることにより、位置情報を活用したサイトを表示することができます。

※測地系とは、地球上の位置を緯度・経度で表すための基準のことです。

1 現在地確認結果画面で ● ▶ 2 「メール貼り付け」を押す

■ ワンタッチ位置サイトが設定されているとき

位置情報URLをメールに貼り付けるかを確認するメッセージが表示されます。

1「貼り付ける」を押すと、メール作成画面が表示され、位置情報URLが本文に貼り付けられます。

2「位置サイト選択」を押すと、位置サイト一覧画面が表示されますので、位置サイトを選択し、●を押します。

以降の操作：→P230「iモードメールを作成して送信する」手順2～6

- 中止するときは 3「キャンセル」を押します。

■ ワンタッチ位置サイトが設定されていないとき

位置サイトを選択し、●を押します。

以降の操作：→P230「iモードメールを作成して送信する」手順2～6

ナビゲーションを利用する

位置情報を利用して、周辺地図の表示や周辺スポット検索、音声と画面で目的地までのナビゲーションなどを行うことができます。

1 現在地確認結果画面で ● ▶ 3 「ナビゲーション」を押す

ナビゲーションが起動します。画面の指示に従って操作してください。

GPSソフトを起動する

GPSソフトを起動し、位置情報を利用できます。

1 現在地確認結果画面で ● ▶ 4 「GPSソフト起動」を押す

以降の操作：→P319「GPSソフトを使う」手順2

位置情報を電話帳に登録する

1 現在地確認結果画面で ● ▶ 5 「電話帳新規登録」を押す

電話帳登録画面が表示され、位置情報が貼り付けられます。

- 以降の操作：→P89「FOMA端末電話帳に登録する」手順3～6
- FOMAカード電話帳には登録できません。

■ 電話帳に追加登録するとき

① 現在地確認結果画面で ● ▶ 6 「電話帳追加登録」を押す

② 電話帳を選択し、● を押す

- すでに位置情報が貼り付けられているときは、1「はい」を押します。中止するときは 2「いいえ」を押します。
- 以降の操作：→P101「電話帳を修正する」手順3～5

位置情報をスケジュールに登録する

1 現在地確認結果画面で ● ▶ 7 「スケジュール新規登録」を押す

- 以降の操作：→P406「スケジュールを登録する」手順３～５

■ スケジュールに追加登録するとき

① 現在地確認結果画面で ● ▶ ◎ ▶ 1 「スケジュール追加登録」を押す

② スケジュールを選択し、● を押す

- すでに位置情報が貼り付けられているときは、1「はい」を押します。中止するときは 2「いいえ」を押します。
- 以降の操作：→P406「スケジュールを登録する」手順４～５

お知らせ

- ● ▶ GPS ▶ 現在地確認 を押しても現在地確認ができます。
- GPSキーを１秒以上押しても現在地確認ができます。
- 測位レベルは目安です。周囲の電波状況などにより異なります。

現在地確認設定

現在地確認の設定を行う

現在地確認を行ったあと自動的に設定した位置サイトに接続したり、GPSソフトやナビゲーションを起動するようにしたりできます。

GPSキーの設定を行う

お買い上げ時	位置サイト接続

GPSキーを１秒以上押し、現在地確認をした後の動作を設定します。

1 GPSキー ▶ 現在地確認設定 ▶ 1 を押す

2 項目を選択し、● を押す

位置サイト接続：位置サイトに接続します。→P310
メール貼り付け：位置情報URLをメールに貼り付けます。→P311
ナビゲーション：ナビゲーションを起動します。→P315
GPSソフト起動：GPSソフト一覧を表示します。→P319
電話帳登録：電話帳に新規・追加登録します。→P89、101
スケジュール登録：スケジュールに新規・追加登録します。→P406
測位毎に確認：現在地確認するたびに利用する項目を選択できるようにします。

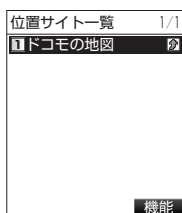
接続する位置サイトを設定する

GPSキーの設定を「位置サイト接続」に設定したときに接続するサイトを登録、設定します。

- お買い上げ時は「ドコモの地図」が登録されています。位置サイトの追加・変更については、GPSサービス提供者や情報提供者の指示に従って行ってください。通常は設定を変更する必要はありません。

位置サイトを登録する

- 登録できる件数はお買い上げ時に登録されている位置サイトも含め18件です。

1 ▶ 現在地確認設定 ▶ 2 を押す

位置サイト一覧画面

位置サイト一覧画面が表示されます。

2 i［機能］▶ 1「新規作成」を押す

3 タイトル（位置サイト名）を入力し、● を押す

- 全角16文字（半角32文字）まで入力できます。

4 位置サイトのURLを入力し、● を押す

- URLは半角英数字256文字まで登録できます。（URL、「.」、「/」、「:」、「~」などを含みます）

■ 位置サイトを編集するとき

①位置サイトを選択し、i［機能］▶ 2「編集」を押す
②タイトルを入力し、● を押す
③位置サイトのURLを入力し、● を押す
- タイトルのみ変更したときは 1「はい」を押します。中止するときは 2「いいえ」を押します。

■ URLを表示・コピーするとき

位置サイトを選択し、i［機能］▶ 4「URL表示／コピー」を押す
URLが表示されます。コピーするときは i［コピー］を押します。

位置サイトを削除する

- 「ドコモの地図」は削除できません。

1 位置サイト一覧画面で位置サイトを選択し、i［機能］▶ 7「削除」を押す

次ページへつづく

2 1 「1件削除」を押す

■ 選択削除するとき

① 2 「選択削除」を押す

② 位置サイトを選択し、● を押す

- 解除するときは ● を押します。
- ✉ [詳細] を押すと、URLが表示されます。一覧に戻るときは ✉ [一覧] を押します。

③ i [実行] を押す

■ 全件削除するとき

① 3 「全件削除」を押す

② 端末暗証番号を入力し、● を押す

3 1 「はい」を押す

- 中止するときは 2 「いいえ」を押します。

ワンタッチ位置サイトを設定する

お買い上げ時	ドコモの地図

利用する位置サイトをあらかじめワンタッチ位置サイトに設定しておくと、位置サイト接続やメール貼り付けをする場合、利用する位置サイトを選択する必要がなくなります。

1 位置サイト一覧画面で位置サイトを選択し、i [機能] ▶ 3 「ワンタッチ位置サイト設定」を押す

選択した位置サイトがワンタッチ位置サイトに設定されます。
設定した位置サイトには、が表示されます。

- 設定を解除するときは 3 「ワンタッチ位置サイト解除」を押します。

ワンタッチ位置サイトを設定すると

現在地確認が完了したとき、次のように動作します。

■ 現在地確認完了後に位置サイトに接続するとき

位置サイトに接続するかを確認するメッセージが表示されます。1 「位置サイト接続」▶ 1 「はい」を押すと、位置サイトが表示されます。
2 「位置サイト選択」を押すと、位置サイト一覧画面が表示されますので、位置サイトを選択し、● を押します。

- 中止するときは 3 「キャンセル」を押します。

■ 現在地確認完了後にメール貼り付けするとき

位置情報URLをメールに貼り付けるかを確認するメッセージが表示されます。1 「貼り付ける」を押すと、メール作成画面が表示され、位置情報URLが本文に貼り付けられます。
2 「位置サイト選択」を押すと、位置サイト一覧画面が表示されますので、位置サイトを選択し、● を押します。
以降の操作：→P230「iモードメールを作成して送信する」手順2～6

- 中止するときは 3 「キャンセル」を押します。

現在地確認の測位モードを設定する

お買い上げ時	標準モード

1 ▶ ▶ 3 を押す

2 1「標準モード」または 2「品質重視モード」を押す

標準モード：短い時間で測位することを優先します。
品質重視モード：精度を優先して測位を行います。

ナビゲーション

ナビゲーションを使用する

ナビゲーションは現在地からの経路を探索して音声で道案内などを行う機能です。簡単な操作で目的地までのルート探索などを行うことができます。ここでは、起動のしかたと音声ナビゲーション、地図ビューアの使いかたを紹介します。

- ご利用にあたっては、FOMAサービスおよびiモードのご契約が必要です。
- ナビゲーションの利用料は無料ですが、通信時には別途パケット通信料がかかります。
- 機能として搭載しているナビゲーションは2008年12月末をもってご利用できなくなります。あらかじめご了承ください。
- ナビゲーションの画面はイメージです。

ナビゲーションを起動する

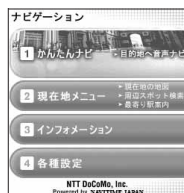
1 ▶ を押す

■ 初めて起動するとき

ナビゲーション利用確認画面が表示されます。利用規約およびご利用上の注意事項をお読みになり、「確認/利用規約承諾」を選択して ● を押してください。
ナビゲーション初期確認画面が表示されます。設定を行って、「確認（次へ進む）」を選択して ● を押してください。

- 通信設定を「起動ごとに確認」に設定するとナビゲーションを起動するたびに確認画面が表示されます。
- 位置情報利用設定を「送信ごとに確認」に設定すると位置情報を測位するたびに確認画面が表示されます。
- 電話帳／履歴参照を「参照ごとに確認」に設定すると電話帳や位置履歴を参照するたびに確認画面が表示されます。

ナビゲーションの起動画面

次の画面が表示されます。

かんたんナビ
行きたい場所を設定し、そこまでの経路探索と音声ナビゲーションを行います。

現在地メニュー
現在地を確認します。現在地情報から周辺地図を表示したり、周辺スポット検索や最寄り駅案内を行います。

インフォメーション
重要なお知らせやナビゲーションの利用期限、通信料、よくある質問などについて記載されています。

各種設定
ナビゲーションや航空写真表示、通信、位置情報利用、電話帳／履歴参照の設定を行います。

お知らせ

- ナビゲーション起動時は、通信を行いません。かんたんナビ、現在地メニュー、インフォメーション（一部）を使うときに通信を行い、パケット通信料がかかります。
- 利用規約およびご利用上の注意事項を必ずお読みになり、同意のうえご利用ください。

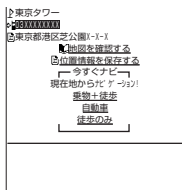
ナビゲーションを行う

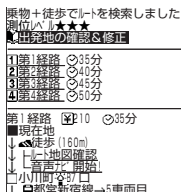
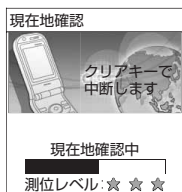
「かんたんナビ」を使用すると、ナビゲーションを行います。

〈例〉東京タワーを検索する場合

1 ナビゲーションを起動し、1「かんたんナビ」を押す

目的地設定画面が表示されます。

2 画面に従って東京タワーを検索する

目的地画面が表示されます。

3 乗物で行く場合は「乗物＋徒歩」、歩いて目的地まで行く場合は、「徒歩のみ」を選択し、● を押す

「乗物＋徒歩」の例

現在地を測位し、ルート検索結果ページが表示されます。

GPS機能

4 「音声ナビ開始！」を選択し、◉を押す

• Navigation engine by NAVITIME JAPAN
• 地図：昭文社

現在地付近の地図が表示され、バイブレータが振動してから音声でナビゲーションが始まります。（各種設定のバイブレーション設定が「OFF」の場合は、振動しません）

- 一度音声ナビでお知らせした音声は、聞きなおすことができません。
- 音声ナビゲーションを開始するまで、時間がかかる場合があります。
- 音声ナビゲーションが行われるのは徒歩のときだけです。

■ 地図でルートを確認するとき

「ルート地図確認」を選択し、◉を押す

- 音声ナビゲーションは行われません。

お知らせ

- 目的地は、住所などいろいろな情報からも検索できます。画面に従って検索してください。
- 目的地まで10kmを超えている場合、「徒歩のみ」でのナビゲーションはできません。「乗物＋徒歩」を選択してください。
- 目的地画面で「自動車」を選択しても、音声ナビゲーションはできません。（ルートを地図で確認することはできます）
- 地図、道案内、経路情報などについて、正確性、即時性など、いかなる保証もしませんのであらかじめご了承のうえご利用ください。
- ご利用の際は実際の交通規則に従って走行または通行してください。運転中および歩行中の携帯電話の操作、画面の確認は行わないでください。
- GPS信号の状況によっては、誤差が大きくなったり、ご利用いただけない場合があります。
- 地図などの無断転載、複製、改変は禁止されています。
- 出発地に設定できるのは、測位した現在地のみとなります。

地図ビューアについて

ナビゲーションで表示される地図ビューアの種類には、通常モード（現在地／目的地の地図）、ルート表示モード、ナビモードがあります。

通常モード：現在地や目的地画面（P316「ナビゲーションを行う」手順2の画面）で、「地図を確認する」を選択したときに表示

ルート表示モード：P316「ナビゲーションを行う」手順3の画面（右）で「ルート地図確認」を選択したときに表示

ナビモード：P316「ナビゲーションを行う」手順3の画面（右）で「音声ナビ開始！」を選択したときに表示

通常モード（現在地／目的地）

ルート表示モード（徒歩／自動車）

ナビモード

GPS機能

地図ビューアの操作キー

次のキーで地図ビューアを操作できます。

キー	動　作	キー	動　作
	上下左右にスクロールします。	[メニュー]	機能メニューが表示されます。
[拡大]	拡大します。	0	画面の中心が十字カーソルの地点になります。
[縮小]	縮小します。	9	スカイビュー機能のON／OFFを切り替えます。
*	左回りに回転します。	CLR	地図を閉じます。 十字カーソル移動中はもとの位置に戻ります。 機能メニュー／各種ポップアップ表示中は地図の画面に戻ります。
#	右回りに回転します。		

地図ビューアの機能メニュー

機能メニューから地図ビューアを操作できます。表示メニュー、表示順は地図ビューアの種類によって異なります。

機能メニュー	地図の表示モード	内　容
ナビモードON／OFF	ルート表示（徒歩）、ナビ	ルート表示モード（徒歩）時に、「ナビモードON」にすると、目的地まで地図を自動でスクロールさせながら、曲がり角が近づくと、画面と音声でお知らせする機能を開始します。 ナビモード時に、「ナビモードOFF」にすると、ルート表示モードに切り替わります。
リルート（再探索）	ルート表示（徒歩）、ナビ	ルートから外れたときに現在地または十字カーソル位置を出発地に変更してルート探索をやり直すことができます。
現在地更新ON／OFF	通常（現在地）、ルート表示（自動車）	「現在地更新ON」にすると現在地の測位を行い、現在地にオートスクロールします。
場所を修正する	通常（現在地／目的地）	十字カーソルの地点の地図に修正します。
地図の縮尺変更	全モード	地図の縮尺を選択します。「航空写真」を選択すると、航空写真地図が表示されます。
音量調整	ナビ	音声ナビゲーションの音量を調整します。
ナビゲーション設定	ナビ	ナビゲーションの設定を行います。
スカイビューON／OFF	全モード	「スカイビューON」にすると、空から見ているような3D地図表示になります。
地図操作方法	全モード	地図の操作方法やメニューについて説明します。
地図を閉じる	全モード	地図を閉じます。

お知らせ

- 航空写真を利用した場合、約400m四方の航空写真地図をダウンロードするために、約50Kバイト（約400パケット）のパケット通信料がかかります。
- 「航空写真」と「スカイビューON」は同時に設定できません。
- 音声ナビゲーション中に道を間違えたり、建物の影に入ったりすると、画面と音声が正しい動作をしない場合があります。

GPSソフト

GPSソフトを使う

GPSソフトは、GPS機能に対応したiアプリです。FOMA端末で取得した位置情報を利用して、周辺地図を表示することなどができます。

- お買い上げ時はGPSソフトがありませんので、サイトからダウンロードしてください。
- 位置情報の利用方法は、ソフトによって異なります。

1 ▶ [GPSソフト] を押す

2 GPSソフトを選択し、● を押す

- GPSに対応したソフトのみが表示されます。

位置提供

要求に応えて現在の位置情報を提供する

相手から要求があったときに現在の位置情報を提供するかどうかを設定します。

- この機能を利用するには、位置提供可否設定を「位置提供機能ON」に設定する必要があります。さらに、位置提供設定のサービス利用設定（GPSサービス利用設定）が必要な場合があります。
- 位置提供のご利用にあたっては、サービスへの申し込みが必要となる場合があります。また、本サービスの利用は有料となる場合があります。
- 位置提供のご利用にあたっては、GPSサービス提供者や、ドコモのホームページなどでのお知らせに従って行ってください。

位置提供の可否を設定する

お買い上げ時	位置提供機能OFF

1 ▶ [通知/提供設定] ▶ 3 ▶ 1 を押す

位置提供可否設定画面が表示されます。

2 1「位置提供機能ON」を押す

- 許可しないときは 2「位置提供機能OFF」を押します。

3 端末暗証番号を入力し、● を押す

位置提供が可能になります。

位置提供を許可する期間を設定するとき

1 位置提供可否設定画面で 3「許可期間設定」を押す

2 端末暗証番号を入力し、● を押す

3 提供を許可する期間を設定する

■ 開始時刻を設定するとき

① ▷を選択し、● を押す

② 開始時刻を入力し、● を押す

次ページへつづく

■ 終了時刻を設定するとき
① を選択し、● を押す
② 終了時刻を入力し、● を押す

■ 繰り返しを設定するとき
① を選択し、● を押す
② 1 ～ 3 を押す

毎日：毎日設定した時間に位置情報の提供を行います。
曜日指定：指定した曜日に位置情報の提供を行います。曜日を選択して ● を押し、 i ［完了］を押します。解除するときは曜日を選択して ● を押します。
繰り返しなし：設定した日だけ位置情報の提供を行います。

■ 有効期間を設定するとき
• 繰り返しなしの場合は、設定できません。
• 有効期間を設定しない場合は、操作する必要はありません。
① を選択し、● を押す
② 1「設定」を押す
  • 設定しないときは 2「設定なし」を押します。
③ 開始日を入力して ● を押し、終了日を入力して ● を押す

4 i ［確定］を押す

お知らせ

• 位置提供を許可する期間を設定するときに、開始時刻を現在時刻以前に設定した場合でも、繰り返し条件が「毎日」もしくは「曜日指定」で、設定時刻が設定条件に該当する場合には、設定当日から位置提供が行われます。

GPSサービス利用設定を行う<サービス利用設定>

GPSサービス利用設定に接続して位置提供に必要な設定を行います。
• GPSサービス利用設定とは、お客様が位置情報に関するサービスの設定を行うメニューのことです。

1 MENU ▶ 通知/提供設定 ▶ 3 ▶ 4 を押す

GPSサービス利用設定に接続されます。

2 必要な設定を行う

• 設定方法については、GPSサービス提供者にお問い合わせください。

お知らせ

• GPSサービス利用設定への接続中は、証明書表示・文字コード変換以外の機能（Bookmark登録・画面メモなど）は利用できません。URL履歴にも残りません。
• ドライブモード中の位置提供については、以下のように動作します。
  - GPSサービス利用設定が「毎回確認」の場合、ドライブモード中は位置提供の要求に対して、位置情報は提供されません。
  - GPSサービス利用設定が「許容」の場合、通知／確認音・バイブレータ・着信ランプは動作せず、画面表示のみ表示され、位置情報が提供されます。

位置提供の測位モードを設定する

お買い上げ時	標準モード

1 MENU ▶ 通知/提供設定 ▶ 3 ▶ 2 を押す

• 以降の操作：→P315「現在地確認の測位モードを設定する」手順2

接続先を設定する

お買い上げ時	契約時番号

契約時番号以外のGPSサービス利用設定への接続先を設定します。

通常は設定を変更する必要はありません。

1 ▶ 通知/提供設定 ▶ [3] ▶ [3] を押す

2 「未登録」を選択し、[i]［編集］を押す

■ 以前設定したユーザー指定接続先に変更するとき

[2]「ユーザー指定接続先」を押す

■ FOMA端末契約時の接続先に戻すとき

[1]「契約時番号」を押す

■ 設定したユーザー指定接続先を削除するとき

①「ユーザー指定接続先」を選択し、[✉]［削除］を押す

②端末暗証番号を入力し、[●]を押す

③[1]「はい」を押す

- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

3 端末暗証番号を入力し、[●]を押す

4 接続先名称を入力し、[●]を押す

- 接続先名称は半角英数字、記号を99文字まで入力できます。

5 接続先アドレスを入力し、[●]を押す

- 接続先アドレスは半角英数字、記号を100文字まで入力できます。

6 入力内容を確認し、[i]［完了］を押す

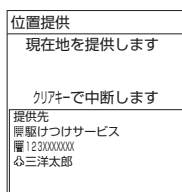
接続先が変更されます。

位置情報のリクエストがあると

設定した接続先から位置情報の提供を要求されると、位置提供を開始します。

- が点滅し、音設定／音量設定／バイブレータ設定／LED設定／通知時間設定で設定した内容で動作します。
- 音声／テレビ電話発信中は、通知／確認音、バイブレータは動作せず、着信ランプ、画面表示のみ動作します。
- GPSサービス利用設定が「許容」の場合、お客様の確認なしに位置を提供します。
- GPSサービス利用設定が「毎回確認」の場合、位置提供のリクエストがあるごとにお客様が確認して位置を提供します。

GPS機能

次ページへつづく

■ 位置情報を提供しないとき

位置提供中に ✉［中断］または CLR を押す

- ただし、タイミングによっては位置情報が送信されることがあります。
- 電波状況によっては、位置情報が送信されていても、送信に失敗した旨のメッセージが表示され、位置履歴にも NG と記録されることがあります。

お知らせ

- 位置情報を提供する相手の電話番号やメールアドレスがシークレット登録している電話帳の内容と一致しても、名前は表示されません。表示するにはシークレットモードをONにしてください。
- テレビ電話でキャラ電表示中に位置提供が行われると、キャラ電を代替画像に変更するという確認画面が表示されます。代替画像に変更しない場合は位置提供できません。

現在地通知

現在の位置情報を通知する

現在地の位置情報を特定の相手（GPSサービス提供者）に通知します。

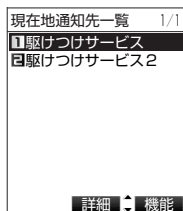
- 発信時に発信者番号が非通知に設定されている場合、現在地通知はできません。
- 発信時に相手がドライブモード中や着信を拒否した場合、現在地通知はできません。
- 現在地通知のご利用にあたっては、サービスへの申し込みが必要となる場合があります。また、本サービスの利用は有料となる場合があります。
- 現在地通知・定期現在地通知のご利用にあたっては、GPSサービス提供者や、ドコモのホームページなどでのお知らせに従って行ってください。また、これらの機能の利用は有料である場合があります。

通知する相手を登録する

現在地を通知する相手を登録します。登録した相手を選択すると、現在地の位置情報を通知できるようになります。

- 現在地通知先は９件まで登録できます。

1

を押す

現在地通知先一覧画面が表示されます。

2 i［機能］▶ 1「新規登録」を押す

3 内容を入力する

■ 通知先名を入力するとき

名 を選択して ● を押し、通知先名を入力して ● を押す

- 全角16文字（半角32文字）まで入力できます。
- 一覧画面には全角10文字（半角21文字）しか表示されません。
- 通知先名を引用する→P485

■ 通知先IDを入力するとき
通知先IDとは、サービス契約後にGPSサービス提供者から知らされる番号です。
[ID]を選択して●を押し、通知先IDを入力して●を押す
• 通知先IDは12桁までの半角数字で設定してください。「＊」、「＃」も入力できます。

■ 電話番号を入力するとき
[電話]を選択して●を押し、電話番号を入力して●を押す
• 電話番号は「＊」、「＃」、「＋」、「P」を含めて、26桁まで入力できます。
• すでに現在地通知先に登録されている電話番号は登録できません。
• 電話番号を引用する→P485

■ 発信時確認を設定するとき
• 電話番号を入力しないと、設定できません。
① **[発信時確認]を選択し、●を押す**
② **[1]～[3]を押す**

する：登録した電話番号に電話をかけたときに、相手に現在地情報を通知します。
しない：登録した電話番号に電話をかけたときに、相手に現在地情報を通知しません。
発信時確認：登録した電話番号に電話をかけるときに、現在地情報を通知するかしないか決定します。

4 [i]［登録］を押す

現在地を通知する相手が登録されます。

■ 通知先を電話帳登録するとき
通知先を選択し、[i]［機能］▶[5]「電話帳新規登録」を押す
• 以降の操作：→P89「FOMA端末電話帳に登録する」手順2～6、P94「FOMAカード電話帳に登録する」手順2～4
• 追加登録するときは[6]「電話帳追加登録」を押して電話帳を選択し、●を押します。以降の操作：→P101「電話帳を修正する」手順3～5

■ 通知先を編集するとき
① **通知先を選択し、●を押す**
  • 現在地通知先詳細画面が表示されます。
② **[✉]［編集］を押して編集する項目を選択し、●を押す**
③ **編集し、●を押す**

通知先を削除する

1 現在地通知先一覧画面で通知先を選択し、[i]［機能］▶[7]「削除」を押す

2 [1]「1件削除」を押す

■ 選択削除するとき
① **[2]「選択削除」を押す**
② **通知先を選択し、●を押す**
  • 解除するときは●を押します。
  • [✉]［詳細］を押すと、通知先の内容が表示されます。一覧に戻るときは[✉]［一覧］を押します。
③ **[i]［実行］を押す**

次ページへつづく

■ 全件削除するとき
① 3 「全件削除」を押す
② 端末暗証番号を入力し、● を押す

3 1 「はい」を押す

- 削除しないときは 2 「いいえ」を押します。

現在地通知の測位モードを設定する

お買い上げ時	標準モード

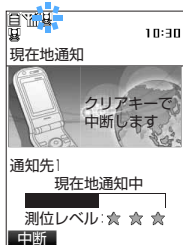
1 ▶ を押す

- 以降の操作：→P315「現在地確認の測位モードを設定する」手順2

位置情報を通知する

現在地の位置情報を選択した相手に通知します。

1 ▶ 1 を押す

2 通知する相手を選択し、● を押す

相手に現在地の位置情報が通知されます。
- が点滅し、音設定／音量設定／バイブレータ設定／LED設定／通知時間設定で設定した内容で動作します。

■ 通知先を入力して通知するとき
①「直接入力」を選択し、● を押す
② 通知先の通知先IDを入力し、● を押す

■ 現在地通知を中止するとき
[中断] または CLR を押す
- ただし、タイミングによっては位置情報が送信されることがあります。
- 電波状況によっては、位置情報が送信されていても、送信に失敗した旨のメッセージが表示され、位置履歴にも NG と記録されることがあります。

お知らせ

- テレビ電話でキャラ電表示中に TASK を1秒以上押して現在地通知、定期現在地通知が行われると、キャラ電を代替画像に変更するという確認画面が表示されます。通知を行うには 1 「はい」を押します。

GPS機能

現在地を簡単に通知する<ワンタッチ通知先>

現在地を通知する相手を設定しておくと、簡単な操作で位置情報を通知できます。
• ワンタッチ通知先を利用するには、ワンタッチ通知先の設定を行ってください。

1 TASK を1秒以上押す

現在地確認が始まります。現在地確認が完了すると、ワンタッチ通知先に設定した相手に位置情報が通知されます。

ワンタッチ通知先を設定する

ワンタッチ通知先で通知する相手を登録します。
• 設定した通知先を削除すると、ワンタッチ通知先の設定は解除されます。

1 現在地通知先一覧画面で通知先を選択し、i［機能］▶ 2「ワンタッチ通知先設定」を押す

• 設定を解除するときは 2「ワンタッチ通知先解除」を押します。

定期的に現在地を通知する

設定した時刻になると、現在地を通知するように設定できます。
• スケジュールは2件まで登録できます。

1 メニュー ▶ 通知/提供設定 ▶ 2 ▶ 3 を押す

2 1「スケジュール1」または 2「スケジュール2」を押す

• スケジュールごとに有効／無効が表示されます。

3 端末暗証番号を入力し、● を押す

4 1「有効」を押す

スケジュール画面が表示されます。

■ 設定を解除するとき
2「無効」を押す
• 一度登録したスケジュールは「無効」にしても前回の設定は残ります。

5 項目を設定する

■ 通知先を設定するとき
① を選択し、● を押す
② 現在地通知先一覧から通知先を選択して ● ▶ ● を押す
• あらかじめ現在地通知先を設定しておく必要があります。→P322

■ 開始時刻を設定するとき
① を選択し、● を押す
② 開始時刻を入力し、● を押す

■ 終了時刻を設定するとき
• 通知間隔が「1回のみ」の場合は、入力できません。
① を選択し、● を押す
② 終了時刻を入力し、● を押す

次ページへつづく

■ 通知間隔を設定するとき

① を選択し、● を押す

② 1 「通知間隔」または 2 「1回のみ」を押す

通知間隔：設定した通知開始時間から終了時間まで、設定した時間ごとに現在地通知を行います。
- 5分未満は設定できません。

1回のみ：設定した通知開始時間に現在地通知を行います。

■ 繰り返しを設定するとき

① を選択し、● を押す

② 1 ～ 3 を押す

毎日：毎日設定した時間に現在地通知を行います。

曜日指定：指定した曜日に現在地通知を行います。曜日を選択して ● を押し、i［完了］を押します。解除するときは曜日を選択して ● を押します。

繰り返しなし：設定した日だけ現在地通知を行います。

■ 有効期間を設定するとき

- 繰り返しなしの場合は、設定できません。
- 有効期間を設定しない場合は、操作する必要はありません。

① を選択し、● を押す

② 1 「設定」を押す
- 設定しないときは 2 「設定なし」を押します。

③ 開始日を入力して ● を押し、終了日を入力して ● を押す

6 i［登録］を押す

お知らせ

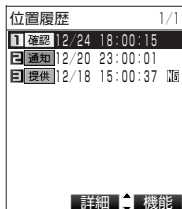
- 開始時刻と終了時刻を同じ時刻に設定した場合、または開始時刻より前に終了時刻を設定した場合、翌日の設定した時刻まで現在地が通知されます。（有効期間が設定された場合は、その翌日まで通知されます）
- 開始時刻を現在時刻以前に設定した場合でも、繰り返し条件が「毎日」もしくは「曜日指定」で、設定時刻や通知間隔が設定条件に該当する場合には、設定当日から現在地通知が行われます。
- ドライブモード中の定期現在地通知については、通知音・バイブレータ・着信ランプは動作せず、画面表示のみ表示され、現在地通知を行います。
- 音声／テレビ電話発信中の定期現在地通知については、通知／確認音、バイブレータは動作せず、着信ランプ、画面表示のみ動作し、現在地通知を行います。

位置履歴

確認した位置情報の履歴を表示する

位置情報の履歴を表示します。位置履歴の位置情報からサイトに接続したり、メールに貼り付けたりできます。

- 位置履歴は50件まで記録され、50件を超えると古い履歴から順に上書きされます。

1 ▶ を押す

位置履歴一覧画面

位置履歴一覧画面が表示されます。現在地確認・現在地通知・位置提供が実行された日時・成功／失敗・測位結果を確認できます。

確認：現在地を確認したとき

通知：現在地を通知したとき

提供：現在地を要求され提供したとき

NG：何らかの理由で失敗した場合

2 位置履歴を選択し、◉を押す

位置履歴　1/3
🕒2005/12/24 18:00:15
現在地確認
成功
▷NXX° XX' XX.XXX"
EXXX° XX' XX.XXX"
測地系：wgs84
測位レベル：★★★

位置履歴詳細画面

位置履歴詳細画面が表示されます。

測位日時　：測位した日時です。
位置情報　：経度（度、分、秒）、緯度（度、分、秒）
「N」は北緯、「E」は東経を表します。
測地系　：wgs84（世界測地系）、Tokyo（日本測地系）
測地系とは地球上の位置を経度･緯度で表わすための基準のことです。
測位レベル：測位の誤差範囲→P310

アイコン	内　容	アイコン	内　容
🕒	測位日時	🏢	現在地通知の通知先の名称／位置提供の送信先の名称
▷	位置情報	🏢	現在地通知の通知先のID／位置提供の送信先のID
★☆☆	誤差が300m以上（測位レベル1）	👤	位置提供の要求者名
★★☆	誤差が50m以上300m未満（測位レベル2）	👤	位置提供の要求者ID
★★★	誤差が50m未満（測位レベル3）		

- 位置履歴の測位の成功や測位失敗は、あくまでFOMA端末から位置情報を送信したかどうかのアイコンやメッセージであり、電波状態によりGPSサービス提供者に届いたかどうかとは、異なる場合があります。

位置履歴で使用できる機能

1 位置履歴一覧画面で位置履歴を選択し、[i]［機能］を押す

2 項目を選択し、◉を押す

位置サイト接続　：位置サイトに接続します。→P310
メール貼り付け　：位置情報URLをメールに貼り付けます。→P311
通知先にメール作成　：位置提供の要求者IDを宛先にしたメール作成画面が表示されます。→P230
ナビゲーション　：ナビゲーションを起動します。→P315
GPSソフト起動　：GPSソフト一覧を表示します。→P319
電話帳新規登録　：電話帳に新規登録します。→P89
電話帳追加登録　：電話帳に追加登録します。→P101
スケジュール新規登録：スケジュールに新規登録します。→P406
スケジュール追加登録：スケジュールに追加登録します。→P406
画像へ埋め込む　：画像へ位置情報を埋め込みます。→P328
削除　：位置履歴を削除します。→P328

お知らせ

- 測位に失敗した履歴は、各機能で使用できません。（削除を除く）
- 「通知先にメール作成」は、履歴の位置提供の要求者IDがメールアドレスの場合のみ使用できます。

位置履歴の位置情報を画像に埋め込む

位置履歴の位置情報を静止画に埋め込むことができます。埋め込んだ画像の位置情報から、地図を表示させたり、ナビゲーションをさせたりすることができます。

- JPEG形式の画像に位置情報を埋め込むことができます。
- 本FOMA端末以外で撮影した画像などには登録できない場合があります。

1 位置履歴一覧画面で i [機能] ▶ ◎ ▶ 3 「画像へ埋め込む」を押す

2 1 「マイピクチャ（本体）」または 2 「デジカメ（miniSD）」を押す

- miniSDメモリーカードの画像に位置情報を埋め込むときは 2 「デジカメ（miniSD）」を押します。

3 フォルダを選択し、● を押す

4 静止画を選択し、● を押す

静止画に位置情報が埋め込まれます。

- すでに位置情報が埋め込まれている場合、メッセージが表示されますので、位置情報の保存方法を選択します。

新規保存　：画像をコピーして、位置情報を埋め込みます。
位置情報更新：すでに埋め込まれている位置情報に上書きします。
キャンセル　：位置情報を埋め込みません。

位置履歴を削除する

1 位置履歴一覧画面で i ［機能］ ▶ ◎ ▶ 4 「削除」を押す

2 1 「1件削除」を押す

■ 選択削除するとき

① 2 「選択削除」を押す
② 位置履歴を選択し、● を押す
- 解除するときは ● を押します。
- ✉［詳細］を押すと、位置履歴詳細画面が表示されます。一覧に戻るときは ✉［一覧］を押します。

③ i ［実行］を押す

■ 全件削除するとき

① 3 「全件削除」を押す
② 端末暗証番号を入力し、● を押す

3 1 「はい」を押す

- 削除しないときは 2 「いいえ」を押します。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

各機能から位置情報を利用する

電話帳やスケジュールに登録した位置情報から位置サイトに接続したり、メールに貼り付けたりできます。また画像に埋め込んでいる位置情報を活用できます。

位置情報を埋め込む

FOMA端末電話帳、スケジュール、カメラ撮影前・撮影後の静止画、データBOX内の静止画、自局情報に位置情報を埋め込むことができます。

1 FOMA端末電話帳、スケジュール、自局情報を編集または静止画撮影・確認画面、画像一覧・表示画面を表示する

- FOMA端末電話帳編集について→P101
- スケジュール編集について→P408
- 自局情報編集について→P416
- 静止画撮影・確認画面表示方法について→P153
- 画像一覧・表示画面表示方法について→P334

2 i［機能］▶「位置情報」または「位置情報埋め込み」を選択し、●を押す

- FOMA端末電話帳、スケジュール、自局情報の場合は、「 位置情報なし」を選択し、●を押します。手順4へ進んでください。

3 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。
- 画像一覧・表示画面以外は手順4へ進んでください。

4 項目を選択し、●を押す

現在地確認：現在地確認を行い、位置情報を埋め込みます。現在地確認結果画面で●を押します。

位置履歴から：位置履歴一覧から位置情報を埋め込みます。位置履歴を選択し、●▶●を押します。

電話帳から：電話帳に登録されている位置情報を埋め込みます。電話帳を検索し、●▶●を押します。

自局情報から：自局情報に登録されている位置情報を埋め込みます。●▶●を押します。

画像データから：他の静止画に埋め込まれている位置情報を埋め込みます。1「マイピクチャ（本体）」または2「デジカメ（miniSD）」を押し、フォルダからファイルを選択し、●▶●を押します。

スケジュールから：スケジュールに登録されている位置情報を埋め込みます。スケジュールを選択し、●▶●を押します。

- 電話帳、自局情報編集中は「電話帳から」、「自局情報から」を選択できません。
- スケジュール編集中は「スケジュールから」を、画像一覧・表示画面表示中は「画像データから」を選択できません。

埋め込んだ位置情報を利用する

1 FOMA端末電話帳、スケジュール、画像一覧・表示画面、自局情報を表示する

- FOMA端末電話帳表示方法について→P98
- スケジュール表示方法について→P408
- 画像一覧・表示画面表示方法について→P334
- 自局情報表示方法について→P416

2 i［機能］▶「位置情報」を選択し、● を押す

- FOMA端末電話帳、スケジュール、自局情報の場合は、「▷位置情報あり」を選択し、● を押しても以下の操作ができます。

3 項目を選択し、● を押す

- 表示した内容によっては、選択できない項目があります。

位置サイト接続：位置サイトに接続します。→P310
メール貼り付け：位置情報URLをメールに貼り付けます。→P311
ナビゲーション：ナビゲーションを起動します。→P315
GPSソフト起動：GPSソフト一覧を表示します。→P319
電話帳新規登録：電話帳に新規登録します。→P89
電話帳追加登録：電話帳に追加登録します。→P101
スケジュール新規登録：スケジュールに新規登録します。→P406
スケジュール追加登録：スケジュールに追加登録します。→P406
画像へ埋め込む：画像へ位置情報を埋め込みます。→P328
位置情報埋め込み：データBOX内の画像にすでに埋め込まれた位置情報を更新できます。→P329
位置情報詳細：埋め込んだ位置情報の詳細が表示されます。→P327
削除：埋め込んだ位置情報を削除します。
- 電話帳、スケジュール、自局情報での削除は、編集画面から行ってください。

データ表示／編集／管理

データBOXについて

データBOXは以下のように階層が分けられており、各種データを種別にそれぞれフォルダに振り分け、管理することができます。

データBOXの容量

• データBOXの容量は8Mバイトで、最大保存件数は1024件です。(お買い上げ時に保存されているキャラ電、デコメールピクチャを含みます。)

項　目		1件の最大サイズ
画像	JPEG形式	1Mバイト
	GIF形式	
	アニメーションGIF形式	
	Flash画像	100Kバイト
動画・iモーション		500Kバイト※1
メロディ	SMF形式	300Kバイト
	MFi形式	300Kバイト
キャラ電		100Kバイト
オリジナルデータ	メニューアイコン	100Kバイト
	祝日データ※2	5Kバイト
	辞書※2	20Kバイト

※1 iモード(メール添付含む)より取得した場合のデータ最大容量です。FOMA端末で撮影したデータの最大サイズは8Mバイトです。miniSDメモリーカードよりコピー可能な最大容量は、データBOX容量内であれば制限はありません。
※2 祝日データは10件、辞書データは100件まで保存できます。

• マイピクチャ、iモーション、メロディ内には、フォルダをそれぞれ10個まで追加できます。

データBOX内	フォルダ	フォルダ内のデータ内容
マイピクチャ	iモード	サイト、iモードメール、メッセージR/F、iアプリより取得・作成された画像
	カメラ	カメラやキャラ電撮影で撮影した画像 撮影した画像を編集した画像
	デコメールピクチャ	内蔵されているデコメール用の画像・テンプレート、サイトよりダウンロードしたデコメール用のテンプレートなど
	プリインストール	内蔵されている画像(フレーム・スタンプを含む)※1
	データ交換	赤外線受信、USB通信などから取得した画像、miniSDメモリーカードからインポートされた画像、バーコードリーダーから取得した画像
	アイテム	FOMA端末にて作成、もしくはダウンロードしたフレーム、スタンプ(内蔵されているフレーム・スタンプを除く)
	ユーザーフォルダ	お客様が作成できるフォルダで、マイピクチャ内のフォルダより「フォルダ移動」でファイルを移動可能

※1 デコメール用の画像・テンプレートを除きます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

データBOX内	フォルダ	フォルダ内のデータ内容
iモーション	iモード	サイト、iモードメール、iアプリより取得・作成されたiモーション
	カメラ	カメラやキャラ電撮影で撮影した動画 撮影した動画を編集した動画 ボイスレコーダー（音声のみの動画撮影）によって録音された動画
	プリインストール	内蔵されているiモーション
	データ交換	赤外線受信、USB通信などから取得したiモーション、miniSDメモリーカードからインポートされたiモーション
	ユーザーフォルダ	お客様が作成できるフォルダで、iモーション内のフォルダより「フォルダ移動」でファイルを移動可能
メロディ	iモード	サイト、iモードメール、メッセージR/F、iアプリより取得・作成されたメロディ
	プリインストール	内蔵されているメロディ
	データ交換	赤外線受信、USB通信などから取得したメロディ、miniSDメモリーカードからインポートされたメロディ、バーコードリーダーから取得したメロディ
	ユーザーフォルダ	お客様が作成できるフォルダで、メロディ内のフォルダより「フォルダ移動」でファイルを移動可能
キャラ電		内蔵、ダウンロードされたキャラ電

フォルダ内で表示されるアイコン

フォルダ	アイコン	データ種別	アイコン	画像サイズ
マイピクチャ		GIF形式データ		Sub-QCIF
		アニメーションGIF形式データ		QCIF
		JPEG形式データ		QVGA
		Exif-JPEG形式データ		CIF
		位置情報付きJPEG形式データ		VGA
		フレームデータ		XGA
		スタンプデータ		SXGA
		Flash画像データ		1M
		デコメールテンプレートデータ		その他サイズ
		内蔵されている静止画		
iモーション		MP4形式データ（動画）		Sub-QCIF
		MP4形式データ（音声のみ）		QCIF
		MP4形式データ（再生制限付き動画）		その他サイズ
		MP4形式データ（再生制限切れ）		
メロディ		MFi形式メロディデータ		
		SMF形式メロディデータ		
キャラ電		キャラ電データ		
フォルダ	**アイコン**	**データ内容（ファイル制限など）**	**アイコン**	**データ内容**
フォルダ共通		再生不可（データ種別アイコン上に表示）	／	処理中
		ファイル制限なし		FOMAカード動作制限あり
		ファイル制限あり		

データ表示／編集／管理

次ページへつづく

お知らせ

- FOMA 端末の故障・修理・電話機の変更やその他取扱いによって、データBOXに保存したデータが消失してしまう場合があります。万一に備え保存したデータはminiSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。（→P364）保存したデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用してパソコンに保管することもできます。→P520

保存した画像を表示する

マイピクチャに保存されている画像を表示します。

1 ● ▶ データBOX ▶ 1 を押す

■ miniSDメモリーカード内の画像を表示するとき
● ▶ データBOX ▶ ✉［miniSD］▶ 1 または 2 を押す

2 フォルダを選択し、● を押す

画像一覧画面
（12分割表示）

■ 画像をiモードメールに添付するとき
画像を選択し、i［機能］▶ 2「メール添付」を押す
- 画像が添付されたメール作成画面が表示されます。
- 画像サイズが待受画面より大きい場合は、画像サイズを待受画面に変換して添付できます。
- 画像表示画面でも同じ操作でメールに画像を添付できます。
- 以降の操作：→P230「iモードメールを作成して送信する」手順2～6
  位置情報付き静止画の添付について→P241

■ 表示方法を切り替えるとき
① i［機能］▶ 5「表示切替」を押す
② 1 ～ 3 を押す

■ 画像に位置情報を埋め込むとき
画像を選択し、i［機能］▶ 7「位置情報」を押す
- 以降の操作：→P329「位置情報を埋め込む」手順3～4
- すでに画像に位置情報が埋め込まれているときは、位置情報を利用できます。
  以降の操作：→P330「埋め込んだ位置情報を利用する」手順3
- 画像表示画面から位置情報を埋め込むには i［機能］▶ 6「位置情報」を押します。

■ スライドショーを見るとき
選択した画像から順番に、フォルダ内の画像（JPEG、GIF形式）を約3秒ごとに連続して表示できます。
- アニメーションGIF形式のデータは、スライドショーで表示されません。

i［機能］▶ ◎ ▶ 1「スライドショー」を押す
- すべての画像を表示すると画像一覧画面に戻ります。途中で画像一覧画面に戻るには ● か CLR を押します。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

3 表示する画像を選択し、◉を押す

画像表示画面

- ▲または▼を押すと、前後の画像に切り替わります。
- 画像サイズが横240×縦220ドットより小さいときは、◉［拡大］を押すと、拡大再生されます。◉［等倍］を押すと、通常表示に戻ります。
- 画像サイズが横 240 ×縦 220 ドットより大きいときは、◉［ズーム］を押すと、ズーム再生されます。
  さらにズーム倍率を上げるときは i［ズーム］、ズーム倍率を下げるときは ✉［ワイド］を押します。
  ▶◀▲▼が表示されているときは、✥で画像をスクロールできます。
  ◉［最適化］を押すと、通常表示に戻ります。

■ 画像を全画面表示するとき

i［機能］▶ 7「全画面表示」を押す

- 画像表示画面に戻るには◉か CLR を押します。

■ アニメーション、Flash画像のとき

表示すると、自動的に再生されます。
アニメーション再生中は ✉ で停止、停止中に◉で再生します。
Flash画像再生中は◉で停止、停止中に◉で再生します。
アニメーション、Flash画像とも、i［機能］▶ 1「リトライ」で先頭から再生します。

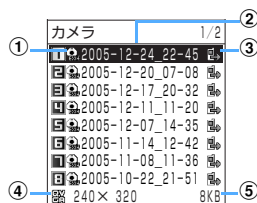
お知らせ

- サイトからダウンロードしたFlash画像は、サイトでの見えかたと異なる場合があります。

画像一覧画面の見かた

画像をサムネイルまたはリストで一覧表示します。
画像表示を切り替える→P334

4分割表示

12分割表示

リスト表示

①データ種別
②タイトル
③データ内容（ファイル制限など）
④画像サイズ
⑤ファイルサイズ

お知らせ

- 画像によってはサムネイル表示が正しくされない場合があります。その場合は、代替画像が表示されます。
- 待受画面などに設定されている画像のタイトルは、青色で表示されます。

静止画からスタンプ／フレーム／メニューアイコンを作成する<アイテム作成>

スタンプ作成

- 画像サイズが34×34ドット以上、CIF以下の静止画からスタンプを作成できます。

1 **画像一覧画面で静止画を選択し、i［機能］▶6「アイテム作成」▶1「スタンプ」を押す**

2 **スタンプ枠を選択し、●を押す**

3 **スタンプ枠に画像を配置する**

- ✥で画像をスクロールできます。
- ✉［枠サイズ］を押すと、スタンプ枠のサイズが3段階に切り替わります。
- i［最適化］を押すと、画像の縦横どちらかの短辺を現在の枠サイズに合わせ、画像を縦横比を変更せずに縮小します。元に戻すときは、i［解除］を押します。

4 **●を押す**

5 **作成されたスタンプを確認し、●を押す**

6 **タイトルを入力し、●を押す**

「データBOX」→「マイピクチャ」→「アイテム」フォルダに保存されます。
- 全角18文字（半角36文字）まで入力できます。

フレーム作成

- 画像サイズがCIF（352×288）、待受画面、QCIF、Sub-QCIFの静止画からフレームを作成できます。

1 **画像一覧画面で静止画を選択し、i［機能］▶6「アイテム作成」▶2「フレーム」を押す**

2 **フレーム枠を選択し、●を押す**

フレーム枠になる以外の部分がグレー表示されます。

3 **作成されるフレームを確認し、●を押す**

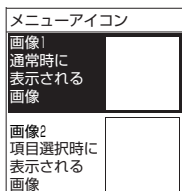
フレーム枠がプレビュー表示されます。

4 **●を押す**

5 **タイトルを入力し、●を押す**

「データBOX」→「マイピクチャ」→「アイテム」フォルダに保存されます。
- 全角18文字（半角36文字）まで入力できます。

1 画像一覧画面で i［機能］▶ 6「アイテム作成」▶ 3「メニューアイコン」を押す

2 1「9分割」または 2「12分割」を押す

3 「画像１　通常時に表示される画像」を選択し、● を押す

4 フォルダを選択し、● を押す

5 アイコンに使う画像を選択し、● を押す

- ✉［再生］を押すと画像を確認できます。▲または▼を押すと前後の画像を確認できます。

6 位置やサイズを調整し、● を押す

- ✥でアイコンに使う位置を調整します。
- i［最適化］を押すと、画像の縦横どちらかの短辺を現在の枠サイズに合わせ、画像を縦横比を変更せずに縮小します。元に戻すときは、i［解除］を押します。

7 ● を押す

8 「画像２　項目選択時に表示される画像」を選択し、● を押す

手順４～７を操作し、項目選択時に表示される画像を確定します。

9 i［保存］を押す

- ✉［再生］を押すと、画像が再生されます。

10 タイトルを入力し、● を押す

オリジナルデータの「メニューアイコン」に保存されます。
- 全角18文字（半角36文字）まで入力できます。

お知らせ

- 画像表示画面からアイテムを作成するには、i［機能］▶ 5「アイテム作成」を押します。

画像を待受画面などに設定する

- Flash画像は、待受画面のみ設定できます。
- 画像サイズがVGAより大きい画像は設定できません。
- 画像サイズがQCIFより大きい画像、ファイル制限あり（FOMA端末で設定した場合を除く）の画像は、「テレビ電話代替画像」、「テレビ電話伝言メモ画像」、「応答保留画像」、「通話中保留画像」に設定できません。

1 画像表示画面で［設定］を押す

2 設定先を選択し、を押す

- 設定先や画像によっては手順３～４を行わず、設定が完了する場合があります。

3 画像を確認する

- で位置を設定できます。
- ［サイズ変更］を押すと、表示サイズを設定できます。画像のサイズによっては、サイズ変更できない場合があります。

4 を押す

お知らせ

- 選択した設定先に映像と音声が含まれる動画・iモーションが設定されている場合は、着信音がお買い上げ時の状態に戻ることを確認するメッセージが表示されます。

画像編集

静止画を編集する

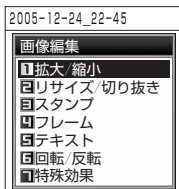
サイズ変更やスタンプ貼り付けなど、マイピクチャに保存されている静止画を編集します。

- 次のデータは編集できません。
  - 画像サイズが1Mより大きいデータ
  - 画像サイズが34×34ドットより小さいデータ
  - ファイル制限が設定されているデータ（FOMA端末で設定した場合を除く）
  - FOMAカード動作制限機能が設定されているデータ

1 静止画を表示し、［機能］▶1「画像編集」を押す

2005-12-24_22-45
画像編集
1拡大/縮小
2リサイズ/切り抜き
3スタンプ
4フレーム
5テキスト
6回転/反転
7特殊効果

画像編集メニュー

画像編集メニューが表示されます。

2 静止画を編集する

拡大／縮小　：画像を拡大／縮小します。
リサイズ／切り抜き：画像を特定のサイズに変更します。
スタンプ　：画像にスタンプを貼り付けます。→P340
フレーム　：画像にフレームを貼り付けます。→P341
テキスト　：画像に文字を貼り付けます。→P341
回転／反転　：画像を回転／反転します。→P342
特殊効果　：画像に特殊効果をかけます。→P342

3 編集した画像を確認し、◉を押す

編集内容を取り消すときは✉［取消］▶1「はい」を押します。
続けて別の編集をするときはi［機能］を押します。

4 1「新規保存」を押す

■ 編集元の画像に上書きするとき

2「上書き保存」▶1「はい」を押す

- 中止するには2「いいえ」を押します。

5 タイトルを入力し、◉を押す

- 全角18文字（半角36文字）まで入力できます。

お知らせ

- 画像一覧画面で編集するには、静止画を選択し、i［機能］▶1「画像編集」を押します。
- 静止画や編集方法によっては、編集結果がイメージと異なることがあります。
- 編集と保存を繰り返し行うと、画質が劣化したり、静止画のファイルサイズが大きくなることがあります。また、この場合編集後のデータが再編集できなくなる場合があります。
- データの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるとき→P376

画像を拡大／縮小する

- 画像サイズがCIFより大きい静止画は拡大／縮小できません。

1 画像編集メニューで1「拡大/縮小」を押す

2 i［拡大］または✉［縮小］を押してサイズを変更する

縦横比を保持したまま、5%ずつ拡大／縮小します。
- ▶◀▲▼が表示されたときは、✥で画像をスクロールできます。

3 ◉を押す

画像サイズの圧縮や切り抜きをする

静止画を特定のサイズにリサイズ／切り抜きます。
- 画像サイズがSub-QCIFより小さい静止画はリサイズ／切り抜きできません。

1 画像編集メニューで2「リサイズ/切り抜き」を押す

次ページへつづく

2 [1] ～ [4] を押す

3 ● を押す

- [✉]［切替］を押すと、リサイズと切り抜きを切り替えることができます。
- 画像の縦または横のサイズが、リサイズ／切り抜きするサイズより小さい場合は切り抜きできません。
- 手順2で「CIF（352×288)」を選択したときは切り抜きできません。

■ 切り抜きをするとき

[十字キー]で切り抜く部分を調整する

4 画像を確認し、● を押す

スタンプを貼り付ける

画像にスタンプや画像を貼り付けます。

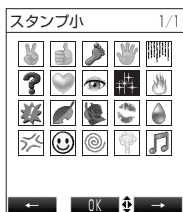
- スタンプや画像は、20個まで貼り付けられます。スタンプや画像のサイズによって、貼り付け可能数は変わります。
- 画像サイズがCIFより大きい静止画はスタンプや画像を貼り付けできません。
- 画像サイズがQCIFより小さい静止画は画像を貼り付けできません。
- 貼り付けるスタンプや画像は、miniSDメモリーカードから選択できません。
- 貼り付けできるスタンプの画像サイズは、240×319ドット以下です。
- 貼り付けできる静止画の画像サイズは34×34ドット以上、QCIF以下です。

1 画像編集メニューで [3]「スタンプ」を押す

2 [1]「スタンプ貼り付け」を押す

■ 画像を貼り付けるとき

① [2]「画像貼り付け」を押す
② フォルダを選択し、● を押す
③ スタンプに使う画像を選択し、● を押す
- 手順4へ進んでください。

3 スタンプを選択し、● を押す

- [✉]［←］または [i]［→］を押すと、サイズが違うスタンプが表示されます。
- 画像サイズより大きいスタンプは貼り付けられません。

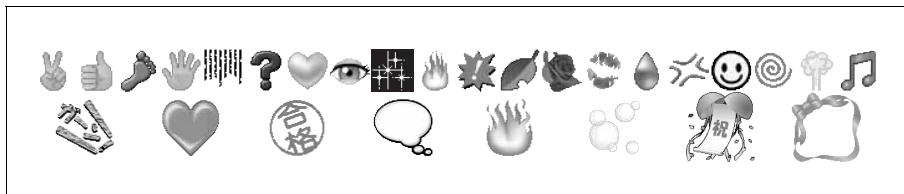
データ表示／編集／管理

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

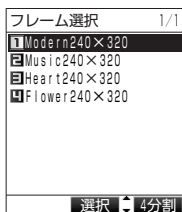
4 を押してスタンプや画像を貼り付ける位置を調整し、● を押す

- 同じスタンプや画像を、続けて別の位置に貼り付けることができます。
- 貼り付けたスタンプや画像の位置調整をやりなおすときは、CLR を押します。CLR を1秒以上押すと、貼り付けたスタンプや画像がすべて削除されます。
- 他のスタンプや画像を追加するときは、✉［追加］を押します。手順2～4を繰り返してください。

5 i［確定］を押す

内蔵されているスタンプ

フレームを貼り付ける

- 画像サイズがCIF、待受画面、QCIF、Sub-QCIFの静止画にフレームを貼り付けできます。

1 画像編集メニューで 4「フレーム」を押す

選択した静止画と同じサイズのフレームが表示されます。
- i を押すごとに、フレームの表示方法を切り替えられます。

2 フレームを選択し、● を押す

3 フレームを貼り付けた画像を確認し、● を押す

- ▲または▼を押してフレームを選択できます。
- 内蔵されているフレームについて→P157

テキストを貼り付ける

- 画像サイズがCIFより大きい静止画は、テキストを貼り付けできません。

1 画像編集メニューで 5「テキスト」を押す

2 1～5 を押す

3 テキストを入力し、● を押す

データ表示／編集／管理

次ページへつづく

4 を押してテキストを貼り付ける位置を調整する

- [色変更]を押すごとに、黒→白→赤→緑→水色と文字色が切り替わります。
- [戻る]を押すとテキスト入力画面に戻ります。

5 を押す

回転／反転させる

- 画像サイズがCIFより大きい静止画は、回転／反転ができません。

1 画像編集メニューで 6 「回転/反転」を押す

2 [回転]または [反転]を押す

- [回転]を押すごとに、右90度に回転します。で表示されていない部分を確認できます。
- [反転]を押すと、左右反転します。
- 反転中に [回転]を押すごとに、左90度に回転します。

3 を押す

特殊な効果をかける

- 画像サイズがCIFより大きい静止画は、特殊効果ができません。

1 画像編集メニューで 7 「特殊効果」を押す

2 1 ～ 9 を押す

モザイク／塗りつぶし：画像にモザイクをかけます。
セピア：画像を古い写真のような茶色がかった色にします。
モノクロ：画像を白黒にします。
タイル：画像を分割表示します。
ポートレート：画像を楕円形に表示し、その外側を白で表示します。
フェードアウト：画像の外側をグレー表示し、遠近感を出します。
スポットライト：画像の外側を黒くし、円形のライトがあたっているように表示します。
ポスター：絵画のように画像に濃淡をつけます。
ソフトフォーカス：画像全体をソフトにぼかします。

- を押すと、前後の特殊効果に切り替わります。

＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→P361

3 ● を押す

■ モザイク／塗りつぶしを選択したとき

✉［細かく］を押すごとにモザイクの細かさが切り替わります。3回押すと塗りつぶしになります。元に戻すには、✉［やり直し］を押します。

■ モザイク／塗りつぶし、セピア、モノクロを選択したとき

特殊効果をかける範囲を指定できます。

① i［範囲指定］を押す
- 戻るときは、i［全画面］を押します。

② ✥で範囲の始点を決め、●を押す

③ ✥で範囲を決め、●を押す
- ✉を押して、モザイクの細かさを切り替えられます。

■ タイルを選択したとき

i を押すごとに、4分割→16分割→64分割に切り替わります。

■ ポートレート、フェードアウト、スポットライトを選択したとき

i を押すごとに、画像表示部分を絞ります。

■ ポスターを選択したとき

i を押すごとに、濃淡の強弱が切り替わります。

4 ● を押す

動画・iモーションを再生する

iモーションに保存されている動画・iモーションを再生します。

- 画像サイズがSub-QCIF、QCIFの動画・iモーション、音声のみの動画・iモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）を再生できます。

1 ●▶［データBOX］▶ 2ABCか を押す

■ miniSDメモリーカード内の動画・iモーションを再生するとき

●▶［データBOX］▶✉［miniSD］▶ 3DEFさ を押す

2 フォルダを選択し、●を押す

動画一覧画面

■ 動画・iモーションをiモードメールに添付するとき

動画・iモーションを選択し、i［機能］▶ 2ABCか「メール添付」を押す

- 動画・iモーションが添付されたメール作成画面が表示されます。
- 動画再生画面でも同じ操作でメールに動画・iモーションを添付できます。
- ファイルサイズが500Kバイトより大きい場合は、メール添付可能なサイズに切り出してから添付します。
- 以降の操作：→P230「iモードメールを作成して送信する」手順2～6

■ 表示方法を切り替えるとき

① i［機能］▶ 5JKLな「表示切替」を押す

② 1.@あ ～ 3DEFさ を押す

次ページへつづく

■ サムネイルを設定するとき

動画一覧画面に表示される画像（サムネイル）を設定できます。

• 次の動画・iモーションはサムネイルを設定できません。
  - FOMA端末で撮影した動画・iモーション以外※
  - ファイルサイズが7.4Mバイトより大きい動画・iモーション
  - ファイル制限が設定されている動画・iモーション（FOMA端末で設定した場合を除く）
  - FOMAカード動作制限機能が設定されている動画・iモーション
  - 情報表示の取得元が「iモード」になっている動画・iモーション
  - 音声のみの動画・iモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）

  ※動画・iモーションによっては設定できる場合があります。

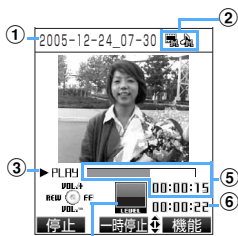
① 動画・iモーションを選択し、[i]［機能］▶ [7]「サムネイル設定」を押す

② [✉]［前へ］または [i]［次へ］を押してサムネイルにする画像を選択し、[●] を押す

• [◎] を押しても選択できます。

③ [1]「はい」を押す

• 中止するときは [2]「いいえ」を押します。

3 再生する動画を選択し、[●] を押す

動画再生画面

① タイトル

② ファイル種別

- [映像]：映像あり　- [映像]：再生不可（グレー）
- [音声]：音声あり　- [音声]：再生不可（グレー）
- [テキスト]：テキストあり　- [テキスト]：再生不可（グレー）

③ 再生状態

④ 再生音量

⑤ 再生時間

現在の再生時間を数字（カウンター）とバーで示します。

⑥ 総再生時間

• 再生中は以下の操作ができます。
  - [●]：一時停止／再開
  - [✉]：停止
  - [◎]：早送り（1秒以上押すと連続早送りになります）
  - [◎]：巻戻し（1秒以上押すと連続巻戻しになります）
  - [◎]：音量調節
• 一時停止中は以下の操作ができます。
  - [◎]：コマ送り（1秒以上押すと連続コマ送りになります）
  - [◎]：コマ戻し（1秒以上押すと連続コマ戻しになります）

  ※ボイスレコーダーのデータ再生時は使用できません。
• [▲] または [▼] を押すと、前後の動画・iモーションが再生されます。

■ テロップにリンク先が表示されたとき

動画再生中に下線付きの電話番号やメールアドレス、URLが表示されたときは、[●] か [✉]［停止］を押す、または再生が終了すると、Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を利用できます。電話番号やメールアドレスなどを電話帳に登録したりコピーすることもできます。

• Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を使う→P205

■ 動画・iモーションを拡大再生するときは

[i]［機能］▶ [5]「拡大再生」を押す

• 等倍再生するには [i]［機能］▶ [5]「等倍再生」を押します。

データ表示／編集／管理

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

■ 動画・iモーションを繰り返し再生するには

[i]［機能］▶[7]「繰り返し再生ON」を押す

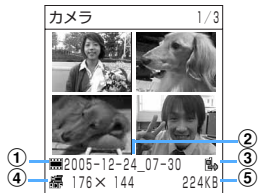
- 繰り返し再生をやめるには[i]［機能］▶[7]「繰り返し再生OFF」を押します。

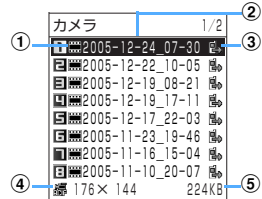
お知らせ

- フォルダに保存されている動画を連続で再生することもできます。（プログラム再生）→P377
- 動画・iモーション再生中に●または[✉]［停止］を押して再生を停止させ、[✉]［設定］を押した場合、動画再生画面に戻った時点で先頭から再生を開始します。

動画一覧画面の見かた

動画をサムネイルまたはリストで一覧表示します。

- 画像表示を切り替える→P343

4分割表示

12分割表示

リスト表示

①データ種別
②タイトル
③データ内容（ファイル制限など）
④画像サイズ
⑤ファイルサイズ

お知らせ

- 画像によってはサムネイル表示が正しくされない場合があります。その場合は、代替画像が表示されます。
- 待受画面などに設定されている画像のタイトルは、青色で表示されます。

動画を場面ごとに区切る<チャプター>

長時間の動画・iモーションに区切り（チャプター）を登録できます。チャプター登録した部分からの再生ができます。

チャプター登録

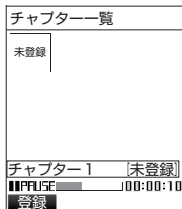
チャプターは、1件の動画・iモーションに12個まで登録できます。チャプター情報付きの動画・iモーションは、データBOX、miniSDメモリーカード内にそれぞれ100件まで作成できます。

- 次の動画・iモーションはチャプター登録ができません。
  - FOMA端末で撮影した動画・iモーション以外※
  - ファイルサイズが7.4Mバイトより大きい動画・iモーション
  - ファイル制限が設定されている動画・iモーション（FOMA端末で設定した場合を除く）
  - FOMAカード動作制限機能が設定されている動画・iモーション
  - 情報表示の取得元が「iモード」になっている動画・iモーション
  - 再生制限付きのiモーション
  - お買い上げ時に登録されている動画・iモーション
  - 音声のみの動画・iモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）

  ※データによっては登録できる場合があります。

次ページへつづく

1 動画を再生する

2 チャプター登録する場面で [i]［機能］▶ [6 MNOは]「チャプター」を押す

チャプター一覧画面が表示されます。
チャプター登録した場面が数字（カウンター）とバーで表示されます。

3 「未登録」を選択し、[✉]［登録］を押す

- すでに登録されているチャプターを選択し、[✉]［登録］を押すと、上書きするかどうかを確認するメッセージが表示されます。上書きするときは [1.@あ]「はい」を押します。

チャプター再生

1 動画一覧画面で [i]［機能］▶ [6 MNOは]「チャプター」を押す

2 チャプターを選択し、(●) を押す

選択したチャプターから再生されます。

■ チャプターのタイトルを編集するとき

① チャプターを選択し、[i]［機能］▶ [1.@あ]「チャプタータイトル編集」を押す
② タイトルを入力し、(●) を押す
- 全角7文字（半角14文字）まで入力できます。

■ 設定したチャプターを解除するとき

① チャプターを選択し、[i]［機能］▶ [2 ABCか]「チャプター解除」を押す
② [1.@あ]「1件解除」を押す
- [2 ABCか]「全件解除」を押したときは、[1.@あ]「はい」を押します。

お知らせ

- 動画再生画面でチャプター再生するには、[i]［機能］▶ [6 MNOは]「チャプター」を押します。

動画・iモーションを音声着信などに設定する

- 再生制限が設定されているiモーションは設定できません。
- ファイルサイズが500Kバイトより大きい動画・iモーションは設定できません。
- 音声のみの動画・iモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）は待受画面に設定できません。
- 次の動画・iモーションは着信音・着信画像に設定できません。
  - テロップ付きの動画・iモーション
  - 情報表示の取得元が「データ交換」になっている動画・iモーション
  - 情報表示の着信音設定および着信画面設定が「不可」になっている動画・iモーション

1 動画再生画面で (●) または [✉]［停止］を押す

2 [✉]［設定］を押す

3 設定先を選択し、◉を押す

- 動画・iモーションによっては、表示サイズや音量を設定する画面が表示されます。1「拡大」または2「等倍」を押し、◎で音量を設定します。
- 動画・i モーションによっては、設定している着信音や着信画像が変更されることを確認するメッセージが表示されます。

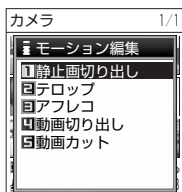
iモーション編集

動画・iモーションを編集する

静止画の切り出しや任意の範囲の切り出しなど、iモーションに保存されている動画・iモーションを編集します。

- 次のデータは編集できません。
  - FOMA端末で撮影したデータ以外※
  - ファイルサイズが7.4Mバイトより大きいデータ
  - ファイル制限が設定されているデータ（FOMA端末で設定した場合を除く）
  - FOMAカード動作制限機能が設定されているデータ
  - 情報表示の取得元が「iモード」になっているデータ

  ※データによっては編集できる場合があります。
- 再生制限付きのiモーション、お買い上げ時に登録されている動画・iモーションは編集できません。
- 編集中に動画・iモーションを再生したときのキー操作について→P344

1 動画を選択し、i［機能］▶1「iモーション編集」を押す

iモーション編集メニュー

iモーション編集メニューが表示されます。

2 動画・iモーションを編集する

静止画切り出し：動画・iモーションから静止画像を切り出します。→P348
テロップ：動画・iモーションにテロップを追加します。→P348
アフレコ：動画・iモーションに新たに音声を追加します。→P350
動画切り出し：任意の範囲で動画・iモーションを切り出します。→P351
動画カット：任意の範囲で動画・iモーションを削除します。→P352

静止画の切り出し

動画・iモーションの再生中に任意の位置を指定し、静止画として切り出します。
- テロップのある動画・iモーションを切り出ししても、静止画にテロップは含まれません。
- 音声のみの動画・iモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）は、静止画の切り出しはできません。
- 静止画はJPEG形式で保存されます。

1 iモーション編集メニューで 1 「静止画切り出し」を押す

2 ● を押して再生し、切り出す部分で ● を押す

- やり直すときは ✉［やり直し］を押します。
- 再生を再開するときは ● を押します。

3 i［保存］▶ 1「はい」を押す

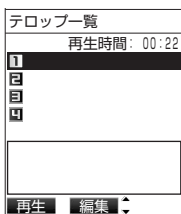
- 中止するときは 2「いいえ」を押します。

4 タイトルを入力し、● を押す

静止画は、「データBOX」→「マイピクチャ」→「カメラ」フォルダに保存されます。
- 全角18文字（半角36文字）まで入力できます。

テロップ編集

動画・iモーションにテロップを追加します。
- テロップは4個まで挿入できます。
- テロップに電話番号、メールアドレス、URLを入力しても、Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を利用できません。
- ファイルサイズが500Kバイトより大きい動画は、テロップ編集できません。
- 音声のみの動画・iモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）は、テロップ編集できません。（サムネイル付の音声データを含む）

1 iモーション編集メニューで 2 「テロップ」を押す

テロップ一覧画面

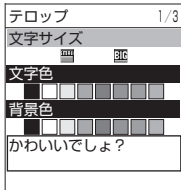
- ✉［再生］を押すと動画・iモーションを確認できます。

2 1 〜 4 ▶ 1「開始／終了時間」を押す

3 テロップ表示を始める場面で i［始点］を押し、表示を終わる場面で i［終点］を押す

- 動画・iモーションの途中からテロップを挿入する場合は、● を押して再生させてから i［始点］／［終点］を押します。
- やり直すときは ✉［やり直し］を押します。

データ表示／編集／管理

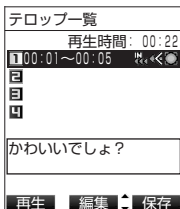
4 テロップを入力し、◉を押す

デコレーション選択画面が表示されます。

- 全角20文字（半角40文字）まで入力できます。

5 でテロップの装飾を選択し、で装飾内容を選択する

装　飾	アイコン	装飾内容
文字サイズ		小さい文字で表示します。
		大きい文字で表示します。
文字色		８色の中から選択します。
背景色		８色の中から選択します。
文字位置		左揃えで表示します。
		中央揃えで表示します。
		右揃えで表示します。
スクロール		文字が画面外から現われ、設定した文字位置で停止します。
		文字が、設定した文字位置から画面外へ消えます。
		文字が画面外から現われ、そのまま画面外へ消えます。
		スクロールしません。
スクロール方向		右から左にスクロールします。
		左から右にスクロールします。
		下から上にスクロールします。
		上から下にスクロールします。
点滅		文字を点滅させます。
		文字を点滅させません。
下線		文字を下線付きにします。
		文字を下線なしにします。

- 選択した装飾内容を画面下部で確認できます。ただし、スクロール、スクロール方向、点滅は確認できません。
- スクロール方向は、スクロールを設定しないと選択できません。

6 ◉を押す

スクロール、スクロール方向、点滅を設定した場合、装飾内容がアイコンで表示されます。
画面下部に、設定したテロップが表示されます。

- 複数のテロップを挿入するときは、手順2～6を繰り返します。
- ✉［再生］を押すと、テロップを追加した内容を確認できます。途中でテロップ一覧画面に戻るには✉［停止］▶✉［戻る］を押します。

7 ［保存］を押す

8 1.@あ「新規保存」を押す

■ 編集元の動画・iモーションに上書きするとき

2ABCか「上書き保存」▶1.@あ「はい」を押す

- 中止するには2ABCか「いいえ」を押します。

9 タイトルを入力し、●を押す

- 全角18文字（半角36文字）まで入力できます。

登録されているテロップを編集する

1 テロップ一覧画面でテロップを選択し、●を押す

2 テロップを編集する

■ 開始／終了時間を編集するとき

1.@あ「開始／終了時間」を押す

- 以降の操作：→P348「テロップ編集」手順3～9

■ テロップを編集するとき

①2ABCか「テロップ入力」を押す

②テロップを入力し、●を押す

- 以降の操作：→P348「テロップ編集」手順7～9

■ テロップの装飾を編集するとき

3DEFさ「デコレーション」を押す

- 以降の操作：→P348「テロップ編集」手順5～9

■ テロップを削除するとき

①4GHIた「テロップ削除」を押す

②1.@あ「1件削除」を押す

- 2ABCか「全件削除」を押したときは、端末暗証番号を入力し、●を押します。

③1.@あ「はい」を押す

- 中止するには2ABCか「いいえ」を押します。
- 以降の操作：→P348「テロップ編集」手順7～9

アフレコ編集

動画・iモーションに新たに音声を追加します。（すでにある音声はすべて削除されます。）

- ファイルサイズが500Kバイトより大きい動画・iモーションは、アフレコ編集できません。
- 音声のみの動画・iモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）はアフレコ編集できません。（サムネイル付の音声データを含む）

1 iモーション編集メニューで3DEFさ「アフレコ」を押す

2 ●を押す

- ✉［再生］を押すと、動画・iモーションを確認できます。
- 途中でアフレコを終了するときは●を押します。
- アフレコ編集をやめるときは、✉［中止］を押します。

3 ●を押す

- ✉［再生］を押すと、アフレコした内容を確認できます。

4 1「新規保存」を押す

■ 編集元の動画・iモーションに上書きするとき

2「上書き保存」▶ 1「はい」を押す

- 中止するには 2「いいえ」を押します。

5 タイトルを入力し、◉ を押す

- 全角18文字（半角36文字）まで入力できます。

動画の切り出し

動画・iモーションの任意の範囲を切り出します。

- テロップのある動画・iモーションを切り出ししても、テロップは含まれません。
- 同じ動画・iモーションから複数切り出すことができます。

1 iモーション編集メニューで 4「動画切り出し」を押す

2 1 〜 3 を押す

iモードメール添付：指定した場面からiモードメールに添付できるファイルサイズ（約290Kバイト）まで切り出します。

大容量メール添付：指定した場面からiモードメールに大容量メールとして添付できるファイルサイズ（約490Kバイト）まで切り出します。

制限なし：お好きな範囲を切り出せます。

3 切り出す範囲を選択する

■ iモードメール添付または大容量メール添付を選択したとき

切り出しを始める場面で i［始点］を押す

- 途中から切り出す場合は、◉ を押して再生させてから i［始点］を押してください。
- 動画のファイルサイズが290Kバイト（iモードメール添付選択時）または490Kバイト（大容量メール添付選択時）以下の場合は、i［始点］は表示されません。◉ で再生させてから i［始点］を押してください。
- 始点の指定位置によっては、切り出しできない場合があります。

■ 制限なしを選択したとき

切り出しを始める場面で i［始点］を押し、終わる場面で i［終点］を押す

- 途中から切り出す場合は、◉ を押して再生させてから i［始点］／［終点］を押してください。
- 始点／終点の指定位置によっては、切り出しできない場合があります。

4 1「はい」を押す

- 中止するときは 2「いいえ」を押します。

5 ◉ を押す

- ✉［再生］を押すと、切り出した動画を再生して確認できます。

6 1「新規保存」▶ 1「はい」を押す

- 中止するときは 2「いいえ」を押します。

■ 編集元の動画・iモーションに上書きするとき

2「上書き保存」▶1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

7 タイトルを入力し、● を押す

- 全角18文字（半角36文字）まで入力できます。

お知らせ

- 「制限なし」の場合に切り出せる動画は、ファイルサイズが1Mバイトまでです。

動画のカット

動画・iモーションの任意の範囲を削除します。

- ファイルサイズが1Mバイトを超える動画はカットできません。
- 動画カットを行うと、カットした範囲にかかわらず、テロップは削除されます。

1 iモーション編集メニューで5「動画カット」を押す

2 カットを始める場面で i［始点］を押し、終わる場面で i［終点］を押す

- 動画・iモーションの途中から削除する場合は、● を押して再生させてから i［始点］／［終点］を押します。
- やり直すときは、✉［やり直し］を押します。

3 1「はい」▶● を押す

- ✉［再生］を押すと、不要部分を削除した動画を再生して確認できます。

4 タイトルを入力し、● を押す

不要部分を削除した動画が、同じフォルダ内に新しいファイルとして保存されます。

- 全角18文字（半角36文字）まで入力できます。

キャラ電とは

キャラ電とは、テレビ電話利用時に自分のカメラ画像を送る代わりに、代替画像として送信できるキャラクタのことです。表示中のキャラ電の静止画や動画を撮影して保存することもできます。

キャラ電を表示する

お買い上げ時は以下のキャラ電が「キャラ電」フォルダに保存されています。

ブンブン（Dimo）
©BVIG

ナオキ

ハルカ

1 ●▶ データBOX ▶ 4GHIた を押す

©BVIG

キャラ電一覧画面

■ キャラ電を利用してテレビ電話をかけるとき

- キャラ電表示画面でも同じ操作でテレビ電話をかけられます。

①キャラ電を選択し、i［機能］▶ 1.@あ「キャラ電発信」を押す

②電話番号を入力する

- 電話帳や着信履歴などからも電話番号を入力できます。→P51

③ テレビ電話キー を押す

■ テレビ電話の代替画像に設定するとき

①キャラ電を選択し、i［機能］▶ 3DEFさ「代替画像設定」を押す

② 1.@あ「はい」を押す

- 中止するときは 2ABCか「いいえ」を押します。

■ 表示方法を切り替えるとき

① i［機能］▶ 6MNOは「表示切替」を押す

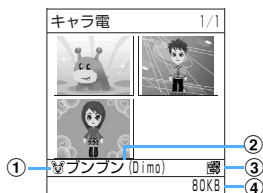
② 1.@あ～3DEFさ を押す

2 キャラ電を選択し、● を押す

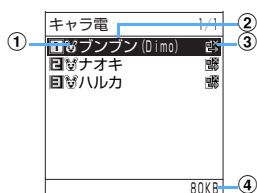
キャラ電表示画面
（全体アクションモード）

キャラ電一覧画面の見かた

キャラ電をサムネイルまたはリストで一覧表示します。

©BVIG

４分割表示

©BVIG

１２分割表示

リスト表示

①データ種別
②タイトル
③データ内容（ファイル制限など）
④ファイルサイズ

お知らせ

- キャラ電によってはサムネイル表示が正しくされない場合があります。その場合は、代替画像が表示されます。
- お買い上げ時に保存されているキャラ電を削除してしまった場合でも、「どこでもSANYO」のサイトからダウンロードできます。→P186

キャラ電を操作する

1 キャラ電表示画面でキャラ電を操作する

ダイヤルキーを押すと、その数字に応じたアクションをします。

- アクションを中止するには、[0わをん] を押します。
- (●) を押すとキャラ電が拡大表示されます。もう一度押すと等倍表示されます。

〈例〉全体アクションモードで [1.@あ] を押したとき

〈例〉パーツアクションモードで [9WXYZら][9WXYZら] を押したとき

■ アクションを確認するとき

(▲▼) を押す

表示中のアクションモードのアクション一覧が表示されます。ダイヤルキーを押すと、キャラ電が動きます。

- [i]［機能］▶ [5JKLな]「アクション一覧」を押しても同じです。
- 操作画面に戻るときは (●) を押します。
- 一覧表示されるアクションは、キャラ電によって異なります。

■ アクションモードを切り替えるとき

全体アクションにするときは (◀) を押す

パーツアクションにするときは (▶) を押す

アクションには、キャラ電全体の動きを表現する全体アクションと、キャラ電の部分的な動きを表現するパーツアクションがあります。

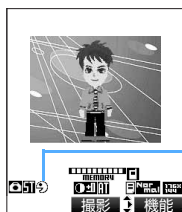
- [i]［機能］▶ [6MNOは]「アクション切替」を押しても同じです。

お知らせ

- キャラ電を編集したり、メール添付やデータ転送でFOMA端末外に保存することはできません。
- キャラ電表示画面から操作するときは、送話口からの音声に合わせてキャラ電も一緒に話しているような口の動きを与えることができません。

キャラ電を撮影する

キャラ電を静止画や動画として撮影・保存します。
- 撮影した静止画や動画は、カメラで撮影した静止画や動画と同様のファイル形式で保存されます。
- 画像サイズはQCIFになります。

キャラ電撮影画面
（静止画撮影画面）

アクションモード
- ：全体アクション
- ：パーツアクション

- 撮影画面のアイコンについてはP151をご覧ください。

静止画を撮影する

- 撮影後ファイル制限が設定されている場合は、メール添付できません。

1 キャラ電一覧画面でキャラ電を選択し、i［機能］▶2「キャラ電撮影」を押す

2 1「フォト撮影」を押す

キャラ電撮影画面が表示されます。
- キャラ電撮影画面でも、キャラクタを操作できます。→P354

3 ●を押す

■ 動画撮影に切り替えるとき

①i［機能］▶1「カメラモード」を押す
②2「ムービー撮影」を押す
- 以降の操作：→P356「動画を撮影する」手順3〜5

■ 撮影画質を切り替えるとき

①i［機能］▶2「画質選択」を押す
②1〜3を押す

■ 位置情報を埋め込むとき

i［機能］▶3「位置情報埋め込み」を押す
- を押しても位置情報埋め込みができます。
- 静止画確認画面でもi［機能］▶1「位置情報埋め込み」を押して位置情報埋め込みができます。
- 以降の操作：→P329「位置情報を埋め込む」手順4

■ キャラ電を拡大表示するとき

i［機能］▶4「拡大表示」を押す
- 元に戻すには、i［機能］▶4「等倍表示」を押します。
- 静止画確認画面でもi［機能］▶3「拡大表示」を押して拡大表示ができます。

■ キャラ電を切り替えるとき

① i［機能］▶ 5「キャラ電切替」を押す

② 撮影するキャラ電を選択し、● を押す

- i［機能］▶ 1「情報表示」を押すとキャラ電の詳しい情報を確認できます。

■ アクションを確認するとき

i［機能］▶ 6「アクション一覧」を押す

- を押してもアクション一覧を表示できます。

■ アクションモードを切り替えるとき

i［機能］▶ 7「アクション切替」を押す

- を押してもアクションモードを切り替えられます。

4 画像を確認する

■ メールを作成するとき

［メール作成］を押す

画像がデータBOXに保存され、画像が添付されたメール作成画面が表示されます。

- 以降の操作：→P230「iモードメールを作成して送信する」手順2～6

■ 静止画撮影したキャラ電を待受画面などに設定するとき

i［機能］▶ 2「画像設定」を押す

画像がデータBOXに保存されます。

- 以降の操作：→P338「画像を待受画面などに設定する」手順2～4

■ タイトルを編集するとき

① i［機能］▶ 4「タイトル編集」を押す

② タイトルを入力し、● を押す

- 全角18文字（半角36文字）まで入力できます。

5 ● を押す

保存した画像は、「データBOX」→「マイピクチャ」→「カメラ」フォルダに保存されます。

動画を撮影する

- 撮影後ファイル制限が設定されている場合は、メール添付できません。

1 キャラ電一覧画面でキャラ電を選択し、i［機能］▶ 2「キャラ電撮影」を押す

2 2「ムービー撮影」を押す

キャラ電撮影画面が表示されます。

3 ● を押す

「●REC」が表示され、撮影が開始されます。

- キャラ電録画中でも、キャラクタを操作できます。→P354

■ 静止画撮影に切り替えるとき

① i［機能］▶ 1「カメラモード」を押す

② 1「フォト撮影」を押す

■ ファイルサイズを制限するとき

① i［機能］▶ 2「ファイルサイズ制限」を押す

② 1～3を押す

■ 撮影モードを切り替えるとき

① ［機能］▶ 3「撮影モード」を押す
② 1「標準」または 3「画質優先」を押す

■ 撮影種別を設定するとき

① ［機能］▶ 4「撮影種別」を押す
② 1「映像＋音声」または 2「映像のみ」を押す

■ マイク感度を設定するとき

① ［機能］▶ 5「マイク感度」を押す
② 1「広域用」または 2「自分撮り用」を押す

■ キャラ電を拡大表示するとき

 ［機能］▶ 6「拡大表示」を押す
- 元に戻すには、 ［機能］▶ 6「等倍表示」を押します。
- 動画確認画面でも ［機能］▶ 3「拡大表示」を押して拡大表示ができます。

■ キャラ電を切り替えるとき

① ［機能］▶ 7「キャラ電切替」を押す
② 撮影するキャラ電を選択し、 を押す
  - ［機能］▶ 1「情報表示」を押すとキャラ電の詳しい情報を確認できます。

■ アクションを確認するとき

 ［機能］▶ ▶ 1「アクション一覧」を押す
- を押してもアクション一覧を表示できます。

■ アクションモードを切り替えるとき

 ［機能］▶ ▶ 2「アクション切替」を押す
- を押してもアクションモードを切り替えられます。

4 を押す

■ メールを作成するとき

 ［メール作成］を押す
動画がデータBOXに保存され、動画が添付されたメール作成画面が表示されます。
- 以降の操作：→P230「iモードメールを作成して送信する」手順2～6

■ 動画撮影したキャラ電を再生するとき

 ［機能］▶ 1「再生」を押す

■ 動画撮影したキャラ電を音声着信などに設定するとき

 ［機能］▶ 2「iモーション設定」を押す
動画がデータBOXに保存されます。
- 以降の操作：→P346「動画・iモーションを音声着信などに設定する」手順3

■ タイトルを編集するとき

① ［機能］▶ 4「タイトル編集」を押す
② タイトルを入力し、 を押す
  - 全角18文字（半角36文字）まで入力できます。

5 を押す

保存した画像は、「データBOX」→「iモーション」→「カメラ」フォルダに保存されます。

お知らせ

- キャラ電表示画面から撮影するには、i［機能］▶2「キャラ電撮影」を押します。
- マナーモード中は、撮影確認音は鳴りません。
- 動画録画中にキーを押すと、操作音が録音されることがあります。
- データの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるとき→P376

メロディを再生する

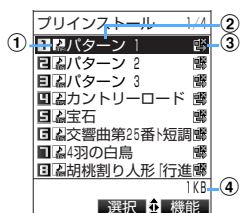
メロディに保存されている内蔵メロディや、ダウンロードしたメロディを再生します。

1 ● ▶ データBOX ▶ 3 を押す

■ miniSDメモリーカード内のメロディを表示するとき

● ▶ データBOX ▶ ✉［miniSD］▶ 4 を押す

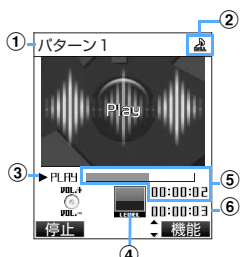
2 フォルダを選択し、● を押す

メロディ一覧画面

① データ種別
② タイトル
③ データ内容（ファイル制限など）
④ ファイルサイズ

■ メロディをiモードメールに添付するとき

メロディを選択し、i［機能］▶ 1「メール添付」を押す

- メロディが添付されたメール作成画面が表示されます。
- メロディ再生画面でも同じ操作でメールにメロディを添付できます。
- 以降の操作：→P230「iモードメールを作成して送信する」手順2～6
- メールに添付できるメロディについて→P241

3 再生するメロディを選択し、● を押す

メロディ再生画面

① タイトル
② 再生モード
　- ：ポイント再生　　- ：フルコーラス再生
③ 再生状態
④ 再生音量
⑤ 再生時間
　現在の再生時間を数字（カウンター）とバーで示します。
⑥ 総再生時間

- 再生中は以下の操作ができます。
  - ✉：停止
  - ◎：音量調節
- ▲または▼を押すと、前後のメロディが再生されます。

データ表示／編集／管理

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

■ メロディを繰り返し再生するとき

i［機能］▶ 4「繰り返し再生ON」を押す

• 繰り返し再生をやめるときは i［機能］▶ 4「繰り返し再生OFF」を押します。

お知らせ

• フォルダに保存されているメロディを連続で再生することもできます。（プログラム再生）→P377
• 着信音などに設定されているメロディのタイトルは、青色で表示されます。

メロディを着信音などに設定する

1 メロディ再生画面で ✉［停止］を押す

2 ✉［設定］を押す

3 設定先を選択し、● を押す

• 選択した設定先に映像と音声が含まれる動画・iモーションが設定されている場合は、着信画像がお買い上げ時の状態に戻ることを確認するメッセージが表示されます。

ポイント再生する

メロディ内のファイルを最初から最後まで再生（フルコーラス再生）するか、ファイルに設定されている演奏開始位置から再生（ポイント再生）するか選択できます。

• SMF形式のメロディはフルコーラス再生されます。

1 ● ▶ データBOX ▶ 3 を押す

2 i［機能］▶ 1「ポイント再生」を押す

• フルコーラス再生に戻すには、1「フルコーラス再生」を押します。

オリジナルデータを表示／登録する

「どこでもSANYO」からダウンロードしたメニューアイコン、祝日データ、辞書データを表示、登録します。

• 「どこでもSANYO」について→P186
• お買い上げ時はメニューアイコンのみ登録されています。
• メニューアイコンは静止画から作成することもできます。→P337

メニューアイコンを表示／登録する

メニューアイコンには1画面分の「セットアイコン」と、1項目分の「個別アイコン」があります。

• お買い上げ時は「セットアイコン」のみ登録されています。「個別アイコン」は、メニューアイコン作成（→P337）で作成するか、「どこでもSANYO」からダウンロードすることができます。

1 ● ▶ ツール ▶ 6 ▶ 1 を押す

2 メニューアイコンを選択し、● を押す

次ページへつづく

■ タイトルを編集するとき

①メニューアイコンを選択し、[i]［機能］▶[1]「タイトル編集」を押す

②タイトルを入力し、[●]を押す

• 全角18文字（半角36文字）まで入力できます。

3 [✉]［設定］▶[1]～[4]を押す

• メニューアイコンの種類によっては設定できないメニューがあります。

4 メニューアイコンを設定する

■ セットアイコンを設定するとき

[●]を押す

■ 個別アイコンを設定するとき

設定する項目を選択し、[●]を押す

祝日データを表示／登録する

1 [●]▶ツール▶[6]▶[2]を押す

2 祝日データを選択し、[●]を押す

3 [✉]［設定］▶[1]「はい」を押す

• すでに選択した祝日データが設定されているときは、確認メッセージが表示されます。

• 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

辞書データを表示／登録する

辞書は64Kバイトまたは5件まで設定できます。

• ダウンロード辞書について→P492

1 [●]▶ツール▶[6]▶[3]を押す

2 辞書データを選択し、[●]を押す

3 [✉]［設定］▶[1]「はい」を押す

• 設定しようとした辞書が6件目または全件で64Kバイトを超える場合は設定できません。辞書データを解除してください。→P492

• [●]を押すと、辞書データの詳細を確認できます。

• 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→P361

miniSDメモリーカードについて

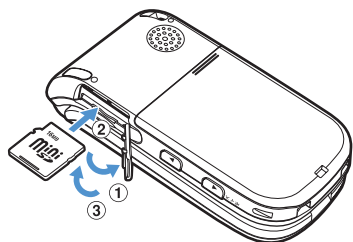
FOMA端末で撮影した静止画や動画、電話帳やメール、ブックマークなどのデータをminiSDメモリーカードに保存したり、miniSDメモリーカード内のデータをFOMA端末に取り込んだり、FOMA端末で表示・再生したりすることができます。

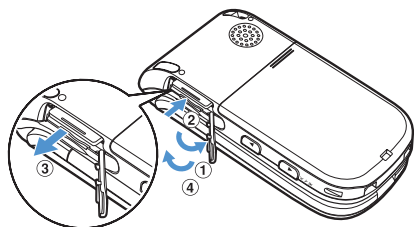
- **miniSDメモリーカード取扱い上の注意事項**
  - miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
  - miniSDメモリーカードは、必ずFOMA端末で初期化を行ってから使用してください。→P369
  - FOMA端末では512Mバイトまでの miniSD メモリーカード（市販品）に対応しています。（2005年9月現在）
    なお、最新の対応状況は下記のサイトでご確認ください。
    iモードから　　　：「どこでもSANYO」（2005年9月現在）
    パソコンなどから：三洋電機株式会社テレコムカンパニーのホームページ
    　　　　　　　　　http://www.sanyo-keitai.com

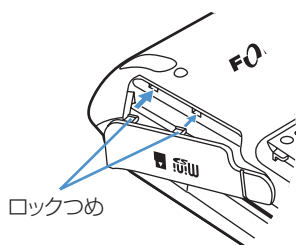
miniSD メモリーカードの取付けかた／取外しかた

miniSDメモリーカードは、FOMA端末のminiSDメモリーカードスロットに取付けて使用します。

- miniSDメモリーカードの取付け／取外しは、指のはらを使って行ってください。
- miniSDメモリーカードの取付け／取外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- miniSDメモリーカードの取付け／取外しを行うときは、miniSDメモリーカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。
- miniSDメモリーカードの向きを確認して正しく取付けてください。正しく取付けていない状態では、カードに損傷を与えたり、データが壊れることがあります。
- miniSDメモリーカードを取付けて電源を入れると、[SD]が表示されます。

miniSDメモリーカードの取付けかた

①miniSDメモリーカードスロットのカバーを開く
②miniSDメモリーカードを、印字面を上にして、「カチッ」と音がするまでスロットに差し込む
③miniSDメモリーカードスロットのカバーを閉じる

miniSDメモリーカードの取外しかた

①miniSDメモリーカードスロットのカバーを開く
②miniSDメモリーカードを「カチッ」と音がするまで軽く押し込む
miniSDメモリーカードが少し出ます。
③miniSDメモリーカードをまっすぐにゆっくりと引き抜く
④miniSDメモリーカードスロットのカバーを閉じる

miniSDメモリーカードスロットカバーを閉じるときのご注意

miniSDメモリーカードスロットのカバーを閉じるときは、ロックつめをFOMA端末の穴に挿入し、カバーをゆっくりと真上から押し込んでください。斜めから押し込むと変形する恐れがありますのでご注意ください。

miniSDメモリーカードのフォルダ構成

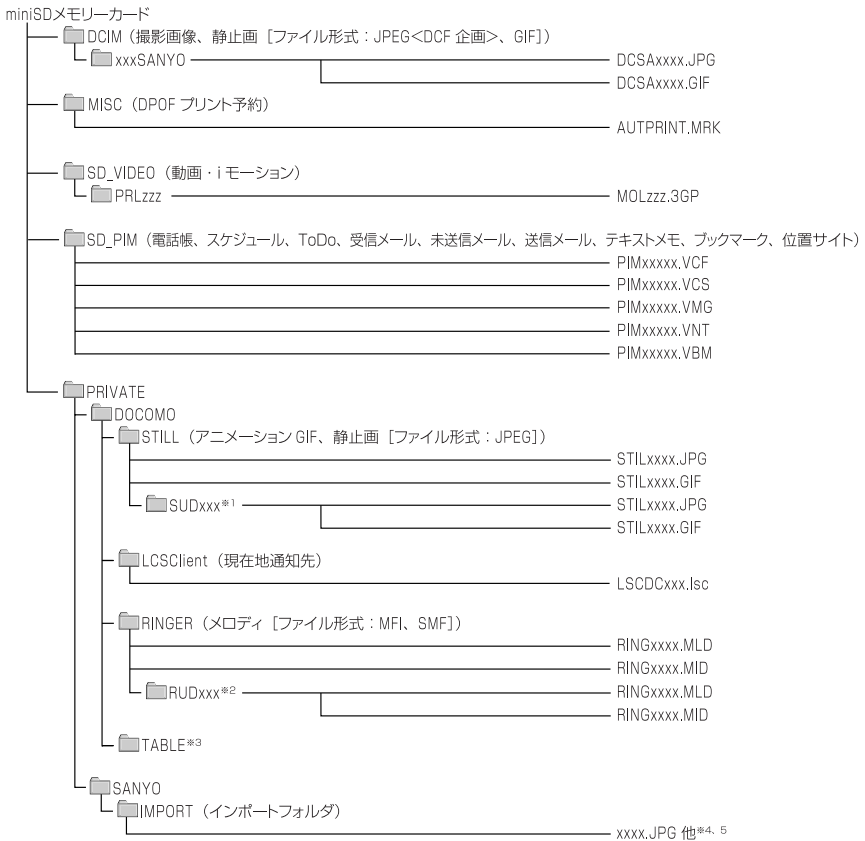
■ FOMA端末で表示したとき

miniSDメモリーカードのフォルダ構成は以下のとおりです。データの種類によって保存先が分かれています。

項　目		保存されるデータ	最大フォルダ件数	1つのフォルダに保存できるデータ件数
miniSDデータ	デジカメ※1	カメラで撮影した静止画、DCF※2規格のJPEG、GIF	900件	9999件
	ピクチャ※1	JPEG、アニメーションGIF	999件	9999件
	iモーション	カメラで撮影した動画・iモーション	4095件	4095件
	メロディ	メロディ	999件	9999件
PIMデータ	電話帳	電話帳データ	－	合わせて65535件
	受信メール	受信メールデータ		
	送信メール	送信メールデータ		
	未送信メール	未送信メールデータ		
	スケジュール／ToDo	スケジュール、ToDoデータ		
	Bookmark	ブックマークデータ		
	位置サイト	位置サイトデータ		
	現在地通知先	現在地通知先データ		999件
	テキストメモ	テキストメモデータ		合わせて65535件
インポートフォルダ		パソコンでやりとりするデータ	－	無制限※4
DPOFプリント予約※3		DPOFプリント予約されたデータ	－	－

※1 ファイルサイズが1.1Mバイトより大きい静止画は表示されません。
※2 DCFはDesign rule for Camera File system の略です。
※3 999部（通常プリント998、インデックスプリント1）
※4 FOMA端末で表示できるのは1000件までです。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

■ パソコンなどで表示したとき

※１「STILL」フォルダ内のデータ件数が最大保存件数を超えると、「SUDxxx」フォルダが自動的に作成されます。
※２「RINGER」フォルダ内のデータ件数が最大保存件数を超えると、「RUDxxx」フォルダが自動的に作成されます。
※３ データを管理するフォルダです。このフォルダにあるファイルを削除・変更すると、FOMA 端末でデータを正しく表示できなくなります。
※４ 拡張子が「.JPG」「.JPEG」「.JPE」「.GIF」「.3GP」「.MLD」「.MID」以外は再生不可データ扱いとなります。
※５ ファイル名は任意ですが、表示されるのはファイル名の先頭から全角９文字（半角 19 文字）までです。

- フォルダ名とファイル名の規則は次のとおりです。使用する文字はすべて半角です。
  - 「xxxSANYO」の xxx は 100 ～ 999
  - 「DCSAxxxx」の xxxx は 0001 ～ 9999
  - 「SUDxxx」「RUDxxx」「LSCDCxxx」の xxx は 001 ～ 999
  - 「STILxxxx」「RINGxxxx」の xxxx は 0001 ～ 9999
  - 「PRLzzz」「MOLzzz」の zzz は 001 ～ FFF までの 16 進数（16 進数では１つの桁を０～９と A ～ F の 16 種類の文字で表します）
  - 「PIMxxxxx」の xxxxx は 00001 ～ 65535

データ表示／編集／管理

次ページへつづく

お知らせ

- FOMA端末からminiSDメモリーカードにデータをコピーしたときや、カメラで撮影した静止画や動画を直接miniSDメモリーカードに保存したときなどに、そのファイルに対応したフォルダがminiSDメモリーカードに自動的に作成され、表のように表示されます。
- パソコンなどからminiSDメモリーカードにデータを保存するときは、表のファイル形式、ファイル名で決められたフォルダに保存してください。保存先を間違えたり、異なるファイル形式のデータを保存したりすると、FOMA端末では認識できません。
- パソコンなどでminiSDメモリーカードにコピーしたデータをFOMA端末で利用するには、FOMA端末でminiSDメモリーカードの管理ファイル更新をしないと利用できない場合があります。
- 他の機器からminiSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示・再生できない場合があります。また、FOMA端末からminiSDメモリーカードに保存したデータは、他の機器で表示・再生できない場合があります。

FOMA端末のデータをminiSDメモリーカードにコピーする

FOMA端末からminiSDメモリーカードへコピーできるデータは次のとおりです。
- 「マイピクチャ」フォルダ内のJPEG、Exif-JPEG、GIF、アニメーションGIF形式データ
- 「iモーション」フォルダ内のMP4データ（テロップ付き・音声のみのデータも含む）
- 「メロディ」フォルダ内のSMF、MFiデータ

- 次のデータはminiSDメモリーカードへのコピーはできません。
  - お買い上げ時に登録されているデータ（デコメールピクチャを除く）
  - ファイル制限ありのデータ（FOMA端末で設定した場合、情報表示の取得元が「データ交換」のデータを除く）

1 **画像／動画／メロディ一覧画面でデータを選択し、i［機能］を押す**

2 **「miniSDへコピー」選択し、●を押す**

3 **1「1件コピー」を押す**

■ 選択コピーするとき

①2「選択コピー」を押す

②データを選択し、●を押す

- 解除するときは●を押します。
- ✉［再生］を押すとデータを再生して確認できます。▲または▼を押すと前後のデータを再生できます。一覧に戻るは●を押します。

③i［実行］を押す

■ 全件コピーするとき

①3「全件コピー」を押す

②端末暗証番号を入力し、●を押す

4 **1「はい」を押す**

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

お知らせ

- 画像表示画面／動画再生画面／メロディ再生画面から miniSD メモリーカードにコピーするには、i［機能］▶「miniSDへコピー」を選択し、● を押します。
- miniSD メモリーカードにチャプター情報付きの動画・i モーションが 100 件保存されている場合、またはコピーによって 100 件を超える場合、チャプター情報は削除され、動画・i モーションのみコピーされます。
- 静止画に埋め込んだ位置情報については、miniSD メモリーカードを経由して他の機種にコピー・移動しようとした場合には、その位置情報がその機種では表示・利用できない場合があります。
- 位置情報を埋め込んだ静止画を miniSD メモリーカードにコピーした場合、位置情報の測位レベルは、レベル 3 になります。→P327
- miniSD メモリーカードにデータをコピーすると、管理情報も miniSD メモリーカードに書き込まれます。

PIM データを miniSD メモリーカードにコピーする<エクスポート>

miniSD メモリーカードにコピーできる PIM データは次のとおりです。

- 電話帳
- スケジュール、ToDo
- 位置サイト
- テキストメモ
- 受信・送信・未送信メール（i モードメール・SMS）
- Bookmark
- 現在地通知先

PIM データを 1 件ずつコピーする

〈例〉電話帳データを miniSD メモリーカードへコピーするとき

1 **電話帳を検索する**

2 **電話帳を選択し、i［機能］▶ ◎ ▶ 1「エクスポート」を押す**

3 **1「はい」を押す**

- 中止するときは 2「いいえ」を押します。
- 電話帳の名前をタイトルとしてデータを保存します。

PIM データをまとめてコピーする

〈例〉電話帳データを miniSD メモリーカードへコピーするとき

1 **● ▶ ツール ▶ 5 ▶ 2 を押す**

2 **1「電話帳」を押す**

3 **i［機能］▶ 2「本体からエクスポート」を押す**

4 **端末暗証番号を入力し、● を押す**

5 **1「はい」を押す**

- 中止するときは、2「いいえ」を押します。
- データをまとめて 1 ファイルとして保存します。エクスポートを行った日時がタイトルになります。
- 電話帳をコピーした場合、 1 件目に自局情報がコピーされます。

次ページへつづく

お知らせ

- 日付時刻設定をしていないときは、タイトルは「2005/ 1/ 1　0:00」になります。
- 電話帳やスケジュールに登録した位置情報、静止画に埋め込んだ位置情報については、miniSDメモリーカードを経由して他の機種にコピー・移動しようとした場合には、その位置情報がその機種では表示・利用できない場合があります。
- 自局情報に登録している2件目の郵便番号、住所はminiSDメモリーカードにコピーされません。

miniSDメモリーカードのデータをプレビューする

- パソコンなどで miniSD メモリーカード内のデータを変更したり、削除したりすると、FOMA端末でminiSDメモリーカードのデータを正しく表示できなくなる場合があります。そのような場合は、miniSDメモリーカードの情報を更新してください。

miniSDデータを表示する

〈例〉「デジカメ」フォルダを表示するとき

1 ● ▶ ツール ▶ 5 ▶ 1 を押す

- ● ▶ データBOX ▶ ✉［miniSD］を押しても表示できます。

2 1「デジカメ」を押す

- データBOXに切り替えるときは✉［本体］を押します。

3 フォルダを選択し、●を押す

- ✉［ピクチャ］を押すと、「デジカメ」フォルダと「ピクチャ」フォルダを切り替えられます。ピクチャフォルダ内にフォルダがないときは✉［ピクチャ］は表示されません。

4 データを選択し、●を押す

- 静止画表示中の操作→P334
- 動画再生中の操作→P343
- メロディ再生中の操作→P358

お知らせ

- 「miniSDデータ」内の各データ一覧画面・データ再生画面でも、データBOXでの操作と同様に i［機能］を押して画像の編集などができます。
- 編集したデータをメールに添付すると、編集したデータはデータBOXにコピーされます。
- 大容量静止画・動画をメールに添付すると、データはデータBOXにコピーされます。
- miniSDメモリーカード内のデータはファイル制限の設定にかかわらず、メール添付ができます。

PIMデータを表示する

〈例〉「電話帳」を表示するとき

1 ● ▶ ツール ▶ 5 ▶ 2 を押す

2 1「電話帳」を押す

保存されているファイルが一覧で表示されます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

3 ファイルを選択し、◉を押す

- 複数のデータがあるファイルのときは、データを選択して◉を押します。

お知らせ

- 「PIMデータ」内のデータ表示画面でも、FOMA端末での操作と同様に i［機能］を押してさまざまな機能が使えます。

miniSDメモリーカードのデータをFOMA端末にコピーする

miniSDデータをFOMA端末にコピーする

- 次のデータはFOMA端末にコピーできません。
  - ファイルサイズが8Mバイトを超えるデータ
  - FOMA端末で再生できないデータ

〈例〉「デジカメ」フォルダの画像をFOMA端末にコピーするとき

1 ◉ ▶ ツール ▶ 5 ▶ 1 を押す

- ◉ ▶ データBOX ▶ ✉［miniSD］を押しても表示できます。

2 1「デジカメ」を押す

3 フォルダを選択し、◉を押す

4 データを選択し、i［機能］▶ ◉ ▶ 2「本体へコピー」を押す

5 1「1件コピー」を押す

■ 選択コピーするとき

①2「選択コピー」を押す

②データを選択し、◉を押す

- 解除するときは◉を押します。
- ✉［再生］を押すとデータを再生して確認できます。▲または▼を押すと、前後のデータを確認できます。一覧に戻るには◉を押します。

③ i［実行］を押す

■ 全件コピーするとき

①3「全件コピー」を押す

②端末暗証番号を入力し、◉を押す

6 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。
- 静止画は「データBOX」→「マイピクチャ」→「データ交換」に保存されます。
- 動画・iモーションは「データBOX」→「iモーション」→「データ交換」に保存されます。
- メロディは「データBOX」→「メロディ」→「データ交換」に保存されます。

次ページへつづく

お知らせ

- FOMA端末にチャプター情報付きの動画・iモーションが100件保存されている場合、またはコピーによって100件を超える場合、チャプター情報は削除され、動画・iモーションのみコピーされます。

PIMデータをFOMA端末にコピーする

〈例〉電話帳データをFOMA端末にコピーするとき

1 ●▶ツール▶5▶2を押す

2 1「電話帳」を押す

3 ファイルを選択し、i［機能］▶3「インポート」を押す

- すべてのファイルをインポートするときは4「全ファイルインポート」を押します。

4 端末暗証番号を入力し、●を押す

5 1～3を押す

新規保存：FOMA端末に登録されているデータにminiSDメモリーカードのデータを加えて保存します。FOMA端末の電話帳に同じメモリダイヤル番号のデータがあるときは、最小の空きメモリダイヤル番号に保存されます。

上書き保存：FOMA端末に登録されているデータを削除し、miniSDメモリーカードのデータを保存します。電話帳データを上書き保存するときは、1件目のデータを自局情報として保存するかどうかを選択できます。

中止：インポートを中止します。

6 1「はい」を押す

- 中止するときは、2「いいえ」を押します。

お知らせ

- 複数のデータがあるファイルでは、データを選択してi［機能］▶「1件インポート」を選択し、●を押すと選択したデータを1件インポートできます。
- 複数のデータがあるファイルでは、データ一覧画面でi［機能］▶「全件インポート」を選択し、●を押すと、ファイル内の全データをインポートできます。以降の操作は手順4～6をご覧ください。

miniSDメモリーカードを管理する

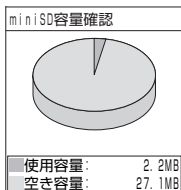
miniSDメモリーカードの容量確認や初期化など、miniSDメモリーカードを管理します。

miniSDメモリーカードの保存容量を確認する

miniSDメモリーカードで使用している容量、空き容量が表示されます。

1 ●▶ツール▶5を押す

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

2 [i]［機能］▶ [1] 「miniSD容量確認」を押す

現在使用している容量と空き容量が数値で表示されます。

お知らせ

- miniSDメモリーカードの容量は、miniSDメモリーカードに明記されている容量よりも少なくなります。

miniSDメモリーカードを初期化する

miniSDメモリーカードを初期化して、FOMA端末で使用できるようにします。

- miniSDメモリーカードは、必ずFOMA端末で初期化を行ってから使用してください。
- miniSDメモリーカードを初期化すると、保存されているデータはすべて削除されます。初期化するときは、大切なデータが保存されていないかご確認の上、操作してください。

1 [●] ▶ [ツール] ▶ [5] を押す

2 [i]［機能］▶ [3] 「miniSD初期化」を押す

3 端末暗証番号を入力し、[●] を押す

4 [1] 「はい」を押す

- 中止するときは、[2] 「いいえ」を押します。

miniSDメモリーカードの情報を更新する

パソコンなどでminiSDメモリーカード内のデータを編集してFOMA端末でデータを正しく表示できなくなったときに、miniSDメモリーカードの情報を更新します。

1 [●] ▶ [ツール] ▶ [5] を押す

2 [i]［機能］▶ [2] 「管理ファイル更新」を押す

3 [1] 「はい」を押す

- 中止するときは、[2] 「いいえ」を押します。

お知らせ

- miniSDメモリーカード内のデータ量によっては、情報更新に時間がかかることがあります。

miniSDモード

miniSDリーダライタとして使う

FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続して、miniSDメモリーカードを取付けたFOMA端末をリーダライタとして使用します。

- 対応OSはWindows 2000、Windows XPです。

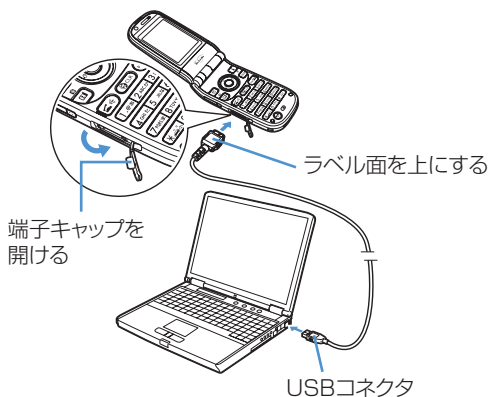
〈例〉Windows XPの場合

1   を押す

2 2 「miniSDモード」を押す

が表示されます。
外部接続端子がminiSDメモリーカードのデータの読み込み／書き込み用になります。

3 パソコンとFOMA端末をFOMA USB接続ケーブルで接続する

- 接続時にパソコンとFOMA端末の電源を入れておいてください。
- 接続方法について→P446

4 マイコンピュータに「リムーバブルディスク」のアイコンが表示される

- パソコンの設定によっては、自動的に画面が表示され、「フォルダを開いてファイルを表示する　エクスプローラ使用」を選択し、「OK」をクリックするとminiSDメモリーカードの内容が表示されます。

5 「リムーバブルディスク」をダブルクリックする

miniSDメモリーカードの内容が表示されます。

- miniSDメモリーカードのフォルダについて→P362

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

お知らせ

- FOMA端末の電池レベルがほとんど残っていないときや電池切れになった場合は送受信中のデータが失われるおそれがあります。FOMA端末の電池が十分に残っていることを確認してください。またパソコンの電源についても確認してください。卓上ホルダのご使用をおすすめします。
- パソコンからFOMA端末へデータを転送中はFOMA USB接続ケーブル（別売）やminiSDメモリーカードを抜かないでください。
- データの転送前にFOMA端末とパソコンが正しく接続できているか確認してください。
- リーダライタとして使用する場合、パソコンから操作できるのは、miniSDメモリーカードのデータだけです。FOMA端末のフォルダへはアクセスできません。
- データを転送中でも音声／テレビ電話の発信・着信、iモードメール・SMS・メッセージR/Fの送受信が行えます。
- パソコンからFOMA USB接続ケーブル（別売）を取り外すには（Windows XPの場合）
  ① Windows XPのタスクバー上の「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをダブルクリックし、「USB大容量記憶装置デバイス」をクリックする
  ②「停止」をクリックし、「OK」をクリックする
  ③ FOMA USB接続ケーブル（別売）を取り外す

フォルダとデータを使いこなす

マイピクチャ、iモーション、メロディのフォルダ一覧画面にフォルダを追加したり、追加したフォルダにセキュリティをかけることができます。また、データBOX内のiモーション、メロディをまとめてプログラム再生することもできます。

フォルダを作成・編集・削除する

マイピクチャ、iモーション、メロディのフォルダ一覧画面にフォルダを作成します。

- マイピクチャ、iモーション、メロディ内には、フォルダをそれぞれ10個まで追加できます。
- お買い上げ時に登録されているフォルダの編集、削除はできません。

フォルダを作成する

1 **フォルダ一覧画面で i [機能] ▶「フォルダ作成」を選択し、● を押す**

2 **フォルダ名を入力し、● を押す**

全角8文字（半角16文字）まで入力できます。
- フォルダ名を入力する場合は、入力されている文字を削除してから行います。

■ **作成したフォルダ名を変更するには**
① **作成したフォルダを選択し、i［機能］▶「フォルダ名編集」を選択し、● を押す**
② **新しいフォルダ名を入力し、● を押す**

フォルダを削除する

1 **フォルダを選択し、i [機能] ▶「フォルダ削除」を選択し、● を押す**

データ表示／編集／管理

次ページへつづく

2 1「1件削除」を押す

■ 選択削除するとき

① 2「選択削除」を押す

② フォルダを選択し、●を押す

• 解除するときは●を押します。

③ i［実行］を押す

■ 全件削除するとき

3「全件削除」を押す

3 端末暗証番号を入力し、●を押す

4 1「はい」を押す

• 中止するときは2「いいえ」を押します。

フォルダやデータを並べ替える

マイピクチャ、iモーション、メロディ内のお客様が作成したフォルダ（ユーザーフォルダ）を並べ替えたり、データBOX内のファイルを並べ替えます。

フォルダを並べ替える

作成したフォルダのみ並べ替えることができます。

1 フォルダ一覧画面でi［機能］▶「フォルダ並べ替え」を選択し、●を押す

2 フォルダを選択し、●を押す

3 ✥で移動先を選択し、●を押す

• 他のフォルダを並べ替えるときは、つづけて手順2～3を操作します。

4 i［完了］を押す

データを並べ替える

マイピクチャ、iモーション、メロディ、キャラ電内のファイルを並べ替えます。

• 取得元別のソートができるのは、お客様が作成したフォルダ（ユーザーフォルダ）のみです。

1 画像／動画／メロディ／キャラ電一覧画面でi［機能］▶「ファイルソート」を選択し、●を押す

2 1～6を押す

日付順（新→旧）：保存日時の新しい順に並べ替えます。

日付順（旧→新）：保存日時の古い順に並べ替えます。

タイトル順：文字コードの昇順に並べ替えます。

ファイルサイズ（昇順）：ファイルサイズの小さい順に並べ替えます。

ファイルサイズ（降順）：ファイルサイズの大きい順に並べ替えます。

取得元別：取得元のフォルダ順（カメラ、iモード、データ交換、キャラ電）に並べ替えます。

フォルダやデータにセキュリティをかける

マイピクチャ、iモーション、メロディ内のお客様が作成したフォルダ（ユーザーフォルダ）にセキュリティをかけたり、データBOX内のファイルにファイル制限をかけ、送信先から転送できないようにすることができます。

フォルダにセキュリティをかける

- 作成したフォルダのみセキュリティを設定できます。
- セキュリティを設定したフォルダを見るには、端末暗証番号の入力が必要になります。

1 フォルダを選択し、i［機能］▶「セキュリティ設定」を選択し、●を押す

- セキュリティ設定を解除するときはi［機能］▶「セキュリティ解除」を選択し、●を押します。

2 端末暗証番号を入力し、●を押す

データにセキュリティをかける

マイピクチャ、iモーション、メロディ内のファイルに制限をかけ、送信先から転送できないようにすることができます。

1 画像／動画／メロディ一覧画面でファイルを選択し、i［機能］▶「ファイル制限」を選択し、●を押す

2 1「あり」を押す

- ファイル制限を解除するときは2「なし」を押します。

お知らせ

- サイトからダウンロードしたデータ、受信メールから取得したデータ、iアプリにて作成したデータで、ファイル制限が「あり」の場合、これを変更できない場合があります。

データの管理用タイトル／ファイル名を変更する

マイピクチャ、iモーション、メロディ、キャラ電内のデータの管理用タイトル（FOMA端末で表示されるタイトル）やファイル名を編集できます。

1 画像／動画／メロディ／キャラ電一覧画面でファイルを選択し、i［機能］▶「タイトル編集」を選択し、●を押す

■ ファイル名を編集するときは

画像／動画／メロディ一覧画面でファイルを選択し、i［機能］▶「ファイル名編集」選択し、●を押す

2 タイトルまたはファイル名を入力し、●を押す

- 管理用タイトルを未入力で保存した場合は、ファイル名または初期タイトルになります。→P375
- 全角18文字（半角36文字）まで入力できます。一覧画面に表示できるタイトルは、全角8文字（半角17文字）まで、4分割、12分割表示では、全角9文字（半角19文字）までです。

次ページへつづく

お知らせ

- 画像表示画面、動画再生画面、メロディ再生画面、キャラ電表示画面でも同じ操作でタイトル編集ができます。

データを別のフォルダに移動する

マイピクチャ、iモーション、メロディ内のファイルを、作成したフォルダに移動できます。
- ファイルはユーザーフォルダ間で移動できます。
- ユーザーフォルダからiモード／カメラ／デコメールピクチャ／データ交換／アイテムフォルダへ移動する場合、データの種類によって移動できるフォルダが決まります。
- お買い上げ時に登録されているデータ（デコメールピクチャは除く）は、フォルダ移動できません。

1 画像／動画／メロディ一覧画面でファイルを選択し、[i]［機能］▶「フォルダ移動」を選択し、[●]を押す

2 [1]「1件移動」を押す

■ 選択移動するとき

① [2]「選択移動」を押す
② ファイルを選択し、[●]を押す
- 解除するには[●]を押します。
- [✉]［再生］を押すとデータを再生して確認できます。[▲]または[▼]を押すと前後のデータを確認できます。一覧に戻るときは[●]を押します。

③ [i]［実行］を押す

■ 全件移動するとき

[3]「フォルダ内全件移動」を押す

3 移動先のフォルダを選択し、[●]を押す

4 [1]「はい」を押す

- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

データを削除する

データBOX、miniSDメモリーカード内のデータ、オリジナルデータのメニューアイコン、祝日データ、辞書データを削除できます。
- マイピクチャ、iモーション、メロディの「プリインストール」フォルダに保存されているデータは削除できません。
- オリジナルデータのメニューアイコンで、お買い上げ時に設定されているデータは削除できません。
- 待受画面や着信音などに設定しているデータを削除すると、それぞれの設定はお買い上げ時に戻ります。

1 各データの一覧画面でデータを選択し、[i]［機能］▶「削除」を選択し、[●]を押す

2 [1]「1件削除」を押す

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

■ 選択削除するとき

① 2 「選択削除」を押す

② データを選択し、● を押す

- 解除するときは ● を押します。
- ✉ [再生] を押すとデータを再生して確認できます。静止画、動画・iモーション、メロディ、キャラ電の選択削除では、▲または▼を押すと前後のデータを確認できます。一覧に戻るときは ● を押します。

③ i [実行] を押す

■ フォルダ内のデータを全件削除するとき

① 3 「フォルダ内全件削除」を押す

② 端末暗証番号を入力し、● を押す

3 1 「はい」を押す

- 中止するときは 2 「いいえ」を押します。
- 待受画面や着信音などに設定しているデータが含まれているときは、確認のメッセージが表示されます。削除するときは、1 「はい」、設定しているデータ以外を削除するときは 3 「利用データ以外削除」、中止するときは 2 「いいえ」を押します。

お知らせ

- 画像表示画面、動画再生画面、メロディ再生画面、キャラ電表示画面、オリジナルデータのデータ表示画面でも同じ操作で 1 件削除できます。

データの詳細情報を確認する<情報表示>

データ BOX、miniSD メモリーカード内のファイル、オリジナルデータの情報を表示します。

1 ファイルを選択し、i [機能] ▶ 「情報表示」を選択し、● を押す

お知らせ

- 画像表示画面、動画再生画面、メロディ再生画面、キャラ電表示画面、オリジナルデータのデータ表示画面でも同じ操作で情報表示ができます。

表示項目一覧

詳細情報の項目の内容は以下のとおりです。

項　目	内　容
ファイル名	データのファイル名
タイトル	データの初期タイトル名。初期タイトルがない場合は「No title」と表示
ファイル種別	ファイルの種別
作成者	動画・iモーションの作成者の名前など
コピーライト	動画・iモーションの著作者名や公表年月日など
説明	動画・iモーションの説明
表示サイズ	データの表示サイズ
ファイルサイズ	データのファイルサイズ
音	動画・iモーションのデータ種別
着信音設定	動画・iモーションを着信音に設定できるかどうか
着信画面設定	動画・iモーションを着信画像に設定できるかどうか

次ページへつづく

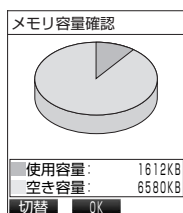
項　目	内　容
ファイル制限	メール添付によって他の携帯電話にデータを送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話にデータを送信することを制限するかしないか • サイトなどからダウンロードしたｉモーション、メロディでは変更できません。
再生制限	動画・ｉモーションの再生制限
撮影後ファイル制限	キャラ電撮影により作成された静止画・動画のメール添付、miniSDメモリーカードへの保存・編集等を規制するかどうか
位置情報	静止画に位置情報が埋め込まれているかどうか
故障時移行可否	お客様のFOMA端末を修理する際、お客様のデータをドコモ指定の故障取扱い窓口において移行できるかどうか※
取得元	データの取得元
保存日時	データを保存した日時
再生時間	データの再生時間
枚数	メニューアイコンの枚数
設定先	ファイルの設定先
画像設定	miniSDメモリーカード内の電話帳データに画像があるかどうか

※万が一、お客様のデータを移行できない場合およびデータの消失、変化に関し、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

メモリの使用状況を確認する

データBOXのメモリ容量の目安を円グラフで確認できます。

1 ● ▶ データBOX を押す

2 i［機能］▶ 1「メモリ容量確認」を押す

現在使用している容量と空き容量の目安がグラフと数値で表示されます。

• ✉［切替］を押すごとに、マイピクチャ、ｉモーション、メロディ、キャラ電、オリジナルの使用容量が表示されます。

メモリ不足や保存件数オーバーになったときは

静止画を編集して保存しようとしたときなど、データの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なデータを削除してから保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。

1 確認メッセージが表示されたら、1「はい」を押す

2 1「データBOX」または 2「オリジナルデータ」を押す

3 フォルダを選択し、● を押す

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

4 データを選択し、◉を押す

保存領域が確保されるまで、手順4を繰り返してください。
- 解除するときは◉を押します。
- ✉［再生］を押すとデータを再生して確認できます。一覧に戻るときは◉を押します。

5 ｉ［実行］を押す

- 待受画面や着信音などに設定しているデータが含まれているときは、確認のメッセージが表示されます。削除するときは、1「はい」、設定しているデータ以外を削除するときは3「利用データ以外削除」、中止するときは2「いいえ」を押します。削除すると設定はお買い上げ時に戻ります。

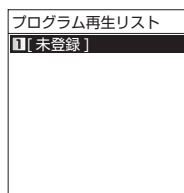
ｉモーション／メロディを好きな順に再生する

お買い上げ時	ランダム再生OFF　再生回数：１回

データBOX内の動画・ｉモーション、メロディをリストに登録し、連続で再生できます。
- プログラム再生リストには、動画・ｉモーション・メロディあわせて８件まで登録できます。
- 次のデータはプログラムに登録できません。
  - 再生制限が設定されているデータ
  - 再生不可データ
  - FOMAカード動作制限機能が設定されているデータ
  - お買い上げ時に登録されているデータ
  - すでにプログラムに登録されているデータ

プログラムを登録する

1 ◉▶データBOXを押す

2 ｉ［機能］▶2「プログラム再生」を押す

プログラム再生リスト画面

プログラム再生リストが表示されます。

3 ［未登録］を選択し、◉を押す

- すでに登録したデータを変更するときは、データを選択して◉を押します。

4 1「ｉモーション」または2「メロディ」を押す

5 フォルダを選択し、◉を押す

6 ファイルを選択し、◉を押す

- つづけて登録するときは、手順３～６を繰り返します。
- ✉［再生］を押すと、動画・ｉモーション／メロディを再生して確認できます。▲または▼を押して前後のデータを確認できます。

1 プログラム再生リスト画面で［メール］［再生］を押す

- 再生中は［▲］または［▼］を押して前後のデータを選択できます。
- 途中でプログラム再生を終了するときは［CLR］を押します。

■ プログラムをランダム再生するには

［i］［機能］▶［1］「ランダム再生ON」を押す

- 登録順に再生するには、［i］［機能］▶［1］「ランダム再生OFF」を押します。

■ プログラムの再生回数を変更するには

① ［i］［機能］▶［2］「再生回数」を押す

② 回数を設定し、［●］を押す

- 10回まで回数を設定できます。

■ 登録したファイルを解除するには

① ファイルを選択し、［i］［機能］▶［3］「登録解除」を押す

② ［1］「1件解除」を押す

- ［2］「全件解除」を押したときは［1］「はい」を押します。

■ プログラムの設定を確認するには

［i］［機能］▶［4］「設定確認」を押す

お知らせ

- リンク情報付きのｉモーションを登録した場合は、連続再生されません。

赤外線通信について

赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話などと、電話帳や画像などのデータを送受信できます。また、ｉアプリで赤外線通信を利用し、赤外線通信機能が搭載された機器と連動できます。

- オールロック、セルフモード中は、赤外線通信はできません。
- ｉアプリから起動した赤外線通信では全件送受信ができない場合があります。
- 赤外線通信中は圏外と同じ状態になるため、通話、ｉモード、データ通信などはできません。
- 赤外線通信中はマルチタスク機能は使えません。
- 赤外線通信とUSB接続（miniSDモードは除く）は同時に使用できません。
- ダウンロードしたメロディや画像などは、赤外線通信で送受信できない場合があります。
- 300Kバイトを超える画像、ｉモーションは送受信できません。（画像の場合は、300Kバイト以内でも送受信できない場合があります。また、100Kバイトを超えるメロディは送受信できません。）
- メールデータに送受信できない画像などが添付されている場合、送信時は本文のみが送信されます。また、受信時は本文のみ受信する場合があります。
- 保存できるデータの件数・容量がオーバーした場合はメッセージが表示されます。全件受信時は、保存可能な分のみ保存されます。
- SA700iSの赤外線通信機能はIrMC1.1に準拠しています。相手の端末、機種によってはIrMC1.1に準拠している場合でも、赤外線通信ができないことがあります。
- SA700iS 以外の赤外線通信機器との通信では、データが正しく受信されないことや受信側でデータが正しく表示されない場合があります。
- 直射日光のあたる場所や、蛍光灯の真下などでは赤外線通信が正常に行えないことがあります。
- 自局情報に登録されている2件目の郵便番号、住所は、赤外線送信されません。

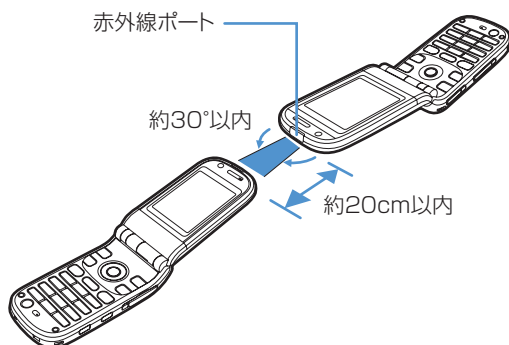
赤外線通信で送受信できるデータ

データの種類	受信時の保存場所	受信時の保存順
電話帳、自局情報	電話帳※1	最も小さい空きメモリダイヤル番号の順で登録されます。
スケジュール	スケジュール一覧	開始日時の古い順、終了日時の古い順、アラーム日時の古い順で登録されます。
ToDo	ToDo一覧	期限日時の古い順で登録されます。
メモデータ	テキストメモ	一番下に登録されます。全件受信時は先頭データが上から順番に登録されます。
ブックマーク	Bookmarkの メインフォルダ	一番上に登録されます。全件受信時は先頭データが下から順番に登録されます。
位置サイト	位置サイト一覧	一番下に登録されます。全件受信時は先頭データが上から順番に登録されます。
受信メール（iモードメール、SMS）	受信BOXの メインフォルダ	受信日時の順に登録されます。
送信メール（iモードメール、SMS）	送信BOXの メインフォルダ	送信日時の順に登録されます。
未送信メール（iモードメール、SMS）	未送信BOXの メインフォルダ	保存日時の順に登録されます。
静止画	マイピクチャの データ交換フォルダ	データBOXの並び順の設定に従って登録されます。
動画・iモーション	iモーションの データ交換フォルダ	
メロディ	メロディの データ交換フォルダ	
現在地通知先	現在地通知先一覧	一番下に登録されます。全件受信時は先頭データが上から順番に登録されます。

※1 電話帳データを全件受信した場合、一件目を自局情報とし、自局情報の自局電話番号以外を上書きします。

- 位置サイトのワンタッチ通知先設定をお買い上げ時以外の設定にしている場合は、受信時にワンタッチ登録は解除されます。
- 静止画、動画・iモーション、メロディは、全件送受信できません。
- 静止画、動画・iモーションのタイトルは、全角9文字（半角18文字）まで送受信できます。
- メロディのタイトルは全角18文字（半角36文字）まで送受信できます。
- SA700iSから他社のFOMA端末へ電話帳を送信したとき、送信元のグループ0のグループ名を編集していても、受信先の他社のFOMA端末ではそのグループ名は反映されません。
- 他社のFOMA端末からSA700iSへグループ番号が20以上の電話帳を送信したときは、SA700iSでは全てグループ0に登録されます。また、そのとき最後に送信された電話帳のグループ名に、グループ0のグループ名が変更されます。

赤外線通信をするときは

- 受信する側のFOMA端末を受信状態にしておきます。
- 赤外線ポートを平行に向き合わせ、距離を約20cm（角度は約30°）以内にしてください。また、データの送受信が終わるまで相手側の赤外線ポート部に向けたままにして動かさないでください。
- 赤外線通信中は通信中の画面になり、アイコンが点滅します。データの送受信が終わるまで、FOMA端末の間にものを置いたり、動かしたりしないでください。
- ブックマークを送受信した場合、フォルダ分けの設定が反映されません。

お知らせ

- 電話帳やスケジュールに登録した位置情報、画像に埋め込んだ位置情報については、赤外線通信を経由して、他の機種に保存しようとした場合には、その位置情報がその機種では表示・利用できない場合があります。

赤外線送信

赤外線通信を使ってデータを送信する

赤外線通信機能が搭載されている他のFOMA端末や携帯電話などに電話帳や自局番号などのデータを送信します。赤外線送信には、送信するデータを選択して1件ずつ送信する方法と、データを種類ごとに全件送信する方法があります。

- あらかじめ受信する側の端末を受信状態にしてから送信してください。
- iアプリを起動させるリンク情報があるメールは、その情報が削除されて送信されます。

データを1件送信する

各機能から赤外線通信で送信するデータを選択し、機能メニューから赤外線通信を起動して送信します。

〈例〉自分の電話番号やメールアドレスを赤外線通信で相手におしえる

1 ●▶自局情報表示 を押す

2 i［機能］▶ 6「赤外線送信」を押す

- データに画像が含まれている場合、画像を含めて送信するかどうかの確認画面が表示されます。1「画像ありで実行」または 2「画像なしで実行」を押してください。

3 1 「はい」を押す

- 中止するときは 2 「いいえ」を押します。
- 通信を中断するときは ✉ ［中断］を押してください。
- 相手の端末とうまく接続できないときは、接続を続けるかどうかの確認画面が表示されます。赤外線ポートの位置を確認し、1 「はい」を押してもう一度送信してください。

データを全件送信する

電話帳、スケジュールなど、選択した機能のすべてのデータを送信します。

- 全件送信する場合は、送信側と受信側で同じ認証パスワード（４桁の数字）を入力する必要があります。あらかじめ相手の方と認証パスワードを決めておいてください。（FOMA端末に設定する必要はありません。）

1

を押す

2 データを選択し、● を押す

■ 電話帳、受信メール、送信メール、未送信メールを選択したとき

1 「本体」または 2 「FOMAカード（UIM）」を押す

- データに画像が含まれている場合、画像を含めて送信するかどうかの確認画面が表示されます。
- メールデータ内に赤外線通信できない画像データなどがある場合は、本文のみ送信されます。

3 端末暗証番号を入力し、● を押す

4 ４桁の認証パスワードを入力する

- 入力した認証パスワードは「＊＊＊＊」と表示されます。

5 1 「はい」を押す

- 中止するときは 2 「いいえ」を押します。
- 通信を中断するときは ✉ ［中断］を押してください。
- 相手の端末とうまく接続できないときは、接続を続けるかどうかの確認画面が表示されます。赤外線ポートの位置を確認し、1 「はい」を押してもう一度送信してください。

お知らせ

- 電話帳を全件送信すると、「自局情報表示」のデータも送信されます。
- 受信側と認証パスワードが違った場合は、通信は終了し、赤外線通信メニューの画面に戻ります。
- データの並び順は、送信側と受信側で異なる場合があります。

赤外線受信

赤外線通信を使ってデータを受信する

赤外線通信機能が搭載されている他のFOMA端末や携帯電話などから、電話帳やメールなどのデータを受信します。赤外線受信には、1件ずつ受信する方法と、データを種類ごとに全件受信する方法があります。

データを1件受信する

1 ● ▶ ツール ▶ 7PQRSま ▶ 1.@あ を押す

2 1.@あ「はい」を押す

- 中止するときは 2ABCか「いいえ」を押します。
- 通信を中断するときは ✉［中断］を押してください。

3 送信側でデータを1件送信する

- 相手の端末とうまく接続できないときは、接続を続けるかどうかの確認画面が表示されます。赤外線ポートの位置を確認し、1.@あ「はい」を押してもう一度送信してください。

4 受信が完了したら、1.@あ「はい」を押す

- 保存可能な件数・容量を超えた場合は、保存できません。
- 2ABCか「いいえ」を押すとデータは保存されません。

お知らせ

- ブックマーク、位置サイトですでに同じデータが受信側にある場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

データを全件受信する

電話帳、スケジュールなど、機能ごとのすべてのデータを赤外線受信できます。

- 全件受信する場合は、送信側と受信側で同じ認証パスワード（4桁の数字）を入力する必要があります。あらかじめ相手の方と認証パスワードを決めておいてください。（FOMA端末に設定する必要はありません。）

1 ● ▶ ツール ▶ 7PQRSま ▶ 2ABCか を押す

上書きすると受信側に保存されているデータが削除されることを確認するメッセージが表示されます。

2 ● を押す

3 端末暗証番号を入力し、● を押す

4 4桁の認証パスワードを入力する

- 入力した認証パスワードは「****」と表示されます。

5 1.@あ「はい」を押す

- 中止するときは 2ABCか「いいえ」を押します。
- 通信を中断するときは ✉［中断］を押してください。

6 送信側でデータを送信する

- 相手の端末とうまく接続できないときは、接続を続けるかどうかの確認画面が表示されます。赤外線ポートの位置を確認し、1「はい」を押してもう一度送信してください。

7 上書きの確認画面で、1「はい」を押す

- 1「はい」を押すと受信側のデータはすべて削除され、送信されたデータが保存されます。2「いいえ」を押すと通信を終了し、受信側のデータは削除されません。
- 位置サイトまたは現在地通知先データの場合、ワンタッチ登録・定期現在地通知などが解除されることを確認する画面が表示されます。2「いいえ」を押すと通信を終了します。

8 保存成功件数と保存失敗件数が表示される

- 保存できるデータの件数・容量がオーバーした場合はメッセージが表示され、保存可能な分のみ保存されます。

赤外線通信モード

赤外線通信モードにする

iアプリ起動データを受信した場合、iアプリを起動できます。

- 赤外線通信機器が指定するソフトをあらかじめダウンロードしておく必要があります。

1 ●▶ツール▶7▶1を押す

2 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

3 赤外線通信機器からiアプリ起動データを受信する

- 通信を中断するときは✉［中断］を押してください。

4 1「はい」を押す

ソフトが起動します。起動後の操作はソフトによって異なります。

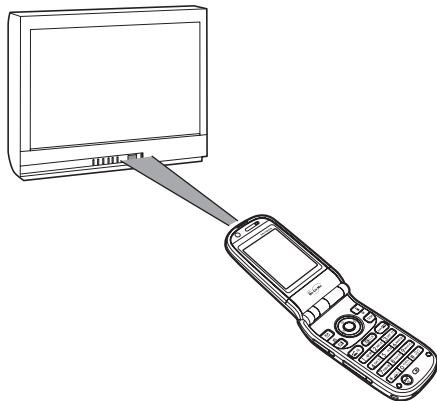
赤外線リモコン機能を利用する

お買い上げ時に登録されているiアプリ、「Gガイド番組表リモコン」のソフトまたはダウンロードした対応iアプリを起動して、FOMA端末を赤外線リモコンとして使用できます。

- 「Gガイド番組表リモコン」について詳しくは『iモード操作ガイド』をご覧ください。
- リモコン機能を利用する場合は、機器に対応したソフトをダウンロードする必要があります。
- キー操作はソフトによって異なります。
- 機器によっては操作できないものや、一部動作しない場合があります。
- 対応機器や周囲の明るさにより、通信に影響がでる可能性があります。
- セルフモード中は、赤外線リモコン機能を利用できません。

リモコン操作について

赤外線リモコンに対応したiアプリを起動し（→P288）、FOMA端末の赤外線ポートを、下図のように対応機器の赤外線受信部に向けて操作をしてください。

- リモコン操作ができる角度は中心から約15°、距離は約4mです。
- 対応機器や周囲の明るさなどにより、操作できる角度と距離は変わります。

ボイスレコーダー

ボイスレコーダーとして使う

FOMA端末で音声を録音できます。録音したデータはFOMA端末やminiSDメモリーカードに保存して、再生だけでなくメールに添付したり、編集したりできます。

- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

録音できる時間や保存形式について

■ 録音可能な時間

FOMA端末　　　　　　　：1ファイルにつき約80分
miniSDメモリーカード：1ファイルにつき約120分

- 長時間録音する場合は、電池残量にご注意ください。充電しながら録音することをおすすめします。
- 保存先の容量によって、録音可能時間が異なる場合があります。
- 音声データをメールで添付する場合は次の時間を目安に録音してください。

　iモードメールに添付する場合：約3分
　大容量メールに添付する場合　：約5分10秒

■ 保存先

FOMA端末　　　　　　　：「データBOX」→「iモーション」フォルダ内に保存されます
miniSDメモリーカード：「miniSD」→「miniSDデータ」→「iモーション」フォルダに保存されます。

- お買い上げ時は「データBOX」→「iモーション」→「カメラ」フォルダに保存されるように設定されています。保存先設定で保存先を変更できます。→P385

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

■ 保存形式

ファイル形式　：MP4
符号化方式　：AMR
拡張子　：.3gp
ファイル名／タイトル　：録音した日時が自動的にファイル名／タイトルとして保存されます。
〈例〉2005年12月24日10：30に録音した場合
→2005-12-24_10-30

- ファイル名／タイトルは保存後に変更できます。→P373

音声を録音する

- 音声は送話口から録音されます。
- マナーモードやドライブモード中、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続中でも、録音開始音・録音停止音が鳴ります。録音開始音・録音停止音の音量は変更できません。
- 録音中に着信・アラーム・メール受信したときの動作→P159

1 ● ▶ ツール ▶ 4 ▶ 1 **を押す**

- 動画撮影画面で、i［機能］▶ 5「撮影種別」▶ 3「音声のみ」を押しても、ボイスレコーダーとして音声を録音できます。→P157

■ マイク感度を設定するとき

i［機能］▶ 2「マイク感度」を押す

- 以降の操作：→P158「マイク感度を設定するとき」手順②

■ 保存先を設定するとき

① i［機能］▶ 3「保存先設定」を押す

② 1「データBOX」または 2「miniSD」を押す

- 1「データBOX」を押したときは、フォルダを選択して ● を押します。
- データBOXとminiSDメモリーカードでは録音できる時間が変わります。

■ ファイル制限を設定するとき

i［機能］▶ 5「ファイル制限」を押す

- 以降の操作：→P168「ファイル制限を設定するとき」手順②

■ 録音前に静止画を撮影するとき

撮影した静止画はサムネイルとして動画一覧画面で表示されます。

📷 を押す

- ✉［カメラ切替］を押すとアウトカメラ／インカメラを切り替えます。
- 撮影後、撮り直すときは ✉［撮直し］を押します。
- ◐ でズームが使えます。ズームについて→P160
- ▲または▼を押すと明るさを設定できます。明るさについて→P161
- i［機能］▶ 7「操作ガイド」を押すと操作ガイドを表示できます。

■ 特殊効果をかけて静止画を撮影するとき

i［機能］▶ 1「特殊効果」を押す

- 4 を押しても特殊効果がかけられます。
- 以降の操作：→P164「撮影効果を設定する」手順2～3

■ 拡大表示して静止画を撮影するとき

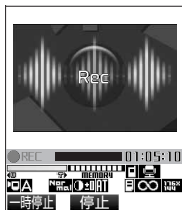
[i]［機能］▶[4]「拡大表示」を押す

- 等倍表示にするときは[i]［機能］▶[4]「等倍表示」を押します。
- ◎を押しても拡大表示／等倍表示ができます。

■ ライトを点灯して静止画を撮影するとき

[i]［機能］▶[6]「ライト」を押す

- [#]を押してもライトを点灯できます。
- 以降の操作：→P161「ライトを点灯する（動画撮影）」手順2

2 ●を押す

録音開始音が鳴り、録音が始まります。

- miniSDメモリーカードに保存先を設定している場合、保存できる件数がオーバーまたは容量不足、未挿入のときはFOMA端末に保存先を変更します。
- 録音画面の見かたについて→P151

■ 録音を一時停止するとき

[✉]［一時停止］を押す

- [✉]［再開］を押すと録音を再開します。

3 ●を押す

録音が終了し、自動保存されます。

- FOMA端末・miniSDメモリーカードに保存可能な録音時間になると、録音は自動的に終了し、保存されます。

音声を再生する

音声データは「データBOX」→「iモーション」フォルダ内のフォルダ、または「miniSD」→「miniSDデータ」→「iモーション」フォルダに保存されます。

- データBOXから音声データを再生する→P343

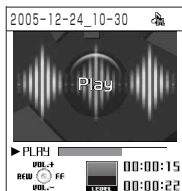
  ▶ ▶[2]を押す

2 保存先のフォルダを選択し、●を押す

音声データ一覧画面

- miniSDメモリーカードに保存しているデータを再生する場合は、[✉]［miniSD］を押してください

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

3 再生する音声データを選択し、◉を押す

音声データ再生画面

- 再生中の操作について→P344
- 音声を録音する前に静止画を撮影した場合は、撮影した静止画が表示されます。

指定した時間から音声を再生する<ジャンプ再生>

再生を始める時間を指定して音声データを再生できます。

- データBOXから音声を再生する場合はジャンプ再生はできません。

1 音声データ一覧画面で音声データを選択し、i［機能］▶1「ジャンプ再生」を押す

2 再生を始める時間を入力し、◉を押す

指定した時間から音声データが再生されます。

- 表示されている時間は音声データの長さです。範囲内で指定してください。
- 時間の表示は「時間：分：秒」です。
- 再生中の操作ついて→P344

お知らせ

- 音声データ再生画面でジャンプ再生するには、i［機能］▶1「ジャンプ再生」を押します。

タイトルを変更する

- データBOXでタイトルを変更する→P373

1 音声データ一覧画面で音声データを選択し、i［機能］▶2「タイトル編集」を押す

2 タイトルを入力し、◉を押す

全角18文字（半角36文字）まで入力できます。

- 一覧に表示できるのは全角8文字（半角16文字）までです。

お知らせ

- 音声データ再生画面で変更するにはi［機能］▶2「タイトル編集」を押します。

詳細情報を確認する

- データBOXで詳細情報を表示する→P375

1 音声データ一覧画面で音声データを選択し、i［機能］▶3「情報表示」を押す

次ページへつづく

お知らせ

- 音声データ再生画面で確認するには i［機能］▶ 3「情報表示」を押します。

音声を削除する

- データBOXで音声データを削除する→P374

1 **音声データ一覧画面で音声データを選択し、i［機能］▶ 4「削除」を押す**

2 **1「はい」を押す**

- 中止するときは 2「いいえ」を押します。

お知らせ

- 音声データ再生画面で削除するには i［機能］▶ 4「削除」を押します。

プリントモード

保存した画像を印刷する

FOMA端末またはminiSDメモリーカードに保存されている静止画をPictBridge対応のプリンタで印刷できます。

- FOMA USB接続ケーブル（別売）が必要です。
- 電池残量が少ないと印刷できません。プリントモード中はFOMA端末を卓上ホルダに正しくセットし、充電しながら印刷することをおすすめします。
- インデックスプリントの場合、部数は1部になります。
- ファイル制限あり（FOMA端末で設定した場合を除く）の静止画は印刷できません。
- ファイルサイズが1Mバイト以上の静止画は印刷できません。
- プリントモードではマルチタスク機能は使えません。

1 **● ▶ ツール ▶ 8 を押す**

2 **1「はい」または 2「いいえ」を押す**

はい：プリントモード中に電話の着信・メールの受信などの着信があるとプリントモードを中断します。

いいえ：プリントモードが終了するまで圏外状態となります。

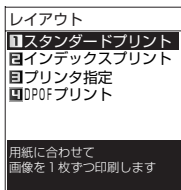
- セルフモード中はこの操作はありません。手順3に進んでください。

3 **FOMA USB接続ケーブルでFOMA端末とプリンタを接続する**

PictBridgeプリントモードが起動します。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

4 1 ～ 4 を押す

レイアウト
1スタンダードプリント
2インデックスプリント
3プリンタ指定
4DPOFプリント
用紙に合わせて
画像を1枚ずつ印刷します

スタンダードプリント：用紙に合わせて1枚ずつ印刷します。
インデックスプリント：一枚の用紙に複数の画像を一覧で印刷します。
プリンタ指定：プリンタのレイアウトに合わせて印刷します。
DPOFプリント：miniSDメモリーカードの「DPOFプリント予約」で予約した設定で印刷します。1「はい」を押し、手順7に進んでください。

- プリンタが対応していない項目は選択できません。

5 印刷設定をする

- 手順4で選択した印刷の種類によっては設定できない項目があります。

■ 印刷する画像を選択するとき

① **1「印刷画像」を押す**
② **1「マイピクチャ（本体）」または2「デジカメ（miniSD）」を押す**
③ **フォルダを選択し、●を押す**
- 印刷できないファイルは選択できません。

④ **印刷する画像を選択し、●を押す**
- 解除するときは●を押します。
- 99枚まで選択できます。
- ✉［再生］を押すとプレビューが表示されます。▲または▼を押すと前後の画像を確認できます。一覧に戻るには●を押します。

⑤ **i［完了］を押す**

■ 印刷部数を指定するとき

① **2「印刷部数」を押す**
② **印刷部数を入力し、●を押す**
- 10部まで設定できます。

■ 印刷サイズを指定するとき

① **3「印刷サイズ」を押す**
② **1～5を押す**
- プリンタが対応していない印刷サイズは選択できません。

■ 日付を印刷するとき

① **4「日付印刷」を押す**
② **1「ON」または2「OFF」を押す**
- 1「ON」を押すと静止画を撮影した日の日付が「年／月／日」で印刷されます。日付情報がない画像の場合、設定にかかわず日付は印刷されません。

6 i［印刷］を押す

7 印刷準備中画面になり、印刷される

- 印刷を中止するときは、✉［中止］▶1「はい」を押してください。
- 印刷が終了すると、印刷設定はお買い上げ時の状態に戻ります。

次ページへつづく

お知らせ

- 選択が可能な画像形式は、Exif-JPG形式です。
- プリントモードで印刷できる画像には、DCFサムネイルデータが必要です。（画像サイズがSXGAサイズより小さい画像を除く）
- インデックスプリントをするためには、DCFサムネイルデータが必要です。

miniSDメモリーカードに保存されている画像の印刷方法を設定する<DPOFプリント予約>

miniSDメモリーカードに保存されている静止画に印刷の設定をします。あらかじめ印刷するデータに印刷部数を設定しておくと、プリンタやお店で簡単に指定印刷できます。画像の一覧から画像を選択して印刷部数を設定する方法と、複数の画像の印刷部数を設定する方法があります。

- DPOF（Digital Print Order Format）に対応したプリンタまたはプリントサービスの店舗で有効です。
- 予約できる設定はインデックスプリント1件と通常プリント998件までです。
- ファイルサイズが1Mバイト以上の画像は予約できません。
- 別途 miniSD メモリーカードが必要となります。miniSD メモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
- miniSDメモリーカードの挿入方法→P361

画像を選択して印刷部数を予約する

1 ● ▶ ツール ▶ 5 ▶ 4 を押す

2 フォルダを選択し、● を押す

画像一覧画面が表示されます。

- 画像の右下に表示されている数字は、現在予約されている印刷部数です。

3 画像を選択し、● を押す

画像が表示されます。▲または▼を押すと、前後の画像を表示します。

4 i［予約］を押す

5 印刷部数を入力し、● を押す

印刷部数は0～999枚まで設定できます。

- 印刷部数を0枚にして ● を押すと、予約は解除されます。

■ 予約を解除するとき

✉［解除］を押す

6 ● を押す

画像一覧画面に戻ります。手順3～6を繰り返し、印刷したい画像データに印刷部数を予約します。

7 ✉［保存］▶ 1「はい」を押す

- 中止するときは 2「いいえ」を押します。

お知らせ

- 選択が可能な画像形式は、Exif-JPG形式です。

＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→ P361

複数の画像の印刷部数を一度に予約する

1 画像一覧画面で画像を選択し、i［機能］▶ 1「部数指定」を押す

2 1「1件指定」を押す

■ 選択指定するとき

① 2「選択指定」を押す
② 画像を選択し、● を押す
- 解除するときは ● を押します。
- ✉［再生］を押すと画像を表示して確認できます。▲ または ▼ を押すと前後の画像を確認できます。

③ i［実行］を押す
④ 1「はい」を押す
- 中止するときは 2「いいえ」を押します。

■ 全件指定するとき

① 3「全件指定」を押す
② 1「はい」を押す
- 中止するときは 2「いいえ」を押します。

3 印刷部数を入力し、● を押す

4 ✉［保存］▶ 1「はい」を押す

- 中止するときは 2「いいえ」を押します。

予約を解除する

1 画像一覧画面で画像を選択し、i［機能］▶ 2「予約解除」を押す

2 1「1件解除」を押す

■ 選択解除するとき

① 2「選択解除」を押す
② 画像を選択し、● を押す
- 解除するときは ● を押します。
- ✉［再生］を押すと画像を表示して確認できます。▲ または ▼ を押すと前後の画像を確認できます。

③ i［実行］を押す

■ 全件解除するとき

3「全件解除」を押す

3 1「はい」を押す

- 中止するときは 2「いいえ」を押します。

4 ✉［保存］▶ 1「はい」を押す

- 中止するときは 2「いいえ」を押します。

お知らせ

- 画像表示画面で解除するには、✉［解除］を押します。

インデックスプリントを指定する

インデックスプリント（画像を縮小して一覧にしたもの）を印刷するように設定します。

- 印刷部数を設定（1～999枚）しないとインデックスプリントの指定ができません。

1 ● ▶ ツール ▶ 5 ▶ 4 を押す

2 i［機能］ ▶ 1「インデックスプリント指定」を押す

3 1「はい」を押す

- インデックスプリントをしない場合は、2「いいえ」を押します。

予約状況を確認する

1 ● ▶ ツール ▶ 5 ▶ 4 を押す

2 i［機能］ ▶ 2「予約状況確認」を押す

予約画像件数、総印刷部数、インデックスプリント指定、最終更新日が表示されます。

データ表示／編集／管理

その他の便利な機能

マルチアクセス

マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、音声電話・パケット通信・SMSの３つの機能を同時に使用できる機能です。音声電話中にメールを受信したり、iモード中に音声電話をかけたりできます。

- タスクバーには、動作中の機能のアイコンが表示されます。
- マルチアクセス機能により、次の３つの通信を同時に使用できます。

音声電話	：１通信
iモード、iアプリ、iモードメール、パソコンなどをつないだパケット通信	：いずれか１通信
SMS	：１通信

お知らせ

- テレビ電話中はSMSの受信のみ同時にできます。受信はアイコンで通知されます。SMSを見るにはテレビ電話を終了してください。
- マルチアクセス中はそれぞれの通信について通信料金がかかります。
- 使用できる機能の組み合わせについて→P517

通信中にiモードメールや音声電話を受ける

〈例〉通話中にiモードメールを受信するとき

1 iモードメールを受信する

- 受信優先設定を「ユーザー操作優先」に設定している場合、音声電話中にiモードメールを受信すると、着信音は鳴らず、アイコンが点滅し、メールを受信するとアイコンが表示されます。

〈例〉iモード中・パケット通信中に音声電話を受けるとき

iモード中でも、通信を終了することなく音声電話を受けます。パソコンとつないだパケット通信中も同様です。

1 iモード中・パケット通信中に電話がかかってくる

2 [通話キー]を押す

通話できます。

- 通話中画面とサイト画面を切り替えて操作できます。→P397
- サイト表示を終了するにはサイトの画面で[PWR]▶[1]「はい」を押します。
- 通話を終了するには通話中の画面で[PWR]を押します。

お知らせ

- 64Kデータ通信中は、キャッチホンをお申し込みいただいている場合、通信を切断して着信を受けられます。また、SMSを受信できます。この場合、着信音などは鳴動せず、アイコンでお知らせします。
- 64Kデータ通信中はSMSの送信もできます。

通信中に他の通信を使うとき

接続中の通信を中断せずに、別の通信を同時に行えます。

〈例〉音声通話中にｉモードに接続するとき

1 **通話中に TASK を押す**

2 **「新規」を選択し、● ▶ 2 「ｉモード」を押す**

ｉモードメニューが表示されます。項目を選択し、● を押します。

- 通話中画面とサイト画面を切り替えて操作できます。→P397
- サイト表示を終了するにはサイトの画面で PWR ▶ 1 「はい」を押します。
- 通話を終了するには通話中の画面で PWR を押します。

〈例〉音声通話中にｉモードメールを送信するとき

1 **通話中に TASK を押す**

2 **「新規」を選択し、● ▶ 1 「メール」を押す**

3 **ｉモードメールを作成し、送信する**

ｉモードメールを送信すると通話中の画面に戻ります。

〈例〉ｉモード中に音声電話をかけるとき

1 **ｉモード中に TASK を押す**

2 **「新規」を選択し、● ▶ 「ダイヤル入力」を選択し、● を押す**

3 **電話番号を入力し、発信 を押す**

電話番号入力画面では、電話帳・履歴なども通常と同じ操作で使えます。→P50

- 通話を終了するとｉモードのサイト画面に戻ります。
- 通話中画面とサイト画面を切り替えて操作できます。→P397
- サイト表示を終了するにはサイトの画面で PWR ▶ 1 「はい」を押します。
- 通話を終了するには通話中の画面で PWR を押します。

マルチタスクについて

マルチタスクとは、複数の機能を同時に起動させて、画面を切り替えながら操作できる機能です。例えば、通話中にスケジュールを確認したり、メモを見ながらメールを作成したりできます。

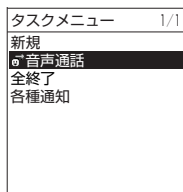
- 同時に起動できる機能について→P518
- タスクバーには、動作中の機能のアイコンが表示されます。
- 同時に起動できる機能は2つまでです。ただし、2つの機能を実行中に着信やアラームなどがあった場合は、2つの機能を終了させることなくその機能は実行されます。
- テレビ電話中は、自局情報表示・GPS測位のみできます。

新しい機能を実行する

通話中、通信中、操作中に別の機能を実行できます。

- 機能によっては同時に実行できない場合や制限のある場合があります。

〈例〉通話中に電話帳を確認するとき

1 通話中にTASKを押す

2 「新規」を選択し、●を押す

3 6「プライベート」▶1「電話帳」を押す

電話帳検索画面が表示されます。

4 電話帳を検索する

- 電話帳の検索方法について→P98
- 電話帳と通話中の画面を切り替えて操作できます。→P397
- 電話帳を終了する場合は、電話帳の画面でPWRを押します。
- 電話を切る場合は、通話中の画面でPWRを押します。

お知らせ

- マルチタスクで利用できる機能は、実行中の機能やロック設定の状況などによって、制限される場合があります。また、赤外線送受信中、ソフトウェア更新中などは、マルチタスクによる操作はできません。
- 実行中に機能を切り替えた場合、機能によっては表示などの動作に遅れが発生することがあります。

操作する機能を切り替える

機能を実行中に TASK を押すとタスクメニューが表示されます。機能を切り替えて操作できます。

1 機能実行中に TASK を押す

タスクメニューには実行中の機能が一覧で表示されます。

2 機能を選択し、● を押す

タスクメニューに表示される機能

タスクメニューの機能名は、メニューの機能名などと異なる場合があります。

機能名	対応する機能・画面
ダイヤル入力	電話番号を入力して、音声電話発信、テレビ電話発信など
メール	iモードメール、SMSの受信BOX・送信BOX・未送信BOX、新規作成など
iモード	iMenu、ブックマーク、インターネット、画面メモなど
iアプリ	iアプリ
GPS	現在地確認、ナビゲーション、位置履歴など
データBOX	データBOX表示
プライベート	電話帳、カレンダー、リダイヤル、着信履歴など
カメラ	フォト撮影、ムービー撮影、バーコードリーダー、文字リーダー
ツール	簡易電卓、アラーム、辞書など
メモメニュー	伝言メモ再生、音声メモ録音・再生、テキストメモなど
マナーモード	マナーモードの設定、解除
自局情報表示	自局情報を表示
切替	起動中の機能を切り替え
各種通知	アラームなどの通知があった場合、通知内容を一覧表示

お知らせ

- マルチタスク中にアラームなどの通知があった場合でも、2機能以上を実行中は各種通知の確認はできません。通知内容を確認するには起動中の機能を1つ以下にしてください。

実行中のすべての機能を終了する

マルチタスク中の機能を一度にすべて終了させます。

1 機能実行中に TASK を押す

2 「全終了」を選択し、● を押す

3 1 「はい」を押す

- 終了しないときは 2 「いいえ」を押します。

お知らせ

- 音声通話、アラーム（スヌーズ）、SMS送受信中、またはUSB通信などのタスク切り替え対象外の機能は、「全終了」を選択しても終了しません。
- テレビ電話中は「全終了」を選択できません。

オートパワー ON／OFF

自動的に電源をON／OFFにする

お買い上げ時	オートパワー ON　：OFF オートパワー OFF　：OFF

FOMA端末の電源を指定した時刻に自動的に入れたり切ったりします。

- 「オートパワー ON」と「オートパワー OFF」は同時刻に設定できません。

1 ● ▶ ▶ 5JKLな を押す

2 3DEFさ「オートパワー ON」または 4GHIた「オートパワー OFF」を押す

3 1.@あ「ON」を押す

- 解除するときは 2ABCか「OFF」を押します。

4 設定時刻を入力し、● を押す

お知らせ

- アラーム起動設定（→P402）を「ON」、アラームを「ON」に設定している場合は、オートパワー ONの設定にかかわらず、アラーム起動時刻に自動的に電源が入ります。
- PIN1コード入力設定を「ON」にしている場合は、オートパワー ONで電源が入った後、PIN1コード入力画面が表示されます。PIN1コードを入力後に待受画面が表示されます。
- オートパワー OFFとアラームやスケジュールアラームを同時刻に設定すると、アラームやスケジュールアラームに設定した動作が行われた後に電源が切れます。アラームにスヌーズモードを設定している場合は、スヌーズ動作を解除した後に電源が切れます。
- 通話中、メール送受信中、iモードなど通信中にオートパワー OFFを設定した時刻になった場合は、それぞれの通信を終了し、待受画面に戻った時点で電源が切れます。
- 待受中以外のときにオートパワー OFFを設定した時刻になっても、動作中のそれぞれの機能を終了させるまで電源は切れません。
- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止されている場所では、電源を切るだけでなくオートパワー ONの設定も解除してください。

アラーム

指定した時刻にアラームで知らせる

お買い上げ時	OFF

音や振動などで指定した時刻をお知らせします。1回のみでなく、毎日同じ時刻、特定の曜日に毎週同じ時刻など、アラームに繰り返しを設定することもできます。また、アラームを指定した時刻の読み上げや、バイブレータ動作も設定できます。

アラームを設定する

1 ● ▶ ツール ▶ 2ABCか を押す

2 設定するアラームを選択し、● を押す

- アラームは8件まで登録できます。「ON」に設定されているアラームには、タイトルの右にが表示されます。

3 1 「ON」を押す

アラーム
アラーム１
0:00
繰り返しなし
アラーム音
OFF
LEVEL3
アラーム画像
OFF
OFF
編集 登録

アラーム設定
一覧画面

• アラームを解除するときは 2 「OFF」を押してください。

4 項目を設定する

■ アラーム名を設定するとき
① 名 を選択し、● を押す
② アラーム名を入力し、● を押す
• 全角６文字（半角12文字）まで入力できます。

■ アラーム時刻を設定するとき
① 時計 を選択し、● を押す
② 時刻を入力し、● を押す

■ 繰り返しを設定するとき
① 繰り返し を選択し、● を押す
② 1 ～ 6 を押す

毎日 ：毎日アラームで通知します。
月～金 ：月曜日～金曜日にアラームで通知します。
月～土 ：月曜日～土曜日にアラームで通知します。
休日以外 ：カレンダーで休日に設定した日以外の日にアラームで通知します。
曜日指定 ：アラーム通知する曜日を指定できます。
① 曜日を選択し、● を押す
• 解除するときは ● を押します。
② i ［完了］を押す
繰り返しなし：１回だけアラームで通知します。

■ アラーム音を設定するとき
① アラーム音 を選択し、● を押す
② 1 ～ 5 を押す

iモーション ：「iモーション」フォルダからデータを選択し、● を押します。
メロディ ：「メロディ」フォルダからデータを選択し、● を押します。
時刻読上げ＋iモーション：時刻を音声で読み上げた後、選択したiモーションでお知らせします。
「iモーション」フォルダからデータを選択し、● を押します。
時刻読上げ＋メロディ ：時刻を音声で読み上げた後、選択した音やメロディでお知らせします。
「メロディ」フォルダからデータを選択し、● を押します。
OFF ：アラーム音を鳴らしません。

• 時刻を読み上げる設定にすると、「 ＋データのタイトル」で表示されます。

その他の便利な機能

次ページへつづく

■ スヌーズモードを設定するとき

① を選択し、● を押す
② 1 ～ 3 を押す

ON 音固定：固定のアラーム音を繰り返して通知します。
スヌーズ時間を入力し、● を押す
• 1～15分の間隔で設定できます。

ON 音選択：1回目から6回目までそれぞれに設定したアラーム音で通知します。
① スヌーズ音を選択し、● を押す
② データを選択し、● を押す
• iモーション、メロディフォルダから選択できます。
• スヌーズ音を鳴らさないときは 3 「OFF」を押します。
• 手順①、② を繰り返して各スヌーズ音を設定します。
③ i ［確定］を押す
④ スヌーズ時間を入力し、● を押す
• 1～15分の間隔で設定できます。

OFF：スヌーズ通知しません。

■ アラーム音量を調節するとき

① を選択し、● を押す
② で音量を設定し、● を押す
• ✉ ［STEP ↓］または i ［STEP ↑］を押しても、ステップダウン（だんだん小さく）、ステップアップ（だんだん大きく）を設定できます。

■ アラーム通知画像を設定するとき

① を選択し、● を押す
② 1 ～ 3 を押す

マイピクチャ：「マイピクチャ」フォルダからデータを選択し、● を押します。
• 画像の設定について→P117

iモーション：「iモーション」フォルダからデータを選択し、● を押します。

OFF：アラーム通知画像を設定しません。

• 設定できるiモーションは映像のみのiモーションです。

■ バイブレータを設定するとき

① を選択し、● を押す
② 1 ～ 6 を押す
• 1「メロディ連動」は設定したメロディに合わせてバイブレータが動作します。
• 設定しないときは 7 「OFF」を押します。
• 振動を確認するときは ✉ ［確認］▶● を押します。
③ バイブレータの強さを選択し、● を押す
• 振動を確認するときは ✉ ［確認］▶● を押します。

■ アラームを優先するか、マナーモードを優先するかを設定するとき

① を選択し、● を押す
② 1 「ON」または 2 「OFF」を押す

ON：マナーモード中もアラームの設定に従って通知します。

OFF：マナーモード中はマナーの設定に従って通知します。

5 i「登録」を押す

• 待受画面に が表示されます。

お知らせ

- iモーションの種類によってはアラーム音やアラーム通知画像に設定できない場合があります。
- タイトルが長い画像・iモーションなどを設定した場合、アラーム設定一覧画面では全角10文字（半角21文字）まで表示されます。
- アラーム音に映像と音声が含まれるiモーションを設定すると、アラーム通知画像が同じiモーションに変更されることを確認するメッセージが表示されます。アラーム音またはアラーム通知画像を変更すると、もう一方がお買い上げ時に戻ることを確認するメッセージが表示されます。

アラームをお買い上げ時の状態に戻す

1 ◉ ▶ ツール ▶ 2 を押す

2 アラームを選択し、i［機能］▶ 2「リセット」を押す

3 1「1件リセット」を押す

- 2「全件リセット」を押したときは、端末暗証番号を入力し、◉を押します。

4 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

指定した時刻になると

- 指定した時刻になると、設定した動作でアラームが鳴動します。
- アラーム鳴動中に、いずれかのキーを押すとアラームは止まります。何も操作をしない場合も、アラームは約1分後に止まります。この場合、待受画面にお知らせアイコンが表示されます。◎▶◉と押すとアラームの内容を確認できます。
- スヌーズモードを設定しているときは、設定した間隔でアラームが繰り返し鳴動します。スヌーズを解除するには、CLRキーを1秒以上押してください。FOMA端末を閉じているときはサイドキー▼を1秒以上押してください。スヌーズは6回繰り返すと解除されます。
- 指定した時刻に通話などを行っていた場合は、アラームは次のように動作します。

状　況	アラームの動作
通話中、メール送受信中	通話／送受信終了後、アラームが鳴動します。
電源を切っているとき	アラーム起動設定を「OFF」に設定している場合は、アラームは鳴動しません。電源を入れたときに待受画面にお知らせアイコンが表示されます。
カメラ撮影中、iモード接続中、iアプリ起動中、待受中音声メモ／通話中音声メモ／伝言メモ再生中、待受中音声メモ／応答メッセージ録音中、テキストメモなど文字編集中	アラームが鳴動します。スヌーズモードを設定している場合はスヌーズ解除後に各動作に戻ります。
GPS測位中	測位が終了してからアラームが鳴動します。
PIMロック中、オールロック中、ソフトウェア更新中	アラームは鳴動しません。ロック解除後、ソフトウェア更新終了後にお知らせアイコンが表示されます。

アラームの優先順位について

アラーム、スケジュールアラームなど、複数のアラームが同時刻に設定されている場合の優先順位は次のとおりです。

① 定期現在地通知
　1～2の登録順ですべて通知
② アラーム（スヌーズが設定されている場合はスヌーズモード解除まで）
　1～8の登録順ですべて鳴動
③ ToDoアラーム
　期限日時が早いもの1件を鳴動
④ スケジュールアラーム
　開始日時が早いもの1件を鳴動

- アラーム、スケジュールアラーム、ToDoアラーム鳴動中に定期現在地通知の時刻になった場合は、それぞれのアラームは解除され、定期現在地通知を行います。
- ToDoアラームの期限日時が同じ場合は、アラームを設定した日時が新しいもの1件が鳴動します。
- スケジュールアラームの開始日時が同じ場合は、終了日時の早いもの、終了日時も同じ場合はアラームを設定した日時が新しいもの1件が鳴動します。

お知らせ

- アラーム鳴動中に音声着信、メール受信があった場合は、アラームが停止します。ただし、メール設定の受信優先設定で「ユーザー操作優先」にしている場合は、アラームは鳴動し続け、メール受信はアイコンで表示されます。

電源を切っていてもアラームが鳴るように設定する

お買い上げ時	OFF

1 ● ▶ ツール ▶ 2 を押す

2 i［機能］▶ 1「アラーム起動設定：OFF」を押す

- 電源を切っているときにアラームを鳴らす設定にしているときは、「アラーム起動設定：ON」と表示されます。

3 1「はい」を押す

- 電源を切っているときにアラームを鳴らさないときは 2「いいえ」を押します。

お知らせ

- PIN1コード入力設定を「ON」にしている場合は、アラーム設定で指定した時刻に電源が入り、アラームを停止した後（スヌーズを解除した後）、PIN1コード入力画面が表示されます。PIN1コードを入力後、待受画面が表示されます。
- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止されている場所では、電源を切るだけでなくアラーム起動設定も「OFF」に設定してください。
- 電源を切っている状態からアラームを鳴らす場合、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータをアラーム音やアラーム通知画像に設定していると、それぞれはお買い上げ時の設定で鳴動します。

カレンダーを表示する

月間表示と１日表示でスケジュールの確認ができます。また、休日を設定してオリジナルのカレンダーとして使用できます。

1 ● ▶ プライベート ▶ 2ABCか を押す

月間表示画面

カレンダーが月間表示されます。
- シースルー表示を「ON」に設定しているときはユーザー確認画面が表示されます。

■ 新規登録をするとき

①i［機能］▶ 1.@あ「新規登録」を押す
② 1.@あ ～ 5JKLな を押す

スケジュール：スケジュールを登録します。
以降の操作：→P406「スケジュールを登録する」手順３～５

ToDo：ToDo（しなければならない予定）を登録します。
以降の操作：→P411「ToDoを登録する」手順３～５

マイピクチャ：「マイピクチャ」フォルダから静止画を選択して登録できます。登録するデータを選択し、●を押します。

iモーション：「iモーション」フォルダから動画・iモーションを選択して登録できます。登録するデータを選択し、●を押します。

メロディ：「メロディ」フォルダからメロディを選択して登録できます。登録するデータを選択し、●を押します。

- 一日表示画面からでも同じ操作で新規登録できます。
- カレンダーに登録できる静止画、動画・iモーション、メロディは、合わせて300件までです。１つのデータを複数の日に登録できません。
- フレーム、スタンプ、再生期限が設定されているｉモーション、お買い上げ時に登録されているデータはカレンダーに登録できません。

■ 日付移動するとき

①i［機能］▶ 4GHIた「日付移動」を押す
②表示したい日付を入力し、●を押す
- 一日表示画面からもi［機能］▶ 7PQRSま「日付移動」を押して日付移動ができます。

次ページへつづく

■ 休日を設定するとき

① [i] ［機能］ ▶ [5] 「休日設定」を押す
② [1] 〜 [3] を押す

当日のみ：選択した日のみ休日に設定します。
毎週　　：選択した日と同じ曜日を休日に設定します。
期間設定：指定した期間を休日に設定します。
　① 開始日を入力して、[●] を押す
　② 終了日を入力して、[●] を押す

- 一日表示画面からも [i] ［機能］ ▶ [◎] ▶ [1] 「休日設定」を押して当日を休日に設定できます。
- 2005年1月1日から2020年12月31日までの日に設定できます。

■ 休日を解除するとき

① [i] ［機能］ ▶ [6] 「休日解除」を押す
② [1] 〜 [4] を押す

当日のみ：選択した日のみ休日を解除します。
毎週　　：選択した日と同じ曜日の休日を解除します。
期間設定：指定した期間の休日を解除します。
　① 開始日を入力して、[●] を押す
　② 終了日を入力して、[●] を押す
リセット：休日をお買い上げ時の設定に戻します。端末暗証番号を入力し、[●] ▶ [1] 「はい」を押します。

- 一日表示画面からも [i] ［機能］ ▶ [◎] ▶ [1] 「休日解除」を押して当日の休日を解除できます。

■ 背景に画像を表示をするとき

① [i] ［機能］ ▶ [7] 「シースルー表示」を押す
② [1] 「ON」を押す
- シースルー表示をしないときは [2] 「OFF」を押します。

③「カレンダー登録画像」、「カメラ撮影画像」を選択し、[●] を押す

カレンダー登録画像：選択した日に登録されている画像を背景に表示します。
カメラ撮影画像　　：選択した日にカメラ撮影した画像を背景に表示します。カメラ撮影した画像（静止画／動画の開始画像）が複数ある場合は、撮影日時が最新の画像が表示されます。

- 「カレンダー登録画像」・「カメラ撮影画像」両方をONに設定できます。

④ [i] ［完了］を押す

■ 登録データを表示するとき

① [i]［機能］▶ ◎ ▶ [1]「登録データ表示」を押す

② [1]「アイコン」または [2]「リスト」を押す

アイコン：選択した日に登録しているスケジュールやデータなどをアイコンで表示します。表示の優先順位は次のとおりです。

1. 自局情報に登録された誕生日データ
2. 電話帳に登録された誕生日データ
3. ToDo（期限日時の早い順）
4. スケジュール（開始日時の早い順）
5. 画像などのデータ（登録の新しい順）

リスト　：選択した日に登録しているスケジュールやデータなどをアイコンとリストで表示します。表示できるのは優先順位の高い2項目です。

プレビューが表示されます。

• カレンダー月間表示画面の下部に登録データが、アイコンもしくはリストでプレビュー表示されます。

③ ◉ を押す

■ 祝日を設定または解除するとき

• 祝日データはダウンロードしておく必要があります。祝日データについて→P359

① [i]［機能］▶ ◎ ▶ [2]「祝日設定／解除」を押す

② 祝日データを選択し、◉ を押す

• 解除するときは ◉ を押します。
• [✉]［確認］を押すと、祝日データの詳細を確認できます。一覧に戻るには ◉ を押します。

③ [i]［実行］▶ [1]「はい」を押す

• 中止するときは [2]「いいえ」を押します。

2 表示したい日付を選択し、◉ を押す

1日表示画面

選択した日が1日表示されます。

• ◎ で前後の日を表示できます。

■ メールに添付するとき

登録している静止画、動画・iモーション、メロディを添付してiモードメールを送信します。

データを選択し、[i]［機能］▶ [4]「メール添付」を押す

データが添付されたメール作成画面が表示されます。

• 以降の操作：→P230「iモードメールを作成して送信する」手順2～6
ファイルの添付について→P241

■ 登録しているスケジュールやデータを削除／登録解除するとき

① データを選択し、[i]［機能］▶ ◎ ▶ [2]「削除／登録解除」を押す

② [1]「はい」を押す

• 中止するには [2]「いいえ」を押します。

お知らせ

- カレンダーは1582年11月1日から9999年12月31日まで表示できます。
- あらかじめ2005年と2006年の祝日が設定されています。2007年以降の祝日は祝日設定で設定してください。
- 祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成13年法律第59号）」に基づいています。また、春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため、異なる場合があります。（2005年9月現在）
- スケジュール、ToDo、画像などのデータは、2005年1月1日から2020年12月31日までの日に登録できます。登録がある日には、月間表示の日付に下線が付きます。
- 自局情報表示や電話帳で誕生日を登録している場合は、自動的に誕生日アイコンと名前が表示されます。ただし、登録データ表示の設定を「アイコン」にしている場合は、月間表示画面では誕生日アイコンのみ表示されます。
- シースルー表示で「カレンダー登録画像」と「カメラ撮影画像」の両方を「ON」に設定している場合は、カレンダー登録されている画像が表示されます。

スケジュールを登録する

カレンダーにスケジュールを登録できます。アラームを設定すれば指定した日時にアラーム音や画像でお知らせします。

- スケジュールは100件まで登録できます。
- 同じ日に複数のスケジュールを登録できます。

1 ● ▶ プライベート ▶ 2ABCか を押す

2 日を選択し、i［機能］▶ 1.@あ「新規登録」▶ 1.@あ「スケジュール」を押す

3 内容を入力し、● を押す

スケジュール登録画面

- 内容が入力されていないと登録できません。
- 全角100文字（半角200文字）まで入力できます。

4 項目を設定する

■ 開始日時を設定するとき

① ▷を選択し、● を押す
② 開始日時を入力し、● を押す

- ✉［終日］を押すと開始日時・終了日時を終日に設定します。
- 開始日時の時刻を 0：00、終了日時を開始日の翌日の 0：00 に設定すると、開始日時・終了日時は「終日」と表示されます。

その他の便利な機能

■ 終了日時を設定するとき

① を選択し、 を押す
② 終了日時を入力し、 を押す

■ 繰り返しを設定するとき

① を選択し、 を押す
② で繰り返す周期を選択し、 を押す
③ 繰り返す期間を入力し、 を押す
④ 「あり」を押す
- 繰り返し例外日を設定しないときは 「なし」を押します。スケジュール登録画面に戻ります。

⑤ 例外日を設定する日を選択し、 を押す
- 解除するときは を押します。
- ［全解除］を押すとすべての例外日が解除されます。
- 例外日を設定すると、繰り返しの項目に が表示されます。

⑥ ［完了］を押す

■ 分類を設定するとき

① を選択し、 を押す
② 分類アイコンを選択し、 を押す
- 48種類から選択できます。設定したアイコンはカレンダーで表示されます。

■ 内容を入力するとき

① を選択し、 を押す
② 内容を入力し、 を押す

■ 場所を設定するとき

① を選択し、 を押す
② 場所を入力し、 を押す
- 全角20文字（半角40文字）まで入力できます。

■ 位置情報を埋め込むとき

 を選択し、 を押す
- 以降の操作：→P329「位置情報を埋め込む」手順4

■ アラームを設定するとき

① を選択し、 を押す
- 以降の操作：→P398「アラームを設定する」手順3～4
- アラーム日時は開始日時より未来に設定できません。

② ［確定］を押す

■ URLを設定するとき

① を選択し、 を押す
② URLを入力し、 を押す
- 半角256文字まで入力できます。

■ 要約を設定するとき

① を選択し、 を押す
② 要約を入力し、 を押す
- 全角20文字（半角40文字）まで入力できます。

■ シークレット属性を設定するとき

シークレット属性のON、OFFはシークレットモードに切り替えたときのみ行えます。→P138

① を選択し、● を押す

② 1 「ON」を押す

- 設定しないときは 2 「OFF」を押します。

5 i ［登録］を押す

- スケジュールアラームが設定された場合は、待受画面にが表示されます。

お知らせ

- スケジュール開始日時が現在日時より過去に設定されている場合は、確認のメッセージが表示されます。
- 繰り返しを設定したあと、開始日時を変更する場合は、繰り返しを解除することを確認するメッセージが表示されます。
- スケジュールに登録した内容は、FOMA 端末の故障・修理・電話機の変更やその他取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合もあります。万一に備え、別にメモを取ったり、miniSD メモリーカード（→P364）を利用して保管することをおすすめします。登録してある内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとUSB 接続ケーブル（別売）を利用してパソコンに保管することもできます。→P520

他の機能からスケジュールを登録する

スケジュール機能に対応したiアプリからスケジュールを新規登録できます。iアプリから新規登録できるスケジュールの項目は以下のとおりです。

- 開始日時
- 内容※
- 繰り返し設定
- アラーム設定

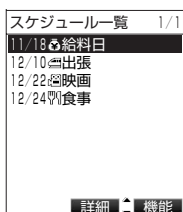
※iアプリで入力した「内容」が全角100文字（半角200文字）を超えた場合は、全角100文字（半角200文字）までが登録されます。

- スケジュールに対応したiアプリをダウンロードしておく必要があります。→P286
- 登録時はiアプリが中断し、FOMA 端末のスケジュール機能になります。

スケジュールを確認／修正する

登録したスケジュールの詳細を、1日表示画面またはスケジュール一覧画面から確認できます。またスケジュールの修正や追加登録ができます。

スケジュール一覧から確認する

1 月間表示画面で i ［機能］▶ 2 「スケジュール一覧」を押す

スケジュール一覧画面

登録されているすべてのスケジュールが日付の古い順に表示されます。

- 開始日、分類アイコン、要約（要約が入力されていないときは内容）が表示されます。

■ スケジュールを新規登録するとき

i ［機能］▶ 1 「新規登録」を押す

- 以降の操作：→P406「スケジュールを登録する」手順3～5

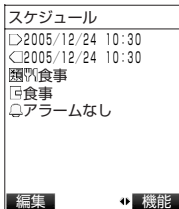
＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→P361

■ 位置情報を利用するとき
スケジュールを選択し、i［機能］▶2「位置情報」を押す
- 以降の操作：→P330「埋め込んだ位置情報を利用する」手順3

■ URLを利用するとき
①スケジュールを選択し、i［機能］▶3「URL」を押す
②1「サイト接続」または2「Bookmark登録」を押す

サイト接続：サイトに接続します。URLを選択し、●▶i［接続］を押します。中止するときは✉［キャンセル］を押します。
Bookmark登録：ブックマークに登録します。URLを選択し、●を押します。以降の操作：→P194「ブックマークに登録する」手順2～3

■ スケジュールの登録件数を確認するとき
i［機能］▶7「メモリ登録件数」を押す

2 スケジュールを選択し、●を押す

スケジュール詳細画面

スケジュールの詳細が表示されます。
- ◎を押すと前後のスケジュールを表示できます。

■ 項目をコピーするとき
①i［機能］▶3「項目コピー」を押す
②コピーしたい項目を選択し、●を押す
- 項目コピーでコピーしたデータは、テキストとして貼り付けできます。設定内容のコピーではありません。

■ 通話中にプッシュ信号を送信するとき
- 通話中にスケジュールを表示する→P396

電話番号を選択し、i［機能］▶5「プッシュ信号送信」を押す

1日表示画面から確認する

1 1日表示画面でスケジュールを選択し、●を押す

お知らせ
- 1日表示画面からスケジュール一覧を表示するにはi［機能］▶5「スケジュール一覧」を押します。
- 終了日時の過ぎたスケジュールは文字色が変わります。
- 内容、要約に電話番号、メールアドレス、URLを登録しておくと、スケジュール詳細画面からそれぞれを選択し、●を押してPhone to（AV Phone to）、Mail to、Web toを利用できます。

スケジュールを編集する

1 スケジュール詳細画面で✉［編集］を押す

- 以降の操作：→P406「スケジュールを登録する」手順4～5

スケジュールアラームを設定していると

- アラームを指定した時刻になると、スケジュールアラームが鳴動します。
- スケジュールアラームが他のアラームと同時刻に設定されている場合の鳴動については、P402をご覧ください。
- アラーム鳴動中に、いずれかのキーを押すとアラームは止まります。通知されたアラームが2件以上の場合、スケジュール一覧画面が表示されます。1件の場合は、スケジュール詳細画面が表示されます。
- アラーム鳴動中に何も操作をしない場合は、アラームは約1分後に止まり、待受画面にお知らせアイコンが表示されます。▶と押すとスケジュールを確認できます。
- 指定した時刻に通話などを行っていた場合は、アラームは次のように動作します。

状　況	アラームの動作
通話中、メール送受信中	通話／送受信終了後、スケジュールアラームが鳴動します。
電源を切っているとき	スケジュールアラームは鳴動しません。電源を入れたときに待受画面にお知らせアイコンが表示されます。
カメラ撮影中、iモード接続中、iアプリ起動中、待受中音声メモ／通話中音声メモ／伝言メモ再生中、待受中音声メモ／応答メッセージ録音中、テキストメモなど文字編集中	スケジュールアラームが鳴動します。
GPS測位中	測位が終了してからスケジュールアラームが鳴動します。
PIMロック中、オールロック中、ソフトウェア更新中	スケジュールアラームは鳴動しません。ロック解除後、ソフトウェア更新終了後にお知らせアイコンが表示されます。

お知らせ

- スケジュールアラーム鳴動中に音声着信、メール受信があった場合は、アラームが停止します。ただし、メール設定の受信優先設定で「ユーザー操作優先」にしている場合は、アラームは鳴動し続け、メール受信はアイコンで表示されます。
- シークレットモードが「OFF」に設定されていてもシークレット登録されているスケジュールアラームは鳴動します。ただし、スケジュール一覧には表示されません。

スケジュールを削除する

1 **スケジュール一覧画面でスケジュールを選択し、[機能]▶「削除」を押す**

2 **「1件削除」を押す**

■ 選択削除するとき

①「選択削除」を押す

②スケジュールを選択し、を押す

- 解除するときはを押します。
- 内容を確認するときは[詳細]を押します。を押すと前後のスケジュールを確認できます。一覧に戻るときは[一覧]を押します。

③[実行]を押す

■ 全件削除するとき

①「全件削除」を押す

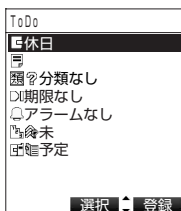
②端末暗証番号を入力し、を押す

3 1.@あ「はい」を押す

- 中止するときは 2ABCか「いいえ」を押します。

お知らせ

- スケジュール詳細画面でスケジュールを削除するには、i［機能］▶ 4GHIた「削除」を押します。
- シークレット属性を「ON」に設定しているデータが含まれている場合は、削除するデータを選択する画面が表示されます。● を押すと選択／解除を切り替えられます。データを選択し、i［実行］を押します。

ToDoを登録する

大切な用事やしなければならない予定などを登録できます。期限日時や優先順位などを設定できるので予定管理に便利です。アラームを設定すれば指定した日時にアラーム音や画像でお知らせします。

- ToDoは50件まで登録できます。
- 同じ日に複数のToDoを登録できます。

1 ● ▶ プライベート ▶ 2ABCか を押す

2 i［機能］▶ 1.@あ「新規登録」▶ 2ABCか「ToDo」を押す

3 内容を入力し、● を押す

ToDo登録画面

- 内容が入力されていないと登録できません。
- 全角100文字（半角200文字）まで入力できます。

4 各項目を設定する

■ 内容を入力するとき

① を選択し、● を押す
② 内容を入力し、● を押す

■ 要約を設定するとき

① を選択し、● を押す
② 要約を入力し、● を押す
- 全角20文字（半角40文字）まで入力できます。

■ 分類を設定するとき

① を選択し、● を押す
② 分類アイコンを選択し、● を押す
- 48種類から選択できます。

次ページへつづく

■ 期限日時を設定するとき

① を選択し、● を押す

② 期限日時を入力し、● を押す

- 期限日時を設定しない場合は、日付時刻設定で設定している日に登録されます。

■ アラームを設定するとき

① を選択し、● を押す

- 以降の操作：→P398「アラームを設定する」手順３～４
- アラーム日時は期限日時より未来に設定できません。

② i ［確定］を押す

■ 優先順位を設定するとき

① を選択し、● を押す

② 1 ～ 3 を押す

高：優先順位の高いToDoに設定します。

低：優先順位の低いToDoに設定します。

未：優先順位を設定しません。

■ 状態を設定するとき

① を選択し、● を押す

② 1 ～ 8 を押す

- ８種類から選択できます。設定したアイコンはカレンダーで表示されます。
- 7「完了」を押したときは、完了日時を入力し、● を押します。

■ 完了日時を入力するとき

- 状態が「予定」のときは、完了日時の項目は表示されません。

① 完を選択し、● を押す

② 完了日時を入力し、● を押す

■ シークレット属性を設定するとき

シークレット属性のON、OFFはシークレットモードに切り替えたときのみ行えます。
→P138

① を選択し、● を押す

② 1「ON」を押す

- 設定しないときは 2「OFF」を押します。

5 i ［登録］を押す

- ToDoアラームが設定された場合は、待受画面に が表示されます。

お知らせ

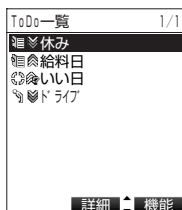
- ToDoの完了日時を設定した場合や状態を「完了」にした場合、アラームは鳴動しません。
- ToDoに登録した内容は、FOMA 端末の故障・修理・電話機の変更やその他取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合もあります。万一に備え、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード（→P364）を利用して保管することをおすすめします。登録してある内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとUSB接続ケーブル（別売）を利用してパソコンに保管することもできます。→P520

＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→P361

ToDoを確認／修正する

登録したToDoの詳細を、1日表示画面またはToDo一覧画面から確認できます。またToDoの修正や追加登録ができます。

ToDo一覧から確認する

1 月間表示画面で i ［機能］▶ 3 「ToDo一覧」を押す

ToDo一覧画面

登録されているすべてのToDoが期限日時の古い順に表示されます。

- 状態、優先順位、要約（要約が入力されていないときは内容）が表示されます。

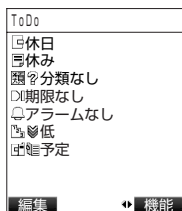
■ ToDoを新規登録するとき

i ［機能］▶ 1 「新規登録」を押す

- 以降の操作：→P411「ToDoを登録する」手順3～5

■ ToDoの登録件数を確認するとき

i ［機能］▶ 5 「メモリ登録件数」を押す

2 確認するToDoを選択し、● を押す

ToDo詳細画面

ToDoの詳細が表示されます。

- ◀▶ を押すと前後のToDoを表示できます。

■ 項目をコピーするとき

① i ［機能］▶ 3 「項目コピー」を押す

② コピーしたい項目を選択し、● を押す

- 項目コピーでコピーしたデータは、テキストとして貼り付けできます。設定内容のコピーではありません。

■ 通話中にプッシュ信号を送信するとき

- 通話中にToDoを表示する→P396

電話番号を選択し、i ［機能］▶ 5 「プッシュ信号送信」を押す

1日表示画面から確認する

1 1日表示画面でToDoを選択し、● を押す

お知らせ

- 1日表示画面からToDo一覧を表示するには i ［機能］▶ 6 「ToDo一覧」を押します。
- 期限日時が過ぎ、完了日時が入力されていないToDoは、文字色が変わります。
- 内容、要約に電話番号、メールアドレス、URLを登録しておくと、ToDo詳細画面からそれぞれを選択し、● を押して、Phone to（AV Phone to）、Mail to、Web toを利用できます。

ToDoを編集する

1 ToDo詳細画面で ✉ ［編集］を押す

- 以降の操作：→P411「ToDoを登録する」手順4～5

ToDoアラームを設定していると

- アラームを指定した時刻になると、ToDoアラームが鳴動します。
- ToDo アラームが他のアラームと同時刻に設定されている場合の鳴動については、P402 をご覧ください。
- アラーム鳴動中に、いずれかのキーを押すとアラームは止まります。通知されたアラームが2件以上の場合、ToDo一覧画面が表示されます。1件の場合は、ToDo詳細画面が表示されます。
- アラーム鳴動中に何も操作をしない場合は、アラームは約1分後に止まり、待受画面にお知らせアイコンが表示されます。▶と押すとToDoを確認できます。
- 指定した時刻に通話などを行っていた場合は、アラームは次のように動作します。

状　況	アラームの動作
通話中、メール送受信中	通話／送受信終了後、ToDoアラームが鳴動します。
電源を切っているとき	ToDoアラームは鳴動しません。電源を入れたときに待受画面にお知らせアイコンが表示されます。
カメラ撮影中、iモード接続中、iアプリ起動中、待受中音声メモ／通話中音声メモ／伝言メモ再生中、待受中音声メモ／応答メッセージ録音中、テキストメモなど文字編集中	ToDoアラームが鳴動します。
GPS測位中	測位が終了してからToDoアラームが鳴動します。
PIMロック中、オールロック中、ソフトウェア更新中	ToDoアラームは鳴動しません。ロック解除後、ソフトウェア更新終了後にお知らせアイコンが表示されます。

お知らせ

- ToDo アラーム鳴動中に音声着信、メール受信があった場合は、アラームが停止します。ただし、メール設定の受信優先設定で「ユーザー操作優先」に設定している場合は、アラームは鳴動し続け、メール受信はアイコンで表示されます。
- シークレットモードが「OFF」に設定されていてもシークレット登録されているToDoアラームは鳴動します。ただし、ToDo一覧には表示されません。

ToDoを削除する

1 **ToDo一覧画面でToDoを選択し、[機能]▶「削除」を押す**

2 **「1件削除」を押す**

■ 選択削除するとき

①「選択削除」を押す
② ToDoを選択し、を押す
- 解除するときはを押します。
- 内容を確認するときは[詳細]を押します。を押すと前後のToDoを確認できます。一覧に戻るときは[一覧]を押します。

③[実行]を押す

■ 全件削除するとき

①「全件削除」を押す
② 端末暗証番号を入力し、を押す

3 **「はい」を押す**

- 中止するときは「いいえ」を押します。

その他の便利な機能

お知らせ

- ToDo詳細画面からToDoを削除するには i［機能］▶ 4「削除」を押します。
- シークレット属性を「ON」に設定しているデータが含まれている場合は、削除するデータを選択する画面が表示されます。◉を押すと選択／解除を切り替えられます。データを選択し、i［実行］を押します。

ジャンプメニュー

よく使う機能を登録する

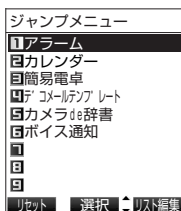
あらかじめ登録されているメニューの他に、よく使う機能を登録して、自分だけのオリジナルのメニューを作ることができます。

ジャンプメニューに登録する

お買い上げ時	1：アラーム 3：簡易電卓 5：カメラde辞書	2：カレンダー 4：デコメールテンプレート 6：ボイス通知

ジャンプメニューの登録・変更や、並び替えができます。

ジャンプメニューを登録・変更する

1 ◉▶✉［ジャンプ］を押す

ジャンプメニュー

ジャンプメニューが表示されます。

2 i［リスト編集］を押す

3 登録または変更する番号を選択し、◉を押す

4 登録する機能を選択し、◉を押す

◉［登録］と表示されている機能が登録できます。◉［選択］と表示されている機能は、さらに下位の階層から機能を登録できます。

メニューを並び替える

1 ジャンプメニューを表示し、i［リスト編集］を押す

2 移動する機能を選択し、i［移動］を押す

3 移動先を選択し、◉を押す

ジャンプメニューを実行する

1 **ジャンプメニューを表示し、機能を選択して ● を押す**

それぞれの機能が実行されます。

ジャンプメニューから解除する

1 **ジャンプメニューを表示し、 i ［リスト編集］を押す**

2 **解除する機能を選択し、 ✉ ［解除］を押す**

3 **1 「1件解除」を押す**

■ 全件解除するとき

① 2 「全件解除」を押す
② 端末暗証番号を入力し、● を押す
③ 1 「はい」を押す
・中止するときは 2 「いいえ」を押します。

ジャンプメニューをリセットする

ジャンプメニューをお買い上げ時の設定に戻します。

1 **ジャンプメニューを表示し、 ✉ ［リセット］を押す**

2 **1 「はい」を押す**

・中止するときは 2 「いいえ」を押します。

自局情報表示

自分の名前やメールアドレスなどを登録する

お客様のご契約端末の電話番号の表示、名前やメールアドレスなどの登録・編集ができます。

・自局電話番号は変更できません。

1 **● ▶ 0 を押す**

自局電話番号には、ご契約の電話番号が表示されています。

2 **✉ ［編集］ ▶ 端末暗証番号を入力し、● を押す**

3 **「自局」を設定する**

設定できる項目は次のとおりです。

：マイアドレス　名：名前　ｶﾅ：フリガナ　：画像

・設定手順について→P89

■ マイアドレスを設定するとき

① を選択し、● を押す
② メールアドレスを入力し、● を押す
・半角英数字や記号を50文字まで入力できます。

4 ▶「連絡先」を設定する

設定できる項目は次のとおりです。それぞれ2件まで設定できます。

：郵便番号　：住所　：電話番号　：メールアドレス

• 設定手順について→P89

5 ▶「情報」を設定する

設定できる項目は次のとおりです。

：位置情報　：ホームページ　：フリーメモ　：血液型
：誕生日　：星座　：趣味

• 設定手順について→P89

6 ［登録］を押す

登録した内容を利用する

登録した電話番号やメールアドレス、URLを利用することができます。

1 ▶ 0 を押す

2 ［機能］▶ 利用する機能を選択する

■ 音声電話、テレビ電話をかけるとき

① 1「音声発信」または 2「64Kテレビ電話発信」を押す
② 電話番号を選択し、● を押す

■ メールを作成するとき

① 3「メール作成」を押す
② メールアドレスを選択し、● を押す

• 以降の操作：→P230「iモードメールを作成して送信する」手順4～6

■ 位置情報を利用するとき

4「位置情報」を押す

• 以降の操作：→P330「埋め込んだ位置情報を利用する」手順3

■ URLを利用するとき

5「URL」を押す

• 以降の操作：→P409「URLを利用するとき」手順②

■ 通話中にプッシュ信号を送信するとき

• 通話中に自局情報を表示する→P396

① ［機能］▶ 7「プッシュ信号送信」を押す
② 電話番号を選択し、● を押す

お知らせ

• ● ▶ 自局情報表示 を押しても自局情報を表示できます。
• 自局情報のメールアドレスを変更しても、iモードのメールアドレスは変更されません。また、iモードのメールアドレスを変更しても、自局情報のメールアドレスは自動的には変更されません。
メールアドレスを変更するとき→P223
• 登録した電話番号·メールアドレスなどから、Phone to（AV Phone to）、Mail to、Web toを利用できます。

待受中／通話中音声メモ

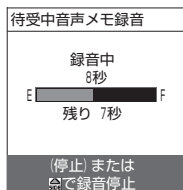
自分の声や相手の声を録音する

音声メモには、待受中に音声を録音する「待受中音声メモ録音」と、音声電話またはテレビ電話の通話中に相手の声を録音する「通話中音声メモ録音」の２種類があります。

- 待受中音声メモ録音で録音できる時間は約15秒です。9件まで録音できます。
- 通話中音声メモ録音で録音できる時間は約20秒です。4件まで録音できます。

待受中に自分の声を録音する

1 ● ▶ メモメニュー ▶ 3 を押す

2 ● または を押す

「ピッ」と音が鳴り、録音が開始されます。送話口に向かってお話しください。約15秒後に「ピピッ」と鳴り、録音が終了します。

- 録音を途中でやめるときは ● または を押します。

3 i［保存］を押す

録音した日時をタイトルとして音声が保存されます。

■ 録音した音声を再生するとき

● を押す

■ 保存せずに録音をやり直すとき

［やり直し］を押す

お知らせ

- すでに9件録音されている場合は録音できません。
- 録音中に着信があったり、アラームの通知時間になった場合は、それまでの内容を保持して録音を中止します。
- FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他取扱いによって、録音内容が消失してしまう場合があります。大切な用件の音声メモの内容は、別にメモをお取りくださるようお願いします。万一、登録してある内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

通話中に相手の声を録音する

通話中音声メモ録音では通話中の相手の声が録音されます。

- テレビ電話通話中も音声のみ録音され、画像は録画されません。

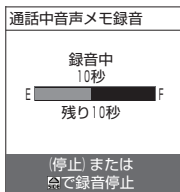
1 通話中に i［機能］ ▶ 1「通話中音声メモ録音」を押す

■ テレビ電話通話中に相手の声を録音するとき

i［機能］ ▶ 5「通話中音声メモ録音」を押す

録音が開始されます。

- 録音を途中でやめるときは ● を押します。

2 ● または [▲] を押す

録音が開始されます。約20秒後に録音は終了します。録音終了後は通話画面に戻ります。
- 録音を途中でやめるときは ● または [▲] を押します。

お知らせ

- すでに4件録音されている場合は録音できません。

音声メモを再生する

待受中音声メモを再生する

1 ● ▶ [メモメニュー] ▶ [4 GHI た] を押す

待受中音声メモ一覧が表示されます。

2 音声メモを選択し、● を押す

音声メモがスピーカーから再生されます。
- 再生中に [◎] で音量を調節できます。
- ● を押すと、再生を停止します。

■ 待受中音声メモのタイトルを編集するとき

① 音声メモを選択し、[i]［編集］を押す

② タイトルを編集し、● を押す

- 全角10文字（半角21文字）まで入力できます。

通話中音声メモを再生する

1 ● ▶ [メモメニュー] ▶ [5 JKL な] を押す

通話中音声メモ一覧が表示されます。

■ 通話中音声メモの相手に音声電話をかけるとき

[i]［機能］▶ [1 .@あ]「音声発信」を押す

- 以降の操作：→P205「電話番号を選択してできる機能」手順3
- 再生画面でも同じ操作で音声発信ができます。

■ 通話中音声メモの相手にテレビ電話をかけるとき

[i]［機能］▶ [2 ABC か]「64Kテレビ電話発信」を押す

- 以降の操作：→P205「電話番号を選択してできる機能」手順3
- 再生画面でも同じ操作でテレビ電話発信ができます。

■ 通話中音声メモの相手に画像を選択してテレビ電話をかけるとき

[i]［機能］▶ [3 DEF さ]「テレビ電話画像選択」を押す

- 以降の操作：→P205「画像を選択してテレビ電話をかけるとき」手順②
- 再生画面でも同じ操作で送信画像を選択してテレビ電話発信ができます。

次ページへつづく

■ 通話中音声メモの電話番号を電話帳に登録するとき

i［機能］▶4「電話帳新規登録」を押す

- 以降の操作：→P89「FOMA端末電話帳に登録する」手順2～6、P94「FOMAカード電話帳に登録する」手順2～4
- 追加登録するときは5「電話帳追加登録」を押して電話帳を選択し、●を押します。以降の操作：→P101「電話帳を修正する」手順3～5
- 再生画面でも同じ操作で電話帳に登録ができます。

■ 通話中音声メモの電話番号をコピーするとき

i［機能］▶6「電話番号コピー」を押す

- 再生画面でも同じ操作で電話番号コピーができます。

■ 通話中音声メモの相手にiモードメールを送信するとき

音声メモの相手の電話番号とメールアドレスが電話帳に登録されている場合、メールを作成して送信できます。

i［機能］▶7「メール作成」を押す

- 電話帳に複数のメールアドレスが登録されているときは、メールアドレスを選択し、●を押します。
- 以降の操作：→P230「iモードメールを作成して送信する」手順4～6
- 再生画面でも同じ操作でメール作成ができます。

2 音声メモを選択し、●を押す

音声メモが受話口から再生されます。

- 再生中に◎で音量を調節できます。
- ●を押すと、再生を停止します。

音声メモを削除する

待受中音声メモを削除する

1 ●▶メモメニュー▶4を押す

2 音声メモを選択し、✉［削除］を押す

3 1「1件削除」を押す

- 2「全件削除」を押したときは、端末暗証番号を入力し、●を押します。

4 1「はい」を押す

- 削除しないときは2「いいえ」を押します。

通話中音声メモを削除する

1 ●▶メモメニュー▶5を押す

2 音声メモを選択し、i［機能］▶◎▶1「削除」を押す

- 以降の操作：→P420「待受中音声メモを削除する」手順3～4

時間／料金

通話時間・料金を確認する

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 通話時間は音声電話通話時間とデジタル通信通話時間（テレビ電話通話時間＋64Kデータ通信時間）が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金はかけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、前回通話料金は「¥XXX,XXX,XXX」となります。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算）が表示されます。
  ※901iシリーズより前に発売されたFOMA端末では、FOMAカードに蓄積された料金を表示することはできません。（FOMAカードには蓄積されています。）
- 表示される通話時間および通話料金は、リセットすることができます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。

1

を押す

- で「時間」と「料金」を切り替えます。

お知らせ

- 前回および積算の音声通話時間やデジタル通信通話時間が999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントされます。
- 電源を切ると、前回通話料金は「¥XXX,XXX,XXX」となります。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- iモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。iモード利用料などの確認方法については、iモードご契約時にお渡しする『iモード操作ガイド』をご覧ください。

積算通話時間と積算料金をリセットする

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 4 GHI た ▶ ▶ 1 .@あ **を押す**

2 ✉ **［リセット］を押す**

3 1 .@あ **「積算通話時間」または** 2 ABCか **「積算料金」を押す**

4 **端末暗証番号を入力し、● を押す**

- 積算料金をリセットするときはPIN2コードを入力し、● を押します。

5 1 .@あ **「はい」を押す**

- 中止するときは 2 ABCか 「いいえ」を押します。

その他の便利な機能

通話時間表示

通話時間の表示を設定する

お買い上げ時	ON

音声電話、テレビ電話の通話中や通話終了時に通話時間を表示するかしないかを設定できます。

1 ▶ ▶ ▶ 9 を押す

2 1「ON」を押す

- 表示しないときは 2「OFF」を押します。

簡易電卓

電卓として使う

FOMA 端末で 10桁までの足し算、引き算、かけ算、わり算ができます。

1 ▶ ▶ を押す

2 計算式を入力する

操作キー	操作内容
0～9	数字の入力
▲	＋（足し算）
▼	−（引き算）
◀	×（かけ算）
▶	÷（わり算）
✉	C（入力した数字を消去）
i	小数点の入力
●	＝（計算結果）
CLR	計算過程をすべて消去

お知らせ

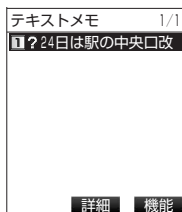
- 計算結果が 10 桁を超えると「E」と表示されます。解除するには、CLR を押します。小数点を含む数値が 10桁を超えると、表示に収まらない小数部分は切捨てて表示されます。
- 0によるわり算を行うと、「E」と表示されます。
- 簡易電卓を使用中に着信やアラーム通知などがあった場合は、簡易電卓は中止され、各機能終了後に計算途中の画面に戻ります。

テキストメモ

メモを入力する

簡単なメモを登録できます。

- テキストメモは50件まで登録できます。

1 6 を押す

テキストメモ一覧画面が表示されます。

テキストメモ一覧画面

2 i［機能］▶ 1「新規登録」を押す

3 テキストメモを入力し、● を押す

- 全角128文字（半角256文字）まで入力できます。

4 カテゴリを選択し、● を押す

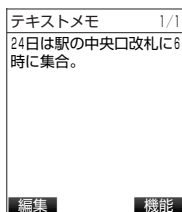
メモを確認／修正する

1 ● ▶ メモメニュー ▶ 6 を押す

■ 情報を見るとき

テキストメモを選択し、i［機能］▶ 5「テキストメモ情報」を押す

- テキストメモ詳細画面でも同じ操作でテキストメモ情報を確認できます。

2 メモを選択し、● を押す

テキストメモ詳細画面が表示されます。

- ◉ を押すと前後のテキストメモを表示できます。

テキストメモ詳細画面

■ テキストメモを修正するとき

✉［編集］を押す

- 以降の操作：→P423「メモを入力する」手順3～4

■ 通話中にプッシュ信号を送信するとき

- 通話中にテキストメモを表示する→P396

電話番号を選択し、i［機能］▶ 4「プッシュ信号送信」を押す

次ページへつづく

お知らせ

- メモに電話番号、メールアドレス、URL を登録しておくと、メモ詳細画面からそれぞれを選択し、◉ を押すと、Phone to（AV Phone to）、Mail to、Web to を利用できます。
- テキストメモに登録した内容は、FOMA 端末の故障・修理・電話機の変更やその他取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合もあります。万一に備え、別にメモを取ったり、miniSD メモリーカード（→P364）を利用して保管することをおすすめします。登録してある内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとUSB 接続ケーブル（別売）を利用してパソコンに保管することもできます。→P520

メモを削除する

1 **テキストメモ一覧画面でテキストメモを選択し、i［機能］▶ 4「削除」を押す**

2 **1「1 件削除」を押す**

■ 選択削除するとき

① 2「選択削除」を押す
② テキストメモを選択し、◉ を押す
- 解除するときは ◉ を押します。
- 内容を確認するときは ✉［詳細］を押します。◉ を押すと前後のテキストメモを確認できます。一覧に戻るときは ✉［一覧］を押します。

③ i［実行］を押す

■ 全件削除するとき

① 3「全件削除」を押す
② 端末暗証番号を入力し、◉ を押す

3 **1「はい」を押す**

- 中止するときは 2「いいえ」を押します。

お知らせ

- テキストメモ詳細画面から削除するには i［機能］▶ 3「削除」を押します。

メモの内容を読み上げる

音声でテキストメモの内容を音声で読み上げます。

1 **テキストメモ一覧画面でテキストメモを選択し、▾（ボイス）を 1 秒以上押す**

- テキストメモ詳細画面でも同じ操作で読み上げることができます。
- 音声読み上げのスピードや音量などを変更できます。→P430

＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→P361

オート着信

イヤホンをつないで自動で電話を受ける

お買い上げ時	OFF

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときに音声電話やテレビ電話の着信があると、設定した時間が経過した後に自動的に応答します。

- ドライブモード中は、本機能は動作しません。不在着信として着信履歴に記録されます。
- 着信拒否の対象となる電話番号から着信があった場合は、本機能は動作しません。
- 伝言メモの応答時間とオート着信の応答時間は同じ時間に設定できません。

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 4 ▶ 8 **を押す**

2 1 **「ON」を押す**

- 設定しないときは 2「OFF」を押します。

3 **自動で電話を受けるまでの時間を入力し、● を押す**

- 0～120秒の範囲で入力します。

お知らせ

- FOMA端末は平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を使って電話をかけることはできません。
- テレビ電話をオート着信で受けた場合は、代替画像切替で設定している画像が送信されます。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合は、設定した呼出時間によって優先順位が異なります。

設定状況確認

各種機能の設定状況を確認する

FOMA端末の各種設定状況を確認します。

- FOMAカードが挿入されていない場合や、認識できなかった場合は、PIN1コード入力設定の状況は「¥¥¥」、通話／通信料金は「¥¥¥¥,¥¥¥,¥¥¥」で表示されます。

1 ▶ ▶ 9 ▶ 2 **を押す**

- でメニューを切り替え、 で画面をスクロールします。

その他の便利な機能

設定リセット

各種機能の設定を初期状態に戻す

各種機能の設定をお買い上げ時の設定に戻します。

- お買い上げ時の設定について→P496

1 ●▶各種設定▶6 MNO は▶3 DEF さ を押す

2 1.@あ「はい」を押す

- 中止するときは 2 ABC か「いいえ」を押します。

3 端末暗証番号を入力し、●を押す

4 1.@あ「はい」を押す

- 中止するときは 2 ABC か「いいえ」を押します。

お知らせ

- iモード設定、メール設定もお買い上げ時の設定に戻ります。
- 「iアプリ」のソフト動作設定、自動起動設定はリセットされません。ただし、次の機能メニューの設定は、お買い上げ時に戻ります。
  - ソフト情報表示設定：表示しない
  - ソフト動作設定の待受画面設定：設定しない

データ一括削除

登録データを一括して削除する

FOMA 端末に登録・保存・保護したデータを一括して削除します。FOMA カードに保存したデータは削除されません。

- 削除されるデータについて→P496
- 次のデータはお買い上げ時に設定されているデータも削除されます。削除したデータは「どこでもSANYO」のサイトからダウンロードできます。→P186
  - キャラ電
  - iアプリ
  - デコメールピクチャ

1 ●▶各種設定▶6 MNO は▶2 ABC か を押す

2 1.@あ「はい」を押す

- 中止するときは 2 ABC か「いいえ」を押します。

3 端末暗証番号を入力し、●を押す

4 1.@あ「はい」を押す

- 中止するときは 2 ABC か「いいえ」を押します。

＊ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。→ P361

お知らせ

- FOMA カードや miniSD メモリーカードに登録・保存されているデータは削除されません。
- パソコンから設定したデータ通信の設定はリセットされません。
- 各種設定や学習情報もリセットされます。
- データ一括削除中は、他の機能を使用できません。また、電話の着信やメールの受信なども行えません。

英単語辞書

英単語辞書を使う

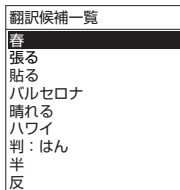
FOMA 端末を英単語辞書として使えます。和英／英和／カタカナ英語辞書のほか、英単語クイズを楽しんだり、英単語をカメラで撮影して読み取り、翻訳することもできます。

和英／英和／カタカナ英語辞書を使う

- 和英辞書　：日本語から英語に翻訳（見出し語約 10,000 語）
- 英和辞書　：英語から日本語に翻訳（見出し語約 20,000 語）
- カタカナ英語辞書　：カタカナ読みから英語に翻訳（見出し語約 20,000 語）

1   **を押す**

2 辞書を選択し、◉ を押す

3 単語を入力し、◉ を押す

翻訳候補一覧画面

辞書画面

- 入力できる文字種と文字数は次のとおりです。

和英辞書	：漢字・ひらがな	8文字
英和辞書	：半角大英・半角小英・半角記号	16文字
カタカナ英語辞書	：全角カタカナ	8文字

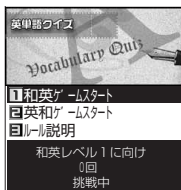
- 翻訳候補が複数ある場合は ✥ で単語を選択し、◉ を押します。

お知らせ

- 和英／英和／カタカナ英語辞書を使用中に着信などがあった場合は、各機能終了後、元の画面に戻ります。
- カタカナ英語辞書では、◉ を押すと翻訳した単語を英和辞書で検索できます。翻訳結果が複数ある場合は、翻訳したい単語を選択し、◉ を押します。

英単語クイズを楽しむ

和英・英和単語クイズが楽しめます。レベルと挑戦回数が表示されます。

1 ● ▶ ツール ▶ 3 DEF さ ▶ 4 GHI た を押す

2 1 .@あ「和英ゲームスタート」または 2 ABCか「英和ゲームスタート」を押す

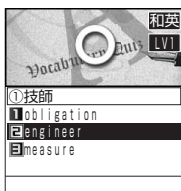
- 3 DEF さ「ルール説明」を押すと、詳しいルールの説明を見ることができます。

■ 英単語クイズをリセットするとき

クリアしたレベルや挑戦した回数をお買い上げ時の状態に戻します。

✉［リセット］▶ 1 .@あ「はい」を押す

- 中止するときは 2 ABCか「いいえ」を押します。

3 答えを選択し、● を押す

- ダイヤルキーを押しても答えられます。
- １回のクイズで10問出題されます。10問連続で正解するとステージクリアとなり、次のレベルを選択できるようになります。
- 正解して次の問題へ進むには ● を押してください。
- 不正解または TIME OVER になった時点でクイズは終了です。● を押すと英単語クイズの最初の画面に戻ります。
- ＊ を押すと、２択問題に変わります。ただし、使用できるのは10問中１回限りです。
- ＃ を押すと、時間制限がなくなります。ただし、使用できるのは10問中１回限りです。

4 10問連続正解後、● を押す

お知らせ

- クイズをスタートする前に、◎ でクリアした範囲でレベルを変更できます。
- クイズ中に着信などがあった場合は、各機能終了後、元の画面に戻ります。クイズ回答中の場合は途中から始められます。問題内容は変更されます。

カメラde辞書を使う

調べたい単語の文字列をカメラで撮影し、翻訳できます。

1 ● ▶ ツール ▶ 3 DEF さ ▶ 5 JKL な を押す

- 以降の操作：→P175「英単語を読み取る」手順２

ボイス通知

現在の時刻や着信などがあったことを音声でお知らせする

お買い上げ時	時刻

待受中に現在時刻やお知らせアイコンの通知内容を音声でお知らせします。

- サイドキー操作無効中（FOMA端末を折りたたんでいるとき）、オールロック中はボイス通知されません。
- FOMA端末を開いているときでも、閉じているときでもボイス通知します。
- お知らせアイコンについて→P34

1 待受中に［▾］（ボイス）を押す

- 複数の通知がある場合は、［▾］（ボイス）を押すごとに順番にお知らせします。

ボイス通知を設定する

1   を押す

2 を押す

時刻：時刻をお知らせします。
各種通知：お知らせアイコンの通知内容をお知らせします。
時刻＋各種通知：時刻とお知らせアイコンの通知内容をお知らせします。
OFF：音声によるお知らせをしません。

お知らせ

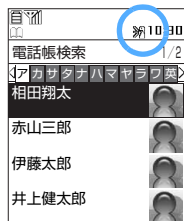
- マナーモード中や、着信音量をOFFに設定している場合は、お知らせアイコンの通知内容をバイブレータでお知らせします。通知内容によってバイブレータの振動が変わります。

音声読み上げ設定

電話帳やメールの内容を音声で読み上げる

お買い上げ時	ON

電話帳の名前、メールの内容、テキストメモの内容を音声で読み上げます。読み上げできるデータでは、［読み上げアイコン］が表示されます。読み上げのスピードや、声の高さを設定できます。

- 電話帳の名前を読み上げるときは、フリガナの登録がないと音声読み上げできません。

1 データを選択し、［▾］（ボイス）を1秒以上押す

次ページへつづく

お知らせ

- 通話中、発着信中は読み上げはできません。
- 電話帳詳細画面、メール表示画面、テキストメモ詳細画面でも同じ操作で読み上げできます。
- 画面表示を英語に切り替えた場合でも、日本語での読み上げになります。
- 読み上げの音声は、自然音声とは異なります。聞きづらい音やアクセントになる場合があります。
- 読み上げは、基本的には下記の規則にもとづいていますが、ご希望のとおり読み上げされなかったり、読み上げを行わない、読みかたを誤る場合があります。
  - 数字が連続している場合は、「セン（千）」、「ヒャク（百）」などをつけて桁読みします。（20桁まで）
  - 英字はアルファベット読みになります。記号、顔文字、絵文字はあらかじめ登録されている読み上げを行います。
  - 文章の内容や記載内容により、思った内容で読み上げされない場合があります。
  - 文字列（名称など）によってはあらかじめ登録されている読み上げを行う場合があります。

音声読み上げを設定する

読み上げのスピード、音量、声の高さを設定できます。また、音声の出力先をスピーカーまたはレシーバー（受話口）から選択できます。

1 ▶   ▶ 9 ▶ 5 **を押す**

2 1 **「ON」を押す**

- 2「OFF」を押すと、（ボイス）を押しても読み上げされなくなります。

3 **項目を設定する**

- ［リハーサル］を押すと、設定されている内容が表示され、説明を読み上げます。

■ スピードを設定するとき

① 1 **「スピード」を押す**

② 1 ～ 3 **を押す**

■ 音量を設定するとき

① 2 **「音量」を押す**

② **で音量を設定し、を押す**

■ 声質を設定するとき

① 3 **「声質」を押す**

② 1 **「高い」または** 2 **「低い」を押す**

■ スピーカーとレシーバーを切り替えるとき

① 4 **「スピーカー／レシーバー切替」を押す**

② 1 **「スピーカー」または** 2 **「レシーバー」を押す**

4 **［保存］を押す**

その他の便利な機能

ネットワークサービス

- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。また、マルチナンバーについては『マルチナンバー操作ガイド』をご覧ください。

FOMA端末から利用できるネットワークサービス

FOMA端末を便利に利用するために、次のネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	内　容	月額使用料	申し込み	参照先
留守番電話サービス	「圏外」が表示されているとき、電源を切っているときなどに、音声電話をかけてきた相手に応答メッセージでお応えし、伝言メッセージをお預かりします。	有料	必要	P433
キャッチホン	通話中に、かかってきた電話を受ける／新たに別の相手にかけることができます。	有料	必要	P435
転送でんわサービス	「圏外」が表示されているとき、電源を切っているときなどにかかってきた電話を、あらかじめ登録しておいた転送先に転送します。	無料	必要	P436
迷惑電話ストップサービス	登録した電話番号からの電話を着信しないようにできます。	無料	必要	P438
発信者番号通知サービス	相手に自分の電話番号を通知します。	無料	不要	P438
番号通知お願いサービス	発信者番号を通知しない電話に、番号通知のお願いをガイダンスした後、自動的に電話を切ります。	無料	不要	P439
ドライブモード	運転中にかかってきた電話に自動応答し、運転中のため電話に出られないことを伝えます。	無料	不要	P69
デュアルネットワークサービス	1つの電話番号でFOMA端末とmova端末を使い分けられます。	有料	必要	P439
英語ガイダンス	音声ガイダンスを英語にします。	無料	不要	P439
マルチナンバー	1つのFOMA端末で複数の電話番号を使い分けられます。	有料	必要	P441
SMS（ショートメッセージ）	FOMA端末の電話番号で文字メッセージをやりとりできます。	無料	不要	P275 P277

- お申し込み、お問い合わせについては取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。また、マルチナンバーについては『マルチナンバー操作ガイド』をご覧ください。
- ドコモから新しいネットワークサービスが追加された場合は、FOMA端末のメニューに登録し、サービスの操作ができます。→P441
- 「サービス停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。

留守番電話サービスを利用する

電波の届かないところにいるときや電源を切っているときなど電話を受けられないときに、音声電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、伝言メッセージをお預かりします。

- 日本全国どこからでも伝言メッセージを確認できます。
- 留守番電話サービスは、お申し込みが必要なサービスです。ご利用には毎月の使用料とは別に、伝言メッセージの再生などにかかる通話料が必要となります。
- サービスエリア外や電波の届かない所では、FOMA端末から留守番電話サービスの操作はできません。電波状態のよい所で操作してください。
  あらかじめ遠隔操作設定（→P441）で遠隔操作設定を開始しておくとプッシュ式の一般電話や公衆電話などから、「ネットワーク暗証番号」を利用して留守番電話サービスを操作できます。

留守番電話サービスについて

- 伝言メッセージは1件につき最長3分、20件まで録音できます。
- お預かりした伝言メッセージは、最長72時間保存されます。
- 留守番電話サービスを「開始」に設定していても、テレビ電話がかかってきたときは留守番電話サービスセンターに接続されず、留守番電話サービスの呼出時間に設定した時間経過後に切断されます。
- 留守番電話サービスと転送でんわサービスは同時にご利用になれません。両方にお申し込みいただいている場合でも、転送でんわサービスを開始すると留守番電話サービスは自動的に停止します。ただしその後に転送でんわサービスを「停止」に設定しても、留守番電話サービスは自動的に開始されません。
- 番号通知お願いサービスを「開始」に設定している場合は、番号が非通知でかかってきた電話には番号お願いガイダンスで応答し、伝言メッセージをお預かりできません。
- 留守番電話サービスを開始しているときも、通常通り音声電話をかけたり、受けたりできます。
- 音声電話に出られないことをお伝えするだけの不在案内機能もあります。
- 応答しなかった音声電話は留守番電話サービスセンターに接続します。着信履歴やお知らせアイコンで、着信があったことをお知らせします。
- 通話中に新しく音声着信があったときは、自動的に留守番電話サービスセンターに接続させることもできます。

留守番電話サービスの基本的な流れ

留守番電話サービスを「開始」に設定する

音声電話が留守番電話サービスに接続される

相手が用件を伝言メッセージに録音する※

留守番電話にメッセージをお預かりしていることをアイコンなどでお知らせする

伝言メッセージを再生する

※急いでいる時など、留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音する場合は、応答メッセージが流れているときに[#]を押すと、すぐに伝言メッセージの録音モードに切り替えられます。

留守番電話サービスを開始／停止する

1 **[●]▶[NWサービス]▶[1]を押す**

2 **[1]「留守番サービス開始」を押す**

■ 留守番電話サービスを停止するとき

[3]「留守番サービス停止」を押す

3 **[1]「はい」を押す**

- 問合せされ、留守番電話サービスを開始します。呼出時間を設定する場合は[1]「はい」を押し、呼出時間を入力して[●]を押します。[2]「いいえ」を押すと設定されている呼出時間で留守番電話サービスを開始します。
- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

留守番電話サービスの呼出時間を設定する

1 **[●]▶[NWサービス]▶[1]を押す**

2 **[2]「留守番呼出時間設定」を押す**

3 **[1]「はい」を押す**

- 中止するときは[2]「いいえ」を押します。

4 **呼出時間を入力し、[●]を押す**

- 000～120秒まで設定できます。

伝言メッセージを聞く

新しい伝言メッセージがあると、待受画面に「📼」のアイコンが表示されます。アイコンの数字は、お預かりしている伝言メッセージの件数です。

1 ●▶ NWサービス ▶ 1 を押す

2 5 「留守番メッセージ再生」を押す

3 1 「はい」を押す

1417へ電話をかけます。音声ガイダンスに従って操作し、メッセージを聞きます。

- 中止するときは 2 「いいえ」を押します。

お知らせ

- 伝言メッセージを消去せずにアイコン表示を消すことができます。

音声ガイダンスで留守番電話サービスを設定する

音声ガイダンスに従って、留守番電話サービスを設定します。伝言メッセージを聞くこともできます。

1 ●▶ NWサービス ▶ 1 を押す

2 6 「留守番サービス設定」を押す

3 1 「はい」を押す

1416へ電話をかけます。音声ガイダンスに従って、操作を行ってください。

- 中止するときは 2 「いいえ」を押します。

伝言メッセージがあるかを確認する

留守番電話サービスセンターに新しい伝言メッセージがあるかを確認します。

1 ●▶ NWサービス ▶ 1 を押す

2 7 「メッセージ問合せ」を押す

留守番電話サービスセンターに問い合わせされ、メッセージが表示されます。

新しい伝言メッセージがある場合は、待受画面に伝言メッセージのアイコンが表示されます。アイコンの数字はお預かりしている伝言メッセージの件数です。

お知らせ

- メッセージ問い合わせ後にお預かりした伝言メッセージは、再度サービス問い合わせを行っても確認できない場合があります。

留守番電話サービスの設定を確認して変更する

1 ●▶ NWサービス ▶ 1 を押す

2 4 「留守番設定確認」を押す

留守番電話サービスセンターに問い合わせされ、現在の設定が表示されます。

- i ［機能］を押して留守番サービスの開始／停止、呼出時間の設定ができます。
- ● を押すと留守番電話メニュー画面にもどります。

伝言メッセージが増えたときに着信音が鳴るようにする<件数増加鳴動設定>

お買い上げ時	ON（メロディ：シロフォン）

留守番電話サービスセンターが新しい伝言メッセージをお預かりしたことをメロディやバイブレータでお知らせします。

- LED、バイブレータ、音量、通知時間はメール着信の設定で動作します。

1 ●▶ NWサービス ▶ 1 を押す

2 8 「件数増加鳴動設定」を押す

3 1 「メロディ」を押す

- 「データBOX」のメロディフォルダから選択できます。
- 通知音を鳴らさないときは 2 「OFF」を押します。「OFF」に設定すると、バイブレータなども動作しません。

4 フォルダを選択し、● を押す

5 メロディを選択し、● を押す

- メロディを確認するときは ✉ ［再生］を押します。

お知らせ

- メッセージ問合せをして伝言メッセージが増えていたときも通知音が鳴ります。
- お預かり期間を過ぎるなどして伝言メッセージが減ったとき、またはなくなったときは通知音は鳴りません。ただし、留守番電話のアイコンが表示されていないときは通知音が鳴ります（伝言メッセージがなくなったときは除く）。

留守番電話アイコンを消去する

待受画面に表示している、留守番電話のアイコンを消去します。

- アイコンを消去しても伝言メッセージは消去されません。

1 ● ▶ NWサービス ▶ 1 を押す

2 9 「表示消去」を押す

3 1 「はい」を押す

- 中止するときは 2 「いいえ」を押します。

着信通知機能を利用する

圏外のときや、FOMA端末の電源が入っていないときに着信があったことを、電源が入ったときや圏内になったときにSMSでお知らせします。相手の電話番号や、着信があった日時を確認できます。

- 1通で最大5件まで受信します。
- 設定および通知（SMS の受信）にかかる料金は無料です。
- SMS一括拒否をしても、履歴は受信されます。

着信通知を開始／停止する

1 ● ▶ NWサービス ▶ 1 を押す

2 ◎ ▶ 1 「着信通知」を押す

3 1 「着信通知開始」を押す

■ 着信通知を停止するとき

2 「着信通知停止」を押す

4 1 「はい」を押す

- 中止するときは 2 「いいえ」を押します。
- 着信通知を開始するときは非通知の着信も通知するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

着信通知を確認する

着信通知が起動中かどうかを確認します。

1 ● ▶ NWサービス ▶ 1 を押す

2 ◎ ▶ 1 「着信通知」を押す

3 3 「着信通知設定確認」を押す

- 問い合わせされ、着信通知が起動中かどうかを表示します。

キャッチホン

キャッチホンを利用する

通話中にかかってきた電話にでることができます。また、通話中の電話を保留にして、別の相手に新たに電話をかけられます。

- キャッチホンは、お申し込みが必要なサービスです。ご利用には毎月の使用料がかかります。
- 通話中に着信があると、「ププ…ププ…」という音で通知します。
- サービスエリア外や電波の届いていない所では、キャッチホンの操作はできません。

キャッチホンについて

- 番号通知お願いサービスを「開始」に設定している場合は、番号が非通知でかかってきた電話には番号お願いガイダンスで応答し、着信は通知されません。
- キャッチホンを利用するときは、着信動作選択（→P440）を「通常着信」に設定してください。通話中着信設定（→P441）に関わらず、キャッチホンが利用できます。
- 次の場合は、キャッチホンは動作しません。
  - 110、119 、117※、104、118などの3桁の電話番号にかけているとき
    ※117と通話中に音声電話を着信した場合は「ププ…ププ…」という音が聞こえますが、電話に出ることはできません。
  - 相手を呼び出し中のとき
  - 留守番電話サービスをご利用のお客様で、メッセージの再生など、留守番電話サービスセンターに接続されている間
  - 1411（留守番電話サービスの開始）、1420（転送でんわサービスの停止）など、各種ネットワークサービスの設定を行うために、4桁の電話番号にかけているとき
- 通話保留中も電話をかけた方の料金は加算され続けます。
- テレビ電話中に音声着信があった場合、または音声通話中にテレビ電話の着信があった場合は、着信の通知はされますが、同時にはご利用できません。
- マルチ接続中にさらに着信があった場合、「ププ…ププ…」と通知音がなり、保留か通話を終了すれば着信に応答できることを通知するメッセージが表示されます。新しい着信を切断するには、i［機能］▶ 1 「着信拒否」を押してください。
- 通話中着信音（「ププ…ププ…」という音）が鳴っても、キャッチホンをご契約でない場合は、電話にはでられません。
- 音声着信の通話保留中に音声電話がかかってくると、保留が解除され通話中の状態になり、キャッチホンの動作が行われます。

キャッチホンを開始／停止する

キャッチホンを開始／停止します。また、キャッチホンが起動中かどうかを確認します。

1 ● ▶ NWサービス ▶ 2 を押す

2 1 「キャッチホン開始」を押す

■ キャッチホンを停止するとき

2 「キャッチホン停止」を押す

3 1 「はい」を押す

- 中止するときは 2 「いいえ」を押します。

キャッチホンの設定を確認する

1 ● ▶ NWサービス ▶ 2 を押す

2 3「キャッチホン設定確認」を押す

問い合わせされ、キャッチホンが起動中かどうかを表示します。

通話中の音声電話を保留にして、かかってきた電話にでるとき

1 通話中に「ププ…ププ…」と音が聞こえたら または ● を押す

最初の相手との通話が保留になり、後からかかってきた電話と通話できます。

■ 通話する相手を切り替えるときは

を押す

- i［機能］▶ 1「切替」を押しても切り替えられます。

お知らせ

- ディスプレイに「マルチ接続中」と表示されます。
- ●［保留］を押すと両方の電話を保留できます。

電話を切るとき

■ 通話中の電話を切るとき

を押す

通話中の電話が切断され、保留中の電話の着信音が鳴ります（着信音にｉモーションを設定している場合は、お買い上げ時の着信音が鳴ります）。

を押すと通話できます。

■ 保留中の電話を切るとき

i［機能］▶ 2「保留呼切断」を押す

保留されている電話が切断されます。通話中の電話とは引き続き通話できます。

通話中の電話を終わらせて、かかってきた電話にでるとき

1 通話中に「ププ…ププ…」と音が聞こえたら を押す

通話中の電話が切断され、かかってきた電話の着信音が鳴ります。

2 を押す

新しくかかってきた電話と通話できます。

通話中の電話を保留にして、別の相手に電話をかけるとき

1 通話中に電話番号を入力 ▶ を押す

最初の電話は自動的に保留になります。

- 電話帳やリダイヤル・着信履歴から電話番号を選択して電話をかけることができます。

■ 通話する相手を切り替えるときは

を押す

- i［機能］▶ 1「切替」を押しても切り替えられます。

お知らせ

- ディスプレイに「マルチ接続中」と表示されます。
- ●［保留］を押すと両方の電話を保留できます。

転送でんわ

転送でんわサービスを利用する

電話を受けられないときにFOMA端末にかかってきた電話を、ご家庭やオフィスなどあらかじめ登録した転送先に自動的に転送します。

- 登録できる転送先は１件です。
- 転送でんわサービスは、お申し込みが必要なサービスです。毎月の使用料はかかりません。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。
- サービスエリア外や電波の届かない所では、FOMA端末から転送でんわサービスの操作はできません。電波状態のよい所で操作してください。
  あらかじめ遠隔操作設定（→P441）で遠隔操作設定を開始しておくとプッシュ式の一般電話や公衆電話などから、「ネットワーク暗証番号」を利用して転送でんわサービスを操作できます。

転送でんわサービスについて

- 転送でんわサービスを「開始」に設定していても、通常通り、電話を受けたりかけたりできます。
- テレビ電話がかかってきたときは、転送先が 3G-324Mに準拠したテレビ電話対応端末であった場合のみ転送されます。
- 留守番電話サービスと転送でんわサービスは同時にご利用になれません。両方にお申し込みいただいている場合でも、留守番電話サービスを開始すると転送でんわサービスは自動的に停止します。ただしその後に留守番電話サービスを「停止」に設定しても、転送でんわサービスは自動的に開始されません。
- 番号通知お願いサービスを「開始」に設定している場合は、番号が非通知でかかってきた電話には番号お願いガイダンスで応答し、電話は転送されません。

お知らせ

- 電波の届かない場合や電源が入っていない場合は、着信音が鳴らずに自動的に転送されます。この場合も転送元から転送先までの通話料金は、転送でんわサービスご契約者のご負担となります。
- 転送先から申し出があり、当社が必要と認めるときは、お客様に代わってその転送を中止させていただくことがあります。

転送でんわサービスの基本的な流れ

転送先の電話番号を登録する

転送でんわサービスを開始する

FOMA端末に電話がかかってくる

電話にでないと自動的に登録した転送先に
転送される

転送でんわサービスを開始する

1 ● ▶ NWサービス ▶ 3 を押す

2 1「転送サービス開始」▶ 1「はい」を押す

- 中止するときは 2「いいえ」を押します。

3 3「開始」を押す

問い合わせされ、設定されている呼出時間で転送でんわサービスを開始します。（ご契約時は呼出時間７秒です。）

■呼出時間を設定するとき

①2「呼出時間設定」を押す

②呼出時間を入力し、● を押す

- 000～120秒まで設定できます。

■転送先を変更するとき

1「転送先変更」を押す

- 以降の操作：→P437「転送先を変更する」手順3～5

転送でんわサービスを停止する

1 ● ▶ NWサービス ▶ 3 を押す

2 2「転送サービス停止」▶ 1「はい」を押す

- 中止するときは 2「いいえ」を押します。

転送先を変更する

1 ● ▶ NWサービス ▶ 3 を押す

2 3「転送先変更」を押す

3 1「直接入力」を押す

■転送先電話番号を電話帳から設定するとき

①2「電話帳引用」を押す

②電話帳を検索し、● を押す

③電話番号を選択し、● を押す

- 登録できる電話番号は26桁までです。

④● を押す

⑤1「転送先変更のみ」または 2「転送先変更＋開始」を押す

4 電話番号を入力し、● を押す

- 26桁まで入力できます。

5 1「転送先変更のみ」または 2「転送先変更＋開始」を押す

- 問い合わせされ、転送先が変更されます。2「転送先変更＋開始」を押した場合は、転送先変更と同時に転送でんわサービスが開始されます。

お知らせ

- PBX、ポケットベル※、FAXを転送先とした場合、かけてきた方に誤解を与えることがありますので、ご注意ください。
- お話し中（パケット通信中）に別の電話がかかってきても、その電話を転送先へ転送することもできます。
- かかってきた電話を手動で転送するときはP60をご覧ください。
- 呼出時間の設定は、転送先を変更したり、転送でんわサービスを停止した後も保持されます。
- 転送先として、フリーダイヤル、クイックナンバーおよび110番などの3桁の番号は登録できません。

転送先が通話中のとき留守番電話サービスで対応する

転送先の電話が通話中のときに、かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続します。

- 留守番電話サービスのご契約が必要です。
- かかってきた電話がテレビ電話の場合は接続されません。

1 ● ▶ NWサービス ▶ 3 を押す

2 4「転送先通話中時設定」▶ 1「はい」を押す

- 留守番電話サービスに接続しないようにするときは 2「いいえ」を押します。

転送でんわサービスの設定を確認する

1 ● ▶ NWサービス ▶ 3 を押す

2 5「転送サービス設定確認」を押す

問い合わせされ、転送サービス中かどうか、転送先電話番号、呼出時間、留守番電話サービスセンターに接続するか、が表示されます。

※2001年1月から、ドコモのポケットベルは「クイックキャスト」に名称が変わりました。

転送ガイダンス有・無を設定する

1 1 4 2 9 ▶ 通話 を押す

2 音声ガイダンスに従って設定する

迷惑電話ストップサービス

迷惑電話ストップサービスを利用する

特定の相手からの電話を自動的に着信拒否します。拒否したい電話番号を迷惑電話として登録すると、登録した電話番号から電話がかかってきたときに、着信を拒否するガイダンスを流して通話を終了します。

- 迷惑電話は30件まで登録できます。
- 迷惑電話ストップサービスは、お申し込みが必要なサービスです。毎月の使用料はかかりません。
- サービスエリア外や電波の届かない所では、迷惑電話ストップサービスの操作はできません。電波状態のよい所で操作してください。
- 拒否登録した電話番号からテレビ電話がかかってきたときは、応答ガイダンスは流さずに電話が切れます。
- 留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービス、番号通知お願いサービス、ドライブモードの各サービス開始中でも、拒否登録した電話には着信拒否のガイダンスが流れ、電話を切ります。また、不在着信などの履歴、通知アイコンも表示されません。

最後に着信応答した電話番号を迷惑電話ストップサービスに登録する

最後に着信応答した電話を迷惑電話として登録します。

- 不在着信、留守番電話サービスセンターに接続された着信は登録の対象になりません。

1 迷惑電話がかかってきた後に
● ▶ NWサービス ▶ 4 を押す

2 1 「迷惑電話着信拒否登録」を押す

- すでに30件登録されているときは、ユーザー確認画面が表示され、最も古い電話番号を削除して新しく登録するかを選択します。新しく登録するときは、1 「はい」を押します。

3 1 「はい」を押す

- 中止するときは 2 「いいえ」を押します。

番号を指定して拒否登録する

1 1 4 4 ▶ 通話 を押す

2 音声ガイダンスに従って登録する

お知らせ

- 迷惑電話ストップサービス契約以前の電話は拒否登録できません。
- 国際電話は拒否登録できない場合があります。
- 発信者番号を非通知でかけてきた電話でも拒否登録することができます。
- 拒否登録した電話番号は、確認や問い合わせができません。拒否登録した電話番号はメモなどに控えておくことをおすすめします。

登録した電話番号を削除する

拒否登録した電話番号をすべて削除または新しい電話番号から1件ずつ削除できます。

1 ● ▶ NWサービス ▶ 4 を押す

2 2 「迷惑電話全登録削除」を押す

■ 最後に登録した番号を削除するとき
3 「迷惑電話1登録削除」を押す

3 1 「はい」を押す

- 中止するときは 2 「いいえ」を押します。

発信者番号通知

相手の電話機に自分の電話番号を通知する

電話をかけたときに、相手の電話のディスプレイに自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 1回の通話ごとに番号通知をするかしないかを設定して電話をかけることもできます。→P54

発信者番号を通知する

1 ● ▶ NWサービス ▶ 5 を押す

2 2 「発信者番号通知設定」▶ 1 「通知する」を押す

通知しないように設定する場合は 2 「通知しない」を押します。

3 ネットワーク暗証番号を入力し、● を押す

設定内容を確認する

1 ● ▶ NWサービス ▶ 5 を押す

2 1 「番号通知設定確認」を押す

問い合わせされ、設定内容が表示されます。

番号通知お願いサービス

番号通知お願いサービスを利用する

発信者番号を非通知でかけてきた電話に、番号を通知して電話をかけなおしてもらうようガイダンスで通知し、電話を切ります。迷惑電話などによるトラブルを防ぎ、安心して携帯電話を活用できます。

- 番号通知お願いサービスはお申し込みは不要です。毎月の使用料もかかりません。
- 発信者番号の非通知理由が、「非通知設定」の場合にのみ番号通知お願いサービスが動作します。「通知不可能」および「公衆電話」の場合は動作しません。
- ガイダンスが応答している間は、発信者に通話料金がかかります。
- サービスエリア外や電波の届かない所では、番号通知お願いサービスの操作はできません。電波状態のよい所で操作してください。
- 番号通知お願いサービスで対応した非通知着信の履歴、通知アイコンは表示されません。着信音も鳴りません。
- 留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービス、ドライブモードの各サービス開始中でも、発信者番号非通知の電話には番号お願いサービスのガイダンスが流れます。

番号通知お願いサービスを開始／停止する

1 ● ▶ NWサービス ▶ 6 を押す

2 1 「番号通知お願い開始」を押す

■ 番号通知お願いサービスを停止するとき

2 「番号通知お願い停止」を押す

3 1 「はい」を押す

問い合わせされ、番号通知お願いサービスが開始されます。

- 中止するときは 2 「いいえ」を押します。

設定内容を確認する

1 ● ▶ NWサービス ▶ 6 を押す

2 3 「番号通知お願い確認」を押す

問い合わせされ、番号通知お願いサービスが起動中かどうかが表示されます。

デュアルネットワーク

デュアルネットワークサービスを利用する

デュアルネットワークサービスを利用すると、高品質な通信サービスのFOMA端末と広範囲なサービスエリアのmova端末を、同じ電話番号で使い分けることができます。

- FOMA端末とmova端末を同時に利用することはできません。
- デュアルネットワークサービスの切り替えは、サービスを利用できない状態のFOMA端末またはmova端末から行います。
- デュアルネットワークサービスは、お申し込みが必要なサービスです。ご利用には毎月の使用料がかかります。
- サービスエリア外や電波の届かない所では、デュアルネットワークサービスの切り替えはできません。電波状態のよい所で操作してください。

ネットワークを切り替える

端末の切り替えは、サービスを利用できない状態のFOMA端末またはmova端末から行います。ここではFOMA端末を利用できるように設定します。

1 ● ▶ NWサービス ▶ ◎ ▶ 1 を押す

2 1 「デュアルネットワーク切替」▶ 1 「はい」を押す

- 中止するときは 2 「いいえ」を押します。

3 ネットワーク暗証番号を入力し、● を押す

問い合わせされ、FOMA端末が利用できるように切り替わります。

設定内容を確認する

1 ● ▶ NWサービス ▶ ◎ ▶ 1 を押す

2 2 「デュアルネットワーク状態確認」を押す

問い合わせされ、FOMA端末が利用可能な状態かどうかを確認できます。

英語ガイダンス

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

発着信時の音声ガイダンス、留守番電話サービスや転送でんわサービスなど、各種ネットワークサービス設定時の音声ガイダンスを、日本語または英語で選択できます。

- 英語ガイダンスはお申し込みは不要です。毎月の使用料もかかりません。
- サービスエリア外や電波の届かない所では、ガイダンスの切り替えはできません。電波状態のよい所で操作してください。
- テレビ電話では、英語ガイダンスは利用できません。
- 発信者が本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。

ガイダンスを切り替える

1 ● ▶ NWサービス ▶ ◯ ▶ 2ABCか **を押す**

2 1.@あ **「ガイダンス設定」を押す**

3 1.@あ 〜 3DEFさ **を押す**

発信＋着信：発信時に自分が聞くガイダンスの言語と、着信時に相手が聞くガイダンス言語を設定します。
発信のみ：発信時に自分が聞くガイダンスの言語を設定します。
着信のみ：着信時に相手が聞くガイダンス言語を設定します。

4 **言語を選択し、● を押す**

問い合わせされ、ガイダンスの言語が設定されます。

■発信時の言語を選択するとき

日本語：音声ガイダンスを日本語に設定します。
英語：音声ガイダンスを英語に設定します。

■着信時の言語を選択するとき

日本語：音声ガイダンスを日本語に設定します。
日本語＋英語：日本語でガイダンスしたあと、英語でガイダンスします。
英語＋日本語：英語でガイダンスしたあと、日本語でガイダンスします。

設定内容を確認する

1 ● ▶ NWサービス ▶ ◯ ▶ 2ABCか **を押す**

2 2ABCか **「ガイダンス設定確認」を押す**

問い合わせされ、設定内容を表示します。

サービスダイヤル

サービスダイヤルを利用する

ドコモ総合案内・受付や、ドコモ故障窓口へ電話をかけます。

- サービスダイヤルはお申し込みは不要です。また、毎月の使用料もかかりません。
- サービスエリア外や電波の届かない所では、サービスダイヤルの操作はできません。電波状態のよい所で操作してください。
- お使いのFOMAカードによっては、サービスダイヤルを利用できない場合があります。

総合案内・受付へ電話をかける

1 ● ▶ NWサービス ▶ ◯ ▶ 4GHIた **を押す**

2 2ABCか **「ドコモ総合案内・受付」を押す**

151の番号が表示されます。

3 ● **を押す**

電話をかけます。

故障の問い合わせをする

1 ● ▶ NWサービス ▶ ◯ ▶ 4GHIた **を押す**

2 1.@あ **「ドコモ故障問合せ」を押す**

113の番号が表示されます。

3 ● **を押す**

電話をかけます。

着信動作選択

通話中に電話がかかってきたときの対応方法を選ぶ

通話中または64Kデータ通信中に電話がかかってきたときの対応方法を選択します。

- 設定を有効にするには、通話中着信設定を「開始」に設定してください。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスは、あらかじめご契約が必要なサービスです。

1 ● ▶ NWサービス ▶ 8TUVや **を押す**

2 1.@あ 〜 4GHIた **を押す**

通常着信

- 通話中または、64Kデータ通信中にかかってきた電話に応答したり、留守番電話サービスセンターや転送でんわサービスで登録した転送先に転送したりできます。

留守番電話

- 通話中または64Kデータ通信中にかかってきた電話を留守番電話サービスに接続します。

転送でんわ

- 通話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときは、転送でんわサービスで登録されている転送先に転送します。

着信拒否

- 通話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときは、着信を拒否し、電話を切ります。

お知らせ

- 選択した着信動作を有効にするには、通話中着信設定を開始してください。
- キャッチホンを契約し、サービスを開始しているときは、通話中着信設定の開始／停止に関わらず、着信動作選択の設定は有効になります。
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを停止に設定中でも、本機能を「留守番電話」または「転送でんわ」にして通話中着信設定を開始すれば、自動的にそれらの設定は有効になります。

通話中着信設定

通話中着信設定を開始／停止する

通話中または64Kデータ通信中に電話がかかってきたときに、「着信動作選択」で設定した動作で対応します。

- 留守番電話サービス、転送でんわサービスは、あらかじめご契約が必要なサービスです。
- サービスエリア外や電波の届かない所では、通話中着信設定の操作はできません。電波状態のよい所で操作してください。

通話中着信設定を開始／停止する

1 ● ▶ NWサービス ▶ 7 を押す

2 1 「通話中着信設定開始」を押す
問い合わせされ、通話中着信設定が開始します。

■ 通話中着信設定を停止するとき
2 「通話中着信設定停止」を押す

設定内容を確認する

1 ● ▶ NWサービス ▶ 7 を押す

2 3 「通話中着信設定確認」を押す
問い合わせされ、設定内容が表示されます。

遠隔操作設定

遠隔操作を設定する

留守番電話サービスや転送でんわサービスの操作を、プッシュ式の一般電話や公衆電話からできるようにします。

- サービスエリア外や電波の届かない所では、遠隔操作の設定はできません。電波状態のよい所で行ってください。

遠隔操作を開始／停止する

1 ● ▶ NWサービス ▶ 9 を押す

2 1 「遠隔操作開始」を押す

■ 遠隔操作を停止するとき
2 「遠隔操作停止」を押す

3 1 「はい」を押す
問い合わせされ、遠隔操作が開始されます。
- 中止するときは 2 「いいえ」を押します。

設定内容を確認する

1 ● ▶ NWサービス ▶ 9 を押す

2 3 「遠隔操作設定確認」を押す
問い合わせされ、設定内容が表示されます。

マルチナンバー

マルチナンバーを利用する

マルチナンバーについては『マルチナンバー操作ガイド』をご覧ください。

追加サービス

サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、FOMA端末のメニューに新しいサービスを登録して利用します。
新しいネットワークサービスが追加されると、そのネットワークサービスを利用するためのコードが通知されます。このコードとサービス名を登録してください。

- 新しいサービスは10件まで登録できます。

サービスを登録する

1 ● ▶ NWサービス ▶ ◎ ▶ 3 を押す

2 1 「追加サービス」▶ i ［新規］を押す

3 サービス名を入力し、● を押す
全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

4 コードを入力し、● を押す
26桁まで入力できます。

5 i ［登録］を押す
サービスが登録されます。

登録したサービスを開始する

1 ● ▶ NWサービス ▶ ◎ ▶ 3 を押す

2 1 「追加サービス」を押す

次ページへつづく

3 サービスを選択し、● ▶ ✉［送信］を押す
- コードがUSSDコード（ネットワークサービスの設定を行うコード）の場合は、通信画面になり、新しいサービスを開始します。
- コードが特番（1417　などの電話番号）の場合は、その番号に電話をかけます。

登録したサービスの受信表示を編集する

USSDコード（ネットワークサービスの設定を行うコード）のサービスを実行したときに、ネットワークから応答として返ってきたコマンドに対する応答メッセージを登録します。サービスに対応した応答メッセージがFOMA端末に表示されるようになります。
- 応答メッセージは10件まで登録できます。

1 ● ▶ NWサービス ▶ ◎ ▶ 3 を押す

2 2「応答メッセージ設定」▶ i［新規］を押す

3 応答メッセージを入力し、● を押す
全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

4 コマンドを入力し、● を押す
26桁まで入力できます。

5 i［登録］を押す
応答メッセージが登録されます。
- 登録内容を編集するときは、項目を選択し、● を押します。

登録したネットワークサービスを編集する

1 ● ▶ NWサービス ▶ ◎ ▶ 3 を押す

2 1「追加サービス」を押す

3 サービスを選択し、● を押す

4 項目を選択し、● を押す

5 内容を編集し、● を押す

6 i［登録］を押す

登録したネットワークサービスを削除する

1 ● ▶ NWサービス ▶ ◎ ▶ 3 を押す

2 1「追加サービス」を押す

3 サービスを選択し、✉［削除］を押す

4 1「1件削除」を押す

■ 選択削除するとき
①2「選択削除」を押す
②サービスを選択し、● を押す
- 解除するときは ● を押します。
- 内容を確認するときは ✉［詳細］を押します。

③i［実行］を押す

■ 全件削除するとき
①3「全件削除」を押す
②端末暗証番号を入力し、● を押す

5 1「はい」を押す
- 削除しないときは 2「いいえ」を押します。

ネットワークサービス

データ通信

データ通信について

FOMA端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末とパソコンを接続して、パケット通信・64Kデータ通信・データ転送ができます。

- FOMA端末でFAX通信はできません。
- FOMA端末をドコモのPDA「musea」や「sigmarion Ⅱ」と接続してデータ通信を行う場合、「musea」や「sigmarion Ⅱ」をアップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

パケット通信とは

パケット通信は、通信方式の一つで、データを転送するときにちいさなまとまり（パケット）に分割して送受信するため、回線を占有しません。1つの回線を複数の端末で使用できるため効率がよく、データを送受信していないときは通信料がかかりません。ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使い方ができます。また、通信時間や通信距離に関係なく、送受信されたデータの量に応じて課金されるため、メールなど文字データの送受信など、比較的少ない量のデータを高速でやり取りする場合に適しています。
データ量の大きいファイル（高品質の画像やメロディなど）を送受信すると、通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。

■パケット通信をするには

- FOMAサービスエリア内で行ってください。
- 通信設定ファイル、FOMA　PC設定ソフトをインストールし、各種設定を行って通信してください。（→P447）FOMA USB接続ケーブル（別売）と、USBポートを装備したパソコンが必要です。
- アクセスポイントがドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」など、FOMAのパケット通信に対応している必要があります。

64Kデータ通信とは

64kbps（データ通信の速度）でデータを送受信するデータ通信です。データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、高品質な画像やメロディなどのダウンロードなど、比較的多い量のデータを送受信する場合に適しています。

■64Kデータ通信をするには

- FOMAサービスエリア内で行ってください。
- 通信設定ファイル、FOMA　PC設定ソフトをインストールし、各種設定を行って通信してください。（→P447）FOMA USB接続ケーブル（別売）と、USBポートを装備したパソコンが必要です。
- 接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64kbpsに対応している必要があります。

データ転送とは

データ転送はFOMA USB接続ケーブル（別売）または赤外線通信を使ってデータやり取りします。通信料はかかりません。電話帳やメール、スケジュールなどのデータをパソコンや赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末、携帯電話に転送します。データの保存・バックアップにご利用ください。

■FOMA USB接続ケーブル（別売）でデータ転送をするには

通信設定ファイルをインストールし、通信してください。（→P447）FOMA USB接続ケーブル（別売）と、USBポートを装備したパソコンが必要です。

■赤外線通信をするには

赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末・携帯電話・パソコンなどとデータを送受信します。赤外線通信の操作手順はP380をご覧ください。パケット通信・64Kデータ通信はできません。

お知らせ

- 基地局が混雑していたり電波状況がよくない場合は、パケット通信・64Kデータ通信ができないことがあります。
- PPPパケット着信機能には対応しておりません。
- パケット通信で大きなサイズの画像の表示・ファイルのダウンロードなどを行うと、通信料が高額になりますので、ご注意ください。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンからインターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）に対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- FOMAでのインターネット接続には、ブロードバンド接続オプション、国際ローミング等に対応した「mopera U」のご利用をおすすめします。また、今

すぐ簡単にインターネットに接続したい方には「mopera」での通信設定が便利です。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申込不要、月額使用料無料です。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64kbps対応の接続先をご利用ください。

- PIAFSなどのPHS64K／32Kデータ通信やDoPaのアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力してください。IDとパスワードは接続先のプロバイダまたはネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証について

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、添付のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。詳しくは添付のCD-ROM内の「FirstPassManual」をご覧ください。
「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。パソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページからダウンロードできます（別途通信料がかかります）。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページをご覧ください。

■ FirstPass PCソフトの動作環境

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機
OS（各日本語版）	Windows 98SE、Me、2000、XP
必要メモリ※	Windows 98SE、Me、2000：32Mバイト以上 Windows XP：128Mバイト以上
ハードディスク容量※	10Mバイト以上の空き容量
ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 5.5 以上

※パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

データ通信の準備の流れ

FOMA端末とパソコンを接続して、パケット通信・64Kデータ通信を利用する準備について説明します。

添付のCD-ROMについて（FOMA SA700iS用CD-ROM）

SA700iS通信設定ファイル（ドライバ）、FOMA PC設定ソフト、FirstPass PCソフトが入っています。通信設定ファイルはFOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続して通信するのに必要なソフトウェアです。また、FOMA PC設定ソフトはデータ通信に必要なさまざまな設定をパソコンから簡単に行えるソフトウェアです。

データ通信の流れ

SA700iS通信設定ファイル（ドライバ）のインストール→P447
▼
FOMA端末とパソコンの接続→P446
▼
FOMA PC設定ソフトのインストール→P449

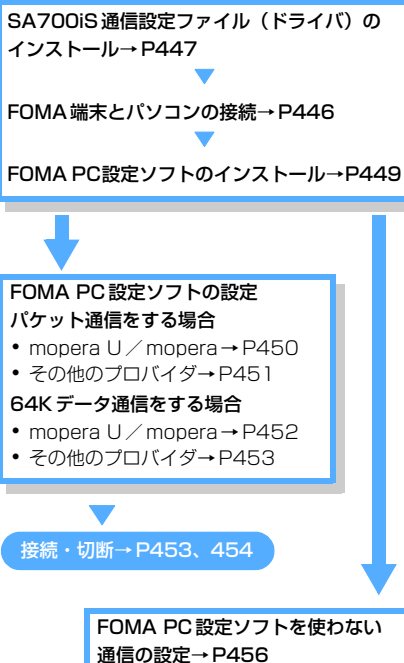
▼

FOMA PC設定ソフトの設定
パケット通信をする場合
- mopera U／mopera→P450
- その他のプロバイダ→P451

64Kデータ通信をする場合
- mopera U／mopera→P452
- その他のプロバイダ→P453

▼
接続・切断→P453、454

▼

FOMA PC設定ソフトを使わない通信の設定→P456
▼
接続・切断→P461

動作環境について

通信設定ファイル／FOMA PC設定ソフトを使用するための、パソコンの動作環境は次のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機
	USBポート（USB仕様1.1以上に準拠）
OS（各日本語版）	Windows 98、Me、2000、XP
必要メモリ	Windows 98、Me：32Mバイト以上 Windows 2000：64Mバイト以上 Windows XP：128Mバイト以上
ハードディスク容量	5Mバイト以上の空き容量

- お客様のパソコンの設定によってはインストールできない場合があります。

お知らせ

- 必要メモリ、ハードディスク容量はお使いのパソコンのシステム構成によって異なります。
- アップグレードからの動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

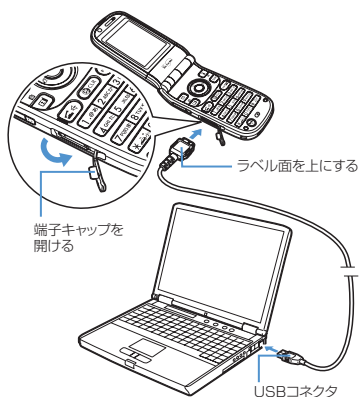
パソコンとFOMA端末を接続する

パソコンとFOMA端末を接続します。

- 接続には、FOMA USB接続ケーブル（別売）が必要となります。

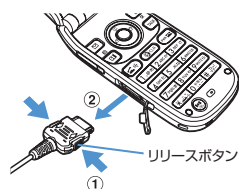
1 FOMA端末の外部接続端子のキャップを開け、FOMA USB接続ケーブルの一方（FOMA端末側）を差し込む

2 FOMA USB接続ケーブルのパソコン側をパソコンのUSBコネクタに差し込む

- 通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続すると、ウィザード画面が表示されます。その場合、FOMA端末を取り外し、「キャンセル」をクリックしてください。
- インストール方法について
  Windows XPの場合→P447
  Windows 2000の場合→P447
  Windows 98/Meの場合→P447

- 通信モードで接続されると、FOMA 端末の画面に が表示されます。

■取り外すとき

①FOMA USB接続ケーブルのリリースボタンを押しながらFOMA端末を引き抜く

②パソコンからFOMA USB接続ケーブルを引き抜く

お知らせ

- データ通信中にFOMA USB接続ケーブルを外さないでください。
- パソコンが FOMA 端末を認識しなくなった場合は、通信設定ファイルをアンインストールし、再度インストールし直してください。
- 64Kデータ通信、パケット通信を行う場合や、ハンズフリー対応機器からFOMA端末を操作する場合は、USBモード設定を「通信モード」にします。
  ●▶各種設定▶4▶◎▶2を押し、1「通信モード」を押します。

通信設定ファイルをインストールする

FOMA端末とパソコンを接続してデータ通信を行うために、通信設定ファイルをインストールします。

SA700iS通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

Windows XPにインストールするときを例に説明します。

1 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

2 FOMA端末とパソコンをFOMA　USB接続ケーブルで接続する

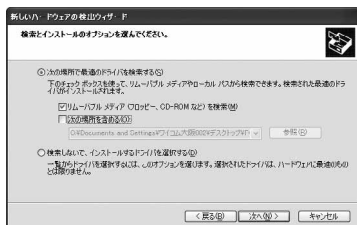
「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。

- 接続方法について→P446
- 接続するときに、FOMA端末の電源を入れておいてください。
- Windows XP Service Pack2にインストールするときは、「いいえ、今回は接続しません。」を選択し、「次へ」をクリックします。
- Windows 2000にインストールする場合以降の操作：→P447
- Windows 98／Meにインストールする場合以降の操作：→P447

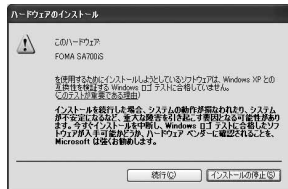
3 「一覧または特定の場所からインストールする」を選択し、「次へ」をクリックする

4 「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択し、「リムーバブル メディア（フロッピー、CD-ROMなど）を検索」のチェックをはずして「次の場所を含める」をチェックする

5 「参照」をクリックし、ドライバのあるフォルダを指定して「次へ」をクリックする

- フォルダは「<CD-ROMドライブ名>:¥USB Driver¥Win2k」です。

6 「次へ」をクリックする

■ メッセージが表示されたとき

内容を確認し、「続行」をクリックします。

7 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」画面が表示されたら、「完了」をクリックする

8 引き続き、手順3～7を参考にして、残り3つの通信設定ファイルをすべてインストールする

- Windows 98／Meは4つ、Windows 2000は3つの通信設定ファイルをインストールします。

新たに「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されたら、同様にインストールします。

■ Windows 2000の場合

①接続後（手順3）、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されたら、「次へ」をクリックする

②「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックする

③「場所を指定」をチェックして「次へ」をクリックする

④検索するフォルダを指定し、「OK」をクリックする

- フォルダは「<CD-ROMドライブ名>:¥USB Driver¥Win2k」です。

⑤ドライバ名を確認して、「次へ」をクリックする

⑥「完了」をクリックする

- 他のドライバもインストールします。

■ Windows 98/Meの場合

①接続後（手順3）、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されたら、「次へ」をクリックする

②「ドライバの場所を指定する」を選択し、「次へ」をクリックする

- Windows 98の場合は「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」と表示されるので、「次へ」をクリックします。

次ページへつづく

③「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択して「検索場所の指定」をチェックし、「参照」をクリックして検索するフォルダを指定し、「次へ」をクリックする

- Windows 98の場合は「検索場所の指定」をチェックして「次へ」をクリックし、「更新されたドライバ（推奨）」を選択して「次へ」をクリックします。
- フォルダは「< CD-ROM ドライブ名 > :¥USB Driver¥Win9x です。

④ドライバ名を確認し、「次へ」をクリックする

⑤「完了」をクリックする

- 他のドライバもインストールします。

お知らせ

- Windows XP、Windows 2000にインストールする場合、管理者権限を持つユーザ名でログオンしてからインストールしてください。
- インストール前に、起動しているソフトウェアを終了させてください。

インストールした SA700iS 通信設定ファイル（ドライバ）を確認する

通信設定ファイルが正しくインストールできているか確認します。

- Windows XPを例に説明します。

1 **「スタート」▶「コントロールパネル」をクリックする**

2 **「システム」をダブルクリックする**

3 **「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックする**

「デバイスマネージャ」が表示されます。

4 **各デバイスをクリックして、ドライバがインストールされているか確認する**

ポート（COMとLPT）：

FOMA SA700iS Command Port
FOMA SA700iS OBEX Port

モデム：

FOMA SA700iS

ユニバーサルシリアルバス（USB）コントローラまたはUSB（Universal Serial Bus）コントローラ：

FOMA SA700iS
FOMA SA700iS Command※
FOMA SA700iS Modem※
FOMA SA700iS OBEX※

※Windows 98/Meのみ表示されます。

■ Windows 98/Me/2000の場合

①「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」をクリックする

②「システム」をダブルクリックする

③「デバイスマネージャ」タブをクリックする

- Windows 2000の場合は、「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。

④各デバイスをクリックして、ドライバがインストールされているか確認する

- ドライバの種類については左記手順 4 をご覧ください。

SA700iS通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

ドライバのアンインストールが必要な場合は次の方法でアンインストールを行います。

- アンインストールは Windows XP を例に説明します。
- アンインストールを行う前に、FOMA端末をパソコンから取り外してください。

1 **付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる**

2 **「スタート」▶「マイコンピュータ」▶「< CD-ROM ドライブ名 >」を右クリックし、「開く」を選択する**

3 **「USB Driver」→「Win2k」フォルダの「SA700iSu.exe」をダブルクリックする**

- Windows 98/Meの場合は「USB Driver」→「Win9x」フォルダの「SA700iSu.exe」をダブルクリックします。

4 **「OK」をクリックする**

アンインストールが開始されます。

5 **「OK」をクリックし、Windows を再起動する**

FOMA PC設定ソフトによる通信の設定

FOMA PC設定ソフトを利用すると、簡単な操作でパケット通信や64Kデータ通信が行えます。

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA PC設定ソフトでは次の設定ができます。

かんたん設定

ガイドに従い操作することで、「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」を行い、同時に「W-TCPの設定」などを自動で行います。

W-TCPの設定

「FOMAパケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。通信性能を最大限に活用するには、「W-TCP設定」による通信設定の最適化が必要です。

接続先（APN）の設定

「パケット通信」を行う際に必要な「接続先（APN）の設定」を行います。

FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり、通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を設定し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、cidの3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダや社内LANに接続する場合はAPN設定が必要になります。

- cid（Context Identifier）とは、パケット通信の接続先（APN）に対応した番号で、FOMA端末にAPN登録をするときに設定するものです。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

Windows XPにインストールするときを例に説明します。

1 **付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる**

2 **「スタート」▶「ファイル名を指定して実行」をクリックする**

3 **名前に「<CD-ROMドライブ名>:¥FOMA_PCSET¥setup.exe」を入力し、「OK」をクリックする**

4 **「次へ」をクリックする**

使用許諾契約の確認画面が表示されます。

5 **内容を確認の上、同意する場合は「はい」をクリックする**

- 「いいえ」をクリックすると、インストールできません。

6 **「タスクトレイに常駐する」をチェックし、「次へ」をクリックする**

インストールが完了すると、タスクトレイに「W-TCP設定」が表示されます。

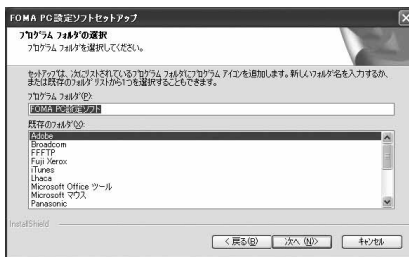
- 「W-TCP 通信」の最適化の設定・解除を操作する機能で、常駐をおすすめします。ここで常駐の設定にしなくても、インストール後に常駐するように設定できます。

7 **インストール先を確認し、「次へ」をクリックする**

- 変更する場合は「参照」をクリックし、任意のインストール先を指定して「次へ」をクリックします。

8 **プログラムフォルダのフォルダ名を確認して「次へ」をクリックする**

インストールを開始します。

- 変更する場合はフォルダ名を入力して「次へ」をクリックします。

9 **「完了」をクリックする**

「FOMA PC設定ソフト」が起動します。

- 続けて各種設定を始めることができます。

次ページへつづく

お知らせ

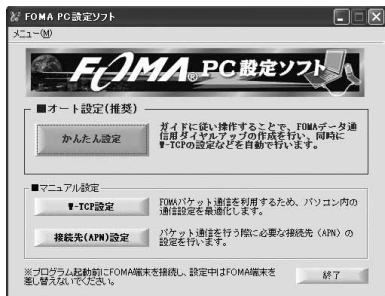
- すでにW-TCP環境設定ソフトやFOMA PC設定ソフトがインストールされている場合は、アンインストールしてから、添付のCD-ROMに入っているFOMA PC設定ソフトをインストールしてください。→P454
- すでにFOMA データ通信設定ソフトがインストールされている場合は、インストールを続けるか確認画面が表示されますので、「はい」をクリックし、インストールしてください。

各種設定前の準備

FOMA PC設定ソフトを起動して、各種設定を行います。

- SA700iS通信設定ファイル（ドライバ）がインストールされ、FOMA端末とパソコンがFOMA USB接続ケーブルで正しく接続されているか確認してください。
- FOMA端末がCOM20より大きい番号として認識されている場合は、APN設定の際、APNの情報の取得・書き込みができません。
- Windows XPを例に説明します。その他のOSをお使いの場合は、画面イラストが異なります。

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」（Windows XP以外のOSの場合は、「プログラム」）▶「FOMA PC 設定ソフト」▶「FOMA PC 設定ソフト」をクリックする

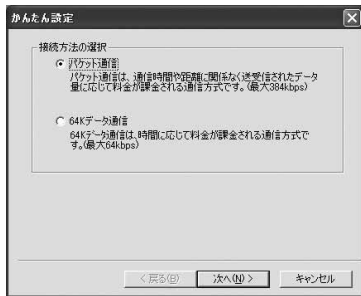
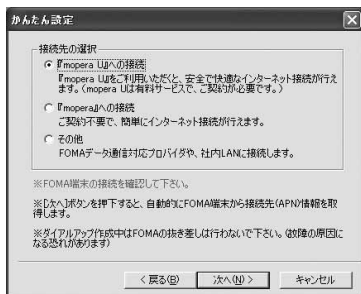
FOMA PC設定ソフトが起動します。

各種設定の方法

mopera Uまたはmoperaを利用したパケット通信設定方法

mopera Uまたはmoperaを利用してパケット通信を行う場合の設定です。

- mopera U／mopera以外のプロバイダをご利用のとき→P451

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「パケット通信」を選択して「次へ」をクリックする

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択し、「次へ」をクリックする

4 「はい」をクリックする

- 「『mopera』への接続」を選択した場合は表示されませんので、手順5に進みます。

5 「OK」をクリックする

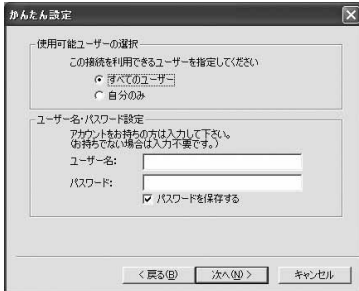
パソコンに接続されたFOMA端末から「接続先（APN）情報」を取得します。しばらくお待ちください。

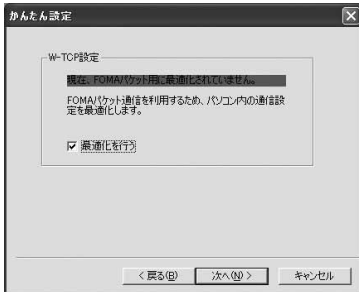
6 接続名を入力して「次へ」をクリックする

お好きな接続名を入力します。

- 半角文字「￥」、「/」、「:」、「＊」、「?」、「!」、「<」、「>」、「｜」、「”」は入力できません。

7 使用可能ユーザを選択し、「次へ」をクリックする

- Windows 98/Meの場合、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。
- mopera U／moperaをお使いの場合、「ユーザー名」･「パスワード」については空欄でもかまいません。

8 「最適化を行う」をチェックし、「次へ」をクリックする

- すでに最適化されている場合、この画面は表示されません。

9 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックし、設定情報を確認して「完了」をクリックする

10 「OK」をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動の確認画面が表示された場合、「はい」をクリックします。

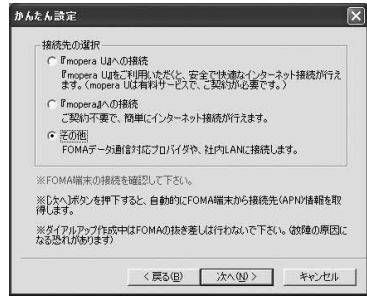
その他のプロバイダを利用したパケット通信設定方法

mopera U／mopera以外のプロバイダを利用してパケット通信を行う場合の設定です。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「パケット通信」を選択して「次へ」をクリックする

3 「その他」を選択し、「次へ」をクリックする

- mopera U／moperaをご利用のとき→P450

4 「OK」をクリックする

パソコンに接続されたFOMA端末から「接続先（APN）情報」を取得します。しばらくお待ちください。

5 接続名を入力して「接続先（APN）設定」をクリックする

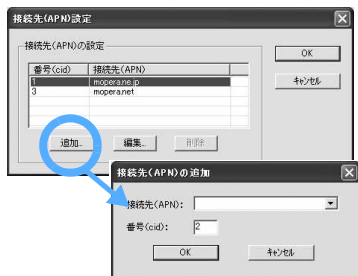
お好きな接続名を入力します。

- 半角文字「￥」、「/」、「:」、「＊」、「?」、「!」、「<」、「>」、「｜」、「"」は入力できません。
- 「接続先（APN）の選択」にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が表示されています。
- 「発信者番号通知を行う」を選択すると、通信実行時に発信者番号を通知します。
- 社内LANの場合やプロバイダによっては「IPアドレス」と「ネームサーバー」の入力が必要な場合があります。「詳細情報の設定」をクリックし、プロバイダまたはネットワーク管理者からの情報をもとに、設定してください。

6 接続先（APN）を設定する

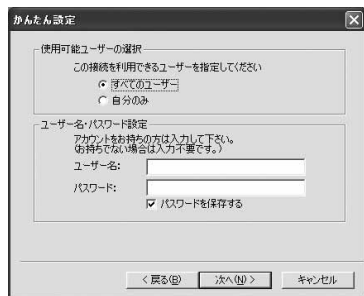
別の接続先（APN）を設定するには、「追加」をクリックし、「接続先（APN）」にご利用のプロバイダのFOMAパケット網に対応した接続先名（APN）を正しく入力し、「OK」をクリックします。

次ページへつづく

- お買い上げ時には、番号（cid1）にはあらかじめ、moperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、番号（cid3）にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が設定されています。
- 番号（cid）は2、4～16に設定します。
- 「接続先（APN）」には半角文字で、英数字、ハイフン（-）、ピリオド（.）のみ入力できます。

7 「OK」をクリックする

8 接続先名（APN）を確認し、「次へ」をクリックする

9 使用可能ユーザを選択し、「ユーザー名」・「パスワード」を入力して「次へ」をクリックする

- Windows 98/Meの場合、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。
- 「ユーザー名」・「パスワード」はプロバイダからの情報をもとに正しく入力してください。

10 「最適化を行う」をチェックし、「次へ」をクリックする

- すでに最適化されている場合、この画面は表示されません。

11 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックし、設定情報を確認して「完了」をクリックする

12 「OK」をクリックする

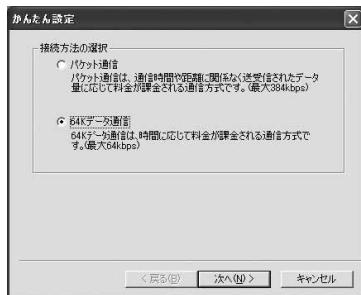
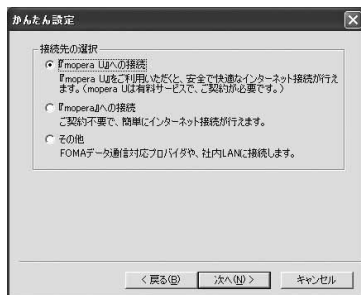
設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動の確認画面が表示された場合、「はい」をクリックします。

mopera Uまたはmoperaを利用した64Kデータ通信設定方法

mopera U／moperaを利用して64Kデータ通信を行う場合の設定です。

- mopera U／mopera以外のプロバイダをご利用のとき→P453

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「64Kデータ通信」を選択して「次へ」をクリックする

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択し、「次へ」をクリックする

4 「はい」をクリックする

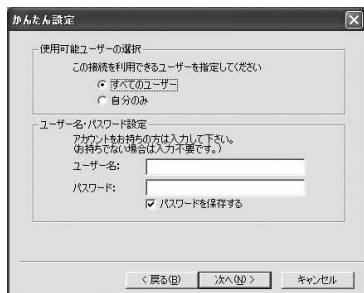
- 「『mopera』への接続」を選択した場合は表示されませんので、手順5に進みます。

5 接続名を入力してモデムの選択（「FOMA SA700iS」に設定）を確認し、「次へ」をクリックする

プロバイダの情報をもとに正しく入力します。

- 半角文字「¥」、「/」、「:」、「＊」、「?」、「!」、「<」、「>」、「｜」、「”」は入力できません。

6 **使用可能ユーザを選択し、「次へ」をクリックする**

- Windows 98/Meの場合、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。
- mopera U／moperaをお使いの場合、「ユーザー名」･「パスワード」については空欄でもかまいません。

7 **設定情報を確認して「完了」をクリックする**

8 **「OK」をクリックする**

その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信設定方法

mopera U／mopera以外のプロバイダを利用して64Kデータ通信を行う場合の設定です。

1 **「かんたん設定」をクリックする**

2 **「64Kデータ通信」を選択して「次へ」をクリックする**

3 **「その他」を選択し、「次へ」をクリックする**

- mopera U／moperaをご利用のとき
→P452

4 **接続名、電話番号を入力してモデムの選択（「FOMA SA700iS」に設定）を確認し、「次へ」をクリックする**

プロバイダの情報をもとに正しく入力します。

- 半角文字「￥」、「/」、「:」、「＊」、「?」、「!」、「<」、「>」、「｜」、「"」は入力できません。
- 社内LANの場合 やプロバイダによっては「IPアドレス」と「ネームサーバー」の入力が必要な場合があります。「詳細情報の設定」をクリックし、プロバイダまたはネットワーク管理者からの情報をもとに、設定してください。

5 **使用可能ユーザを選択し、「ユーザー名」･「パスワード」を入力して「次へ」をクリックする**

- Windows 98/Meの場合、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。
- 「ユーザー名」･「パスワード」はプロバイダからの情報をもとに正しく入力してください。

6 **設定情報を確認して「完了」をクリックする**

7 **「OK」をクリックする**

設定した通信を実行する

FOMA PC設定ソフトで設定した通信の実行や切断を行います。

- Windows XPを例に説明します。その他のOSをお使いの場合は、画面イラストが異なります。

1 **デスクトップのダイヤルアップ接続アイコンをダブルクリックする**

通信が開始されます。

■ Windows XPのスタートメニューから接続するとき

「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」をクリックし、接続アイコンをダブルクリックする

■ Windows 98/Me/2000のスタートメニューから起動するとき

「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続（ダイヤルアップネットワーク）」をクリックし、接続アイコンをダブルクリックする

2 **「ダイヤル」をクリックし、接続を実行する**

- mopera U／moperaを選択した場合、「ユーザー名」･「パスワード」については空欄でもかまいません。
- その他のプロバイダでのダイヤルアップ接続の場合は、「ユーザー名」･「パスワード」を入力して「ダイヤル」をクリックします。
- 「パスワードを保存する」を選択すると、次回からは入力の必要がなくなります。

次ページへつづく

- FOMA端末には「パケット通信中」または「64Kデータ通信中」という表示と、アイコンが表示されます。
パケット通信・64Kデータ通信中のアイコンについて→P26

通信を切断する

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されていない場合があります。次の操作を行って確実に切断してください。

- Windows XPを例に説明します。その他のOSをお使いの場合は、画像が異なります。

1 **ダイヤルアップ接続アイコンをダブルクリックする**

状態の画面が表示されます。

2 **「切断」をクリックする**

- FOMA端末で[PWR]を押しても切断できます。

お知らせ

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- パケット通信中は、音声着信を受けられます。また、SMSを受信できます。
64Kデータ通信中は、キャッチホンをお申し込みいただいている場合、通信を終了して着信に応答できます。また、SMSを受信できます。この場合、着信音などは鳴動せず、アイコンまたは受信画面でお知らせします。
- パケット通信・64Kデータ通信中の着信に、留守番電話サービスなどのネットワークサービスで対応できます。

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする場合は次の方法でアンインストールを行います。

- アンインストールはWindows XPを例に説明します。その他のOSをお使いの場合は、それぞれのOSの説明書をご覧ください。
- アンインストールを行う前に起動中のプログラムを終了させてください。

1 **タスクトレイのW-TCP設定アイコン( )を右クリックし、「常駐させない」を選択する**

- 常駐しない設定の場合、アイコンは表示されません。そのままアンインストールを行います。

2 **「スタート」▶「コントロールパネル」▶「プログラムの追加と削除」をダブルクリックする**

3 **「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択し、「変更と削除」をクリックする**

4 **プログラム名を確認し、「はい」をクリックする**

アンインストールが開始されます。

5 **「OK」をクリックする**

お知らせ

- Windows XP、Windows 2000からアンインストールする場合、管理者権限を持つユーザ名でログオンしてからアンインストールしてください。
- W-TCPが最適化されている場合は、アンインストール中に最適化を解除する画面が表示されます。「はい」をクリックし、画面にしたがってパソコンを再起動してください。

W-TCPの設定

パソコンのパケット通信の設定をFOMAネットワーク用に最適化するために「W-TCP設定」を行います。

- 「W-TCP設定」とはFOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定ツール」です。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

最適化の設定と解除（Windows XP）

Windows XPの場合は、ダイヤルアップごとに最適化できます。

1 **「FOMA PC設定ソフト」を起動し、「W-TCP設定」をクリックする**

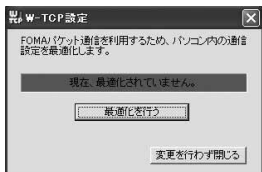
- スタートメニューから起動する方法とタスクトレイの をダブルクリックして起動する方法があります。

2 次の操作を行う

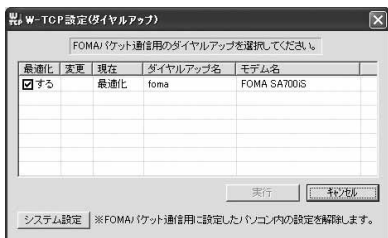
■ システム設定が最適化されていないとき

①「最適化を行う」をクリックする

②最適化するダイヤルアップを選択し、「実行」をクリックする

システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。（システム設定は再起動後に最適化が有効になります）

■ システム設定が最適化されているとき

次の画面が表示されます。

内容を変更する場合はチェックボックスをクリックし、「実行」をクリックします。

■ 最適化を解除するとき

①「W-TCP設定（ダイヤルアップ）」画面で「システム設定」をクリックする

②「最適化を解除する」をクリックする

3 Windowsを再起動する

- 再起動後に設定が有効になります。

最適化の設定と解除（Windows 98/Me/2000）

1 「FOMA PC設定ソフト」を起動し、「W-TCP設定」をクリックする

- スタートメニューから起動する方法とタスクトレイの をダブルクリックして起動する方法があります。

2 次の操作を行う

■ システム設定が最適化されていないとき

「最適化を行う」をクリックする

■ 最適化を解除するとき

「最適化を解除する」をクリックする

3 Windowsを再起動する

- 再起動後に設定が有効になります。

接続先（APN）の設定

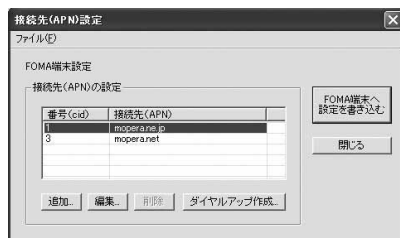
パケット通信時の接続先（APN）を設定します。

- 接続先（APN）は16件まで設定でき、登録番号（cid）の1〜16に登録して管理します。
  お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、cidの3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています
- Windows XPを例に説明します。その他のOSをお使いの場合は、画面イラストが異なります

1 「FOMA PC設定ソフト」を起動し、「接続先（APN）設定」をクリックする

2 「OK」をクリックする

接続されたFOMA端末に自動的にアクセスし、登録されている「接続先（APN）情報」を読み込みます。

3 接続先（APN）の設定を行う

■ 接続先（APN）を追加するとき

「追加」をクリックする

■ 登録済みの接続先（APN）を編集・修正するとき

接続先（APN）を選択して「編集」をクリックする

■ 登録済みの接続先（APN）を削除するとき

接続先（APN）を選択して「削除」をクリックする

- 番号（cid）の1と3に登録されている接続先（APN）は削除できません。番号（cid）の3を選択して「削除」をクリックした場合も、実際には削除されず、「mopera.net」の設定に戻ります。

■ 接続先（APN）設定をファイルへ保存するとき

ツールバーの「ファイル」▶「名前を付けて保存」または「上書き保存」をクリックする

- FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存するときに利用します。

次ページへつづく

■ 接続先（APN）設定をファイルから読み込むとき

ツールバーの「ファイル」▶「開く」をクリックする

- 保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA 端末に書き込むときなどに利用します。

■ FOMA端末から接続先（APN）情報を読み込むとき

ツールバーの「ファイル」▶「FOMA端末から設定を取得」をクリックする

- FOMA 端末に手動でアクセスし、登録された接続先（APN）設定を読み込みます。

■ FOMA端末へ接続先(APN)情報を書き込むとき

①「FOMA 端末へ設定を書き込む」をクリックする

- 表示されている接続先（APN）設定をFOMA端末に書き込みます。

②「はい」をクリックする

■ ダイヤルアップを作成するとき

①追加・編集された接続先（APN）を選択し、「ダイヤルアップ作成」をクリックする

- 「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。

②「はい」をクリックする

- FOMA端末に接続先を書き込みます。

③「OK」をクリックする

④任意の接続名を入力し、「アカウント・パスワードの設定」をクリックする

- mopera U／mopera の場合、設定は任意です。

⑤使用可能ユーザを選択し、「ユーザー名」・「パスワード」を入力し、「OK」をクリックする

- Windows 98／Meの場合、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。
- ご利用のプロバイダより、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で「詳細情報の設定」をクリックし、必要な情報を登録後、「OK」をクリックしてください。

⑥「OK」をクリックする

- 上書きする場合は「はい」をクリックする

お知らせ

- mopera U／mopera以外の接続先（APN）については、プロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

FOMA PC設定ソフトを使わない通信の設定

ダイヤルアップネットワークの設定

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信／64Kデータ通信のダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。

ダイヤルアップネットワーク設定の流れ

接続先（APN）の設定

- 接続先がmopera U／mopera以外のパケット通信を行う場合に必要な設定です。

発信者番号の通知／非通知の設定→P457

ダイヤルアップネットワーク設定

- Windows XP→P458
- Windows 2000→P459
- Windows Me／98→P460

接続先（APN）を設定する

お買い上げ時	cid1　mopera.ne.jp cid3　mopera.net cid2、4～16　設定なし

設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

- 接続先（APN）は、登録番号cid1～cid16に設定できます。
- お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、cidの3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。その他のプロバイダや社内LANなどに接続する場合は、cid2、4～16にAPNを登録します。
- Windows XPを例に説明します。その他のOSをお使いの場合は、画面イラストが異なります。

1 FOMA端末とパソコンを接続する

2 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ハイパーターミナル」をクリックする

- Windows 98ではさらに「Hypertrm.exe」をダブルクリックします。
- Windows XP以外のOSでは「すべてのプログラム」が「プログラム」と表示されます。

3 「名前」に任意の名前を入力して「OK」をクリックする

- ハイパーターミナル起動後に、「「規定のTelnet」プログラムにしますか？」と表示された場合、任意で設定します。設定内容につきましては、パソコンメーカおよびマイクロソフト社にご確認ください。

4 「電話番号」に番号（「0」など）を仮に入力し、「接続方法」から「FOMA SA700iS」を選択して「OK」をクリックする

- 市外局番は設定不要です。（接続先（APN）の設定とは関係ありません）

5 接続画面が表示されたら「キャンセル」をクリックする

6 接続先（APN）を入力して ⏎ を押す

「AT+CGDCONT＝<cid>, "PPP", "APN"」の形式で入力します。

- すでにcidが設定されている場合、上書きされますのでお気をつけください。

<cid>：2、4～16までのうち任意の番号を入力します。

"PPP"：そのまま"PPP"と入力します。

"APN"：接続先（APN）を" "で囲んで入力します。

「OK」と表示されれば、接続先（APN）の設定は完了です。

7 「OK」と表示されていることを確認し、「ファイル」▶「ハイパーターミナルの終了」をクリックする

- 「"XXX"と名前付けされた接続を保存しますか？」と表示されるので、「いいえ」をクリックします。

■ 接続先（APN）設定をリセットするとき

AT+CGDCONT= ⏎：

すべてのcidをリセットします。

- <cid>=1は「mopera.ne.jp」、<cid=3は「mopera.net」（お買い上げ時）に戻り、<cid>=2、4～16の設定は未登録になります。

AT+CGDCONT=<cid> ⏎：

特定のcidをリセットします。

■ 接続先（APN）設定を確認するとき

AT+CGDCONT? ⏎

■ ATコマンドを入力しても画面に表示されないとき

ATE1 ⏎

■ 接続先（APN）とcid（登録番号）について

接続先（APN）の設定は電話帳に相手の電話番号などを登録するのと同じように登録されます。FOMA端末の電話帳と比較すると次のようになります。

接続先の設定項目	FOMA端末の電話帳の登録項目
cid（登録番号）	登録番号（メモリダイヤル番号）
APN	相手の電話番号

お知らせ

- mopera U／mopera以外の接続先（APN）についてはプロバイダまたはネットワーク管理者にお問合せください。
- 登録したcidはダイヤルアップ時の接続番号となります。

発信者番号の通知／非通知を設定する

お買い上げ時	設定なし

パケット通信を行うときに発信者番号の通知／非通知を設定できます。発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。

- mopera Uまたはmoperaをご利用になる場合は、「通知」に設定する必要があります。

次ページへつづく

1 「ハイパーターミナル」を起動する

2 パケット通信時の発信者番号の通知（186）／非通知（184）を設定する

「AT＊DGPIR=<n>」の形式で入力します。

AT＊DGPIR=1 ⏎：
接続先（APN）に「184」を付けて接続します。

AT＊DGPIR=2 ⏎：
接続先（APN）に「186」を付けて接続します。

AT＊DGPIR=0 ⏎：
設定なしに戻ります。

3 「OK」と表示されていることを確認し、「ファイル」▶「ハイパーターミナルの終了」をクリックする

- 「"XXX"と名前付けされた接続を保存しますか？」と表示されるので、「いいえ」をクリックします。

■ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に「186」（通知）／「184」（非通知）を付けることができます。
＊DGPIR コマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で「186」（通知）／「184」（非通知）の設定を行った場合、発信者番号の通知／非通知は次のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定（<cid>=1の場合）	＊DGPIRコマンドによる設定	発信者番号の通知／非通知
＊99＊＊＊1#	設定なし	通知
	非通知	非通知
	通知	通知
184＊99＊＊＊1#	設定なし	非通知※1
	非通知	
	通知	
186＊99＊＊＊1#	設定なし	通知※2
	非通知	
	通知	

※1 ダイヤルアップネットワークの通知184が優先されます。
※2 ダイヤルアップネットワークの通知186が優先されます。

ダイヤルアップの設定を行う

Windows XPで設定する

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「新しい接続ウィザード」をクリックする

「新しい接続ウィザード」が表示されます。

2 「次へ」をクリックする

3 「インターネットに接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

4 「接続を手動でセットアップする」を選択し、「次へ」をクリックする

5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

複数のモデムが存在する場合は「デバイスの選択」画面が表示されます。モデムが1つしかない場合は表示されませんので、手順7に進みます。

6 「モデム－FOMA SA700iS（COMx）」を選択し、「次へ」をクリックする

- 「COMx」の「x」は、お使いのパソコンにより異なるポート番号（数字）が設定されます。

7 「ISP 名」に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックする

8 「電話番号」に接続先の番号を半角で入力して「次へ」をクリックする

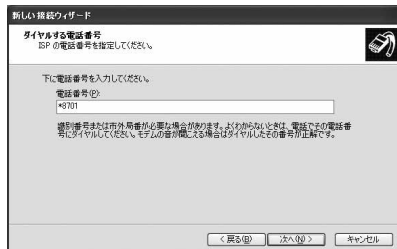
■パケット通信のとき

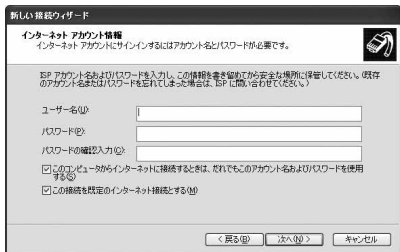
＊99＊＊＊<cid>#を入力します。

- < cid >には、「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号を入力します。mopera Uへ接続する場合は、＊99＊＊＊3#、moperaへ接続する場合は、＊99＊＊＊1#となります。

■64Kデータ通信のとき

接続先の電話番号を入力します。

- mopera Uをご利用の場合は、＊8701、moperaをご利用の場合は、＊9601を入力します。

9 「ユーザー名」・「パスワード」・「パスワードの確認入力」を入力し、各項目を設定して「次へ」をクリックする

- 接続先がmopera U／moperaの場合、「ユーザー名」・「パスワード」・「パスワードの確認入力」については空欄でもかまいません。

10 「完了」をクリックする

接続先のダイヤルアップアイコンが作成されます。

11 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」をクリックする

12 作成したダイヤルアップアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックする

13 「全般」タブをクリックし、設定を確認する

複数のモデムが存在する場合、「接続の方法」で「モデムー FOMA SA700iS」を選択します。
「ダイヤル情報を使う」のチェックを外しておきます。

14 「ネットワーク」タブをクリックし、各項目の設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP：Windows95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。
「この接続は次の項目を使用します」は「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択します。
「QoSパケットスケジューラ」は設定変更できませんので、そのままにしておいてください。

- ご利用のプロバイダによりIPおよびDNS情報の設定が必要な場合があります。プロバイダからの情報をもとに必要な設定を行ってください。

15 「設定」をクリックする

16 すべてのチェックをはずし、「OK」をクリックする

17 「OK」をクリックする

Windows 2000で設定する

1 「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックする

「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面が表示されます。

2 「新しい接続の作成」をダブルクリックする

「新しい接続の作成」をはじめてダブルクリックした場合、「所在地情報」画面が表示されます。2回目以降は表示されませんので、手順5に進みます。

次ページへつづく

3 「市外局番」を入力し、「OK」をクリックする

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

4 「OK」をクリックする

「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されます。

5 「次へ」をクリックする

6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します」を選択し、「次へ」をクリックする

8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択し、「次へ」をクリックする

9 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」が「FOMA SA700iS」になっていることを確認し、「次へ」をクリックする

10 「電話番号」に接続先の番号を入力して「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックを外し、「詳細設定」をクリックする

11 「接続」タブをクリックして設定し、「アドレス」タブをクリックする

「接続の種類」を「PPP(Point to Point プロトコル)」にし、「LCP 拡張を無効にする」にチェックが入っていることを確認します。
「ログオンの手続き」を「なし」にします。

- mopera U/moperaU以外のプロバイダに接続する場合は、プロバイダからの情報をもとに設定します。

12 IPアドレスとISPによるDNS(ドメインネームサービス)アドレスの自動割り当てを設定し、「OK」をクリックする

各設定を「インターネットサービスプロバイダによる自動割り当て」と、「ISPによるDNS(ドメインネームサービス)アドレスの自動割り当て」に設定します。

- mopera U/moperaU以外のプロバイダに接続する場合は、プロバイダからの情報をもとに設定します。

13 「次へ」をクリックする

14 「ユーザー名」・「パスワード」を入力し、「次へ」をクリックする

- 入力されていないことを確認する画面が表示されたら「はい」をクリックします。
- mopera U/moperaに接続する場合は、「ユーザー名」・「パスワード」については空欄でもかまいません。
- mopera U/mopera以外のプロバイダに接続する場合は、プロバイダからの情報をもとに設定します。

15 「接続名」に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックする

16 「いいえ」を選択し、「次へ」をクリックする

17 「完了」をクリックする

18 作成したダイヤルアップアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックする

19 「全般」タブをクリックし、設定を確認する

複数のモデムが存在する場合、「接続の方法」で「モデム－FOMA SA700iS」を選択します。
「ダイヤル情報を使う」のチェックを外しておきます。

20 「ネットワーク」タブをクリックし、各項目の設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP:Windows95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。
コンポーネントは「インターネットプロトコル(TCP/IP)」のみチェックします。

21 「設定」をクリックする

22 すべてのチェックを外し、「OK」をクリックする

23 「OK」をクリックする

Windows 98/Meで設定する

1 「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ダイヤルアップネットワーク」をクリックする

はじめてダイヤルアップネットワークを起動した場合「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面が表示されます。2回目以降は表示されません。手順3にすすみます。

2 「次へ」をクリックする

3 「新しい接続」をダブルクリックする

4 「接続名」に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックする

- 「モデムの選択」を「FOMA SA700iS」にします。

5 「電話番号」に接続先の番号を入力し、「次へ」をクリックする

- 市外局番を入力する必要はありません。

6 「完了」をクリックする

- 接続名を確認します。

7 「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ダイヤルアップネットワーク」をクリックする

8 作成した接続先のアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックする

9 「全般」タブをクリックし、設定を確認する

複数のモデムが存在する場合、「接続方法」で「モデムー FOMA SA700iS」を選択します。
「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」のチェックを外しておきます。

10 「ネットワーク」タブをクリックし、各項目の設定を行う

「ダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP：インターネット、Windows2000/NT、Windows Me」を選択します。
「詳細オプション」のすべてのチェックを外し、使用できるネットワークプロトコルは「TCP/IP」だけを選択します。
Windows 98の場合、「サーバーの種類」タブをクリックし、「ダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP：インターネット、Windows NT Server, Windows 98」を選択します。

11 「セキュリティ」タブをクリックし、「OK」をクリックする

- mopera U／moperaに接続する場合、「ユーザー名」･「パスワード」については空欄でもかまいません。
- mopera U／mopera以外のプロバイダに接続する場合は、プロバイダからの情報をもとに設定します。

ダイヤルアップ接続する

通信の実行や切断について説明します。

- 接続前にFOMA端末とパソコンがFOMA USB接続ケーブルで正しく接続されているか確認してください。
- Windows XP を例に説明します。その他の OS をお使いの場合は、それぞれのOSの説明書をご覧ください。

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」をクリックする

2 設定した接続先アイコンをダブルクリックする

3 内容を確認し、「ダイヤル」をクリックする

- Windows 98/Meの場合は「接続」をクリックします。
- mopera U／moperaを選択した場合は「ユーザー名」･「パスワード」については空欄でもかまいません。
- その他のプロバイダでのダイヤルアップ接続の場合は、「ユーザー名」･「パスワード」を入力して「ダイヤル」をクリックします。
- 「次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する」を選択すると、次回からは入力の必要がなくなります。

切断する

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されていない場合があります。次の操作を行って確実に切断してください。

- Windows XP を例に説明します。その他の OS をお使いの場合は、画像が異なります。

1 ダイヤルアップ接続アイコンをダブルクリックする

状態の画面が表示されます。

2 「切断」をクリックする

- FOMA端末で PWR を押しても切断できます。

データ通信

ATコマンド

FOMA端末はATコマンドに準拠し、ATコマンド以外に拡張コマンドの一部や独自のATコマンドが使用できます。

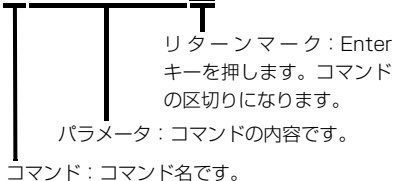
- ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。コマンドの先頭に「AT」を付けることからこのように呼ばれています。

ATコマンドについて

ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、半角英数字を使用し、1行で入力してください。

- AT コマンドはコマンドに続くパラメータ（数字や記号）を含めて、1行で入力します。
- 1 行とは最初の文字から↵を押した直前までの文字のことです。
- 最大545文字（「AT」含む）入力できます。

入力例

ATコマンドの入力モード

パソコンをターミナルモード（「ハイパーターミナル」を起動するなど）にすると、ATコマンドでFOMA端末を操作できます。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作することができます。

■オフラインモード

FOMA端末が待受の状態です。この状態でATコマンドの操作を行います。

■オンラインデータモード

FOMA端末が通信中の状態です。ATコマンドを入力すると、ATコマンドそのものを通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させることがありますので、通信中はATコマンドを入力しないでください。

■オンラインコマンドモード

FOMA端末が通信中でも、ATコマンドでFOMA端末を操作することが可能な状態です。（ATコマンド入力時は操作が必要です）通信先と接続したままATコマンドを実行し、終了後に通信を続けられます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。

- **「+++」コマンドまたは「S2」レジスタに設定したコードを入力する**
- **「AT&D1」に設定されているときに、RS-232CのER信号をOFFにする**

オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO↵」と入力します。

ATコマンド一覧

- FOMA SA700iS Modem Portで使用できるATコマンドです。
- ATコマンド入力時に、使用しているPCや通信ソフトのフォント設定により、「¥」を入力しても「＼」と表示される場合があります。
- FOMA 端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、設定値が記録されないことがあります。

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT%V	FOMA端末のバージョンを表示します。	FOMA端末のバージョンを"VerX.XXX"などの形式で表示します。	AT%V↵ Ver1.000 OK
AT&C＜n＞	DTEへの回路CD（DCD） 信号の動作条件を設定します。※1	n=0：常にON n=1：回線接続状態に従い変化（お買い上げ時） 「&C1」に設定する場合は、接続完了時の"CONNECT"を送出する直前にCD信号をONにします。回路が切断され、"NO CARRIER"を送出する直前にCD信号をOFFにします。	AT&C1↵ OK
AT&D＜n＞	オンラインデータモードのときに、DTEから受け取る回路　ER（DTR）信号がONからOFFに変わったときの動作を設定します。※1	n=0：状態を無視（常にONとみなす） n=1：ONからOFFに変わるとオンラインコマンドモードに移行 n=2：ONからOFFに変わると回線を切断しオフラインモードに移行（お買い上げ時）	AT&D1↵ OK
AT&E＜n＞	接続時の速度表示仕様を選択します。※1	本コマンドは、「ATX＜n＞」コマンド（→P469）がn=0以外のときのみ有効です。 n=0：無線区間通信速度を表示 n=1：パソコンとFOMA端末間の通信速度を表示（お買い上げ時）	AT&E1↵ OK
AT&F	FOMA端末のATコマンド設定値を工場出荷時の状態にリセットします。通信中に本コマンドを入力した場合は、回線を切断してからリセットします。		AT&F↵ OK
AT&S＜n＞	DTEへ出力するデータセットレディ（DR）信号の制御のしかたを設定します。※1	n=0：常時ON（お買い上げ時） n=1：回線接続時にON	AT&S0↵ OK
AT&W	現在の設定値をFOMA端末に記録します。		AT&W↵ OK

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT＊DANTE	FOMA端末の受信レベル表示を数字で表示します。	「AT＊DANTE」を実行すると"＊DANTE:＜n＞"の形式で表示されます。 n=0：圏外 n=1： n=2： n=3：	AT＊DANTE↵ ＊DANTE:3 OK AT＊DANTE=？↵ ＊DANTE:(0-3) OK （表示可能な値の範囲を表示する）
AT＊DGANSM=＜n＞	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。本コマンドの設定は、設定コマンド入力後のパケット着信呼のみ有効です。※2	n=0：着信拒否設定および着信許可設定をOFFに設定（お買い上げ時） n=1：パケット着信を許可 n=2：パケット着信を拒否	AT＊DGANSM=0↵ OK AT＊DGANSM？↵ ＊DGANSM:0 OK
AT＊DGPIR=＜n＞	本コマンドの設定は、発信時、着信時に有効です。 ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に「186」（通知）／「184」（非通知）を付けることができます。※2	n=0：パケット通信確立時、APNにそのまま接続（お買い上げ時） n=1：パケット通信確立時、APNに「184」を付けて接続 n=2：パケット通信確立時、APNに「186」を付けて接続 本コマンドとダイヤルアップネットワークの両方で「186」（通知）／「184」（非通知）を設定した場合→P458	AT＊DGPIR=0↵ OK AT＊DGPIR?↵ ＊DGPIR:0 OK
AT＊DRPW	FOMA端末が受信する電波の受信電力指標を表示します。	「AT＊DRPW」を設定すると"＊DRPW:＜n＞"の形式で表示されます。	AT＊DRPW↵ ＊DRPW:0 OK AT＊DRPW=？↵ ＊DRPW:(0-75) OK （表示可能な値の範囲を表示する）
＋＋＋	FOMA端末のモードをオンラインデータモードからオンラインコマンドモードへ移行します。 エスケープガード区間は「1秒」の固定値です。		
AT+CEER	直前の通信の切断理由を表示します。	「切断理由一覧」を参照→P472	AT+CEER↵ +CEER:36 OK
AT+CGDCONT	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照→P472	「ATコマンドの補足説明」を参照→P472

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CGEQMIN	PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許可するかどうかの判定基準を登録します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照→P472	「ATコマンドの補足説明」を参照→P472
AT+CGEQREQ	パケット通信を確立したときにネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を許可するかどうかの判定基準を登録します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照→P473	「ATコマンドの補足説明」を参照→P473
AT+CGMR	FOMA端末のバージョンを表示します。		AT+CGMR↵ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 OK
AT+CGREG=<n>	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。通知される内容は圏内／圏外です。※1	＜n＞ 0：通知なし（お買い上げ時） 1：通知あり 「AT+CGREG=1」に設定すると、圏内から圏外、または圏外から圏内へ移動したときに"+CGREG：<stat>"の形式で通知されます。<stat>パラメータは「0,1,4」をサポートします。 ＜stat＞ 0：圏外 1：圏内（home） 4：不明 「AT+CGREG?」のとき"+CGREG：<n>, <stat>"を表示します。	AT+CGREG=1↵ OK （通知ありに設定） AT+CGREG?↵ +CGREG:1,0 OK （通知あり、圏外を意味している）
AT+CGSN	FOMA端末の製造番号を表示します。		AT+CGSN↵ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 OK
AT+CLIP=＜n＞	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示できます。※1	＜n＞ 0：リザルトを表示しない（お買い上げ時） 1：リザルトを表示する 「AT＋CLIP？」のとき、"+CLIP：＜n＞,＜m＞"を表示します。 ＜m＞ 0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 1：発信時に相手に番号を通知するNW設定 2：不明	AT+CLIP=0↵ OK

次ページへつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CLIR=＜n＞	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。※2	＜n＞ 0：サービスご契約の設定に従う 1：通知しない 2：通知する（お買い上げ時） 「AT+CLIR？」のとき、"+CLIR：＜n＞,＜m＞"を表示します。 ＜m＞ 0：CLIRは未起動（常時通知） 1：CLIRは常時起動（常時非通知） 2：不明 3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） 4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト）	AT+CLIR=2↵ OK
AT+CMEE=＜n＞	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。※1	エラーを"ERROR"のみで表示するか、理由を文字あるいは数値でレポートするかを設定します。 ＜n＞ 0：リザルトコードを使用せずに "ERROR" を表示（お買い上げ時） 1：リザルトコードを使用し、数字で理由を表示 2：リザルトコードを使用し、文字で理由を表示 n=1またはn=2でエラーレポート表示に設定した場合、エラーレポートは次のように表示されます。 "+CME ERROR：xxxx"（xxxxには、数字または文字が表示されます。「エラーレポート一覧」→P472）	AT+CMEE=0↵ OK AT+CNUM↵ ERROR AT+CMEE=1↵ OK AT+CNUM↵ +CME ERROR:10 AT+CMEE? +CMEE:0 OK
AT+CNUM	FOMA端末の自局番号を表示します。	「AT+CNUM」を実行すると"+CNUM：<number>,＜type＞"の形式で表示されます。 ＜number＞電話番号 ＜type＞ 129：国際アクセスコード+を含まない 145：国際アクセスコード+を含む	AT+CNUM↵ +CNUM :,"+8190 12345678",145 OK
AT+CPIN	FOMAカードの暗証番号を入力します。	PIN1／PIN2、PINロック解除コードを入力します。 「リザルトコード」を参照→P474	（PIN1／PIN2コードを入力） AT+CPIN="1234"↵ OK （PINロック解除コードと新しいPIN1／PIN2コードを入力） AT+CPIN="12345678","1234"↵ OK AT+CPIN?↵ +CPIN:READY OK

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CR=＜mode＞	回線接続時に"CONNECT"のリザルトコードが表示される前に、パケット通信／64Kデータ通信を表示するかどうかを設定します。※1	<mode> 0：表示しない（お買い上げ時） 1：表示する パケット通信のときは、"GPRS"と表示され 64K データ通信のときは"SYNC"と表示されます。	AT+CR=1↵ OK ATD＊99＊＊＊1#↵ +CR:GPRS CONNECT AT+CR? +CR:0 OK
AT+CRC=＜n＞	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。※1	n=0：使用しない（お買い上げ時） n=1：使用する	AT+CRC=0↵ OK AT+CRC? +CRC:0 OK
AT+CREG=＜n＞	ネットワークの圏内／圏外情報を表示するかを設定します。※1	<n> 0：通知なし（お買い上げ時） 1：通知あり 「AT+CREG＝1」に設定すると、圏内から圏外、または圏外から圏内へ移動したときに"+CREG:<stat>"の形式で通知されます。<stat>パラメータは「0,1,4」をサポートします。 <stat> 0：圏外 1：圏内 4：不明 「AT+CREG?」のとき"+CREG:<n>,<stat>"を表示します。	AT+CREG=1↵ OK （通知ありに設定） AT+CREG？↵ +CREG:1,0 OK （通知あり、圏外を意味している）
AT+CUSD=＜n＞	付加サービス等に関するネットワークの設定を行います。	<n> 0：中間リザルト+CUSD:<m>[,<str>,<dcs>]を送出しない 1：中間リザルト+CUSD:<m>[,<str>,<dcs>]を送出する <str>は、0〜9,#,＊のみを許容とします。 <str>パラメータは、stringパラメータであるため、""で囲みます。	AT+CUSD=0,"xxxxxxxxx"↵ OK AT+CUSD=1,"＊148＊1＊0000#",0↵ +CUSD:0,"148＊7#",0 OK
AT+GMI	FOMA端末のメーカの名前が半角英数字で表示されます。		AT+GMI↵ SANYO OK
AT+GMM	FOMA端末の製品名が半角英数字で表示されます。		AT+GMM↵ FOMA SA700iS OK
AT+GMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	FOMA端末のバージョンを"VerX.XXX"などの形式で表示します。	AT+GMR↵ Ver1.000 OK

次ページへつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+IFC=＜n,m＞	パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。※1	DCE by DTE（＜n＞） 0：フロー制御を行わない 1：XON/XOFFフロー制御を行う 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時） DTE by DCE（＜m＞） 0：フロー制御を行わない 1：XON/XOFFフロー制御を行う 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時）	AT+IFC=2,2↵ OK
AT+WS46=＜n＞	発信時に使用する無線ネットワークを設定します。着信に影響を与えるものではありません。	n=22：FOMAネットワーク（固定値）	AT+WS46=22↵ OK
ATA	64Kデータ通信の着信時に入力すると、着信処理を行います。		RING ATA↵ CONNECT
A/	直前に実行したコマンドを再実行するときに使用します。	前の応答が"ERROR"の場合"ERROR"が返ります。	A/ OK
ATD	発信処理を行います。※3	パケット通信： 「ATD＊99＊＊＊＜cid＞#↵」 「ATD＊99#」を入力した場合は「＜cid＞=1」を用います（＜cid＞の入力を省略した場合は、「＜cid＞=1」になります）。 「ATD184＊99」で始まる書式を入力した場合は指定した＜cid＞に設定したAPNに対して"184"が付加されます（発信者番号通知ありの"186"でも同様の操作ができます）。 64Kデータ通信： 「ATD[パラメータ][電話番号]↵」 相手の電話番号に「0〜9、＊、#、A、a、B、b、C、c、D、d、-（ハイフン）、スペース T、t、P、p、!、W、w、@、,（カンマ）」以外を設定した場合は、発信できません。　の文字は入力可能ですが、ダイヤル時には認識されません。	ATD＊99＊＊＊1#↵ CONNECT
ATE＜n＞	パソコンから送信された本コマンドに対して、FOMA端末がエコーを返すかどうかを設定します。※1	n=0：エコーバックなし n=1：エコーバックあり（お買い上げ時） 通常はn=1で使用します。パソコンにエコー機能がある場合、n=0に設定すると文字が二重に表示されなくなります。	ATE1↵ OK
ATH	パケット通信および64Kデータ通信時に入力すると、回線を切断します。		(通信中) +++ OK ATH↵ NO CARRIER

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATI＜ｎ＞	確認コードを表示します。	n=0：NTT DoCoMo n=1：製品名の略称を表示する（FOMA SA700iS） n=2：製品のバージョンを "VerX.XXX" などの形式で表示する	ATI0↵ NTT DoCoMo OK
ATO	通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻ります。		ATO↵ CONNECT
ATQ＜ｎ＞	リザルトコードを表示するかどうかを設定します。※1	n=0：表示する（お買い上げ時） n=1：表示しない	ATQ0↵ OK
ATV＜ｎ＞	リザルトコードの表示方法を設定します。※1	すべてのリザルトコードを数字表記あるいは英文字表記で表示します。 n=0：数字表記で表示する n=1：英文字表記で表示する（お買い上げ時）	ATV1↵ OK
ATX＜ｎ＞	接続の"CONNECT"表示に速度表示の有無を設定します。また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。※1 ビジートーン検出： 接続先が通話中のとき、"BUSY"応答を送出します。 ダイヤルトーン検出： FOMA 端末に接続されているかどうかを判定します。 速度表示： 接続時の"CONNECT"表示に速度を表示するかどうかを設定します。	n=0：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（お買い上げ時）	ATX1↵ OK
ATZ	FOMA端末のATコマンド設定値をリセットします。※4	FOMA端末のATコマンド設定値を不揮発メモリの内容にリセットします。通信中に本コマンドを入力した場合は、回線を切断してからリセットします。	（オンライン時） ATZ↵ NO CARRIER （オフライン時） ATZ↵ OK
ATS0=＜ｎ＞	FOMA 端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。※1	n=0：自動着信なし（お買い上げ時） n=1～255：指定したリング数で自動着信	ATS0=0↵ OK
ATS2=＜ｎ＞	エスケープキャラクタの設定を行います。	n=0～127（お買い上げ時n=43） n=127に設定するとエスケープは無効になります。	ATS2=43↵ OK ATS2?↵ 043 OK

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATS3=＜n＞	復帰（CR）キャラクタの設定を行います。	ATコマンド文字列の最後を認識するキャラクタを定義します。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付きます。設定値は変更できません（お買い上げ時n=13）。	ATS3=13↵ OK ATS3?↵ 013 OK
ATS4=＜n＞	改行（LF）キャラクタの設定を行います。	英文でリザルトコードを表示する場合、[CR]キャラクタの後に付きます。設定値は変更できません（お買い上げ時n=10）。	ATS4=10↵ OK ATS4?↵ 010 OK
ATS5=＜n＞	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	ATコマンド入力中にこのキャラクタを検出すると、入力バッファの最後のキャラクタを削除します。設定値は変更できません（お買い上げ時n=8）。	ATS5=8↵ OK ATS5?↵ 008 OK
ATS6=＜n＞	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドによりレジスタは設定されますが、動作しません。 n：2～10（お買い上げ時n=5）	ATS6=10↵ OK
ATS7=＜n＞	接続完了までの待ち時間（秒）を設定します。※1	n：1～255（お買い上げ時n=60） 64Kデータ通信およびパケット通信の発呼時に、FOMA端末がパソコンから「ATD」入力を受信してから設定した秒数が経過しても、FOMA端末がパソコンに"CONNECT"を送出できない場合は、"NO CARRIER"のリザルトを返し、切断処理へ移行します。値を「121～255」に設定した場合、"OK"のリザルトを返しますが、値は「120」に設定されます。	ATS7=60↵ OK
ATS8=＜n＞	カンマダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドによりレジスタは設定されますが、ポーズ時間（3秒）に影響しません。 n＝0：ポーズしない n：1～255（お買い上げ時n=3）	ATS8=3↵ OK
ATS10=＜n＞	自動切断の遅延時間（秒）を設定します。（1/10秒）※1	本コマンドによりレジスタは設定されますが、動作しません。 n：1～255（お買い上げ時n=1）	ATS10=1↵ OK
ATS30=＜n＞	データの送受信をこの時間以上行わないと切断します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。<n>は分単位で設定します。 n：0～255（お買い上げ時n=0） n=0は不活動タイマオフ	ATS30=3↵ OK
ATS103=＜n＞	着サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。 n=0：＊アスタリスク n=1：/スラッシュ（お買い上げ時） n=2：¥マークあるいはバックスラッシュ	ATS103=0↵ OK

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATS104=＜n＞	発サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。 n=0：#シャープ n=1：%パーセント（お買い上げ時） n=2：&アンド	ATS104=0↵ OK
AT¥S	現在の設定されている各コマンドとSレジスタの内容を表示します。		AT¥S↵ E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 &E1 ¥V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S030=000 S103=001 S104=001 OK
AT¥V＜n＞	接続時の応答コード仕様を選択します。※1	本コマンドは、「ATX<n>」コマンドがn=0以外のときのみ有効です。 →P469 n=0：通信プロトコルリザルトコードを使用しない（お買い上げ時） n=1：通信プロトコルリザルトコードを使用する	AT¥V0↵ OK

※1 「&W」コマンドでFOMA端末に記録されます。
※2 「&F」「Z」コマンドによるリセットは行われません。
※3 「ATDN↵」や「ATDL↵」でリダイヤル発信ができます。
※4 「&W」コマンドを使用する前に「Z」コマンドを実行すると、最後に記録した状態に戻り、それまでの変更内容は消去されます。

切断理由一覧

■　パケット通信

値	理　由
27	APNが存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■　64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手側が呼出し中のため通信ができません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、もしくは着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	FOMAカードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIM（FOMAカードに相当するICカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

ATコマンドの補足説明

■コマンド名：+CGDCONT=［パラメータ］

- **概要**

  パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。

- **書式**

  +CGDCONT＝[＜cid＞[,"PPP"[,"＜APN＞"]]]↵

- **パラメータ説明**

  ＜cid＞：1～16

  ＜APN＞：任意

  ※＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～16」が登録できます。お買い上げ時、＜cid＞=1には、moperaに接続するためのAPN（「mopera.ne.jp」）が、<cid>=3にはmopera Uに接続するためのAPN（「mopera.net」）が登録されています。＜APN＞は接続先を示す接続ごとの任意の文字列です。

- **実行例**

  「abc」というAPN名を登録する場合のコマンド（＜cid＞=3の場合）

  AT+CGDCONT=3,"PPP","abc"↵

  OK

- **パラメータを省略した場合の動作**

  AT+CGDCONT=

  すべての＜cid＞の設定をクリアします。ただし、「＜cid＞=1」と「<cid>=3」の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。

  AT+CGDCONT=＜cid＞

  指定された＜cid＞の設定をクリアします。ただし、「＜cid＞=1」と「<cid>=3」の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。

  AT+CGDCONT=?

  設定可能な値のリスト値を表示します。

  AT+CGDCONT?

  現在の設定値を表示します。

■コマンド名：+CGEQMIN=[パラメータ]

- **概要**

  PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。

- **書式**

  AT+CGEQMIN=[＜cid＞[,,＜Maximum bitrate UL＞[,＜Maximum bitrate DL＞]]]↵

- **パラメータ説明**

  ＜cid＞：1～16

  ＜Maximum bitrate UL＞

  ：なし（お買い上げ時）または64

  ＜Maximum bitrate DL＞

  ：なし（お買い上げ時）または384

  ※＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～16」が登録できます。お買い上げ時、＜cid＞=1には、moperaに接続するためのAPN（「mopera.ne.jp」）が、<cid>=3にはmopera Uに接続するためのAPN（「mopera.net」）が登録されています。「Maximum bitrate UL」および「Maximum bitrate DL」では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度（kbps）を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「64」および「384」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。

- **実行例**

  ①**上り／下りすべての速度を許容する場合のコマンド（＜cid＞＝2の場合）**

  AT+CGEQMIN=2↵
  OK

  ②**上り64 kbps ／下り384 kbps の速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞＝3の場合）**

  AT+CGEQMIN=3,,64,384↵
  OK

  ③**上り64 kbps ／下りすべての速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞＝4の場合）**

  AT+CGEQMIN=4,,64↵
  OK

  ④**上りすべての速度／下り384kbps速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞＝5の場合）**

  AT+CGEQMIN=5,,,384↵
  OK

- **パラメータを省略した場合の動作**

  AT+CGEQMIN=
  すべての＜cid＞の設定をクリアします。

  AT+CGEQMIN=＜cid＞
  指定された＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。

  AT+CGEQMIN=？
  設定可能な値のリストを表示します。

  AT+CGEQMIN？
  現在の設定を表示します。

■ コマンド名：+CGEQREQ= ［パラメータ］

- **概要**

  PPPパケット通信時の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。

- **書式**

  AT+CGEQREQ=[＜cid＞]↵

- **パラメータ説明**

  上り64kbps／下り384kbpsの速度で接続を要求するコマンドのみ設定可能です。各cidにはその内容がお買い上げ時に設定されています。

  ＜cid＞：1～16

  ※＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～16」が登録できます。お買い上げ時、＜cid＞＝1には、moperaに接続するためのAPN（「mopera.ne.jp」）が、<cid>=3にはmopera Uに接続するためのAPN（「mopera.net」）が登録されています。

- **実行例**

  （＜cid＞＝3の場合）
  AT+CGEQREQ=3↵
  OK

- **パラメータを省略した場合の動作**

  AT+CGEQREQ=
  すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。

  AT+CGEQREQ=＜cid＞
  指定された＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。

  AT+CGEQREQ=？
  設定可能な値のリスト値を表示します。

  AT+CGEQREQ？
  現在の設定を表示します。

リザルトコード

■ リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了　タイムアウトしました。
100※	RESTRICTION※	ネットワークが規制中です。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

※「RESTRICTION」(数字：100)が表示された場合は、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

■ 拡張リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
5	CONNECT 1200	FOMA端末－PC間速度1200 bpsで接続しました。
10	CONNECT 2400	FOMA端末－PC間速度2400 bpsで接続しました。
11	CONNECT 4800	FOMA端末－PC間速度4800 bpsで接続しました。
13	CONNECT 7200	FOMA端末－PC間速度7200 bpsで接続しました。
12	CONNECT 9600	FOMA端末－PC間速度9600 bpsで接続しました。
15	CONNECT 14400	FOMA端末－PC間速度14400 bpsで接続しました。
16	CONNECT 19200	FOMA端末－PC間速度19200 bpsで接続しました。
17	CONNECT 38400	FOMA端末－PC間速度38400 bpsで接続しました。
18	CONNECT 57600	FOMA端末－PC間速度57600 bpsで接続しました。
19	CONNECT 115200	FOMA端末－PC間速度115200 bpsで接続しました。
20	CONNECT 230400	FOMA端末－PC間速度230400 bpsで接続しました。
21	CONNECT 460800	FOMA端末－PC間速度460800 bpsで接続しました。

■ AT+CPIN?のリザルトコード

PIN2状態 / PIN1状態	認証済み	入力待ち	ロック解除コード入力待ち	ロック状態
認証済み	READY	SIM PIN2	SIM PUK2	READY
入力待ち	SIM PIN1	SIM PIN1	SIM PIN1	SIM PIN1
ロック解除コード入力待ち	SIM PUK1	SIM PUK1	SIM PUK1	SIM PUK1
ロック状態	ERROR	ERROR	ERROR	ERROR

お知らせ

- ATV<n>コマンド(→P469)がn=1に設定されている場合には英文字表記(お買い上げ時)、n=0に設定されている場合には数字表記でリザルトコードが表示されます。
- 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－PC間はUSBケーブルで接続されているため、実際の接続速度と異なります。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	PPPoverUDで接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
5	PACKET	PACKETで接続

■ リザルトコード表示例

ATX 0が設定されているとき

AT¥Vコマンド（→P471）の設定に関わらず、接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　CONNECT

数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　1

ATX 4が設定されているとき

- ATX4、AT¥V0が設定されている場合（お買い上げ時）
  接続完了のときに、CONNECT＜FOMA端末－PC間の速度＞の書式で表示します。
  文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
  　　　　　　CONNECT 460800
  数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
  　　　　　　121
- ATX4、AT¥V1が設定されている場合
  接続完了のときに、次の書式で表示します。
  CONNECT＜FOMA端末－PC間の速度＞＜通信プロトコル＞＜接続先APN＞／＜上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度＞／＜下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度＞※
  文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
  　　　　　　CONNECT 460800 PACKET mopera.ne.jp/64/384
  　　　　　　（mopera.ne.jpに、上り最大64kbps、下り最大384kbpsで接続したことを表します。）
  数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
  　　　　　　1215

※AT¥V1が設定されている場合、＜接続先APN＞以降はPACKETで接続している場合のみ表示されます。

文字入力

文字入力について

電話帳の名前入力や、メッセージの作成などでの文字入力のしかたについて説明します。

入力画面について

文字入力画面

①画面タイトル
②カーソル
③ガイド
④現在入力できる文字の種類
⑤入力予測機能の設定
⑥「現在入力済みの文字数／最大入力文字数」または「残り入力可能文字数」の表示

「元に戻す」機能について

[✉]［元に戻す］を押すと直前の動作を取り消すことができます。文字変換や削除で操作を間違えたときに押すと、確定前・削除前に戻すことができます。

- 元に戻すことができるのは直前の操作のみです。
- 文字変換の確定・削除など行った後、次の操作を行った場合は[✉]［元に戻す］は使えません。

かな方式

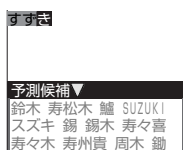
かな方式で文字を入力する

文字の入力方式には「かな方式」と「2タッチ方式」があります。ここではかな方式での文字入力について説明します。

- お買い上げ時の入力方式は「かな方式」、入力予測は「ON」に設定されています。
  入力方式の設定→P493、入力予測機能の設定→P492

漢字・ひらがな・カタカナ（全角）を入力する

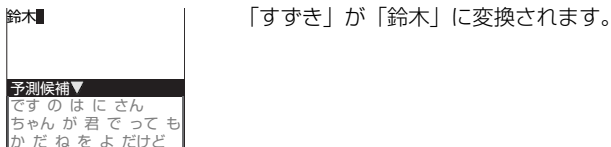
〈例〉「鈴木」と入力するとき

1 文字入力画面で「すずき」と入力する

①[3DEF]**を3回押す**：「す」が入力されます。
②[◎]**を押す**　：カーソルがひとつ右に移動します。
③[3DEF]**を3回押す**：「す」が入力されます。
④[*]**を押す**　：濁点がつきます。
⑤[2ABC]**を2回押す**：「き」が入力されます。

- ダイヤルキーの文字割当てについて→P508
- 1文字削除するときは、[CLR]を押します。
- 確定していない文字をすべて削除する場合は、[CLR]を1秒以上押します。
- [*]キーは文字によって「゛をつける」、「゜をつける」、「小文字にする」機能があります。
  - 例：「ぱ」を入力するとき→「は」を入力して[*]を2回押します。
  - 例：「っ」を入力するとき→「つ」を入力して[*]を2回押します。

2 ▶ で「鈴木」を選択し、 を押す

鈴木

予測候補▼
です の は に さん
ちゃん が 君 で って も
か だ ね を よ だけど

「すずき」が「鈴木」に変換されます。

- ひらがなのまま確定する場合は、 を押さずに を押してください。
- 全角カタカナモードで入力した文字は変換できません。
- 文章が一度に変換されない場合は、文節ごとに手順2を繰り返してください。
- 変換しないで一度に入力できる文字は20文字までです。

■ 改行するとき

改行する位置にカーソルを移動し、 を押す

- 入力画面によっては改行できない場合があります。

■ スペースをいれるとき

** を押す**

文字を入力しているときは、確定後に を押します。
文中にスペースを挿入するときは、記号として挿入します。→P482

■ 変換の文節を変更するとき

変換中に でカーソルを移動させ、文の区切りを変更する

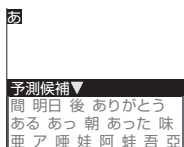
入力予測（入力予測ＯＮ）で文字を入力する

入力予測機能を使うと、全文を入力しなくても予測候補から単語を選択して入力できます。一度入力した単語は自動的に学習情報として登録され、予測候補に反映されるので、よく使う文字の入力がすばやくできるようになります。

- 学習情報のリセットについて→P491

1 文字入力画面で「あ」を入力する

あ

予測候補▼
間 明日 後 ありがとう
ある あっ 朝 あった 味
亜 ア 唖 娃 阿 蛙 吾 亞

読みが「あ」で始まる単語を予測し、予測候補を表示します。

- 「あ」でよい場合は を押してください。

2 ▶ で「明日」を選択し、 を押す

続けて入力する単語を予測し、予測候補に表示します。

- 予測候補が多数ある場合は、 や で次ページ・前ページを見ることができます。

入力予測を使わない（入力予測OFF）で文字を入力する

- 予測候補は表示されません。

〈例〉「鈴木」と入力するとき

1 文字入力画面で「すずき」と入力する

2 ▶ を押す

「すずき」が「鈴木」に変換されます。

- 1度で目的の文字に変換されない場合は、もう一度 を押してください。変換候補が一覧で表示されます。
- 変換候補が多数ある場合は、 で次ページ・前ページを見ることができます。

お知らせ

- 文字入力中に ［機能］を押して、機能メニューから入力方式と入力予測の設定を変更できます。
  - 入力方式について→P493　- 入力予測について→P492
- 「入力予測ON」設定時の文字入力中、変換中に を押すと、一時的に入力予測ON／OFFを切り替えられます。

入力モード（入力する文字の種類）を切り替える

入力画面によって切り替えられる文字の種類は異なります。

1 文字入力画面で 「文字」を押す

文字種切替画面

2 文字種を選択し、 を押す

アイコン	モード	アイコン	モード
漢	漢字ひらがなモード	ア	全角カタカナモード
ｱｲ	半角カタカナモード	A	全角英大文字モード
a	全角英小文字モード	1	全角数字モード
AB	半角英大文字モード	ab	半角英小文字モード
12	半角数字モード	絵	絵文字モード
記	記号モード	顔	顔文字モード
かな	かなモード		

- 文字種アイコンの左の数字を押しても選択できます。
- 文字入力画面で 「絵文字／記号」を押しても絵文字・記号・顔文字を入力できます。→P483、484
- かなモードはユーザー辞書登録時の「よみ」入力画面でのみ使用できます。

文字を修正する

確定後の文字を修正します。

文字を挿入するとき

1 で挿入する位置にカーソルを移動し、文字を入力する

カーソルがあたっている文字の左側に文字が挿入されます。

- スペースも記号として挿入できます。

文字を削除するとき

1 ◎で削除する文字にカーソルをあて、CLRを押す

■ カーソルが文中にあるとき

- CLRを押す　　　　　：カーソルがあたっている１文字が削除されます。
- CLRを１秒以上押す：カーソルがあたっている文字とカーソルより後の文字がすべて削除されます。

■ カーソルが文末にあるとき

- CLRを押す　　　　　：カーソルの左にある１文字が削除されます。
- CLRを１秒以上押す：すべての文字が削除されます。

「゛」をつける・「゜」をつける・小文字にする

1 ◎で文字を選択し、＊を押す

カーソルがあたっている文字に「゛」「゜」がつきます。または小文字になります。（文字によります。）

カタカナ（半角）を入力する

半角カタカナモードで入力する方法と、漢字ひらがなモードで入力して半角カタカナに変換する方法があります。

半角カタカナモードで入力する

1 文字入力画面で　「文字」▶ ｱｲ を選択し、● を押す

2 文字を入力する

半角カタカナモードで入力した文字は変換できません。

ひらがなで入力して半角カタカナに変換する

1 漢字ひらがなモードで文字を入力し、 ［英数カナ］を押す

◎を押しても、変換候補として選択できます。

2 目的の文字を選択し、● を押す

英数字を入力する

英数字のモードで入力する方法と、漢字ひらがなモードで入力して英数字に変換する方法があります。

英数字モードで入力する

1 文字入力画面で　「文字」▶ A ／ a ／ 1 ／ AB ／ ab ／ 12 を選択し、● を押す

2 文字を入力する

ひらがなで入力して英数字に変換する

〈例〉ＳＡＮＹＯと入力するとき

1 漢字ひらがなモードで 7PQRSま を4回 ▶ 2ABCか を1回 ▶ 6MNOは を2回 ▶ 9WXYZら を３回 ▶ 6MNOは を３回押す

- このとき画面には「めかひるふ」と表示されています。
- ダイヤルキーの文字割当てについて→P508

2 i ［英数カナ］を押す

全角英大文字、半角英大文字、全角英小文字、半角英小文字、全角数字、半角数字、全角カタカナ、半角カタカナの変換候補が表示されます。

3 1.@あ「SANYO」を押す

定型文を入力する

定型文を一覧から選択して挿入します。

- 定型文一覧→P512
- 選択した定型文はカーソル位置に挿入されます。
- 定型文を編集／登録できます。→P486

1 文字入力画面で i ［機能］▶「定型文」を選択し、● を押す

カテゴリごとに定型文一覧が表示されます。

- i ［カテゴリ］を押すとカテゴリが変わります。
- ◀▶ でもカテゴリを変えられます。
- 定型文の全文を確認するときは、定型文を選択して ✉ ［詳細］を押します。✉ ［一覧］を押すと定型文一覧に戻ります。

2 1.@あ 〜 9WXYZら を押す

カーソル位置に定型文が挿入されます。

お知らせ

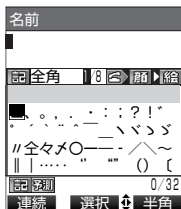
- 挿入すると入力可能な文字数を超える場合、入力できない文字を含む定型文を挿入しようとした場合は、次のいずれかのようになります。
  - エラーメッセージが表示され、挿入されない
  - 入力可能な文字数まで挿入される
  - 入力できない文字がスペースで置き換えられて挿入される（スペースが入力できない場合は削除される）

記号を入力する

記号を一覧から選択して入力します。

- 記号一覧→P510
- 記号は入力可能なもののみ一覧表示されます。

記号モードで入力する

1 文字入力画面で [i]「文字」▶ [記] を選択し、(●) を押す

記号一覧が表示されます。
- [i]［半角］を押すと半角記号一覧が表示されます。

2 記号を選択し、(●) を押す

記号が入力されます。

■ 記号を連続して複数入力するとき
① 記号を選択し、[✉]［連続］を押す
② 手順①を繰り返す
③ (●) を押す

漢字ひらがなモードで入力する

1 文字入力画面で [絵文字]「絵文字／記号」を２回押す

記号一覧が表示されます。
- 以降の操作：→P483「記号モードで入力する」手順２
- 絵文字が入力できない文字入力画面では、[絵文字] を１回押すと記号一覧が表示されます。

お知らせ

- 漢字ひらがなモードで「きごう」と入力して変換しても、記号を入力できます。
- 以前使用した記号が一覧の１行目に履歴として表示されます。

絵文字を入力する

絵文字を一覧から選択して入力します。
- 絵文字一覧→P510

絵文字モードで入力する

1 文字入力画面で [i]「文字」▶ [絵] を選択し、(●) を押す

絵文字一覧が表示されます。
- [i]［絵２］を押すと絵文字２の一覧が表示されます。

2 絵文字を選択し、(●) を押す

絵文字が入力されます。

次ページへつづく

■ 絵文字を連続して複数入力するとき
① 絵文字を選択し、[✉]［連続］を押す
② 手順 ① を繰り返す
③ (●) を押す

漢字ひらがなモードで入力する

1 文字入力画面で [✍]「絵文字／記号」を１回押す

絵文字一覧が表示されます。
- 以降の操作：→P483「絵文字モードで入力する」手順２
- 絵文字が入力できない文字入力画面では、絵文字一覧は表示されません。

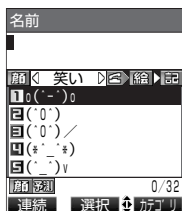
お知らせ

- 単語によっては絵文字に変換できるものもあります。（例：「はれ」→☀）
- 以前使用した絵文字が一覧の１行目に履歴として表示されます。

顔文字を入力する

顔文字を一覧から選択して入力します。
- 顔文字一覧→P511
- 顔文字を編集／登録できます。→P486

顔文字モードで入力する

1 文字入力画面で [i]「文字」▶ [顔] を選択し、(●) を押す

顔文字一覧が表示されます。
- [i]［カテゴリ］を押すと顔文字のカテゴリが切り替わります。
- (◀▶) でもカテゴリを切り替えられます。

2 [1.@あ] ～ [5JKLな] を押す

顔文字が入力されます。
- 文字入力画面によっては入力モードが制限され、入力できない顔文字もあります。

■ 顔文字を連続して複数入力するとき
① 顔文字を選択し、[✉]［連続］を押す
② 手順 ① を繰り返す
③ (●) を押す

漢字ひらがなモードで入力する

1 文字入力画面で [✍]「絵文字／記号」を３回押す

顔文字一覧が表示されます。
- 以降の操作：→P484「顔文字モードで入力する」手順２
- 顔文字が入力できない文字入力画面では、顔文字一覧は表示されません。

お知らせ

• 漢字ひらがなモードで「かお」、「かおもじ」と入力して変換しても顔文字を入力できます。

いろいろな機能から引用して入力する

電話帳や発信・着信履歴、自局情報の登録内容、テキストメモなどから文字データを引用して入力します。

• 引用できる機能は、文字入力画面によって異なります。
• 同じ機能からの引用はできません。（例：電話帳登録中に電話帳からは引用できません。）

1 文字入力画面で [i] ［機能］を押す

2 引用先を選択し、◉ を押す

電話帳引用　：電話帳に登録されている情報を引用します。
履歴引用　：リダイヤル、着信履歴、送信アドレス履歴、受信アドレス履歴を引用します。
スケジュール引用：スケジュールに登録されている内容を引用します。
テキストメモ引用：テキストメモを引用します。
Bookmark引用　：BookmarkのURLを引用します。
自局情報引用　：自局情報に登録されている情報を引用します。
位置情報引用　：現在地確認で測位した位置情報や位置履歴、電話帳などに登録されている位置情報を引用します。

3 引用する内容を選択し、◉ を押す

バーコードを利用して入力する

文字入力画面からバーコードリーダーを起動してバーコードを読み取り、文字を入力できます。

1 文字入力画面で [i] ［機能］▶「バーコードリーダー」を選択し、◉ を押す

• 以降の操作：→P168「コードを読み取る」手順３～４
• 文字入力画面によってはバーコードリーダーを使えない場合があります。

文字リーダーを利用して入力する

文字入力画面から文字リーダーを起動して英数字・記号を読み取り、文字を入力します。

• 一度に読み取れる文字数は約35文字までです。

1 文字入力画面で [i] ［機能］▶「文字リーダー」を選択し、◉ を押す

• 以降の操作：→P173「文字を読み取る」手順３～４
• 文字入力画面によっては文字リーダーを使えない場合があります。

定型文編集

定型文を編集／登録する

お買い上げ時に登録されている定型文を修正したり、新しい定型文を作成して登録したりできます。

お買い上げ時の定型文を編集／登録する

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 8 ▶ 1 を押す

2 項目を選択し、● を押す

6「自由固定文」を選択すると、新しく定型文を作成して登録できます。

3 編集する定型文を選択し、● を押す

4 定型文を編集し、● を押す

定型文が登録されます。

- 全角32文字（半角64文字）まで登録できます。
- 何も入力しないで ● を押すと、お買い上げ時の定型文が登録されます。

お知らせ

- 定型文の文末に半角スペースは登録できません。文頭・文中の半角スペースは有効です。

定型文を初期状態に戻す

定型文をお買い上げ時の状態に戻します。

- 自由固定文に登録されている定型文は消去されます。

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 8 ▶ 1 を押す

2 項目を選択し、✉［リセット］を押す

3 1「1件リセット」または 2「全件リセット」を押す

4 端末暗証番号を入力し、● を押す

5 1「はい」を押す

- 中止するときは 2「いいえ」を押します。

顔文字編集

顔文字を編集／登録する

お買い上げ時に登録されている顔文字を編集して登録できます。

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 8 ▶ 2 を押す

2 項目を選択し、● を押す

3 編集する顔文字を選択し、◉を押す

4 顔文字を編集し、◉を押す

顔文字が登録されます。
- 全角7文字（半角14文字）まで登録できます。
- 何も入力しないで◉を押すと、お買い上げ時の顔文字が登録されます。

お知らせ

- 顔文字の文末に半角スペースは登録できません。文頭・文中の半角スペースは有効です。

顔文字を初期状態に戻す

顔文字をお買い上げ時の状態に戻します。

1 ◉▶[各種設定]▶8▶2を押す

2 項目を選択し、✉［リセット］を押す

3 1「1件リセット」または2「全件リセット」を押す

4 端末暗証番号を入力し、◉を押す

5 1「はい」を押す

- 中止するときは2「いいえ」を押します。

文字コピー

文字のコピー・切り取りと貼り付け

入力した文字を範囲指定して、コピー・切り取りができます。コピー・切り取りされた文字列は、貼り付けデータに保存され、いつでも貼り付けできます。

- 貼り付けデータは18件または全件で合計全角5000文字（半角10000文字）まで保存できます。
- 貼り付けデータが18件保存されているとき、または貼り付けデータの合計文字数が全角5000文字（半角10000文字）を超えたときに新たにコピー・切り取りをすると、一番古いデータが自動的に削除されます。

文字をコピーする／切り取る

1 文字入力画面でi［機能］▶「コピー」を選択し、◉を押す

- 切り取りをするときは「切り取り」を選択し、◉を押します。
- 「切り取り」は範囲指定した文字を貼り付けデータに保存し、元画面からは消去します。

2 開始位置にカーソルを移動し、◉を押す

3 終了位置にカーソルを移動し、◉を押す

範囲を指定してコピーする／切り取る

まずコピー・切り取りする範囲を指定します。

- ［範囲指定］は確定した文字にカーソルがあたっていないと表示されません。

1 コピー・切り取りする範囲の最初の文字または最後の文字にカーソルを移動させる

2 ［範囲指定］▶で範囲を指定する

選択されている範囲が緑で表示されます。

3 を押す

4 1「コピー」または2「切り取り」を押す

■ ユーザー辞書に登録するとき

範囲の文字をユーザー辞書（→P490）に登録します。

①3「ユーザー辞書登録」を押す

②「よみ」を入力し、を押す

- 指定できる文字数は全角20文字（半角40文字）までです。

■ 英単語辞書を使用するとき

範囲の文字を英訳／和訳し、文字入力画面に入力します。

4「英単語辞書」を押す

- 翻訳候補が複数ある場合は、で単語を選択し、を押します。
- 指定できる文字数は和英／カタカナ英語辞書の場合8文字（全角・半角ともに）まで、英和辞書の場合16文字（全角・半角ともに）までです。
- 翻訳結果で単語を選択して［置換］を押すと、文字が単語に置換され、［挿入］を押すと範囲の左に挿入されます。

■ よみ確認をするとき

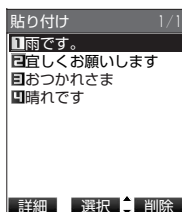
範囲の文章の漢字の読みを表示します。

5「よみ確認」を選択する

- 指定できる文字数は全角50文字（半角100文字）までです。
- 文章は文節ごとに表示されます。文節を選択し、を押してください。

文字を貼り付ける

コピー・切り取りした文字を貼り付けデータから選択して文字入力画面に貼り付けます。

1 文字入力画面で、貼り付ける位置にカーソル移動し、i［機能］▶「貼り付け」を選択し、● を押す

貼り付けデータ一覧画面

貼り付けデータ一覧が表示されます。
- ✉［詳細］を押すと貼り付けデータの全文を確認できます。
- 貼り付けできないデータは一覧画面に表示されない場合があります。

2 貼り付けるデータを選択し、● を押す

貼り付けデータを削除する

1 貼り付けデータ一覧画面でデータを選択し、i［削除］を押す

2 1「1件削除」を押す

- 2「全件削除」のときは、端末暗証番号を入力し、● を押します。

3 1「はい」を押す

- 削除しないときは 2「いいえ」を押します。

お知らせ

- 貼り付けると入力可能な文字数を超える場合、入力できない文字を含むデータを挿入しようとした場合は、次のいずれかのようになります。
  - エラーメッセージが表示され、挿入されない
  - 入力可能な文字数まで挿入される
  - 入力できない文字がスペースで置き換えられて挿入される（スペースが入力できない場合は削除される）
- 貼り付け直後は ✉［元に戻す］を押して貼り付け前に戻せます。

区点コード入力

区点コードで入力する

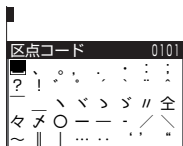
4桁の区点コードを入力し、コードに対応する文字を入力します。

- 区点コード一覧表→P513
- 区点コード一覧の表示は、実際と表示の見え方が異なるものがあります。

〈例〉「洋」（区点コード：4546）を入力する

1 文字入力画面で i［機能］▶「入力方式」を選択し、● を押す

次ページへつづく

2 3DEF さ「区点コード」を押す

区点コード入力画面

3 区点コードを入力し（4GHI た 5JKL な 4GHI た 6MNO は）、● を押す

「洋」が入力されます。

- 区点コード一覧から、 で選択して ● を押しても入力できます。 や で次ページ・前ページを見ることができます。
- 無効な区点コードは入力できません。
- CLR を押すと1文字、CLR を1秒以上押すと4文字の区点コードを消去できます。

■ 文字を連続して複数入力するとき

①区点コードを入力し、 ［連続］を押す
②手順①を繰り返す
③●を押す

ユーザー辞書登録

よく使う単語を登録する

よく使う言葉や単語をユーザー辞書に登録しておくと、変換のときに表示されるようになります。長い言葉などを短い文字で登録しておくと入力が便利です。

- 100件まで登録できます。

単語を新規登録する

〈例〉：「さんよう」を「三洋電機」と変換するように登録する

1 を押す

2 ［新規］を押す

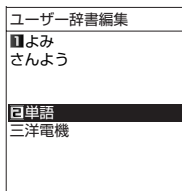
「よみ」入力画面が表示されます。

3 「さんよう」を入力し、●を押す

- 「よみ」は全角ひらがなで20文字まで登録できます。

4 「三洋電機」を入力し、●を押す

- 「単語」は全角20文字（半角40文字）まで登録できます。

確認画面が表示されます。

5 [i]［登録］を押す

お知らせ

- ユーザー辞書一覧では「よみ」の50音順に表示されます。

登録した単語を編集する

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 8 ▶ 3 を押す

2 編集するユーザー辞書を選択し、● を押す

3 1「よみ」または 2「単語」を押す

4 内容を編集し、● を押す

5 [i]［登録］を押す

登録した単語を削除する

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 8 ▶ 3 を押す

2 削除するユーザー辞書を選択し、[✉]［削除］を押す

3 1「1件削除」を押す

■ 選択削除するとき

① 2「選択削除」を押す

② 削除するユーザー辞書を選択し、● を押す

- 解除するときは ● を押します。

③ [i]［実行］を押す

■ 全件削除するとき

① 3「全件削除」を押す

② 端末暗証番号を入力し、● を押す

4 1「はい」を押す

- 削除しないときは 2「いいえ」を押します。

学習情報リセット

学習情報を初期状態に戻す

文字入力で学習した情報をリセットします。絵文字・記号の入力履歴も削除されます。

- リセットされた学習情報は元に戻せません。

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 6 ▶ 1 を押す

次ページへつづく

2 1 「はい」▶端末暗証番号を入力し、● を押す

3 1 「はい」を押す

- 中止するときは 2 「いいえ」を押します。

ダウンロード辞書

ダウンロードした辞書を使用する

ダウンロード辞書を設定しておくと、入力予測で予測候補として表示されるようになります。

- 辞書は、64Kバイトまで、または5件まで設定できます。
- あらかじめ辞書データをダウンロードしておく必要があります。

1 ●▶ 各種設定 ▶ 8 ▶ 4 を押す

2 辞書を選択し、● を押す

- 現在設定されている辞書は▣になっています。解除するには辞書を選択し、● を押します。
- ✉［確認］を押すと、辞書の内容を確認できます。各辞書画面で単語を選択して ● を押すと、その単語の「よみ」を確認できます。

3 i［実行］▶ 1 「はい」を押す

- 中止するときは 2 「いいえ」を押します。

入力予測

入力予測機能を設定する

お買い上げ時	ON

1 ●▶ 各種設定 ▶ 8 ▶ 6 を押す

2 1 「ON」を押す

- 入力予測機能を使わないときは 2 「OFF」を押します。

文字入力中に入力予測を OFF にする

お買い上げ時	入力予測 ON

1 文字入力画面で i［機能］を押す

2 「入力予測 OFF」を選択し、● 押す

- 入力予測機能を使うときは「入力予測 ON」を選択し、● を押します。

お知らせ

- 「入力予測 ON」設定時の文字入力中、変換中に ✉ を押すと、一時的に入力予測 ON ／ OFF を切り替えられます。

2タッチ方式で文字を入力する

お買い上げ時	かな方式

2つのダイヤルキーを押し、その組み合わせで文字を入力します。
- 数字、絵文字、記号、顔文字の入力方法はかな方式と同じです。
- ダイヤルキーの文字割当て一覧→P509

2タッチ方式に設定する

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 8TUVや ▶ 5JKLな を押す

2 2ABCか「2タッチ方式」を押す

文字入力中に2タッチ方式に切り替える

1 文字入力画面で i［機能］▶「入力方式」を選択し、● を押す

2 2ABCか「2タッチ方式」を押す

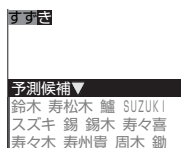
入力モードを切り替える

2タッチ方式で入力中は、漢字ひらがなモード、全角カタカナモード、半角カタカナモード、半角英字モード、かなモードのアイコンが次のように変わります。
- 漢2 ：漢字ひらがなモード
- ア2 ：全角カタカナモード
- ｱｲ2 ：半角カタカナモード
- Aa2 ：半角英字モード
- かな2 ：かなモード

- 入力モードの切り替えかたは、かな方式と同じです。→P480

文字を入力する

〈例〉「鈴木」と入力するとき

1 文字入力画面で「すずき」と入力する

① 3DEFさ ▶ 3DEFさ を押す：「す」が入力されます。
② 3DEFさ ▶ 3DEFさ を押す：「す」が入力されます。
③ ＊゛゜小 を押す：濁点がつきます。
④ 2ABCか ▶ 2ABCか を押す：「き」が入力されます。

- 以降の操作はかな方式と同じです。→P478
- ダイヤルキーの文字割当てについて→P509

付録／外部機器連携／困ったときには

外部機器との連携

音楽再生

困ったときには

メニュー一覧

○：お買い上げ時の状態に戻ります。
　は［i］［機能］を押したときに表示されるメニューです。

機能名	設定リセット	データ一括削除	お買い上げ時の設定	参照先
iモード				
iモード設定				
文字サイズ設定				
iモード	○	○	標準	P210
メッセージ	○	○	標準	P210
スクロール設定	○	○	1行	P211
画像表示設定	○	○	表示する	P210
メッセージ自動表示設定	○	○	メッセージR優先	P213
メッセージ添付メロディ設定	○	○	自動再生する	P213
iモーション自動再生設定	○	○	自動再生する	P306
登録データ利用設定	○	○	利用する	P209
効果音設定	○	○	再生する	P209
iモード問合せ設定	○	○	すべて選択	P271
接続待ち時間設定	○	○	60秒間	P208
接続先設定	○	○	iモード（FOMAカード）	P208
証明書センター接続先設定	○	○	ドコモ	P219
証明書設定	○	○	全選択	P217
ユーザ証明書操作	－	－	－	P218
iモード設定確認	－	－	－	P211
iモード設定リセット	－	－	－	P211
メッセージR	－	○	なし	P214
メッセージF	－	○	なし	P214
画面メモ				
メインフォルダ	－	○	なし	P198
iMenu	－	－	－	P185
Bookmark				
メインフォルダ	－	○	なし	P195
ラストURL	－	○	なし	P188
Internet	－	○	URL履歴：なし URL入力：http://	P193
iモード問合せ	－	－	－	P213
メール				
メール設定				
iモード問合せ設定	○	○	すべて選択	P271
添付ファイル受信設定	○	○	画像とメロディ	P273
メール選択受信設定	○	○	OFF	P271
メロディ自動再生設定	○	○	自動再生する	P273
受信優先設定	○	○	受信通知優先	P274
署名設定	○	○	OFF	P270
引用符編集	○	○	>（半角）	P271
文字サイズ設定	○	○	標準	P274
スクロール設定	○	○	1行	P274
返信自動学習	○	○	OFF	P273

○：お買い上げ時の状態に戻ります。
　は［i］［機能］を押したときに表示されるメニューです。

機能名	設定リセット	データ一括削除	お買い上げ時の設定	参照先
送信グループ登録	○	○	登録なし	P272
SMS送達通知設定	○	○	OFF	P278
SMSメッセージ有効期限	−	−	3日	P279
SMS入力文字種設定	○	○	日本語	P279
SMSセンター設定	−	−	ドコモ	P279
メール設定確認	−	−	−	P275
メール設定リセット	−	−	−	P275
パーソナル検索	−	−	−	P267
SMS新規作成	−	−	−	P275
iモード問合せ	−	−	−	P248
受信BOX				
メインフォルダ	−	○※1	なし	P254
メール新規作成	−	−	−	P230
メール選択受信	−	−	−	P247
送信BOX				
メインフォルダ	−	○※1	なし	P254
デコメールテンプレート	−	削除※2	プリインストールデータ	P239
SMS問合せ	−	−	−	P278
未送信BOX				
メインフォルダ	−	○※1	なし	P254
アドレス履歴	−	○	なし	P268
iアプリ				
iアプリBOX				
メインフォルダ	−	削除※2	プリインストールiアプリ	P288
履歴表示	−	○	なし	P299
ソフト情報表示設定	○	○	表示しない	P287
プライベート				
電話帳				
グループ編集	−	○※1	グループ名：グループ0〜19 グループアイコン：グループ0〜19 グループの各個別着信：OFF	P96
文字サイズ設定	○	○	標準	P101
フォト表示	○	○	フォト表示ON	P101
電話帳データ	○※3	○※1	なし 検索：電話帳検索	P88
時短検索	○	○	頻度順	P100
カレンダー				
スケジュール一覧	−	○	なし	P408
ToDo一覧	−	○	なし	P413
休日設定	○	○	日曜日、2005年／2006年の祝日	P404
シースルー表示	○	○	ON	P404
カレンダー登録画像	○	○	ON	
カメラ撮影画像	○	○	ON	
登録データ表示	○	○	アイコン	P405
リダイヤル	−	○	なし	P52
フォト表示／シースルー表示	○	○	フォト表示ON／シースルー表示ON	

○：お買い上げ時の状態に戻ります。

（網掛け）は ［i］［機能］を押したときに表示されるメニューです。

機能名	設定リセット	データ一括削除	お買い上げ時の設定	参照先
着信履歴	−	○	なし	P62
フォト表示／シースルー表示	○	○	フォト表示ON／シースルー表示ON	
受信アドレス履歴	−	○	なし	P268
フォト表示／シースルー表示	○	○	フォト表示ON／シースルー表示ON	
送信アドレス履歴	−	○	なし	P268
フォト表示／シースルー表示	○	○	フォト表示ON／シースルー表示ON	
データBOX（フォルダ／データ一覧画面で）				
プログラム再生	○	○	ランダム再生OFF、再生回数：1回	P377
表示切替	○	○	12分割表示	P334、343、353
ファイルソート	○	○	日付順（新→旧）	P372
ポイント再生	○	○	フルコーラス再生	P359
マイピクチャ				
iモード	−	○	なし	P334
カメラ	−	○	なし	
デコメールピクチャ	−	削除※2	プリインストールデータ	
プリインストール	−	○	プリインストールデータ	
データ交換	−	○	なし	
アイテム	−	○	なし	
ユーザーフォルダ	−	○	なし（フォルダ自体がありません）	
iモーション				
iモード	−	○	なし	P343
カメラ	−	○	なし	
プリインストール	−	○	プリインストールデータ	
データ交換	−	○	なし	
ユーザーフォルダ	−	○	なし（フォルダ自体がありません）	
メロディ				
iモード	−	○	なし	P358
プリインストール	−	○	プリインストールデータ	
データ交換	−	○	なし	
ユーザーフォルダ	−	○	なし（フォルダ自体がありません）	
キャラ電	−	削除※2	プリインストールデータ	P352
GPS				
通知／提供設定				
現在地通知	−	−	−	P322
現在地通知設定				
現在地通知先一覧	−	○	なし	P322
ワンタッチ通知先設定	○	○	なし	P325
測位モード設定	○	○	標準モード	P324
定期現在地通知設定	○	○	無効	P325
位置提供設定				
位置提供可否設定	○	○	位置提供機能OFF	P319
測位モード設定	○	○	標準モード	P320
接続先番号設定	○	○	契約時番号	P321
サービス利用設定	−	−	−	P320

○：お買い上げ時の状態に戻ります。

（色付き欄）は［i］［機能］を押したときに表示されるメニューです。

機能名	設定リセット	データ一括削除	お買い上げ時の設定	参照先
位置履歴	－	○	なし	P326
現在地確認設定				
GPSボタン設定	○	○	位置サイト接続	P312
位置サイト設定	－	○	1件	P313
ワンタッチ位置サイト設定	○	○	ドコモの地図	P314
測位モード設定	○	○	標準モード	P315
GPSソフト	－	○	なし	P319
現在地確認	－	－	－	P310
ナビゲーション	－	－	－	P315
ツール				
簡易電卓	－	－	－	P422
アラーム	○	○	OFF	P398
英単語辞書				
和英辞書	－	－	－	P427
英和辞書	－	－	－	
カタカナ英語辞書	－	－	－	
英単語クイズ	○	○	レベル1挑戦中、挑戦回数0回	P428
カメラde辞書	－	－	－	P428
ボイスレコーダー				
録音				
マイク感度	○	○	広域用	P385
保存先設定	○	○	データBOX→iモーション→カメラ	P385
再生	－	－	－	P386
miniSD				
miniSDデータ	－	－	－	P362
PIMデータ	－	－	－	
インポートフォルダ	－	－	－	
DPOFプリント予約	－	－	－	P390
オリジナルデータ				
メニューアイコン	－	○	プリインストールデータ	P359
祝日データ	－	○	なし	P360
辞書	－	○	なし	P360
赤外線通信	－	－	－	P378
プリントモード	－	－	－	P388
バーコードリーダー				
保存データ	－	○	なし	P170
カメラ				
フォト撮影				
カメラモード	－	－	フォト撮影	－
サイズ選択	○	○	待受画面（240×320）	P162
画質選択	○	○	ノーマル	P162
シーンセレクト	－	－	標準	P163
連続撮影	－	－	OFF	P155
フレーム撮影	－	－	フレームなし	P157
特殊効果※4	－	－	効果なし	P164
セルフタイマー※4	－	－	OFF	P164

次ページへつづく

○：お買い上げ時の状態に戻ります。
　は［i］［機能］を押したときに表示されるメニューです。

機能名	設定リセット	データ一括削除	お買い上げ時の設定	参照先
日付スタンプ	○	○	OFF	P167
位置情報埋め込み	−	−	位置情報なし	P167
ホワイトバランス※4	−	−	自動	P165
シャッター音	○	○	カシャ	P167
自動保存※4	○	○	自動保存OFF	P165
保存先設定	○	○	データBOX→マイピクチャ→カメラ	P166
拡大表示※4	−	−	等倍	P153
ファイル制限※4	−	−	なし	P167
ライト／フラッシュ	−	−	フラッシュ AUTO	P161
かがみ画像表示	−	−	普通画像表示	P154
カメラ切替※4	−	−	アウトカメラ	P153
画面切替	−	−	標準画面	P153
ズーム※4	−	−	ワイド	P160
明るさ調整※4	−	−	±0	P161
ムービー撮影				
カメラモード	−	−	ムービー撮影	P157
サイズ選択	○	○	QCIF（176×144）	P162
ファイルサイズ制限	○	○	iモードメール添付	P162
撮影モード	○	○	標準	P162
撮影種別	−	−	映像＋音声	P158
マイク感度	○	○	広域用	P158
開始／終了音	○	○	ピピッ	P167
保存先設定	○	○	データBOX→iモーション→カメラ	P166
ライト	−	−	OFF	P161
バーコードリーダー				
保存データ	−	○	なし	P170
文字リーダー				
保存データ	−	○	なし	P175
メモメニュー				
伝言メモ設定	○	○	OFF	P71
応答時間	○	○	8秒	P72
応答メッセージ	○	○	標準	P73
伝言メモ再生				
保存データ	−	○	なし	P74
待受中音声メモ録音	−	−	−	P418
待受中音声メモ再生				
保存データ	−	○	なし	P419
通話中音声メモ再生				
保存データ	−	○	なし	P419
テキストメモ				
保存データ	−	○	なし	P423
ダイヤルメモ				
保存データ	−	○	なし	P65
自局情報表示				
保存データ	−	○	なし	P416

○：お買い上げ時の状態に戻ります。
　は [i] ［機能］を押したときに表示されるメニューです。

機能名	設定リセット	データ一括削除	お買い上げ時の設定	参照先
各種設定				
音／バイブレータ				
音量設定				
受話音量	○	○	LEVEL3	P111
音声着信	○	○	LEVEL3	
テレビ電話着信	○	○	LEVEL3	
公衆電話着信	○	○	LEVEL3	
非通知設定着信	○	○	LEVEL3	
通知不可能着信	○	○	LEVEL3	
メール着信	○	○	LEVEL3	
メッセージR着信	○	○	LEVEL3	
メッセージF着信	○	○	LEVEL3	
ボタン確認音	○	○	LEVEL3	
オープントーン	○	○	LEVEL3	
クローズトーン	○	○	LEVEL3	
OK トーン	○	○	LEVEL3	
NG トーン	○	○	LEVEL3	
充電確認音	○	○	LEVEL3	
現在地確認	○	○	LEVEL3	
現在地通知	○	○	LEVEL3	
定期現在地通知	○	○	LEVEL3	
位置提供／通知	○	○	LEVEL3	
位置提供／確認	○	○	LEVEL3	
一括設定	○	○	LEVEL3	
音設定				
音声着信	○	○	カントリーロード	P108
テレビ電話着信	○	○	宝石	
公衆電話着信	○	○	交響曲第25番ト短調	
非通知設定着信	○	○	交響曲第25番ト短調	
通知不可能着信	○	○	交響曲第25番ト短調	
メール着信	○	○	ファンタジー	
メッセージR着信	○	○	ハープ	
メッセージF着信	○	○	ハープ	
ボタン確認音	○	○	ピポパ	P112
オープントーン	○	○	オープントーン1	P109
クローズトーン	○	○	クローズトーン1	
OK トーン	○	○	ON	P113
NG トーン	○	○	ON	
充電確認音	○	○	充電確認音1	P113
応答保留音	○	○	応答保留音1	P67
通話中保留音	○	○	通話中保留音1	P68
現在地確認	○	○	ストリート	P109
現在地通知	○	○	モールス	
定期現在地通知	○	○	モールス	
位置提供／通知	○	○	モールス	
位置提供／確認	○	○	スタイリッシュ	

次ページへつづく

○：お買い上げ時の状態に戻ります。
 は［i］［機能］を押したときに表示されるメニューです。

機能名	設定リセット	データ一括削除	お買い上げ時の設定	参照先
バイブレータ設定				
音声着信	○	○	OFF	P111
テレビ電話着信	○	○	OFF	
公衆電話着信	○	○	OFF	
非通知設定着信	○	○	OFF	
通知不可能着信	○	○	OFF	
メール着信	○	○	OFF	
メッセージR着信	○	○	OFF	
メッセージF着信	○	○	OFF	
現在地確認	○	○	OFF	
現在地通知	○	○	OFF	
定期現在地通知	○	○	OFF	
位置提供／通知	○	○	OFF	
位置提供／確認	○	○	OFF	
LED設定				
音声着信	○	○	パターン：メロディ連動 カラー：1	P126
テレビ電話着信	○	○	パターン：メロディ連動 カラー：1	
公衆電話着信	○	○	パターン：メロディ連動 カラー：1	
非通知設定着信	○	○	パターン：メロディ連動 カラー：1	
通知不可能着信	○	○	パターン：メロディ連動 カラー：1	
メール着信	○	○	パターン：メロディ連動 カラー：1	
メッセージR着信	○	○	パターン：メロディ連動 カラー：1	
メッセージF着信	○	○	パターン：メロディ連動 カラー：1	
お知らせLED	○	○	OFF	P127
不在着信	○	○	－	
メール	○	○	－	
アラーム	○	○	－	
iアプリ	○	○	－	
ソフトウェア	○	○	－	
通話イルミネーション	○	○	OFF	P127
現在地確認	○	○	パターン：パターン1 カラー：カラー1	P126
現在地通知	○	○	パターン：パターン1 カラー：カラー1	
定期現在地通知	○	○	パターン：パターン1 カラー：カラー1	
位置提供／通知	○	○	パターン：パターン1 カラー：カラー1	

○：お買い上げ時の状態に戻ります。
　は［i］［機能］を押したときに表示されるメニューです。

機能名	設定リセット	データ一括削除	お買い上げ時の設定	参照先
位置提供／確認	○	○	パターン：パターン１ カラー：カラー１	P126
通知時間設定				
メール着信	○	○	５秒	P114
メッセージR着信	○	○	５秒	
メッセージF着信	○	○	５秒	
現在地確認	○	○	５秒	
現在地通知	○	○	５秒	
定期現在地通知	○	○	５秒	
位置提供／通知	○	○	５秒	
位置提供／確認	○	○	５秒	
マナー	○	○	サイレントバイブ 連続モード	P115
呼出バイブ	○	○	OFF	P112
ディスプレイ				
待受画面設定				
壁紙設定	○	○	シンプル	P117
音量調節	○	○	LEVEL3	P117
iアプリ待受画面設定	○	○	設定なし	P294
時計／カレンダー設定	○	○	デジタル時計（小）	P118
スクリーンセーバー	○	○	OFF	P119
発着信画面設定				
音声発信	○	○	発信（音声）	P120
音声着信	○	○	着信（音声）	
テレビ電話発信	○	○	発信（テレビ電話）	
テレビ電話着信	○	○	着信（テレビ電話）	
公衆電話着信	○	○	着信（番号表示なし）	
非通知設定着信	○	○	着信（番号表示なし）	
通知不可能着信	○	○	着信（番号表示なし）	
背面時計設定	○	○	時計	P121
背面通知表示	○	○	ON	P121
背面明るさ設定	○	○	LEVEL3	P122
照明				
照明設定				
画面／キー照明	○	○	ON	P122
照明時間	○	○	10秒	
常時点灯設定				
充電器接続	○	○	OFF	P123
テレビ電話	○	○	ON	
iモード	○	○	OFF	
メール	○	○	OFF	
iアプリ	○	○	OFF	
省電力設定	○	○	30秒	P123
テイスト設定	○	○	シンプル	P123

○：お買い上げ時の状態に戻ります。

　は［i］［機能］を押したときに表示されるメニューです。

機能名	設定リセット	データ一括削除	お買い上げ時の設定	参照先
セキュリティ				
端末暗証番号変更	−	−	0000	P131
シークレットモード	○	○	OFF	P138
セルフモード	○	○	OFF	P136
オールロック	−	−	OFF	P135
ダイヤル発信制限	○	○	OFF	P137
FOMAカード（UIM）				
PIN1コード変更	−	−	0000	P132
PIN2コード変更	−	−	0000	
PIN1コード入力設定	−	−	OFF	P132
発着信履歴表示	○	○	ON	P138
PIMロック	○	○	OFF	P136
着信拒否設定				
電話帳指定	○	○	OFF	P139、140
電話帳登録外	○	○	OFF	P142
非通知設定	○	○	OFF	P141
公衆電話	○	○	OFF	
通知不可能	○	○	OFF	
通話／通信				
エニーキーアンサー	○	○	ON	P61
開閉通話設定				
オープン通話	○	○	OFF	P61
クローズ動作				
音声通話	○	○	切断	P61
テレビ電話	○	○	切断	
通話品質調整機能				
通話品質アラーム	○	○	アラーム高音	P113
再接続機能	○	○	アラーム高音	P58
ノイズキャンセラ	○	○	ON	P59
着信音出力先切替	○	○	イヤホン	P114
呼出動作開始時間				
無音時間設定	○	○	OFF	P141
無音着信履歴表示	○	○	ON	P142
プレフィックス設定	−	○	なし	P57
サブアドレス設定	○	○	ON	P58
オート着信	○	○	OFF	P425
通話時間表示	○	○	ON	P422
時間／料金	−	○※5	前回／積算通話時間：0秒 前回通話料金：￥XXX□XXX□XXX	P421
USBモード設定	○※6	○※6	通信モード	P370、446
国際ダイヤル設定				
自動付加設定	○	○	ON	P56
国際電話設定	○	○	名称：WORLD CALL 番号：009130010	P56

○：お買い上げ時の状態に戻ります。
　は i ［機能］を押したときに表示されるメニューです。

機能名	設定リセット	データ一括削除	お買い上げ時の設定	参照先
時計				
日付時刻設定	−	−	未設定	P46
GPS時刻設定	○	○	OFF	P46
オートパワー ON	○	○	OFF	P398
オートパワー OFF	○	○	OFF	
リセット				
学習情報リセット	−	−	−	P491
データ一括削除	−	−	−	P426
設定リセット	−	−	−	P426
テレビ電話				
発信時自画像送信設定	○	○	ON	P86
音声自動再発信設定	○	○	OFF	
テレビ電話画面設定	○	○	両方	
画面サイズ設定	○	○	拡大表示	
送信画質設定	○	○	標準	
テレビ電話画像選択				
代替画像	○※7	カメラオフ（テレビ電話）	ブンブン（Dimo）	P80
テレビ電話伝言メモ画像	○	○	伝言メモ（テレビ電話）	P84
応答保留画像	○	○	応答保留（テレビ電話）	
通話中保留画像	○	○	通話中保留（テレビ電話）	
文字入力				
定型文編集	−	○	定型文一覧	P486
顔文字編集	−	○	顔文字一覧	P486
ユーザー辞書編集	−	○	なし	P490
ダウンロード辞書	○※8	○	なし	P492
入力方式	○	○	かな方式	P493
入力予測	○	○	ON	P492
ユーザー補助				
ソフトウェア更新	−	−	−	P530
設定状況確認	−	−	−	P425
電池レベル表示	−	−	−	P43
Select language	−	−	日本語	P128
音声読み上げ設定	○	○	ON	P430
スピード	○	○	標準	
音量	○	○	LEVEL3	
声質	○	○	低い	
スピーカー／レシーバー切替	○	○	スピーカー	
ボイス通知	○	○	時刻	P429
ガイド機能	−	−	−	P35
NWサービス				
留守番電話				
留守番サービス開始	−	−	−	P433
留守番呼出時間設定	−	−	−	P433
留守番サービス停止	−	−	−	P433
留守番設定確認	−	−	−	P434

○：お買い上げ時の状態に戻ります。
は［i］［機能］を押したときに表示されるメニューです。

機能名	設定リセット	データ一括削除	お買い上げ時の設定	参照先
留守番メッセージ再生	−	−	−	P434
留守番サービス設定	−	−	−	P434
メッセージ問合せ	−	−	−	P434
件数増加鳴動設定	○	○	シロフォン	P434
表示消去	−	−	−	P434
着信通知				
着信通知開始	−	−	−	P435
着信通知停止	−	−	−	
着信通知設定確認	−	−	−	P435
キャッチホン				
キャッチホン開始	−	−	−	P435
キャッチホン停止	−	−	−	
キャッチホン設定確認	−	−	−	P435
転送でんわ				
転送サービス開始				
転送先変更	−	−	−	P437
呼出時間設定	−	−	−	P437
開始	−	−	−	
転送サービス停止	−	−	−	P437
転送先変更	−	−	−	P437
転送先通話中時設定	−	−	−	P437
転送サービス設定確認	−	−	−	P437
迷惑電話ストップ				
迷惑電話着信拒否登録	−	−	−	P438
迷惑電話全登録削除	−	−	−	P438
迷惑電話１登録削除	−	−	−	
発信者番号通知				
番号通知設定確認	−	−	−	P438
発信者番号通知設定	−	−	−	P438
番号通知お願いサービス				
番号通知お願い開始	−	−	−	P439
番号通知お願い停止	−	−	−	
番号通知お願い確認	−	−	−	P439
通話中着信設定				
通話中着信設定開始	−	−	−	P441
通話中着信設定停止	−	−	−	
通話中着信設定確認	−	−	−	P441
着信動作選択	○	○	通常着信	P440
通常着信	−	−	−	
留守番電話	−	−	−	
転送でんわ	−	−	−	
着信拒否	−	−	−	
遠隔操作設定				
遠隔操作開始	−	−	−	P441
遠隔操作停止	−	−	−	
遠隔操作設定確認	−	−	−	P441

○：お買い上げ時の状態に戻ります。
　は [i]［機能］を押したときに表示されるメニューです。

機能名	設定リセット	データ一括削除	お買い上げ時の設定	参照先
デュアルネットワーク				
デュアルネットワーク切替	－	－	－	P439
デュアルネットワーク状態確認	－	－	－	P439
英語ガイダンス				
ガイダンス設定				
発信＋着信	－	－	－	P440
発信のみ	－	－	－	
着信のみ	－	－	－	
ガイダンス設定確認	－	－	－	P440
追加サービス				
追加サービス	－	○	なし	P441
応答メッセージ設定	－	○	なし	P442
サービスダイヤル				
ドコモ故障問合せ	－	－	－	P440
ドコモ総合案内・受付	－	－	－	P440
マルチナンバー				
通常発信番号設定				
基本契約者番号	－	－	－	P441
付加番号１	○	○	名称：付加番号１ 番号：なし、音：OFF	
付加番号２	○	○	名称：付加番号２ 番号：なし、音：OFF	
通常発信番号設定確認	－	－	－	
メインメニュー、メールメニュー、iモードメニュー、GPSメニュー				
メニュー説明表示	○	○	メニュー説明表示ON	P126
メニューアイコン	○	○	シンプル （メインメニュー、メールメニュー、 iモードメニュー、GPSメニュー）	P125
並べ替え	○	○	－	P124
ジャンプメニュー	○	○	アラーム、カレンダー、簡易電卓 デコメールテンプレート、 カメラde辞書、ボイス通知	P415
マナーモード	○	○	OFF	P114
ドライブモード	○	○	OFF	P69
サイドキー操作	○	○	有効	P138
貼り付け一覧	－	○	なし	P489
文字入力				
学習情報	－	○	なし	P491
絵文字／記号一覧履歴	－	○	なし	P482、483

次ページへつづく

○：お買い上げ時の状態に戻ります。
は [i]［機能］を押したときに表示されるメニューです。

機能名		設定リセット	データ一括削除	お買い上げ時の設定	参照先
テレビ電話通話中					
	画面表示位置切替	○	○	親画面：相手画像 子画面：自画像	P85

※１ FOMAカードに保存しているデータは削除されません。
※２ お買い上げ時に登録されていたファイルも削除されます。
※３ 個別着信設定、画像設定は設定リセット対象外です。
※４ 動画撮影時と共通の機能です。
※５ 積算通話料金は、お買い上げ時の状態に戻りません。
※６ FOMA USB接続ケーブル（別売）接続中はリセットされません。
※７ 「ブンブン（Dimo）」が削除されているときは「カメラオフ（テレビ電話）」になります。
※８ 設定のみリセットされます。

ダイヤルキーの文字割当て一覧（かな方式）

ダイヤルキーを必要回数押して文字を入力します。
カタカナ・英字・数字モードでは入力モードに従って、全角文字または半角文字が入力されます。

キー	入力モード				
	漢字ひらがな	カタカナ	英字（大文字）	英字（小文字）	数字
1	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	．＠－＿／：～１ .@-_/:~1	．＠－＿／：～１ .@-_/:~1	1
2	かきくけこ	カキクケコ	ABC2	abc2	2
3	さしすせそ	サシスセソ	DEF3	def3	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	GHI4	ghi4	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	JKL5	jkl5	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNO6	mno6	6
7	まみむめも	マミムメモ	PQRS7	pqrs7	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUV8	tuv8	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZ9	wxyz9	9
0	わをんゎ、。ー・～！？□	ワヲンヮ、。ー・～！？□ ﾜｦﾝ､｡ｰ-･~!?□	0	0	0
＊	゛（濁点）　゜（半濁点） 大文字・小文字の切替		大文字・小文字の切替		
＃	文字確定前：入力した文字をキーに割り当てられた１つ前の文字にする 文字確定後：改行※１				改行※１
絵文字キー	絵文字／記号／顔文字の挿入				

• □はスペースです。
• 入力画面により、入力できない文字や記号は表示されません。
• ＊・＃は電話番号入力画面では「＊」・「＃」の入力になります。
• は半角モードで入力した場合です。
※１ 一部の入力画面では改行できないことがあります。

ダイヤルキーの文字割当て一覧（2タッチ方式）

■ 漢字ひらがなモード、かなモード（[漢] [かな]※3表示時）

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	?	!	ー	／
7	ま	み	む	め	も	¥	&		☎	
8	や	(	ゆ	)	よ	*	#		♥	※1
9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
0	わ	を	ん	゛ ※2	゜ ※2	6	7	8	9	0

- 空欄はスペースです。

※1 [8] ▶ [0] と押すと、大文字／小文字入力を切り替えます。小文字で入力できるのは　の文字です。文字を入力してから [*] を押しても大文字／小文字入力を切り替えられます。
例：「ぁ」を入力する場合→ [8] ▶ [0] ▶ [1] ▶ [1] または [1] ▶ [1] ▶ [*]

※2 「゛」と「゜」は、小文字モードでは「,」と「。」の入力になります。

※3 [かな] 表示時はひらがな以外入力無効です。

■ 全角カタカナモード、半角カタカナモード、半角英字モード（[ア] [ｱｲ] [Aa]※3表示時）

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ア	イ	ウ	エ	オ	A	B	C	D	E
2	カ	キ	ク	ケ	コ	F	G	H	I	J
3	サ	シ	ス	セ	ソ	K	L	M	N	O
4	タ	チ	ツ	テ	ト	P	Q	R	S	T
5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	U	V	W	X	Y
6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	Z	?	!	ー	／
7	マ	ミ	ム	メ	モ	¥	&		☎	
8	ヤ	(	ユ	)	ヨ	*	#		♥	※1
9	ラ	リ	ル	レ	ロ	1	2	3	4	5
0	ワ	ヲ	ン	゛ ※2	゜ ※2	6	7	8	9	0

- 空欄はスペースです。

※1 [8] ▶ [0] と押すと、大文字／小文字入力を切り替えます。小文字で入力できるのは　の文字です。文字を入力してから [*] を押しても大文字／小文字入力を切り替えられます。
例：「ァ」を入力する場合→ [8] ▶ [0] ▶ [1] ▶ [1] または [1] ▶ [1] ▶ [*]

※2 「゛」と「゜」は、小文字モードでは「,」と「。」の入力になります。

※3 [Aa] 表示時は英字・数字・記号以外入力無効です。

お知らせ

- 入力画面によって入力できない文字があります。
- 半角カタカナモード以外で「゛」・「゜」は単独で入力できません。

記号・絵文字一覧

■ 記号一覧

半 角
␣ ! ” # $ % & ’ ( ) * + , − . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~ 。 「 」 、 ・ ー ゛ ゜

全 角			
␣、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～∥｜…‥‘’“”（）〔	〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃¥＄¢£％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲	▽▼※〒→←↑↓〓∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨¬⇒⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶◯ゎゐゑヮヰヱヴ	ヵヶΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤΥΦΧΨΩαβγδεζηθικλμνξοπρστυφχψωАБВГД
ЕЁЖЗИЙКЛМНОПРСТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮЯабвгдеёжзийклмнопрстуфхцчшщ	ъыьэюя─│┌┐┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣┳┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸╂	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩ㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻㎜㎝㎞㎎㎏㏄㎡㍻〝	〟№㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹㍾㍽㍼∮∟⊿

• ␣はスペースです。

■ 絵文字一覧

絵文字1
（絵文字）

絵文字2
（絵文字）

お知らせ

• 「絵文字」をｉモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。ｉモード端末でも相手の機種によっては正しく表示されないことがあります。

顔文字一覧

カテゴリ	内　容
笑い	o(^−^)o (^0^) (^0^)／ (*^_^*) (^_^)v
泣き	(T_T) (ToT) (>_<) (;_;) (∋_∈)
怒り	(｀ε´) (｀へ´) (−_−#) (−″−;) (｀o´)
挨拶	(−^〇^−) (*^o^*) (‘o ‘)ノ (・o・)ノ (˜つ˜)/

カテゴリ	内　容
汗	(^_^;) (−.−;) (^。^;) (−o−;) f^_^;
えっ？	(・_・)エッ..? (・_・;) (*_*) (?_?) (￣〇￣;)
その他	(−.−)zzZ m(_ _)m ZZzz。。.. V(^−^)V (^ з ^)−☆Chu!!

定型文一覧

カテゴリ	内容
インターネット	@docomo.ne.jp
	.ne.jp
	.co.jp
	.com
	.or.jp
	.ac.jp
	http://
	www.
	http://www.
挨拶	ありがとうございました
	おはようございます
	お疲れ様です
	こんにちは
	こんばんは
	おやすみなさい
	Happy birthday!
	A HAPPY NEW YEAR!
	Merry Christmas!
伝言	連絡ください
	携帯に電話して
	メールして
	あとで電話するね
	またメールするね
	遅れます
	すぐ行きます
	迎えにきて！
	がんばって！！

カテゴリ	内容
返事	Thank you!
	ありがとう
	ごめんなさい
	ＯＫ！
	ＮＧ！
	了解！
	ゴメン！
	大丈夫！
	今電話できない
ビジネス	いつもお世話になっております。
	至急電話ください。
	電車遅延のため、遅れます。
	申し訳ありません。
	よろしくお願いいたします。
	後ほどご連絡いたします。
	変更します。
	中止します。
	延期します。
自由固定文	

区点コード一覧

区点コード入力について→P489

区点 1~3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а

区点 1~3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
					あ					
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
					い					
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
					う					
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
					え					
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
					お					
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
					か					
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥

区点 1~3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
					き					
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
					く					
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
					け					
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
					こ					
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐

次ページへつづく

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	さ									
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	し									
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	す									
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	せ									
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
	そ									
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
	た									
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	ち									
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	つ									
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	て									
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	と									
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
	な									
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
	に									
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
	ぬ～の									
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
	は									
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	ひ									
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
	ふ									
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	へ									
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
	ほ									
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
ゆ										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る～れ										
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
ろ										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
わ										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					

次ページへつづく

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
716	艚	艝	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

マルチアクセスの組み合わせについて

マルチアクセスで使用できる機能の組み合わせは次のとおりです。

○：現在の通信状態のまま、新たに発生した通信を実行できます。

×：実行できません。

			現在の通信状態				
			音声通話中	テレビ電話中	パケット通信中	64Kデータ通信中	iモード中
新たに発生した通信	音声電話	発信	×※1	×	○	×	○
		着信	×※2	×※3	○	×※3	○
	テレビ電話	発信	×	×	×	×	○※8
		着信	×※3	×※4	×※4	×※4	×※4
	パケット通信	発信	○	×	×	×	×
	64K データ通信	発信	×	×	×	×	×
		着信	×※3	×※4	×※4	×※4	×※4
	iモード接続		○	×	×	×	×
	iモードメール	送信	○	×	×	×	○※7
		受信※5	○※6	×	×	×	○※7
	SMS	送信	○	×	○	○	○
		受信	○※6	○※6	○	○※6	○

※1 キャッチホンをご契約されている場合、現在の通話を保留し、別の相手に電話をかけられます。

※2 キャッチホンをご契約されている場合、通話中にかかってきた電話を受けられます。また、留守番電話サービス、転送でんわサービスをご契約の場合は着信動作選択で設定しておくと、各サービスで対応できます。

※3 キャッチホンをご契約されている場合、現在の通話／通信を終了すると着信を受けられます。また、転送でんわサービスをご契約の場合は着信動作選択で設定しておくと対応できます。

※4 着信があった場合は、着信履歴に不在着信として残ります。

※5 メッセージR/F受信の場合も含みます。

※6 着信音は鳴らず、受信したことをアイコンまたは受信画面でお知らせします。

※7 iモード設定のユーザ証明書操作を起動中は、iモードメール／メッセージR/Fの送受信、iモード問合せはできません。

※8 テレビ電話をかけると、iモード通信を切断します。通話を終了するとiモードの画面に戻ります。

マルチタスクの組み合わせについて

現在実行中／設定中の機能ごとに、新規起動できるタスクメニュー項目の選択可否を次に示します。

○：起動・切り替えができます。　×：起動できません。

新規起動タスクメニュー ＼ 実行中の機能	ダイヤル入力中	音声電話中	テレビ電話中	iモード中	iアプリ起動中	メール作成中※5	メール・メッセージ閲覧中※5	メール・メッセージ受信中※5／iモード問合せ／メール送信中※5	ツール（1）／カメラ※7／データBOX	ツール（2）／プライベート／メモメニュー	自局情報表示	GPS（1）	GPS（2）
ダイヤル入力	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メール※5（1）	○	○	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	×
iモード（1）	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×
メール※5（2）／iモード（2）	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
メール※5（3）／iモード（3）	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○※9
メール※5（4）	○	○	×	○	○	×	○※8	○※1	○	○	○	○	○
iアプリ	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×
データBOX／カメラ／ツール（1）	○	○※2	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
メモメニュー／プライベート／ツール（2）	○	○※3	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
自局情報表示	○	○	○※6	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
GPS（1）	○	○	○※4	○	○	○	○	○	○	○	○	○※4	○※4
GPS（2）	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×

メール（1）　：メール選択受信
メール（2）　：受信BOX、送信BOX、未送信BOX、パーソナル検索
メール（3）　：iモード問合せ、SMS問合せ
メール（4）　：メール新規作成、デコメールテンプレート
iモード（1）：iMenu、Bookmark、Internet、画面メモ、ラストURL
iモード（2）：メッセージR、メッセージF
iモード（3）：iモード問合せ
カメラ　　　：フォト撮影、ムービー撮影、バーコードリーダー、文字リーダー
ツール（1）　：和英辞書、英和辞書、カタカナ英語辞書、英単語クイズ、カメラde辞書、ボイスレコーダー、miniSD、バーコードリーダー
ツール（2）　：簡易電卓、アラーム
メモメニュー：伝言メモ再生、待受中音声メモ録音、待受中音声メモ再生、通話中音声メモ再生、テキストメモ、ダイヤルメモ
プライベート：電話帳、カレンダー、リダイヤル、着信履歴、受信アドレス履歴、送信アドレス履歴
GPS（1）　：現在地確認、位置履歴、現在地通知、現在地通知先一覧
GPS（2）　：ナビゲーション、GPSソフト、位置サイト設定、サービス利用設定

※1 メール送信中は起動できません。
※2 音声通話中は以下の項目の起動ができません。
- データBOX　- ムービー撮影　- 文字リーダー　- カメラde辞書　- ボイスレコーダー　- miniSD

※3 音声通話中は以下の項目の起動ができません。
- 伝言メモ再生　- 待受中音声メモ録音　- 待受中音声メモ再生　- 通話中音声メモ再生

※4 「現在地通知」のみ起動できます。
※5 iモードメール、SMSを含みます。
※6 編集はできません。
※7 静止画の連続撮影中、動画撮影中は新規タスクを起動できません。
※8 デコメールテンプレートは起動できません。
※9 iモード問い合わせ中は、サービス利用設定の起動ができません。

FOMA端末から利用できるサービス

ご利用になれるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内 およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料） （電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません）	（局番なし）104
電報の発信（有料）　午前8時〜午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きた時の緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

お知らせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります（2005年9月現在）。
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100　円（税込105円）に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳しくは一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください（2005年9月現在）。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、発信場所が特定できません。警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていること・電話番号・明確な現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように立ち止まって通報し、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の転送電話をご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください（一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話は利用できます）。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなどの窓口などへお問い合わせください。また、オプション機器の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01/P02
- 平型ステレオイヤホンセット P01
- スイッチ付イヤホンマイク P001※1/P002※1
- ステレオイヤホンセット P001※1
- イヤホンターミナル P001※1
- イヤホンジャック変換アダプタP001
- 車載ハンズフリーキット01※2
- FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル01
- FOMA海外兼用 ACアダプタ 01
- FOMA室内用補助アンテナ
- FOMA USB接続ケーブル
- 電池パック SA01
- 車内ホルダ SA01
- 卓上ホルダ SA01
- リアカバー SA01
- FOMA AC アダプタ 01
- FOMA DC アダプタ 01
- FOMA乾電池アダプタ 01

※1 SA700iSと接続するにはイヤホンジャック変換アダプタ P001が必要です。
※2 SA700iSと接続するにはFOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル01が必要です。

データリンクソフトのご紹介

データリンクソフトを使って、電話帳・スケジュール・メール・メロディ・静止画・動画などのデータをパソコンとFOMA端末間でやりとりできます。
データリンクソフトはホームページからダウンロードすることができます。(FOMA端末のインターネット機能ではダウンロードできません。パソコンをお使いください。)

- 転送には「FOMA USB接続ケーブル(別売)」でFOMA端末とパソコンを接続する必要があります。赤外線通信では使用できません。
- iモード・iアプリにてダウンロードした情報など、著作権法によりFOMA端末外への出力を禁止されている静止画・動画・iモーション・メロディは、パソコンへ転送できません。

ダウンロード方法、転送可能なデータ、動作環境、操作方法、制限事項などの詳細については、下記ホームページまたはデータリンクソフトのヘルプをご覧ください。

三洋電機株式会社テレコムカンパニーのホームページ:http://www.sanyo-keitai.com

■ 対応OS

Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000、Windows XP(各日本語版)

■ ご使用にあたって

三洋電機株式会社は、本ソフトウェアに関する一切の動作・性能・品質上の保証およびお客様が本ソフトウェアを利用する特定の目的に合致しなかった場合の保証をせず、また、いかなる内容の瑕疵担保義務も負いません。また、本ソフトウェアの使用または使用できなかったことにより生じた、直接的、間接的、あるいは特別な損害に対して、いかなる責任も負いません。

データリンクソフトに関するお問合せ

三洋電機株式会社　データリンクソフトサポートセンター

0120-70-2534
受付時間　午前9:00〜午後5:00(土・日・祝日・弊社所定の休日を除く)
・携帯電話、PHSからもご利用になれます。
●ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違えないようおかけください。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画（MP4形式のファイル）を再生するには、アップルコンピュータ（株）のQuick Time™Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3+3GPP）が必要です。QuickTime™Playerは下記のホームページよりダウンロードできます。

http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては、別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細については、上記ホームページを参照してください。

パソコンで作成したiモーション（音楽データ含む）をFOMA端末で再生する

インターネットで購入した楽曲やCDの楽曲などをパソコンなどを利用してminiSDメモリーカードに保存し、FOMA端末で再生することができます。（一部条件下では再生できない場合があります。）

- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（→P361）
- miniSDメモリーカード内に保存した楽曲は、個人使用の範囲内でのみ使用することができます。
- ご利用に当たっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。
- miniSDメモリーカード内に保存した楽曲は、パソコンなど他の媒体に複製または移し替えをしないでください。
- miniSDメモリーカード使用時の注意事項→P361

1 お客様が購入したCDの楽曲などをAAC形式に変換できる市販のソフトウェアなどを利用して変換し、パソコンに保存する

- ソフトウェアの使用方法など詳細については、ソフトウェア提供各社のホームページなどでご確認ください。

2 miniSDメモリーカードをパソコンに挿入し、楽曲ファイルをコピーする

■ 具体的な手順

① 手順1で作成したファイルの名前を「MOLxxx.3gp」に変更する（「xxx」は001～FFFまでの16進数）

② miniSDメモリーカード内の「SD_VIDEO」フォルダ配下の「PRLxxx」フォルダにコピーする

- ファイル名を変更する際は、パソコン上の設定で拡張子を表示させた後に行ってください。
- 「SD_VIDEO」フォルダがminiSDメモリーカード内にない場合は、パソコン上で「SD_VIDEO」フォルダを作成し、さらにその配下に「PRLxxx」フォルダを作成した後、手順①で作成したファイルを「PRLxxx」フォルダにコピーしてください。
- miniSDメモリーカードのフォルダ構成について→P363

3 miniSDメモリーカードをFOMA端末に挿入した状態で

● ▶ ▶ ［miniSD］▶ 「iモーション」▶「PRLxxx」▶楽曲を選択し、iモーション（音楽データ含む）を再生する

- 以下の場合は再生が停止します。
  - 音声電話／テレビ電話の着信があったとき
  - 受信優先設定を「受信通知優先」に設定しているときに、メールを受信したとき
  - 各種アラームが動作したとき
  - タスクキーを押したとき
- 繰り返して音楽を聞くときは、再生中に i［機能］▶ 7「繰り返し再生ON」を押します。

お知らせ

- ご使用になる市販のソフトウェアによっては、楽曲ファイルをFOMA端末で再生できない場合があります。
- FOMA端末では、著作権保護技術で保護された音楽データは再生できません。
- miniSDメモリーカードを取付けたFOMA端末をパソコンに接続し、楽曲ファイルをコピーすることもできます。→P370

故障かな？と思ったら、まずチェック

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックしていただき、必要な場合にはソフトウェア更新してください。（ソフトウェア更新について→P530）

こんなときは	ここをチェックしてください	参照先
FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）	•電池パックが正しく取付けられていますか？ •電池切れになっていませんか？	P38 P44
充電ができない	•電池パックが正しく取付けられていますか？ •充電端子は汚れていませんか？端子部を乾いた綿棒などで清掃してください。	P38 P17
充電しても、すぐに使えなくなる	•卓上ホルダにFOMA端末が正しくセットされていますか？ •電池の寿命がきていませんか？ •充電端子は汚れていませんか？端子部を乾いた綿棒などで清掃してください。 •FOMA端末の扱いかたによって電池の持ち時間は変化します。	P42 P39 P17 P40
ピピピという警告音が鳴っている	•電池が少なくなってきています。充電してください。	P39
キー操作ができない	•FOMA端末の電源が入っていますか？ •オールロックが設定されていませんか？	P44 P135
ダイヤルキーを押しても電話がかけられない	•ダイヤル発信制限が設定されていませんか？ •オールロックが設定されていませんか？ •セルフモードが設定されていませんか？	P137 P135 P136
電話帳をつかって電話がかけられない	•PIMロックが設定されていませんか？ •オールロックが設定されていませんか？ •セルフモードが設定されていませんか？	P136 P135 P136
ダイヤルしたが話中音（プープー音）が出てつながらない	•市外局番を忘れていませんか？ •発信音を聞かず、急いでダイヤルしていませんか？ •「圏外」の表示が出ていませんか？	P50 P50 P44
「圏外」が表示され話中音（プープー音）が出る	•サービスエリア外か電波の弱い場所にいませんか？	P44
通話がとぎれたり、切れる	•電波の届きにくい場所にいませんか？ •電池切れになっていませんか？	P44 P44

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

こんなときは	ここをチェックしてください	参照先
電話の発着信、メールの送受信、iモードの機能が使えない	•電池切れになっていませんか？ •「圏外」の表示が出ていませんか？ •セルフモードが設定されていませんか？	P44 P44 P136
着信音が鳴らない	•着信音量が「OFF」になっていませんか？ •着信音が「OFF」になっていませんか？ •電池切れになっていませんか？ •FOMA端末の電源が入っていますか？ •電話は切ってありますか？保留のままになっていませんか？ •次の機能を設定していませんか？ - 呼出動作開始時間 - 着信拒否設定 •マナーモード中ではありませんか？ •ドライブモード中ではありませんか？ •セルフモード中ではありませんか？ •留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していませんか？	P111 P108 P44 P44 P52 P141 P140、141、142 P114 P69 P136 P433、437
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	•受話音量の設定を変更していませんか？聞き取りやすい受話音量に調節してください。	P64、111
電話がかかってきたとき、設定したとおりの着信動作（着信音、バイブレータ、LED）をしない	•複数の機能で着信動作を設定をしている場合は、次の優先順位で動作を行います。 ① FOMA端末電話帳の個人設定 ② FOMA端末電話帳のグループ別の設定 ③ 音設定／バイブレータ設定／LED設定	－
メールを受信したとき、設定したとおりの受信動作（メール着信音、バイブレータ、LED）をしない	•複数の機能で受信動作を設定をしている場合は、次の優先順位で動作を行います。 ① FOMA端末電話帳の個人設定 ② FOMA端末電話帳のグループ別の設定 ③ 音設定／バイブレータ設定／LED設定 •複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールに設定されている条件に従い動作を行います。 •送信元のメールアドレスを電話帳に正しく登録し、個別メール着信を設定していますか。	－ － P92
ディスプレイが暗くなり、何も表示されない	•省電力状態です。キー操作をすると表示が復帰します。	P123
FOMA端末を折りたたんでいるときに、サイドキーを押しても動作しない	•サイドキー操作が「無効」に設定されていませんか？	P138
キーを押しても操作音が鳴らない	•ボタン確認音を「OFF」に設定していませんか？ •マナーモードを設定していませんか？	P112 P114
日付が英語で表示される	•Select languageを「English」に設定していませんか？	P128
現在地が確認できない	•iモードのお申し込みが必要です。	P308
現在地通知／定期現在地通知（位置通知）、位置提供が利用できない	•位置提供可否設定を「位置提供機能OFF」に設定していませんか？ •iモードのお申し込みが必要となる場合があります。 •GPSサービス利用設定で位置提供に必要な設定をしていますか？	P319 P308 P320
「しばらくお待ちください」が表示されて消えない	•回線が非常に混みあっていますので、しばらくたってからおかけ直しください。なお110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。	－
通話料金が積算されなくなった	•通話料金のFOMAカードへの積算が上限（約1677万円）に達した可能性があります。リセットすることにより、0円に戻すことができます。	P421

エラーメッセージ一覧

こんな表示が出たら

FOMA端末に表示される主なエラーメッセージを50音順に示します。

- エラーメッセージ中の「(数字)」または「XXX」は、iモードセンターより送信されたエラーを区別するためのコードです。

エラーメッセージ	説明と対処法	参照先
FOMAカード(UIM)が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした	サイトなどからダウンロードしたときのFOMAカードと異なるFOMAカードを挿入してiモードやiモードメールなどからiアプリを起動しようとしたときに表示されます。ダウンロードしたときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。	−
FOMAカード(UIM)が異なるためご利用になれません	サイトなどからダウンロード、メールなどの添付ファイルを保存したときのFOMAカードと異なるFOMAカードを挿入して、データBOXから添付ファイルなどを実行しようとしたり、iアプリ一覧からiアプリを起動しようとしたときに表示されます。ダウンロード、ファイルを保存したときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。	−
FOMAカード(UIM)が未挿入です　ご利用になれません	FOMAカードが挿入されていません。FOMAカードを挿入して利用してください。	P36
iモーション再生サイズを超えています	500Kバイトを超えるiモーションデータをダウンロードしようとしたときに表示されます。	−
iモーション再生サイズを超えました	サイズ不明のiモーションデータをダウンロード中に、データが500Kバイトを超えたため受信を中断しました。	−
iモードメールがつながりにくくなっています　しばらくお待ち下さい(555)	iモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。	−
miniSDアクセス不可　保存先をデータBOXに設定します	カメラ、ボイスレコーダーの保存先設定で、保存先をminiSDメモリーカードに設定しているとき、起動時にminiSDメモリーカードが認識できなかったか、miniSDモード中のため、保存先を自動的にデータBOXに切替えます。	−
miniSDが異常もしくは初期化されていません	miniSDメモリーカードが壊れているか、フォーマットが正しくありません。初期化を行ってください。	P369
miniSD容量不足　データを書き込めませんでした	miniSDメモリーカードの空き容量十分でないため、管理ファイルの作成・更新ができません。不要なデータを削除してください。	P374
PIMロック中です	PIMロック中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P136
PIN1コードがロックされています	PIN1コードがロックされているときに電源を入れると表示されます。PINロック解除コードを正しく入力してロックを解除してください。	P133
PINロック解除コードがロックされています	ドコモショップ窓口にお問い合わせください。	P134
SMSセンター設定を確認してください	メール設定の「SMSセンター設定」の設定が誤っています。設定を確認してください。	P279
SSL通信が切断されました	SSL通信中に接続に失敗したか、クライアント認証に関わるサーバ側での認証エラーのため、接続を中断しました。	−
SSL通信が無効です	SSL通信の認証時に問題が検出されました。接続は中止されます。	−
SSL通信が無効に設定されています	FOMA端末の証明書が無効に設定されています。証明書の内容を確認し、設定を変更してください。	P217
SSL通信を切断しました	SSL通信中にサイトの証明書にエラーが発生しました。接続確認画面で2「いいえ」を選択した場合に表示され、SSL通信が切断されます。	−
URLが長すぎて登録できません	ブックマークの登録で入力したURLが256文字を超えています。	P194
URLに誤りがあります	入力したURLが正しくありません。URLを確認してください。	−
アクセスエラー　miniSDの内容を変更できません	読み取り専用のminiSDメモリーカードに書き込みや消去をしようとしたときに表示されます。	−

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

エラーメッセージ	説明と対処法	参照先
宛先をご確認ください	SMSの宛先が誤っているため送信に失敗しました。宛先を確認してください。	−
エラーが発生しました	ネットワークの不具合またはイマドコサーチ等GPSの検索サービスの検索対象に設定されていないため、現在地を送信することができません。	−
エラーが発生しました　再生を終了します　このデータを解除しました	添付ファイル再生時にエラーが発生したため、再生を終了します。	−
応答がありませんでした（408）	サイトやインターネットホームページから規定時間内に応答がなく、接続が中止されました。しばらく待ってから接続し直してください。	−
オート着信設定と同じ秒数のため設定できません	伝言メモとオート着信の応答時間に同じ秒数は設定できません。どちらかの応答時間を変更してください。	P72、425
オートパワーOFFと同じ時刻です／オートパワーONと同じ時刻です	オートパワーOFFとオートパワーONは同じ時刻に設定できません。時刻を変更してください。	P398
カード情報を認識できません	FOMAカードが正しく取付けられていないか、FOMAカードに異常があります。FOMAカードの取付けを確認してください。	P36
画像に誤りがあり正しく動作しません	画像データに誤りがあり、Flash画像を正しく再生できなくなったときに表示されます。	−
規定のアクセス回数を超えたため参照できません（491）	大容量の静止画に規定されているアクセス回数を超えてダウンロードしようとしたときに表示されます。	−
桁数オーバーです　自動付加できません	電話発信時に入力できる桁数は80桁までです。国際ダイヤル設定の自動付加設定を「ON」に設定しているとき、付加した結果の桁数が80を超えていると表示されます。	P56
圏外です	電波の届かない所かFOMAサービスエリア外にいるため実行できません。	−
現在地通知のためキャラ電を代替画像に切替えます	現在地通知を行うときにキャラ電で通話していると表示されます。あらかじめ設定されている代替画像に切り替わります。	−
現在利用不可能となっています	デュアルネットワークが利用不可能なときに表示されます。デュアルネットワークをご利用になるにはお申し込みが必要です。	−
このカードは認識できません	本FOMA端末で使用できないFOMAカードが取付けられているか、FOMAカードが正しく取付けられていないか、FOMAカードに異常があります。FOMAカードの取付けを確認してください。	P36
このサイトとのSSL 通信は無効です	サイトの証明書が書き換えられています。このサイトには接続できません。	−
このサイトの安全性が確認できません　接続しますか	サイトの証明書が、FOMA端末でサポートされていません。接続するときは［1］「はい」を、接続を中止するときは［2］「いいえ」を押します。	−
このサイトは安全でない可能性があります　接続しますか	サイトの証明書が有効期限前か期限を過ぎています。接続するときは［1］「はい」を、接続を中止するときは［2］「いいえ」を押します。	−
この接続先の安全性が確認できません　接続しますか	FOMA端末の証明書の有効期限が過ぎています。接続するときは［1］「はい」を、接続を中止するときは［2］「いいえ」を押します。また、日付・時刻が未設定または間違っている場合にも表示されることがあります。日付・時刻を正しく設定してください。	P46
この接続先は安全でない可能性があります　接続しますか	サイトの証明書のCN名（サーバ名）が実際のサーバ名と一致していません。接続するときは［1］「はい」を、接続を中止するときは［2］「いいえ」を押します。	−
サービス未契約です	iモードをご契約されておりません。iモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。iモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れなおしてください。	P44
サービス未提供です	SMSが未提供です。	−
再生可能日前です　再生できません	再生期間が設定されているiモーションを、再生期間より前に再生しようとしたとき表示されます。再生可能日以降に再生してください。	−
再生制限データに誤りがあるため取得できません	再生制限データが誤っていたり、再生期限／期間が切れているため、このデータを取得できません。	−

次ページへつづく

エラーメッセージ	説明と対処法	参照先
最大サイズを超えたので中断しました	サイトやインターネットホームページのデータが1ページの最大サイズを超えたため受信を中断しました。正常に受信した部分までを表示します。	―
最大サイズを超えています　受信できません（452）	サイトやインターネットホームページのサイズが最大サイズより大きいため、受信できません。	―
サイトが移動しました（301）	サイトやインターネットホームページのURLが変更されています。正しいURLを確認してください。	―
サイトに接続できませんでした（403）	指定のサイトなどのサーバに接続を拒否されました。	―
指定サイトがみつかりません（404）	指定されたサイトが見つかりませんでした。URLが正しいかどうか確認してください。	―
指定サイトに表示データがありません（204）	接続したサイトに表示するデータがありません。	―
指定されたソフトがありません	すでに削除されたiアプリのソフトを、サイトやメール、外部機器からiアプリTo機能で起動しようとしたときに表示されます。	―
指定されたソフトが起動できませんでした	iアプリにエラーが発生し、起動できないときに表示されます。ソフト動作設定や起動条件などに問題がある場合も起動できません。	―
指定したサイトへは接続できませんでした（504）	指定したサイトへの接続に失敗しました。もう一度接続してください。	―
指定したファイルが見つかりません（492）	大容量静止画のダウンロード時に、指定ファイルが見つかりませんでした。	―
受信メールがいっぱいです	受信BOXがいっぱいで新たにメールを受信できません。メールを消去してからiモード問合せをしてください。	―
受信を拒否されました	SMSセンターにSMSの受信を拒否され、送信できませんでした。	―
使用されているタイトルです	すでに登録済みのタイトルは登録できません。変更してください。	―
既にメッセージをお預かりしています	すでにSMSは送信済みです。	―
正常に接続できませんでした（400）	サイトやインターネットホームページのエラーにより接続できません。URLが間違っている可能性があります。URLが正しいかどうか確認してください。	―
積算通話料金が上限を超えています	積算通話料金の上限を設定しているFOMAカードを利用しています。リセットしてから電話をかけなおしてください。	P421
セキュリティエラーのためiアプリ待受画面を解除しました	許可されていない操作をしようとしたため、iアプリ待受画面が終了しました。	―
セキュリティエラーのため終了しました	許可されていない操作をしようとしたため、iアプリが終了しました。	―
接続相手が見つかりません　続けますか	赤外線通信の接続相手を発見／認識できません。接続を続ける場合は1「はい」を、接続を中断する場合は2「いいえ」を押します。	―
接続が中断されました	電波状態のよい所で接続し直してください。電波状態がよいのにこのエラーが表示される場合は、接続先が混み合っています。しばらく待ってから接続し直してください。	―
接続できません	iモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい所に移動して接続し直してください。	―
接続できませんでした（562）	iモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい所に移動して接続し直してください。	―
設定サイズオーバーです　選択できません	選択した辞書の合計容量が64Kバイトを超えています。選択しなおしてください。	―
設定時間内に接続できませんでした	設定時間内にサーバからの応答がありませんでした。もう一度接続してください。	―
送信できません　宛先を確認してください（451）	iモードメールが送信できません。宛先が正しいか確認してください。	―
送信できませんでした（552）	iモードセンターまたはSMSセンター側のエラーにより、iモードメールまたはSMSの送信に失敗しました。しばらくたってから送信し直してください。	―

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P361

エラーメッセージ	説明と対処法	参照先
送信を拒否されました	SMSの送信が拒否されました。	−
測位に失敗しました	測位エラーです。電波状態の良い所に移動して操作し直してください。	−
ソフトに誤りがあります	ソフトのデータに誤りがあるためダウンロードできません。	−
ソフトに誤りがあるためダウンロードできません	ソフトのデータに誤りがあるためダウンロードできません。	−
ダイヤル発信制限設定中です	ダイヤル発信制限中は禁止されている操作を行えません。	P137
データ読み込み中にエラーが発生しました	プリンタ側でデータの読み込みエラーが発生しています。プリンタの取扱説明書をご確認の上、エラーを解除してください。	−
伝言メモ応答時間と同じ秒数のため設定できません	オート着信と伝言メモの応答時間に同じ秒数は設定できません。どちらかの応答時間を変更してください。	P72、425
問合せできませんでした	電波状態のよい所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらく待ってから操作し直してください。	−
登録中です　しばらくしてからご利用ください（554）	iモードへのユーザ登録中です。しばらくたってから操作し直してください。	−
入力データまたはURLが長すぎます	サイトやインターネットホームページの入力欄に入力された文字数が多すぎて送信できません。文字数を減らしてから送信し直してください。	−
入力データをご確認ください（205）	サイトやインターネットホームページの入力データに誤りがあります。入力データを確認してください。	−
認証タイプに未対応です（401）	認証タイプに未対応のため、指定のサイトやインターネットホームページには接続できません。	−
ネットワーク暗証番号が誤っています	ネットワーク暗証番号の入力が必要な機能で、ネットワーク暗証番号を間違えたときに表示されます。 正しいネットワーク暗証番号を入力してください。 ネットワーク暗証番号を万が一お忘れになったときは、FOMA端末およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。	P130
パスワードをご確認ください（401）	サイトやインターネットホームページの基本認証画面に入力したユーザ名かパスワードに誤りがあります。再入力してください。	−
不正データです　インポートできません	miniSDメモリーカードからPIMデータをインポートしようとしましたが、すべてFOMA端末に未対応データのため、インポートできません。データをもう一度確認してください。	−
無効なデータを受信しました（XXX）	指定のサイトやインターネットホームページがiモードに対応していません。 URLが間違っている可能性があります。URLが正しいかどうか確認してください。 受信データにエラーがあるため表示できません。	−
メッセージがいっぱいです	メッセージR/Fの保存領域の空きが不足しているためメッセージR/Fを受信できません。未読のメッセージR/Fを読むか、メッセージR/Fの保護を解除するか、メッセージR/Fを削除してください。	P214、215、216
メール･メッセージがいっぱいです	受信メールとメッセージR/Fの保存領域の空きが不足しているため、メールとメッセージR/Fを受信できません。未読のメールとメッセージR/Fを読むか、メールとメッセージR/Fの保護を解除するか、メールとメッセージR/Fを削除してください。	P254、265、266
メモリ不足です　iモードを終了します	メモリ不足が発生したため処理を中断します。	−
ユーザ証明書がありません　継続しますか	ユーザ証明書がダウンロードされていません。接続を継続するときは1「はい」を、接続を中断するときは2「いいえ」を選択します。	−
ユーザ証明書の有効期限が切れています　継続しますか	ユーザ証明書の有効期限が切れています。接続を継続するときは1「はい」を、接続を中断するときは2「いいえ」を選択します。	−
読み取りできませんでした	バーコードや文字が読み取りできませんでした。	−

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書がついていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。なお、パソコン（Windows 98SE／Me／2000／XP）をお持ちの場合は、専用のデータリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。また、FOMA端末の修理等を行った場合、iモード・iアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しいFOMA端末などに移行を行っておりません。

アフターサービスについて

調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。（→P522）それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にお問い合わせください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取扱い不良による故障・損傷等は有償修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

次の場合は、修理できないことがあります。

水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有償修理となります。

保証期間が過ぎた場合は

ご要望により有償修理いたします。

部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間です。この部品保有期間を修理可能期間といたします。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にお問い合わせください。

お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - FOMA端末、FOMAカードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA端末、FOMAカードは使用できません。
  - 改造（部品の交換・改造・塗装など）が施されたFOMA端末の故障修理は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
  銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能のON／OFF設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによって、クリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は、再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMA端末の受話口部やスピーカーに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 電話機が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、電話機の状態によっては修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報について

- お客様ご自身で携帯電話機などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- 携帯電話を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータ等が変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の携帯電話を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらデータ等は一部を除き交換後の製品に移し替えることができません。本FOMA端末はiモード公式サイトからダウンロードした画像・着信メロディを故障修理時に移し替えます。（一部移し替えできないコンテンツもあります。また、故障の程度によっては移し替えができない場合があります。）

ソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新してください。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびiMenuの「お知らせ＆ヘルプ」にてご案内させていただきます。

※ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料です。

- ソフトウェアの更新方法には、次の２種類があります。
  - 即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。
  - 予約更新：更新する日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。
- iモード接続先をユーザー接続先に設定している場合も、ソフトウェア更新を行うことができます。
- ソフトウェア更新を行うときは、電池をフル充電しておいてください。
- 次の場合はソフトウェア更新ができません。
  - 圏外のとき
  - 電池残量が３つ点灯していないとき
  - FOMAカードが未挿入のとき
  - PINロックが完全にロックされているとき
  - セルフモード中
  - 時計が未設定のとき
  - 電源が入っていないとき
  - その他の機能を起動中
  - FOMAカードが識別できないとき
  - PIMロックされているとき
  - オールロック中
  - 外部機器との接続中
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
- PIN1コードON／OFF設定を「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信機能の操作ができません。
- ソフトウェア更新中は、他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は音声電話の着信のみ受けることができ、電話の転送や伝言メモなどの操作もできます。
- ソフトウェア更新の際には、サーバ（当社のサイト）へSSL通信を行います。あらかじめ「証明書設定」でSSL証明書を有効に設定してください。お買い上げ時は有効に設定されています。→P217
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、もう一度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません　このままご利用ください」と表示されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新用以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新後、iモードセンター蓄積状態をあらわすアイコンなどは消えます。メール選択受信を「ON」に設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にiモードセンターにメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。→P246

お知らせ

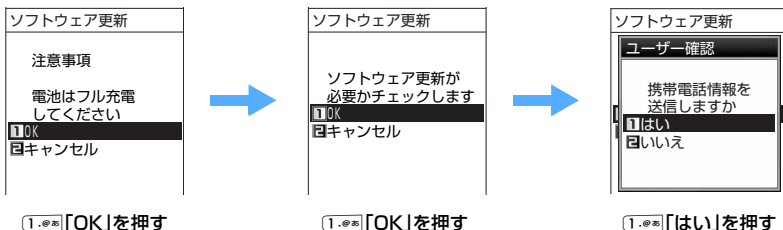
- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします（ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください）。
- ソフトウェア更新中は絶対に電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。更新に失敗した場合は、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

ソフトウェア更新を起動する

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 9 ▶ 1 を押す

2 端末暗証番号を入力し、● を押す

3 注意事項を確認し、ソフトウェア更新が必要かチェックする

1「OK」を押す　1「OK」を押す　1「はい」を押す

- SSL通信を開始し、ソフトウェア更新が必要かチェックします。

4 チェックの結果を確認する

■「更新が必要です」と表示されたとき

ソフトウェアの更新ができます。

今すぐ更新：すぐに更新を開始します。→P532

予約：日時を設定して後から更新できます。→P533

更新しない：ソフトウェア更新をしません。

■「更新は必要ありません　このままご利用ください」と表示されたとき

ソフトウェア更新の必要はありませんので、そのままFOMA端末をご使用ください。

■「サーバーが混み合っています」と表示されたとき

すぐに更新はできません。予約するか更新しないかを選択します。

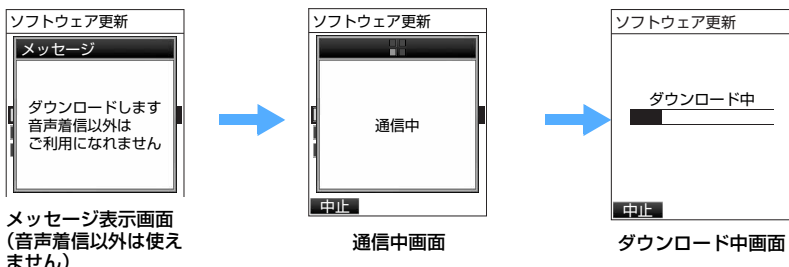
すぐにソフトウェアを更新する<即時更新>

• サーバが混みあっていると、すぐに更新できないことがあります。

1 ソフトウェア更新画面を表示する

2 1.@あ「今すぐ更新」を押す

メッセージが表示され、ダウンロードを開始します。

メッセージ表示画面（音声着信以外は使えません）　通信中画面　ダウンロード中画面

• [中止] を押すとダウンロードを中止できます。ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。
• ダウンロードが開始されると、あとはメニューなどを選択しなくても更新処理が実行されます。

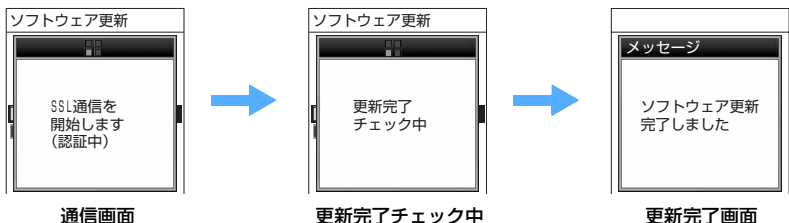
3 ダウンロード終了後、● を押す

• ● を押さなくても自動的に書換えは行われます。
• ソフトウェア書換え中はすべてのキー操作が無効となり、更新を中止することもできません。

書換え準備中画面　書換え中画面　書換え完了画面

4 書換え終了後、自動的に再起動する

再起動後、自動的にサーバに接続し、更新完了のチェックを行います。
「ソフトウェア更新完了しました」と表示されると更新完了し、待受画面に戻ります。

通信画面　更新完了チェック中　更新完了画面

日時を予約してソフトウェアを更新する<予約更新>

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混みあっている場合には、あらかじめソフトウェア更新する日時をサーバと通信して予約しておくことができます。

1 ソフトウェア更新画面を表示する

2 2ABCか「予約」を押す

サーバと通信を行い、予約できる日時が表示されます。
表示される時刻は、サーバの時刻です。

3 希望日時を選択し、● ▶ 1.@あ「はい」を押す

ソフトウェア更新が予約されます。

■ 表示されている予約候補以外から選択するとき

①「その他の日時」を選択し、●を押す

② ●を押す

③ 希望日を選択し、●を押す

時間帯選択画面

各時間帯の予約空き状況が表示されます。
○：空きあり
△：空きわずか
×：空きなし

④ 希望時間帯を選択し、●を押す

- サーバに接続され、選択した希望日・時間帯に近い予約候補が表示されます。

⑤ 希望日時を選択し、●を押す

- 希望日時を確認する画面が表示されます。

⑥ 1.@あ「はい」を押す

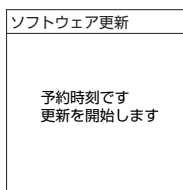
- 通信画面になり、予約が完了し、待受画面に戻ります。

お知らせ

- ソフトウェア更新の予約が完了したあとに「データ一括削除」を行っても、予約の設定は削除されません。

予約した時間になると

ソフトウェア更新

予約時刻です
更新を開始します

左の画面が表示され、FOMA端末は自動的にソフトウェア更新を開始します。予約日時前には、電池をフル充電し、電波が十分届くところでFOMA端末を待受画面にしておいてください。以降の動作は即時更新と同じです。

お知らせ

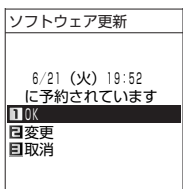
- PIN1コード入力設定を「ON」に設定していると、ソフトウェア更新後の再起動時にPIN1コード入力画面が表示されます。PIN1コード入力画面のままだと、電話の着信やメールの受信ができませんのでご注意ください。アラームはPIN1コード入力画面のままでも鳴動します。
- ソフトウェア更新の予約がアラームと同時刻に設定されている場合は、アラームが優先され、アラーム停止後、待受画面にソフトウェア更新の失敗を通知するアイコンが表示されます。
- ソフトウェア更新の予約時刻になっても、FOMA端末の状態によってはソフトウェア更新が起動できない場合があります。→P530

予約の確認・変更・取り消しをする

ソフトウェア更新の予約日時を確認できます。

1 ● ▶ 各種設定 ▶ 9 ▶ 1 を押す

2 端末暗証番号を入力し、● を押す

3 内容を確認する

予約した日時でよい場合は 1「OK」を押します。
- ソフトウェア更新が予約されていないときは、ソフトウェア更新が必要かのチェックを開始します。→P531

■ 予約を変更するとき

2「変更」▶ 1「はい」を押す

サーバに接続され、予約日時の設定画面が表示されます。
- 以降の操作：→P533「日時を予約してソフトウェアを更新する」手順3

■ 予約を取り消すとき

3「取消」▶ 1「はい」▶ 1「はい」を押す

サーバに接続され、予約が取り消されます。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA SA700iSの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA SA700iSのSARの値は0.569W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/product/
三洋電機株式会社テレコムカンパニーのホームページ http://www.sanyo-keitai.com

※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

かんたん検索／索引／クイックマニュアル

かんたん検索

知りたい機能や操作方法から調べるときにご活用ください。

通話に便利な機能を知りたい

出られない電話をこうしたい

メロディやイルミネーションを変えたい

画面表示を変えたい／知りたい

メールを使いこなしたい

カメラを使いこなしたい

安心して電話を使いたい

こんなこともできます

その他の操作の引き方については、表紙裏面の「取扱説明書（本書）のご使用にあたって」をご参照ください。
よく使う機能などの操作手順をクイックマニュアルとして案内しております。→P556

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

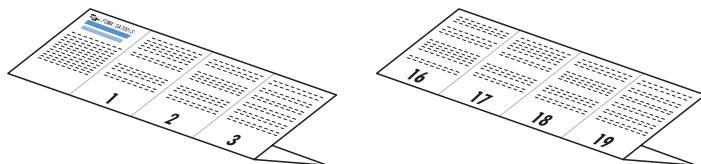
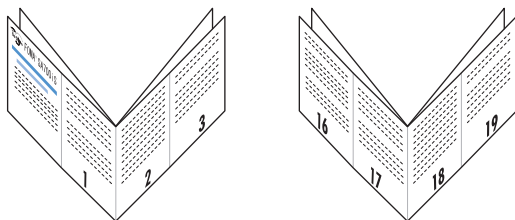
英数字

クイックマニュアル

クイックマニュアルの使いかた

1 キリトリ線から切り離す（2枚）

※切り離しの際にはけがなどにご注意ください。

2 それぞれを縦半分に折る

3 それぞれを横半分に折る

4 それぞれをさらに横半分に折る

クイックマニュアル記載内容

NTT DoCoMo FOMA® SA700iS

クイックマニュアル

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）113（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

電話帳の登録

電話帳を新規登録する

1. を１秒以上押す
2. 1「本体」を押す
   ・2「FOMA カード（UIM）」を押すと、FOMA カードに電話帳を登録できます。
3. 各項目を設定し、［登録］を押す

リダイヤルや着信履歴から登録する

1. を押す
   ・リダイヤル一覧画面または着信履歴一覧画面が表示されます。
2. 登録する電話番号を選択し、● を押す
3. ● ▶ 4「電話帳新規登録」を押す
   ・電話帳に追加登録するときは 5「電話帳追加登録」を押します。
4. 1「本体」または 2「FOMA カード（UIM）」を押す
5. 電話帳を登録する

1

電話帳を検索する

1. を押す
2. 電話帳を検索する
   電話帳検索
   でア〜ワ、英、数、ナシ行を選択し、で電話帳を選択する
   名前検索
   名前を入力し、● を押す
   フリガナ検索
   フリガナを入力し、● を押す
   メモリダイヤル番号検索
   メモリダイヤル番号を入力する
   グループ検索
   でグループを選択し、● ▶ で電話帳を選択する
   電話番号検索
   電話番号を入力し、● を押す
   メールアドレス検索
   メールアドレスを入力し、● を押す
   番号種別検索
   で番号種別、で電話帳を選択する

■ 時短検索

1. 待受画面でダイヤルキーを１秒以上押す

2

■ 検索方法を切り替える

＜検索画面のとき＞
1. ［機能］▶「検索切替」を選択し、● を押す
2. 検索方法を選択し、● を押す

＜検索結果画面のとき＞
1. ［検索］▶ 検索方法を選択し、● を押す

電話帳を修正する

1. 検索結果画面で電話帳を選択し、● を押す
2. ［編集］を押す
3. 各項目を修正する
4. ［登録］を押す
5. 1「はい」を押す

3

文字を入力する

〈例〉かな方式で「鈴木」と入力するとき
1. 漢字ひらがなモードで文字を入力する
   「す」: 3 を３回 ▶ （カーソルを右に移動）
   「ず」: 3 を３回 ▶ ※
   「き」: 2 を２回
2. を押す
3. で「鈴木」を選択し、● を押す

〈例〉２タッチ方式で「鈴木」と入力するとき
1. 漢字ひらがなモードで文字を入力する
   「す」: 3 ▶ 3
   「ず」: 3 ▶ 3 ▶ ※
   「き」: 2 ▶ 2
2. を押す
3. で「鈴木」を選択し、● を押す

入力予測機能を設定する

■ 文字入力画面で切り替える

1. 文字入力画面で［機能］▶「入力予測OFF」または「入力予測 ON」を選択し、● を押す

4

■ 待受画面から切り替える

1. ● ▶ 各種設定 ▶ 8「文字入力」▶ 6「入力予測」▶ 1「ON」または 2「OFF」を押す

入力方式を切り替える

■ 文字入力画面で切り替える

1. 文字入力画面で［機能］▶「入力方式」を選択し、● を押す
2. 1「かな方式」または 2「２タッチ方式」を押す

■ 待受画面から切り替える

1. ● ▶ 各種設定 ▶ 8「文字入力」▶ 5「入力方式」を押す
2. 1「かな方式」または 2「２タッチ方式」を押す

入力モードを切り替える

1. 文字入力画面で「文字」を押す
2. 文字種を選択し、● を押す

5

絵文字・記号・顔文字を入力する

1. 文字入力画面でを押す
   ・を押すたびに絵文字→記号→顔文字と切り替わります。
2. 絵文字・記号・顔文字を選択し、● を押す
   ・［連続］を押すと連続して入力できます。

定型文を入力する

1. 文字入力画面で［機能］▶「定型文」を選択し、● を押す
2. 定型文を選択し、● を押す

区点コードで入力する

1. 文字入力画面で［機能］▶「入力方式」を選択し、● を押す
2. 3「区点コード」を押す
3. 区点コードを入力し、● を押す

6

文字を削除する

■ カーソルが文中にあるとき

CLR：カーソル位置の文字を削除
CLR を１秒以上：カーソル位置の以降にあるすべての文字を削除

■ カーソルが文末にあるとき

CLR：カーソル位置の左側にある文字を削除
CLR を１秒以上：すべての文字を削除（確定前は確定前のすべての文字を削除）

コピー・切り取り・貼り付けをする

■ コピー・切り取りをするとき

1. 文字入力画面で［機能］▶ 3「コピー」を押す
   ・切り取りするときは 4「切り取り」を押します。
2. 開始位置にカーソルを移動し、● を押す
3. 終了位置にカーソルを移動し、● を押す

■ 貼り付けるとき

1. 文字入力画面で貼り付ける位置にカーソル移動し、［機能］▶ 1「貼り付け」を押す
2. 貼り付けるデータを選択し、● を押す

7

キリトリ線

カメラを使う

静止画を撮影する

1. 📷 を 1 秒以上押す
2. 被写体にカメラを向けて ● を押す
3. ● を押す

動画を撮影する

1. 📷 を 1 秒以上押す
2. i［機能］▶ 1「カメラモード」▶ 2「ムービー撮影」を押す
3. 被写体にカメラを向けて ● を押す
   ・録画を開始します。
4. ● を押す
   ・録画を停止します。
5. ● を押す

撮影した画像・動画を見る

■ 静止画を見るとき

1. ● ▶ データBOX ▶ 1 ▶ 2 を押す
2. 静止画を選択し、● を押す

■ 動画を見るとき

1. ● ▶ データBOX ▶ 2 ▶ 2 を押す
2. 動画を選択し、● を押す

再生中の操作
・●：一時停止／再開
・✉：停止
・◎：早送り（1 秒以上押すと連続早送り）
・◎：巻戻し（1 秒以上押すと連続巻戻し）
・◎：音量調節

一時停止中の操作※
・◎：コマ送り（1 秒以上押すと連続コマ送り）
・◎：コマ戻し（1 秒以上押すと連続コマ戻し）
・◎：前後の動画・i モーションを再生
※音声のみのデータ再生時は使用できません。

テレビ電話

テレビ電話をかける

1. 電話番号を入力し、📷 を押す
   ・市外局番から入力してください。
2. テレビ電話接続後、🔊 を押してハンズフリーにして通話する

通話中の操作
・📷：代替画像とカメラ映像の切り替え
・✉：インカメラとアウトカメラの切り替え
・●：通話保留／保留解除

3. 通話が終わったら PWR を押す

テレビ電話を受ける

1. テレビ電話がかかってきたら 📷 を押す
   ・PWR を押すと応答保留になります。
2. テレビ電話接続後、🔊 を押してハンズフリーにして通話する

通話中の操作
・📷：代替画像とカメラ映像の切り替え
・✉：インカメラとアウトカメラの切り替え
・●：通話保留／保留解除

3. 通話が終わったら PWR を押す

キャラ電を利用する

■ 代替画像とカメラ映像を切り替える

1. テレビ電話通話中に 📷 を押す

■ キャラ電を代替画像に設定する

1. ● ▶ 各種設定 ▶ 7 ▶ 6 ▶ 1 ▶ 2 を押す
2. キャラ電を選択し、● を押す

読み上げ機能

1. 🔊が表示されているデータで、（ボイス）を 1 秒以上押す

音声読み上げを設定する

1. ● ▶ 各種設定 ▶ 9 ▶ 5 ▶ 1 を押す
2. 項目を選択し、● を押す
3. 設定を変更し、● を押す
4. i［保存］を押す

GPS 機能

現在地を確認する

1. ◉ ▶ 現在地確認 を押す
   ・現在地確認完了後、● を押して位置サイトへの接続やメールへの貼り付け、スケジュールへの登録などができます。

現在地を通知する

1. ◉ ▶ 通知/現在地設定 ▶ 1 を押す
2. 通知する相手を選択し、● を押す
   ・現在地通知するときは相手先を登録する必要があります。

ナビゲーションを利用する

1. ◉ ▶ ナビゲーション を押す
2. 1「かんたんナビ」を押す
3. 画面に従い目的地を入力して検索する
4. 移動手段を選択し、● を押す
5. 「音声ナビ開始！」を選択し、● を押す

i モードメール

i モードメールを作成して送信する

1. ✉ を 1 秒以上押す
2. To を選択し、● ▶ 入力方法を選択し、● ▶ 宛先を入力し、● を押す
3. Sb を選択し、● ▶ 件名を入力し、● を押す
4. 📎 を選択し、● ▶ 添付ファイルを選択し、● を押す
5. ✏ を選択し、● ▶ 本文を入力し、● を押す
6. ✉［送信］を押す
   ・i［機能］▶ 1「保存」▶ 1「はい」で未送信 BOX にメールを保存します。

■ デコメールを作成するとき

1. 本文入力画面で ✉ を押す
   ・テンプレートから作成するときは i［機能］▶ 2「テンプレート」を押します。
   ・パレットを閉じるときは i［閉じる］を押します。
2. 本文を装飾する
   ・デコメールを確認するときは、i［機能］▶ ◎ ▶ ◎ ▶ 6「プレビュー」を押します。

3. ● を押す
4. ✉［送信］を押す

保存したメールを編集して送信する

1. ✉ ▶ 送信BOX または 未送信BOX を押す
2. フォルダを選択し、● ▶ メールを選択し ● を押す
3. メールを編集し、送信する

i モードメールを受信する

■ メールが届いているかどうか確認する

1. ✉ ▶ iモード問合せ を押す

■ 受信した i モードメールを見る

1. メールを受信する
   ・メール着信音やアイコンで受信をお知らせします。
2. 受信結果画面で 1「メール」を押す
   ・待受画面にお知らせアイコン表示中は ◎ ▶ ● を押します。
3. フォルダを選択し、● ▶ メールを選択し、● を押す

■ 受信 BOX の i モードメールを見る

1. ✉ ▶ 受信BOX を押す
2. フォルダを選択し、● ▶ メールを選択し ● を押す

メールを返信・転送する

1. メール一覧画面でメールを選択し、i［機能］▶ 1「返信」を押す
   ・転送するときは i［機能］▶ 3「転送」を押します。

キリトリ線

メニュー一覧

iモード	iモード設定	
	メッセージR	
	メッセージF	
	画面メモ	
	iMenu	
	Bookmark	
	ラストURL	
	Internet	
	iモード問合せ	
メール	メール設定	
	パーソナル検索	
	SMS新規作成	
	iモード問合せ	
	受信BOX	
	メール新規作成	
	メール選択受信	
	送信BOX	
	デコメールテンプレート	
	SMS問合せ	
	未送信BOX	
	アドレス履歴	
iアプリ		

プライベート	電話帳	
	カレンダー	
	リダイヤル	
	着信履歴	
	受信アドレス履歴	
	送信アドレス履歴	
データBOX	マイピクチャ	
	iモーション	
	メロディ	
	キャラ電	
GPS	通知／提供設定	
	位置履歴	
	現在地確認設定	
	GPSソフト	
	現在地確認	
	ナビゲーション	
ツール	簡易電卓	
	アラーム	
	英単語辞書	
	ボイスレコーダー	
	miniSD	
	オリジナルデータ	
	赤外線通信	
	プリントモード	
	バーコードリーダー	

カメラ	フォト撮影	
	ムービー撮影	
	バーコードリーダー	
	文字リーダー	
メモメニュー	伝言メモ設定	
	伝言メモ再生	
	待受中音声メモ録音	
	待受中音声メモ再生	
	通話中音声メモ再生	
	テキストメモ	
	ダイヤルメモ	
自局情報表示		
各種設定	音／バイブレータ	音量設定
		音設定
		バイブレータ設定
		LED設定
		通知時間設定
		マナー
		呼出バイブ
	ディスプレイ	待受画面設定
		発着信画面設定
		背面時計設定
		背面通知表示
		背面明るさ設定

		照明
		テイスト設定
	セキュリティ	端末暗証番号変更
		シークレットモード
		セルフモード
		オールロック
		ダイヤル発信制限
		FOMAカード(UIM)
		発着信履歴表示
		PIMロック
		着信拒否設定
	通話／通信	エニーキーアンサー
		開閉通話設定
		通話品質調整機能
		着信音出力先切替
		呼出動作開始時間
		プレフィックス設定
		サブアドレス設定
		オート着信
		通話時間表示
		時間／料金
		USBモード設定
		国際ダイヤル設定
	時計	日付時刻設定
		GPS時刻設定

		オートパワーON
		オートパワーOFF
	リセット	学習情報リセット
		データ一括削除
		設定リセット
	テレビ電話	発信時自画像送信設定
		音声自動再発信設定
		テレビ電話画面設定
		画面サイズ設定
		送信画質設定
		テレビ電話画像選択
	文字入力	定型文編集
		顔文字編集
		ユーザー辞書編集
		ダウンロード辞書
		入力方式
		入力予測
	ユーザー補助	ソフトウェア更新
		設定状況確認
		電池レベル表示
		Select language
		音声読み上げ設定
		ボイス通知
		ガイド機能

NWサービス	留守番電話	
	キャッチホン	
	転送でんわ	
	迷惑電話ストップ	
	発信者番号通知	
	番号通知お願いサービス	
	通話中着信設定	
	着信動作選択	
	遠隔操作設定	
	デュアルネットワーク	
	英語ガイダンス	
	追加サービス	
	サービスダイヤル	
	マルチナンバー	

その他の主な操作

機　能	操作方法
電源ON／OFF	[PWR] を2秒以上
サイドキー操作の有効／無効	● を1秒以上
ドライブモードの設定／解除	[＊] を1秒以上
iモードメニューの表示	[i]
iアプリフォルダ一覧の表示	[i] を1秒以上
着信履歴の表示	◐
受信アドレス履歴の表示	◐ を1秒以上
リダイヤルの表示	◑
送信アドレス履歴の表示	◑ を1秒以上
マナーモードの設定／解除	[#] を1秒以上
GPSメニューの表示	[GPS]

ネットワークサービス

留守番電話サービス

お申し込みが必要なオプション（有料）サービスです。

■ サービスを開始する

1. ●▶[NWサービス]▶[1] を押す
2. [1]「留守番サービス開始」▶[1]「はい」を選択

■ サービスを停止する

1. ●▶[NWサービス]▶[1] を押す
2. [3]「留守番サービス停止」▶[1]「はい」を選択

■ 伝言メッセージを再生する

1. ●▶[NWサービス]▶[1] を押す
2. [5]「留守番メッセージ再生」▶[1]「はい」を押す
3. 音声ガイダンスに従って操作する

キリトリ線

キャッチホン

お申し込みが必要なオプション（有料）サービスです。

■ サービスを開始する

1. ●▶ NWサービス ▶ 2 を押す
2. 1 「キャッチホン開始」▶ 1 「はい」を選択

■ サービスを停止する

1. ●▶ NWサービス ▶ 2 を押す
2. 2 「キャッチホン停止」▶ 1 「はい」を選択

■ 通話中にかかってきた電話を受ける

通話中に [通話キー]
・通話相手の切り替え：[通話キー]

■ 通話中に電話をかける

通話中に電話番号を入力→ [通話キー]
・通話相手の切り替え：[通話キー]

■ 通話を終了する

通話中に [終話キー]
・保留中相手との通話再開：[通話キー]

転送でんわサービス

お申し込みが必要なオプション（無料）サービスです。

■ サービスを開始する

1. ●▶ NWサービス ▶ 3 を押す
2. 1 「転送サービス開始」▶ 1 「はい」を押す
3. 3 「開始」を押す

■ サービスを停止する

1. ●▶ NWサービス ▶ 3 を押す
2. 2 「転送サービス停止」▶ 1 「はい」を押す

番号通知お願いサービス

お申し込みなしでご利用いただけます（無料）。

■ サービスを開始する

1. ●▶ NWサービス ▶ 6 を押す
2. 1 「番号通知お願い開始」▶ 1 「はい」を押す

■ サービスを停止する

1. ●▶ NWサービス ▶ 6 を押す
2. 2 「番号通知お願い停止」▶ 1 「はい」を押す

利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料）（電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません）	（局番なし）104
電報の発信（有料）午前８時～午後１０時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きた時の緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

ディスプレイの見かた

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚

12月24日(土)
10:30

① ：電池残量表示
② ：電波受信レベル
　 ：サービスエリア外または電波の届かないところ
　 ：セルフモード中

③ ：現在地確認中／位置提供中／現在地通知中
④ ：i モード接続中
⑤ ：SSL ページ表示中
⑥ ：音声電話電話中
⑦ ：i モードセンターにメールあり
⑧ ：受信 BOX 満杯
⑨ ：FOMA カード（SMS）満杯
⑩ ：未読メッセージ R あり
⑪ ：未読メッセージ F あり
⑫ ：USB ハンズフリー動作中
⑬ ：miniSD メモリーカード装着中
⑭ ：ターミナルリンク
⑮ ：シークレットモード中
⑯ ：不在着信あり
⑰ ：アラーム設定中
⑱ ：スケジュールアラーム設定中
⑲ ：ToDo アラーム設定中
⑳ ：伝言メモ設定中
㉑ ：センター留守電あり

㉒ ：PIM ロック中
㉓ ：ダイヤル発信制限中
㉔ ：オールロック中
㉕ ：ドライブモード中
㉖ ／ ：マナーモード（時間経過 OFF ／期間設定）中
㉗ ：マナーモード（サイレントバイブ）中
㉘ ：音声着信音量 OFF 設定中
㉙ ：音声着信バイブレータ設定中
㉚ ：サイドキー操作無効中

総合お問い合わせ先（DoCoMo インフォメーションセンター）

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）113（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

キリトリ線

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
・ 航空機内　・ 病院内
※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 運転中の場合
運転中のFOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。
※車を安全なところに停車させてからご使用になるか、ドライブモードをご利用ください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。
■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音をすべて消す設定など、便利な機能があります。

- **マナーモード／オリジナルマナーモード**
  ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音をすべて消します（マナーモード）。
  マナーモードの動作を変更することもできます（オリジナルマナーモード）。
- **ドライブモード**
  電話をかけてきた相手に、運転中のため電話に出られないことを知らせるガイダンスを流し、電話を切ります。電話がかかってきても着信音が鳴らないので安全に運転できます。
- **バイブレータ**
  電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。
- **伝言メモ**
  電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。

その他にも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。

「ドコモeサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

iモードから	iMenu ⇒ 料金＆お申込 ⇒ ドコモeサイト	パケット通信料無料
パソコンから	My DoCoMo（https://www.mydocomo.com/）⇒ 各種手続き（ドコモeサイト）	

※iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※iモードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「My DoCoMo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「My DoCoMo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

◯公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸　株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元　三洋電機株式会社

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

大豆油インキを使用しています。

'06.4（3版）

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

1AH6P1P0361--B